別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画								
事　項	記　入　欄							備　考
計　画　の　区　分	学部の学科の設置（国際連携学科）							
フ　リ　ガ　ナ 設　置　者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ　ﾘﾂﾒｲｶﾝ 学校法人　立命館							【連携外国大学の設置者】 American University
フ　リ　ガ　ナ 大　学　の　名　称	ﾘﾂﾒｲｶﾝﾀﾞｲｶﾞｸ 立命館大学（Ritsumeikan University）							【連携外国大学の名称】 American University
大　学　本　部　の　位　置	京都府京都市中京区西ノ京東栂尾町8番地							【連携外国大学の本部の位置】 4400 Massachusetts Avenue, NW Washington, DC 20016 United States of America
大　学　の　目　的	立命館大学は、建学の精神と教学理念にもとづき、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努め、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的	国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は、グローバル国際関係学を理論、歴史、文化、民族の多面的な視点・見地から批判的に学び、グローバルおよびリージョナルな諸課題、とくに、東アジアと米国に関する諸課題に対する深い理解を習得し、国際機関、各国政府機関、グローバル企業、メディア、国際NGO等の分野において指導的役割を担う能力を有する人材の育成を目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年　月 第　年次	
	国際関係学部 [College of International Relations] アメリカン大学・立命館大学国際連携学科 [American University-Ritsumeikan University Joint Degree Program]	4	25 ＜360＞	－ ＜－＞	100 ＜1,440＞	学士（グローバル国際関係学） (Bachelor of Arts in Global International Relations)	平成30年4月 第1年次	京都府京都市北区等持院北町56番地の1
	計		25	－	100			
								【連携外国大学の学部等名及び所在地】 School of International Service, American University 4400 Massachusetts Avenue, NW Washington, DC 20016 United States of America ＜ ＞内の数字は、母体となる国際関係学部全体の入学定員等
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	立命館大学 法学部　法学科　（△35） 産業社会学部　現代社会学科 現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻　（△80） 子ども社会専攻　（△10） 理工学部　都市システム工学科（廃止）　（△91） （3年次編入学定員）　（△2） ※平成30年4月学生募集停止 （3年次編入学定員は平成32年4月学生募集停止） 理工学部　環境システム工学科（廃止）　（△75） （3年次編入学定員）　（△2） ※平成30年4月学生募集停止 （3年次編入学定員は平成32年4月学生募集停止） 理工学部　環境都市工学科　（166）　（平成29年4月届出済み） （3年次編入学定員）　（4） 食マネジメント学部食マネジメント学科　（320）　（平成29年6月届出予定）							

同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）	立命館大学大学院 理工学研究科　電子システム専攻　博士課程前期課程　（△40） 理工学研究科　環境都市専攻　博士課程前期課程　（40） 応用人間科学研究科　応用人間科学専攻（廃止）　（△60） ※平成30年4月学生募集停止 公務研究科　公共政策専攻（廃止）　（△60） ※平成30年4月学生募集停止 人間科学研究科　人間科学専攻　博士課程前期課程　（65）（平成29年4月届出済み） 人間科学研究科　人間科学専攻　博士課程後期課程　（20）（平成29年4月届出済み）	

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
	国際関係学部 ｱﾒﾘｶﾝ大学・立命館大学国際連携学科	242　科目	37　科目	8　科目	287 科目	124　単位	

教員組織の概要		学部等の名称	専任教員等						兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分	国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	8人 (9)	14人 (14)	0人 (0)	2人 (2)	24人 (25)	0人 (0)	4人 (3)	【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】 人数：2名 職名：教授・准教授 所属：ｱﾒﾘｶﾝ大学・立命館大学国際連携学科 【国際連携学科の母体となる学部学科所属の専任教員等の状況】 教授7名、准教授13名は母体となる国際関係学部国際関係学科の専任教員を兼ねる。
		理工学部　環境都市工学科	16 (16)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	78 (78)	平成29年4月届出済み
		食マネジメント学部　食マネジメント学科	20 (17)	9 (7)	0 (0)	2 (0)	31 (24)	3 (0)	80 (73)	平成29年6月届出予定
		計	44 (42)	28 (26)	2 (2)	4 (2)	78 (72)	3 (0)	－ (－)	
	既設分	法学部　法学科	48人 (48)	14人 (14)	0人 (0)	0人 (0)	62人 (62)	0人 (0)	116人 (116)	
		経済学部　経済学科	52 (52)	18 (18)	0 (0)	0 (0)	70 (70)	0 (0)	179 (179)	
		経営学部　経営学科	37 (37)	17 (17)	1 (1)	0 (0)	55 (55)	0 (0)	110 (110)	
		経営学部　国際経営学科	12 (12)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	28 (28)	
		産業社会学部　現代社会学科	75 (75)	23 (23)	2 (2)	1 (1)	101 (101)	0 (0)	258 (258)	
		文学部　人文学科	89 (89)	26 (26)	1 (1)	9 (9)	125 (125)	5 (5)	371 (371)	
		理工学部　数理科学科	11 (11)	4 (4)	5 (5)	7 (7)	27 (27)	0 (0)	22 (22)	
		理工学部　物理科学科	15 (15)	2 (2)	2 (2)	7 (7)	26 (26)	0 (0)	20 (20)	
		理工学部　電気電子工学科	24 (24)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	31 (31)	0 (0)	37 (37)	
		理工学部　電子情報工学科	12 (12)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	17 (17)	
		理工学部　機械工学科	20 (20)	4 (4)	0 (0)	9 (9)	33 (33)	0 (0)	40 (40)	
		理工学部　ロボティクス学科	8 (8)	4 (4)	1 (1)	3 (3)	16 (16)	0 (0)	24 (24)	
		理工学部　建築都市デザイン学科	8 (8)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	12 (12)	1 (1)	25 (25)	
		国際関係学部　国際関係学科	39 (39)	21 (21)	0 (0)	1 (1)	61 (61)	0 (0)	94 (94)	
		政策科学部　政策科学科	36 (36)	8 (8)	1 (1)	8 (8)	53 (53)	0 (0)	97 (97)	

教員組織の概要	既設分	情報理工学部　情報理工学科	55 (55)	14 (14)	9 (9)	18 (18)	96 (96)	5 (3)	60 (32)	
		映像学部　映像学科	17 (17)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	30 (30)	
		薬学部　薬学科	15 (15)	6 (6)	12 (12)	12 (12)	45 (45)	0 (0)	31 (31)	
		薬学部　創薬科学科	6 (6)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	12 (8)	0 (0)	12 (5)	
		生命科学部　応用化学科	12 (12)	2 (2)	1 (1)	6 (6)	21 (21)	0 (0)	18 (18)	
		生命科学部　生物工学科	7 (7)	5 (5)	3 (3)	4 (4)	19 (19)	0 (0)	17 (17)	
		生命科学部　生命情報学科	6 (6)	2 (2)	0 (0)	7 (7)	15 (15)	0 (0)	13 (13)	
		生命科学部　生命医科学科	5 (5)	2 (2)	3 (3)	7 (7)	17 (17)	0 (0)	13 (13)	
		スポーツ健康科学部　スポーツ健康科学科	18 (18)	5 (5)	2 (2)	9 (9)	34 (34)	0 (0)	27 (27)	
		総合心理学部　総合心理学科	21 (21)	12 (11)	0 (0)	2 (2)	35 (34)	7 (3)	73 (7)	
		教職教育推進機構	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
		共通教育推進機構	2 (2)	4 (4)	6 (6)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	1 (1)	
		教育開発推進機構	6 (6)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	
		言語教育推進機構	0 (0)	0 (0)	80 (80)	0 (0)	80 (80)	0 (0)	0 (0)	
		国際教育推進機構	2 (2)	3 (3)	10 (10)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	
		計	659 (659)	217 (214)	156 (156)	122 (120)	1,154 (1,149)	18 (12)	－ (－)	
	合　　計		703 (701)	245 (240)	158 (158)	126 (122)	1,232 (1,221)	21 (12)	－ (－)	

教員以外の職員の概要	職　　種	専　任	兼　任	計
	事　務　職　員	人 592 (592)	人 485 (485)	人 1,077 (1,077)
	技　術　職　員	1 (1)	1 (1)	2 (2)
	図　書　館　専　門　職　員	5 (5)	6 (6)	11 (11)
	そ　の　他　の　職　員	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	598 (598)	492 (492)	1,090 (1,090)

校地等	区　　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計
	校　舎　敷　地	920,840.79㎡	0㎡	0㎡	920,840.79㎡
	運　動　場　用　地	93,310.74㎡	0㎡	0㎡	93,310.74㎡
	小　　計	1,014,151.53㎡	0㎡	0㎡	1,014,151.53㎡
	そ　の　他	389,738.06㎡	0㎡	0㎡	389,738.06㎡
	合　　計	1,403,889.59㎡	0㎡	0㎡	1,403,889.59㎡

校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計
	527,355.61㎡ (　527,355.61㎡)	0㎡ (　0㎡)	0㎡ (　0㎡)	527,355.61㎡ (　527,355.61㎡)

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
	128室	528室	796室	40室 （補助職員 5人）	29室 （補助職員 47人）

専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数
	国際関係学部　ｱﾒﾘｶﾝ大学・立命館大学国際連携学科	23　室

	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	申請大学全体での共用分
図書・設備	国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	79,726〔33,400〕 (79,726〔33,400〕)	4,138〔3,740〕 (4,138〔3,740〕)	3,642〔3,512〕 (3,642〔3,512〕)	9,614 (9,614)	－ (　－　)	－ (　－　)	図書79,726冊〔33,400冊〕 学術雑誌4,138冊〔3,740冊〕 視聴覚資料9,614点
	計	79,726〔33,400〕 (79,726〔33,400〕)	4,138〔3,740〕 (4,138〔3,740〕)	3,642〔3,512〕 (3,642〔3,512〕)	9,614 (9,614)	－ (　－　)	－ (　－　)	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	申請大学全体
	44,148㎡	5,441	4,574,000	

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	27,540.62㎡	柊野室内練習場	鉄骨造鋼板葺平屋建2,025㎡

経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	教員１人当り研究費等		888千円	890千円	891千円	893千円	― 千円	― 千円
	共同研究費等		59,091千円	59,386千円	59,683千円	59,982千円	― 千円	― 千円
	図書購入費	―	6,064千円	11,890千円	17,486千円	23,456千円	― 千円	― 千円
	設備購入費	―	14,875千円	29,161千円	42,890千円	57,542千円	― 千円	― 千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,386千円	1,246千円	1,246千円	1,246千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要：手数料収入、寄付金収入及び補助金収入等により維持する。

共同研究所等は研究所（理工学研究所除を除く）等の経費である。図書購入費には、電子ジャーナル、データベース等を含む。

既設大学等の状況

大学の名称：立命館大学

学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次人	収容定員 人	学位又は称号	定員超過率 倍	開設年度	所在地	
法学部 法学科	4	790	―	3,160	学士（法学）	1.10	昭和23年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
経済学部						1.10			
経済学科	4	795	―	2,400	学士（経済学）	1.09	昭和23年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
国際経済学科	4	―	―	―	学士（経済学）	―	平成18年度		平成29年度より学生募集停止（経済学部国際経済学科）
経営学部						1.09			
経営学科	4	675	―	2,505	学士（経営学）	1.08	昭和37年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	平成29年度入学定員増（65人）（経営学部経営学科）
国際経営学科	4	150	―	600	学士（経営学）	1.13	平成18年度		
産業社会学部 現代社会学科	4	900	―	3,600	学士（社会学）	1.05	平成19年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
文学部 人文学科	4	980	―	4,095	学士（文学）	1.06	平成16年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成28年度入学定員減（△200人）（文学部人文学科） 平成29年度入学定員増（75人）（文学部人文学科）

既設大学等の状況	理工学部						1.07			
	電気電子工学科	4	154	3年次 12	604	学士 （工学）	1.11	昭和 24年度		平成29年度入学定員増（12人）（理工学部電気電子工学科）
	機械工学科	4	173	3年次 10	673	学士 （工学）	1.05	昭和 24年度		平成29年度入学定員増（13人）（理工学部機械工学科）
	都市システム工学科	4	91	3年次 2	347	学士 （工学）	1.08	平成 16年度		平成29年度入学定員増（7人）（理工学部都市システム工学科）
	環境システム工学科	4	75	3年次 2	286	学士 （工学）	1.07	平成 6年度		平成29年度入学定員増（6人）（理工学部環境システム工学科）
	電子光情報工学科	4	―	―	―	学士 （工学）	―	平成 8年度		平成24年度より学生募集停止（理工学部電子光情報工学科）
	ロボティクス学科	4	90	3年次 6	351	学士 （工学）	1.12	平成 8年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増（7人）（理工学部ロボティクス学科）
	数理科学科	4	97	―	367	学士 （理学）	0.99	平成 12年度		平成29年度入学定員増（7人）（理工学部数理科学科）
	物理科学科	4	86	―	326	学士 （理学）	1.03	平成 12年度		平成29年度入学定員増（6人）（理工学部物理科学科）
	電子情報工学科	4	102	3年次 8	400	学士 （工学）	1.04	平成 16年度		平成29年度入学定員増（8人）（理工学部電子情報工学科）
	ﾏｲｸﾛ機械ｼｽﾃﾑ工学科	4	―	―	―	学士 （工学）	―	平成 16年度		平成24年度より学生募集停止（理工学部ﾏｲｸﾛ機械ｼｽﾃﾑ工学科）
	建築都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	91	3年次 16	333	学士 （工学）	1.12	平成 16年度		平成29年度入学定員増（21人）（理工学部建築都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科）
	国際関係学部									
	国際関係学科	4	335	―	1,250	学士（国際関係学）	1.04	昭和 63年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成29年度入学定員増（30人）（国際関係学部国際関係学科）
	政策科学部									
	政策科学科	4	410	―	1,490	学士 （政策科学）	1.06	平成 6年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	平成29年度入学定員増（50人）（政策科学部政策科学科）

既設大学等の状況	情報理工学部						1.05			
	情報理工学科	4	475	—	475	学士（工学）	1.08	平成29年度		
	情報システム学科	4	—	3年次10	—	学士（工学）	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止（3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止）（情報理工学部情報システム学科）
	情報ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	—	3年次10	—	学士（工学）	—	平成16年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度より学生募集停止（3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止）（情報理工学部情報ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科）
	メディア情報学科	4	—	3年次10	—	学士（工学）	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止（3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止）（情報理工学部メディア情報学科）
	知能情報学科	4	—	3年次10	—	学士（工学）	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止（3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止）（情報理工学部知能情報学科）
	映像学部									
	映像学科	4	160	—	610	学士（映像学）	1.06	平成19年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成29年度入学定員増（10人）（映像学部映像学科）
	薬学部						1.07 0.94			6年制学科 4年制学科
	薬学科	6	100	—	600	学士（薬学）	1.07	平成20年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
	創薬科学科	4	60	—	180	学士（薬科学）	0.94	平成27年度		
	生命科学部						1.04			
	応用化学科	4	111	—	351	学士（理学） 学士（工学）	1.09	平成20年度		平成29年度入学定員増（31人）（生命科学部応用化学科）
	生物工学科	4	86	—	326	学士（工学）	1.01	平成20年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増（6人）（生命科学部生物工学科）
	生命情報学科	4	64	—	244	学士（理学） 学士（工学）	1.01	平成20年度		平成29年度入学定員増（4人）（生命科学部生命情報学科）
	生命医科学科	4	64	—	244	学士（理学）	1.03	平成20年度		平成29年度入学定員増（4人）（生命科学部生命医科学科）
	スポーツ健康科学部									
	スポーツ健康科学科	4	235	—	895	学士（スポーツ健康科学）	1.06	平成22年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増（15人）（スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科）

既設大学等の状況	総合心理学部									
	総合心理学科	4	280	—	560	学士（心理学）	1.10	平成28年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
	法学研究科									
	法学専攻								京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	博士課程前期課程	2	60	—	120	修士（法学）	0.15	昭和25年度		
	博士課程後期課程	3	10	—	30	博士（法学）	0.23	昭和28年度		
	経済学研究科									
	経済学専攻								滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
	博士課程前期課程	2	50	—	100	修士（経済学）	0.53	昭和25年度		
	博士課程後期課程	3	5	—	15	博士（経済学）	0.60	昭和39年度		
	経営学研究科									
	企業経営専攻								大阪府茨木市岩倉町2番150号	
	博士課程前期課程	2	60	—	120	修士（経営学）	0.51	昭和41年度		
	博士課程後期課程	3	15	—	45	博士（経営学）	0.13	昭和41年度		
	社会学研究科									
	応用社会学専攻								京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	博士課程前期課程	2	60	—	120	修士（社会学）	0.46	昭和47年度		
	博士課程後期課程	3	15	—	45	博士（社会学）	0.64	昭和49年度		
	文学研究科									
	人文学専攻									
	博士課程前期課程	2	70	—	140	修士（文学）	0.59	平成18年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	博士課程後期課程	3	20	—	60	博士（文学）	0.83	平成18年度		
	行動文化情報学専攻									
	博士課程前期課程	2	35	—	70	修士（文学）	0.62	平成26年度		
	博士課程後期課程	3	15	—	45	博士（文学）	0.26	平成26年度		

既設大学等の状況	理工学研究科									
	基礎理工学専攻									
	博士課程前期課程	2	50	—	100	修士（理学） 修士（工学）	0.69	平成18年度		
	博士課程後期課程	3	6	—	18	博士（理学） 博士（工学）	0.83	平成24年度		
	電子システム専攻									
	博士課程前期課程	2	180	—	360	修士（工学）	0.60	平成24年度		
	博士課程後期課程	3	8	—	24	博士（工学）	0.29	平成24年度		
	機械システム専攻									
	博士課程前期課程	2	140	—	280	修士（工学）	0.72	平成24年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
	博士課程後期課程	3	11	—	33	博士（工学）	0.42	平成24年度		
	環境都市専攻									
	博士課程前期課程	2	80	—	160	修士（工学）	1.00	平成24年度		
	博士課程後期課程	3	15	—	45	博士（工学）	0.28	平成24年度		
	総合理工学専攻									平成24年度より学生募集停止（理工学研究科総合理工学専攻博士課程後期課程）
	博士課程後期課程	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学）	—	平成8年度		
	国際関係研究科									
	国際関係学専攻								京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	博士課程前期課程	2	60	—	120	修士（国際関係学）	0.53	平成4年度		
	博士課程後期課程	3	10	—	30	博士（国際関係学）	0.53	平成6年度		
	政策科学研究科									
	政策科学専攻								大阪府茨木市岩倉町2番150号	
	博士課程前期課程	2	40	—	80	修士（政策科学）	0.63	平成9年度		
	博士課程後期課程	3	15	—	45	博士（政策科学）	0.46	平成11年度		
	応用人間科学研究科									
	応用人間科学専攻								京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	修士課程	2	60	—	120	修士（人間科学）	0.60	平成13年度		
	言語教育情報研究科									
	言語教育情報専攻								京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	修士課程	2	60	—	120	修士（言語教育情報学）	0.75	平成15年度		
	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究科									
	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻								大阪府茨木市岩倉町2番150号	
	博士課程前期課程	2	70	—	140	修士（技術経営）	0.33	平成17年度		
	博士課程後期課程	3	5	—	15	博士（技術経営）	1.06	平成18年度		
	公務研究科									
	公共政策専攻								京都府京都市中京区西ノ京東栂尾町8番地	
	修士課程	2	60	—	120	修士（公共政策）	0.34	平成19年度		

既設大学等の状況	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学研究科									
	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学専攻								滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
	博士課程前期課程	2	25	—	50	修士（スポーツ健康科学）	0.58	平成22年度		
	博士課程後期課程	3	8	—	24	博士（スポーツ健康科学）	1.33	平成24年度		
	映像研究科									
	映像専攻								京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	修士課程	2	10	—	20	修士（映像）	0.50	平成23年度		
	情報理工学研究科									
	情報理工学専攻								滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
	博士課程前期課程	2	200	—	400	修士（工学）	0.69	平成24年度		
	博士課程後期課程	3	15	—	45	博士（工学）	0.51	平成24年度		
	生命科学研究科									
	生命科学専攻								滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
	博士課程前期課程	2	150	—	300	修士（理学） 修士（工学）	0.80	平成24年度		
	博士課程後期課程	3	15	—	45	博士（理学） 博士（工学）	0.48	平成24年度		
	先端総合学術研究科									
	先端総合学術専攻								京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
	一貫制博士課程	5	30	—	150	博士（学術）	0.20	平成15年度		
	薬学研究科									
	薬学専攻								滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
	博士課程	4	3	—	12	博士（薬学）	1.07	平成26年度		
	法務研究科									
	法曹養成専攻								京都府京都市中京区西ノ京東栂尾町8番地	平成28年度入学定員減（△30人）（法務研究科法曹養成専攻専門職学位課程）
	専門職学位課程	3	70	—	240	法務博士（専門職）	0.36	平成16年度		
	経営管理研究科									
	経営管理専攻								大阪府茨木市岩倉町2番150号	
	専門職学位課程	2	80	—	160	経営修士（専門職）	0.55	平成18年度		
	教職研究科									
	実践教育専攻								京都府京都市中京区西ノ京東栂尾町8番地	
	専門職学位課程	2	35	—	35	教職修士（専門職）	0.91	平成29年度		

既設大学等の状況	大学の名称	立命館アジア太平洋大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍			
	アジア太平洋学部 アジア太平洋学科	4	660	2年次 12 3年次 18	2,532	学士 （アジア太平洋学）	1.00	平成 12年度		平成29年度入学定員増（60人）（アジア太平洋学部アジア太平洋学科） 平成29年度入学定員増（60人）（国際経営学部国際経営学科）
	国際経営学部 国際経営学科	4	660	2年次 22 3年次 31	2,588	学士 （経営学）	0.92	平成 12年度		
	アジア太平洋研究科 アジア太平洋学専攻 博士課程前期課程	2	15	—	30	修士（アジア太平洋学）	0.60	平成 15年度	大分県別府市十文字原1丁目1番	
	博士課程後期課程	3	10	—	30	博士（アジア太平洋学）	0.56	平成 15年度		
	国際協力政策専攻 博士課程前期課程	2	45	—	90	修士（国際協力政策）	0.36	平成 15年度		
	経営管理研究科 経営管理専攻 修士課程	2	40	—	80	修士 （経営管理）	0.52	平成 15年度		

附属施設の概要	名称　：　人文科学研究所 目的　：　人文科学分野の研究 所在地　：　京都府京都市北区等持院北町56番地の1 設置年月　：　昭和23年4月 名称　：　国際地域研究所 目的　：　社会科学分野の研究 所在地　：　京都府京都市北区等持院北町56番地の1 設置年月　：　昭和63年4月 名称　：　国際言語文化研究所 目的　：　人文社会科学分野の研究 所在地　：　京都府京都市北区等持院北町56番地の1 設置年月　：　平成元年4月 名称　：　人間科学研究科 目的　：　人文社会科学分野の研究 所在地　：　京都府京都市北区等持院北町56番地の1 設置年月　：　平成2年4月 名称　：　アート・リサーチセンター 目的　：　人文社会科学分野の研究 所在地　：　京都府京都市北区等持院北町56番地の1 設置年月　：　平成10年6月 名称　：　歴史都市防災研究所 目的　：　人文科学分野の研究 所在地　：　京都府京都市北区等持院北町56番地の1 設置年月　：　平成15年8月 名称　：　社会システム研究所 目的　：　社会科学分野の研究 所在地　：　滋賀県草津市野路東1丁目1番1号 設置年月　：　平成10年4月	

附属施設の概要	名称　：　理工学研究所 目的　：　自然科学分野の研究 所在地　：　滋賀県草津市野路東1丁目1番1号 設置年月　：　昭和30年4月 名称　：　ＳＲセンター 目的　：　自然科学分野の研究 所在地　：　滋賀県草津市野路東1丁目1番1号 設置年月　：　平成8年4月 名称　：　ＶＬＳＩセンター 目的　：　自然科学分野の研究 所在地　：　滋賀県草津市野路東1丁目1番1号 設置年月　：　平成12年4月 名称　：　地域情報研究所 目的　：　社会科学分野の研究 所在地　：　大阪府茨木市岩倉町2番150号 設置年月　：　平成11年4月 名称　：　アジア・日本研究所 目的　：　社会科学分野の研究 所在地　：　大阪府茨木市岩倉町2番150号 設置年月　：　平成27年12月 名称　：　立命館大学国際平和ミュージアム 目的　：　国際的視野に立った平和の今日的問題の教育研究と、そのための資料収集、整理、保存および展示 所在地　：　京都府京都市北区等持院北町56番地の1 設置年月　：　平成4年5月	

（注）
1　共同学科等の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
2　「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。
3　私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
4　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
6　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人立命館　設置認可等に関わる組織の移行表

平成29年度			入学定員	編入学定員	収容定員	平成30年度			入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
立命館大学						立命館大学						
法学部	法学科		790		3,160	法学部	法学科		755		3,020	定員変更(△35)
経済学部	経済学科		795		3,180	経済学部	経済学科		795		3,180	
経営学部	経営学科		675		2,700	経営学部	経営学科		675		2,700	
	国際経営学科		150		600		国際経営学科		150		600	
産業社会学部	現代社会学科		900		3,600	産業社会学部	現代社会学科		810		3,240	定員変更(△90)
文学部	人文学科		980		3,920	文学部	人文学科		980		3,920	
理工学部	電気電子工学科		154	3年次12	640	理工学部	電気電子工学科		154	3年次12	640	
	機械工学科		173	3年次10	712		機械工学科		173	3年次10	712	
	都市ｼｽﾃﾑ工学科		91	3年次2	368				0	3年次0	0	平成30年4月学生募集停止
	環境ｼｽﾃﾑ工学科		75	3年次2	304				0	3年次0	0	平成30年4月学生募集停止
							環境都市工学科		166	3年次4	672	学科の設置（届出）
	ﾛﾎﾞﾃｨｸｽ学科		90	3年次6	372		ﾛﾎﾞﾃｨｸｽ学科		90	3年次6	372	
	数理科学科		97		388		数理科学科		97		388	
	物理科学科		86	3年次2	348		物理科学科		86	3年次2	348	
	電子情報工学科		102	3年次8	424		電子情報工学科		102	3年次8	424	
	建築都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科		91	3年次4	372		建築都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科		91	3年次4	372	
国際関係学部	国際関係学科		335		1,340	国際関係学部	国際関係学科		335		1,340	
							アメリカン大学・立命館大学国際連携学科		25		100	学科の設置（認可申請）
政策科学部	政策科学科		410		1,640	政策科学部	政策科学科		410		1,640	
情報理工学部	情報理工学科		475	3年次40	1,980	情報理工学部	情報理工学科		475	3年次40	1,980	
映像学部	映像学科		160		640	映像学部	映像学科		160		640	
薬学部	薬学科		100		600	薬学部	薬学科		100		600	
	創薬科学科		60		240		創薬科学科		60		240	
生命科学部	応用化学科		111		444	生命科学部	応用化学科		111		444	
	生物工学科		86		344		生物工学科		86		344	
	生命情報学科		64		256		生命情報学科		64		256	
	生命医科学科		64		256		生命医科学科		64		256	
ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学科		235		940	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学科		235		940	
総合心理学部	総合心理学科		280		1,120	総合心理学部	総合心理学科		280		1,120	
						食マネジメント学部	食マネジメント学科		320		1,280	学部の設置（認可又は届出）
計			7,629	3年次86	30,888	計			7,849	3年次86	31,768	
立命館大学大学院						立命館大学大学院						
法学研究科	法学専攻	博士課程前期課程	60		120	法学研究科	法学専攻	博士課程前期課程	60		120	
法学研究科	法学専攻	博士課程後期課程	10		30	法学研究科	法学専攻	博士課程後期課程	10		30	
経済学研究科	経済学専攻	博士課程前期課程	50		100	経済学研究科	経済学専攻	博士課程前期課程	50		100	
経済学研究科	経済学専攻	博士課程後期課程	5		15	経済学研究科	経済学専攻	博士課程後期課程	5		15	
経営学研究科	企業経営専攻	博士課程前期課程	60		120	経営学研究科	企業経営専攻	博士課程前期課程	60		120	
経営学研究科	企業経営専攻	博士課程後期課程	15		45	経営学研究科	企業経営専攻	博士課程後期課程	15		45	
社会学研究科	応用社会学専攻	博士課程前期課程	60		120	社会学研究科	応用社会学専攻	博士課程前期課程	60		120	
社会学研究科	応用社会学専攻	博士課程後期課程	15		45	社会学研究科	応用社会学専攻	博士課程後期課程	15		45	
文学研究科	人文学専攻	博士課程前期課程	70		140	文学研究科	人文学専攻	博士課程前期課程	70		140	
文学研究科	人文学専攻	博士課程後期課程	20		60	文学研究科	人文学専攻	博士課程後期課程	20		60	
文学研究科	行動文化情報学専攻	博士課程前期課程	35		70	文学研究科	行動文化情報学専攻	博士課程前期課程	35		70	
文学研究科	行動文化情報学専攻	博士課程後期課程	15		45	文学研究科	行動文化情報学専攻	博士課程後期課程	15		45	
理工学研究科	基礎理工学専攻	博士課程前期課程	50		100	理工学研究科	基礎理工学専攻	博士課程前期課程	50		100	
理工学研究科	基礎理工学専攻	博士課程後期課程	6		18	理工学研究科	基礎理工学専攻	博士課程後期課程	6		18	
理工学研究科	電子ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程前期課程	180		360	理工学研究科	電子ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程前期課程	140		280	定員変更(△40)
理工学研究科	電子ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程後期課程	8		24	理工学研究科	電子ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程後期課程	8		24	
理工学研究科	機械ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程前期課程	140		280	理工学研究科	機械ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程前期課程	140		280	
理工学研究科	機械ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程後期課程	11		33	理工学研究科	機械ｼｽﾃﾑ専攻	博士課程後期課程	11		33	
理工学研究科	環境都市専攻	博士課程前期課程	80		160	理工学研究科	環境都市専攻	博士課程前期課程	120		240	定員変更(40)
理工学研究科	環境都市専攻	博士課程後期課程	15		45	理工学研究科	環境都市専攻	博士課程後期課程	15		45	
国際関係研究科	国際関係学専攻	博士課程前期課程	60		120	国際関係研究科	国際関係学専攻	博士課程前期課程	60		120	
国際関係研究科	国際関係学専攻	博士課程後期課程	10		30	国際関係研究科	国際関係学専攻	博士課程後期課程	10		30	
政策科学研究科	政策科学専攻	博士課程前期課程	40		80	政策科学研究科	政策科学専攻	博士課程前期課程	40		80	
政策科学研究科	政策科学専攻	博士課程後期課程	15		45	政策科学研究科	政策科学専攻	博士課程後期課程	15		45	
応用人間科学研究科	応用人間科学専攻	修士課程	60		120				0		0	平成30年4月学生募集停止
言語教育情報研究科	言語教育情報専攻	修士課程	60		120	言語教育情報研究科	言語教育情報専攻	修士課程	60		120	
ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究科	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻	博士課程前期課程	70		140	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究科	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻	博士課程前期課程	70		140	
ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究科	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻	博士課程後期課程	5		15	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究科	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻	博士課程後期課程	5		15	
公務研究科	公共政策専攻	修士課程	60		120				0		0	平成30年4月学生募集停止
ｽﾎﾟｰﾂ健康科学研究科	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学専攻	博士課程前期課程	25		50	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学研究科	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学専攻	博士課程前期課程	25		50	
ｽﾎﾟｰﾂ健康科学研究科	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学専攻	博士課程後期課程	8		24	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学研究科	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学専攻	博士課程後期課程	8		24	
映像研究科	映像専攻	修士課程	10		20	映像研究科	映像専攻	修士課程	10		20	
情報理工学研究科	情報理工学専攻	博士課程前期課程	200		400	情報理工学研究科	情報理工学専攻	博士課程前期課程	200		400	
情報理工学研究科	情報理工学専攻	博士課程後期課程	15		45	情報理工学研究科	情報理工学専攻	博士課程後期課程	15		45	
生命科学研究科	生命科学専攻	博士課程前期課程	150		300	生命科学研究科	生命科学専攻	博士課程前期課程	150		300	
生命科学研究科	生命科学専攻	博士課程後期課程	15		45	生命科学研究科	生命科学専攻	博士課程後期課程	15		45	
薬学研究科	薬学専攻	博士課程	3		12	薬学研究科	薬学専攻	博士課程	3		12	
先端総合学術研究科	先端総合学術専攻	一貫制博士課程	30		150	先端総合学術研究科	先端総合学術専攻	一貫制博士課程	30		150	
法務研究科	法曹養成専攻	専門職学位課程	70		210	法務研究科	法曹養成専攻	専門職学位課程	70		210	
経営管理研究科	経営管理専攻	専門職学位課程	80		160	経営管理研究科	経営管理専攻	専門職学位課程	80		160	
教職研究科	実践教育専攻	専門職学位課程	35		70	教職研究科	実践教育専攻	専門職学位課程	35		70	
						人間科学研究科	人間科学専攻	博士課程前期課程	65		130	研究科の設置（届出）
						人間科学研究科	人間科学専攻	博士課程後期課程	20		60	研究科の設置（届出）
計			1,926		4,206	計			1,891		4,156	
立命館アジア太平洋大学						立命館アジア太平洋大学						
アジア太平洋学部	アジア太平洋学科		660	2年次12 3年次18	2,712	アジア太平洋学部	アジア太平洋学科		660	2年次12 3年次18	2,712	
国際経営学部	国際経営学科		660	2年次22 3年次31	2,768	国際経営学部	国際経営学科		660	2年次22 3年次31	2,768	
計			1,320	2年次34 3年次49	5,480	計			1,320	2年次34 3年次49	5,480	
立命館アジア太平洋大学大学院						立命館アジア太平洋大学大学院						
アジア太平洋研究科	アジア太平洋学専攻	博士課程前期課程	15		30	アジア太平洋研究科	アジア太平洋学専攻	博士課程前期課程	15		30	
アジア太平洋研究科	アジア太平洋学専攻	博士課程後期課程	10		30	アジア太平洋研究科	アジア太平洋学専攻	博士課程後期課程	10		30	
アジア太平洋研究科	国際協力政策専攻	博士課程前期課程	45		90	アジア太平洋研究科	国際協力政策専攻	博士課程前期課程	45		90	
経営管理研究科	経営管理専攻	修士課程	40		80	経営管理研究科	経営管理専攻	修士課程	40		80	
計			110		230	計			110		230	

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											立命館大学							アメリカン大学							
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
基礎科目	ANTH-225 Language and Human Experience		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ANTH-250 Human Origins		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ARTH-105 Art: The Historical Experience		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ARTS-100 Art: The Studio Experience		1前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	BIO-100 Great Experiments in Biology		1前・後	アメリカン大学		4		○										1				1	1	
	CHEM-100 The Molecular World		1前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	COMM-105 Visual Literacy		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ENVS-150 The Sustainable Earth		1前・後	アメリカン大学		4		○												1		1	1	
	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	HPRM-205 Introduction to Nutrition		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	JLC-110 Western Legal Tradition		1前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	LIT-225 African Literature		2後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	MATH-150 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-151 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-154 Great Ideas in Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	MATH-155 Elementary Mathematic Models		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	MATH-160 Applied Precalculus		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	MATH-170 Precalculus Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	MATH-211 Applied Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○												1		1	1	
	MATH-221 Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○										1				1	1	
	MATH-222 Calculus II		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	MATH-310 Linear Algebra		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-313 Calculus III		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○												1		1	1	
	MATH-321 Differential Equations		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-401 Probability		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置															備考
											立命館大学						アメリカン大学									
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計			
基礎科目	MATH-403 Foundations of Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1			
	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年		
	MATH-405 Mathematical Logic		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年		
	MATH-410 Geometry		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年		
	MATH-412 Introduction to Modern Algebra		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1			
	MATH-413 Rings and Fields		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年		
	MATH-415 Number Theory		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年		
	MATH-420 Introduction to Analysis		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1			
	MATH-421 Measure Theory and Integration		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	隔年		
	MATH-440 Topology		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年		
	MATH-450 Complex Analysis		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1			
	MATH-451 Partial Differential Equations		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年		
	MATH-460 Tools of Scientific Computing		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1			
	MATH-465 Numerical Analysis: Basic Problems		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年		
	MATH-470 History of Mathematics		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	隔年		
	MATH-480 Advanced Topics in Mathematics		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1			
	MATH-565 Mathematical Applications of Interest and Derivatives		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年		
	PERF-110 Understanding Music		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1			
	PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances		1前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1			
	PHIL-105 Western Philosophy		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1			
	PSYC-115 Psychology as a Natural Science		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1			
	PSYC-116 Psychology as a Natural Science lab		1前・後	アメリカン大学		1			○										1			1	1			
	PSYC-200 Behavior Principles		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1			
	RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1			
	STAT-202 Basic Statistics		2前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1			
	STAT-203 Basic Statistics with Calculus		2前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1			

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置																備考
											立命館大学							アメリカン大学										
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
基礎科目	STAT-204 Introduction to Business Statistics		2前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	STAT-302 Intermediate Statistics		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	STAT-320 Biostatistics		3前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	STAT-370 Introduction to Statistical Computing and Modeling		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	STAT-402 Introduction to Mathematical Statistics		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	STAT-405 Introduction to Survey Sampling		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	隔年
	STAT-415 Regression		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	STAT-422 Advanced Biostatistics		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	STAT-424 Data Analysis		4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	STAT-425 Statistical Software		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	WGSS-150 Women's Voices Through Time		1前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	WRTG-100 College Writing		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	WRTG-101 College Writing Seminar		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	WRTG-102 College Writing		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	WRTG-103 College Writing Seminar		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	WRTG-106 College Writing, Intensive		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	Introduction to Linguistics		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Introduction to Anthropology		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Sociology for Global Studies		1前	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Politics for Global Studies		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Modern World History		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Professional Workshop		2前	立命館大学		2		○						2		2							2	オムニバス・共同(一部)
	Academic SkillsI		1前	立命館大学		4		○				2				2							2	
	Academic Skills II		1前	立命館大学		4		○				2				2							2	
	Academic Skills III		1後	立命館大学		4		○				2				2							2	
	小計(77科目)		―		0	237	0	―			2	5	0	2	0	9	11	9	22	9	0	51	60	―

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置													備考
												立命館大学							アメリカン大学						
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
基幹科目	基礎経済学	ECON-100 Macroeconomics FA4		1前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		ECON-200 Microeconomics FA4		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		Macroeconomics		1後	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Microeconomics		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Economics for Global Studies		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		小計（5科目）		－		0	12	0	－			1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	3	－
	国際政治	SISU-105 World Politics FA3		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		Theories of International Relations		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Introductory Seminar I		1前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		小計（3科目）		－		0	7	0	－			0	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	3	－
	コーホート	SISU-106 First Year Seminar	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	3				○								1					1	1	
		SISU-140 Cross-Cultural Communication		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		Japanese Culture	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	2			○			1					1							1	
		Cultural Awareness and Communication	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	2			○				1				1							1	
		小計(4科目)		－		7	3	0	－			1	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	2	4	－
	経済学	SISU-300 Introduction to International Economics		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		ECON-370 International Economics		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		ECON-371 International Economics: Trade		3前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		ECON-372 International Economics: Finance		3後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		International Finance		3後	立命館大学		2		○			1					1							1	
		International Trade and Investment		3前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		小計（6科目）		－		0	16	0	－			2	0	0	0	0	2	2	1	0	1	0	4	6	－
リサーチメソッド科目		SISU-206 Introduction to International Relations Research		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		Introductory Seminar II		1後	立命館大学		2			○					1		1							1	
		Global Studies Research		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Advanced Seminar (Research Methods)		3前	立命館大学		2			○		2	6				8							8	
		SISU-306 Advanced International Studies Research		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		小計（5科目）		－		0	12	0	－			2	7	0	1	0	10	0	0	1	1	0	2	12	－

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											立命館大学						アメリカン大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
外国語科目	日本語Ⅰ-1（総合）		1前・後	立命館大学		3			○			1				1						1		
	日本語Ⅰ-2（総合）		1前・後	立命館大学		3			○			1				1						1		
	日本語Ⅱ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○			1				1						1		
	日本語Ⅱ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○			1				1						1		
	日本語Ⅲ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○			1				1						1		
	日本語Ⅲ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○			1				1						1		
	日本語Ⅳ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅳ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○														0	兼1
	日本語Ⅴ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅴ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○														0	兼1
	日本語Ⅵ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅵ（総合）		1前・後	立命館大学		3			○														0	兼1
	日本語Ⅵ（聴解口頭）		1前・後	立命館大学		2			○														0	兼1
	日本語Ⅶ（聴解口頭a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅶ（聴解口頭b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅶ（読解a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅶ（読解b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅶ（文章表現a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅶ（文章表現b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅷ（アカデミック日本語a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅷ（アカデミック日本語b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅷ（キャリア日本語a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
	日本語Ⅷ（キャリア日本語b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
	JAPN-114: Elementary Japanese I		1後	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
	JAPN-115: Elementary Japanese II		1前	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
	JAPN-214: Intermediate Japanese I		2後	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
	JAPN-215: Intermediate Japanese II		2前	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
	JAPN-314: Advanced Japanese I		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	JAPN-315: Advanced Japanese II		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	JAPN490: Independent Research in Japanese		4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6		○											1			1	1	
	小計(30科目)		－		0	93	0	－			0	1	0	0	0	1	0	0	4	0	0	4	5	－

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	教員等の配置 立命館大学 教授	立命館大学 准教授	立命館大学 講師	立命館大学 助教	立命館大学 助手	立命館大学 小計	アメリカン大学 教授に相当する教員	アメリカン大学 准教授に相当する教員	アメリカン大学 講師に相当する教員	アメリカン大学 助教に相当する教員	アメリカン大学 助手に相当する教員	アメリカン大学 小計	合計	備考
固有専門科目	Global and Comparative Governance 専門入門科目	SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		Introduction to The United Nations		2前	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Comparative and Global Governance		2前	立命館大学		2		○						1		1							1	
		小計（３科目）		ー		0	7	0		ー		0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	2	ー
	Identity, Race, Gender, and Culture 専門入門科目	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		Race and Ethnicity in the Modern World		2前・後	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Introduction to Gender Studies		2前・後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		小計（３科目）		ー		0	7	0		ー		0	1	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	3	ー
	Peace, Global Security, and Conflict Resolution 専門入門科目	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		Security Studies		2前・後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Introduction to peace studies		2前・後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		小計（3科目）		ー		0	7	0		ー		0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	3	ー
固有専門科目	Comparative Governance 固有専門科目 Global and	SISU-381 African Political Institutions		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-383 Overview of the European Union		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SISU-385 Islam and Democracy		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-386 Contemporary Africa		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-387 Contemporary India		3後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		SISU-393 International Relations Theory		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		GOVT-315 Elections and Voting Behavior		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-329 Global Economic Governance		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		Global Civil Society and Development		3後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Global Sociology		3前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		International Human Rights		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Global Simulation Gaming		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		International Migration		3後	立命館大学		2		○						1		1							1	
		International Law		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Global Environmental Issues		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		International Organizations		3前	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学		3		○				1				1							1	
		Special Lecture (GCG)		2後	立命館大学		2		○						1		1							1	
		SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1			1	1	
		Internship		2・3・4前・後	立命館大学		2				○	1					1							1	※講義
		小計(21科目)		ー		0	71	0		ー		1	5	0	2	0	8	2	2	4	1	0	9	17	ー

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置															備考
												立命館大学						アメリカン大学									
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計				
固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1		
		ANTH-210 Race and Racism FA3		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1		
		HPRM-441 Health Communication		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1		
		SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1		
		SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1		
		SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1		
		SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1		
		SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1		
		SISU-369 Topics in Public Diplomacy		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1		
		SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1		
		SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1		
		SOCY-310 Language, Culture, Power		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1		
		SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1		
		SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research		4前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年	
		SISU-393 International Relations Theory		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1		
		Media and Society		3後	立命館大学		2		○				1				1							1		
		Topics in Identity		3前	立命館大学		2		○				1				1							1		
		Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学		2		○				1				1							1		
		Special Lecture (IRGC)		2前	立命館大学		2		○						1		1							1		
		SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1				1		
		Internship		2・3・4前・後	立命館大学		2				○	1					1							1	※講義	
		小計(21科目)		―		0	76	0	－			1	2	0	1	0	4	4	2	5	5	0	16	20	―	

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置															備考
												立命館大学						アメリカン大学									
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution		3前・後	アメリカン大学		3		○										1			1	1		
		SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia		3前・後	アメリカン大学		3		○												1	1	1		
		SISU-313 Transatlantic Security		3後	アメリカン大学		3		○											1		1	1		
		SISU-316 United States-Russian/Eurasian Security Relations		3前・後	アメリカン大学		3		○											1		1	1		
		SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy		3前・後	アメリカン大学		3		○											1		1	1		
		SISU-319 Arab-Israeli Relations		3前	アメリカン大学		3		○										1			1	1		
		SISU-359 Environment, Conflict, and Peace		3後	アメリカン大学		3		○											1		1	1		
		SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution		3後	アメリカン大学		3		○											1		1	1		
		SISU-393 International Relations Theory		3後	アメリカン大学		3		○											1		1	1		
		IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum		4前・後	アメリカン大学		3		○									1				1	1		
		MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum		4前・後	アメリカン大学		3		○									1				1	1		
		RELG-475 Religion and Violence		4前	アメリカン大学		3		○										1			1	1		
		WGSS-350 Interpreting Gender in Culture ： Gender and Violence		3後	アメリカン大学		3		○											1		1	1		
		Peace and Conflict Studies		3前	立命館大学		2		○				1				1						1		
		Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学		2		○				1				1						1		
		Global Simulation Gaming		2前	立命館大学		2		○				1				1						1		
		Special Lecture (PGSCR)		2後	立命館大学		2		○				1				1						1		
		SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1		1	1		
		Internship		2前・後	立命館大学		2				○	1					1						1		※講義
		小計(19 科目)		―		0	70	0	―			1	4	0	0	0	5	1	3	6	3	0	13	18	―	

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											立命館大学							アメリカン大学							
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
地域研究科目	ANTH-439 Culture, History, Power, Place		4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	AWST-225 Arab Societies		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	FREN-431 Civilisation Francaise I		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
	FREN-432 Civilisation Francaise II		4前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
	FREN-433 French Topics		4前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	GERM-336 German Topics		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	GERM-438 German Civilization I.		4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	GERM-439 German Civilization II		4前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	GOVT-233 Communism and Capitalism in East Asia		2後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
	GOVT-334 Modern British Politics		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	GOVT-349 The Middle East in Comparative Perspective		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
	GOVT-432 Political Institutions and Processes in Selected Countries		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	GOVT-433 Topics in Sub-Saharan African Politics		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
	GOVT-450 Politics in Cuba		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	HIST-204 Medieval Europe		2前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
	HIST-221 History of Britain I		2後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	HIST-222 History of Britain II		2前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	HIST-225 Russia and the Origins of Contemporary Eurasia		2前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-231 The Russian Empire, 1650-1917		2後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-232 The Soviet Union		2前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-241 Colonial Latin America		2後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-242 Latin America since Independence		2前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-250 Empires and States in East Asia		2前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	HIST-327 Twentieth Century Europe		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	HIST-418 Nazi Germany		4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-419 Holocaust		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-437 British Studies		4前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	HIST-440 Latin American Studies		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-443 History of Israel		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-445 Russian Studies		4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-447 Asian Studies		4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	JLC-471 Evolution of Global Jihad		4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	JWST-205 Ancient and Medieval Jewish Civilization		2後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	LIT-225 African Literature		2後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	LIT-267 Literatures of the Global South		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	RELG-185 The Religious Heritage of Asia		1前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	RELG-210 Non-Western Religious Traditions		2前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	RELG-470 Islam		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	RELG-473 Hinduism		4前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
	RUSS-200 Russia and the United States		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-211 Civilizations of Africa		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置																備考
											立命館大学							アメリカン大学										
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
地域研究科目	SISU-212 China, Japan and the United States		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-213 Contemporary Europe		2前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-214 Contemporary Latin America		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-215 Contemporary Middle East		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-216 Contemporary Russia		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-387 Contemporary India		3後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	SPAN-355 Spanish Introductory Topics		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SPAN-456 Spanish Topics		4前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring		2前	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6		○										1				1	1	
	Japanese Politics		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Japanese Society		2後	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Japanese Economy		2後	立命館大学		2		○			1					1							1	
	United States Politics and Foreign Policy		3後	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Japan-United States Relations		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Special Lecture (Area Studies Course)		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Foreign Relations of Japan		3前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Business Administration of Japan		3後	立命館大学		2		○						1		1							1	
	Korean Studies		3前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Contemporary China		3前	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Advanced topics in Area studies		2後	立命館大学		2		○			1					1							1	
	South East Asian Studies		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Modern Japanese History		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Introduction to Area Studies		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Kyoto and Japanese Arts		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Japan and the west		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
	SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1			1	1	
	Internship(Area Studies)		2・3・4前・後	立命館大学		2				○	1					1							1	※講義
	小計(72科目)		－		0	235	0	－			8	3	0	1	0	12	14	8	11	11	0	45	57	
シニアキャップストーン科目	SISU-419 Senior Capstone: International Studies		4前・後	アメリカン大学		3			○										1			1	1	
	Advanced Seminar		3・４後	立命館大学		2			○		2	6				8							8	
	Graduation Research		4後	立命館大学		2			○		2	6				8							8	
	小計(3科目)		－		0	7	0	－			2	6	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	9	－

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置													備考
											立命館大学							アメリカン大学							
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
選択科目	Independent Study		3前・後	アメリカン大学		1, 2, 3			○								1					1	1	
	Global Political Economy		2後	立命館大学		2		○			2					2							2	
	Introduction to Law		1前	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Introduction to Natural Sciences		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
	Introduction to Humanities		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
	Development Studies		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
	小計（6科目）		－		0	16	0	－			3	3	0	0	0	6	1	0	0	0	0	1	7	－
自由科目	Intensive English Ⅰ		1前	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅱ		1前	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅲ		1前	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅳ		1後	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅴ		1後	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅵ		1後	立命館大学			1		○			1				1							1	
	小計（6科目）		1		0	0	6	－			0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	－
合計（287科目）			－		7	876	6	－			9	14	0	2	0	25	36	24	47	27	0	134	159	－

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置												備考
											立命館大学							アメリカン大学						
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
学位又は称号			学士（グローバル国際関係学）		学位又は学科の分野			文学関係、法学関係、経済学関係															
卒業要件及び履修方法					開設大学等			開設単位数（必修）			授業期間等												
学生は、卒業の要件として、下記の単位修得要件に従って124単位を修得すること。 学生は、アカデミックガイドブックに記載される履修ガイダンスにしたがってそれぞれの科目要件を満たすものとする。 基礎科目（38単位以上をアカデミックガイドブックの履修ガイダンスにそって習得すること。 基幹科目を下記に詳述される要件に沿って18単位以上 基礎経済学　6単位以上 国際政治　3単位以上 コーホート　6単位以上 経済学　3単位以上 外国語科目　3単位以上 中級以上の日本語能力を取得すること リサーチ手法科目　6単位以上 固有専門科目　18単位以上 専門入門 9単位以上　主副専攻分野からそれぞれ3単位以上 固有専門 9単位以上　主分野から6単位以上、副分野から3単位以上 地域研究科目9単位以上　東洋およびアジア太平洋について3つ以上の科目を習得すること。3年次配当以上の科目をひとつ含むこと。 シニアキャップストーン科目　3単位以上 ＊卒業要件としてアメリカン大学基準によるGPA2.0以上を取得すること ＊立命館大学において実施される科目もしくはアメリカン大学において実施される共同開設科目を、卒業要件である124単位の半数以上修得すること。 ＊アメリカン大学において実施される授業科目（立命館大学によるアメリカン大学での共同開設科目を含む）を卒業要件である124単位の半数より多く取得すること。 ＊学生は、それぞれのホーム校においてキャップストーンプロジェクトを完成させること。 ＊学生は、履修要件を満たすにあたり、アカデミックハンドブックに記載されている履修ガイダンスに従うこと。					立命館大学			199（0）			1学年の学期区分												2学期
					アメリカン大学			683（0）			1学期の授業期間												立命館大学　15週 アメリカン大学　14週
					共同開設科目			7（3）			1時限の授業時間												立命館大学　90分 アメリカン大学　150分

（注）

1　国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その２の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。

2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）（立命館大学）

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置													備考
												立命館大学						アメリカン大学							
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
基礎科目		Introduction to Linguistics		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Introduction to Anthropology		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Sociology for Global Studies		1前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Politics for Global Studies		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Modern World History		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Professional Workshop		2前	立命館大学		2		○						2		2							2	オムニバス・共同（一部）
		Academic SkillsI		1前	立命館大学		4		○				2				2							2	
		Academic Skills II		1前	立命館大学		4		○				2				2							2	
		Academic Skills III		1後	立命館大学		4		○				2				2							2	
		小計(9科目)		－		0	24	0	－			2	5	0	2	0	9	0	0	0	0	0	0	9	－
基幹科目	基礎経済学	Macroeconomics		1後	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Microeconomics		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Economics for Global Studies		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		小計(3科目)		－		0	6	0	－			1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	－
	国際政治	Theories of International Relations		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Introductory Seminar I		1前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		小計(2科目)		－		0	4	0	－			0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	－
	コーホート	SISU-106 First Year Seminar	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	3				○								1					1	1	
		Japanese Culture	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	2			○			1					1							1	
		Cultural Awareness and Communication	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	2			○				1				1							1	
		小計(3 科目)		－		7	0	0	－			1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	3	－
	経済学	International Finance		3後	立命館大学		2		○			1					1							1	
		International Trade and Investment		3前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		小計(2科目)		－		0	4	0	－			2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	－
リサーチソッド科目		Introductory Seminar II		1後	立命館大学		2			○					1		1							1	
		Global Studies Research		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Advanced Seminar (Research Methods)		3前	立命館大学		2			○		2	6				8							8	
		小計(3科目)		－		0	6	0	－			2	7	0	1	0	10	0	0	0	0	0	0	10	－
外国語科目		日本語Ⅰ-1（総合）		1前・後	立命館大学		3			○			1				1							1	
		日本語Ⅰ-2（総合）		1前・後	立命館大学		3			○			1				1							1	
		日本語Ⅱ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○			1				1							1	
		日本語Ⅱ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○			1				1							1	
		日本語Ⅲ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○			1				1							1	
		日本語Ⅲ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○			1				1							1	
		日本語Ⅳ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅳ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○														0	兼1

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置													備考
												立命館大学							アメリカン大学							
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
外国語科目		日本語Ⅴ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅴ（総合）		1前・後	立命館大学		5			○														0	兼1
		日本語Ⅵ（ライティング）		1前・後	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅵ（総合）		1前・後	立命館大学		3			○														0	兼1
		日本語Ⅵ（聴解ロ頭）		1前・後	立命館大学		2			○														0	兼1
		日本語Ⅶ（聴解ロ頭a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅶ（聴解ロ頭b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅶ（読解a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅶ（読解b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅶ（文章表現a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅶ（文章表現b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅷ（アカデミック日本語a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅷ（アカデミック日本語b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅷ（キャリア日本語a）		1前	立命館大学		1			○														0	兼1
		日本語Ⅷ（キャリア日本語b）		1後	立命館大学		1			○														0	兼1
		小計（23科目）		－		0	46	0		－		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	－
固有専門科目	専門科目	Introduction to The United Nations		2前	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Comparative and Global Governance		2前	立命館大学		2		○						1		1							1	
		小計（2科目）		－		0	4	0		－		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	－
	専門科目	Race and Ethnicity in the Modern World		2前・後	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Introduction to Gender Studies		2前・後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		小計（2科目）		－		0	4	0		－		0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	－
	専門科目	Security Studies		2前・後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Introduction to peace studies		2前・後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		小計（2科目）		－		0	4	0		－		0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	－
	固有専門科目	Global Civil Society and Development		3後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Global Sociology		3前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		International Human Rights		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Global Simulation Gaming		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		International Migration		3後	立命館大学		2		○						1		1							1	
		International Law		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Global Environmental Issues		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		International Organizations		3前	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学		3		○				1				1							1	
		Special Lecture (GCG)		2後	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Internship		2・3・4前・後	立命館大学		2				○	1					1							1	※講義
		小計（11科目）		－		0	23	0		－		1	5	0	2	0	8	0	0	0	0	0	0	8	－

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
												立命館大学						アメリカン大学								
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	Media and Society		3後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Topics in Identity		3前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Special Lecture (IRGC)		2前	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Internship		2・3・4前・後	立命館大学		2				○	1					1							1	※講義
		小計(5科目)		—		0	10	0		−		1	2	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	4	—
	固有専門科目 Peace, Global Security, Conflict Resolution 科目	Peace and Conflict Studies		3前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Global Simulation Gaming		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Special Lecture (PGSCR)		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Internship		2前・後	立命館大学		2				○	1					1							1	※講義
		小計(5 科目)		—		0	10	0		—		1	4	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	—
地域研究科目		Japanese Politics		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Japanese Society		2後	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Japanese Economy		2後	立命館大学		2		○			1					1							1	
		United States Politics and Foreign Policy		3後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Japan-United States Relations		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Special Lecture (Area Studies Course)		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Foreign Relations of Japan		3前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Business Administration of Japan		3後	立命館大学		2		○						1		1							1	
		Korean Studies		3前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Contemporary China		3前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Advanced topics in Area studies		2後	立命館大学		2		○			1					1							1	
		South East Asian Studies		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Modern Japanese History		2前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Introduction to Area Studies		2前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Kyoto and Japanese Arts		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Japan and the west		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Internship(Area Studies)		2・3・4前・後	立命館大学		2				○	1					1							1	※講義
		小計(17科目)		—		0	34	0		—		8	3	0	1	0	12	0	0	0	0	0	0	12	—
シニアキャップストーン科目		Advanced Seminar		3･4後	立命館大学		2			○		2	6				8							8	
		Graduation Research		4後	立命館大学		2			○		2	6				8							8	
		小計(2科目)		—		0	4	0		—		2	6	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8	—
選択科目		Global Political Economy		2後	立命館大学		2		○			2					2							2	
		Introduction to Law		1前	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Introduction to Natural Sciences		1前	立命館大学		2		○			1					1							1	
		Introduction to Humanities		1後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		Development Studies		2後	立命館大学		2		○				1				1							1	
		小計（5科目）		—		0	10	0		—		3	3	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6	—

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置															備考
											立命館大学							アメリカン大学									
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
自由科目	Intensive English Ⅰ		1前	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅱ		1前	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅲ		1前	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅳ		1後	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅴ		1後	立命館大学			1		○			1				1							1	
	Intensive English Ⅵ		1後	立命館大学			1		○			1				1							1	
	小計（6科目）		1		0	0	6		－		0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	－
合計（ 102 科目）			－		7	193	6		－		9	14	0	2	0	25	1	0	0	0	0	0	26	－

学位又は称号	学士（グローバル国際関係学）	学位又は学科の分野	文学関係、法学関係、経済学関係

卒業要件及び履修方法	開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等	
学生は、卒業の要件として、下記の単位修得要件に従って124単位を修得すること。 学生は、アカデミックガイドブックに記載される履修ガイダンスにしたがってそれぞれの科目要件を満たすものとする。 基礎科目（38単位以上をアカデミックガイドブックの履修ガイダンスにそって習得すること。 基幹科目を下記に詳述される要件に沿って18単位以上 基礎経済学　6単位以上 国際政治　3単位以上 コーホート　6単位以上 経済学　3単位以上 外国語科目　3単位以上 中級以上の日本語能力を取得すること リサーチ手法科目　6単位以上 固有専門科目　18単位以上 専門入門 9単位以上　主副専攻分野からそれぞれ3単位以上 固有専門 9単位以上　主分野から6単位以上、副分野から3単位以上 地域研究科目9単位以上　東洋およびアジア太平洋について3つ以上の科目を習得すること。3年次配当以上の科目をひとつ含むこと。 シニアキャップストーン科目　3単位以上 ＊卒業要件としてアメリカン大学基準によるGPA2.0以上を取得すること ＊立命館大学において実施される科目もしくはアメリカン大学において実施される共同開設科目を、卒業要件である124単位の半数以上修得すること。 ＊アメリカン大学において実施される授業科目（立命館大学によるアメリカン大学での共同開設科目を含む）を卒業要件である124単位の半数より多く取得すること。 ＊学生は、それぞれのホーム校においてキャップストーンプロジェクトを完成させること。 ＊学生は、履修要件を満たすにあたり、アカデミックハンドブックに記載されている履修ガイダンスに従うこと。	立命館大学	199（0）	1学年の学期区分	2学期
			1学期の授業期間	15週
	共同開設科目	7（3）	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）（アメリカン大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											立命館大学							アメリカン大学							
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
基礎科目	ANTH-225 Language and Human Experience		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ANTH-250 Human Origins		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ARTH-105 Art: The Historical Experience		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ARTS-100 Art: The Studio Experience		1前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	BIO-100 Great Experiments in Biology		1前・後	アメリカン大学		4		○										1				1	1	
	CHEM-100 The Molecular World		1前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	COMM-105 Visual Literacy		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	ENVS-150 The Sustainable Earth		1前・後	アメリカン大学		4		○												1		1	1	
	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	HPRM-205 Introduction to Nutrition		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	JLC-110 Western Legal Tradition		1前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	LIT-225 African Literature		2後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	MATH-150 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-151 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-154 Great Ideas in Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	MATH-155 Elementary Mathematic Models		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	MATH-160 Applied Precalculus		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	MATH-170 Precalculus Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	MATH-211 Applied Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○												1		1	1	
	MATH-221 Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○										1				1	1	
	MATH-222 Calculus II		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	MATH-310 Linear Algebra		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-313 Calculus III		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		4		○												1		1	1	
	MATH-321 Differential Equations		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-401 Probability		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	MATH-403 Foundations of Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											立命館大学						アメリカン大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
基礎科目	MATH-405 Mathematical Logic		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	MATH-410 Geometry		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	MATH-412 Introduction to Modern Algebra		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-413 Rings and Fields		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	MATH-415 Number Theory		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	MATH-420 Introduction to Analysis		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-421 Measure Theory and Integration		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	隔年
	MATH-440 Topology		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
	MATH-450 Complex Analysis		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-451 Partial Differential Equations		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
	MATH-460 Tools of Scientific Computing		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-465 Numerical Analysis: Basic Problems		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
	MATH-470 History of Mathematics		1・2・3・4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	隔年
	MATH-480 Advanced Topics in Mathematics		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	MATH-565 Mathematical Applications of Interest and Derivatives		1・2・3・4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
	PERF-110 Understanding Music		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances		1前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	PHIL-105 Western Philosophy		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	PSYC-115 Psychology as a Natural Science		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	PSYC-116 Psychology as a Natural Science lab		1前・後	アメリカン大学		1			○										1			1	1	
	PSYC-200 Behavior Principles		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	STAT-202 Basic Statistics		2前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
	STAT-203 Basic Statistics with Calculus		2前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置															備考
												立命館大学							アメリカン大学								
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
基礎科目		STAT-204 Introduction to Business Statistics		2前・後	アメリカン大学		4		○											1			1	1	
		STAT-302 Intermediate Statistics		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		STAT-320 Biostatistics		3前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		STAT-370 Introduction to Statistical Computing and Modeling		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		STAT-402 Introduction to Mathematical Statistics		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		STAT-405 Introduction to Survey Sampling		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	隔年
		STAT-415 Regression		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		STAT-422 Advanced Biostatistics		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		STAT-424 Data Analysis		4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		STAT-425 Statistical Software		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		WGSS-150 Women's Voices Through Time		1前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		WRTG-100 College Writing		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		WRTG-101 College Writing Seminar		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		WRTG-102 College Writing		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		WRTG-103 College Writing Seminar		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		WRTG-106 College Writing, Intensive		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		小計(68科目)		－		0	213	0	－			0	0	0	0	0	0	11	9	22	9	0	51	51	－
基幹科目	基礎経済学	ECON-100 Macroeconomics FA4		1前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		ECON-200 Microeconomics FA4		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		小計(2科目)		－		0	6	0	－			0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2	－
	国際政治	SISU-105 World Politics FA3		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		小計(1科目)		－		0	3	0	－			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	－
	コーホート	SISU-140 Cross-Cultural Communication		1前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		小計(1科目)		－		0	3	0	－			0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2	－
	経済学	SISU-300 Introduction to International Economics		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		ECON-370 International Economics		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		ECON-371 International Economics: Trade		3前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		ECON-372 International Economics: Finance		3後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		小計(4科目)		－		0	12	0	－			0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	4	4	－
リサーチメソッド科目		SISU-206 Introduction to International Relations Research		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-306 Advanced International Studies Research		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		小計(2科目)		－		0	6	0	－			0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	－

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置															備考
												立命館大学							アメリカン大学								
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
外国語科目		JAPN-114: Elementary Japanese I		1後	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
		JAPN-115: Elementary Japanese II		1前	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
		JAPN-214: Intermediate Japanese I		2後	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
		JAPN-215: Intermediate Japanese II		2前	アメリカン大学		5		○											1			1	1	
		JAPN-314: Advanced Japanese I		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		JAPN-315: Advanced Japanese II		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		JAPAN490: Independent Research in Japanese		4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6		○											1			1	1	
		小計(７科目)		－		0	47	0	－			0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	4	－
固有専門科目	専門科目	SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		小計(1科目)		－		0	3	0	－			0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	－
	専門科目	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		小計(1科目)		－		0	3	0	－			0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	－
	専門科目	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		小計(1科目)		－		0	3	0	－			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	－
固有専門科目	固有専門科目 Global Governance and Transnational Civic Engagement	SISU-381 African Political Institutions		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-383 Overview of the European Union		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SISU-385 Islam and Democracy		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-386 Contemporary Africa		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-387 Contemporary India		3後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		SISU-393 International Relations Theory		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		GOVT-315 Elections and Voting Behavior		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-329 Global Economic Governance		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1			1	1	
		小計(10科目)		－		0	48	0	－			0	0	0	0	0	0	2	2	4	1	0	9	9	－

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
												立命館大学						アメリカン大学								
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		ANTH-210 Race and Racism FA3		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		HPRM-441 Health Communication		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-369 Topics in Public Diplomacy		3前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SOCY-310 Language, Culture, Power		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research		4前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
		SISU-393 International Relations Theory		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1			1	1	
		小計(16科目)		－		0	66	0	－			0	0	0	0	0	0	4	2	5	5	0	16	16	－
	固有専門科目 Security, Peace, and Global Conflict Resolution	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-313 Transatlantic Security		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-316 United States-Russian/Eurasian Security Relations		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-319 Arab-Israeli Relations		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SISU-359 Environment, Conflict, and Peace		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		SISU-393 International Relations Theory		3後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	

科目区分		授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置															備考
												立命館大学							アメリカン大学								
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
固有専門科目	Peace, Global Business, Social Entrepreneurship, Conflict Resolution 固有専門科目	IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum		4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum		4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		RELG-475 Religion and Violence		4前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		WGSS-350 Interpreting Gender in Culture : Gender and Violence		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1			1	1	
		小計(14 科目)		－		0	60	0	－			0	0	0	0	0	0	1	3	6	3	0	13	13	－
	地域研究科目	ANTH-439 Culture, History, Power, Place		4前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		AWST-225 Arab Societies		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		FREN-431 Civilisation Francaise I		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
		FREN-432 Civilisation Francaise II		4前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
		FREN-433 French Topics		4前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		GERM-336 German Topics		3前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		GERM-438 German Civilization I.		4後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
		GERM-439 German Civilization II		4前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
		GOVT-233 Communism and Capitalism in East Asia		2後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
		GOVT-334 Modern British Politics		3前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		GOVT-349 The Middle East in Comparative Perspective		3前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
		GOVT-432 Political Institutions and Processes in Selected Countries		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
		GOVT-433 Topics in Sub-Saharan African Politics		4後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
		GOVT-450 Politics in Cuba		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815		1前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		HIST-204 Medieval Europe		2前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	隔年
		HIST-221 History of Britain I		2後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
		HIST-222 History of Britain II		2前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
		HIST-225 Russia and the Origins of Contemporary Eurasia		2前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		HIST-231 The Russian Empire, 1650-1917		2後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		HIST-232 The Soviet Union		2前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
		HIST-241 Colonial Latin America		2後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											立命館大学						アメリカン大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
地域研究科目	HIST-242 Latin America since Independence		2前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-250 Empires and States in East Asia		2前	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	HIST-327 Twentieth Century Europe		3後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	隔年
	HIST-418 Nazi Germany		4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-419 Holocaust		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-437 British Studies		4前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	HIST-440 Latin American Studies		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-443 History of Israel		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-445 Russian Studies		4前	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	HIST-447 Asian Studies		4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	JLC-471 Evolution of Global Jihad		4後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	JWST-205 Ancient and Medieval Jewish Civilization		2後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	LIT-225 African Literature		2後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	LIT-267 Literatures of the Global South		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	RELG-185 The Religious Heritage of Asia		1前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	RELG-210 Non-Western Religious Traditions		2前・後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	RELG-470 Islam		4後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	RELG-473 Hinduism		4前	アメリカン大学		3		○										1				1	1	隔年
	RUSS-200 Russia and the United States		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-211 Civilizations of Africa		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-212 China, Japan and the United States		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-213 Contemporary Europe		2前	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-214 Contemporary Latin America		2前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-215 Contemporary Middle East		2前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-216 Contemporary Russia		2後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-387 Contemporary India		3後	アメリカン大学		3		○									1					1	1	
	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature		2前・後	アメリカン大学		3		○										1				1	1	
	SPAN-355 Spanish Introductory Topics		3前・後	アメリカン大学		3		○											1			1	1	
	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature		3前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											立命館大学						アメリカン大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
地域研究科目	SPAN-456 Spanish Topics		4前・後	アメリカン大学		3		○												1		1	1	
	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring		2前	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6		○										1				1	1	
	SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学		1, 2, 3, 4, 5, 6				○									1			1	1	
	小計(55科目)		－		0	201	0	－			0	0	0	0	0	0	14	7	12	11	0	44	44	
シニアキャップストーン科目	SISU-419 Senior Capstone: International Studies		4前・後	アメリカン大学		3			○										1			1	1	
	小計(1科目)		－		0	3	0	－			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	－
選択科目	Independent Study		3前・後	アメリカン大学		1, 2, 3			○								1					1	1	
	小計 (1科目)		－		0	6	0	－			0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	－
合計（ 185 科目）			－		0	683	0	－			0	0	0	0	0	0	35	24	47	27	0	133	133	－

学位又は称号	学士（グローバル国際関係学）	学位又は学科の分野	文学関係、法学関係、経済学関係

卒業要件及び履修方法	開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等	
学生は、卒業の要件として、下記の単位修得要件に従って124単位を修得すること。 学生は、アカデミックガイドブックに記載される履修ガイダンスにしたがってそれぞれの科目要件を満たすものとする。 基礎科目（38単位以上をアカデミックガイドブックの履修ガイダンスにそって習得すること。 基幹科目を下記に詳述される要件に沿って18単位以上 基礎経済学　6単位以上 国際政治　3単位以上 コーホート　6単位以上 経済学　3単位以上 外国語科目　3単位以上 中級以上の日本語能力を取得すること リサーチ手法科目　6単位以上 固有専門科目　18単位以上 専門入門 9単位以上　主副専攻分野からそれぞれ3単位以上 固有専門 9単位以上　主分野から6単位以上、副分野から3単位以上 地域研究科目9単位以上　東洋およびアジア太平洋について3つ以上の科目を習得すること。3年次配当以上の科目をひとつ含むこと。 シニアキャップストーン科目　3単位以上 ＊卒業要件としてアメリカン大学基準によるGPA2.0以上を取得すること ＊立命館大学において実施される科目もしくはアメリカン大学において実施される共同開設科目を、卒業要件である124単位の半数以上修得すること。 ＊アメリカン大学において実施される授業科目（立命館大学によるアメリカン大学での共同開設科目を含む）を卒業要件である124単位の半数より多く取得すること。 ＊学生は、それぞれのホーム校においてキャップストーンプロジェクトを完成させること。 ＊学生は、履修要件を満たすにあたり、アカデミックハンドブックに記載されている履修ガイダンスに従うこと。				
	アメリカン大学	683（0）	1学期の授業期間	14週間
	共同開設科目		1時限の授業時間	150分
			1学年の学期区分	2学期

（注）
1　国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その２の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。
2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部 立命館大学・アメリカン大学国際連携学科）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	アメリカン大学	ANTH-225 Language and Human Experience	Examines language and its contribution to creativity, and how knowledge of language enriches human experience. Includes imagery and metaphor building through language; the effects of topic, speaking situation, and gender on creativity in tribal, state-level, and post-colonial contexts; and ways written language recasts and redefines human imagination. Usually offered every fall. 言語およびその創造力への貢献、また言語知識がどのようにして人間の経験を豊かにするかを検証する。言語を通したイメージや比喩の形成、部族、国家レベル、またポストコロニアルのコンテクストにおける主題、発話状況およびジェンダーの創造力への影響、そして文語がどのように人間の想像を書き換え、再定義するか等を検討する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ANTH-250 Human Origins	The contributions that physical anthropology and archaeology can make toward an understanding of the origins and development of humankind. Includes genetics, the principles of evolution as applied to humans, the nonhuman primates and their behavior, human fossils, and the archaeology of the New and Old Worlds. Usually offered every fall. 人類の起源と発展の理解のために自然人類学および考古学に可能な貢献。遺伝学、人類・非ヒト霊長類に適用される進化の原理、またその行動、人類の化石、そして新世界・旧世界の考古学等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ARTH-105 Art: The Historical Experience	Introduction to Western art and architecture from ancient times to the twentieth century, with some discussion of non-Western cultures. Case studies of major works and artists such as the Great Pyramids, the Parthenon, Chartres Cathedral, Michelangelo, Rembrandt, and Picasso provide a foundation for understanding art in its aesthetic, historical, social, and political contexts. Also covers materials, techniques, and practices of art-making, and introduces key stylistic innovations. Usually offered every term. 古代から20世紀までの西洋美術および建築について、非西洋文化についても触れながら紹介する。大ピラミッド、パルテノン神殿、シャルトル大聖堂、ミケランジェロ、レンブラントおよびピカソといった主要な作品および芸術家のケーススタディにより、その美的、歴史的、社会的、また政治的背景において芸術を理解するための基礎を養う。また芸術作品製作の材料、技術および実践についても扱い、重要な様式の革新を紹介する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	ARTS-100 Art: The Studio Experience	This beginning studio course introduces students to painting, drawing, sculpture, and design combined with visual literacy. The course focuses on the interrelationship of hand, eye, and mind to create informed works of art that engage larger critical, formal, or cultural dialogues and relate basic visual language to analytic and creative processes of the artist. Usually offered every term. この初歩のスタジオ科目では、絵画、図面、彫刻および設計を視覚リテラシーと結び付けて学生に紹介する。本科目では、より大規模な批評的、形式的あるいは文化的対話に関わる情報に基づく芸術作品を創造し、基本的な視覚言語を芸術家の分析的・創造的プロセスに結びつける手と目と精神の相互関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	BIO-100 Great Experiments in Biology	The core of biology is the scientific experiment. This course, through lecture and laboratory, focuses on some classic experiments that introduce students to the modern study of biology and scientific method. Experiments include the molecular basis of mutation, separation of complex biologically important molecules, and the construction of demographic tables. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生物学の核心は科学実験である。本コースでは講義と実験を通していくつかの古典的実験に注目し、生物学と科学的手法の現代的研究を学生に紹介する。実験には突然変異の分子学的基礎、生物学的に重要な高分子の分離、また個体群統計学的な表の作成が含まれる。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	CHEM-100 The Molecular World	A general introduction to chemistry leading to biochemistry and the chemistry of life. Study of the composition of materials, their structures and properties, related energy conversions, and the use of molecular genetic information. Questions of scientific inquiry and the scientific method in cultural and historical contexts are considered. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生化学および生命の科学に導く化学の概略を紹介する。物質組成、その構造および特性、関連するエネルギー変換、また分子遺伝学的情報の使用について学ぶ。文化的・歴史的背景における科学研究と科学的研究法の問題について検討する。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	

基礎科目	アメリカン大学	COMM-105 Visual Literacy	(PC, FM) (MS) Introduces students to ways of understanding visual images in art, design, photography, film, and digital media. Students create an online website that showcases their work over the semester, including creative and written assignments and a final client project. Includes a Community-Based Learning component wherein students collaborate directly with a non-profit organization in Washington, DC. Usually offered every term. (PC、FM) (MS) 芸術作品、デザイン、写真、映画、デジタルメディア中の視覚イメージを理解する方法を学生に紹介する。学生は創作および筆記課題、また期末クライアントプロジェクトといった自身の作品を、学期を通して公開するオンラインウェブサイトを作成する。学生がワシントン市の非営利団体と直接協働するコミュニティベースの学習コンポーネントが含まれる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	ENVS-150 The Sustainable Earth	This course examines the issue of sustainability; what it means, how it is measured, and how it can be used to address environmental challenges. In doing so, the course builds on the most current scientific understanding of how the natural world works. 本科目は、持続可能性について、特にその意味、どのように測定するか、そしてそれが環境問題に対処するためにどのように利用できるかについて検証する。その過程で、本科目では、自然界がどのように機能するかに関して知りえた最新の科学的知見を根拠とする。	
	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	HPRM-205 Introduction to Nutrition	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. 本科目では、必須栄養素およびその体内での働き、さらに食生活と慢性疾患の関係についての、既知のおよび仮定された基本的情報について検討する。本科目ではアメリカ政府の栄養指針、栄養神話、食品表示、消化機能および体重管理についても検討し、学生がその栄養所要量や食品の選択について十分な情報に基づいて判断を下すことを可能にする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	JLC-110 Western Legal Tradition	From the biblical era to the American experiment, the Western legal tradition encompasses primitive, divine, natural, canon, secular, and common law. This course examines the key legal documents and issues of the tradition including the Code of Hammurabi, the Ten Commandments, the trials of Socrates and Jesus, the Magna Carta, the Rule of Law, and Common law. Usually offered every term. 聖書の時代からアメリカの実験まで、西洋の法的伝統は原始法、神聖法、自然法、教会法、世俗法および慣習法を包含している。本科目では、重要な法的文書、またハムラビ法典、十戒、ソクラテスおよびイエスの裁判、マグナカルタ、法の原則、慣習法といった伝統の問題について検証する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World	This course enriches students' knowledge and appreciation of Western civilization by familiarizing them with some of the most important literary texts in Western literature from Homer through the nineteenth century. In addition to studying these works for their literary artistry, the course addresses the cultural context of these works, the ethical issues they address and the pivotal roles they have played in Western society, and what it means to call a work ″a classic.″ Usually offered every term. 本科目では、ホメロスから19世紀までの西洋文学において最も重要な文学テキストの一部を学生に親しませることにより、学生の西洋文明に関する知識および理解を強化する。その文学的芸術性のためにこうした作品を研究するだけでなく、本科目ではこうした作品の文化的背景、これらが取り上げる倫理的問題、また西洋社会においてこれらが果たした重要な役割、そしてある作品を「古典」と呼ぶことの意味について検討する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. 本科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	MATH-150 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. For students who need extra work on mathematical skills. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学能力について特別の努力を要する学生を対象とする。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-151 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-154 Great Ideas in Mathematics	This course explores a sample of beautiful branches of modern mathematics, concentrating on conceptual underpinnings rather than technical aspects. Includes study of infinity, number theory, fractals, and modern geometry, among other mathematical ideas. The course focuses on verbal and written communication skills and problem solving. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 本科目では、技術的側面よりも概念の基礎に焦点を合わせる現代数学の素晴らしい分野の実例を探究する。数ある数学的概念の中でも無限、整数論、フラクタルおよび近世幾何学の研究を対象とする。本科目では口頭および書面によるコミュニケーションのスキルと問題解決に焦点を当てる。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-155 Elementary Mathematic Models	Study of mathematical subjects including linear, quadratic, polynomial, rational, exponential, and logarithmic functions, in the context of difference equations models. Emphasizes concepts and applications using numerical, graphical, and theoretical methods. Also includes an introduction to the mathematical subject of chaos. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 差分方程式モデルとの関連で、一次、二次、多項式、有理、指数および対数関数といった数学的主題について研究する。数値法、図式法および理論手法を使用した概念および応用に重点を置く。カオスという数学的主題の紹介も含まれる。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-160 Applied Precalculus	Fundamentals of algebraic, exponential, and logarithmic functions with emphasis on applications to problems in business and economics and the natural sciences. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-211 Applied Calculus I. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、ビジネス、経済、自然科学の問題への応用を重視した代数関数、指数関数、対数関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：主にMATH-221 Applied Calculus Iを履修する予定の学生を対象としている。数学専攻の学生には単位は与えられない。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-170 Precalculus Mathematics	Fundamentals of algebraic, logarithmic, exponential, and trigonometric functions. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-221 Calculus I. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、代数関数、対数関数、指数関数、および三角関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：登録資格は、数学に関するプレスメント試験のスコアの適切性によって判断される。主にMATH-221 Calculus Iを履修する予定の学生を対象としておいる。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-211 Applied Calculus I	Functions, differentiation, and integration. Applications to several areas, especially business. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-160 or MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Credit toward a major in the Department of Mathematics and Statistics requires departmental approval. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-211 and MATH-221. 関数、微分、積分を扱う。さまざまな分野、特にビジネスへの応用を考える。通常は毎学期に開講する。MATH-160またはMATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。数学および統計学専攻の学生の単位は、学部の承認が必要。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-221 Calculus I	Real numbers; coordinate systems; functions; limits and continuity; differentiation and applications; trigonometric functions; indefinite and definite integration and applications; fundamental theorem of integral calculus. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-221 and MATH-211. この科目では、実数、座標系、関数、極限と連続、微分と応用、三角関数、不定積分と定積分とその応用、微積分学の基本定理を取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	
	アメリカン大学	MATH-222 Calculus II	Techniques of integration, calculus of exponential and logarithmic functions, infinite series, power series representations, and analytic geometry. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-211 or MATH-221. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. この科目では、積分のテクニック、指数関数や対数関数の計算法、無限級数、べき級数の提示、解析幾何学について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-211またはMATH-221の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。	
	アメリカン大学	MATH-310 Linear Algebra	Vector spaces, systems of linear equations, solutions by matrices, determinants, linear transformations, and algebraic forms. Usually offered every spring and summer. Prerequisite: MATH-222 (may be taken concurrently). この科目では、ベクトル空間、連立線形方程式、行列解、判別式、線形変換、代数形式について取り扱う。通常は毎春学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする（並行して受講可能）。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-313 Calculus III	Vectors, functions of several variables, partial differentiation, and multiple integrals. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では、ベクトル、多変数関数、偏微分、多重積分について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-321 Differential Equations	First order equations, linear equations of higher order, solutions in series, Laplace transforms, numerical methods, and applications to mechanics, electrical circuits, and biology. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-310 and MATH-313, both of which may be taken concurrently. この科目では、一次方程式、高次線形方程式、級数解、ラプラス変換、数値法、力学・電気回線・生物学への応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-310およびMATH-313の履修を条件とし、いずれも並行して受講可能。	
	アメリカン大学	MATH-401 Probability	Algebra of sets; probability in discrete sample spaces; combinatorial analysis; random variables; binomial, Poisson, normal, and other distributions; and applications. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-313 (may be taken concurrently). この科目では、集合代数、離散的サンプル空間の確率、組み合わせ解析、乱数、2項分布、ポアソン分布、正規分布、その他の分布、それらの応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-313の履修を条件とする(並行受講も可能)。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-403 Foundations of Mathematics	An introduction to the proof-based methodology of advanced mathematics courses, with emphasis on the fundamentals of logic and set theory (truth-tables and quantifiers, Boolean operations, functions, relations, and cardinality); elementary number theory (mathematical induction and modular arithmetic), and structural properties of the fields of real and complex numbers. Meets with MATH-603. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では高等数学の証明に基づく方法の基礎を学ぶ。特に、論理と集合論（真偽表と限定作用素、ブール演算、関数、関係、濃度）、初等整数論（数学的帰納法とモジュラー演算）、実体数と複素数体の構造特性に注目する。MATH-603に同じ。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables	Vector-functions of several variables, limits and continuity, differentials and tangent plane, implicit and inverse functions, line and surface integrals, gradient, divergent, curl, Stoke's and Green's theorems. Meets with MATH-604. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-310, MATH-313, and MATH-403. この科目では、多変数のベクトル関数、極限と連続、微分と接平面、陰関数と逆関数、線積分と面積分、勾配、発散、回転、ストークスの定理、グリーンの定理を取り扱う。関連講座はMATH-604。通常は隔年の春学期に開講する（奇数年）。MATH-310、MATH-313、MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-405 Mathematical Logic	The mathematical study of the scope and limits of deductive reasoning with special attention to propositional and first order logic, leading to results concerning completeness, compactness, and the existence of decision procedures for various logical systems, culminating in the incompleteness theorems of Godel. Meets with MATH-605. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: MATH-403. この科目では、演繹的推論の範囲と限界について数学的に研究する。特に、命題論理や一階論理に着目する。さらにさまざまな論理システムに向けた意思決定手順の完全性、簡潔性、存在に関する結果を導き、最終的に、ゲーデルの不完全性定理にいたる。MATH-605に同じ。通常は隔年の秋学期に開講する（偶数年）。MATH-403の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-410 Geometry	Euclidean and non-Euclidean (spherical, elliptic and hyperbolic) geometries from axiomatic and analytic points of view. Includes isometrics, transformation groups, symmetry groups, quadratic forms, projective geometry, as well as some historical background. Meets with MATH-610. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: MATH-310. ユークリッド幾何学と非ユークリッド幾何学(球面、楕円、双曲線)を公理的および解析的観点から検討する。等角図、変換群、対称性群、二次形式、射影幾何のほか、歴史的背景についても触れる。MATH-610に同じ。通常は隔年の秋学期に開講する(偶数年)。MATH-310の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-412 Introduction to Modern Algebra	An introduction to the study of abstract algebraic structures. Includes groups, subgroup, quotient groups, homomorphisms, rings, ideals, fields, and group actions and Sylow theory. Meets with MATH-612. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. この科目では、抽象代数構造の研究について初歩を学ぶ。群、下位群、商群、準同型、環、イデヤル、体、群作用、シローの定理についても検討する。関連講座はMATH-612。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-413 Rings and Fields	An advanced study of rings and fields with a focus on polynomials and their roots. Includes ring theory, factorization, polynomials, field theory, ruler and compass constructions, Galois theory, and solvability of polynomials. Meets with MATH-613. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-412. 環や体について高度な内容を学ぶ。特に多項式やその根に焦点を当てる。また環論、因数分解、多項式、体の理論、定規とコンパスによる作図、ガロアの理論、多項式の可解性についても扱う。関連講座はMATH-613。通常は隔年の春学期(奇数年)に開講する。MATH-412の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-415 Number Theory	Divisibility, fundamental theorem of arithmetic, congruences, arithmetic functions, Diophantine equations, quadratic residues, sums of squares, and partitions. Meets with MATH-615. Usually offered alternate falls. Prerequisite: MATH-403. この科目では、被整除性、算術の基本定理、合同、算術関数、ディオファントス方程式、平方剰余、平方和、分割を扱う。関連講座はMATH-615。通常は隔年の秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-420 Introduction to Analysis	This course develops the foundations of mathematical analysis by focusing on the real numbers as a complete ordered field, infinite sequences and series, limits and continuity, and key theorems of the differential and integral calculus. Meets with MATH-620. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. 本科目は、完備な順序体としての実数、無限数列および無限級数、極限と連続、微積分学の基本定理等に焦点を当てることにより、数理解析の基礎的理解を深める。関連講座はMATH-620。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-421 Measure Theory and Integration	This course presents the fundamental concepts and techniques of measure theory. It includes Borel sets, measures, measurable sets and functions, integrals as measures, Lp spaces, modes of convergence, and decomposition and generation of measures (including product measure). Meets with MATH-621. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-403 and MATH-420. 本科目では、測度論の基本的な概念と技法を扱う。またボレル集合、可測集合、可測関数、約数としての整数、Lp空間、収束モード、測度の分解および生成（積測度を含む）も対象とする。関連講座はMATH-621。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-403およびMATH-420の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-440 Topology	Topological spaces, continuity, compactness, connectedness, and metric spaces. Meets with MATH-640. Usually offered alternate falls (odd years). Prerequisite: MATH-403. この科目では位相空間、連続性、コンパクト性、連結、距離空間。関連講座はMATH-640。通常は隔年の秋学期（奇数年）に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-450 Complex Analysis	Complex functions, Cauchy's theorem and integral formulae, Taylor and Laurent series, residue calculus and contour integration, and conformal mapping. Meets with MATH-650. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-313 and MATH-403. この科目では、複合関数、コーシーの定理、積分公式、テイラー級数、ローラン級数、留数解析、閉曲線積分、等角写像を取り扱う。関連講座はMATH-650。通常は毎春学期に開講する。MATH-313とMATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-451 Partial Differential Equations	Fourier series, orthonormal systems, wave equation, vibrating strings and membranes, heat equation, Laplace's equation, harmonic and Green functions. Meets with MATH-651. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-321. この科目では、フーリエ級数、正規直交系、波動方程式、振動弦、振動膜、熱伝導方程式、ラプラスの方程式、調和関数、グリーン関数を取り扱う。関連講座はMATH-651。通常は隔年の春学期（奇数年）に開講する。MATH-321の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-460 Tools of Scientific Computing	Designed to teach scientific rigor in the use of computers and/or computational tools. Techniques from mathematics are introduced which lead to efficient algorithm design, algorithm analysis, data classification, data manipulation, and scientific computation. Includes data types, induction, recursion, sorting, searching, summation, optimization, asymptotic analysis, basic number theory, discrete probability, and parallel computing. Meets with CSC-460. Usually offered every fall. Prerequisite: CSC-280, MATH-221, and MATH-222. この科目では、コンピュータや計算道具を使用する際の科学技術上の厳密さについて教授する。効率的なアルゴリズム設計、アルゴリズム解析、データ分類、データ操作、科学技術計算に寄与する数学的分野の技法を紹介する。またデータ型、数学的帰納法、再帰、ソーティング、検索、総和、最適化、漸近解析、基礎数論、離散分布、並列演算等についても扱う。関連講座はCSC-460。通常は毎秋学期に開講する。CSC-280、MATH-221、MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-465 Numerical Analysis: Basic Problems	Computer arithmetic and error analysis in computation, matrix decomposition methods in solving systems of linear equations and linear least squares problems, polynomial approximation and polynomial data fitting, iterative algorithms for solving nonlinear equations, and numerical differentiation and integration. Meets with MATH-665. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: CSC-280, MATH-222, and MATH-310. コンピュータ演算、演算におけるエラー解析、線形方程式や線形最小二乗問題の解決システムにおける行列分解方法、多項式近似と多項式データ・フィティング、非線形方程式解決のための反復アルゴリズム、数値微積分。関連講座はMATH-665。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。CSC-280、MATH-222、MATH-310の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-470 History of Mathematics	This course surveys aspects of historical development of mathematics from ancient to modern times and examines the ideological, social, and cultural forces which shaped this development. By providing historical continuity, the course interrelates and unifies the major subject areas such as algebra, calculus and analysis, geometry, number theory, probability, set theory, and the foundation of mathematics. Meets with MATH-670. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-222 本科目は、古代から現代にいたる数学の歴史的発展の諸側面について概観し、そのような発展を形作ってきた理念、社会、文化的側面について検証する。歴史的な流れの中で、代数、微積分および解析、幾何学、数論、確率論、集合論、数学の根拠といった主要分野の相互関係を考察し統合する。関連講座はMATH-670。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-480 Advanced Topics in Mathematics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Intensive courses in a specialized area of mathematics. Meets with MATH-680. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。数学の特殊な分野を対象とした集中講座。MATH-680に同じ。	
	アメリカン大学	MATH-565 Mathematical Applications of Interest and Derivatives	Mathematical study of finance, including theory of interest, arbitrage theorem, random walk models of prices, options, Black-Scholes formula and consequences. Meets with ECON-565. Usually offered alternate falls (even numbered). Grading: A-F only. Prerequisite: MATH-221, MATH-222, MATH-313, and STAT-202 or STAT-203. 金融を数学的に研究する。たとえば、利子論、裁定定理、価格のランダム・ウォーク・モデル、オプション、ブラック・ショールズ式と結果等を対象とする。関連講座はECON-565。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。A-F評定のみ。MATH-221、MATH-222、MATH-313と、STAT-202またはSTAT-203の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	PERF-110 Understanding Music	An introduction to musical language through listening and comprehension. The fundamentals of acoustics, melody, harmony, form, texture, and color in a wide range of music from ancient and global music to European concert music, jazz, blues, and popular music. Includes listening and concert attendance requirements. Usually offered every term. 鑑賞および理解を通して音楽言語を紹介する。古代の、また世界的な音楽からヨーロッパのコンサート音楽、ジャズ、ブルース、ポピュラー音楽まで、様々な音楽における音響、旋律、和音、様式、構成および音色の基礎。音楽鑑賞およびコンサートへの参加が求められる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances	Provides an overview of the principles of drama from the ancient Greeks to contemporary society. The class draws on theatre history and social context, the reading of great literature, critical analyses, and artistic exploration to culminate in the experience which is the essential element of the art itself – performance. Usually offered every term. 古代ギリシャから現代社会までの演劇の原理について概観する。本クラスでは演劇の歴史と社会的背景、偉大な文学作品の講読、批評的分析、また芸術そのものの必須要素である経験－演技において頂点に達する芸術的探求を扱う。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PHIL-105 Western Philosophy	A historical introduction to the Western philosophical tradition. Students closely examine classic and contemporary texts on the nature of reality, truth, morality, goodness, and justice; the possibility of knowledge; faith, reason, and the existence of God; and the issue of freedom and determinism. Usually offered every term. 西洋哲学の伝統について歴史的に紹介する。学生は現実、真理、道徳、善良性、正義の本質、知識の可能性、信仰、理性、神の存在、また自由と決定論の問題に関する古典および現代のテキストを綿密に検証する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	PSYC-115 Psychology as a Natural Science	Through lectures and discussion, students are introduced to the many experimental questions addressed in psychology, e.g., environmental and genetic factors in behavior, biological bases of behavior, sensations and perception, conditioning and learning, memory and cognition, and drug use and abuse, as well as to the specific methods used in psychological research and the general research approaches used in science. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−116. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. 講義と議論を通して、心理学で取り上げられる多くの実験上の疑問(たとえば行動における環境および遺伝要因、行動の生物学的基盤、感覚および知覚、条件づけおよび学習、記憶および認識、また薬物の使用と乱用)、さらに心理学的研究において使用される特定手法と科学に使用される一般研究法を学生に紹介する。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−116。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-116 Psychology as a Natural Science lab	Through laboratory experiments and simulations, students are exposed to the various techniques, procedures, and designs used in the study of behavior. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−115. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. (レクチャー、演習に加えて)室内実験の体験およびシミュレーションを通して、学生は行動研究に使用される様々な手法、手順、計画に触れる。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−115。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-200 Behavior Principles	The experimental analysis of behavior (EAOB) systematically relates a behavior's probability to its consequences (reinforcement and punishment). Principles derived from the EAOB are used to explain simple animal learning, stimulus control, behavioral sequences and patterning, verbal and other complex human behavior, and emotion. Issues raised by a behavioral approach to human conduct are discussed. Usually offered every term. 実験的行動分析(EAOB)は行動の確率とその結果(促進および罰)を系統的に関連づける。EAOBから得られた原理は、単純な動物の学習、刺激制御、行動連鎖およびパターンづけ、言語およびその他の複雑な人間行動と感情を説明するのに使用されている。人間の行動に対して行動科学的研究により提起される問題について論じる。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts	Examines theories of the nature, purpose, and meaning of artistic activities and objects through the religious, cultural, and philosophical contexts in which they arose. Both Western and non-Western expressions and viewpoints are considered. Student projects explore the relationship between particular works familiar to them and their role in religious expression. Usually offered every term. 自然の理論、芸術活動とこれが発生した宗教的、文化的、哲学的文脈を通した対象物の目的および意義を検証する。西洋的・非西洋的表現と視点の両方について検討する。学生プロジェクトでは、馴染み深い特定の作品と宗教的表現におけるその役割の関係について探究する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	STAT-202 Basic Statistics	Data presentation, display, and summary, averages, dispersion, simple linear regression, and correlation, probability, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Use of statistical software both to analyze real data and to demonstrate and explore concepts. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-15x or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、平均、ばらつき、単回帰および相関、確率、標本分布、信頼区間および有意性検定。実データの分析、また概念の実証および探究の両方のために統計ソフトウェアを使用する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-15x以上の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-203 Basic Statistics with Calculus	A calculus-based introduction to basic statistics including data presentation, display and summary, correlation, development of least squares regression models, probability, independence, probability density functions, moments, use of moment generating functions, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Concepts are explored through simulation and the use of the calculus tools of finding maxima and minima of a function and the area under a curve. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-221 or one semester of calculus. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、相関、最小二乗回帰モデルの開発、確率、独立性、確率密度関数、積率、積率母関数の使用、標本分布、信頼区間および有意性検定といった、微積分法に基づく基礎統計学の紹介。シミュレーションと関数の極大値および極小値、また曲線下の領域を検出する微積分ツールの使用により概念を探究する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-221または微積分法の1学期の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-204 Introduction to Business Statistics	Statistical concepts and methods used in business decision making. Topics include probability rules, discrete and continuous distributions, descriptive and graphical statistics, estimation, confidence intervals, hypothesis testing, analysis of variance, regression, and applications of MS Excel data analysis tools to economic and business data. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: MATH–150, MATH–151, MATH–154, or MATH–155. Note: students may receive credit for only one of STAT–202, STAT–203, or STAT–204. ビジネス上の意思決定に使用される統計概念および手法。トピックには確率規則、離散および連続分布、記述および図解統計学、概算、信頼区間、仮説検定、分散、回帰分析、また経済およびビジネスデータへのMicrosoft Excelデータ分析ツールの適用が含まれる。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 MATH–150、MATH–151、MATH–154またはMATH–155履修を条件とする。注意：学生はSTAT–202、STAT–203またはSTAT–204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-302 Intermediate Statistics	Methods include techniques for estimation and inference with qualitative and quantitative data focusing on simple linear and multiple regression, correlation, logistic regression, and analysis of variance. Usually offered every term. Prerequisite: STAT–202 or STAT–203 with a grade of C or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT–302, STAT–320, or STAT–514. この科目では、単回帰および重回帰、相関、ロジスティック回帰、および分散分析に焦点を絞った定性的および定量的データによる推計統計学の技法を学ぶ。通常、毎学期提供される。 この科目を履修するには、Cまたはそれ以上のグレードでSTAT –202またはSTAT – 203を履修していることが条件となる。注：学生は、STAT – 302、STAT–320、またはSTAT–514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-320 Biostatistics	This course examines how statistical methods are utilized within the fields of biology, medicine, and public health. Advanced statistical methods, including ANOVA, multiple regression, analysis of covariance, survival analysis, and nonparametric methods are discussed, with emphasis on their applicability to public health. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT-202 or STAT-203. Note: students may receive credit for only one of STAT-302, STAT-320, or STAT-514. この科目では、生物学、医学、公衆衛生の分野で統計的手法をどのように活用するかを検討する。公衆衛生への適用性に重点を置いて、分散分析、重回帰分析、共分散分析、生存分析、ノンパラメトリック法などの高度な統計的方法が議論される。通常、毎春セメスターに開講される。 登録前提条件：STAT-202またはSTAT-203を履修していること。注：学生は、STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	
	アメリカン大学	STAT-370 Introduction to Statistical Computing and Modeling	The basics of programming using the open source statistical program R. Data analysis, both numerical and qualitative, including graphical and formal inference. Applications include numerical methods, text mining, modeling, and simulation. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-221 and STAT-202 or STAT-203. この科目では、オープンソース統計プログラムであるRを使用したプログラミングの基礎を学ぶ。描画による推論および形式的推論を含む、量的および質的データの分析を行う。手法には、数値メソッド、テキストマイニング、モデリング、シミュレーションなどが含まれる。通常、毎春学期に提供される。 前提条件：MATH-221およびSTAT-202またはSTAT-203を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-402 Introduction to Mathematical Statistics	Probability, probability distributions, sampling, sampling distributions, and introduction to the theory of point estimation and statistical inference, including confidence intervals and hypothesis testing. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-401. この科目では、確率、確率分布、サンプリング、標本分布、信頼区間と仮説検定を含む点推定理論と統計的推論の導入的指導を行う。通常、毎春セメスターに開講される。 前提条件：MATH-401を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-405 Introduction to Survey Sampling	This course introduces the basic approaches to surveys, including simple random, systematic, and stratified sampling. Also included is the design of questionnaires and the analysis of sample data. Emphasis is on the practical application of sampling. Meets with STAT-605. Usually offered alternate falls. Prerequisite: STAT-202, STAT-203, or STAT-514. この科目では、単純無作為抽出法、系統抽出法、層化抽出法を含む調査の基本的なアプローチを紹介する。アンケートのデザインとサンプルデータの分析も含まれ、サンプリングの実用化に重点を置いている。 STAT-605に同じ。通常、隔年秋学期に開講する。 前提条件：STAT-202、STAT-203、またはSTAT-514を履修していること。	隔年
	アメリカン大学	STAT-415 Regression	Simple and multiple regression, least squares, curve fitting, graphic techniques, and tests and confidence intervals for regression coefficients. Meets with STAT-615. Usually offered every fall and summer. Prerequisite: STAT-302, STAT-320, or STAT-514. この科目では、単回帰および多重回帰、最小二乗法、曲線あてはめ、グラフィック技術、および回帰係数の検定および信頼区間について学ぶ。 STAT-615に対応する。通常、毎秋学期と夏季集中期間に提供される。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-422 Advanced Biostatistics	Introduction to methodologies used to understand complex problems in four major areas of biomedical science: clinical trials, epidemiology, survival analysis, and bioinformatics. Phases of clinical trials, dynamics of epidemiology and disease, estimation of survival, hazard and mortality functions, and analysis of gene expression data are covered. Usually offered every fall. Meets with STAT-622. Grading: A-F only. Prerequisite: STAT-302, or STAT-320, or STAT-514. この科目では、生物医学の4つの主要分野である臨床試験、疫学、生存分析、バイオインフォマティクス（生命情報学）における複雑な問題を理解するために使用される方法論を紹介する。臨床試験の諸段階、疫学と疾病の動態、生存の推定、ハザードと死亡率の関数、および遺伝子発現データ解析が含まれる。 STAT-622に対応する。通常、毎秋学期に提供される。評価はA-Fのみである。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-424 Data Analysis	An introduction to exploratory data analysis including graphical summaries, model assessment and selection, model inference and averaging, and data mining elements. Explores supervised statistical learning for regression and classification, unsupervised machine learning algorithms, and related topics. Meets with STAT-624. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT-415. この科目では、グラフィカルサマリー、モデル評価と選択、モデル推論と平均化、データマイニング要素などの探索的データ分析の紹介を行う。回帰と分類に関する教師付き(supervised)統計学習と、教師無し機械学習(unsupervised machine learning)アルゴリズムを探索する。 STAT-624に対応する。通常、毎春に開講される。登録前提条件:STAT-415。	
	アメリカン大学	STAT-425 Statistical Software	Introduction to the use of the SAS language to prepare, modify, and analyze data, interpret output and final preparation of results. Emphasis on practical programming principles and use of built-in procedures. Comparisons with other programming languages. Meets with STAT-625. Usually offered every fall. Prerequisite: STAT-514 or two statistics courses. この科目は、SAS言語を使用するためのデータの準備、修正、分析、出力の解釈と結論の最終的な準備について紹介する。実用的なプログラミング原則と組み込みプロシージャの使用を重視し、他のプログラミング言語との比較を行う。STAT-625に対応する。通常、毎秋に開講される。 前提条件:STAT-514または2つの統計科目を履修していること。	
	アメリカン大学	WGSS-150 Women's Voices Through Time	This course focuses on distinctive contributions of women to Western artistic and intellectual traditions; significant articulations of human experience expressed by women through literature, art, and history; how such traditions became established; and how women, despite obstacles, have produced lasting works of ideas and imagination. Usually offered every spring. 本科目では、西洋の芸術的・知的伝統への女性の際立った貢献、文学、美術および歴史を通して女性により表現される人間の経験の意義深い明確な表現、こうした伝統がどのように確立されたのか、そして女性がどのようにして障害を排して不朽の思想および想像の作品を生み出したのかに注目する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	WRTG-100 College Writing	Develops students' skills in reading with understanding, summarizing and synthesizing information accurately, and writing correct, reasoned prose. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. 情報を正確に理解、要約、総合する学生の読解力、また正確で筋の通った散文を書く作文力を向上させる。通常は、毎学期に開講する。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	

基礎科目	アメリカン大学	WRTG-101 College Writing Seminar	Continues the work begun in WRTG-100, stressing the student's abilities to construct extended arguments, to synthesize diverse materials, and to pursue library research. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-100. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-100で開始した課題を継続して学ぶ。広範な議論を構築し、多様な資料を総合し、図書館で調査を行う学生の能力に重きを置く。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-100履修を条件とする。注意：WRTG-100およびWRTG-101をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-102 College Writing	WRTG-102 is a specially designed version of WRTG-100. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-102はWRTG-100の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。注意：WRTG-102およびWRTG-103をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-103 College Writing Seminar	WRTG-103 is a specially designed version of WRTG-101. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-102. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-103はWRTG-101の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-102履修を条件とする。 注：WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	

基礎科目	アメリカン大学	WRTG-106 College Writing, Intensive	Develops students' academic writing and research skills. Builds students' abilities to construct extended arguments and synthesize diverse materials. Emphasizes information literacy, including evaluating source material and making strategies and appropriate use of different sources. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-106 with a grade of C or better and an Advanced Placement English Language and Composition score of 4 or 5, or a Higher Level International Baccalaureate Examination score of 5 or higher fulfills the university College Writing Requirement. この科目は、生徒のアカデミックライティングとリサーチスキルを向上させる。展開的な議論を構築し、多様な資料を統合する能力を育成する。情報源の評価、戦略の作成、さまざまな情報源の適切な使用など、情報リテラシーに特化して教授する。通常、すべての学期で開講される。 注：WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
	立命館大学	Introduction to Linguistics	This course introduces students to the study of language. The course provides students with a comprehensive understanding about contemporary linguistics through subjects such as the origin and properties of language, the differences and similarities between animal and human communication, the properties of grammar, the types of language acquisition, as well as the relationship between language and culture. By giving ample examples from various languages, the centric focus of the course is on how reality is perceived and reflected in language, and also on how language and thinking are related to each other. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、言語研究への入門科目である。この科目では、言語の起源や基礎的な特徴、人間と動物のコミュニケーションの相違点と類似点、言語学習の類型、言語と文化との関係等のトピックを提示した上で、言語学について総合的な知識を与える。この科目において、現実認識と言語のあり方との関係性、そして言語と思考との関係性は中心的な課題である。この科目は、基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Introduction to Anthropology	This course will introduce students to the central topics, concepts and methods of socio-cultural anthropology, which can be broadly defined as the study of human cultures and societies. It will survey the key topics in contemporary socio-cultural anthropology and offer insights into how the seemingly most commonsensical aspects of people's lives can be informed by the social contexts of which they consider themselves a part. The course focuses on anthropological theories, thus also providing a historical overview of the discipline. It draws on ethnographic examples and case studies from various societies, but contemporary Japan will be central, in order to provide students with an understanding of where we are living. Active participation in discussion will be fundamental.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、様々な人間集団の文化と社会を考察する学問である文化人類学についての入門的知識を提供する。この科目では、文化人類学における理論に着目することにより、本学問の歴史的展開も検討の対象とする。また、私たちが暮らしている枠組みを分析するため、現代日本に関わる事例が中心的になる。この科目は講義形式で行われるが、議論への積極的な参加が期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Sociology for Global Studies	This course introduces students to the study of sociology. This includes a brief introduction to the history of sociology, the sociological way of thinking, sociological dilemmas, social relations and institutions, as well as the study of micro and macro-level issues. In doing so, the students will learn fundamental concepts related to sociology in order to have a wide-ranging lexical knowledge in this academic field, they will also acquire a basic analytical ability indispensable for the study of global issues and the conditions of the international community from a sociological perspective. The course is basically a lecture course, but there is also enough room given for doing both open discussion and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は社会学への入門科目である。本授業では、社会学史や社会学的な考え方への入門、社会学的なジレンマ、社会関係や社会的諸制度のあり方、そしてミクロとマクロレベルにおける様々な社会現象から論じる。そうしながら、学生は社会学の分野における幅広い語彙的知識を持つために、社会学に関連した基本的な概念を学び、また、社会学的観点から国際社会の状況やグローバルイシューの研究に不可欠な基礎的分析能力を獲得する。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Politics for Global Studies	This course uses the history of Western political thought to explore and introduce wider issues in politics such as the roles and responsibilities of political organisations, their leaders, and their subjects / members; as well as concepts such as democracy, communism, utilitarianism, and others; and how these have evolved over time. With classes covering the era from ancient Greece to the mid-20th century, the major 'classic' works of European political thought are examined. The content of the course also introduces students to key concepts and ideas which form the basis of both the academic discipline of politics and the origins of International Relations as a distinct field of academic inquiry.The teaching methods of the module are designed to develop cognitive, writing and presentation skills. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、民主主義、共産主義、功利主義などの概念、政治団体、その指導者、支持者／メンバーの役割と責任、およびこれらの変遷など、西欧政治思想史を用いて政治の幅広い事項を概説する。授業では古代ギリシャから20世紀半ばまでの時代をカバーし、欧州政治思想の主要な「古典的」著作について考察する。学術的探求の明確な一分野として、政治学の学問領域および国際関係学の起源の基盤となっている主要な概念と考え方も取り上げる。認知、記述、プレゼンテーションのスキルを伸ばす授業形態をとる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Modern World History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Professional Workshop	Through specialized workshops spanning lines of work that include government, media, and private enterprises, this course presents specialized knowledge and information to students with a professional interest in these areas and imparts specific and practical knowledge needed for their career path. Students will actively examine issues and make reports based on talks from guest speakers conversant in their respective fields and on guidance from teaching staff with practical experience in that area. This course will afford students the opportunity to contemplate their career after graduation. Assessment is formative. この科目では、行政、メディア、民間企業といった各業種に関する専門的なワークショップを設け、当該分野を志望する学生に対して、専門的な知識や情報を提示するとともに、キャリア・パスのために必要な実践的で具体的なノウハウを教授する。この科目では、それぞれの分野に精通したゲスト講師の講演や、当該分野で実務経験を有する教員による指導を踏まえて、学生の主体的な検討と報告を中心に行われる。この科目により、自らの卒業後のキャリアについて考える機会を提供する。評価は、形成的評価により行う。 (オムニバス方式/前15回) (25 西崎 純代/7回) 上記テーマのうち、主としてビジネスに関する分野、日本国内に関連する分野について取り扱う。 (24 林 恩廷/7回) 上記テーマのうち、主として国際機関に関する分野、国際的な領域に関連する分野について取り扱う。 (25 西崎 純代 24 林 恩廷/1回) (共同) 上記のうち、総括的内容について取り扱う(総括プレゼンテーション等)	オムニバス方式・共同(一部)

基礎科目	立命館大学	Academic SkillsI	The aim of Academic Skills I is to familiarize students with theories, historical developments and current issues in the field of International Relations while developing their reading and critical thinking skills. In class, students will analyze and evaluate assigned readings for content, structure, facts and opinion, language use, implied meaning and contradictions, compare opposing viewpoints and express their own standpoint supported by evidence from the text or other relevant outside sources. Class activities may include group discussions, oral presentations, formal debates as well as units on rhetoric, grammar refresher spotlights and short response papers. The focus of this course is on developing students' conceptual background, power of analysis, and sense of diversity. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミック・スキルⅠの目標は、リーディング・スキルとクリティカルシンキング・スキルを習得する一方で、国際関係学の分野の理論、歴史的な展開、および現在の問題について学ぶことである。この科目では、学生は課題の資料を分析し、内容、論理構造、事実と意見、含蓄された意味や矛盾点を検討する。また、対立する考え方を比較し、根拠のある自己の意見を表す。グループディスカッション、プレゼンテーション、ディベートをおよび短いエッセイを作成する。学生の思考力、分析力、そして多様性に対する感性を伸ばすことに重点を置く。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基礎科目	立命館大学	Academic Skills II	The aim of Academic Skills II is to develop students' academic writing competence together with related skills such as critical thinking, autonomous learning, research and referencing, team work and IT skills. Students will examine contentious issues in International Relations, identify key questions and construct well-supported, logically sequenced arguments to address these questions. They will familiarize themselves with conventions of academic writing, expand their academic vocabulary and increase their control over complex grammar. Class activities may include group discussions and oral presentations, sentence, paragraph and essay-level writing, as well as academic skills training such as paraphrasing, citing and referencing. The focus of this course is on developing students' research skills, power of argument and support, written expression, and awareness of writing conventions. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅡの目標は、クリティカル・シンキング、ITを含むリサーチ・スキルといった他のスキルとともに、ライティング・スキルを習得することである。学生は、国際関係学の論争を検討し、重要な問題を認識し、論理的な議論を用いてそうした問題に言及する。また、アカデミックなライティングに慣れ、語彙を増やし、複雑な文法を駆使する。この科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションを行い、さらにエッセイを書く。また、パラフレーズ、引用と参照文献を含むアカデミック・スキルを用いた練習も行う。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基礎科目		立命館大学	Academic Skills III	The aim of Academic Skills III is to solidify students' writing, research and academic interaction skills. Students will conduct in-depth research on a topic of their choice within International Relations, integrating a wide range of academic sources, and present their findings in the form of a substantial academic paper accompanied by a conference-ready oral presentation. Class activities may include progress reports on individual research, a series of writing and editing sessions, critical discussions of research methods, research ethics and underlying research paradigms, as well as lectures and discussions on emerging theoretical and practical issues in IR. The focus of this course is on developing students' academic literacy and voice while creating a deeper understanding of the complex nature of academic research and scholarship. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅢの目標は、学生のライティング・スキル、リサーチ・スキル、アカデミックなコミュニケーション・スキルを強化することである。学生は国際関係学分野における選択したトピックについて十分な調査を行い、幅広いアカデミックな資料を組み入れ、カンファレンスでの口頭発表に伴う論文の形で研究結果を提示する。この科目では、各自の研究について進行状況を報告したり、ライティング・セッションを行ったり、研究方法について批判的な議論を行ったり、研究倫理やリサーチのパラダイムなどについても議論する。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	
基幹科目	基礎経済学	アメリカン大学	ECON-100 Macroeconomics FA4	Introduction to the basic principles of aggregate economic analysis. Includes measurement and determinants of national income, unemployment, inflation, economic growth, and business cycles. Topics also include historical perspectives, alternative approaches to economics, and current issues and controversies. Usually offered every term. 経済の総体的な分析のための基本原理を紹介する。国民所得、失業、インフレーション、経済成長、景気循環等の測定や決定因子等を対象とする。また歴史的側面、経済学に対する代替アプローチ、時事的な問題や論争といったトピックも扱う。通常は、毎学期に開講する。	
		アメリカン大学	ECON-200 Microeconomics FA4	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 市場や様々な経済主体の行動に対する分析について紹介する。内容として、需要と供給、消費者や企業の行動、競争市場対独占または寡占、所得分布、差別、国際貿易等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	

基幹科目	基礎経済学	立命館大学	Macroeconomics	This is the core theory course in macroeconomics designed for global studies students. Macroeconomics, the study of the economy as a whole, is concerned with economy-wide phenomena such as growth, inflation, employment, money stock, and the balance of payments. We will study the theoretical framework of macroeconomics and learn to apply it to the analysis of macroeconomic policy issues. Emphasis is placed on understanding relations among macroeconomic variables and tools of analysis for the open economy. Monetary and fiscal policies as well as their cross-border spillover effects are also discussed. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル・スタディーズを専攻する学生を対象にしたマクロ経済学の基本理論である。経済を1つの全体として研究するマクロ経済学は、成長、インフレ、雇用、マネーストック、国際収支など経済全体としての現象を扱う。この科目では、マクロ経済学の理論的枠組み、マクロ経済政策課題の分析へのその応用を学ぶ。マクロ経済の様々な変数の関係、開放経済の分析ツールを理解することに重点を置く。金融・財政政策とそれらの国境を越えた波及効果も取り上げる。この科目は講義形式が最適ではあるが、クラスディスカッションも行うので積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Microeconomics	This is the core theory course in microeconomics designed for international relations students. microeconomics explores how consumers and firms behave, markets function, and government policies shape economic results. Starting from the basic ideas of opportunity cost, gains of trade, and supply and demand, we will study the principles of microeconomics that have important implications for global economic issues. Emphasis is placed on understanding tools of analysis for international trade models. We will also discuss optional topics such as information, game theory, and decision-making under uncertainty. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際関係学を専攻する学生のためのミクロ経済学概論である。ミクロ経済学は、消費者や企業の行動、市場の機能、政策が経済的成果をどのように形成するのかを探求する。機会費用、交換の利益、需要と供給の基本概念からスタートし、グローバル経済に大きな影響を与えるミクロ経済学の原則を学ぶ。国際貿易モデルの分析ツールを理解することに重点を置く。また、情報、ゲーム理論、不確実な状況下での意思決定などのトピックも適宜議論する。この科目は講義形式に適しているが、学生はクラスディスカッションにも積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基幹科目	国際政治	アメリカン大学	SISU-105 World Politics FA3	Patterns of conflict and cooperation in a rapidly-changing world. The primary focus is on concepts and theories which provide a framework for analyzing and understanding contemporary issues. The course examines the behavior of states and other international actors, seeks to explain foreign policies, and identifies the main characteristics of interaction among states. Usually offered every term. Grading:A-F only. 急速に変化する世界における紛争と協力のパターンを明らかにする。現代的課題を分析し理解するための枠組みとなるコンセプトや理論を中心に扱う。本科目では、世界各国や国際的組織の行動を検証し、外交政策について説明し、諸国間の関係における主な特性を明らかにする。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	
		立命館大学	Theories of International Relations	This course will introduce students to the basic theoretical approaches to international relations. The aim of the course is to learn about a variety of distinct perspectives and how they highlight different aspects of international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group work, etc. By studying for this course, students will be able to understand the basic theories, concepts and debates in International Relations and to apply these insights to contemporary international affairs.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際関係学の基本的な理論を取り上げる。国際関係についての多様な理論的視座を学ぶことによって、国際社会の諸課題を多角的に検討する。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の基礎的な理論、概念や論争を理解し、それらを実際の国際関係の諸問題にむすびつけて考えることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基幹科目	国際政治	立命館大学	Introductory Seminar I	The purpose of the course is to leave students with a foundational knowledge of world politics and an appreciation of a range of the major issues that future practitioners in international affairs will confront in the 21st century. The course also serves as an introduction to university life and as such also seeks to provide the skills students need relating to their studies, including, research, note taking, critical thinking, and on life in Japan and at university in general.This course will use formative evaluation. この科目の目的は、世界政治の基礎知識を身につけ、将来の実務家が21世紀の国際情勢で直面する主要課題を幅広く理解することである。この科目は大学生活への導入にもなり、リサーチ、ノートの取り方、批判的思考を含め、学業や大学生活全般に関連して、また日本での生活に必要なスキルを提供する。評価は、形成的評価で行う。	
	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	SISU-106 First Year Seminar	Topics vary by section, not repeatable for credit. This seminar course introduces first semester AU home and 4th semetser RU students to major current world affairs and to life at American University. This is a cohort class where RU and AU students will study together. Grading: A-F only. セクションにより異なったトピックを扱うが、重複して単位を取得することはできない。本科目では、第一セメスターAUホーム学生と第四セメスターRUホーム学生を対象とし、現在の主な国際情勢と、アメリカン大学における学生生活について紹介する。本科目は、RU学生とAU学生が一緒に受講するコホートクラスとなる。A-F評定のみ。	共同開設科目
		アメリカン大学	SISU-140 Cross-Cultural Communication FA3	Examines the impact of culture on communication, perception, thought patterns, values, and beliefs in order to better understand the behavior of individuals within different societies. Specific concerns include the dynamics of verbal and nonverbal communication; the relationship between dominant cultures and subcultures; ethnic, racial, class and other forms of diversity within countries and organizations; third-culture and multicultural persons; and the dynamics of cross-cultural adjustment. Usually offered every term. Grading: A-F only. 様々な社会の中の個人の行動について理解を深めるために、コミュニケーション、感性、思考パターン、価値観、信念に対する文化の影響について考察する。特に、言語／非言語コミュニケーションのダイナミクス、メジャーカルチャーとサブカルチャーとの関係、国内や組織内における民族、人種、階級その他の多様性、第三カルチャーおよび多カルチャー人格、異文化間調整のダイナミクス等を検討する。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	

基幹科目	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	Japanese Culture	This course introduces students to the study of Japanese culture. The course is devoted to decompose the Japan myth as a unique society, and to reconstruct its real conditions from a cultural anthropological perspective. This includes a general introduction to core issues in the field of cultural studies, as well as to the genealogy of Japanese self-images such as “mixed nation” or “one nation”, invented traditions in modern Japan such as “harmony”, and also a reconsideration of popular images and theories on Japanese culture such as those regarding collectivism, conformity or shame culture. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This is a cohort class and Course Jointly Designed by Ritsumeikan University and American University, JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. この科目では、日本の文化について紹介する。日本の通説を独特の社会として解析し、文化人類学的視点からその実態を再構築する。これには、文化学分野の中核となる問題の概略紹介や、「混合国家」や「単一国家」などの日本の自己像の系譜、「調和」などの現代日本でつくられた伝統、集団主義、調和、恥じの文化など、日本の文化に関する一般的イメージや理論の再考が含まれている。科目は基本的に講義形式で行われるが、生徒が主体となる学習プロセスを促進するため、オープンディスカッションやグループディスカッションも行われる。これはコーホートクラスであり、かつアメリカン大学と立命館大学との共同開設科目である。JDクラスの学生は自国の文化や同級生の文化の理解を深める機会となる。	共同開設科目

基幹科目	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	Cultural Awareness and Communication	This course offers a critical approach to the field of Cross-Cultural Communication by introducing students to ideas of 'culture' and 'identity'. An understanding of these two concepts is fundamental to all human interaction and a knowledge of the worldwide variations found will enhance the ability of students to communicate successfully across boundaries at all levels. We also look at the importance of language in understanding cultures, and variations in fundamental understandings of such concepts as 'space' and 'time' which are shared by human beings around the world. The emphasis of the course is on human commonalities, rather than surface differences. This is a cohort class and Course Jointly Designed of Ritsumeikan University and American University. JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. このコースは、学生に「文化」と「アイデンティティー」の概念を導入することにより、異文化間コミュニケーションの分野に対する批評的なアプローチを提供する。このような二つの概念の理解は、あらゆる人間の相互作用にとって基本的であり、見出される世界的な相違に関する知識が、あらゆるレベルにおいて、境界を越えるコミュニケーションを成功させる学生の能力を強化する。私たちはまた、文化の理解における言語の重要性、および世界中の人間が共有する「空間」および「時間」のような概念の基本的な理解における差違に目を向ける。このコースは、表層的な差違ではなく、人間の共通性を重視する。これはコホート・クラス、立命館大学、アメリカン大学による共同開設科目であり、JDの学生は、自身の文化および仲間の学生の文化をさらに理解する機会を得る。	共同開設科目
	経済学	アメリカン大学	SISU-300 Introduction to International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Grading: A-F only. Prerequisite: ECON-100 and ECON-200. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場や変動為替相場等も対象とする。A-F評定のみ。 ECON-100およびECON-200履修を条件とする。	

基幹科目	経済学	アメリカン大学	ECON-370 International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Usually offered every term. Prerequisite: ECON-100 and ECON-200. Note: Intended for majors in other teaching units and BA in Economics: general track. No credit toward BA in Economics: international track, BS in Economics, or BS in Mathematics and Economics. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場、変動為替相場も対象とする。通常は、毎学期に開講する。 ECON-100およびECON-200履修を条件とする。 注意：他の科目専攻学生と経済学BA（一般科目）を対象とする。経済学BA（国際科目）、経済学BS、数学および経済学BSには単位認定は行わない。	
		アメリカン大学	ECON-371 International Economics: Trade	Theories of international trade and its impact on national economies, including overall welfare gains and redistributive effects; analysis of the effects of tariffs, quotas, and other trade policies. Topics include capital and labor mobility, trade and development linkages, and preferential or regional trade agreements. Usually offered every spring. Prerequisite: ECON-300 or ECON-400. 国際貿易の理論と、その国民経済に対する影響（全体的な福利の向上と再分配効果および関税、割当、その他貿易政策の影響解析を含む）。また、資本移動や労働移動、貿易と開発との関係、特恵貿易協定や地域貿易協定といったトピックも対象とする。通常は、春学期に開講する。 ECON-300またはECON-400履修を条件とする。	
		アメリカン大学	ECON-372 International Economics: Finance	Determination of income, employment, and inflation in open economies; international impact of monetary-fiscal policies under fixed and flexible exchange rates; theories of exchange-rate determination; and international monetary organization and reform. Usually offered every fall. Prerequisite: ECON-301 or ECON-401. Recommendation: STAT-202 or STAT-203. 開放経済における所得、雇用、インフレーションの決定について明らかにする。固定為替相場や変動為替相場における金融・財政政策の国際的影響。為替レート決定理論、国際金融機関と改革。通常は、秋学期に開講する。 ECON-301またはECON-401履修を条件とする。 STAT-202またはSTAT-203を履修していることが望ましい。	

基幹科目	経済学	立命館大学	International Finance	This course covers the core set of principles of international finance. We first introduce the basics of international finance, including the balance of payments, roles and functions of the foreign exchange market, and interrelations among macroeconomic variables in an open economy. We then discuss currently topical issues such as international financial crises and monetary unions. The goal is to enable students to understand the relationship between the real economy and international finance and the basic forces behind international capital movements. Upon successful completion of this course, students will gain a keen insight into international financial markets. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際金融の重要な論点をカバーする。国際収支、外国為替市場の役割と機能、開放経済におけるマクロ経済変数の相互連関など、国際金融の基礎を解説した後、国際金融危機や通貨同盟などの今日的な問題を論ずる。この科目を通じ受講者は、実体経済と国際金融の連関や、国際資本移動をもたらす要因などを理解し、国際金融市場に対する識見を高めることが期待される。授業は科目内容に相応しい講義形式で行うが、受講者の積極的な参加が望まれる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Trade and Investment	This course deals with international trade and investment as two of those three pillars of international economics which include international finance. It is primarily a lecture-based course, which gives theoretical explanation of Classical and Neoclassical trade theories (and others) and international investment theory starting from Hymer and moving through to the Eclectic theory. The course promotes theoretical understanding of the basic framework of the modern world economy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際経済学の3つの構成要素である国際貿易、国際投資、国際金融のうち前記2つを取り扱う。この科目では、主として講義形式により、国際貿易の基本理論を古典派、新古典派等を通じて理解したのち、多国籍企業による国際投資に関するハイマー以来、折衷理論にいたる理論的発展を概観する。この科目を通じて、英語をツールとして、現代世界経済の基本的枠組みの理論的な理解を促進する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

リサーチメソッド科目	アメリカン大学	SISU-206 Introduction to International Relations Research	Introduction to scientific method, data gathering, research design, statistical analysis, and computer applications for international relations and comparative studies research. The course is designed for the beginning student and employs a hands-on approach. The course also develops the analytical skills students need as active consumers of research findings. Applications are geared to research projects to be encountered in subsequent SIS courses. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: International Studies (BA). 国際関係学や比較研究における科学的手法、データ収集、研究設計、統計解析、コンピュータの活用について紹介する。本科目は、初学者を対象とし、実践的な学習活動を行う。また、学生が研究結果を積極的に活用するために必要となる分析技能の開発も行う。今後のSISの授業で遭遇する研究プロジェクトに応用できる技能を対象とする。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 国際研究(BA)限定。	
	立命館大学	Introductory Seminar II	The purpose of the course is develop their analytical and practical skills necessary to begin conducting independent academic research. Using the seminar work by some reference materials, this class guides students through the process of conducting research from thinking of a topic through to the production of the final report. In the process students develop a detailed research project and report in a step by step process and enhance their critical thinking and research skills by continually refining and refocusing their research plans, sources of data, and topics in order to learn how to produce quality academic work. This course will use formative evaluation. この科目の目的は、独自の学術研究を始めるために必要な分析力と実践力を身につけることである。様々な参考資料を用いて、テーマの選定から最終レポートの作成まで研究のプロセスを学ぶ。学生はこのプロセスに従って、詳細な研究計画を立てて段階的にレポートを作成する。研究計画、データソース、テーマを継続的に見直し、調整することにより、批判的思考と研究のスキルを磨き、質の高い論文を作成する方法を身につける。評価は、形成的評価で行う。	

リサーチメソッド科目	立命館大学	Global Studies Research	This course aims to introduce students to the basic principles of interdisciplinary social science research that are particularly relevant to the fields of global studies and International Relations. The course will provide students with information about the methods and tools used in research and the situations in which they are applied. Topics include: understanding the purpose of research; identifying researchable issues; finding, evaluating, and using sources effectively; recognizing methods associated with different types of data; and writing a research report. The course will prepare students for undertaking research in areas such as globalization, international relations, international law, international governance, international human rights, global security and justice, international and transnational crime, international aid and development, environmental protection, comparative politics, immigration and multiculturalism. Students will be encouraged to select a research topic, develop a research plan and prepare a report based on the tools and methodology learned in class. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、とくにグローバル・スタディーズと国際関係学に関わる学際的な社会科学研究の基本原則を概論し、これらの基本原則が応用される研究や状況で用いる方法論とツールに関する情報を提供する。授業で取り上げるトピックは、研究目的の理解、研究対象の特定、ソースの効果的な特定・評価・活用方法、データのタイプに応じた研究方法の認識、研究レポートの作成などである。この科目は、グローバリゼーション、国際関係、国際法、国際ガバナンス、国際人権、世界の安全保障と正義、国際・越境犯罪、国際支援・開発、環境保護、比較政治学、移民、多文化主義などの分野の研究に取り組むための準備段階である。学生は授業で学ぶツールと方法論に基づいて、研究テーマの選択、研究計画の策定、レポートの作成を行うことが求められる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced Seminar (Research Methods)	Building upon the skills learned in ‘Global Studies Research’ students will plan and conduct a research project in a specific academic field of their choosing under the guidance of a single professor. They will receive more focused methodological instruction and will further develop their research skills through focused, sustained, and systematic research on a single topic. This will Improve students’ understanding of research methods and methodology in international affairs and encourage them to become a critical, reflective consumers and producers of research. この科目はGlobal Studies Research で学び、開発されたスキルを生かして、学生が担当教員の指導に基づいて選択する固有の分野において、リサーチ・プロジェクトを実施するものである。この科目では、学生は、リサーチ手法についての指導を受け、ひとつのトピックに関するフォーカスが明確で、持続可能かつ計画的なリサーチスキルを構築する。この授業は国際関係に関する学生のリサーチ手法と方法論に関する理解を促進し、研究に関する批判的、応答的な主体者び活用者となるよう働きかける。	

リサーチメソッド科目	アメリカン大学	SISU-306 Advanced International Studies Research	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Application of research methods in international studies to an original research project. Rotating topics focus on a specific research methodology or a specific subject area. Methodologies covered include survey research methods, comparative case study analysis, game theory, discourse analysis, and ethnographic research methods. Areas include foreign policy, civil war and intervention, and nationalism. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際関係学の研究手法を、各自のプロジェクトに適用する。特定の研究手法や特定の対象分野に対して、内容で順次開講する。対象となる方法論として、調査研究手法、比較ケーススタディ分析、ゲーム理論、談話分析、民族誌的調査方法がある。分野としては、外交政策、内戦と介入、ナショナリズム等が対象となる。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-206履修を条件とする。	
外国語科目	立命館大学	日本語Ⅰ-1(総合)	ごく基本的な日本語をある程度理解・発信することができるようになる。ごく初歩的な文法、平仮名、片仮名、漢字(50字程度)、語彙(400語程度)を習得し、あいさつや自己紹介ができたり、数を数えたりすることができるようになる。単語やごく短い文の読み書きができるようになる。ロールプレイなどを通じ、教室や日常生活によくある場面の単純なやりとりの会話や聞き取り練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅰ-2(総合)	ごく基本的な日本語の理解・発信能力を定着向上させる。初歩的な文法、漢字(150字程度)、語彙(800語程度)を習得し、自身の日常的な行動などについて、限られた表現でごく簡単に話すことができるようになる。平易な短文の読み書きができる能力を身につける。ロールプレイや会話練習を通じて、自分の家族について語ったり、自分の考えや希望、経験を述べたり、相手を誘ったりする練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅱ(ライティング)	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。新たに漢字(200字程度)を習得する。日常的な話題について、簡単な文章を書くことができるようになる。初歩的な漢字や語彙、初級文法を使って短い文章を書く練習をする。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅱ（総合）	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。初歩的な文法、語彙（1,500語程度）を習得し、ごく身近なテーマについて簡単な発話をしたり、聞いて理解する能力を身につける。平易な文や短い文章が読み書きできる能力を身につける。身の回りのことなど、主として具体的で日常生活に関係が深く、場面に密着したことがらを描写するために必要な初歩的な文型や表現を学習し、「読」・「書」・「聴」・「話」の四技能の向上を図るための練習を行う。初級文法の学習を終える。	
	立命館大学	日本語Ⅲ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。接続表現を適切に使った段落単位の文章が書けるようになり、平易な話題について、説明や意見表明の文章が書けるようになる。文の間の意味関係を意識した文章を産出する練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅲ（総合）	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。日常生活に必要な基本的な会話や、身近なテーマに関する簡単な叙述ができるようになり、身近なテーマに関する簡単な文章を理解する能力を身につける。日常会話を話題や場面に応じて適切に行うのに必要となる文型や語彙を学習する。待遇表現を含め、コミュニケーションを円滑にする話し言葉を学習する。また、複数段落の文章を読み、接続表現などに注意して大意を把握する。	
	立命館大学	日本語Ⅳ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的な話題について、フォーマルな文体でまとまった文章が書けるようになる。書式に則ってさまざまな用紙に記入することができるようになる。一般的なことがらに関する文章を産出する練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅳ（総合）	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的なことがらについて、簡単な会話ができ、多少まとまりのある文章を理解する能力を身につける。論理的な文や文章の構成に必要な文法、表現、語彙などの学習をさらに進める。また、常体と敬体の使い分けを学び、常体の文章に慣れる。教材は日常的なテーマについて、身近なことから一般的な内容へ広がりのあるものを用いる。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅴ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。抽象的な語や比較的平易な専門用語を文章の中に適切に用いることができるようになる。さまざまな接続表現や文末表現を用いて、論理的な段落構成を踏まえた文章を書くことができるようになる。現代社会、文化、各自の専門分野など、幅広い話題について説得力のある文章を書く練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅴ（総合）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。一般的なことがらについて幅広い会話ができ、論理的にまとまりのある発話ができ、論理的でまとまりのある文章を理解する能力を身につける。社会や文化など、多様なテーマの文章を教材として、その中で使用されている語彙、表現、文法などを学習するとともに、論理展開を予想しながら読むことを学ぶ。また、接続表現や機能表現などを含む論理的でまとまりのある発話に必要な表現力を涵養する。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（ライティング）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになり、専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（総合）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになる。専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（聴解口頭）	幅広い場面やテーマのまとまりのある会話、ニュース等を聞き、話の流れや内容を理解する活動を行う。また、現代日本社会や時事問題等のテーマでディスカッションやスピーチを行い、より高い表現能力を養う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅶ（聴解口頭a）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。大学での講義を正確に聞き取ることができ、それをノートに正確にまとめることができるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の授業に参加するために必要な聴解力・口頭表現力を養う。ノートのとり方、講義の聞き方の練習を中心とし、自分の意見を正確に伝える力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（聴解口頭b）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。発表に必要な分析能力、批判能力を身につけ、論理的に話せるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の講義に参加するために必要な聴解力・口頭表現能力を養う。自分の関心のあるテーマについて情報を収集し、論拠を提示しながら論理的に話す力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（読解a）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。読解のスキルを身につけ、文章構成、論理展開を把握し、推量、予測しながら読み進める力を養う。段落ごとに内容を理解し、文章全体の大意把握、要約ができるようになる。様々な文章の読みを通して読解のスキルを磨き、文章の内容をより速くより正確に掴めるようにすると共に、その背景にある日本文化・社会に対する理解を深める。さらに、段落の要点理解から、文章全体の大意を把握し要約する力を養う。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（読解b）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。読解のスキルを用いて、複雑な構造の長文の大意把握、要約ができ、評論、論説の読み方に習熟し、筆者の考え方、ものの見方をクリティカルに読み取り、自分の意見を述べることができるようになる。評論、論説文、小説等複雑な構造の長文を速読して、論旨を読み取り要約し、自分の意見を構築することを目指す。また異なる視点から書かれた文章を読み比べるなど、文章をクリティカルに読む姿勢を身につける。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（文章表現a）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。大学の授業で必要とされるレポートの全体像をつかみ、適切な文体や目的に応じた表現を使い、簡潔な形でまとめられるようになる。レポート作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅶ（文章表現b）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。論文作成に必要な文章構成に基づき、適切な文体や目的に応じた表現を使えるようになる。アウトラインの作り方と論証の仕方を練習し、小論文が書けるようになる。論文作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語a）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れ、高度な読解力、文章表現力、聴解力、口頭表現力を総合的にのばす。難解な文章を読み、内容や構成を把握でき、長文レポートの文章構成力、作成力、論理的な思考力や認識力、論理的発信力を身につける。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語b）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れた総合的日本語力をのばす。関心のあるテーマについて情報やデータを収集し、論文を作成できるようになる。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語a）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。日本の社会や慣習を理解し、ビジネス場面における適切な表現、語彙を学ぶ。社会人としての基本的な敬語や待遇表現を身につけ、円滑なコミュニケーションができるようにする。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語b）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。実際のビジネス場面（電話、訪問、商談、等）に即したコミュニケーションの方法、ビジネス文書やメール文の実務的な表現や書式を学ぶ。プレゼンテーションの練習を行う。	

外国語科目	アメリカン大学	JAPN-114: Elementary Japanese I	Prepares students to function in everyday situations in the Japanese-speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every fall この科目は、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎秋学期に開講される。	
	アメリカン大学	JAPN-115: Elementary Japanese II	Continuation of JAPN-114. Prepares students to function in everyday situations in the Japanese-speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-114. この科目はJAPN 114科目の継続版であり、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎春学期に開講される。 当該科目を履修する場合は、JAPN114を履修していることが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-214: Intermediate Japanese I	Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-115. この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎秋に提供される。この科目を受講するに当たっては、JAPN-115を履修しておくことが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-215: Intermediate Japanese II	A continuation of JAPN-214. Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills.Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-214. この科目はJAPN 214科目の継続版である。この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN214を履修していることが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-314: Advanced Japanese I	Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-215. この科目は、本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎秋に提供される。 この科目を受講する場合、JAPN-215を履修しておくこと。	

外国語科目		アメリカン大学	JAPN-315: Advanced Japanese II	Continuation of JAPN-314. Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-314. この科目はJAPN 314科目の継続版である。本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN314を履修していることが求められる。	
		アメリカン大学	JAPN-490: Independent Research in Japanese	This course is individually designed by the student and faculty member to explore an area of research in Japanese. この科目は、受講する学生と担当教員の間で、日本語/日本に関する分野の研究を行っていくために、それぞれの場合に応じて設計される。	
固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance	This course examines explanations for the major changes in political order and governance over time and across the globe. Topics include the rise and decline of empires and caliphates, the rise of and challenges to the nation-state and the state system, and the emergence of regional and global international organizations and institutions. Usually offered every term. Grading: A-F only. この科目では、政治秩序やガバナンスの大きな変化について、時代の経過と、グローバルな観点で説明する。トピックには、帝国およびカリフ制の勃興および没落、国家および国家体制への挑戦、ならびに地域および世界の国際的組織および機関の出現が含まれる。通常、すべての学期で開講される。グレーディング：A-Fのみ。	
		立命館大学	Introduction to The United Nations	The aim of this course is to introduce students to the United Nations'(UN) history, functions, structures, and contemporary challenges. By studying for this course, students should be able to understand the key concepts related to the UN and to apply these insights to contemporary international affairs. The course traces the development of the UN and its 'practices' within international politics. The course will consist of small group and class discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際連合の歴史、機能、構成、および今日の課題を概説することを目的とする。この科目を学ぶことにより、学生は国際連合の主要な概念を理解し、その洞察を現代の国際問題に応用できるようにする。国際政治の中での国際連合とその慣行の発展をたどる。講義は基本的に、小グループとクラス全体でのディスカッションにより進める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Comparative and Global Governance	The course looks at different ways of thinking about the drivers of history and the sources of political order and the ability of these approaches to explain developments in key historical periods: The rise of the nation-state and the competitive state system; the spread of democratic and non-democratic regimes; and the rapid increase in the number and importance of international institutions and the rise of new powers and alternative political orders in the contemporary period. The course will conclude with an effort to bring informed historical and theoretical arguments to bear on contemporary problems and to better anticipate and understand potential avenues of change in the future. この科目は歴史の推進要因と政治秩序の根源に対する様々な考え方と主要な歴史的時期における発展－国民国家の台頭と競争的国家システム;民主的および非民主的体制の拡散;国際制度の数的拡大と重要性の増大と現代における新しいパワーの台頭とオルターナティブな政治秩序ーを説明するためのこれらのアプローチの能力に着目する。この講義は幅広い知識の歴史的かつ理論的な議論に基づいて現代の諸問題を論じ、また、将来における変化の潜在的な方法をより良く予期し理解することを試みる。	
	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture	Explores the complex and dynamic configuration of identity based on race, ethnicity, gender, nationalism, and religion as they relate to specific cultures, globalization, and social discourse. Usually offered every spring. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: no more than 90 credit hours. 人種、民族性、ジェンダー、ナショナリズム、宗教にもとづいたアイデンティティの複雑かつ動的な様態と、それらの特定のカルチャー、グローバリゼーション、社会的言説との関係について探る。通常は毎春学期に開講する。A-F評定のみ。SISU-105の履修を条件とする。90単位数の履修を上限とする。	

固有専門科目	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Race and Ethnicity in the Modern World	This course introduces students to studies of race and ethnicity from a historical and comparative perspective. Difference based on race, skin color, and ethnic origin has been incorporated into the formation of modern nation states across the globe. Indigenous peoples, racial minorities, and immigrant-based ethnic groups suffer from forced assimilation, marginalization, exclusion, and genocide in the process of nation-building. At the same time, minorities emphasized their identity based on race and ethnicity as a source of self-esteem and solidarity to overcome discrimination, oppression, and exclusion. The course examines the theoretical concept of race, nation, ethnicity in social science and questions ethnocentric views to conflicts in globalized society. It also focuses on various empirical case studies of racism, ethnic conflicts and multiculturalism across the glove. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は、歴史と比較の視点から人種エスニシティ研究を紹介する。人種、肌の色、エスニックな起源にもとづく差異は、世界各地における近代国民国家形成の過程に組み込まれてきた。その国家建設の過程では、先住民族、人種マイノリティ、移民エスニック集団は、強制的同化、周縁化、排除、そして大量虐殺という苦難を経験している。この講義では、社会科学における人種、ネーション、エスニシティの理論的概念について検証し、グローバル社会における自民族中心的な考え方を問う。また、世界各地の人種主義、民族対立、多文化共生などの事例研究にも注目する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Introduction to Gender Studies	This course explores gendering processes in everyday social life and in identity dynamics within global society. It draws on a range of feminist perspectives in gender studies. Students will engage in debate and discussion to deepen their understanding of mini-lectures and of academic reading content. They will also engage in simulation activities and research projects. They will develop the capability to challenge mainstream discourses on femininities and masculinities and to evaluate policies in terms of gender equality. Students will be able to analyze a wide range of gender issues from terdisciplinary and global perspectives. They will be able to critically examine the influences of gender in the construction of personal identities and national identities in policy documents, news media, entertainment media, and in the academy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル社会における日常の社会生活とアイデンティティダイナミクスに見られるジェンダリング（性別化）のプロセスを探求する。ジェンダー研究における幅広いフェミニズムの視点を活用する。学生は、ミニレクチャーと文献読解の理解を討論・議論を通して深めていく。シミュレーションとリサーチプロジェクトも行う。女性性と男性性をめぐる主流の言説を問い直し、ジェンダー平等の視点から政策を評価する能力を身につける。学生は、学際的でグローバルな視点から多様なジェンダー問題を分析できるようになる。政策文書、ニュースメディア、エンターテイメントメディア、学術界において、個人と国家のアイデンティティの確立にジェンダーが及ぼしている影響を批判的に検討できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	This course explores the central concepts of peace and conflict resolution, important theories of causes of conflict and applications of conflict resolution in difficult global contexts. It compares definitions of peace, explores types of conflict, and analyzes conflict from multiple perspectives, which range from individual-level theories of aggression and human nature to inter-group theories of identity and mobilization. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: no more than 90 credit hours. 本科目では、平和と紛争解決の中心的コンセプト、紛争の原因に関する重要な理論、困難な国際的状況に対する紛争解決策の適用について探求する。また、様々な平和の定義を比較し、紛争をタイプ別に検討し、紛争を様々な角度（攻撃性や人間性の個人レベルの理論からアイデンティティや動員に関するグループ間理論を含む）から分析する。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 90単位数の履修を上限とする。	
		立命館大学	Security Studies	This course will cover basic arguments in Security Studies. Students are expected to develop skills for critical analysis and making logical arguments supported by evidence - in other words, to make academic arguments. Lectures intend to demonstrate how to analyse case studies applying relevant theories. The former part of the course focuses on analytical tools, i.e., theories in Security Studies. The latter part of the course will explore non-traditional security issues, such as transnational crimes and international terrorism.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は安全保障論の基礎的な議論をカバーするものである。学生は科学的根拠に支えられた批判的な分析力、論理的思考の発展、つまり、学術的な分析力をのばす事が求められる。講義は理論を用いた事例の論じ方を紹介するものである。コースの前半は分析ツールである理論を中心に行い、硬軟は非伝統的な安全保障の領域である組織犯罪や国際テロなどの分野を検証する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Introduction to peace studies	This course reviews a wide range of theories exploring the nature and causes of conflict, the possibilities for conflict resolution, and the foundations of peace. The course will combine lecture and group work, exploring from past to contemporary case studies, so that it will help students to foster practical understandings of the cause of conflicts and discuss ways to resolve current global issues. At completion, students will possess an understanding of the key concepts of peace studies and a broad knowledge of different perspectives on peace and conflict and develop skills to address personal and group issues that require peaceful conflict transformation currently and in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、紛争の性質や要因、紛争解決方法、平和とは何かという課題を様々な理論を用いて考察する。この科目は、講義とグループワークの形態を取り、過去から今日に至る様々な紛争の事例を取り上げながら、紛争の要因を実際に理解し、今日の国際的な課題の解決に向けた議論を促す。この科目を通じて、学生は平和学の主要な概念と平和と紛争についての多様な考え方を理解し、今日あるいは将来において平和的紛争転換が必要とされる個人や集団間の問題解決の技能を習得するようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-381 African Political Institutions	This course introduces students to the themes, debates, and basic techniques of comparative institutional analysis. It examines classic readings on presidentialism/parliamentarism, party systems, electoral systems, and constitutional design alongside new research that applies institutional models to Africa. The course culminates in an empirical investigation of the relationship between particular institutional combinations and outcomes such as better representation, less corruption, or improved macroeconomic performance. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 本科目では、比較制度分析にかかわる様々なテーマ、議論、基本技法を学生に紹介する。大統領制／議会制、政党制度、選挙制度、立憲制の設計のほか、アフリカに制度モデルを適用するあらたな研究内容についても、古典的な文献にあたる。最終的には、特定の制度の組合せとその成果（代議制度の改善、腐敗の減少、あるいはマクロ経済的パフォーマンスの改善等）との関係について、実態調査を行う。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-383 Overview of the European Union	The European Union and its institutions, historical roots, the variety of its political scenery, the unity of its different cultures, and the strength of its economy–in brief, comprehending the European identity. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 欧州連合とその諸制度、歴史的由来、政治的側面の多様性、異文化の統合、経済的強みなど、ヨーロッパのアイデンティティを理解する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-385 Islam and Democracy	The purpose of democracy in Islam is primarily to serve the community–the collective good–rather than the individual, while democracy in Western liberalism underscores individualism. However, as in other religions, there are democratic precepts and practices in Islam which promote the rights of the individual. This course seeks answers to questions raised by Islam's relation to democracy, including what Islamic traditions, precepts, and practices are most promising for the support of democracy; the ramifications of an Islamic civil society; what roles women play; and the most important issues and forces behind contemporary Islamic activism for democracy. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. イスラムにおけるデモクラシーでは、個人ではなく、コミュニティ—集団的な善—に奉仕することを目的とし、西欧リベラリズムの民主主義では個人を重視する。だが他の宗教と同様に、イスラムにも、個人の権利を尊重するデモクラティックな教えや実践がある。本科目は、イスラムとデモクラシーとの関係において提起される疑問に答えようとするものであり、たとえば、どのようなイスラムの伝統、教え、実践がデモクラシーを支える上でもっとも有効であるか、そのイスラム市民社会への影響、女性の果たす役割、そしてデモクラシーに向けた現在のイスラム改革主義の背景となっている最重要事項とその勢力について検討する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-386 Contemporary Africa	Africa's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to Africa south of the Sahara. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU 206 and SISU–280. アフリカの現在の政治文化とその歴史的、経済的、地理的、社会的ルーツを明らかにする。特に、サハラ以南のアフリカに注目する。毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post-Gandhi period. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目は系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		アメリカン大学	GOVT-315 Elections and Voting Behavior	Focuses on public opinion, participation, and voting and campaign strategy in elections, with attention to issues of representation and democracy. Usually offered every term. Prerequisite: GOVT-110. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は選挙における世論、市民参加、投票や選挙戦略に焦点を当て、特に、代議制度と民主主義の諸問題に注目する。通常は毎期に開講する。GOVT-110の履修を条件とする。またGPA2.5取得を最低条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including international law, comparative governing institutions, and leading global organizations. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際法、比較統治機構、主な国際機関といったトピックをローテーションを組んで扱う。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-280の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-329 Global Economic Governance	A study of the entrepreneurial, corporate, and governmental forces and organizations that have shaped international commerce and cross-border finance. The course examines how private-sector and official institutions in particular have become more or less relevant in light of fast-paced globalization since the 1960s, the challenges these institutions currently face, and how these institutions interact with and react to developments in commodity and financial markets. Grading: A-F only. この科目は、国際商取引や国境を越えた資金調達を行っている起業家、企業、政府の力や組織の研究を行う。1960年代から急速に進んだグローバリゼーションのなかで、民間セクターと公的機関がどのように関連し、これらの機関が現在直面している課題、およびこれらの機関が商品やフィナンシャルマーケットの発展とどのように相互作用し反応するかを考慮する。グレーディング：A-Fのみ。	
		立命館大学	Global Civil Society and Development	This course investigates the origins, roles and practices of civil society in the context of international development efforts. Building on a multi-disciplinary approach the course will discuss the main theories addressing the actor in the wide field of international development. Attention will be paid to the plurality of actors nestled within the umbrella concept of 'Civil Society' (non-governmental organisations, international advocacy actors, protest movements, etc.). Key contemporary questions will be addressed: the role of global civil society in fostering - and sometimes hampering - social change; the institutional and financial constraints faced by such civil society organisations (CSOs) and the strategic choices attached to such constraints; the global divide between Northern and Southern CSOs; and a wide range of other ethical, political, environmental and economic issues linked to the multiple roles played by contemporary civil society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際開発活動の文脈において、市民社会の起源、役割、活動を調べる。学際的なアプローチにより、国際開発という幅広い分野におけるアクターを取り上げ、主要な理論について考察する。「市民社会」という包括的な概念に含まれる多様なアクターに着目する（非政府組織、国際的なアドボカシー団体、反対運動など）。さらに、社会の変化を促進する（ときには阻みもする）グローバルな市民社会の役割、そのような市民社会組織（CSO）が直面している制度的・財政的制約、それらの制約に伴う戦略的選択、南北間でのCSOの世界的分断など現代の主要課題を取り上げる。他にも、民族、政治、環境、経済問題など、現代の市民社会が果たす多くの役割に結びつく事項を幅広くカバーする。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Sociology	This course introduces students to the study of global sociology. The course challenges the perspective of nationalist sociology that takes the nation-state as its analytical unit, and investigates the formation of the global civil society and global consciousness from a sociological perspective. In doing so, the course both outlines the trends within globalisation from above, such as the formation of a capitalist economic world system, along with the reaction of the nation-states to this, and also discusses the aspects of globalisation from below through subjects such as global tourism, migration, social movements, terrorism and identity formation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目はグローバル社会学への入門科目である。国民国家を分析の対象とするナショナリスト社会学に挑戦して、グローバルな市民社会やグローバルな意識の形成過程を社会学的な視点から論じる。具体的には、資本主義的経済を基にする世界システムの形成やそれに対する国民国家の反応のような、「上」からのグローバル化を明示する一方で、グローバルなツーリズム、マイグレーション、社会運動、テロリズム、アイデンティティ形成のような、「下」からのグローバル化のあり方を論じる。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Human Rights	This course will provide an introduction to human rights philosophy, principles and institutions and familiarize students with current debates in the field. The course will also explore aspects of the diverse and increasingly complex body of international human rights law, analyze the ways in which allegations of human rights violations are dealt with in national and international courts and examine the impact of human rights discourse on international relations. Among the themes covered are: the philosophical foundations of human rights; the structure of international human rights treaties; the content of the major substantive rights; and the means by which human rights norms are implemented on national and international levels. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、人権に関する理念、原則、および制度を概論し、人権分野において今日なされている議論を学ぶ。また、多面的で複雑の度を増す国際人権法を様々な角度から掘り下げ、国内および国際裁判所での人権侵害の申し立ての対応を分析し、人権をめぐる言説が国際関係に与える影響を検討する。授業で取り上げるテーマは、人権の理念的基盤、国際人権条約の構造、主要な実体的権利の内容、国内および国際レベルでの人権規範の実施手段などである。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	
		立命館大学	International Migration	International migration has been one of the signature phenomena of globalization for decades. People in modern society move as labor migrants and their family members, transnational professional elites working in multinational corporations, refugees and asylum seekers, international students, tourists, and undocumented immigrants. This course seeks to examine international migration from an interdisciplinary perspective, bringing together insights from sociology, history and political science. Questioning the given framework of the nation-states, this course tries to understand global society from legal, historical and sociological perspectives on international migration. The topics may include theory of international migration, modern history of global migration, migration policies, settlement and incorporation, formation of ethnic minorities, migration and development, and transnationalism. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際移民は、現代のグローバル化における重要な現象の一つである。現代の移動者は、労働移民とその家族、多国籍企業で働くエリート、難民や庇護申請者、留学生、観光客、非合法移民などさまざまなかたちで国境を越えて移動する。本科目では、社会学・歴史学・政治学などの学際的な視点から国際移民について検証する。そして、国民国家を前提とした枠組を問い直し、国際移民についての法的・歴史的・社会学的視点から、グローバル社会についての理解を深める。具体的なトピックとしては、国際移民の理論と歴史、移民政策、定住と統合、エスニック・マイノリティの形成、移民と開発、トランスナショナリズムなどを扱う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	International Law	This course is designed to familiarize students with the rules and processes through which international law governs relations between states and regulates the affairs of corporate bodies and individuals on the international plane. Much of the focus of the course is on systemic issues: the principal sources of international law and the main institutions in which international law is developed and in which international disputes are resolved. Special attention will be given to issues such as personality, jurisdiction and responsibility; the main rules on the use of force; the rights of the individual under international law; and the relationship between power and the use and abuse of international law. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国家間の関係を司り、国際レベルでの企業・個人の問題を規定する国際法のルールとプロセスを学ぶ。国際法の主たる法源、国際法の立法や国際紛争の解決にあたる主要機関など、主として制度面に重点を置く。とくに法主体性・管轄権・国家責任、武力紛争法、国際法における個人の権利、国際法の優劣関係・権利濫用などに着目する。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Global Environmental Issues	This course broadly introduces students to global environmental issues. While providing students with the ability to look at issues with a holistic, bird's eye view angle, the course will focus more on 'how' and 'why' certain environmental issues have emerged and how they have evolved, rather than merely focussing on related facts and status (i.e.'what'). The course covers a variety of global environmental issues, including climate change, desertification, air pollution, ozone depletion, loss of biodiversity, and loss of marine resources. It also covers several different modes of environmental governance through which we, as the international community, have adopted aiming to solve them. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバルな環境問題を概論する。関係する事実や状況(「何が」)だけを見るのではなく、特定の環境問題が「どのように」「なぜ」起きたのか、どのように変化してきたかに重点を置いて考察し、問題に対して包括的、俯瞰的な視点をもつことを学ぶ。授業では、気候変動、砂漠化、大気汚染、オゾン層破壊、生物多様性の喪失、海洋資源の喪失を含め、世界の様々な環境問題をカバーする。また、これらの問題を解決するために、国際社会が採用してきた環境ガバナンスの形態もいくつか取り上げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	International Organizations	International Organisations (IOs) have become pivotal actors on the global stage today, addressing pressing concerns of international public good, trade, the environment, international security, and poverty. This course addresses the historical and theoretical foundations of IOs - both International Governmental Organisations (IGOs) and International Non-Governmental Organisations (NGOs). While this course will aim to equip students with a broad understanding of the structures of some of today's most prominent IOs, it will further encourage students to reflect on the relevance, effectiveness and practices of IOs in our globalising world, as well as the pressing issues of accountability that they bring forth. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際機関(IO)は今日の国際社会における重要なアクターであり、国際公共善、貿易、環境、世界の安全保障、貧困など差し迫った問題に対応している。この科目では、国際政府組織(IGO)と国際非政府組織(NGO)の両方について、IOの歴史的および理論的基盤を取り上げる。この科目では、広く知られるIOを例にとり、その組織構造について概要を理解するとともに、現代のグローバル化社会におけるIOの妥当性、効果、活動、これらのIOが明るみにした説明責任に関する喫緊の課題ついても考察する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Special Lecture (GCG)	The focus of this class is on new or emerging topics related to global and comparative governance. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Global and Comparative Governance 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Explores the contemporary and historical development of Washington D.C. and the Chesapeake region; or invites students to interact with communities and the environment in the area. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ワシントンDCとチェサピーク地域の現在および歴史的発展について探求する。また学生が当該地域のコミュニティや環境と触れ合う機会を設ける。通常は毎期に開講する。	
		アメリカン大学	ANTH-210 Race and Racism FA3	Drawing from biological anthropology, this course traces the development of the race concept, beginning with the emergence of ″pre-racial″ categories. It then examines the biological and social construction of race, how race has been mutually constructed with sexism, heterosexism, classism, and other essentialist forms of oppression. Modes of resistance are examined simultaneously. Usually offered every term. この科目では、生物人類学を援用し、人種という概念の変遷をたどる。まず「プレ・レイシャル」カテゴリーの出現から始め、人種の生物学的および社会学的構造を検討し、人種が、性差別、同性愛差別、階級差別、その他本質主義的な抑圧形態とどのように関係してきたかを検証する。またさまざまな抵抗形態についても検証する。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目		アメリカン大学	HPRM-441 Health Communication	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. この科目では、必須栄養素とその体内における機能、食習慣と慢性病との既知の関係や仮説として示されている関係について検討する。また、米国政府発表の栄養指針、栄養に関する迷信、食品ラベル、消化、体重管理等についても対象とし、学生が自分に必要な栄養や食事について、適切な情報に基づいた判断ができるようにする。通常は毎期に開講する。	
	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Europe. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ヨーロッパにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Latin America. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in the Middle East. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。中東におけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-210またはSISU-260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-369 Topics in Public Diplomacy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on public diplomacy. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。パブリックディプロマシーに関するトピックで順次開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on the intersection of human rights, identity, and culture. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260 or SISU-270. この科目では人権、アイデンティティ、カルチャーの交差といったトピックをローテーションを組んで扱う。セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260またはSISU-270の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4	Race, class, gender, sexuality, ability, and age are key factors in systematic marginalization and inequality. This course examines how some people suffer from inequalities while others benefit from them. It explores how power, privilege, and inequality are maintained through a range of social institutions and daily social interactions. It also cultivates intellectual insight and personal agency. Usually offered every term. 人種、階級、ジェンダー、性差、能力、年齢は、システマチックな社会的疎外や不平等をもたらす大きな要因となっている。本科目では、不平等により被害をこうむる人がいる一方で、不平等の恩恵にあずかる人がいる実態について検証する。また権力、特権、不平等がさまざまな社会的機構や日常の社会的相互作用の中で温存されている実態についても検証する。本科目は、知的洞察力や各人の主体性を高めようとするものである。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SOCY-310 Language, Culture, Power	This course cultivates insight into the ways that language and representation can (re)produce, maintain, and subvert relations of power, social identities, and social hierarchies. Discussions and readings develop insights into the various ways in which gender, sexuality, race, ethnicity, class, and ability are constructed and contested through systems of language and representation. The course is hands-on and students draw from course readings to examine a range of data including popular film, advertisements, newspaper articles, and social interactions. Usually offered every spring. この科目は、言語と表象により、権力、社会的アイデンティティ、社会的階層の関係がいかに現出、維持、転換されるかについて、深く考察する。授業での議論や課題図書を通じて、言語や表象のシステムが、ジェンダー、性差、人種、民族、階層、能力をどのように構築し競合関係を生み出しているかについて洞察を深める。本科目は実体験を重視し、学生は、課題図書に基づき、人気映画、広告、新聞記事、人的交流といったさまざまなデータを検証する。通常は春学期に開講する。	
		アメリカン大学	SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives	A focus on what happens when divergent types of persons experience social contact. Racial, ethnic, tribal, national, and religious interactions throughout the world. The processes include conflict, amalgamation, acculturation, assimilation, prejudice, and discrimination. Usually offered every fall. Prerequisite: SOCY-100 or SOCY-110 or SOCY-150. この科目は、さまざまなタイプの人間が社会的接触を経験する場合に何が起こるかに注目する。世界各地における人種、民族、部族、国家、宗教の相互作用について考える。その検討プロセスには、紛争、融合、変容、同化、偏見、差別を含む。通常は毎秋学期に開講する。SOCY-100またはSOCY-110またはSOCY-150の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research	This course examines intersectionality as both an analytical tool and a conceptual framing that has developed into a broad web of theoretical and empirical work examining how race, class, and gender interact in meaningful and complex ways. The focus includes important methodological assumptions and complications of intersectionality, as well as contemporary challenges such as the discussions of positionalities ignored in initial framings of intersectionality, including age, disability, and sexuality. Usually offered alternate springs. Prerequisite: three courses in sociology. Recommendation: SOCY-210, SOCY-351, or SOCY-354. 本科目は、インターセクショナリティ(交差性)を、分析ツールとして、また考え方の枠組みとして検証する。この枠組みは人種、階層、ジェンダーが有意かつ複雑にどのように関係し合っているかを検証する、さまざまな理論や経験を取り込んだ研究に発展してきている。特に、インターセクショナリティにおける重要な方法論的仮説やその複雑化のほか、インターセクショナリティの初期構想時には考慮されなかった、年齢、障害、性差といったポジショナリティ(立場性)の議論といった、今日的な課題についても注目する。通常は隔年の春学期に開講する。社会学3科目の履修を条件とする。SOCY-210、SOCY-351、SOCY-354の受講が勧められる。	隔年

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A-F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		立命館大学	Media and Society	This course introduces students to many aspects of contemporary media studies and considers ways of understanding the various roles that media, both traditional and 'new', play in modern society. It will draw on students' own experiences and academic discourse to consider a broad variety of areas; media production, representations of society, theories of 'media effects', public opinion and democracy, audiences and media consumption, and the legal and regulatory frameworks that shape the media landscape. Academic approaches to understanding the mass media will be presented in lecture-based sessions, contemporary media texts will be used as a basis for structured discussion and debate aimed at giving students the opportunity to evaluate and assess their personal experiences and knowledge. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、現代のメディア研究の様々な側面を概論し、従来のメディアと「ニュー」メディアが現代社会で果たす多様な役割を理解するための方法を検討する。学生自身の経験と学術論文から、メディア制作、社会の描写、「メディア効果」理論、世論と民主主義、オーディエンスとメディア消費、メディア環境を形成する法的・規制の枠組みなど、幅広い多様な分野について考察する。マスメディアを理解するための学術的アプローチについて講義するほか、学生が自分の体験と知識を振り返り評価する機会として、現代メディア論のテキストを用いて体系的な議論・討論も行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Topics in Identity	Identity is a subject we can all discuss, but not an easy idea to pin down in an academic context. This course offers students an overview of important issues in and around the notion of 'identity', allowing them a way in to a more structured understanding of this pivotal concept. Topics covered may include theories of personal and social identity, gender and sexuality, race and ethnicity, the role of the 'Other', nationalism and identity politics, and so on. This course makes use of students' knowledge of identity issues as a basis for interactive learning, this approach is complemented by lecture-style teaching which provides a structured framework to locate discuss experiences. Students completing this course successfully will gain an improved ability to discuss and understand identity as a concept, and improved communication skills. They will also gain a thorough knowledge of theory and issues related to 'identity'. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. アイデンティティはだれでも議論できるテーマではあるが、学術的な文脈で明確に述べるとなると簡単ではない。この科目では「アイデンティティ」の概念をめぐる重要な諸課題を概説する。学生は、このきわめて重要な概念を体系的に理解するための方法を学ぶことができる。個人と社会のアイデンティティ、ジェンダーとセクシュアリティ、人種と民族、「その他」の役割、ナショナリズムとアイデンティティポリティックスなどのトピックを取り上げる。アイデンティティの諸問題に対する学生の知識を引き出し、双方向的に授業を進める。さらにこのアプローチを講義で補完し、経験を特定し議論するための体系的な枠組みを提供する。この科目を履修する学生は、概念としてのアイデンティティを考察し理解する能力を身につけ、コミュニケーション力が向上する。「アイデンティティ」に関連する学説や課題を詳しく知ることもできる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Special Lecture (IRGC)	The focus of this class is on new or emerging topics related to identity, race, gender, and culture. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Identity, race, gender, and culture 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including peace and social justice, international security, causes of war, and human and global security. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。平和と社会正義、国際安全保障、戦争の原因、ヒューマンセキュリティ、国際安全保障といったトピックを順次開講する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia	This course compares economic development strategies of the East Asian developmental states (Japan, Taiwan, South Korea and Singapore) and the more recent export-led growth models of Malaysia, China, and Vietnam. All cases have in common strong government intervention in their economies and strong export promotion policies. The differences in global economic conditions have led scholars to assert that the developmental state model is no longer viable. This course investigates what created the economic miracles of China and Vietnam, and earlier Malaysia, and whether the basic principles of the developmental state model still apply; is state intervention obsolete, possible, or necessary in the twenty-first century global economy. The class then contrasts the East and Southeast Asian models with India, an emerging economy and one that in the past was seen as a failed developmental state, and concludes by trying to find lessons with wider applicability for developing countries. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. この科目では、東アジアの開発主導型国家・地域（日本、台湾、韓国、シンガポール）における経済開発戦略と、近年のマレーシア、中国、ベトナムにおける輸出主導型成長モデルを比較する。これらすべてに共通するのは経済に対する各国政府の強力な介入と強力な輸出促進政策だが、研究者の間では、グローバル経済条件の変化により、開発主導型国家モデルはもはや妥当しないとも評されている。本科目では、中国やベトナムおよび以前のマレーシアにおいて、奇跡的な経済発展の原因となったものは何か、開発主導型国家モデルの基本原理はまだ有効なのか、つまり、国家の介入は21世紀のグローバル経済環境においては時代遅れなのか、可能なのか、あるいは必要なのかについて検証する。さらに、東アジアや東南アジアのモデルを、新興経済の一つであり過去において開発主導型国家の失敗事例とされたインドと比較し、最終的に、発展途上国に広く適用できる教訓を学び取ろうとする。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-313 Transatlantic Security	This course examines the evolution of trans-Atlantic security policy and defense planning. It begins with a review of the formation of NATO and of trans-Atlantic defense policy and military force planning through the Cold War to the breakup of the Soviet Union. The course then focuses in some detail on the transformation that trans-Atlantic security relations have undergone, in particular the shift of NATO's focus from defense of European territory to expeditionary operations outside its boundaries and the European Union's assuming a strong role in defense planning. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. 本科目は、大西洋安全保障政策と防衛計画の推移について検証する。NATOの設立から検討を始め、大西洋防衛政策や軍事計画について冷戦からソ連崩壊までを概観する。さらに大西洋安全保障関係に生じた変遷について、特にNATOが欧州の地域防衛から周辺地域への派遣作戦に主力をシフトし、欧州連合が防衛計画に大きな役割を担うようになっていく変遷に注目する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-316 United States-Russian/Eurasian Security Relations	Addresses the relations between the United States and Russia, the Soviet Union and its successor states, focusing on the security aspects of those relations. The course primarily covers the evolution of security relations from the Bolshevik Revolution to the present. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. アメリカとロシア、ソ連とその後継諸国との関係について検討する。これらの関係における安全保障の側面に注目し、特に本科目では、ボルシェビキ革命から現在にいたる安全保障関係の推移を中心に扱う。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on global security and foreign policy. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-230. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。グローバル安全保障と外交といったトピックで順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210、またはSISU-230履修を条件とする。	

固有専門科目		アメリカン大学	SISU-319 Arab-Israeli Relations	A survey of Arab–Israeli relations from their origins to the present. Includes an account of Zionism and Palestinian nationalism, the history of the British mandate, the Arab–Israeli wars, the involvement of external powers, and the quest for peace. The emphasis is on conflict resolution. Usually offered every spring. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–220. アラブ・イスラエル関係について、その起源から現在にいたるまでを概観する。シオニズムとパレスチナナショナリズムについて説明し、イギリスの委任統治の歴史、アラブ・イスラエル戦争、諸外国の関与、和平への模索についても検討する。中心テーマは紛争解決。通常は、通常は、春学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–220履修を条件とする。	
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-359 Environment, Conflict, and Peace	The focus of the emerging interdisciplinary field of environmental peacemaking, with its focus on relationship–building between conflict actors, is to identify ways that the environment, natural and human, provides opportunities for building bridges of collaboration between conflicting parties. In this course, students deal with concepts from ecopolitics, environmental security studies, international relations, and conflict resolution to develop an understanding of the theoretical framework informing the emerging environmental peacemaking paradigm. The course examines the interactions among violence, conflict, peace, security, and the natural environment. It is structured to create the context for students to address questions including what impact violent conflict has on the environment; is environmental degradation itself a source or trigger of violent conflict; and how environmental cooperation can be used to promote peace and sustainable development. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–250. 環境の平和維持活動という新しい学際的分野では、紛争当事者間の関係構築を中心として、環境（自然環境と人工的環境）により、紛争関係者間の協力体制の構築に向けた機会がどのように実現されるかを明らかにする。本コースで、学生は、環境政治学、環境安全保障研究、国際関係、紛争解決等に由来する概念に取組み、新しい環境平和維持パラダイムに情報を提供する、理論的枠組みについて理解を深める。また暴力、紛争、平和、安全保障、自然環境等の相互作用についても検証する。本コースでは、暴力的な紛争は環境にどのような影響を及ぼすのか、環境悪化そのものが暴力的紛争の原因あるいは引き金になっているのか、そして環境に係る相互協力は、平和と持続可能な発展の促進にどのように役立てることができるのかといった疑問に答えるための枠組みを、学生自ら構築できるように構成されている。A–F評定のみ。SISU–206およびSISU–210またはSISU–250の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–210またはSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
		アメリカン大学	IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post–conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on–the–ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post–conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with IBUS–671 and MGMT–471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。対応講座はIBUS–671およびMGMT–471/671。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post-conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on-the-ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post-conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with MGMT-671 and IBUS-471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。 MGMT-671 and IBUS-471/671と対応する。	
		アメリカン大学	RELG-475 Religion and Violence	This course explores the religious dimensions, both ideological and cultural, of political and military conflict. Themes include sacred geography and literature as grounds for bloodshed; the sanctity of race; martyrdom/terrorism; and pacifism. Empirical data is drawn from Germany, Lithuania, the Middle East, and the Balkans. Meets with RELG-675. Usually offered every spring. 本科目は、政治的・軍事的対立における宗教的側面（イデオロギーおよびカルチャーの両面から）について探求する。テーマとしては、流血の原因となる神聖地理学や神聖文学、人種の神聖化、殉教／テロリズム、平和主義等が含まれる。ドイツ、リトアニア、中東、バルカン諸国から得られた経験的データを使う。関連講座はRELG-675。通常は毎春学期に開講する。	
		アメリカン大学	WGSS-350 Interpreting Gender in Culture : Gender and Violence	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. An exploration of diverse aspects of gender experience from different disciplinary perspectives. Rotating topics focus on specific subjects, integrating recent scholarship and interdisciplinary contexts. Representative topics include gender and violence, gay and lesbian documentary, masculinities, and international feminisms. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。多様な学際的見地から得られたジェンダー体験のさまざまな側面について検討する。さまざまなテーマをローテーションを組んで扱い、最新の研究や学際的な内容を統合していく。代表的なトピックとしては、ジェンダーと暴力、ゲイおよびレズビアン・ドキュメンタリー、男性性、国際フェミニズム等がある。	

固有専門科目	固有専門科目Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Peace and Conflict Studies	The aim of the course is to deepen students' understanding of theoretical and empirical problems in the study of the outbreak, development and resolution of armed conflicts. Focus is directed upon the post-Cold War conflict processes within states, different analytical levels - individual, group, state, and regional - are considered. The course combines lecture and group work, exploring the various peacebuilding attempts, to identify empirically and critically evaluate central obstacles and problems for conflict resolution, conflict management, and durable peace. At completion, students will acquire a thorough understanding and critical examination of the origin, dynamics and resolution of on-going armed conflicts today. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、武力紛争の発生、発達、解決における問題を理論的・実証的に学習し、理解を深めることを目的としている。特に冷戦後の国内紛争に焦点をあて、個人・集団・国家・地域の異なる観点から分析する。この科目は、講義とグループワークの形式を取り、冷戦後発達した平和構築の取り組みを取り上げ、紛争解決、紛争管理、永続的な平和を阻害する要因や問題を批判的に考察する。この科目を通じて、学生は現在進行中の武力紛争の発生原因、力学、解決についても批判的に分析し理解することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	
		立命館大学	Special Lecture (PGSCR)	The focus of this class is on new or emerging topics related to peace, global security, and conflict resolution. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Peace, Global Security, and Conflict Resolution分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
地域研究科目		アメリカン大学	ANTH-439 Culture, History, Power, Place	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Examination of a particular culture area to provide insight into the conditions that produced distinctive cultures in certain geographical regions. Rotating culture areas include North American Indians, Latin America, Mexico and Central America, African American women, India, Africa, China, and Japan. Meets with ANTH-639. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。特定の地域をとりあげ、その地域に特徴的な文化を醸成した諸条件に関する考察を行う。北米ネイティブ・アメリカン、ラテンアメリカ（メキシコ、中米）、米国アフリカ系女性、インド、アフリカ、中国、日本といった文化圏ごとに順次開講する。関連科目はANTH-639。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	AWST-225 Arab Societies	This course introduces students to the twenty-two nations of the Arab world. Themes covered include popular images in the media, politics, economics, religion, and gender and sexuality. Comparisons between countries, both macro and micro, are emphasized throughout the course. Usually offered every term. 本科目は、アラブ世界の22か国について、学生に紹介するものとなる。対象テーマとしては、マスコミに取り上げられる一般的なイメージ、政治、経済、宗教、ジェンダー、セクシュアリティを扱う。科目全体を通じて、マクロ的およびミクロ的両面における各国の比較を特に強調する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	FREN-431 Civilisation Francaise I	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 中世からフランス革命までのフランスを対象とする。政治、社会、経済における発展を概観し、特に、一次資料をもとに、エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-631。通常は、隔年の秋学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-432 Civilisation Francaise II	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 19世紀・20世紀フランスを対象とする。新体制、フランス革命が社会階層とその精神構造に及ぼした影響について学ぶ。エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-632。通常は、隔年の春学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-433 French Topics	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。フランスの政治、社会、映画、フランス語圏の小説やショートストーリー、アルジェリア植民地化と独立、自伝、映画、文学、社会、そしてフランス文学におけるユーモアやアイロニー、アメリカに対するフランス人の印象といったトピックについてフランス語で順次開講する。関連科目はFREN-633。通常は、毎学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	GERM-336 German Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics taught in German include German culture and society, survey or arts, cinema, literature, and politics. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Prerequisite: GERM-333. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ドイツの文化、社会、調査、美術、映画、文学、政治といったトピックについてドイツ語で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。GERM-333履修を条件とする。	
	アメリカン大学	GERM-438 German Civilization I	A survey of German culture and society from the Middle Ages to the Romantic period. Historical, social, and intellectual developments, literature, art, and music are studied as the basis for discussion of German cultural history. Taught in German. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GERM-333. ドイツ文化を中世からロマン派の時代まで概観する。歴史的、社会的、知性的な発展状況と、文学、美術、音楽について、ドイツ文化史研究を論ずる基礎として学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	GERM-439 German Civilization II	Continuation of GERM-438, covering German history from the Romantic period to the twenty-first century. Taught in German. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GERM-333. GERM-438に続き、ロマン派時代から21世紀にわたるドイツ史を学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-233 Communism and Capitalism in East Asia	This course focuses on the theories of communism and capitalism, as well as their respective practices in East Asia and implications for socioeconomic and political development in the region. More specifically, the course examines the political and economic systems, processes, and changes in East Asia including China and Taiwan, North and South Korea, Japan, and Singapore. Major contemporary issues and policies of the East Asian systems are also surveyed, with particular emphasis on how the East Asian societies' socioeconomic and political performance, as well as their cultural traditions, affects these regimes' claim to political legitimacy. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GOVT-130. この科目は共産主義と資本主義の諸理論と東アジアにおける各国・地域のこれら理論の実践および同地域における社会経済的および政治的発展に対するインプリケーションに焦点を当てる。より具体的には、この授業は中国と台湾、南北朝鮮、日本、そしてシンガポールを含む東アジアにおける政治および経済システム、プロセス、変容を検討する。とくに、東アジア社会の社会経済的および政治的パフォーマンスと文化的伝統が各国・地域の主張する政治的正統性にどのような影響を及ぼすのかに焦点をあてながら、東アジアシステムに関する主要な現代的諸問題と各国の政策も概観する。通常、隔年ごとの秋学期に開講される。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-334 Modern British Politics	Offered as part of the AU Abroad London Semester. An introduction to institutions of politics and government in Britain and how its constitutional monarchy and parliamentary system have evolved. How politics are practiced and power is distributed between institutions, parties, and individuals. Considers the relationship between politics and other aspects of British society and the major contemporary issues in British politics. Usually offered every term. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は、「アメリカン大学海外ロンドンセメスター」の一環として開講されるもので、英国の政治制度や政府のほか、その立憲君主制や議会制度の発展の過程を紹介する。様々な制度、政党、個人の間で、政治がどのように機能し権力が分散されているか、また政治と英国社会の他の側面との関係や、英国政治の主な現代的課題についても検討する。通常は、毎学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-349 The Middle East in Comparative Perspective	Description: Using the insights of comparative politics, this course examines the contemporary constellation of regime types, authority structures, institutions, and state-society relations in the Middle East. It analyzes the success of the powerful and the resistance of various groups bound together by ethnic, regional, religious, class, and gender identities. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231. この科目は、比較政治の視点を通じて、中東での一連の統治体制、権限組織、制度、国家社会関係を研究する。 有力者と民族・地域・宗教・階級・性別のアイデンティティーにより結束した様々な集団による力のある抵抗の成功事例を分析する。 通常、隔年春学期に開講する。 GOVT-130 または GOVT-231を履修しておく必要がある。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-432 Political Institutions and Processes in Selected Countries	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. The nature of political institutions and processes of specific countries, such as Great Britain, Germany, France, the former Soviet Union, Israel, Iran, Greece, India, Turkey, and Mexico. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231 or GOVT-232. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。英国、ドイツ、フランス、旧ソ連、イスラエル、イラン、ギリシャ、インド、トルコ、メキシコといった特定の国における政治制度や政治プロセスの特徴について学ぶ。 GOVT-130またはGOVT-231またはGOVT-232履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	
	アメリカン大学	GOVT-433 Topics in Sub-Saharan African Politics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics course examine the political development of African states south of the Sahara Desert and the nature of politics in Sub-Saharan Africa generally and by country. Usually offered alternate falls. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。サハラ砂漠以南のアフリカ各国の政治的発展と、サハラ以南の政治状況全般と国別の状況といったトピックで順次開講する。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-450 Politics in Cuba	An examination of the social, economic, and political roots of the Cuban revolution of 1959 and the changes brought about in Cuban politics and society as a result of the revolution. Usually offered every fall. Prerequisite: GOVT-130. Restriction: minimum 2.5 GPA. 1959年のキューバ革命の社会的、経済的、政治的なルーツを探り、革命の結果、キューバの政治や社会がどのように変化したかを検証する。通常は、秋学期に開講する。 GOVT-130履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. この科目は、ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-204 Medieval Europe	Exploration of the medieval world-view and consideration of the organization of economic and political institutions, the relationship of secular and ecclesiastical authority, and the creation of new social and religious ideals during the millennium that bridges antiquity and modernity. Usually offered alternate springs. この科目は、中世的な世界観、その経済構造や政治制度、世俗と教会権力の関係、そして古代と近代とを結ぶ千年間における新たな社会理念や宗教理念の台頭について探求する。通常は、隔年の春学期に開講する。	隔年
	アメリカン大学	HIST-221 History of Britain I	Political, social, and cultural development in Britain to 1689. Parliament, common law, civil war, plague, rebellion, concepts of kingship, and the conflict of church and state. Usually offered every fall. 1689年にいたる英国の政治、社会、文化的な変遷について明らかにする。議会、コモンロー、内乱、疫病、反乱、王権の概念、そして政教対立について学ぶ。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-222 History of Britain II	This course examines phenomena that have defined Britain's place in the world, such as the ascension of parliament, the industrial revolution, and the growth of empire, to understand what is unique about Britain and which elements of the British historical experience are more broadly shared. Usually offered every spring. 本科目では、英国が国際社会における今日の地歩を確立するにいたる様々な事象、たとえば、議会の優位性の確保、産業革命、帝国の拡大等について検証し、英国のユニークさ、英国の歴史の中でどのような側面が広く共有できるかについて理解を深める。通常は、春学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-225 Russia and the Origins of Contemporary Eurasia	This course provides an overview and introduction to the history of empires, nations, and states in the Eurasian plain, from the origins of Rus' over a thousand years ago to the present day, as well as the various ethnic, national, and religious groups of the region. 本科目は、千年以上前のロシアの起源から現代にいたるまで、ユーラシア平原に勃興した様々な帝国、諸国、諸邦の歴史について概観するほか、この地域の様々な民族、国、宗教の状況についても検討する。	
	アメリカン大学	HIST-231 The Russian Empire, 1650-1917	This course examines the history of the Romanov dynasty and the Russian Empire focusing on understanding the structures of the diverse society that made up the empire, the growth and modernization of the empire, and the tensions within the system which led to its collapse. Readings include historical narratives, documents, and novels. 本科目は、ロマノフ王朝とロシア帝国の歴史について検証する。特に、帝国を構成する様々な社会の構造、帝国の成長と近代化、そしてその崩壊にいたる制度内の葛藤について理解することを主眼とする。課題図書として、歴史的物語、文書、小説等を読む。	
	アメリカン大学	HIST-232 The Soviet Union	This course treats the history of the Soviet Union (1917–1991), seeking to explain how this civilization arose, survived, and ultimately fell, with particular attention to the history of communism as an idea. Readings help give a sense of both the aspirations and sufferings of its citizens. 本科目では、ソ連の歴史(1917年–1991年)を対象として、その文明の興隆、維持、そして最終的な没落について説明を試みる。特に、共産主義の歴史を一つの理念として捉える。様々な文献にあたることにより、一般市民の希望と苦悩を垣間見ることができる。	
	アメリカン大学	HIST-241 Colonial Latin America	Conquest and change in Indian civilization; imperial politics; race and class; Indian labor and the Black legend; imperial economic relations; imperial reform and revolution. Usually offered every fall. ネイティブ・アメリカン征服とその文化の変化、帝国主義時代の政治、人種と階級、ネイティブ・アメリカン労働者、「黒い伝説」、帝国主義時代の経済関係、帝国主義時代の改革と革命等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-242 Latin America since Independence	Problems in creating nations; militarism, dictatorship, and democracy; sources of underdevelopment; reform and revolution in the twentieth century. Usually offered every spring. 建国にかかわる諸問題、軍国主義、独裁政治、民主主義、低開発の原因、20世紀における改革と革命について検討する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-250 Empires and States in East Asia	This course examines the origins and history of multiple imperial traditions throughout East Asian history, including ancient China (origins to 221 B.C.); Chinese empires (221 B.C. to 1912); the Japanese empire (1895–1945); and modern East Asia (1600–present). この科目では、東アジア史における複数の帝国的伝統の淵源と歴史について検証する。古代中国（起源から紀元前221年）、中国各王朝（紀元前221年から1912年）、大日本帝国（1895年から1945年）、そして近代東アジア（1600年から現在）を対象とする。	
	アメリカン大学	HIST-327 Twentieth Century Europe	In this century Europe has experienced two major wars, a wave of communist revolution, a violent reaction in the form of fascism, and the horror of mass extermination. Yet Europe today is quite prosperous, and there are better links between the Western countries and their communist counterparts than could have been imagined two decades ago. There is something in Europe's past that gives it a certain resilience. Usually offered alternate years. 20世紀においてヨーロッパは、二つの大戦、共産主義革命のうねり、それに対するファシズムという形の暴力的応酬、そして大量殺戮の恐怖にみまわれてきた。しかし現在のヨーロッパは繁栄を謳歌し、西側諸国と共産諸国との関係は、二十年前には想像もできなかったほどにまで改善されている。ヨーロッパの過去には、ある種の強靭な対応力があったと思われる。通常は、隔年で開講する。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-418 Nazi Germany	The political, social, and economic conditions that made it possible for Hitler to take power. The nature of Nazi rule. Emphasis on World War II and the Holocaust. Meets with HIST-618. Usually offered every spring. この科目では、ヒトラーの台頭を許した政治、社会、経済的な条件、ナチ統治の性格について考える。特に第二次世界大戦とホロコーストに注目する。関連科目はHIST-618。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-419 Holocaust	Traces the history of anti-Semitism and the development of racism that led to the Holocaust. Examines the historical development of the Final Solution. Considers the variety of responses to Jewish persecution by the Nazi perpetrators, the Jews, and the nations of the world. Meets with HIST-619. Usually offered every fall. ホロコーストへとつながる、反ユダヤ主義の歴史と人種差別の台頭をたどり、「最終的解決」にいたる歴史的流れを検証する。ユダヤ人迫害に対するナチ加害者、ユダヤ人、世界各国の様々な反応について検討する。関連科目はHIST-619。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-437 British Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Hanoverian England, Victorian England, Edwardian England, the British Empire, the British working class, and popular culture in modern Britain. Meets with HIST-637. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ハノーバー朝イングランド、ビクトリア朝イングランド、エドワード朝イングランド、大英帝国、英国の労働者階層、現代英国のポップカルチャーといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-637。	
	アメリカン大学	HIST-440 Latin American Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including the diplomatic history of Latin America, Latin American intellectual history, and Latin American feminisms. Meets with HIST-640. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおける外交史、知的系譜、フェミニズムといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-640。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-443 History of Israel	Traces the development of modern political Zionism in nineteenth-century Europe; the historical background leading to the establishment of the State of Israel in 1948; and the history of Israel since then, including patterns of Jewish immigration and its relationship to the Arab world. Meets with HIST-643. Usually offered every fall. この科目では、19世紀ヨーロッパの近代政治シオニズムの進展をたどり、1948年のイスラエル建国にいたる歴史的背景、それ以降のイスラエルの歴史を検証する。ユダヤ移民のパターンと、そのアラブ世界との関係についても検討する。関連科目はHIST-643。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-445 Russian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Russian intellectual history, World War I and the end of empires, the Russian Revolution, and Russian film history. Meets with HIST-645. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ロシアインテリの歴史、第一次世界大戦と帝国の終焉、ロシア革命、ロシア映画史といったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-645。	
	アメリカン大学	HIST-447 Asian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Topical courses in Asian history including modern China, late imperial China, the Japanese empire, modern Eurasian frontiers, and other topics in Chinese, Japanese, and inner Asian history. Meets with HIST-647. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。アジア史をテーマとする。たとえば、近代中国、中華帝国後期、大日本帝国、近代ユーラシア辺境地域のほか、中国史、日本史、内陸アジア史にかかわるその他のトピックを扱う。関連科目はHIST-647。	
	アメリカン大学	JLC-471 Evolution of Global Jihad	This course examines the contours of the Sunni jihadist movement with the aim of understanding ideological as well as strategic and operational characteristics that define it. A heavy emphasis is placed on exploring the ideological and strategic debates within the movement, as well as national, regional, and international events that contribute to these debates. Meets with JLC-671. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目では、スンニ・ジハード運動の概略を検証し、そのイデオロギー的特徴だけでなく、戦略と実践に関する特徴をも理解する。特に、この運動内部におけるイデオロギー論争や戦略論争と、そのような論争の機縁となった国家、地域、国際的な出来事に注目する。関連科目はJLC-671。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	JWST-205 Ancient and Medieval Jewish Civilization	Examines the independent Jewish states that flourished in Palestine, the rise of the most important Jewish communities outside the ancient Jewish homeland, and the foreign influences that shaped not only the political life of the Jews but also their internal organization and their creativity. Usually offered every fall. この科目では、パレスチナの地に台頭した様々な独立ユダヤ国家、古代ユダヤの地以外の最も重要なユダヤコミュニティの台頭、そしてユダヤ人の政治生活だけでなくその内部組織や創造性をも形作った外国の影響について検証する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. この科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-267 Literatures of the Global South	An introduction to literature written by writers from the Global South: Africa, Asia, and Latin America. The emphasis is on contemporary fiction and the ways that this writing depicts cultural and political change brought about by the impact of outside forces. Usually offered every term. 「グローバルサウス（アフリカ、アジア、ラテンアメリカ）」の作家による文学作品を紹介する。特に、現代フィクションと、外的な力によりもたらされた文化的・政治的変化を、そのような作品がどのように描いているかに注目する。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	RELG-185 The Religious Heritage of Asia	Introduces methods of studying religion and places religious traditions in comparative relief. Surveys the basic features of the major religions of Asia, including Hinduism, Taoism, and Confucianism, and explains how these traditions shape Asian cultures and societies. Usually offered every term. 宗教を研究対象とするための様々な方法論を紹介し、様々な宗教的伝統を比較の中で浮かび上がらせる。ヒンズー教、道教、儒教といったアジアの主要宗教の基本特性を調べ、このような伝統が、どのようにアジア的文化や社会を構築してきたか説明する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-210 Non-Western Religious Traditions	How non-Western religious traditions function as systems of symbols, how they interact with both indigenous religious traditions and external religious traditions such as Islam and Christianity, and how they respond to modernization and imperialism. Usually offered every term. 西洋以外の宗教的伝統が、象徴のシステムとしてどのように機能しているのか、それらが土着の宗教的伝統や、イスラムやキリスト教といった外部の宗教的伝統とどのように関係しあっているか、また近代化や帝国主義とどのように対峙しているかについて検討する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-470 Islam	Hundreds of millions of people adhere to Islam, sometimes described as the world's fastest growing religion. Students examine historical origins, Prophet Muhammad, Qur'an, and other formative elements underlying the modern Muslim situation. Meets with RELG-670. Usually offered every fall. イスラム教は数億人の信者を擁し、世界でもっとも急速に拡大しつつある宗教とも言われている。本科目では、その歴史的な起源、預言者ムハマド、コーラン、その他現在のイスラム教を取り巻く状況を形作ってきた要因について検証する。関連科目はRELG-670。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-473 Hinduism	This course focuses on four phases in the development of Hinduism. Central to the study of each phase are close readings of selections from its main mythological and philosophical texts, which are considered in light of lived religious practices. Meets with RELG-673. Usually offered alternate springs (even years). 本科目では、ヒンズー教の4つの発展段階に注目する。各段階の研究では、その主要な神話的・哲学的選集の精読が中心となる。そのような文献を実際の宗教的実践の枠組みの中で検討していく。関連科目はRELG-673。通常は、隔年（偶数年）の春学期に開講する。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	RUSS-200 Russia and the United States	A comparative study of the two countries, Russia and the United States, through an interdisciplinary approach with emphasis on the major similarities and differences. The course draws primarily from international studies, cross-cultural communication, political science, history, literature, and the arts. Taught in English. Usually offered every fall. ロシアとアメリカ合衆国両国の比較研究。主な類似点と相違点に注目した学際的アプローチを用いる。本科目は、国際関係学、異文化コミュニケーション、政治学、歴史、文学、美術等を主な対象とする。授業は英語で行う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	SISU-211 Civilizations of Africa	By concentrating on African societies and states, ancient and modern, the course aims to create a greater understanding of, and empathy with, the Africans: the diversity, history, culture, accomplishments, and problems of the people and their continent; and the interaction of their culture with Islam and the West. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は、古代から現代にいたるアフリカの社会と各国に注目し、アフリカ大陸の多様性、歴史、文化、業績、そして問題について、またアフリカ文化とイスラムや西洋との相互作用理解となどアフリカ人に対する共感を高めようとする。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-212 China, Japan and the United States	A multidisciplinary introduction to China and Japan that explores the history, culture, social structure, literature, art, politics, economics, and foreign relations of these important countries. Particular attention is paid to the context of East Asian international relations. Usually offered every term. Grading: A–F only. 中国と日本の両国の歴史、文化、社会構造、文学、美術、政治、経済、外交関係に関する学際的な探究を紹介する。特に東アジアにおける国際関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-213 Contemporary Europe	This course examines the major political, economic, and social issues shaping contemporary Europe. The first portion of the course covers the concepts and theoretical approaches that make up the analytical toolkit for understanding and analyzing European politics. The second part covers the overarching themes of European politics, including state formation, governments and institutions, political parties and elections, welfare state development and reform, and European integration. The final segment consists of country and issue case studies as opportunities to apply the theoretical, methodological, and analytical tools, and looks at lessons that can be learned from the diverse ways European societies have answered the basic questions of economic, social, and political organization confronting all societies. Grading: A–F only. 本科目では、現代ヨーロッパを形成している主な政治的、経済的、社会的な課題について検討する。まず、ヨーロッパの政治を理解・分析するための分析ツールとなる概念と理論的アプローチについて触れ、次に、ヨーロッパ政治の全体的テーマである、国家形成、政府と諸機関、政党と選挙、福祉国家の発展と改善、そしてヨーロッパ統合について考える。最後に、理論的・方法論的・分析的ツールを応用して、国や課題別のケーススタディを行い、あらゆる社会が直面する経済、社会、政治組織の基本的問題に対して、ヨーロッパ社会で採用されてきた対応方法から得られる教訓について考える。A-F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-214 Contemporary Latin America	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目はラテンアメリカの政治、社会、経済における重要な変化、その基盤や、それを助長あるいは妨害する要因、今後の見通しやトレンドについて学ぶ。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-215 Contemporary Middle East	The Middle East's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to the Arab world. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は中東の現在の政治文化と、その歴史的・経済的・地理的・社会的ルーツについて、特にアラブ世界に注目する。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-216 Contemporary Russia	Russia's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 本科目はロシアの現代政治文化とその歴史・経済・地理・社会的なルーツについて取り扱う。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. 本科目はセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post–Gandhi period. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature	Latin America's history through literary texts, films and documentaries, and other artistic representations. Analysis of how the Latin, African, and indigenous cultural heritages have combined to produce a unique culture. Usually offered every term. Separate sections taught in English and Spanish. Prerequisite: SPAN–353. 文学、映画、ドキュメンタリー、その他芸術表現を通じてラテンアメリカ史を学ぶ。ラテン、アフリカ、土着のそれぞれの文化的遺産がどのように融合してユニークな文化を醸成してきたか分析する。通常は、毎学期に開講する。セクションごとに、英語とスペイン語による授業となる。SPAN–353履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SPAN-355 Spanish Introductory Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics include courses that serve as a bridge between the language sequence and upper-level courses. Courses are taught in Spanish on topics such as central issues in Latin American studies, indigenous people in Latin America, and media in Latin America. Emphasis is placed on vocabulary, expressions, and structures related to the specific topic. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。言語習得科目と上級科目の橋渡しとなる複数の内容を順次開講する。ラテンアメリカ研究の主要課題、ラテンアメリカにおける先住民、そしてラテンアメリカにおけるメディアといったトピックについて、スペイン語で講義する。それぞれのトピックに関連する語彙、表現、構文に注目する。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature	A systematic survey of the historical development of Latin American literature. Reading of selected texts in the original, and their relationship to cultural, historical, political, and social developments. This course is a transition course between SPAN-353 and higher level courses. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、ラテンアメリカ文学の歴史的発展を系統的に研究する。原書選集を講読し、その文化、歴史、政治、社会的な発展との関連について検討する。本科目は、SPAN-353と上級レベル科目との橋渡しとなる。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-456 Spanish Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Courses taught in Spanish on such topics as: Latin American film, Mexican-U.S. border, urban cultures in Latin America, indigenous people of Latin America, Hispanics in the United States, Caribbean cultures, and the Latin American short story. Meets with SPAN-656. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカの映画、米墨国境、ラテンアメリカの都市文化、ラテンアメリカの先住民、アメリカ合衆国のヒスパニック、カリブ文化、ラテンアメリカのショートストーリーといったトピックで順次開講する。関連科目はSPAN-656。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring	This course designation is for a variety of classes in the field of international relations. Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. May be taken A-F only. この科目は、国際関係学のフィールドにおける様々な内容について取り扱うよう位置づけられる。トピックは、セクションによって異なり、異なるトピックを取り扱った場合は重複受講が可能である。概ねA,Fのみで評価される。	
	立命館大学	Japanese Politics	Recent years have seen a number of significant developments in Japanese politics, from the rise and fall of the Democratic Party (DPJ), through the growing economic and demographic crises, to the potential rekindling of the peace movement. This course will examine these issues and others through exploring the broader trends to which they connect and interact with both inside and outside Japan. Students will gain a knowledge of the major parties and other actors which influence Japanese politics. Students will also broaden their understanding of the political history of Japan from the 19th to early 21st centuries and the impact this will have on Japanese politics in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 近年の日本の政治には、民主党(DPJ)の台頭と凋落から、経済・人口動態の危機の増大、平和運動の潜在的な再燃まで多くの重要な変化が見られる。この科目は、これらの変化、その他の問題が日本国内外のより大きな流れとどのように結びつき、作用しあっているのかを検討する。学生は、日本の政治に影響を与える主要政党、その他のアクターに関する知識を得る。また、19世紀から21世紀初頭までの日本の政治史、それが将来の日本政治に及ぼす影響についての理解を広げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Japanese Society	This course introduces students to the study of Japanese society. This includes a general introduction to the transition of Japanese society from traditional to modern, as well as to Japan's contemporary social conditions through subjects such as social modernisation, demographic changes, social stratification, social welfare, employment patterns, education, immigration, family and sexuality. In doing so, the course discovers the path of modernisation in Japan in comparison to Western countries and East Asian societies, and discusses Japan's future in light of current globalisation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は日本社会への入門科目である。本授業において、伝統的な社会からモダン社会への転換過程を論じる一方で、社会的モダニゼーション、人口転換、社会階層、社会福祉体制、雇用パターン、教育、移民の現状、家族とセクシュアリティ等のようなトピックから現代日本の社会的条件を明らかにする。そうしながら、西欧諸国や東アジア地域と対照して、日本における近代化の道筋を議論し、グローバル化の中での日本の将来を考える。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japanese Economy	This course provides an introduction to the Japanese economy. The classes consist of lectures, presentations and discussions.We will first introduce basic economic concepts as a basis for analysis, and then discuss institutional background and various aspects of the Japanese economy, including growth, business management, fiscal affairs, and international trade. Current topics such as the country's population aging, labor market dualism, and the government's new economic program dubbed "Abenomics", will also be discussed.Japan emerged as the first non-Western industrialized state and became the second largest power in the world economy. However, after the collapse of the asset price bubble in the 1990s, the country experienced Japan's lost decade(s). Students are expected to learn lessons from Japan's economic success and failure. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本経済への入門である。授業のスタイルは、講義、プレゼンテーション、議論である。授業では先ず、分析の用具としての経済学の基礎知識を紹介する。続いて、日本の経済システムのほか、成長、企業経営、対外関係をはじめ多角的な論点から日本経済を検証する。また、高齢化、労働市場での格差の拡大、政府が取り組んでいるアベノミクスと呼称される経済政策など、日本経済が直面する諸問題を取り上げる。日本は、欧米以外で初めて産業化に成功し、一時は世界第二位の経済規模を有するに至った。しかし、1990年代の資産バブルの崩壊後、「日本の失われた十年(あるいはそれ以上)」と言われる長期低迷に見舞われた。受講者は、こうした日本経済の成功と失敗から有益な教訓を得ることが期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	United States Politics and Foreign Policy	As we approach the third decade of the twenty-first century the US is faced with a 'rising' China abroad, a weak economy at home, and an increasingly polarized domestic political landscape characterized by movements such as Occupy Wall Street and the Tea Party. These events and the broader historical, political and theoretical background they connect with will form the basis of this course. The course itself will be divided roughly into two, with the first half examining US domestic politics, and the second half looking at US foreign policy. This division is not totally rigid, however, and elements of both will crop up either side of the halfway divide. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 21世紀の30年代が近づくなか、米国は国外では中国の「台頭」に、国内では経済の弱体化に直面している。またオキュパイ・ウォールストリートやティーパーティなどの運動に見られる国内政治の二極化も進んでいる。これらの事象、さらにそれに関係するより広範な歴史・政治・理論的背景が、この科目のベースになる。講義そのものは大まかに前後半に分かれる。前半は米国の国内政治、後半が外交政策である。ただしこの区分は厳格ではなく、取り上げる内容が前後半で重複する場合もある。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japan-United States Relations	The US-Japan relationship is described by many as the most important foreign relationship either country has and since 1945 relations with the United States have formed the central focus of almost all Japanese foreign and security policy and strategy. This course aims to improve students' awareness of the origins and evolution of US-Japan relations since the mid-nineteenth century and will examine the changing relations between the two countries and the evolution of their relationship from bitter rivalry to today's close partnership. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 日米関係は両国にとって最も重要な対外関係の一つであるというのが大方の見方であり、1945年以来、米国との関係はほぼすべての日本の外交・安全保障政策・戦略の中心となっている。この科目は、日米関係の起源と19世紀半ば以降の変遷について学生の認識を深めることを目的とし、厳しい対立から現在の緊密なパートナーシップに到達するまでの両国の関係の変化について検討する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Special Lecture (Area Studies Course)	This course looks at a variety of political, economic and social issues in [PLACE] in their historical and contemporary international contexts. The course combines lecture-based sessions with interactive discussion in order to give student the opportunity to gain a multi-level, comprehensive view of these issues. By completing this course student will be able to gain a thorough, broad knowledge of the relevant issues in [PLACE]. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では世界各地域の政治・経済・社会的な課題を、歴史的な背景を踏まえ、国際社会の中に位置づけながら取り上げる。この科目では、講義形式と、必要に応じてグループワークを組み合わせ、多角的、複合的視野から各々の地域が抱える諸問題について考えることを目的とする。この科目を通して、各地域についての幅広い知識と深い理解を身に付けることができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Foreign Relations of Japan	This course covers the foreign relations of Japan up until the current day. While looking back over a variety of issues that Japan has encountered in its foreign relations and examining the principles and thought behind how the Japanese government has engaged and dealt with them, we will compare and discuss Japan's foreign policy in relation to that of other countries. This course gives students an opportunity to learn about, critique and evaluate Japan's foreign policy and that of related countries. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日までの日本の外交政策について取り扱う。この科目では、日本が抱える様々な外交問題を取り上げ、それらについて日本政府が取った対外政策がどのような理念と構想により決定されたかについて振り返りつつ、日本以外の国の外交政策と比較しながら、検討し、学生と共に議論する。この科目を通じて、日本の外交政策を諸外国のそれと比較して評価できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Business Administration of Japan	This course looks at the historical develpment of the Japanese-style management model, its current state and the issues its faces. Through a study of a number of case studies, and by trough a consideration of comparisons with other countries, we discuss the strengths and weakness of this model, its historical evolution and possible future prospects. Students will gain a deeper understanding of Japanese society and culture, as a context for understanding a variety of management paradigms and strategies. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本型経営モデルの歴史的変遷、およびその現状と課題を取り扱う。この科目では、様々な具体的事例を紹介し、諸外国との比較的検討を通じて、日本型経営の長所および短所、ならびに歴史的および将来的視点について検討する。この科目を通じて、経営学における様々なモデルや経営戦略の多様性について確認すると共に、日本の社会や文化についての理解を深める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Korean Studies	This course deals with the historical development of Korea in the modern and contemporary periods. It is designed to introduce students to the main aspects of modern and contemporary Korean society, including those pertaining to the family, gender, religion, and political system. We will start the class by introducing theoretical frameworks that analyze the Korean society. We will then learn more specific topics. Classes are conducted through various methods such as group work and discussion, using various media such as newspapers, magazines, and the Internet. This course provides overall knowledge about contemporary Korean society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、近現代における韓国の歴史的変化を取り上げる。家族、ジェンダー、宗教、政治体制に関するものを含め、近現代の韓国社会の主要な側面を概説する。まず韓国社会を分析するための理論的枠組みを示してから、具体的なトピックを取り上げる。授業は、グループワークやディスカッションなどの形式をとり、新聞、雑誌、インターネットなど多様なメディアを用いて行う。授業では現代の韓国社会に関する総合的な知識を提供する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Contemporary China	This course provides an overview of the politics of China today. It consists of two parts: one on the domestic politics of China (focusing on the legitimacy of the Chinese Communist Party), and the other on the international politics of China (focusing on the notion of international responsibility and the importance of historical memories). Each class consists of a mini-lecture and seminar-style discussion based on required reading. Upon the successful completion of the course students will be able to write an essay with a theoretically-informed argument on China's domestic and/or international politics. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日の中国政治概説を取り上げる。中国共産党の正統性に注目した国内政治と、国際的責任の概念や歴史的記憶の重要性に注目し国際政治の2部構成である。授業では講義と必読文献を元にしたセミナー形式のディスカッションを行う。この科目終了時には、中国の国内及び(または)国際政治に関して、理論に基づく主張をレポートに執筆することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced topics in Area studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	South East Asian Studies	This course is designed to introduce Southeast Asian Studies to undergraduate students. Why is Southeast Asia identified as a regional unit in today's international relations? What are commonalities and differences in colonial history in Southeast Asia? Why have some countries experienced high economic growth and why have some not? Why in some countries in Southeast Asia, did political democratization take place whereas other had very different experiences? The political economy of international relations in Southeast Asia is very dynamic and students are expected to learn its unique nature from historical and comparative perspectives. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、学部生を対象にした東南アジア研究概論である。現代の国際関係において東南アジアが1つの地域単位とみなされているのはなぜか。東南アジアの植民地の歴史における共通点と相違点は何か。顕著な経済成長を遂げている国とそうでない国があるのはなぜか。東南アジアには政治的民主化がなされた国もある一方で、それとはまるで異なる国もあるのはなぜか。東南アジアの国際関係における政治経済はきわめてダイナミックであり、学生は、歴史をふまえた比較の観点から、この地域固有の性質を学ぶことができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Modern Japanese History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Introduction to Area Studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Kyoto and Japanese Arts	The course consists in a comprehensive survey of the intimate relationship between the city of Kyoto and the birth and development of Japanese art and culture. Beginning with the circumstances which led to the foundation in the Kyoto basin of an everlasting capital, the course puts a special emphasis on the history of civil and religious architecture, introduces the performing arts of the various eras (noh, kyogen, kabuki), examines the culture of the tea ceremony and tells the story of the glory and decline of the period movie and its industry. Students will be asked to make oral presentations, thus increasing their ability to convey their ideas in the English language. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、京都が日本の芸術・文化の誕生と発展にどのように関わってきたかを総合的に検討する。この科目では、京都の古都としての歴史、宗教との関係、伝統的な建築などに重点を置き、各時代の芸術（能、狂言、歌舞伎）や茶道をはじめとする伝統文化に注目しつつも、時代劇を代表とする映画産業なども検討の素材に含める。この科目では、授業の中で取り上げられたテーマに関して英語でプレゼンテーションをすることにより、自分の考えを英語で表現する能力を発展させる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japan and the west	The aim of the course is to introduce students to some of the most significant historical and cultural issues and concepts in the complex relationship between Japan and 'the West'. This course aims to challenge students to question taken for granted essentialized binary opposition between Japan and The West and to understand the nature of complex and mutually constitutive relationship between the two. This course uses academic texts, case studies, and visual aids to facilitate students understanding and engagement. This course enables students to engage in theoretically and historical debate about the relationship between Japan and the West. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本と「西洋」の複雑な関係に顕著にみられる歴史的、文化的な問題と概念にふれることを目的とする。疑いなく受け入れられている日本と西洋という二項対立を問い直し、双方にとって本質的で複雑な関係の性質を理解する。文献、ケーススタディ、視聴覚資料を用いて授業への参加と理解を促す。学生は、日本と西洋の関係について、歴史を踏まえた理論的な議論に参加することができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	

地域研究科目	立命館大学	Internship(Area Studies)	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
シニアキャップストーン科目	アメリカン大学	SISU-419 Senior Capstone: International Studies	Topics vary by section. Rotating senior capstone topics focusing on international studies. Grading: A-F only. この科目は、シニアキャップストーンプロジェクトを完成させるため、教員の指導のもと、それぞれのトピックについて取り扱う。	
	立命館大学	Advanced Seminar	This course provides opportunities for learning together for students with the same interest in an academic field that is of the most interest to them in the field of international studies. The objective is to encourage ongoing study in order to develop the ability to ultimately write a graduation thesis, to compile information, and create documents. Students will also improve their communication skills through a combination of classes taken in AU and RU. Assessment is formative and summative. この科目は、国際関係学の中で自らが最も関心を持つ学問領域について同じ関心を持つ学生と共に学ぶ機会を提供する。この科目では、継続的な学びを通じて最終的に卒業論文を作成するレベルの知識、ならびに情報収集能力および文書作成能力を修得することを目標とする。加えて、この科目を通じて、アメリカン大学並びに立命館大学での学びの集大成として、コミュニケーション能力の向上をはかる。評価は、形成的評価および総括的評価により行う。	

シニアキャップストーン科目	立命館大学	Graduation Research	Students taking this subject will write a graduation thesis that demonstrates all they have learned in the College of International Relations. This subject is closely tied to topics covered in advanced seminars. Under the close guidance of an adviser, students set objectives based on their interests and conduct exhaustive research and accurate analyses using literature and data, after which they present their views in a thesis. This subject allows students to bring together the knowledge, methodologies, logic, and other learning acquired throughout their studies in the College of International Relations. Assessment is summative. この科目は、国際関係学部における学びの集大成である卒業論文の作成をおこなう。この科目では、専門演習での学びと密接な連携を持つ。学生は、指導教員の綿密な指導の下で、自らの問題関心にもとづいて課題を設定し、文献やデータなどの十分なリサーチと正確な分析をおこなった上で、自らの見解を論文としてまとめる。この科目により、国際関係学部でこれまで学んだ知識や方法論、論理性などが集約される。評価は、総括的評価により行う。	
選択科目	アメリカン大学	Independent Study	This course allows students to explore a topic of international relations of particular interest to the student and acts as preparation for completing the capstone requirement. この科目は、学生が、国際関係学分野に関係する学生の固有の関心（課題）及び、キャップストーン要件を満たす準備作業等について（指導を伴って）取り組むものである。	
	立命館大学	Global Political Economy	This course will provide students with basic analytical frameworks to understand the fact that international/global political issues and international relations, as well as foreign affairs, are essentially caused and influenced by a variety of economic factors and policies. In this course, analyses and discussions are more focused on policy-based and practically-oriented aspects of economics and the real economy at the global scale. Several economic issues, which cannot be analyzed under the conventional frameworks in economics will be taken up in this course. The subjects/ issues include: Political economy of the US and other nations in trade issues; major effects of central banks' monetary policies on the global economies; industrial development strategies and economic policies based on the 'Washington Consensus'; Capital account liberalization and its effects on the risks of crises, etc.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は現在の国際経済の基礎的な知識（国際貿易、国際収支、為替制度、金融市場等）とともに様々な国際経済の現象（例：為替変動、株価変動、危機発生、国際政治経済情勢等）を理解する基礎となる理論的背景と具体例を採りあげる。本科目では様々な国際経済状況の変化や危機（例：アジア、ラテンアメリカ、欧米等）の背景（国際資本移動の自由化）や規制・管理の方策、国際開発金融、望ましい国際金融体制等について理論的かつ政治経済的な側面から理解させる。また、主要な国際機関（世銀・IMF、ADB等）のプログラムと評価、国際貿易・金融体制、国際機関と経済発展・協力の課題についても学習する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

選択科目	立命館大学	Introduction to Law	This course is designed as an introduction to the essentials of law and legal systems. It aims to provide insight into the nature and function of law and familiarize students with key concepts, institutions and processes in various fields of law, such as constitutional law, criminal law, procedural law, property law, contracts and torts. The course seeks to place law in its social, economic, political, historical and philosophical context and thus not only to provide students with a knowledge of legal institutions but also to help them to develop a critical understanding of the operation of those institutions in society. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、法律および法体系の基本を学ぶ概論である。法律の性質と機能を洞察し、憲法、刑法、手続法、財産権法、契約法、不法行為法など、様々な法律分野の主だった概念、制度、プロセスを知ることを目的とする。社会、経済、政治、歴史、哲学の文脈で法律をとらえ、法制度の知識を得るだけでなく、これらの制度の社会における働きを根本的に理解できるようにする。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Natural Sciences	This course deals with basic theories and major findings in particular fields of natural sciences and analyses their relation to human society and culture as well as approaches to global issues that the international society has faced. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. Students taking this course will be able to understand human society and culture, global issues from the viewpoint of natural science. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、自然科学のいくつかの分野における基礎的な理論および知見、ならびにそれらと人びとの生活・社会との関係、地球規模の課題群に対する自然科学的な解決手段などを取り扱う。この科目では、さまざまな事象や文献を用いながら、セミナーまたは講義形式で進められる。この科目を通じて、自然科学的な観点から文化・社会およびグローバル・イシューを理解する力が向上させられる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

選択科目	立命館大学	Introduction to Humanities	How do people create their world, their environment, traditions and heritage? How are they in turn created by them? This course looks at the contemporary world through the lens of human culture and provides an introductory overview of cross-disciplinary approaches to social issues and global problems with a base in the humanities, including, but not restricted to, geography, history, languages and linguistics, philosophy and the arts. In order to draw on students' diverse experience and knowledge, this course combines lecture-based elements with interactive teaching styles such as group discussions, presentation and seminars. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 人間は、自らの世界、環境、伝統、遺産をどのように創造するのか。そして、それらをどのように活用するのか。この科目は、人類の文化というレンズを通して現代世界を眺め、地理学、史学、言語および言語学、哲学、芸術等を含めた人文科学をベースとして、社会的課題やグローバルな問題への学際的アプローチを概論する。学生の多様な体験と知識を引き出すために、講義に加え、グループディスカッション、プレゼンテーション、ゼミなど双方向的なスタイルで授業を行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Development Studies	The course broadly introduces students to the topics related to international development cooperation, by particularly focusing on the post-WWII era. Important development concepts such as human development, economic development, and important development actors, such as governments, private sector, NGOs and non-traditional donors, will be explained. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、第二次世界大戦後の時代に焦点を絞り、国際協力開発に関係するトピックを概論する。人間開発、開発経済、開発の重要なアクター(政府、民間セクター、NGO、非伝統的ドナー等)など、開発の重要な概念を説明する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive English Ⅰ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS I focuses on building vocabulary and reading comprehension. Students will learn reading skills and read texts with a variety of genres in general academic fields. Students will also practice reading short texts such as newspaper articles as well as long ones within a limited time in order to cope with major program courses carried out in English. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、アカデミック・スキルの授業や英語による専門授業の受講および交換留学の準備など、学生のさまざまなニーズに対応するために、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする選択科目である。IEIS Ⅰは、英文読解と語彙に重点を置き、リーディング・スキルを用いて、アカデミックな分野のさまざまなジャンルの英文を読み解く。英語で行われる授業に対応できるように、長文のエッセイやテキストの章だけでなく、新聞記事などの短文なども限られた時間内で速読する演習も行う。評価は、形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English Ⅱ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS II promotes communicative competence by preparing students to demonstrate their listening and speaking skills in approved standardized tests. Topics of interest within International Studies are incorporated into the syllabus, while maintaining a focus on chosen themes for test preparation. Course objectives include promotion of the ability to engage in face-to-face interview situations and to converse on topics such as describing your own life situations and goals, and the ability to understand conversations about everyday experiences and educational context situations. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIは、特にリスニング・スキルやスピーキングスキルなどの口頭によるコミュニケーション・スキルに重点を置く。この科目では、標準テストについても念頭に置きつつ、国際関係に関するトピックを選択する。また、一対一の対面式のインタビューを行ったり、自分の将来や教育環境における経験について会話する能力を伸ばすこともこの科目の目標である。評価は形成的評価を行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive EnglishⅢ	The aim of Intensive English III is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in planning, drafting and revising a variety of academic genres combining macro-level skills on the textual level with micro-level skills on the sentence level. In class, students will analyze samples of good writing, plan their response to a given writing task and collaboratively develop texts that summarize pertinent information, compare and evaluate different sources, and support their arguments. Students will also gain practice with task types generally included in standardized exams. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIIは、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、テキスト単位のマクロなレベルのスキルと文単位のミクロなレベルのスキルをつなぎ合わせ、アカデミックなさまざまな文章を草稿し、リライトする。この科目では、優れた例を分析し、文献を比較・評価し、議論を支える資料を見つけ、ライティングを行う。標準テストに出題されるような問題演習も行う。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive EnglishⅣ	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive English V	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English VI	The aim of IEIS VI, similar to IEIS III, is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in manipulating the basic building blocks of successful writing at the sentence, paragraph and textual level. In class, students will study argument structure, thesis and support, discuss writing strategies appropriate to their context and analyze common errors occurring in their work. Students will also gain practice with a variety of test-related genres such as independent vs. integrated writing, descriptions of graphs and tables, as well as opinion essays. IEIS VIの目標は、IEIS IIIと同様に、アカデミック英語運用能力を習得することであり、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、文章レベルからテクストレベルまで、優れた文章を書く基本知識を学ぶ。例えば、論理構造、主題と根拠、文脈に適切なストラテジーなどについて議論し、演習を行う。自由英作文や複合英作文、エッセイやグラフの書き方など、標準テストなどでも問われるさまざまなジャンルのライティングを演習する。 評価は形成的評価を行う。	

（注）

1　国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その３の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。

2　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

3　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）（立命館大学）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	立命館大学	Introduction to Linguistics	This course introduces students to the study of language. The course provides students with a comprehensive understanding about contemporary linguistics through subjects such as the origin and properties of language, the differences and similarities between animal and human communication, the properties of grammar, the types of language acquisition, as well as the relationship between language and culture. By giving ample examples from various languages, the centric focus of the course is on how reality is perceived and reflected in language, and also on how language and thinking are related to each other. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、言語研究への入門科目である。この科目では、言語の起源や基礎的な特徴、人間と動物のコミュニケーションの相違点と類似点、言語学習の類型、言語と文化との関係等のトピックを提示した上で、言語学について総合的な知識を与える。この科目において、現実認識と言語のあり方との関係性、そして言語と思考との関係性は中心的な課題である。この科目は、基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Anthropology	This course will introduce students to the central topics, concepts and methods of socio-cultural anthropology, which can be broadly defined as the study of human cultures and societies. It will survey the key topics in contemporary socio-cultural anthropology and offer insights into how the seemingly most commonsensical aspects of people's lives can be informed by the social contexts of which they consider themselves a part. The course focuses on anthropological theories, thus also providing a historical overview of the discipline. It draws on ethnographic examples and case studies from various societies, but contemporary Japan will be central, in order to provide students with an understanding of where we are living. Active participation in discussion will be fundamental.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、様々な人間集団の文化と社会を考察する学問である文化人類学についての入門的知識を提供する。この科目では、文化人類学における理論に着目することにより、本学問の歴史的展開も検討の対象とする。また、私たちが暮らしている枠組みを分析するため、現代日本に関わる事例が中心的になる。この科目は講義形式で行われるが、議論への積極的な参加が期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Sociology for Global Studies	This course introduces students to the study of sociology. This includes a brief introduction to the history of sociology, the sociological way of thinking, sociological dilemmas, social relations and institutions, as well as the study of micro and macro-level issues. In doing so, the students will learn fundamental concepts related to sociology in order to have a wide-ranging lexical knowledge in this academic field, they will also acquire a basic analytical ability indispensable for the study of global issues and the conditions of the international community from a sociological perspective. The course is basically a lecture course, but there is also enough room given for doing both open discussion and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は社会学への入門科目である。本授業では、社会学史や社会学的な考え方への入門、社会学的なジレンマ、社会関係や社会的諸制度のあり方、そしてミクロとマクロレベルにおける様々な社会現象から論じる。そうしながら、学生は社会学の分野における幅広い語彙的知識を持つために、社会学に関連した基本的な概念を学び、また、社会学的観点から国際社会の状況やグローバルイシューの研究に不可欠な基礎的分析能力を獲得する。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Politics for Global Studies	This course uses the history of Western political thought to explore and introduce wider issues in politics such as the roles and responsibilities of political organisations, their leaders, and their subjects / members; as well as concepts such as democracy, communism, utilitarianism, and others; and how these have evolved over time. With classes covering the era from ancient Greece to the mid-20th century, the major ‘classic’ works of European political thought are examined. The content of the course also introduces students to key concepts and ideas which form the basis of both the academic discipline of politics and the origins of International Relations as a distinct field of academic inquiry.The teaching methods of the module are designed to develop cognitive, writing and presentation skills. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、民主主義、共産主義、功利主義などの概念、政治団体、その指導者、支持者／メンバーの役割と責任、およびこれらの変遷など、西欧政治思想史を用いて政治の幅広い事項を概説する。授業では古代ギリシャから20世紀半ばまでの時代をカバーし、欧州政治思想の主要な「古典的」著作について考察する。学術的探求の明確な一分野として、政治学の学問領域および国際関係学の起源の基盤となっている主要な概念と考え方も取り上げる。認知、記述、プレゼンテーションのスキルを伸ばす授業形態をとる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Modern World History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Professional Workshop	Through specialized workshops spanning lines of work that include government, media, and private enterprises, this course presents specialized knowledge and information to students with a professional interest in these areas and imparts specific and practical knowledge needed for their career path. Students will actively examine issues and make reports based on talks from guest speakers conversant in their respective fields and on guidance from teaching staff with practical experience in that area. This course will afford students the opportunity to contemplate their career after graduation. Assessment is formative. この科目では、行政、メディア、民間企業といった各業種に関する専門的なワークショップを設け、当該分野を志望する学生に対して、専門的な知識や情報を提示するとともに、キャリア・パスのために必要な実践的で具体的なノウハウを教授する。この科目では、それぞれの分野に精通したゲスト講師の講演や、当該分野で実務経験を有する教員による指導を踏まえて、学生の主体的な検討と報告を中心に行われる。この科目により、自らの卒業後のキャリアについて考える機会を提供する。評価は、形成的評価により行う。 (オムニバス方式/前15回) (25　西崎 純代/7回) 上記テーマのうち、主としてビジネスに関する分野、日本国内に関連する分野について取り扱う。 (24　林 恩廷/7回) 上記テーマのうち、主として国際機関に関する分野、国際的な領域に関連する分野について取り扱う。 (25　西崎 純代　24　林 恩廷/1回)　(共同) 上記のうち、総括的内容について取り扱う(総括プレゼンテーション等)	オムニバス方式・共同(一部)
	立命館大学	Academic SkillsI	The aim of Academic Skills I is to familiarize students with theories, historical developments and current issues in the field of International Relations while developing their reading and critical thinking skills. In class, students will analyze and evaluate assigned readings for content, structure, facts and opinion, language use, implied meaning and contradictions, compare opposing viewpoints and express their own standpoint supported by evidence from the text or other relevant outside sources. Class activities may include group discussions, oral presentations, formal debates as well as units on rhetoric, grammar refresher spotlights and short response papers. The focus of this course is on developing students' conceptual background, power of analysis, and sense of diversity. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミック・スキルⅠの目標は、リーディング・スキルとクリティカルシンキング・スキルを習得する一方で、国際関係学の分野の理論、歴史的な展開、および現在の問題について学ぶことである。この科目では、学生は課題の資料を分析し、内容、論理構造、事実と意見、含蓄された意味や矛盾点を検討する。また、対立する考え方を比較し、根拠のある自己の意見を表す。グループディスカッション、プレゼンテーション、ディベートをおよび短いエッセイを作成する。学生の思考力、分析力、そして多様性に対する感性を伸ばすことに重点を置く。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基礎科目	立命館大学	Academic Skills II	The aim of Academic Skills II is to develop students' academic writing competence together with related skills such as critical thinking, autonomous learning, research and referencing, team work and IT skills. Students will examine contentious issues in International Relations, identify key questions and construct well-supported, logically sequenced arguments to address these questions. They will familiarize themselves with conventions of academic writing, expand their academic vocabulary and increase their control over complex grammar. Class activities may include group discussions and oral presentations, sentence, paragraph and essay-level writing, as well as academic skills training such as paraphrasing, citing and referencing. The focus of this course is on developing students' research skills, power of argument and support, written expression, and awareness of writing conventions. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅡの目標は、クリティカル・シンキング、ITを含むリサーチ・スキルといった他のスキルとともに、ライティング・スキルを習得することである。学生は、国際関係学の論争を検討し、重要な問題を認識し、論理的な議論を用いてそうした問題に言及する。また、アカデミックなライティングに慣れ、語彙を増やし、複雑な文法を駆使する。この科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションを行い、さらにエッセイを書く。また、パラフレーズ、引用と参照文献を含むアカデミック・スキルを用いた練習も行う。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	
	立命館大学	Academic Skills III	The aim of Academic Skills III is to solidify students' writing, research and academic interaction skills. Students will conduct in-depth research on a topic of their choice within International Relations, integrating a wide range of academic sources, and present their findings in the form of a substantial academic paper accompanied by a conference-ready oral presentation. Class activities may include progress reports on individual research, a series of writing and editing sessions, critical discussions of research methods, research ethics and underlying research paradigms, as well as lectures and discussions on emerging theoretical and practical issues in IR. The focus of this course is on developing students' academic literacy and voice while creating a deeper understanding of the complex nature of academic research and scholarship. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅢの目標は、学生のライティング・スキル、リサーチ・スキル、アカデミックなコミュニケーション・スキルを強化することである。学生は国際関係学分野における選択したトピックについて十分な調査を行い、幅広いアカデミックな資料を組み入れ、カンファレンスでの口頭発表に伴う論文の形で研究結果を提示する。この科目では、各自の研究について進行状況を報告したり、ライティング・セッションを行ったり、研究方法について批判的な議論を行ったり、研究倫理やリサーチのパラダイムなどについても議論する。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基幹科目	基礎経済学	立命館大学	Macroeconomics	This is the core theory course in macroeconomics designed for global studies students. Macroeconomics, the study of the economy as a whole, is concerned with economy-wide phenomena such as growth, inflation, employment, money stock, and the balance of payments. We will study the theoretical framework of macroeconomics and learn to apply it to the analysis of macroeconomic policy issues. Emphasis is placed on understanding relations among macroeconomic variables and tools of analysis for the open economy. Monetary and fiscal policies as well as their cross-border spillover effects are also discussed. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル・スタディーズを専攻する学生を対象にしたマクロ経済学の基本理論である。経済を1つの全体として研究するマクロ経済学は、成長、インフレ、雇用、マネーストック、国際収支など経済全体としての現象を扱う。この科目では、マクロ経済学の理論的枠組み、マクロ経済政策課題の分析へのその応用を学ぶ。マクロ経済の様々な変数の関係、開放経済の分析ツールを理解することに重点を置く。金融・財政政策とそれらの国境を越えた波及効果も取り上げる。この科目は講義形式が最適ではあるが、クラスディスカッションも行うので積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Microeconomics	This is the core theory course in microeconomics designed for international relations students. microeconomics explores how consumers and firms behave, markets function, and government policies shape economic results. Starting from the basic ideas of opportunity cost, gains of trade, and supply and demand, we will study the principles of microeconomics that have important implications for global economic issues. Emphasis is placed on understanding tools of analysis for international trade models. We will also discuss optional topics such as information, game theory, and decision-making under uncertainty. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際関係学を履修する学生のためのミクロ経済学概論である。ミクロ経済学は、消費者や企業の行動、市場の機能、政策が経済的成果をどのように形成するのかを探求する。機会費用、交換の利益、需要と供給の基本概念からスタートし、グローバル経済に大きな影響を与えるミクロ経済学の原則を学ぶ。国際貿易モデルの分析ツールを理解することに重点を置く。また、情報、ゲーム理論、不確実な状況下での意思決定などのトピックも適宜議論する。この科目は講義形式に適しているが、学生はクラスディスカッションにも積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基幹科目	基礎経済学	立命館大学	Economics for Global Studies	This is an introductory course in economics designed for international relations students. It covers both microeconomics and macroeconomics. Topics include (but are not limited to) gains from trade, supply and demand, elasticity, consumer and producer surplus, national income, fiscal and monetary policies, economic growth, and the open economy.The goals of this course are to enable students to understand the basic principles of economics that underlie international economic relations and to acquire basic skills with which to analyze current issues in the global economy.The classes consist of lectures, presentations and discussions on the foundations of economic principles.This course will keep a non-technical profile. Mathematical skills beyond simple algebra and graphical analysis are not required. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際関係学を学ぶ学生のための経済学入門である。ミクロ経済学とマクロ経済学の両方をカバーする。取り上げるテーマは、交換の利益、需要と供給、弾力性、消費者余剰と生産者余剰、国民所得、財政・金融政策、経済成長、対外開放経済などである。この科目は、受講者が国際経済関係の根底にある基本的な経済原理を理解することと、世界経済で起きている諸問題に対応するための基礎的な分析力を得ることを目指している。授業のスタイルは、基本的な経済理論についての講義、プレゼンテーション、議論である。本科目では、数理的なアプローチは用いない。単純な算式やグラフが理解できれば十分である。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	国際政治	立命館大学	Theories of International Relations	This course will introduce students to the basic theoretical approaches to international relations. The aim of the course is to learn about a variety of distinct perspectives and how they highlight different aspects of international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group work, etc. By studying for this course, students will be able to understand the basic theories, concepts and debates in International Relations and to apply these insights to contemporary international affairs.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際関係学の基本的な理論を取り上げる。国際関係についての多様な理論的視座を学ぶことによって、国際社会の諸課題を多角的に検討する。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の基礎的な理論、概念や論争を理解し、それらを実際の国際関係の諸問題にむすびつけて考えることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Introductory Seminar I	The purpose of the course is to leave students with a foundational knowledge of world politics and an appreciation of a range of the major issues that future practitioners in international affairs will confront in the 21st century. The course also serves as an introduction to university life and as such also seeks to provide the skills students need relating to their studies, including, research, note taking, critical thinking, and on life in Japan and at university in general.This course will use formative evaluation. この科目の目的は、世界政治の基礎知識を身につけ、将来の実務家が21世紀の国際情勢で直面する主要課題を幅広く理解することである。この科目は大学生活への導入にもなり、リサーチ、ノートの取り方、批判的思考を含め、学業や大学生活全般に関連して、また日本での生活に必要なスキルを提供する。評価は、形成的評価で行う。	

基幹科目	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	SISU-106 First Year Seminar	Topics vary by section, not repeatable for credit. This seminar course introduces first semester AU home and 4th semetser RU students to major current world affairs and to life at American University. This is a cohort class where RU and AU students will study together. Grading: A-F only. セクションにより異なったトピックを扱うが、重複して単位を取得することはできない。本科目では、第一セメスターAUホーム学生と第四セメスターRUホーム学生を対象とし、現在の主な国際情勢と、アメリカン大学における学生生活について紹介する。本科目は、RU学生とAU学生が一緒に受講するコホートクラスとなる。A-F評定のみ。	共同開設科目
		アメリカン大学・立命館大学	Japanese Culture	This course introduces students to the study of Japanese culture. The course is devoted to decompose the Japan myth as a unique society, and to reconstruct its real conditions from a cultural anthropological perspective. This includes a general introduction to core issues in the field of cultural studies, as well as to the genealogy of Japanese self-images such as “mixed nation” or “one nation”, invented traditions in modern Japan such as “harmony”, and also a reconsideration of popular images and theories on Japanese culture such as those regarding collectivism, conformity or shame culture. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This is a cohort class and Course Jointly Designed by Ritsumeikan University and American University, JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. この科目では、日本の文化について紹介する。日本の通説を独特の社会として解析し、文化人類学的視点からその実態を再構築する。これには、文化学分野の中核となる問題の概略紹介や、「混合国家」や「単一国家」などの日本の自己像の系譜、「調和」などの現代日本でつくられた伝統、集団主義、調和、恥じの文化など、日本の文化に関する一般的イメージや理論の再考が含まれている。科目は基本的に講義形式で行われるが、生徒が主体となる学習プロセスを促進するため、オープンディスカッションやグループディスカッションも行われる。これはコーホートクラスであり、かつアメリカン大学と立命館大学との共同開設科目である。JDクラスの学生は自国の文化や同級生の文化の理解を深める機会となる。	共同開設科目
		アメリカン大学・立命館大学	Cultural Awareness and Communication	This course offers a critical approach to the field of Cross-Cultural Communication by introducing students to ideas of ’culture’ and ’identity’. An understanding of these two concepts is fundamental to all human interaction and a knowledge of the worldwide variations found will enhance the ability of students to communicate successfully across boundaries at all levels. We also look at the importance of language in understanding cultures, and variations in fundamental understandings of such concepts as ’space’ and ’time’ which are shared by human beings around the world. The emphasis of the course is on human commonalities, rather than surface differences. This is a cohort class and Course Jointly Designed of Ritsumeikan University and American University. JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. このコースは、学生に「文化」と「アイデンティティー」の概念を導入することにより、異文化間コミュニケーションの分野に対する批評的なアプローチを提供する。このような二つの概念の理解は、あらゆる人間の相互作用にとって基本的であり、見出される世界的な相違に関する知識が、あらゆるレベルにおいて、境界を越えるコミュニケーションを成功させる学生の能力を強化する。私たちはまた、文化の理解における言語の重要性、および世界中の人間が共有する「空間」および「時間」のような概念の基本的な理解における差違に目を向ける。このコースは、表層的な差違ではなく、人間の共通性を重視する。これはコホート・クラス、立命館大学、アメリカン大学による共同開設科目であり、JDの学生は、自身の文化および仲間の学生の文化をさらに理解する機会を得る。	共同開設科目

基幹科目	経済学	立命館大学	International Finance	This course covers the core set of principles of international finance. We first introduce the basics of international finance, including the balance of payments, roles and functions of the foreign exchange market, and interrelations among macroeconomic variables in an open economy. We then discuss currently topical issues such as international financial crises and monetary unions. The goal is to enable students to understand the relationship between the real economy and international finance and the basic forces behind international capital movements. Upon successful completion of this course, students will gain a keen insight into international financial markets. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際金融の重要な論点をカバーする。国際収支、外国為替市場の役割と機能、開放経済におけるマクロ経済変数の相互連関など、国際金融の基礎を解説した後、国際金融危機や通貨同盟などの今日的な問題を論ずる。この科目を通じ受講者は、実体経済と国際金融の連関や、国際資本移動をもたらす要因などを理解し、国際金融市場に対する識見を高めることが期待される。授業は科目内容に相応しい講義形式で行うが、受講者の積極的な参加が望まれる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Trade and Investment	This course deals with international trade and investment as two of those three pillars of international economics which include international finance. It is primarily a lecture-based course, which gives theoretical explanation of Classical and Neoclassical trade theories (and others) and international investment theory starting from Hymer and moving through to the Eclectic theory. The course promotes theoretical understanding of the basic framework of the modern world economy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際経済学の3つの構成要素である国際貿易、国際投資、国際金融のうち前記2つを取り扱う。この科目では、主として講義形式により、国際貿易の基本理論を古典派、新古典派等を通じて理解したのち、多国籍企業による国際投資に関するハイマー以来、折衷理論にいたる理論的発展を概観する。この科目を通じて、英語をツールとして、現代世界経済の基本的枠組みの理論的な理解を促進する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
リサーチメソッド科目		立命館大学	Introductory Seminar II	The purpose of the course is develop their analytical and practical skills necessary to begin conducting independent academic research. Using the seminar work by some reference materials, this class guides students through the process of conducting research from thinking of a topic through to the production of the final report. In the process students develop a detailed research project and report in a step by step process and enhance their critical thinking and research skills by continually refining and refocusing their research plans, sources of data, and topics in order to learn how to produce quality academic work. This course will use formative evaluation. この科目の目的は、独自の学術研究を始めるために必要な分析力と実践力を身につけることである。様々な参考資料を用いて、テーマの選定から最終レポートの作成まで研究のプロセスを学ぶ。学生はこのプロセスに従って、詳細な研究計画を立てて段階的にレポートを作成する。研究計画、データソース、テーマを継続的に見直し、調整することにより、批判的思考と研究のスキルを磨き、質の高い論文を作成する方法を身につける。評価は、形成的評価で行う。	

リサーチメソッド科目	立命館大学	Global Studies Research	This course aims to introduce students to the basic principles of interdisciplinary social science research that are particularly relevant to the fields of global studies and International Relations. The course will provide students with information about the methods and tools used in research and the situations in which they are applied. Topics include: understanding the purpose of research; identifying researchable issues; finding, evaluating, and using sources effectively; recognizing methods associated with different types of data; and writing a research report. The course will prepare students for undertaking research in areas such as globalization, international relations, international law, international governance, international human rights, global security and justice, international and transnational crime, international aid and development, environmental protection, comparative politics, immigration and multiculturalism. Students will be encouraged to select a research topic, develop a research plan and prepare a report based on the tools and methodology learned in class. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、とくにグローバル・スタディーズと国際関係学に関わる学際的な社会科学研究の基本原則を概論し、これらの基本原則が応用される研究や状況で用いる方法論とツールに関する情報を提供する。授業で取り上げるトピックは、研究目的の理解、研究対象の特定、ソースの効果的な特定・評価・活用方法、データのタイプに応じた研究方法の認識、研究レポートの作成などである。この科目は、グローバリゼーション、国際関係、国際法、国際ガバナンス、国際人権、世界の安全保障と正義、国際・越境犯罪、国際支援・開発、環境保護、比較政治学、移民、多文化主義などの分野の研究に取り組むための準備段階である。学生は授業で学ぶツールと方法論に基づいて、研究テーマの選択、研究計画の策定、レポートの作成を行うことが求められる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced Seminar (Research Methods)	Building upon the skills learned in ‘Global Studies Research’ students will plan and conduct a research project in a specific academic field of their choosing under the guidance of a single professor. They will receive more focused methodological instruction and will further develop their research skills through focused, sustained, and systematic research on a single topic. This will Improve students’ understanding of research methods and methodology in international affairs and encourage them to become a critical, reflective consumers and producers of research. この科目はGlobal Studies Research で学び、開発されたスキルを生かして、学生が担当教員の指導に基づいて選択する固有の分野において、リサーチ・プロジェクトを実施するものである。この科目では、学生は、リサーチ手法についての指導を受け、ひとつのトピックに関するフォーカスが明確で、持続可能かつ計画的なリサーチスキルを構築する。この授業は国際関係に関する学生のリサーチ手法と方法論に関する理解を促進し、研究に関する批判的、応答的な主体者び活用者となるよう働きかける。	
外国語科目	立命館大学	日本語Ⅰ-1(総合)	ごく基本的な日本語をある程度理解・発信することができるようになる。ごく初歩的な文法、平仮名、片仮名、漢字(50字程度)、語彙(400語程度)を習得し、あいさつや自己紹介ができたり、数を数えたりすることができるようになる。単語やごく短い文の読み書きができるようになる。ロールプレイなどを通じ、教室や日常生活によくある場面の単純なやりとりの会話や聞き取り練習を行う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅰ-2(総合)	ごく基本的な日本語の理解・発信能力を定着向上させる。初歩的な文法、漢字(150字程度)、語彙(800語程度)を習得し、自身の日常的な行動などについて、限られた表現でごく簡単に話すことができるようになる。平易な短文の読み書きができる能力を身につける。ロールプレイや会話練習を通じて、自分の家族について語ったり、自分の考えや希望、経験を述べたり、相手を誘ったりする練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅱ(ライティング)	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。新たに漢字(200字程度)を習得する。日常的な話題について、簡単な文章を書くことができるようになる。初歩的な漢字や語彙、初級文法を使って短い文章を書く練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅱ(総合)	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。初歩的な文法、語彙(1,500語程度)を習得し、ごく身近なテーマについて簡単な発話をしたり、聞いて理解する能力を身につける。平易な文や短い文章が読み書きできる能力を身につける。身の回りのことなど、主として具体的で日常生活に関係が深く、場面に密着したことがらを描写するために必要な初歩的な文型や表現を学習し、「読」・「書」・「聴」・「話」の四技能の向上を図るための練習を行う。初級文法の学習を終える。	
	立命館大学	日本語Ⅲ(ライティング)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。接続表現を適切に使った段落単位の文章が書けるようになり、平易な話題について、説明や意見表明の文章が書けるようになる。文の間の意味関係を意識した文章を産出する練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅲ(総合)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。日常生活に必要な基本的な会話や、身近なテーマに関する簡単な叙述ができるようになり、身近なテーマに関する簡単な文章を理解する能力を身につける。日常会話を話題や場面に応じて適切に行うのに必要となる文型や語彙を学習する。待遇表現を含め、コミュニケーションを円滑にする話し言葉を学習する。また、複数段落の文章を読み、接続表現などに注意して大意を把握する。	
	立命館大学	日本語Ⅳ(ライティング)	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的な話題について、フォーマルな文体でまとまった文章が書けるようになる。書式に則ってさまざまな用紙に記入することができるようになる。一般的なことがらに関する文章を産出する練習を行う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅳ（総合）	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的なことがらについて、簡単な会話ができ、多少まとまりのある文章を理解する能力を身につける。論理的な文や文章の構成に必要な文法、表現、語彙などの学習をさらに進める。また、常体と敬体の使い分けを学び、常体の文章に慣れる。教材は日常的なテーマについて、身近なことから一般的な内容へ広がりのあるものを用いる。	
	立命館大学	日本語Ⅴ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。抽象的な語や比較的平易な専門用語を文章の中に適切に用いることができるようになる。さまざまな接続表現や文末表現を用いて、論理的な段落構成を踏まえた文章を書くことができるようになる。現代社会、文化、各自の専門分野など、幅広い話題について説得力のある文章を書く練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅴ（総合）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。一般的なことがらについて幅広い会話ができ、論理的にまとまりのある発話ができ、論理的でまとまりのある文章を理解する能力を身につける。社会や文化など、多様なテーマの文章を教材として、その中で使用されている語彙、表現、文法などを学習するとともに、論理展開を予想しながら読むことを学ぶ。また、接続表現や機能表現などを含む論理的でまとまりのある発話に必要な表現力を涵養する。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（ライティング）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになり、専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（総合）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになる。専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（聴解口頭）	幅広い場面やテーマのまとまりのある会話、ニュース等を聞き、話の流れや内容を理解する活動を行う。また、現代日本社会や時事問題等のテーマでディスカッションやスピーチを行い、より高い表現能力を養う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅶ(聴解口頭a)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。大学での講義を正確に聞き取ることができ、それをノートに正確にまとめることができるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の授業に参加するために必要な聴解力・口頭表現力を養う。ノートのとり方、講義の聞き方の練習を中心とし、自分の意見を正確に伝える力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(聴解口頭b)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。発表に必要な分析能力、批判能力を身につけ、論理的に話せるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の講義に参加するために必要な聴解力・口頭表現能力を養う。自分の関心のあるテーマについて情報を収集し、論拠を提示しながら論理的に話す力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(読解a)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。読解のスキルを身につけ、文章構成、論理展開を把握し、推量、予測しながら読み進める力を養う。段落ごとに内容を理解し、文章全体の大意把握、要約ができるようになる。様々な文章の読みを通して読解のスキルを磨き、文章の内容をより速くより正確に掴めるようにすると共に、その背景にある日本文化・社会に対する理解を深める。さらに、段落の要点理解から、文章全体の大意を把握し要約する力を養う。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(読解b)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。読解のスキルを用いて、複雑な構造の長文の大意把握、要約ができ、評論、論説の読み方に習熟し、筆者の考え方、ものの見方をクリティカルに読み取り、自分の意見を述べることができるようになる。評論、論説文、小説等複雑な構造の長文を速読して、論旨を読み取り要約し、自分の意見を構築することを目指す。また異なる視点から書かれた文章を読み比べるなど、文章をクリティカルに読む姿勢を身につける。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(文章表現a)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。大学の授業で必要とされるレポートの全体像をつかみ、適切な文体や目的に応じた表現を使い、簡潔な形でまとめられるようになる。レポート作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(文章表現b)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。論文作成に必要な文章構成に基づき、適切な文体や目的に応じた表現を使えるようになる。アウトラインの作り方と論証の仕方を練習し、小論文が書けるようになる。論文作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	

外国語科目		立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語a）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れ、高度な読解力、文章表現力、聴解力、口頭表現力を総合的にのばす。難解な文章を読み、内容や構成を把握でき、長文レポートの文章構成力、作成力、論理的な思考力や認識力、論理的発信力を身につける。	
		立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語b）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れた総合的日本語力をのばす。関心のあるテーマについて情報やデータを収集し、論文を作成できるようになる。	
		立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語a）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。日本の社会や慣習を理解し、ビジネス場面における適切な表現、語彙を学ぶ。社会人としての基本的な敬語や待遇表現を身につけ、円滑なコミュニケーションができるようにする。	
		立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語b）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。実際のビジネス場面（電話、訪問、商談、等）に即したコミュニケーションの方法、ビジネス文書やメール文の実務的な表現や書式を学ぶ。プレゼンテーションの練習を行う。	
固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Introduction to The United Nations	The aim of this course is to introduce students to the United Nations' (UN) history, functions, structures, and contemporary challenges. By studying for this course, students should be able to understand the key concepts related to the UN and to apply these insights to contemporary international affairs. The course traces the development of the UN and its 'practices' within international politics. The course will consist of small group and class discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際連合の歴史、機能、構成、および今日の課題を概説することを目的とする。この科目を学ぶことにより、学生は国際連合の主要な概念を理解し、その洞察を現代の国際問題に応用できるようにする。国際政治の中での国際連合とその慣行の発展をたどる。講義は基本的に、小グループとクラス全体でのディスカッションにより進める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Comparative and Global Governance	The course looks at different ways of thinking about the drivers of history and the sources of political order and the ability of these approaches to explain developments in key historical periods: The rise of the nation-state and the competitive state system; the spread of democratic and non-democratic regimes; and the rapid increase in the number and importance of international institutions and the rise of new powers and alternative political orders in the contemporary period. The course will conclude with an effort to bring informed historical and theoretical arguments to bear on contemporary problems and to better anticipate and understand potential avenues of change in the future. この科目は歴史の推進要因と政治秩序の根源に対する様々な考え方と主要な歴史的時期における発展－国民国家の台頭と競争的国家システム;民主的および非民主的体制の拡散;国際制度の数的拡大と重要性の増大と現代における新しいパワーの台頭とオルターナティブな政治秩序ーを説明するためのこれらのアプローチの能力に着目する。この講義は幅広い知識の歴史的かつ理論的な議論に基づいて現代の諸問題を論じ、また、将来における変化の潜在的な方法をより良く予期し理解することを試みる。	
	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Race and Ethnicity in the Modern World	This course introduces students to studies of race and ethnicity from a historical and comparative perspective. Difference based on race, skin color, and ethnic origin has been incorporated into the formation of modern nation states across the globe. Indigenous peoples, racial minorities, and immigrant-based ethnic groups suffer from forced assimilation, marginalization, exclusion, and genocide in the process of nation-building. At the same time, minorities emphasized their identity based on race and ethnicity as a source of self-esteem and solidarity to overcome discrimination, oppression, and exclusion. The course examines the theoretical concept of race, nation, ethnicity in social science and questions ethnocentric views to conflicts in globalized society. It also focuses on various empirical case studies of racism, ethnic conflicts and multiculturalism across the glove. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は、歴史と比較の視点から人種エスニシティ研究を紹介する。人種、肌の色、エスニックな起源にもとづく差異は、世界各地における近代国民国家形成の過程に組み込まれてきた。その国家建設の過程では、先住民族、人種マイノリティ、移民エスニック集団は、強制的同化、周縁化、排除、そして大量虐殺という苦難を経験している。この講義では、社会科学における人種、ネーション、エスニシティの理論的概念について検証し、グローバル社会における自民族中心的な考え方を問う。また、世界各地の人種主義、民族対立、多文化共生などの事例研究にも注目する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Introduction to Gender Studies	This course explores gendering processes in everyday social life and in identity dynamics within global society. It draws on a range of feminist perspectives in gender studies. Students will engage in debate and discussion to deepen their understanding of mini-lectures and of academic reading content. They will also engage in simulation activities and research projects. They will develop the capability to challenge mainstream discourses on femininities and masculinities and to evaluate policies in terms of gender equality. Students will be able to analyze a wide range of gender issues from terdisciplinary and global perspectives. They will be able to critically examine the influences of gender in the construction of personal identities and national identities in policy documents, news media, entertainment media, and in the academy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル社会における日常の社会生活とアイデンティティダイナミクスに見られるジェンダリング（性別化）のプロセスを探求する。ジェンダー研究における幅広いフェミニズムの視点を活用する。学生は、ミニレクチャーと文献読解の理解を討論・議論を通して深めていく。シミュレーションとリサーチプロジェクトも行う。女性性と男性性をめぐる主流の言説を問い直し、ジェンダー平等の視点から政策を評価する能力を身につける。学生は、学際的でグローバルな視点から多様なジェンダー問題を分析できるようになる。政策文書、ニュースメディア、エンターテイメントメディア、学術界において、個人と国家のアイデンティティの確立にジェンダーが及ぼしている影響を批判的に検討できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	専門入門科目Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Security Studies	This course will cover basic arguments in Security Studies. Students are expected to develop skills for critical analysis and making logical arguments supported by evidence - in other words, to make academic arguments. Lectures intend to demonstrate how to analyse case studies applying relevant theories. The former part of the course focuses on analytical tools, i.e., theories in Security Studies. The latter part of the course will explore non-traditional security issues, such as transnational crimes and international terrorism.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は安全保障論の基礎的な議論をカバーするものである。学生は科学的根拠に支えられた批判的な分析力、論理的思考の発展、つまり、学術的な分析力をのばす事が求められる。講義は理論を用いた事例の論じ方を紹介するものである。コースの前半は分析ツールである理論を中心に行い、硬軟は非伝統的な安全保障の領域である組織犯罪や国際テロなどの分野を検証する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Introduction to peace studies	This course reviews a wide range of theories exploring the nature and causes of conflict, the possibilities for conflict resolution, and the foundations of peace. The course will combine lecture and group work, exploring from past to contemporary case studies, so that it will help students to foster practical understandings of the cause of conflicts and discuss ways to resolve current global issues. At completion, students will possess an understanding of the key concepts of peace studies and a broad knowledge of different perspectives on peace and conflict and develop skills to address personal and group issues that require peaceful conflict transformation currently and in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、紛争の性質や要因、紛争解決方法、平和とは何かという課題を様々な理論を用いて考察する。この科目は、講義とグループワークの形態を取り、過去から今日に至る様々な紛争の事例を取り上げながら、紛争の要因を実際に理解し、今日の国際的な課題の解決に向けた議論を促す。この科目を通じて、学生は平和学の主要な概念と平和と紛争についての多様な考え方を理解し、今日あるいは将来において平和的紛争転換が必要とされる個人や集団間の問題解決の技能を習得するようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Civil Society and Development	This course investigates the origins, roles and practices of civil society in the context of international development efforts. Building on a multi-disciplinary approach the course will discuss the main theories addressing the actor in the wide field of international development. Attention will be paid to the plurality of actors nestled within the umbrella concept of 'Civil Society' (non-governmental organisations, international advocacy actors, protest movements, etc.). Key contemporary questions will be addressed: the role of global civil society in fostering - and sometimes hampering - social change; the institutional and financial constraints faced by such civil society organisations (CSOs) and the strategic choices attached to such constraints; the global divide between Northern and Southern CSOs; and a wide range of other ethical, political, environmental and economic issues linked to the multiple roles played by contemporary civil society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際開発活動の文脈において、市民社会の起源、役割、活動を調べる。学際的なアプローチにより、国際開発という幅広い分野におけるアクターを取り上げ、主要な理論について考察する。「市民社会」という包括的な概念に含まれる多様なアクターに着目する(非政府組織、国際的なアドボカシー団体、反対運動など)。さらに、社会の変化を促進する(ときには阻みもする)グローバルな市民社会の役割、そのような市民社会組織(CSO)が直面している制度的・財政的制約、それらの制約に伴う戦略的選択、南北間でのCSOの世界的分断など現代の主要課題を取り上げる。他にも、民族、政治、環境、経済問題など、現代の市民社会が果たす多くの役割に結びつく事項を幅広くカバーする。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Sociology	This course introduces students to the study of global sociology. The course challenges the perspective of nationalist sociology that takes the nation-state as its analytical unit, and investigates the formation of the global civil society and global consciousness from a sociological perspective. In doing so, the course both outlines the trends within globalisation from above, such as the formation of a capitalist economic world system, along with the reaction of the nation-states to this, and also discusses the aspects of globalisation from below through subjects such as global tourism, migration, social movements, terrorism and identity formation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目はグローバル社会学への入門科目である。国民国家を分析の対象とするナショナリスト社会学に挑戦して、グローバルな市民社会やグローバルな意識の形成過程を社会学的な視点から論じる。具体的には、資本主義的経済を基にする世界システムの形成やそれに対する国民国家の反応のような、「上」からのグローバル化を明示する一方で、グローバルなツーリズム、マイグレーション、社会運動、テロリズム、アイデンティティ形成のような、「下」からのグローバル化のあり方を論じる。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Human Rights	This course will provide an introduction to human rights philosophy, principles and institutions and familiarize students with current debates in the field. The course will also explore aspects of the diverse and increasingly complex body of international human rights law, analyze the ways in which allegations of human rights violations are dealt with in national and international courts and examine the impact of human rights discourse on international relations. Among the themes covered are: the philosophical foundations of human rights; the structure of international human rights treaties; the content of the major substantive rights; and the means by which human rights norms are implemented on national and international levels. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、人権に関する理念、原則、および制度を概論し、人権分野において今日なされている議論を学ぶ。また、多面的で複雑の度を増す国際人権法を様々な角度から掘り下げ、国内および国際裁判所での人権侵害の申し立ての対応を分析し、人権をめぐる言説が国際関係に与える影響を検討する。授業で取り上げるテーマは、人権の理念的基盤、国際人権条約の構造、主要な実体的権利の内容、国内および国際レベルでの人権規範の実施手段などである。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	
		立命館大学	International Migration	International migration has been one of the signature phenomena of globalization for decades. People in modern society move as labor migrants and their family members, transnational professional elites working in multinational corporations, refugees and asylum seekers, international students, tourists, and undocumented immigrants. This course seeks to examine international migration from an interdisciplinary perspective, bringing together insights from sociology, history and political science. Questioning the given framework of the nation-states, this course tries to understand global society from legal, historical and sociological perspectives on international migration. The topics may include theory of international migration, modern history of global migration, migration policies, settlement and incorporation, formation of ethnic minorities, migration and development, and transnationalism. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際移民は、現代のグローバル化における重要な現象の一つである。現代の移動者は、労働移民とその家族、多国籍企業で働くエリート、難民や庇護申請者、留学生、観光客、非合法移民などさまざまなかたちで国境を越えて移動する。本科目では、社会学・歴史学・政治学などの学際的な視点から国際移民について検証する。そして、国民国家を前提とした枠組を問い直し、国際移民についての法的・歴史的・社会学的視点から、グローバル社会についての理解を深める。具体的なトピックとしては、国際移民の理論と歴史、移民政策、定住と統合、エスニック・マイノリティの形成、移民と開発、トランスナショナリズムなどを扱う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	International Law	This course is designed to familiarize students with the rules and processes through which international law governs relations between states and regulates the affairs of corporate bodies and individuals on the international plane. Much of the focus of the course is on systemic issues: the principal sources of international law and the main institutions in which international law is developed and in which international disputes are resolved. Special attention will be given to issues such as personality, jurisdiction and responsibility; the main rules on the use of force; the rights of the individual under international law; and the relationship between power and the use and abuse of international law. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国家間の関係を司り、国際レベルでの企業・個人の問題を規定する国際法のルールとプロセスを学ぶ。国際法の主たる法源、国際法の立法や国際紛争の解決にあたる主要機関など、主として制度面に重点を置く。とくに法主体性・管轄権・国家責任、武力紛争法、国際法における個人の権利、国際法の優劣関係・権利濫用などに着目する。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Global Environmental Issues	This course broadly introduces students to global environmental issues. While providing students with the ability to look at issues with a holistic, bird's eye view angle, the course will focus more on 'how' and 'why' certain environmental issues have emerged and how they have evolved, rather than merely focussing on related facts and status (i.e.'what'). The course covers a variety of global environmental issues, including climate change, desertification, air pollution, ozone depletion, loss of biodiversity, and loss of marine resources. It also covers several different modes of environmental governance through which we, as the international community, have adopted aiming to solve them. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバルな環境問題を概論する。関係する事実や状況(「何が」)だけを見るのではなく、特定の環境問題が「どのように」「なぜ」起きたのか、どのように変化してきたかに重点を置いて考察し、問題に対して包括的、俯瞰的な視点をもつことを学ぶ。授業では、気候変動、砂漠化、大気汚染、オゾン層破壊、生物多様性の喪失、海洋資源の喪失を含め、世界の様々な環境問題をカバーする。また、これらの問題を解決するために、国際社会が採用してきた環境ガバナンスの形態もいくつか取り上げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Organizations	International Organisations (IOs) have become pivotal actors on the global stage today, addressing pressing concerns of international public good, trade, the environment, international security, and poverty. This course addresses the historical and theoretical foundations of IOs - both International Governmental Organisations (IGOs) and International Non-Governmental Organisations (NGOs). While this course will aim to equip students with a broad understanding of the structures of some of today's most prominent IOs, it will further encourage students to reflect on the relevance, effectiveness and practices of IOs in our globalising world, as well as the pressing issues of accountability that they bring forth. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際機関(IO)は今日の国際社会における重要なアクターであり、国際公共善、貿易、環境、世界の安全保障、貧困など差し迫った問題に対応している。この科目では、国際政府組織(IGO)と国際非政府組織(NGO)の両方について、IOの歴史的および理論的基盤を取り上げる。この科目では、広く知られるIOを例にとり、その組織構造について概要を理解するとともに、現代のグローバル化社会におけるIOの妥当性、効果、活動、これらのIOが明るみにした説明責任に関する喫緊の課題ついても考察する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Special Lecture (GCG)	The focus of this class is on new or emerging topics related to global and comparative governance. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Global and Comparative Governance 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間

固有専門科目	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Media and Society	This course introduces students to many aspects of contemporary media studies and considers ways of understanding the various roles that media, both traditional and 'new', play in modern society. It will draw on students' own experiences and academic discourse to consider a broad variety of areas; media production, representations of society, theories of 'media effects', public opinion and democracy, audiences and media consumption, and the legal and regulatory frameworks that shape the media landscape. Academic approaches to understanding the mass media will be presented in lecture-based sessions, contemporary media texts will be used as a basis for structured discussion and debate aimed at giving students the opportunity to evaluate and assess their personal experiences and knowledge. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、現代のメディア研究の様々な側面を概論し、従来のメディアと「ニュー」メディアが現代社会で果たす多様な役割を理解するための方法を検討する。学生自身の経験と学術論文から、メディア制作、社会の描写、「メディア効果」理論、世論と民主主義、オーディエンスとメディア消費、メディア環境を形成する法的・規制の枠組みなど、幅広い多様な分野について考察する。マスメディアを理解するための学術的アプローチについて講義するほか、学生が自分の体験と知識を振り返り評価する機会として、現代メディア論のテキストを用いて体系的な議論・討論も行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Topics in Identity	Identity is a subject we can all discuss, but not an easy idea to pin down in an academic context. This course offers students an overview of important issues in and around the notion of 'identity', allowing them a way in to a more structured understanding of this pivotal concept. Topics covered may include theories of personal and social identity, gender and sexuality, race and ethnicity, the role of the 'Other', nationalism and identity politics, and so on. This course makes use of students' knowledge of identity issues as a basis for interactive learning, this approach is complemented by lecture-style teaching which provides a structured framework to locate discuss experiences. Students completing this course successfully will gain an improved ability to discuss and understand identity as a concept, and improved communication skills. They will also gain a thorough knowledge of theory and issues related to 'identity'. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. アイデンティティはだれでも議論できるテーマではあるが、学術的な文脈で明確に述べるとなると簡単ではない。この科目では「アイデンティティ」の概念をめぐる重要な諸課題を概説する。学生は、このきわめて重要な概念を体系的に理解するための方法を学ぶことができる。個人と社会のアイデンティティ、ジェンダーとセクシュアリティ、人種と民族、「その他」の役割、ナショナリズムとアイデンティティポリティックスなどのトピックを取り上げる。アイデンティティの諸問題に対する学生の知識を引き出し、双方向的に授業を進める。さらにこのアプローチを講義で補完し、経験を特定し議論するための体系的な枠組みを提供する。この科目を履修する学生は、概念としてのアイデンティティを考察し理解する能力を身につけ、コミュニケーション力が向上する。「アイデンティティ」に関連する学説や課題を詳しく知ることもできる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Special Lecture (IRGC)	The focus of this class is on new or emerging topics related to identity, race, gender, and culture. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Identity, race, gender, and culture 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義 16時間 実習 40時間

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Peace and Conflict Studies	The aim of the course is to deepen students' understanding of theoretical and empirical problems in the study of the outbreak, development and resolution of armed conflicts. Focus is directed upon the post-Cold War conflict processes within states, different analytical levels - individual, group, state, and regional - are considered. The course combines lecture and group work, exploring the various peacebuilding attempts, to identify empirically and critically evaluate central obstacles and problems for conflict resolution, conflict management, and durable peace. At completion, students will acquire a thorough understanding and critical examination of the origin, dynamics and resolution of on-going armed conflicts today. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、武力紛争の発生、発達、解決における問題を理論的・実証的に学習し、理解を深めることを目的としている。特に冷戦後の国内紛争に焦点をあて、個人・集団・国家・地域の異なる観点から分析する。この科目は、講義とグループワークの形式を取り、冷戦後発達した平和構築の取り組みを取り上げ、紛争解決、紛争管理、永続的な平和を阻害する要因や問題を批判的に考察する。この科目を通じて、学生は現在進行中の武力紛争の発生原因、力学、解決についても批判的に分析し理解することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	

固有専門科目	固有専門科目Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Special Lecture (PGSCR)	The focus of this class is on new or emerging topics related to peace, global security, and conflict resolution. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Peace, Global Security, and Conflict Resolution分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
地域研究科目		立命館大学	Japanese Politics	Recent years have seen a number of significant developments in Japanese politics, from the rise and fall of the Democratic Party (DPJ), through the growing economic and demographic crises, to the potential rekindling of the peace movement. This course will examine these issues and others through exploring the broader trends to which they connect and interact with both inside and outside Japan. Students will gain a knowledge of the major parties and other actors which influence Japanese politics. Students will also broaden their understanding of the political history of Japan from the 19th to early 21st centuries and the impact this will have on Japanese politics in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 近年の日本の政治には、民主党(DPJ)の台頭と凋落から、経済・人口動態の危機の増大、平和運動の潜在的な再燃まで多くの重要な変化が見られる。この科目は、これらの変化、その他の問題が日本国内外のより大きな流れとどのように結びつき、作用しあっているのかを検討する。学生は、日本の政治に影響を与える主要政党、その他のアクターに関する知識を得る。また、19世紀から21世紀初頭までの日本の政治史、それが将来の日本政治に及ぼす影響についての理解を広げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japanese Society	This course introduces students to the study of Japanese society. This includes a general introduction to the transition of Japanese society from traditional to modern, as well as to Japan's contemporary social conditions through subjects such as social modernisation, demographic changes, social stratification, social welfare, employment patterns, education, immigration, family and sexuality. In doing so, the course discovers the path of modernisation in Japan in comparison to Western countries and East Asian societies, and discusses Japan's future in light of current globalisation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は日本社会への入門科目である。本授業において、伝統的な社会からモダン社会への転換過程を論じる一方で、社会的モダニゼーション、人口転換、社会階層、社会福祉体制、雇用パターン、教育、移民の現状、家族とセクシュアリティ等のようなトピックから現代日本の社会的条件を明らかにする。そうしながら、西欧諸国や東アジア地域と対照して、日本における近代化の道筋を議論し、グローバル化の中での日本の将来を考える。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Japanese Economy	This course provides an introduction to the Japanese economy. The classes consist of lectures, presentations and discussions.We will first introduce basic economic concepts as a basis for analysis, and then discuss institutional background and various aspects of the Japanese economy, including growth, business management, fiscal affairs, and international trade. Current topics such as the country's population aging, labor market dualism, and the government's new economic program dubbed ″Abenomics″, will also be discussed.Japan emerged as the first non-Western industrialized state and became the second largest power in the world economy. However, after the collapse of the asset price bubble in the 1990s, the country experienced Japan's lost decade(s). Students are expected to learn lessons from Japan's economic success and failure. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本経済への入門である。授業のスタイルは、講義、プレゼンテーション、議論である。授業では先ず、分析の用具としての経済学の基礎知識を紹介する。続いて、日本の経済システムのほか、成長、企業経営、対外関係をはじめ多角的な論点から日本経済を検証する。また、高齢化、労働市場での格差の拡大、政府が取り組んでいるアベノミクスと呼称される経済政策など、日本経済が直面する諸問題を取り上げる。日本は、欧米以外で初めて産業化に成功し、一時は世界第二位の経済規模を有するに至った。しかし、1990年代の資産バブルの崩壊後、「日本の失われた十年(あるいはそれ以上)」と言われる長期低迷に見舞われた。受講者は、こうした日本経済の成功と失敗から有益な教訓を得ることが期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	United States Politics and Foreign Policy	As we approach the third decade of the twenty-first century the US is faced with a 'rising' China abroad, a weak economy at home, and an increasingly polarized domestic political landscape characterized by movements such as Occupy Wall Street and the Tea Party. These events and the broader historical, political and theoretical background they connect with will form the basis of this course. The course itself will be divided roughly into two, with the first half examining US domestic politics, and the second half looking at US foreign policy. This division is not totally rigid, however, and elements of both will crop up either side of the halfway divide. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 21世紀の20年代が近づくなか、米国は国外では中国の「台頭」に、国内では経済の弱体化に直面している。またオキュパイ・ウォールストリートやティーパーティなどの運動に見られる国内政治の二極化も進んでいる。これらの事象、さらにそれに関係するより広範な歴史・政治・理論的背景が、この科目のベースになる。講義そのものは大まかに前後半に分かれる。前半は米国の国内政治、後半が外交政策である。ただしこの区分は厳格ではなく、取り上げる内容が前後半で重複する場合もある。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Japan-United States Relations	The US-Japan relationship is described by many as the most important foreign relationship either country has and since 1945 relations with the United States have formed the central focus of almost all Japanese foreign and security policy and strategy. This course aims to improve students' awareness of the origins and evolution of US-Japan relations since the mid-nineteenth century and will examine the changing relations between the two countries and the evolution of their relationship from bitter rivalry to today's close partnership. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 日米関係は両国にとって最も重要な対外関係の一つであるというのが大方の見方であり、1945年以来、米国との関係はほぼすべての日本の外交・安全保障政策・戦略の中心となっている。この科目は、日米関係の起源と19世紀半ば以降の変遷について学生の認識を深めることを目的とし、厳しい対立から現在の緊密なパートナーシップに到達するまでの両国の関係の変化について検討する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Special Lecture (Area Studies Course)	This course looks at a variety of political, economic and social issues in [PLACE] in their historical and contemporary international contexts. The course combines lecture-based sessions with interactive discussion in order to give student the opportunity to gain a multi-level, comprehensive view of these issues. By completing this course student will be able to gain a thorough, broad knowledge of the relevant issues in [PLACE]. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では世界各地域の政治・経済・社会的な課題を、歴史的な背景を踏まえ、国際社会の中に位置づけながら取り上げる。この科目では、講義形式と、必要に応じてグループワークを組み合わせ、多角的、複合的視野から各々の地域が抱える諸問題について考えることを目的とする。この科目を通して、各地域についての幅広い知識と深い理解を身に付けることができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Foreign Relations of Japan	This course covers the foreign relations of Japan up until the current day. While looking back over a variety of issues that Japan has encountered in its foreign relations and examining the principles and thought behind how the Japanese government has engaged and dealt with them, we will compare and discuss Japan's foreign policy in relation to that of other countries. This course gives students an opportunity to learn about, critique and evaluate Japan's foreign policy and that of related countries. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日までの日本の外交政策について取り扱う。この科目では、日本が抱える様々な外交問題を取り上げ、それらについて日本政府が取った対外政策がどのような理念と構想により決定されたかについて振り返りつつ、日本以外の国の外交政策と比較しながら、検討し、学生と共に議論する。この科目を通じて、日本の外交政策を諸外国のそれと比較して評価できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Business Administration of Japan	This course looks at the historical develpment of the Japanese-style management model, its current state and the issues its faces. Through a study of a number of case studies, and by trough a consideration of comparisons with other countries, we discuss the strengths and weakness of this model, its historical evolution and possible future prospects. Students will gain a deeper understanding of Japanese society and culture, as a context for understanding a variety of management paradigms and strategies. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本型経営モデルの歴史的変遷、およびその現状と課題を取り扱う。この科目では、様々な具体的事例を紹介し、諸外国との比較的検討を通じて、日本型経営の長所および短所、ならびに歴史的および将来的視点について検討する。この科目を通じて、経営学における様々なモデルや経営戦略の多様性について確認すると共に、日本の社会や文化についての理解を深める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Korean Studies	This course deals with the historical development of Korea in the modern and contemporary periods. It is designed to introduce students to the main aspects of modern and contemporary Korean society, including those pertaining to the family, gender, religion, and political system. We will start the class by introducing theoretical frameworks that analyze the Korean society. We will then learn more specific topics. Classes are conducted through various methods such as group work and discussion, using various media such as newspapers, magazines, and the Internet. This course provides overall knowledge about contemporary Korean society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、近現代における韓国の歴史的変化を取り上げる。家族、ジェンダー、宗教、政治体制に関するものを含め、近現代の韓国社会の主要な側面を概説する。まず韓国社会を分析するための理論的枠組みを示してから、具体的なトピックを取り上げる。授業は、グループワークやディスカッションなどの形式をとり、新聞、雑誌、インターネットなど多様なメディアを用いて行う。授業では現代の韓国社会に関する総合的な知識を提供する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Contemporary China	This course provides an overview of the politics of China today. It consists of two parts: one on the domestic politics of China (focusing on the legitimacy of the Chinese Communist Party), and the other on the international politics of China (focusing on the notion of international responsibility and the importance of historical memories). Each class consists of a mini-lecture and seminar-style discussion based on required reading. Upon the successful completion of the course students will be able to write an essay with a theoretically-informed argument on China's domestic and/or international politics. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日の中国政治概説を取り上げる。中国共産党の正統性に注目した国内政治と、国際的責任の概念や歴史的記憶の重要性に注目し国際政治の2部構成である。授業では講義と必読文献を元にしたセミナー形式のディスカッションを行う。この科目終了時には、中国の国内及び(または)国際政治に関して、理論に基づく主張をレポートに執筆することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced topics in Area studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	South East Asian Studies	This course is designed to introduce Southeast Asian Studies to undergraduate students. Why is Southeast Asia identified as a regional unit in today's international relations? What are commonalities and differences in colonial history in Southeast Asia? Why have some countries experienced high economic growth and why have some not? Why in some countries in Southeast Asia, did political democratization take place whereas other had very different experiences? The political economy of international relations in Southeast Asia is very dynamic and students are expected to learn its unique nature from historical and comparative perspectives. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、学部生を対象にした東南アジア研究概論である。現代の国際関係において東南アジアが1つの地域単位とみなされているのはなぜか。東南アジアの植民地の歴史における共通点と相違点は何か。顕著な経済成長を遂げている国とそうでない国があるのはなぜか。東南アジアには政治的民主化がなされた国もある一方で、それとはまるで異なる国もあるのはなぜか。東南アジアの国際関係における政治経済はきわめてダイナミックであり、学生は、歴史をふまえた比較の観点から、この地域固有の性質を学ぶことができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Modern Japanese History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Area Studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Kyoto and Japanese Arts	The course consists in a comprehensive survey of the intimate relationship between the city of Kyoto and the birth and development of Japanese art and culture. Beginning with the circumstances which led to the foundation in the Kyoto basin of an everlasting capital, the course puts a special emphasis on the history of civil and religious architecture, introduces the performing arts of the various eras (noh, kyogen, kabuki), examines the culture of the tea ceremony and tells the story of the glory and decline of the period movie and its industry. Students will be asked to make oral presentations, thus increasing their ability to convey their ideas in the English language. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、京都が日本の芸術・文化の誕生と発展にどのように関わってきたかを総合的に検討する。この科目では、京都の古都としての歴史、宗教との関係、伝統的な建築などに重点を置き、各時代の芸術（能、狂言、歌舞伎）や茶道をはじめとする伝統文化に注目しつつも、時代劇を代表とする映画産業なども検討の素材に含める。この科目では、授業の中で取り上げられたテーマに関して英語でプレゼンテーションをすることにより、自分の考えを英語で表現する能力を発展させる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japan and the west	The aim of the course is to introduce students to some of the most significant historical and cultural issues and concepts in the complex relationship between Japan and 'the West'. This course aims to challenge students to question taken for granted essentialized binary opposition between Japan and The West and to understand the nature of complex and mutually constitutive relationship between the two. This course uses academic texts, case studies, and visual aids to facilitate students understanding and engagement. This course enables students to engage in theoretically and historical debate about the relationship between Japan and the West. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本と「西洋」の複雑な関係に顕著にみられる歴史的、文化的な問題と概念にふれることを目的とする。疑いなく受け入れられている日本と西洋という二項対立を問い直し、双方にとって本質的で複雑な関係の性質を理解する。文献、ケーススタディ、視聴覚資料を用いて授業への参加と理解を促す。学生は、日本と西洋の関係について、歴史を踏まえた理論的な議論に参加することができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Internship(Area Studies)	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
ｼﾆｱｷｬｯﾌﾟｽﾄｰﾝ科目	立命館大学	Advanced Seminar	This course provides opportunities for learning together for students with the same interest in an academic field that is of the most interest to them in the field of international studies. The objective is to encourage ongoing study in order to develop the ability to ultimately write a graduation thesis, to compile information, and create documents. Students will also improve their communication skills through a combination of classes taken in AU and RU. Assessment is formative and summative. この科目は、国際関係学の中で自らが最も関心を持つ学問領域について同じ関心を持つ学生と共に学ぶ機会を提供する。この科目では、継続的な学びを通じて最終的に卒業論文を作成するレベルの知識、ならびに情報収集能力および文書作成能力を修得することを目標とする。加えて、この科目を通じて、アメリカン大学並びに立命館大学での学びの集大成として、コミュニケーション能力の向上をはかる。評価は、形成的評価および総括的評価により行う。	

シニアキャップストーン科目	立命館大学	Graduation Research	Students taking this subject will write a graduation thesis that demonstrates all they have learned in the College of International Relations. This subject is closely tied to topics covered in advanced seminars. Under the close guidance of an adviser, students set objectives based on their interests and conduct exhaustive research and accurate analyses using literature and data, after which they present their views in a thesis. This subject allows students to bring together the knowledge, methodologies, logic, and other learning acquired throughout their studies in the College of International Relations. Assessment is summative. この科目は、国際関係学部における学びの集大成である卒業論文の作成をおこなう。この科目では、専門演習での学びと密接な連携を持つ。学生は、指導教員の綿密な指導の下で、自らの問題関心にもとづいて課題を設定し、文献やデータなどの十分なリサーチと正確な分析をおこなった上で、自らの見解を論文としてまとめる。この科目により、国際関係学部でこれまで学んだ知識や方法論、論理性などが集約される。評価は、総括的評価により行う。	
選択科目	立命館大学	Global Political Economy	This course will provide students with basic analytical frameworks to understand the fact that international/global political issues and international relations, as well as foreign affairs, are essentially caused and influenced by a variety of economic factors and policies. In this course, analyses and discussions are more focused on policy-based and practically-oriented aspects of economics and the real economy at the global scale. Several economic issues, which cannot be analyzed under the conventional frameworks in economics will be taken up in this course. The subjects/ issues include: Political economy of the US and other nations in trade issues; major effects of central banks' monetary policies on the global economies; industrial development strategies and economic policies based on the 'Washington Consensus'; Capital account liberalization and its effects on the risks of crises, etc.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は現在の国際経済の基礎的な知識（国際貿易、国際収支、為替制度、金融市場等）とともに様々な国際経済の現象（例：為替変動、株価変動、危機発生、国際政治経済情勢等）を理解する基礎となる理論的背景と具体例を採りあげる。本科目では様々な国際経済状況の変化や危機（例：アジア、ラテンアメリカ、欧米等）の背景（国際資本移動の自由化）や規制・管理の方策、国際開発金融、望ましい国際金融体制等について理論的かつ政治経済的な側面から理解させる。また、主要な国際機関（世銀・IMF、ADB等）のプログラムと評価、国際貿易・金融体制、国際機関と経済発展・協力の課題についても学習する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Law	This course is designed as an introduction to the essentials of law and legal systems. It aims to provide insight into the nature and function of law and familiarize students with key concepts, institutions and processes in various fields of law, such as constitutional law, criminal law, procedural law, property law, contracts and torts. The course seeks to place law in its social, economic, political, historical and philosophical context and thus not only to provide students with a knowledge of legal institutions but also to help them to develop a critical understanding of the operation of those institutions in society. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、法律および法体系の基本を学ぶ概論である。法律の性質と機能を洞察し、憲法、刑法、手続法、財産権法、契約法、不法行為法など、様々な法律分野の主だった概念、制度、プロセスを知ることを目的とする。社会、経済、政治、歴史、哲学の文脈で法律をとらえ、法制度の知識を得るだけでなく、これらの制度の社会における働きを根本的に理解できるようにする。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

選択科目	立命館大学	Introduction to Natural Sciences	This course deals with basic theories and major findings in particular fields of natural sciences and analyses their relation to human society and culture as well as approaches to global issues that the international society has faced. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. Students taking this course will be able to understand human society and culture, global issues from the viewpoint of natural science. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、自然科学のいくつかの分野における基礎的な理論および知見、ならびにそれらと人びとの生活・社会との関係、地球規模の課題群に対する自然科学的な解決手段などを取り扱う。この科目では、さまざまな事象や文献を用いながら、セミナーまたは講義形式で進められる。この科目を通じて、自然科学的な観点から文化・社会およびグローバル・イシューを理解する力が向上させられる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Humanities	How do people create their world, their environment, traditions and heritage? How are they in turn created by them? This course looks at the contemporary world through the lens of human culture and provides an introductory overview of cross-disciplinary approaches to social issues and global problems with a base in the humanities, including, but not restricted to, geography, history, languages and linguistics, philosophy and the arts. In order to draw on students' diverse experience and knowledge, this course combines lecture-based elements with interactive teaching styles such as group discussions, presentation and seminars. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 人間は、自らの世界、環境、伝統、遺産をどのように創造するのか。そして、それらをどのように活用するのか。この科目は、人類の文化というレンズを通して現代世界を眺め、地理学、史学、言語および言語学、哲学、芸術等を含めた人文科学をベースとして、社会的課題やグローバルな問題への学際的アプローチを概論する。学生の多様な体験と知識を引き出すために、講義に加え、グループディスカッション、プレゼンテーション、ゼミなど双方向的なスタイルで授業を行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Development Studies	The course broadly introduces students to the topics related to international development cooperation, by particularly focusing on the post-WWII era. Important development concepts such as human development, economic development, and important development actors, such as governments, private sector, NGOs and non-traditional donors, will be explained. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、第二次世界大戦後の時代に焦点を絞り、国際協力開発に関係するトピックを概論する。人間開発、開発経済、開発の重要なアクター（政府、民間セクター、NGO、非伝統的ドナー等）など、開発の重要な概念を説明する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive English Ⅰ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS I focuses on building vocabulary and reading comprehension. Students will learn reading skills and read texts with a variety of genres in general academic fields. Students will also practice reading short texts such as newspaper articles as well as long ones within a limited time in order to cope with major program courses carried out in English. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、アカデミック・スキルの授業や英語による専門授業の受講および交換留学の準備など、学生のさまざまなニーズに対応するために、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする選択科目である。IEIS Ⅰは、英文読解と語彙に重点を置き、リーディング・スキルを用いて、アカデミックな分野のさまざまなジャンルの英文を読み解く。英語で行われる授業に対応できるように、長文のエッセイやテキストの章だけでなく、新聞記事などの短文なども限られた時間内で速読する演習も行う。評価は、形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English Ⅱ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS II promotes communicative competence by preparing students to demonstrate their listening and speaking skills in approved standardized tests. Topics of interest within International Studies are incorporated into the syllabus, while maintaining a focus on chosen themes for test preparation. Course objectives include promotion of the ability to engage in face-to-face interview situations and to converse on topics such as describing your own life situations and goals, and the ability to understand conversations about everyday experiences and educational context situations. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIは、特にリスニング・スキルやスピーキングスキルなどの口頭によるコミュニケーション・スキルに重点を置く。この科目では、標準テストについても念頭に置きつつ、国際関係に関するトピックを選択する。また、一対一の対面式のインタビューを行ったり、自分の将来や教育環境における経験について会話する能力を伸ばすこともこの科目の目標である。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English Ⅲ	The aim of Intensive English III is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in planning, drafting and revising a variety of academic genres combining macro-level skills on the textual level with micro-level skills on the sentence level. In class, students will analyze samples of good writing, plan their response to a given writing task and collaboratively develop texts that summarize pertinent information, compare and evaluate different sources, and support their arguments. Students will also gain practice with task types generally included in standardized exams. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIIは、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、テキスト単位のマクロなレベルのスキルと文単位のミクロなレベルのスキルをつなぎ合わせ、アカデミックなさまざまな文章を草稿し、リライトする。この科目では、優れた例を分析し、文献を比較・評価し、議論を支える資料を見つけ、ライティングを行う。標準テストに出題されるような問題演習も行う。評価は形成的評価を行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive EnglishⅣ	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive EnglishⅤ	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive EnglishⅥ	The aim of IEIS VI, similar to IEIS III, is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in manipulating the basic building blocks of successful writing at the sentence, paragraph and textual level. In class, students will study argument structure, thesis and support, discuss writing strategies appropriate to their context and analyze common errors occurring in their work. Students will also gain practice with a variety of test-related genres such as independent vs. integrated writing, descriptions of graphs and tables, as well as opinion essays. IEIS VIの目標は、IEIS IIIと同様に、アカデミック英語運用能力を習得することであり、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、文章レベルからテクストレベルまで、優れた文章を書く基本知識を学ぶ。例えば、論理構造、主題と根拠、文脈に適切なストラテジーなどについて議論し、演習を行う。自由英作文や複合英作文、エッセイやグラフの書き方など、標準テストなどでも問われるさまざまなジャンルのライティングを演習する。 評価は形成的評価を行う。	

（注）
1　国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その３の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。
2　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。
3　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部 立命館大学・アメリカン大学国際連携学科）　（アメリカン大学）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	アメリカン大学	ANTH-225 Language and Human Experience	Examines language and its contribution to creativity, and how knowledge of language enriches human experience. Includes imagery and metaphor building through language; the effects of topic, speaking situation, and gender on creativity in tribal, state-level, and post-colonial contexts; and ways written language recasts and redefines human imagination. Usually offered every fall. 言語およびその創造力への貢献、また言語知識がどのようにして人間の経験を豊かにするかを検証する。言語を通したイメージや比喩の形成、部族、国家レベル、またポストコロニアルのコンテクストにおける主題、発話状況およびジェンダーの創造力への影響、そして文語がどのように人間の想像を書き換え、再定義するか等を検討する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ANTH-250 Human Origins	The contributions that physical anthropology and archaeology can make toward an understanding of the origins and development of humankind. Includes genetics, the principles of evolution as applied to humans, the nonhuman primates and their behavior, human fossils, and the archaeology of the New and Old Worlds. Usually offered every fall. 人類の起源と発展の理解のために自然人類学および考古学に可能な貢献。遺伝学、人類・非ヒト霊長類に適用される進化の原理、またその行動、人類の化石、そして新世界・旧世界の考古学等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ARTH-105 Art: The Historical Experience	Introduction to Western art and architecture from ancient times to the twentieth century, with some discussion of non-Western cultures. Case studies of major works and artists such as the Great Pyramids, the Parthenon, Chartres Cathedral, Michelangelo, Rembrandt, and Picasso provide a foundation for understanding art in its aesthetic, historical, social, and political contexts. Also covers materials, techniques, and practices of art-making, and introduces key stylistic innovations. Usually offered every term. 古代から20世紀までの西洋美術および建築について、非西洋文化についても触れながら紹介する。大ピラミッド、パルテノン神殿、シャルトル大聖堂、ミケランジェロ、レンブラントおよびピカソといった主要な作品および芸術家のケーススタディにより、その美的、歴史的、社会的、また政治的背景において芸術を理解するための基礎を養う。また芸術作品製作の材料、技術および実践についても扱い、重要な様式の革新を紹介する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	ARTS-100 Art: The Studio Experience	This beginning studio course introduces students to painting, drawing, sculpture, and design combined with visual literacy. The course focuses on the interrelationship of hand, eye, and mind to create informed works of art that engage larger critical, formal, or cultural dialogues and relate basic visual language to analytic and creative processes of the artist. Usually offered every term. この初歩のスタジオ科目では、絵画、図面、彫刻および設計を視覚リテラシーと結び付けて学生に紹介する。本科目では、より大規模な批評的、形式的あるいは文化的対話に関わる情報に基づく芸術作品を創造し、基本的な視覚言語を芸術家の分析的・創造的プロセスに結びつける手と目と精神の相互関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	BIO-100 Great Experiments in Biology	The core of biology is the scientific experiment. This course, through lecture and laboratory, focuses on some classic experiments that introduce students to the modern study of biology and scientific method. Experiments include the molecular basis of mutation, separation of complex biologically important molecules, and the construction of demographic tables. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生物学の核心は科学実験である。本コースでは講義と実験を通していくつかの古典的実験に注目し、生物学と科学的手法の現代的研究を学生に紹介する。実験には突然変異の分子学的基礎、生物学的に重要な高分子の分離、また個体群統計学的な表の作成が含まれる。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	CHEM-100 The Molecular World	A general introduction to chemistry leading to biochemistry and the chemistry of life. Study of the composition of materials, their structures and properties, related energy conversions, and the use of molecular genetic information. Questions of scientific inquiry and the scientific method in cultural and historical contexts are considered. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生化学および生命の科学に導く化学の概略を紹介する。物質組成、その構造および特性、関連するエネルギー変換、また分子遺伝学的情報の使用について学ぶ。文化的・歴史的背景における科学研究と科学的研究法の問題について検討する。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	

基礎科目	アメリカン大学	COMM-105 Visual Literacy	(PC, FM) (MS) Introduces students to ways of understanding visual images in art, design, photography, film, and digital media. Students create an online website that showcases their work over the semester, including creative and written assignments and a final client project. Includes a Community-Based Learning component wherein students collaborate directly with a non-profit organization in Washington, DC. Usually offered every term. (PC、FM) (MS) 芸術作品、デザイン、写真、映画、デジタルメディア中の視覚イメージを理解する方法を学生に紹介する。学生は創作および筆記課題、また期末クライアントプロジェクトといった自身の作品を、学期を通して公開するオンラインウェブサイトを作成する。学生がワシントン市の非営利団体と直接協働するコミュニティベースの学習コンポーネントが含まれる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	ENVS-150 The Sustainable Earth	This course examines the issue of sustainability; what it means, how it is measured, and how it can be used to address environmental challenges. In doing so, the course builds on the most current scientific understanding of how the natural world works. 本科目は、持続可能性について、特にその意味、どのように測定するか、そしてそれが環境問題に対処するためにどのように利用できるかについて検証する。その過程で、本科目では、自然界がどのように機能するかに関して知りえた最新の科学的知見を根拠とする。	
	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	HPRM-205 Introduction to Nutrition	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. 本科目では、必須栄養素およびその体内での働き、さらに食生活と慢性疾患の関係についての、既知のおよび仮定された基本的情報について検討する。本科目ではアメリカ政府の栄養指針、栄養神話、食品表示、消化機能および体重管理についても検討し、学生がその栄養所要量や食品の選択について十分な情報に基づいて判断を下すことを可能にする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	JLC-110 Western Legal Tradition	From the biblical era to the American experiment, the Western legal tradition encompasses primitive, divine, natural, canon, secular, and common law. This course examines the key legal documents and issues of the tradition including the Code of Hammurabi, the Ten Commandments, the trials of Socrates and Jesus, the Magna Carta, the Rule of Law, and Common law. Usually offered every term. 聖書の時代からアメリカの実験まで、西洋の法的伝統は原始法、神聖法、自然法、教会法、世俗法および慣習法を包含している。本科目では、重要な法的文書、またハムラビ法典、十戒、ソクラテスおよびイエスの裁判、マグナカルタ、法の原則、慣習法といった伝統の問題について検証する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World	This course enriches students' knowledge and appreciation of Western civilization by familiarizing them with some of the most important literary texts in Western literature from Homer through the nineteenth century. In addition to studying these works for their literary artistry, the course addresses the cultural context of these works, the ethical issues they address and the pivotal roles they have played in Western society, and what it means to call a work ″a classic.″ Usually offered every term. 本科目では、ホメロスから19世紀までの西洋文学において最も重要な文学テキストの一部を学生に親しませることにより、学生の西洋文明に関する知識および理解を強化する。その文学的芸術性のためにこうした作品を研究するだけでなく、本科目ではこうした作品の文化的背景、これらが取り上げる倫理的問題、また西洋社会においてこれらが果たした重要な役割、そしてある作品を「古典」と呼ぶことの意味について検討する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. 本科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	MATH-150 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. For students who need extra work on mathematical skills. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学能力について特別の努力を要する学生を対象とする。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-151 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-154 Great Ideas in Mathematics	This course explores a sample of beautiful branches of modern mathematics, concentrating on conceptual underpinnings rather than technical aspects. Includes study of infinity, number theory, fractals, and modern geometry, among other mathematical ideas. The course focuses on verbal and written communication skills and problem solving. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 本科目では、技術的側面よりも概念の基礎に焦点を合わせる現代数学の素晴らしい分野の実例を探究する。数ある数学的概念の中でも無限、整数論、フラクタルおよび近世幾何学の研究を対象とする。本科目では口頭および書面によるコミュニケーションのスキルと問題解決に焦点を当てる。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-155 Elementary Mathematic Models	Study of mathematical subjects including linear, quadratic, polynomial, rational, exponential, and logarithmic functions, in the context of difference equations models. Emphasizes concepts and applications using numerical, graphical, and theoretical methods. Also includes an introduction to the mathematical subject of chaos. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 差分方程式モデルとの関連で、一次、二次、多項式、有理、指数および対数関数といった数学的主題について研究する。数値法、図式法および理論手法を使用した概念および応用に重点を置く。カオスという数学的主題の紹介も含まれる。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-160 Applied Precalculus	Fundamentals of algebraic, exponential, and logarithmic functions with emphasis on applications to problems in business and economics and the natural sciences. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-211 Applied Calculus I. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、ビジネス、経済、自然科学の問題への応用を重視した代数関数、指数関数、対数関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：主にMATH-221 Applied Calculus Iを履修する予定の学生を対象としている。数学専攻の学生には単位は与えられない。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-170 Precalculus Mathematics	Fundamentals of algebraic, logarithmic, exponential, and trigonometric functions. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-221 Calculus I. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、代数関数、対数関数、指数関数、および三角関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：登録資格は、数学に関するプレスメント試験のスコアの適切性によって判断される。主にMATH-221 Calculus Iを履修する予定の学生を対象としておいる。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-211 Applied Calculus I	Functions, differentiation, and integration. Applications to several areas, especially business. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-160 or MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Credit toward a major in the Department of Mathematics and Statistics requires departmental approval. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-211 and MATH-221. 関数、微分、積分を扱う。さまざまな分野、特にビジネスへの応用を考える。通常は毎学期に開講する。MATH-160またはMATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。数学および統計学専攻の学生の単位は、学部の承認が必要。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-221 Calculus I	Real numbers; coordinate systems; functions; limits and continuity; differentiation and applications; trigonometric functions; indefinite and definite integration and applications; fundamental theorem of integral calculus. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-221 and MATH-211. この科目では、実数、座標系、関数、極限と連続、微分と応用、三角関数、不定積分と定積分とその応用、微積分学の基本定理を取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	
	アメリカン大学	MATH-222 Calculus II	Techniques of integration, calculus of exponential and logarithmic functions, infinite series, power series representations, and analytic geometry. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-211 or MATH-221. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. この科目では、積分のテクニック、指数関数や対数関数の計算法、無限級数、べき級数の提示、解析幾何学について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-211またはMATH-221の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。	
	アメリカン大学	MATH-310 Linear Algebra	Vector spaces, systems of linear equations, solutions by matrices, determinants, linear transformations, and algebraic forms. Usually offered every spring and summer. Prerequisite: MATH-222 (may be taken concurrently). この科目では、ベクトル空間、連立線形方程式、行列解、判別式、線形変換、代数形式について取り扱う。通常は毎春学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする（並行して受講可能）。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-313 Calculus III	Vectors, functions of several variables, partial differentiation, and multiple integrals. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では、ベクトル、多変数関数、偏微分、多重積分について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-321 Differential Equations	First order equations, linear equations of higher order, solutions in series, Laplace transforms, numerical methods, and applications to mechanics, electrical circuits, and biology. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-310 and MATH-313, both of which may be taken concurrently. この科目では、一次方程式、高次線形方程式、級数解、ラプラス変換、数値法、力学・電気回線・生物学への応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-310およびMATH-313の履修を条件とし、いずれも並行して受講可能。	
	アメリカン大学	MATH-401 Probability	Algebra of sets; probability in discrete sample spaces; combinatorial analysis; random variables; binomial, Poisson, normal, and other distributions; and applications. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-313 (may be taken concurrently). この科目では、集合代数、離散的サンプル空間の確率、組み合わせ解析、乱数、2項分布、ポアソン分布、正規分布、その他の分布、それらの応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-313の履修を条件とする(並行受講も可能)。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-403 Foundations of Mathematics	An introduction to the proof-based methodology of advanced mathematics courses, with emphasis on the fundamentals of logic and set theory (truth-tables and quantifiers, Boolean operations, functions, relations, and cardinality); elementary number theory (mathematical induction and modular arithmetic), and structural properties of the fields of real and complex numbers. Meets with MATH-603. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では高等数学の証明に基づく方法の基礎を学ぶ。特に、論理と集合論（真偽表と限定作用素、ブール演算、関数、関係、濃度）、初等整数論（数学的帰納法とモジュラー演算）、実体数と複素数体の構造特性に注目する。MATH-603に同じ。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables	Vector-functions of several variables, limits and continuity, differentials and tangent plane, implicit and inverse functions, line and surface integrals, gradient, divergent, curl, Stoke's and Green's theorems. Meets with MATH-604. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-310, MATH-313, and MATH-403. この科目では、多変数のベクトル関数、極限と連続、微分と接平面、陰関数と逆関数、線積分と面積分、勾配、発散、回転、ストークスの定理、グリーンの定理を取り扱う。関連講座はMATH-604。通常は隔年の春学期に開講する（奇数年）。MATH-310、MATH-313、MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-405 Mathematical Logic	Vector-functions of several variables, limits and continuity, differentials and tangent plane, implicit and inverse functions, line and surface integrals, gradient, divergent, curl, Stoke's and Green's theorems. Meets with MATH-604. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-310, MATH-313, and MATH-403. この科目では、多変数のベクトル関数、極限と連続、微分と接平面、陰関数と逆関数、線積分と面積分、勾配、発散、回転、ストークスの定理、グリーンの定理を取り扱う。関連講座はMATH-604。通常は隔年の春学期に開講する（奇数年）。MATH-310、MATH-313、MATH-403の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-410 Geometry	Euclidean and non-Euclidean (spherical, elliptic and hyperbolic) geometries from axiomatic and analytic points of view. Includes isometrics, transformation groups, symmetry groups, quadratic forms, projective geometry, as well as some historical background. Meets with MATH-610. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: MATH-310. ユークリッド幾何学と非ユークリッド幾何学(球面、楕円、双曲線)を公理的および解析的観点から検討する。等角図、変換群、対称性群、二次形式、射影幾何のほか、歴史的背景についても触れる。MATH-610に同じ。通常は隔年の秋学期に開講する(偶数年)。MATH-310の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-412 Introduction to Modern Algebra	An introduction to the study of abstract algebraic structures. Includes groups, subgroup, quotient groups, homomorphisms, rings, ideals, fields, and group actions and Sylow theory. Meets with MATH-612. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. この科目では、抽象代数構造の研究について初歩を学ぶ。群、下位群、商群、準同型、環、イデヤル、体、群作用、シローの定理についても検討する。関連講座はMATH-612。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-413 Rings and Fields	An advanced study of rings and fields with a focus on polynomials and their roots. Includes ring theory, factorization, polynomials, field theory, ruler and compass constructions, Galois theory, and solvability of polynomials. Meets with MATH-613. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-412. 環や体について高度な内容を学ぶ。特に多項式やその根に焦点を当てる。また環論、因数分解、多項式、体の理論、定規とコンパスによる作図、ガロアの理論、多項式の可解性についても扱う。関連講座はMATH-613。通常は隔年の春学期(奇数年)に開講する。MATH-412の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-415 Number Theory	Divisibility, fundamental theorem of arithmetic, congruences, arithmetic functions, Diophantine equations, quadratic residues, sums of squares, and partitions. Meets with MATH-615. Usually offered alternate falls. Prerequisite: MATH-403. この科目では、被整除性、算術の基本定理、合同、算術関数、ディオファントス方程式、平方剰余、平方和、分割を扱う。関連講座はMATH-615。通常は隔年の秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-420 Introduction to Analysis	This course develops the foundations of mathematical analysis by focusing on the real numbers as a complete ordered field, infinite sequences and series, limits and continuity, and key theorems of the differential and integral calculus. Meets with MATH-620. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. 本科目は、完備な順序体としての実数、無限数列および無限級数、極限と連続、微積分学の基本定理等に焦点を当てることにより、数理解析の基礎的理解を深める。関連講座はMATH-620。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-421 Measure Theory and Integration	This course presents the fundamental concepts and techniques of measure theory. It includes Borel sets, measures, measurable sets and functions, integrals as measures, Lp spaces, modes of convergence, and decomposition and generation of measures (including product measure). Meets with MATH-621. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-403 and MATH-420. 本科目では、測度論の基本的な概念と技法を扱う。またボレル集合、可測集合、可測関数、約数としての整数、Lp空間、収束モード、測度の分解および生成（積測度を含む）も対象とする。関連講座はMATH-621。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-403およびMATH-420の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-440 Topology	Topological spaces, continuity, compactness, connectedness, and metric spaces. Meets with MATH-640. Usually offered alternate falls (odd years). Prerequisite: MATH-403. この科目では位相空間、連続性、コンパクト性、連結、距離空間。関連講座はMATH-640。通常は隔年の秋学期（奇数年）に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-450 Complex Analysis	Complex functions, Cauchy's theorem and integral formulae, Taylor and Laurent series, residue calculus and contour integration, and conformal mapping. Meets with MATH-650. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-313 and MATH-403. この科目では、複合関数、コーシーの定理、積分公式、テイラー級数、ローラン級数、留数解析、閉曲線積分、等角写像を取り扱う。関連講座はMATH-650。通常は毎春学期に開講する。MATH-313とMATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-451 Partial Differential Equations	Fourier series, orthonormal systems, wave equation, vibrating strings and membranes, heat equation, Laplace's equation, harmonic and Green functions. Meets with MATH-651. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-321. この科目では、フーリエ級数、正規直交系、波動方程式、振動弦、振動膜、熱伝導方程式、ラプラスの方程式、調和関数、グリーン関数を取り扱う。関連講座はMATH-651。通常は隔年の春学期（奇数年）に開講する。MATH-321の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-460 Tools of Scientific Computing	Designed to teach scientific rigor in the use of computers and/or computational tools. Techniques from mathematics are introduced which lead to efficient algorithm design, algorithm analysis, data classification, data manipulation, and scientific computation. Includes data types, induction, recursion, sorting, searching, summation, optimization, asymptotic analysis, basic number theory, discrete probability, and parallel computing. Meets with CSC-460. Usually offered every fall. Prerequisite: CSC-280, MATH-221, and MATH-222. この科目では、コンピュータや計算道具を使用する際の科学技術上の厳密さについて教授する。効率的なアルゴリズム設計、アルゴリズム解析、データ分類、データ操作、科学技術計算に寄与する数学的分野の技法を紹介する。またデータ型、数学的帰納法、再帰、ソーティング、検索、総和、最適化、漸近解析、基礎数論、離散分布、並列演算等についても扱う。関連講座はCSC-460。通常は毎秋学期に開講する。CSC-280、MATH-221、MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-465 Numerical Analysis: Basic Problems	Computer arithmetic and error analysis in computation, matrix decomposition methods in solving systems of linear equations and linear least squares problems, polynomial approximation and polynomial data fitting, iterative algorithms for solving nonlinear equations, and numerical differentiation and integration. Meets with MATH-665. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: CSC-280, MATH-222, and MATH-310. この科目では、コンピュータ演算、演算におけるエラー解析、線形方程式や線形最小二乗問題の解決システムにおける行列分解方法、多項式近似と多項式データ・フィティング、非線形方程式解決のための反復アルゴリズム、数値微積分を取り扱う。関連講座はMATH-665。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。CSC-280、MATH-222、MATH-310の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-470 History of Mathematics	This course surveys aspects of historical development of mathematics from ancient to modern times and examines the ideological, social, and cultural forces which shaped this development. By providing historical continuity, the course interrelates and unifies the major subject areas such as algebra, calculus and analysis, geometry, number theory, probability, set theory, and the foundation of mathematics. Meets with MATH-670. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-222 本科目は、古代から現代にいたる数学の歴史的発展の諸側面について概観し、そのような発展を形作ってきた理念、社会、文化的側面について検証する。歴史的な流れの中で、代数、微積分および解析、幾何学、数論、確率論、集合論、数学の根拠といった主要分野の相互関係を考察し統合する。関連講座はMATH-670。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-480 Advanced Topics in Mathematics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Intensive courses in a specialized area of mathematics. Meets with MATH-680. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。数学の特殊な分野を対象とした集中講座。MATH-680に同じ。	
	アメリカン大学	MATH-565 Mathematical Applications of Interest and Derivatives	Mathematical study of finance, including theory of interest, arbitrage theorem, random walk models of prices, options, Black-Scholes formula and consequences. Meets with ECON-565. Usually offered alternate falls (even numbered). Grading: A-F only. Prerequisite: MATH-221, MATH-222, MATH-313, and STAT-202 or STAT-203. 金融を数学的に研究する。たとえば、利子論、裁定定理、価格のランダム・ウォーク・モデル、オプション、ブラック・ショールズ式と結果等を対象とする。関連講座はECON-565。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。A-F評定のみ。MATH-221、MATH-222、MATH-313と、STAT-202またはSTAT-203の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	PERF-110 Understanding Music	An introduction to musical language through listening and comprehension. The fundamentals of acoustics, melody, harmony, form, texture, and color in a wide range of music from ancient and global music to European concert music, jazz, blues, and popular music. Includes listening and concert attendance requirements. Usually offered every term. 鑑賞および理解を通して音楽言語を紹介する。古代の、また世界的な音楽からヨーロッパのコンサート音楽、ジャズ、ブルース、ポピュラー音楽まで、様々な音楽における音響、旋律、和音、様式、構成および音色の基礎。音楽鑑賞およびコンサートへの参加が求められる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances	Provides an overview of the principles of drama from the ancient Greeks to contemporary society. The class draws on theatre history and social context, the reading of great literature, critical analyses, and artistic exploration to culminate in the experience which is the essential element of the art itself – performance. Usually offered every term. 古代ギリシャから現代社会までの演劇の原理について概観する。本クラスでは演劇の歴史と社会的背景、偉大な文学作品の講読、批評的分析、また芸術そのものの必須要素である経験－演技において頂点に達する芸術的探求を扱う。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PHIL-105 Western Philosophy	A historical introduction to the Western philosophical tradition. Students closely examine classic and contemporary texts on the nature of reality, truth, morality, goodness, and justice; the possibility of knowledge; faith, reason, and the existence of God; and the issue of freedom and determinism. Usually offered every term. 西洋哲学の伝統について歴史的に紹介する。学生は現実、真理、道徳、善良性、正義の本質、知識の可能性、信仰、理性、神の存在、また自由と決定論の問題に関する古典および現代のテキストを綿密に検証する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	PSYC-115 Psychology as a Natural Science	Through lectures and discussion, students are introduced to the many experimental questions addressed in psychology, e.g., environmental and genetic factors in behavior, biological bases of behavior, sensations and perception, conditioning and learning, memory and cognition, and drug use and abuse, as well as to the specific methods used in psychological research and the general research approaches used in science. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−116. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. 講義と議論を通して、心理学で取り上げられる多くの実験上の疑問(たとえば行動における環境および遺伝要因、行動の生物学的基盤、感覚および知覚、条件づけおよび学習、記憶および認識、また薬物の使用と乱用)、さらに心理学的研究において使用される特定手法と科学に使用される一般研究法を学生に紹介する。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−116。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-116 Psychology as a Natural Science lab	Through laboratory experiments and simulations, students are exposed to the various techniques, procedures, and designs used in the study of behavior. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−115. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. (レクチャー、演習に加えて)室内実験の体験およびシミュレーションを通して、学生は行動研究に使用される様々な手法、手順、計画に触れる。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−115。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-200 Behavior Principles	The experimental analysis of behavior (EAOB) systematically relates a behavior's probability to its consequences (reinforcement and punishment). Principles derived from the EAOB are used to explain simple animal learning, stimulus control, behavioral sequences and patterning, verbal and other complex human behavior, and emotion. Issues raised by a behavioral approach to human conduct are discussed. Usually offered every term. 実験的行動分析(EAOB)は行動の確率とその結果(促進および罰)を系統的に関連づける。EAOBから得られた原理は、単純な動物の学習、刺激制御、行動連鎖およびパターンづけ、言語およびその他の複雑な人間行動と感情を説明するのに使用されている。人間の行動に対して行動科学的研究により提起される問題について論じる。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts	Examines theories of the nature, purpose, and meaning of artistic activities and objects through the religious, cultural, and philosophical contexts in which they arose. Both Western and non-Western expressions and viewpoints are considered. Student projects explore the relationship between particular works familiar to them and their role in religious expression. Usually offered every term. 自然の理論、芸術活動とこれが発生した宗教的、文化的、哲学的文脈を通した対象物の目的および意義を検証する。西洋的・非西洋的表現と視点の両方について検討する。学生プロジェクトでは、馴染み深い特定の作品と宗教的表現におけるその役割の関係について探究する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	STAT-202 Basic Statistics	Data presentation, display, and summary, averages, dispersion, simple linear regression, and correlation, probability, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Use of statistical software both to analyze real data and to demonstrate and explore concepts. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-15x or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、平均、ばらつき、単回帰および相関、確率、標本分布、信頼区間および有意性検定。実データの分析、また概念の実証および探究の両方のために統計ソフトウェアを使用する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-15x以上の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-203 Basic Statistics with Calculus	A calculus-based introduction to basic statistics including data presentation, display and summary, correlation, development of least squares regression models, probability, independence, probability density functions, moments, use of moment generating functions, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Concepts are explored through simulation and the use of the calculus tools of finding maxima and minima of a function and the area under a curve. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-221 or one semester of calculus. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、相関、最小二乗回帰モデルの開発、確率、独立性、確率密度関数、積率、積率母関数の使用、標本分布、信頼区間および有意性検定といった、微積分法に基づく基礎統計学の紹介。シミュレーションと関数の極大値および極小値、また曲線下の領域を検出する微積分ツールの使用により概念を探究する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-221または微積分法の1学期の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-204 Introduction to Business Statistics	Statistical concepts and methods used in business decision making. Topics include probability rules, discrete and continuous distributions, descriptive and graphical statistics, estimation, confidence intervals, hypothesis testing, analysis of variance, regression, and applications of MS Excel data analysis tools to economic and business data. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: MATH–150, MATH–151, MATH–154, or MATH–155. Note: students may receive credit for only one of STAT–202, STAT–203, or STAT–204. ビジネス上の意思決定に使用される統計概念および手法。トピックには確率規則、離散および連続分布、記述および図解統計学、概算、信頼区間、仮説検定、分散、回帰分析、また経済およびビジネスデータへのMicrosoft Excelデータ分析ツールの適用が含まれる。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 MATH–150、MATH–151、MATH–154またはMATH–155履修を条件とする。注意：学生はSTAT–202、STAT–203またはSTAT–204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-302 Intermediate Statistics	Methods include techniques for estimation and inference with qualitative and quantitative data focusing on simple linear and multiple regression, correlation, logistic regression, and analysis of variance. Usually offered every term. Prerequisite: STAT–202 or STAT–203 with a grade of C or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT–302, STAT–320, or STAT–514. この科目では、単回帰および重回帰、相関、ロジスティック回帰、および分散分析に焦点を絞った定性的および定量的データによる推計統計学の技法を学ぶ。通常、毎学期提供される。 この科目を履修するには、Cまたはそれ以上のグレードでSTAT –202またはSTAT – 203を履修していることが条件となる。注：学生は、STAT – 302、STAT–320、またはSTAT–514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	
	アメリカン大学	STAT-320 Biostatistics	This course examines how statistical methods are utilized within the fields of biology, medicine, and public health. Advanced statistical methods, including ANOVA, multiple regression, analysis of covariance, survival analysis, and nonparametric methods are discussed, with emphasis on their applicability to public health. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT–202 or STAT–203. Note: students may receive credit for only one of STAT–302, STAT–320, or STAT–514. この科目では、生物学、医学、公衆衛生の分野で統計的手法をどのように活用するかを検討する。公衆衛生への適用性に重点を置いて、分散分析、重回帰分析、共分散分析、生存分析、ノンパラメトリック法などの高度な統計的方法が議論される。通常、毎春セメスターに開講される。 登録前提条件：STAT–202またはSTAT–203を履修していること。注：学生は、STAT–302、STAT–320、またはSTAT–514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-370 Introduction to Statistical Computing and Modeling	The basics of programming using the open source statistical program R. Data analysis, both numerical and qualitative, including graphical and formal inference. Applications include numerical methods, text mining, modeling, and simulation. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-221 and STAT-202 or STAT-203. この科目では、オープンソース統計プログラムであるRを使用したプログラミングの基礎を学ぶ。描画による推論および形式的推論を含む、量的および質的データの分析を行う。手法には、数値メソッド、テキストマイニング、モデリング、シミュレーションなどが含まれる。通常、毎春学期に提供される。 前提条件：MATH-221およびSTAT-202またはSTAT-203を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-402 Introduction to Mathematical Statistics	Probability, probability distributions, sampling, sampling distributions, and introduction to the theory of point estimation and statistical inference, including confidence intervals and hypothesis testing. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-401. この科目では、確率、確率分布、サンプリング、標本分布、信頼区間と仮説検定を含む点推定理論と統計的推論の導入的指導を行う。通常、毎春セメスターに開講される。 前提条件：MATH-401を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-405 Introduction to Survey Sampling	This course introduces the basic approaches to surveys, including simple random, systematic, and stratified sampling. Also included is the design of questionnaires and the analysis of sample data. Emphasis is on the practical application of sampling. Meets with STAT-605. Usually offered alternate falls. Prerequisite: STAT-202, STAT-203, or STAT-514. この科目では、単純無作為抽出法、系統抽出法、層化抽出法を含む調査の基本的なアプローチを紹介する。アンケートのデザインとサンプルデータの分析も含まれ、サンプリングの実用化に重点を置いている。 STAT-605に同じ。通常、隔年秋学期に開講する。 前提条件：STAT-202、STAT-203、またはSTAT-514を履修していること。	隔年
	アメリカン大学	STAT-415 Regression	Simple and multiple regression, least squares, curve fitting, graphic techniques, and tests and confidence intervals for regression coefficients. Meets with STAT-615. Usually offered every fall and summer. Prerequisite: STAT-302, STAT-320, or STAT-514. この科目では、単回帰および多重回帰、最小二乗法、曲線あてはめ、グラフィック技術、および回帰係数の検定および信頼区間について学ぶ。 STAT-615に対応する。通常、毎秋学期と夏季集中期間に提供される。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-422 Advanced Biostatistics	Introduction to methodologies used to understand complex problems in four major areas of biomedical science: clinical trials, epidemiology, survival analysis, and bioinformatics. Phases of clinical trials, dynamics of epidemiology and disease, estimation of survival, hazard and mortality functions, and analysis of gene expression data are covered. Usually offered every fall. Meets with STAT-622. Grading: A-F only. Prerequisite: STAT-302, or STAT-320, or STAT-514. この科目では、生物医学の4つの主要分野である臨床試験、疫学、生存分析、バイオインフォマティクス（生命情報学）における複雑な問題を理解するために使用される方法論を紹介する。臨床試験の諸段階、疫学と疾病の動態、生存の推定、ハザードと死亡率の関数、および遺伝子発現データ解析が含まれる。 STAT-622に対応する。通常、毎秋学期に提供される。評価はA-Fのみである。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-424 Data Analysis	An introduction to exploratory data analysis including graphical summaries, model assessment and selection, model inference and averaging, and data mining elements. Explores supervised statistical learning for regression and classification, unsupervised machine learning algorithms, and related topics. Meets with STAT-624. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT-415. この科目では、グラフィカルサマリー、モデル評価と選択、モデル推論と平均化、データマイニング要素などの探索的データ分析の紹介を行う。回帰と分類に関する教師付き（supervised）統計学習と、教師無し機械学習（unsupervised machine learning）アルゴリズムを探索する。 STAT-624に対応する。通常、毎春に開講される。登録前提条件：STAT-415。	
	アメリカン大学	STAT-425 Statistical Software	Introduction to the use of the SAS language to prepare, modify, and analyze data, interpret output and final preparation of results. Emphasis on practical programming principles and use of built-in procedures. Comparisons with other programming languages. Meets with STAT-625. Usually offered every fall. Prerequisite: STAT-514 or two statistics courses. この科目は、SAS言語を使用するためのデータの準備、修正、分析、出力の解釈と結論の最終的な準備について紹介する。実用的なプログラミング原則と組み込みプロシージャの使用を重視し、他のプログラミング言語との比較を行う。STAT-625に対応する。通常、毎秋に開講される。 前提条件：STAT-514または2つの統計科目を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	WGSS-150 Women's Voices Through Time	This course focuses on distinctive contributions of women to Western artistic and intellectual traditions; significant articulations of human experience expressed by women through literature, art, and history; how such traditions became established; and how women, despite obstacles, have produced lasting works of ideas and imagination. Usually offered every spring. 本科目では、西洋の芸術的・知的伝統への女性の際立った貢献、文学、美術および歴史を通して女性により表現される人間の経験の意義深い明確な表現、こうした伝統がどのように確立されたのか、そして女性がどのようにして障害を排して不朽の思想および想像の作品を生み出したのかに注目する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	WRTG-100 College Writing	Develops students' skills in reading with understanding, summarizing and synthesizing information accurately, and writing correct, reasoned prose. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. 情報を正確に理解、要約、総合する学生の読解力、また正確で筋の通った散文を書く作文力を向上させる。通常は、毎学期に開講する。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-101 College Writing Seminar	Continues the work begun in WRTG-100, stressing the student's abilities to construct extended arguments, to synthesize diverse materials, and to pursue library research. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-100. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-100で開始した課題を継続して学ぶ。広範な議論を構築し、多様な資料を総合し、図書館で調査を行う学生の能力に重きを置く。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-100履修を条件とする。注意:WRTG-100およびWRTG-101をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-102 College Writing	WRTG-102 is a specially designed version of WRTG-100. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-102はWRTG-100の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。注意:WRTG-102およびWRTG-103をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	

基礎科目		アメリカン大学	WRTG-103 College Writing Seminar	WRTG-103 is a specially designed version of WRTG-101. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-102. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-103はWRTG-101の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-102履修を条件とする。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
		アメリカン大学	WRTG-106 College Writing, Intensive	Develops students' academic writing and research skills. Builds students' abilities to construct extended arguments and synthesize diverse materials. Emphasizes information literacy, including evaluating source material and making strategies and appropriate use of different sources. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-106 with a grade of C or better and an Advanced Placement English Language and Composition score of 4 or 5, or a Higher Level International Baccalaureate Examination score of 5 or higher fulfills the university College Writing Requirement. この科目は、生徒のアカデミックライティングとリサーチスキルを向上させる。展開的な議論を構築し、多様な資料を統合する能力を育成する。情報源の評価、戦略の作成、さまざまな情報源の適切な使用など、情報リテラシーに特化して教授する。通常、すべての学期で開講される。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
基幹科目	基礎経済学	アメリカン大学	ECON-100 Macroeconomics FA4	Introduction to the basic principles of aggregate economic analysis. Includes measurement and determinants of national income, unemployment, inflation, economic growth, and business cycles. Topics also include historical perspectives, alternative approaches to economics, and current issues and controversies. Usually offered every term. 経済の総体的な分析のための基本原理を紹介する。国民所得、失業、インフレーション、経済成長、景気循環等の測定や決定因子等を対象とする。また歴史的側面、経済学に対する代替アプローチ、時事的な問題や論争といったトピックも扱う。通常は、毎学期に開講する。	

基幹科目	基礎経済学	アメリカン大学	ECON-200 Microeconomics FA4	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 市場や様々な経済主体の行動に対する分析について紹介する。内容として、需要と供給、消費者や企業の行動、競争市場対独占または寡占、所得分布、差別、国際貿易等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	
	国際政治	アメリカン大学	SISU-105 World Politics FA3	Patterns of conflict and cooperation in a rapidly-changing world. The primary focus is on concepts and theories which provide a framework for analyzing and understanding contemporary issues. The course examines the behavior of states and other international actors, seeks to explain foreign policies, and identifies the main characteristics of interaction among states. Usually offered every term. Grading:A-F only. 急速に変化する世界における紛争と協力のパターンを明らかにする。現代的課題を分析し理解するための枠組みとなるコンセプトや理論を中心に扱う。本科目では、世界各国や国際的組織の行動を検証し、外交政策について説明し、諸国間の関係における主な特性を明らかにする。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	
	コーホート		SISU-140 Cross-Cultural Communication FA3	Examines the impact of culture on communication, perception, thought patterns, values, and beliefs in order to better understand the behavior of individuals within different societies. Specific concerns include the dynamics of verbal and nonverbal communication; the relationship between dominant cultures and subcultures; ethnic, racial, class and other forms of diversity within countries and organizations; third-culture and multicultural persons; and the dynamics of cross-cultural adjustment. Usually offered every term. Grading: A-F only. 様々な社会の中の個人の行動について理解を深めるために、コミュニケーション、感性、思考パターン、価値観、信念に対する文化の影響について考察する。特に、言語／非言語コミュニケーションのダイナミクス、メジャーカルチャーとサブカルチャーとの関係、国内や組織内における民族、人種、階級その他の多様性、第三カルチャーおよび多カルチャー人格、異文化間調整のダイナミクス等を検討する。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	

基幹科目	経済学	アメリカン大学	SISU-300 Introduction to International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Grading: A–F only. Prerequisite: ECON–100 and ECON–200. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場や変動為替相場等も対象とする。A–F評定のみ。 ECON–100およびECON–200履修を条件とする。	
		アメリカン大学	ECON-370 International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Usually offered every term. Prerequisite: ECON–100 and ECON–200. Note: Intended for majors in other teaching units and BA in Economics: general track. No credit toward BA in Economics: international track, BS in Economics, or BS in Mathematics and Economics. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場、変動為替相場も対象とする。通常は、毎学期に開講する。 ECON–100およびECON–200履修を条件とする。 注意：他の科目専攻学生と経済学BA（一般科目）を対象とする。経済学BA（国際科目）、経済学BS、数学および経済学BSには単位認定は行わない。	
		アメリカン大学	ECON-371 International Economics: Trade	Theories of international trade and its impact on national economies, including overall welfare gains and redistributive effects; analysis of the effects of tariffs, quotas, and other trade policies. Topics include capital and labor mobility, trade and development linkages, and preferential or regional trade agreements. Usually offered every spring. Prerequisite: ECON–300 or ECON–400. 国際貿易の理論と、その国民経済に対する影響（全体的な福利の向上と再分配効果および関税、割当、その他貿易政策の影響解析を含む）。また、資本移動や労働移動、貿易と開発との関係、特恵貿易協定や地域貿易協定といったトピックも対象とする。通常は、春学期に開講する。 ECON–300またはECON–400履修を条件とする。	

基幹科目	経済学	アメリカン大学	ECON-372 International Economics: Finance	Determination of income, employment, and inflation in open economies; international impact of monetary-fiscal policies under fixed and flexible exchange rates; theories of exchange-rate determination; and international monetary organization and reform. Usually offered every fall. Prerequisite: ECON-301 or ECON-401. Recommendation: STAT-202 or STAT-203. 開放経済における所得、雇用、インフレーションの決定について明らかにする。固定為替相場や変動為替相場における金融・財政政策の国際的影響。為替レート決定理論、国際金融機関と改革。通常は、秋学期に開講する。 ECON-301またはECON-401履修を条件とする。 STAT-202またはSTAT-203を履修していることが望ましい。	
リサーチメソッド科目		アメリカン大学	SISU-206 Introduction to International Relations Research	Introduction to scientific method, data gathering, research design, statistical analysis, and computer applications for international relations and comparative studies research. The course is designed for the beginning student and employs a hands-on approach. The course also develops the analytical skills students need as active consumers of research findings. Applications are geared to research projects to be encountered in subsequent SIS courses. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: International Studies (BA). 国際関係学や比較研究における科学的手法、データ収集、研究設計、統計解析、コンピュータの活用について紹介する。本科目は、初学者を対象とし、実践的な学習活動を行う。また、学生が研究結果を積極的に活用するために必要となる分析技能の開発も行う。今後のSISの授業で遭遇する研究プロジェクトに応用できる技能を対象とする。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 国際研究(BA)限定。	

リサーチメソッド科目	アメリカン大学	SISU-306 Advanced International Studies Research	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Application of research methods in international studies to an original research project. Rotating topics focus on a specific research methodology or a specific subject area. Methodologies covered include survey research methods, comparative case study analysis, game theory, discourse analysis, and ethnographic research methods. Areas include foreign policy, civil war and intervention, and nationalism. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際関係学の研究手法を、各自のプロジェクトに適用する。特定の研究手法や特定の対象分野に対して、内容で順次開講する。対象となる方法論として、調査研究手法、比較ケーススタディ分析、ゲーム理論、談話分析、民族誌的調査方法がある。分野としては、外交政策、内戦と介入、ナショナリズム等が対象となる。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU–206履修を条件とする。	
外国語科目	アメリカン大学	JAPN-114: Elementary Japanese I	Prepares students to function in everyday situations in the Japanese–speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every fall この科目は、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎秋学期に開講される。	
	アメリカン大学	JAPN-115: Elementary Japanese II	Continuation of JAPN–114. Prepares students to function in everyday situations in the Japanese–speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN–114. この科目はJAPN 114科目の継続版であり、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎春学期に開講される。 当該科目を履修する場合は、JAPN114を履修していることが求められる。	

外国語科目	アメリカン大学	JAPN-214: Intermediate Japanese I	Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-115. この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎秋に提供される。この科目を受講するに当たっては、JAPN-115を履修しておくことが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-215: Intermediate Japanese II	A continuation of JAPN-214. Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills.Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-214. この科目はJAPN 214科目の継続版である。この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN214を履修していることが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-314: Advanced Japanese I	Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-215. この科目は、本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎秋に提供される。 この科目を受講する場合、JAPN-215を履修しておくこと。	

外国語科目		アメリカン大学	JAPN-315: Advanced Japanese II	Continuation of JAPN−314. Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN−314. この科目はJAPN 314科目の継続版である。本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN314を履修していることが求められる。	
		アメリカン大学	JAPN-490: Independent Research in Japanese	This course is individually designed by the student and faculty member to explore an area of research in Japanese. この科目は、受講する学生と担当教員の間で、日本語/日本に関する分野の研究を行っていくために、それぞれの場合に応じて設計される。	
固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance	This course examines explanations for the major changes in political order and governance over time and across the globe. Topics include the rise and decline of empires and caliphates, the rise of and challenges to the nation−state and the state system, and the emergence of regional and global international organizations and institutions. Usually offered every term. Grading: A−F only. この科目では、政治秩序やガバナンスの大きな変化について、時代の経過と、グローバルな観点で説明する。トピックには、帝国およびカリフ制の勃興および没落、国家および国家体制への挑戦、ならびに地域および世界の国際的組織および機関の出現が含まれる。通常、すべての学期で開講される。グレーディング：A−Fのみ。	
	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture	Explores the complex and dynamic configuration of identity based on race, ethnicity, gender, nationalism, and religion as they relate to specific cultures, globalization, and social discourse. Usually offered every spring. Grading: A−F only. Prerequisite: SISU−105. Restriction: no more than 90 credit hours. 人種、民族性、ジェンダー、ナショナリズム、宗教にもとづいたアイデンティティの複雑かつ動的な様態と、それらの特定のカルチャー、グローバリゼーション、社会的言説との関係について探る。通常は毎春学期に開講する。A−F評定のみ。SISU−105の履修を条件とする。90単位数の履修を上限とする。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	This course explores the central concepts of peace and conflict resolution, important theories of causes of conflict and applications of conflict resolution in difficult global contexts. It compares definitions of peace, explores types of conflict, and analyzes conflict from multiple perspectives, which range from individual-level theories of aggression and human nature to inter-group theories of identity and mobilization. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: no more than 90 credit hours. 本科目では、平和と紛争解決の中心的コンセプト、紛争の原因に関する重要な理論、困難な国際的状況に対する紛争解決策の適用について探求する。また、様々な平和の定義を比較し、紛争をタイプ別に検討し、紛争を様々な角度（攻撃性や人間性の個人レベルの理論からアイデンティティや動員に関するグループ間理論を含む）から分析する。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 90単位数の履修を上限とする。	
	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-381 African Political Institutions	This course introduces students to the themes, debates, and basic techniques of comparative institutional analysis. It examines classic readings on presidentialism/parliamentarism, party systems, electoral systems, and constitutional design alongside new research that applies institutional models to Africa. The course culminates in an empirical investigation of the relationship between particular institutional combinations and outcomes such as better representation, less corruption, or improved macroeconomic performance. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目では、比較制度分析にかかわる様々なテーマ、議論、基本技法を学生に紹介する。大統領制／議会制、政党制度、選挙制度、立憲制の設計のほか、アフリカに制度モデルを適用するあらたな研究内容についても、古典的な文献にあたる。最終的には、特定の制度の組合せとその成果（代議制度の改善、腐敗の減少、あるいはマクロ経済的パフォーマンスの改善等）との関係について、実態調査を行う。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-383 Overview of the European Union	The European Union and its institutions, historical roots, the variety of its political scenery, the unity of its different cultures, and the strength of its economy–in brief, comprehending the European identity. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 欧州連合とその諸制度、歴史的由来、政治的側面の多様性、異文化の統合、経済的強みなど、ヨーロッパのアイデンティティを理解する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-385 Islam and Democracy	The purpose of democracy in Islam is primarily to serve the community–the collective good–rather than the individual, while democracy in Western liberalism underscores individualism. However, as in other religions, there are democratic precepts and practices in Islam which promote the rights of the individual. This course seeks answers to questions raised by Islam's relation to democracy, including what Islamic traditions, precepts, and practices are most promising for the support of democracy; the ramifications of an Islamic civil society; what roles women play; and the most important issues and forces behind contemporary Islamic activism for democracy. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. イスラムにおけるデモクラシーでは、個人ではなく、コミュニティ—集団的な善—に奉仕することを目的とし、西欧リベラリズムの民主主義では個人を重視する。だが他の宗教と同様に、イスラムにも、個人の権利を尊重するデモクラティックな教えや実践がある。本科目は、イスラムとデモクラシーとの関係において提起される疑問に答えようとするものであり、たとえば、どのようなイスラムの伝統、教え、実践がデモクラシーを支える上でもっとも有効であるか、そのイスラム市民社会への影響、女性の果たす役割、そしてデモクラシーに向けた現在のイスラム改革主義の背景となっている最重要事項とその勢力について検討する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-386 Contemporary Africa	Africa's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to Africa south of the Sahara. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU 206 and SISU–280. アフリカの現在の政治文化とその歴史的、経済的、地理的、社会的ルーツを明らかにする。特に、サハラ以南のアフリカに注目する。毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post-Gandhi period. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目は系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		アメリカン大学	GOVT-315 Elections and Voting Behavior	Focuses on public opinion, participation, and voting and campaign strategy in elections, with attention to issues of representation and democracy. Usually offered every term. Prerequisite: GOVT-110. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は選挙における世論、市民参加、投票や選挙戦略に焦点を当て、特に、代議制度と民主主義の諸問題に注目する。通常は毎期に開講する。GOVT-110の履修を条件とする。またGPA2.5取得を最低条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including international law, comparative governing institutions, and leading global organizations. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際法、比較統治機構、主な国際機関といったトピックをローテーションを組んで扱う。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-280の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-329 Global Economic Governance	A study of the entrepreneurial, corporate, and governmental forces and organizations that have shaped international commerce and cross-border finance. The course examines how private-sector and official institutions in particular have become more or less relevant in light of fast-paced globalization since the 1960s, the challenges these institutions currently face, and how these institutions interact with and react to developments in commodity and financial markets. Grading: A-F only. この科目は、国際商取引や国境を越えた資金調達を行っている起業家、企業、政府の力や組織の研究を行う。1960年代から急速に進んだグローバリゼーションのなかで、民間セクターと公的機関がどのように関連し、これらの機関が現在直面している課題、およびこれらの機関が商品やフィナンシャルマーケットの発展とどのように相互作用し反応するかを考慮する。グレーディング：A-Fのみ。	
		アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Explores the contemporary and historical development of Washington D.C. and the Chesapeake region; or invites students to interact with communities and the environment in the area. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ワシントンDCとチェサピーク地域の現在および歴史的発展について探求する。また学生が当該地域のコミュニティや環境と触れ合う機会を設ける。通常は毎期に開講する。	
		アメリカン大学	ANTH-210 Race and Racism FA3	Drawing from biological anthropology, this course traces the development of the race concept, beginning with the emergence of "pre-racial" categories. It then examines the biological and social construction of race, how race has been mutually constructed with sexism, heterosexism, classism, and other essentialist forms of oppression. Modes of resistance are examined simultaneously. Usually offered every term. この科目では、生物人類学を援用し、人種という概念の変遷をたどる。まず「プレ・レイシャル」カテゴリーの出現から始め、人種の生物学的および社会学的構造を検討し、人種が、性差別、同性愛差別、階級差別、その他本質主義的な抑圧形態とどのように関係してきたかを検証する。またさまざまな抵抗形態についても検証する。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目		アメリカン大学	HPRM-441 Health Communication	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. この科目では、必須栄養素とその体内における機能、食習慣と慢性病との既知の関係や仮説として示されている関係について検討する。また、米国政府発表の栄養指針、栄養に関する迷信、食品ラベル、消化、体重管理等についても対象とし、学生が自分に必要な栄養や食事について、適切な情報に基づいた判断ができるようにする。通常は毎期に開講する。	
	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Europe. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ヨーロッパにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Latin America. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in the Middle East. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。中東におけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-210またはSISU-260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-369 Topics in Public Diplomacy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on public diplomacy. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。パブリックディプロマシーに関するトピックで順次開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on the intersection of human rights, identity, and culture. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260 or SISU-270. この科目では人権、アイデンティティ、カルチャーの交差といったトピックをローテーションを組んで扱う。セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260またはSISU-270の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4	Race, class, gender, sexuality, ability, and age are key factors in systematic marginalization and inequality. This course examines how some people suffer from inequalities while others benefit from them. It explores how power, privilege, and inequality are maintained through a range of social institutions and daily social interactions. It also cultivates intellectual insight and personal agency. Usually offered every term. 人種、階級、ジェンダー、性差、能力、年齢は、システマチックな社会的疎外や不平等をもたらす大きな要因となっている。本科目では、不平等により被害をこうむる人がいる一方で、不平等の恩恵にあずかる人がいる実態について検証する。また権力、特権、不平等がさまざまな社会的機構や日常の社会的相互作用の中で温存されている実態についても検証する。本科目は、知的洞察力や各人の主体性を高めようとするものである。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SOCY-310 Language, Culture, Power	This course cultivates insight into the ways that language and representation can (re)produce, maintain, and subvert relations of power, social identities, and social hierarchies. Discussions and readings develop insights into the various ways in which gender, sexuality, race, ethnicity, class, and ability are constructed and contested through systems of language and representation. The course is hands-on and students draw from course readings to examine a range of data including popular film, advertisements, newspaper articles, and social interactions. Usually offered every spring. この科目は、言語と表象により、権力、社会的アイデンティティ、社会的階層の関係がいかに現出、維持、転換されるかについて、深く考察する。授業での議論や課題図書を通じて、言語や表象のシステムが、ジェンダー、性差、人種、民族、階層、能力をどのように構築し競合関係を生み出しているかについて洞察を深める。本科目は実体験を重視し、学生は、課題図書に基づき、人気映画、広告、新聞記事、人的交流といったさまざまなデータを検証する。通常は春学期に開講する。	
		アメリカン大学	SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives	A focus on what happens when divergent types of persons experience social contact. Racial, ethnic, tribal, national, and religious interactions throughout the world. The processes include conflict, amalgamation, acculturation, assimilation, prejudice, and discrimination. Usually offered every fall. Prerequisite: SOCY-100 or SOCY-110 or SOCY-150. この科目は、さまざまなタイプの人間が社会的接触を経験する場合に何が起こるかに注目する。世界各地における人種、民族、部族、国家、宗教の相互作用について考える。その検討プロセスには、紛争、融合、変容、同化、偏見、差別を含む。通常は毎秋学期に開講する。SOCY-100またはSOCY-110またはSOCY-150の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research	This course examines intersectionality as both an analytical tool and a conceptual framing that has developed into a broad web of theoretical and empirical work examining how race, class, and gender interact in meaningful and complex ways. The focus includes important methodological assumptions and complications of intersectionality, as well as contemporary challenges such as the discussions of positionalities ignored in initial framings of intersectionality, including age, disability, and sexuality. Usually offered alternate springs. Prerequisite: three courses in sociology. Recommendation: SOCY-210, SOCY-351, or SOCY-354. 本科目は、インターセクショナリティ(交差性)を、分析ツールとして、また考え方の枠組みとして検証する。この枠組みは人種、階層、ジェンダーが有意かつ複雑にどのように関係し合っているかを検証する、さまざまな理論や経験を取り込んだ研究に発展してきている。特に、インターセクショナリティにおける重要な方法論的仮説やその複雑化のほか、インターセクショナリティの初期構想時には考慮されなかった、年齢、障害、性差といったポジショナリティ(立場性)の議論といった、今日的な課題についても注目する。通常は隔年の春学期に開講する。社会学3科目の履修を条件とする。SOCY-210、SOCY-351、SOCY-354の受講が勧められる。	隔年

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A–F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including peace and social justice, international security, causes of war, and human and global security. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。平和と社会正義、国際安全保障、戦争の原因、ヒューマンセキュリティ、国際安全保障といったトピックを順次開講する。A-F評定のみ。 SISU–206およびSISU–210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia	This course compares economic development strategies of the East Asian developmental states (Japan, Taiwan, South Korea and Singapore) and the more recent export-led growth models of Malaysia, China, and Vietnam. All cases have in common strong government intervention in their economies and strong export promotion policies. The differences in global economic conditions have led scholars to assert that the developmental state model is no longer viable. This course investigates what created the economic miracles of China and Vietnam, and earlier Malaysia, and whether the basic principles of the developmental state model still apply; is state intervention obsolete, possible, or necessary in the twenty-first century global economy. The class then contrasts the East and Southeast Asian models with India, an emerging economy and one that in the past was seen as a failed developmental state, and concludes by trying to find lessons with wider applicability for developing countries. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. この科目では、東アジアの開発主導型国家・地域（日本、台湾、韓国、シンガポール）における経済開発戦略と、近年のマレーシア、中国、ベトナムにおける輸出主導型成長モデルを比較する。これらすべてに共通するのは経済に対する各国政府の強力な介入と強力な輸出促進政策だが、研究者の間では、グローバル経済条件の変化により、開発主導型国家モデルはもはや妥当しないとも評されている。本科目では、中国やベトナムおよび以前のマレーシアにおいて、奇跡的な経済発展の原因となったものは何か、開発主導型国家モデルの基本原理はまだ有効なのか、つまり、国家の介入は21世紀のグローバル経済環境においては時代遅れなのか、可能なのか、あるいは必要なのかについて検証する。さらに、東アジアや東南アジアのモデルを、新興経済の一つであり過去において開発主導型国家の失敗事例とされたインドと比較し、最終的に、発展途上国に広く適用できる教訓を学び取ろうとする。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-313 Transatlantic Security	This course examines the evolution of trans-Atlantic security policy and defense planning. It begins with a review of the formation of NATO and of trans-Atlantic defense policy and military force planning through the Cold War to the breakup of the Soviet Union. The course then focuses in some detail on the transformation that trans-Atlantic security relations have undergone, in particular the shift of NATO's focus from defense of European territory to expeditionary operations outside its boundaries and the European Union's assuming a strong role in defense planning. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. 本科目は、大西洋安全保障政策と防衛計画の推移について検証する。NATOの設立から検討を始め、大西洋防衛政策や軍事計画について冷戦からソ連崩壊までを概観する。さらに大西洋安全保障関係に生じた変遷について、特にNATOが欧州の地域防衛から周辺地域への派遣作戦に主力をシフトし、欧州連合が防衛計画に大きな役割を担うようになっていく変遷に注目する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-316 United States-Russian/Eurasian Security Relations	Addresses the relations between the United States and Russia, the Soviet Union and its successor states, focusing on the security aspects of those relations. The course primarily covers the evolution of security relations from the Bolshevik Revolution to the present. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. アメリカとロシア、ソ連とその後継諸国との関係について検討する。これらの関係における安全保障の側面に注目し、特に本科目では、ボルシェビキ革命から現在にいたる安全保障関係の推移を中心に扱う。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on global security and foreign policy. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-230. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。グローバル安全保障と外交といったトピックで順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210、またはSISU-230履修を条件とする。	

固有専門科目		アメリカン大学	SISU-319 Arab-Israeli Relations	A survey of Arab–Israeli relations from their origins to the present. Includes an account of Zionism and Palestinian nationalism, the history of the British mandate, the Arab–Israeli wars, the involvement of external powers, and the quest for peace. The emphasis is on conflict resolution. Usually offered every spring. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–220. アラブ・イスラエル関係について、その起源から現在にいたるまでを概観する。シオニズムとパレスチナナショナリズムについて説明し、イギリスの委任統治の歴史、アラブ・イスラエル戦争、諸外国の関与、和平への模索についても検討する。中心テーマは紛争解決。通常は、通常は、春学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–220履修を条件とする。	
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-359 Environment, Conflict, and Peace	The focus of the emerging interdisciplinary field of environmental peacemaking, with its focus on relationship–building between conflict actors, is to identify ways that the environment, natural and human, provides opportunities for building bridges of collaboration between conflicting parties. In this course, students deal with concepts from ecopolitics, environmental security studies, international relations, and conflict resolution to develop an understanding of the theoretical framework informing the emerging environmental peacemaking paradigm. The course examines the interactions among violence, conflict, peace, security, and the natural environment. It is structured to create the context for students to address questions including what impact violent conflict has on the environment; is environmental degradation itself a source or trigger of violent conflict; and how environmental cooperation can be used to promote peace and sustainable development. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–250. 環境の平和維持活動という新しい学際的分野では、紛争当事者間の関係構築を中心として、環境（自然環境と人工的環境）により、紛争関係者間の協力体制の構築に向けた機会がどのように実現されるかを明らかにする。本コースで、学生は、環境政治学、環境安全保障研究、国際関係、紛争解決等に由来する概念に取組み、新しい環境平和維持パラダイムに情報を提供する、理論的枠組みについて理解を深める。また暴力、紛争、平和、安全保障、自然環境等の相互作用についても検証する。本コースでは、暴力的な紛争は環境にどのような影響を及ぼすのか、環境悪化そのものが暴力的紛争の原因あるいは引き金になっているのか、そして環境に係る相互協力は、平和と持続可能な発展の促進にどのように役立てることができるのかといった疑問に答えるための枠組みを、学生自ら構築できるように構成されている。A–F評定のみ。SISU–206およびSISU–210またはSISU–250の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–210またはSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
		アメリカン大学	IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post–conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on–the–ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post–conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with IBUS–671 and MGMT–471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。対応講座はIBUS–671およびMGMT–471/671。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post-conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on-the-ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post-conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with MGMT-671 and IBUS-471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。 MGMT-671 and IBUS-471/671と対応する。	
		アメリカン大学	RELG-475 Religion and Violence	This course explores the religious dimensions, both ideological and cultural, of political and military conflict. Themes include sacred geography and literature as grounds for bloodshed; the sanctity of race; martyrdom/terrorism; and pacifism. Empirical data is drawn from Germany, Lithuania, the Middle East, and the Balkans. Meets with RELG-675. Usually offered every spring. 本科目は、政治的・軍事的対立における宗教的側面（イデオロギーおよびカルチャーの両面から）について探求する。テーマとしては、流血の原因となる神聖地理学や神聖文学、人種の神聖化、殉教／テロリズム、平和主義等が含まれる。ドイツ、リトアニア、中東、バルカン諸国から得られた経験的データを使う。関連講座はRELG-675。通常は毎春学期に開講する。	
		アメリカン大学	WGSS-350 Interpreting Gender in Culture : Gender and Violence	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. An exploration of diverse aspects of gender experience from different disciplinary perspectives. Rotating topics focus on specific subjects, integrating recent scholarship and interdisciplinary contexts. Representative topics include gender and violence, gay and lesbian documentary, masculinities, and international feminisms. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。多様な学際的見地から得られたジェンダー体験のさまざまな側面について検討する。さまざまなテーマをローテーションを組んで扱い、最新の研究や学際的な内容を統合していく。代表的なトピックとしては、ジェンダーと暴力、ゲイおよびレズビアン・ドキュメンタリー、男性性、国際フェミニズム等がある。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研(履修には)究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
地域研究科目		アメリカン大学	ANTH-439 Culture, History, Power, Place	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Examination of a particular culture area to provide insight into the conditions that produced distinctive cultures in certain geographical regions. Rotating culture areas include North American Indians, Latin America, Mexico and Central America, African American women, India, Africa, China, and Japan. Meets with ANTH-639. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。特定の地域をとりあげ、その地域に特徴的な文化を醸成した諸条件に関する考察を行う。北米ネイティブ・アメリカン、ラテンアメリカ(メキシコ、中米)、米国アフリカ系女性、インド、アフリカ、中国、日本といった文化圏ごとに順次開講する。関連科目はANTH-639。通常は、毎学期に開講する。	
		アメリカン大学	AWST-225 Arab Societies	This course introduces students to the twenty-two nations of the Arab world. Themes covered include popular images in the media, politics, economics, religion, and gender and sexuality. Comparisons between countries, both macro and micro, are emphasized throughout the course. Usually offered every term. 本科目は、アラブ世界の22か国について、学生に紹介するものとなる。対象テーマとしては、マスコミに取り上げられる一般的なイメージ、政治、経済、宗教、ジェンダー、セクシュアリティを扱う。科目全体を通じて、マクロ的およびミクロ的両面における各国の比較を特に強調する。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	FREN-431 Civilisation Francaise I	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 中世からフランス革命までのフランスを対象とする。政治、社会、経済における発展を概観し、特に、一次資料をもとに、エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-631。通常は、隔年の秋学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-432 Civilisation Francaise II	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 19世紀・20世紀フランスを対象とする。新体制、フランス革命が社会階層とその精神構造に及ぼした影響について学ぶ。エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-632。通常は、隔年の春学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-433 French Topics	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。フランスの政治、社会、映画、フランス語圏の小説やショートストーリー、アルジェリア植民地化と独立、自伝、映画、文学、社会、そしてフランス文学におけるユーモアやアイロニー、アメリカに対するフランス人の印象といったトピックについてフランス語で順次開講する。関連科目はFREN-633。通常は、毎学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	
	アメリカン大学	GERM-336 German Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics taught in German include German culture and society, survey or arts, cinema, literature, and politics. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Prerequisite: GERM-333. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ドイツの文化、社会、調査、美術、映画、文学、政治といったトピックについてドイツ語で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。GERM-333履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	GERM-438 German Civilization I	A survey of German culture and society from the Middle Ages to the Romantic period. Historical, social, and intellectual developments, literature, art, and music are studied as the basis for discussion of German cultural history. Taught in German. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GERM-333. ドイツ文化を中世からロマン派の時代まで概観する。歴史的、社会的、知性的な発展状況と、文学、美術、音楽について、ドイツ文化史研究を論ずる基礎として学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	GERM-439 German Civilization II	Continuation of GERM-438, covering German history from the Romantic period to the twenty-first century. Taught in German. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GERM-333. GERM-438に続き、ロマン派時代から21世紀にわたるドイツ史を学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-233 Communism and Capitalism in East Asia	This course focuses on the theories of communism and capitalism, as well as their respective practices in East Asia and implications for socioeconomic and political development in the region. More specifically, the course examines the political and economic systems, processes, and changes in East Asia including China and Taiwan, North and South Korea, Japan, and Singapore. Major contemporary issues and policies of the East Asian systems are also surveyed, with particular emphasis on how the East Asian societies' socioeconomic and political performance, as well as their cultural traditions, affects these regimes' claim to political legitimacy. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GOVT-130. この科目は共産主義と資本主義の諸理論と東アジアにおける各国・地域のこれら理論の実践および同地域における社会経済的および政治的発展に対するインプリケーションに焦点を当てる。より具体的には、この授業は中国と台湾、南北朝鮮、日本、そしてシンガポールを含む東アジアにおける政治および経済システム、プロセス、変容を検討する。とくに、東アジア社会の社会経済的および政治的パフォーマンスと文化的伝統が各国・地域の主張する政治的正統性にどのような影響を及ぼすのかに焦点をあてながら、東アジアシステムに関する主要な現代的諸問題と各国の政策も概観する。通常、隔年ごとの秋学期に開講される。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-334 Modern British Politics	Offered as part of the AU Abroad London Semester. An introduction to institutions of politics and government in Britain and how its constitutional monarchy and parliamentary system have evolved. How politics are practiced and power is distributed between institutions, parties, and individuals. Considers the relationship between politics and other aspects of British society and the major contemporary issues in British politics. Usually offered every term. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は、「アメリカン大学海外ロンドンセメスター」の一環として開講されるもので、英国の政治制度や政府のほか、その立憲君主制や議会制度の発展の過程を紹介する。様々な制度、政党、個人の間で、政治がどのように機能し権力が分散されているか、また政治と英国社会の他の側面との関係や、英国政治の主な現代的課題についても検討する。通常は、毎学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	
	アメリカン大学	GOVT-349 The Middle East in Comparative Perspective	Description: Using the insights of comparative politics, this course examines the contemporary constellation of regime types, authority structures, institutions, and state-society relations in the Middle East. It analyzes the success of the powerful and the resistance of various groups bound together by ethnic, regional, religious, class, and gender identities. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231. この科目は、比較政治の視点を通じて、中東での一連の統治体制、権限組織、制度、国家社会関係を研究する。 有力者と民族・地域・宗教・階級・性別のアイデンティティーにより結束した様々な集団による力のある抵抗の成功事例を分析する。 通常、隔年春学期に開講する。 GOVT-130 または GOVT-231を履修しておく必要がある。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-432 Political Institutions and Processes in Selected Countries	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. The nature of political institutions and processes of specific countries, such as Great Britain, Germany, France, the former Soviet Union, Israel, Iran, Greece, India, Turkey, and Mexico. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231 or GOVT-232. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。英国、ドイツ、フランス、旧ソ連、イスラエル、イラン、ギリシャ、インド、トルコ、メキシコといった特定の国における政治制度や政治プロセスの特徴について学ぶ。 GOVT-130またはGOVT-231またはGOVT-232履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-433 Topics in Sub-Saharan African Politics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics course examine the political development of African states south of the Sahara Desert and the nature of politics in Sub-Saharan Africa generally and by country. Usually offered alternate falls. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。サハラ砂漠以南のアフリカ各国の政治的発展と、サハラ以南の政治状況全般と国別の状況といったトピックで順次開講する。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-450 Politics in Cuba	An examination of the social, economic, and political roots of the Cuban revolution of 1959 and the changes brought about in Cuban politics and society as a result of the revolution. Usually offered every fall. Prerequisite: GOVT-130. Restriction: minimum 2.5 GPA. 1959年のキューバ革命の社会的、経済的、政治的なルーツを探り、革命の結果、キューバの政治や社会がどのように変化したかを検証する。通常は、秋学期に開講する。 GOVT-130履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	
	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. この科目は、ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-204 Medieval Europe	Exploration of the medieval world-view and consideration of the organization of economic and political institutions, the relationship of secular and ecclesiastical authority, and the creation of new social and religious ideals during the millennium that bridges antiquity and modernity. Usually offered alternate springs. この科目は、中世的な世界観、その経済構造や政治制度、世俗と教会権力の関係、そして古代と近代とを結ぶ千年間における新たな社会理念や宗教理念の台頭について探求する。通常は、隔年の春学期に開講する。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-221 History of Britain I	Political, social, and cultural development in Britain to 1689. Parliament, common law, civil war, plague, rebellion, concepts of kingship, and the conflict of church and state. Usually offered every fall. 1689年にいたる英国の政治、社会、文化的な変遷について明らかにする。議会、コモンロー、内乱、疫病、反乱、王権の概念、そして政教対立について学ぶ。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-222 History of Britain II	This course examines phenomena that have defined Britain's place in the world, such as the ascension of parliament, the industrial revolution, and the growth of empire, to understand what is unique about Britain and which elements of the British historical experience are more broadly shared. Usually offered every spring. 本科目では、英国が国際社会における今日の地歩を確立するにいたる様々な事象、たとえば、議会の優位性の確保、産業革命、帝国の拡大等について検証し、英国のユニークさ、英国の歴史の中でどのような側面が広く共有できるかについて理解を深める。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-225 Russia and the Origins of Contemporary Eurasia	This course provides an overview and introduction to the history of empires, nations, and states in the Eurasian plain, from the origins of Rus' over a thousand years ago to the present day, as well as the various ethnic, national, and religious groups of the region. 本科目は、千年以上前のロシアの起源から現代にいたるまで、ユーラシア平原に勃興した様々な帝国、諸国、諸邦の歴史について概観するほか、この地域の様々な民族、国、宗教の状況についても検討する。	
	アメリカン大学	HIST-231 The Russian Empire, 1650-1917	This course examines the history of the Romanov dynasty and the Russian Empire focusing on understanding the structures of the diverse society that made up the empire, the growth and modernization of the empire, and the tensions within the system which led to its collapse. Readings include historical narratives, documents, and novels. 本科目は、ロマノフ王朝とロシア帝国の歴史について検証する。特に、帝国を構成する様々な社会の構造、帝国の成長と近代化、そしてその崩壊にいたる制度内の葛藤について理解することを主眼とする。課題図書として、歴史的物語、文書、小説等を読む。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-232 The Soviet Union	This course treats the history of the Soviet Union (1917–1991), seeking to explain how this civilization arose, survived, and ultimately fell, with particular attention to the history of communism as an idea. Readings help give a sense of both the aspirations and sufferings of its citizens. 本科目では、ソ連の歴史(1917年–1991年)を対象として、その文明の興隆、維持、そして最終的な没落について説明を試みる。特に、共産主義の歴史を一つの理念として捉える。様々な文献にあたることにより、一般市民の希望と苦悩を垣間見ることができる。	
	アメリカン大学	HIST-241 Colonial Latin America	Conquest and change in Indian civilization; imperial politics; race and class; Indian labor and the Black legend; imperial economic relations; imperial reform and revolution. Usually offered every fall. ネイティブ・アメリカン征服とその文化の変化、帝国主義時代の政治、人種と階級、ネイティブ・アメリカン労働者、「黒い伝説」、帝国主義時代の経済関係、帝国主義時代の改革と革命等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-242 Latin America since Independence	Problems in creating nations; militarism, dictatorship, and democracy; sources of underdevelopment; reform and revolution in the twentieth century. Usually offered every spring. 建国にかかわる諸問題、軍国主義、独裁政治、民主主義、低開発の原因、20世紀における改革と革命について検討する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-250 Empires and States in East Asia	This course examines the origins and history of multiple imperial traditions throughout East Asian history, including ancient China (origins to 221 B.C.); Chinese empires (221 B.C. to 1912); the Japanese empire (1895–1945); and modern East Asia (1600–present). この科目では、東アジア史における複数の帝国的伝統の淵源と歴史について検証する。古代中国(起源から紀元前221年)、中国各王朝(紀元前221年から1912年)、大日本帝国(1895年から1945年)、そして近代東アジア(1600年から現在)を対象とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-327 Twentieth Century Europe	In this century Europe has experienced two major wars, a wave of communist revolution, a violent reaction in the form of fascism, and the horror of mass extermination. Yet Europe today is quite prosperous, and there are better links between the Western countries and their communist counterparts than could have been imagined two decades ago. There is something in Europe's past that gives it a certain resilience. Usually offered alternate years. 20世紀においてヨーロッパは、二つの大戦、共産主義革命のうねり、それに対するファシズムという形の暴力的応酬、そして大量殺戮の恐怖にみまわれてきた。しかし現在のヨーロッパは繁栄を謳歌し、西側諸国と共産諸国との関係は、二十年前には想像もできなかったほどにまで改善されている。ヨーロッパの過去には、ある種の強靭な対応力があったと思われる。通常は、隔年で開講する。	隔年
	アメリカン大学	HIST-418 Nazi Germany	The political, social, and economic conditions that made it possible for Hitler to take power. The nature of Nazi rule. Emphasis on World War II and the Holocaust. Meets with HIST-618. Usually offered every spring. この科目では、ヒトラーの台頭を許した政治、社会、経済的な条件、ナチ統治の性格について考える。特に第二次世界大戦とホロコーストに注目する。関連科目はHIST-618。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-419 Holocaust	Traces the history of anti-Semitism and the development of racism that led to the Holocaust. Examines the historical development of the Final Solution. Considers the variety of responses to Jewish persecution by the Nazi perpetrators, the Jews, and the nations of the world. Meets with HIST-619. Usually offered every fall. ホロコーストへとつながる、反ユダヤ主義の歴史と人種差別の台頭をたどり、「最終的解決」にいたる歴史的流れを検証する。ユダヤ人迫害に対するナチ加害者、ユダヤ人、世界各国の様々な反応について検討する。関連科目はHIST-619。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-437 British Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Hanoverian England, Victorian England, Edwardian England, the British Empire, the British working class, and popular culture in modern Britain. Meets with HIST-637. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ハノーバー朝イングランド、ビクトリア朝イングランド、エドワード朝イングランド、大英帝国、英国の労働者階層、現代英国のポップカルチャーといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-637。	
	アメリカン大学	HIST-440 Latin American Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including the diplomatic history of Latin America, Latin American intellectual history, and Latin American feminisms. Meets with HIST-640. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおける外交史、知的系譜、フェミニズムといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-640。	
	アメリカン大学	HIST-443 History of Israel	Traces the development of modern political Zionism in nineteenth-century Europe; the historical background leading to the establishment of the State of Israel in 1948; and the history of Israel since then, including patterns of Jewish immigration and its relationship to the Arab world. Meets with HIST-643. Usually offered every fall. この科目では、19世紀ヨーロッパの近代政治シオニズムの進展をたどり、1948年のイスラエル建国にいたる歴史的背景、それ以降のイスラエルの歴史を検証する。ユダヤ移民のパターンと、そのアラブ世界との関係についても検討する。関連科目はHIST-643。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-445 Russian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Russian intellectual history, World War I and the end of empires, the Russian Revolution, and Russian film history. Meets with HIST-645. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ロシアインテリの歴史、第一次世界大戦と帝国の終焉、ロシア革命、ロシア映画史といったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-645。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-447 Asian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Topical courses in Asian history including modern China, late imperial China, the Japanese empire, modern Eurasian frontiers, and other topics in Chinese, Japanese, and inner Asian history. Meets with HIST-647. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。アジア史をテーマとする。たとえば、近代中国、中華帝国後期、大日本帝国、近代ユーラシア辺境地域のほか、中国史、日本史、内陸アジア史にかかわるその他のトピックを扱う。関連科目はHIST-647。	
	アメリカン大学	JLC-471 Evolution of Global Jihad	This course examines the contours of the Sunni jihadist movement with the aim of understanding ideological as well as strategic and operational characteristics that define it. A heavy emphasis is placed on exploring the ideological and strategic debates within the movement, as well as national, regional, and international events that contribute to these debates. Meets with JLC-671. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目では、スンニ・ジハード運動の概略を検証し、そのイデオロギー的特徴だけでなく、戦略と実践に関する特徴をも理解する。特に、この運動内部におけるイデオロギー論争や戦略論争と、そのような論争の機縁となった国家、地域、国際的な出来事に注目する。関連科目はJLC-671。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
	アメリカン大学	JWST-205 Ancient and Medieval Jewish Civilization	Examines the independent Jewish states that flourished in Palestine, the rise of the most important Jewish communities outside the ancient Jewish homeland, and the foreign influences that shaped not only the political life of the Jews but also their internal organization and their creativity. Usually offered every fall. この科目では、パレスチナの地に台頭した様々な独立ユダヤ国家、古代ユダヤの地以外の最も重要なユダヤコミュニティの台頭、そしてユダヤ人の政治生活だけでなくその内部組織や創造性をも形作った外国の影響について検証する。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. この科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-267 Literatures of the Global South	An introduction to literature written by writers from the Global South: Africa, Asia, and Latin America. The emphasis is on contemporary fiction and the ways that this writing depicts cultural and political change brought about by the impact of outside forces. Usually offered every term. 「グローバルサウス（アフリカ、アジア、ラテンアメリカ）」の作家による文学作品を紹介する。特に、現代フィクションと、外的な力によりもたらされた文化的・政治的変化を、そのような作品がどのように描いているかに注目する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-185 The Religious Heritage of Asia	Introduces methods of studying religion and places religious traditions in comparative relief. Surveys the basic features of the major religions of Asia, including Hinduism, Taoism, and Confucianism, and explains how these traditions shape Asian cultures and societies. Usually offered every term. 宗教を研究対象とするための様々な方法論を紹介し、様々な宗教的伝統を比較の中で浮かび上がらせる。ヒンズー教、道教、儒教といったアジアの主要宗教の基本特性を調べ、このような伝統が、どのようにアジア的文化や社会を構築してきたか説明する。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	RELG-210 Non-Western Religious Traditions	How non-Western religious traditions function as systems of symbols, how they interact with both indigenous religious traditions and external religious traditions such as Islam and Christianity, and how they respond to modernization and imperialism. Usually offered every term. 西洋以外の宗教的伝統が、象徴のシステムとしてどのように機能しているのか、それらが土着の宗教的伝統や、イスラムやキリスト教といった外部の宗教的伝統とどのように関係しあっているか、また近代化や帝国主義とどのように対峙しているかについて検討する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-470 Islam	Hundreds of millions of people adhere to Islam, sometimes described as the world's fastest growing religion. Students examine historical origins, Prophet Muhammad, Qur'an, and other formative elements underlying the modern Muslim situation. Meets with RELG-670. Usually offered every fall. イスラム教は数億人の信者を擁し、世界でもっとも急速に拡大しつつある宗教とも言われている。本科目では、その歴史的な起源、預言者ムハマド、コーラン、その他現在のイスラム教を取り巻く状況を形作ってきた要因について検証する。関連科目はRELG-670。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-473 Hinduism	This course focuses on four phases in the development of Hinduism. Central to the study of each phase are close readings of selections from its main mythological and philosophical texts, which are considered in light of lived religious practices. Meets with RELG-673. Usually offered alternate springs (even years). 本科目では、ヒンズー教の4つの発展段階に注目する。各段階の研究では、その主要な神話的・哲学的選集の精読が中心となる。そのような文献を実際の宗教的実践の枠組みの中で検討していく。関連科目はRELG-673。通常は、隔年（偶数年）の春学期に開講する。	隔年
	アメリカン大学	RUSS-200 Russia and the United States	A comparative study of the two countries, Russia and the United States, through an interdisciplinary approach with emphasis on the major similarities and differences. The course draws primarily from international studies, cross-cultural communication, political science, history, literature, and the arts. Taught in English. Usually offered every fall. ロシアとアメリカ合衆国両国の比較研究。主な類似点と相違点に注目した学際的アプローチを用いる。本科目は、国際関係学、異文化コミュニケーション、政治学、歴史、文学、美術等を主な対象とする。授業は英語で行う。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-211 Civilizations of Africa	By concentrating on African societies and states, ancient and modern, the course aims to create a greater understanding of, and empathy with, the Africans: the diversity, history, culture, accomplishments, and problems of the people and their continent; and the interaction of their culture with Islam and the West. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は、古代から現代にいたるアフリカの社会と各国に注目し、アフリカ大陸の多様性、歴史、文化、業績、そして問題について、またアフリカ文化とイスラムや西洋との相互作用理解とアフリカ人に対する共感を高めようとする。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-212 China, Japan and the United States	A multidisciplinary introduction to China and Japan that explores the history, culture, social structure, literature, art, politics, economics, and foreign relations of these important countries. Particular attention is paid to the context of East Asian international relations. Usually offered every term. Grading: A–F only. 中国と日本の両国の歴史、文化、社会構造、文学、美術、政治、経済、外交関係に関する学際的な探究を紹介する。特に東アジアにおける国際関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-213 Contemporary Europe	This course examines the major political, economic, and social issues shaping contemporary Europe. The first portion of the course covers the concepts and theoretical approaches that make up the analytical toolkit for understanding and analyzing European politics. The second part covers the overarching themes of European politics, including state formation, governments and institutions, political parties and elections, welfare state development and reform, and European integration. The final segment consists of country and issue case studies as opportunities to apply the theoretical, methodological, and analytical tools, and looks at lessons that can be learned from the diverse ways European societies have answered the basic questions of economic, social, and political organization confronting all societies. Grading: A–F only. 本科目では、現代ヨーロッパを形成している主な政治的、経済的、社会的な課題について検討する。まず、ヨーロッパの政治を理解・分析するための分析ツールとなる概念と理論的アプローチについて触れ、次に、ヨーロッパ政治の全体的テーマである、国家形成、政府と諸機関、政党と選挙、福祉国家の発展と改善、そしてヨーロッパ統合について考える。最後に、理論的・方法論的・分析的ツールを応用して、国や課題別のケーススタディを行い、あらゆる社会が直面する経済、社会、政治組織の基本的問題に対して、ヨーロッパ社会で採用されてきた対応方法から得られる教訓について考える。A–F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-214 Contemporary Latin America	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目はラテンアメリカの政治、社会、経済における重要な変化、その基盤や、それを助長あるいは妨害する要因、今後の見通しやトレンドについて学ぶ。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-215 Contemporary Middle East	The Middle East's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to the Arab world. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は中東の現在の政治文化と、その歴史的・経済的・地理的・社会的ルーツについて、特にアラブ世界に注目する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-216 Contemporary Russia	Russia's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 本科目はロシアの現代政治文化とその歴史・経済・地理・社会的なルーツについて取り扱う。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. 本科目はセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post-Gandhi period. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature	Latin America's history through literary texts, films and documentaries, and other artistic representations. Analysis of how the Latin, African, and indigenous cultural heritages have combined to produce a unique culture. Usually offered every term. Separate sections taught in English and Spanish. Prerequisite: SPAN-353. 文学、映画、ドキュメンタリー、その他芸術表現を通じてラテンアメリカ史を学ぶ。ラテン、アフリカ、土着のそれぞれの文化的遺産がどのように融合してユニークな文化を醸成してきたか分析する。通常は、毎学期に開講する。セクションごとに、英語とスペイン語による授業となる。SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-355 Spanish Introductory Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics include courses that serve as a bridge between the language sequence and upper-level courses. Courses are taught in Spanish on topics such as central issues in Latin American studies, indigenous people in Latin America, and media in Latin America. Emphasis is placed on vocabulary, expressions, and structures related to the specific topic. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。言語習得科目と上級科目の橋渡しとなる複数の内容を順次開講する。ラテンアメリカ研究の主要課題、ラテンアメリカにおける先住民、そしてラテンアメリカにおけるメディアといったトピックについて、スペイン語で講義する。それぞれのトピックに関連する語彙、表現、構文に注目する。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature	A systematic survey of the historical development of Latin American literature. Reading of selected texts in the original, and their relationship to cultural, historical, political, and social developments. This course is a transition course between SPAN-353 and higher level courses. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、ラテンアメリカ文学の歴史的発展を系統的に研究する。原書選集を講読し、その文化、歴史、政治、社会的な発展との関連について検討する。本科目は、SPAN-353と上級レベル科目との橋渡しとなる。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-456 Spanish Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Courses taught in Spanish on such topics as: Latin American film, Mexican-U.S. border, urban cultures in Latin America, indigenous people of Latin America, Hispanics in the United States, Caribbean cultures, and the Latin American short story. Meets with SPAN-656. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカの映画、米墨国境、ラテンアメリカの都市文化、ラテンアメリカの先住民、アメリカ合衆国のヒスパニック、カリブ文化、ラテンアメリカのショートストーリーといったトピックで順次開講する。関連科目はSPAN-656。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring	This course designation is for a variety of classes in the field of international relations. Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. May be taken A-F only. この科目は、国際関係学のフィールドにおける様々な内容について取り扱うよう位置づけられる。トピックは、セクションによって異なり、異なるトピックを取り扱った場合は重複受講が可能である。概ねA,Fのみで評価される。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研(履修には)究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
シニアキャップストーン科目	アメリカン大学	SISU-419 Senior Capstone: International Studies	Topics vary by section. Rotating senior capstone topics focusing on international studies. Grading: A-F only. この科目は、シニアキャップストーンプロジェクトを完成させるため、教員の指導のもと、それぞれのトピックについて取り扱う。	
選択科目	アメリカン大学	Independent Study	This course allows students to explore a topic of international relations of particular interest to the student and acts as preparation for completing the capstone requirement. この科目は、学生が、国際関係学分野に関係する学生の固有の関心(課題)及び、キャップストーン要件を満たす準備作業等について(指導を伴って)取り組むものである。	

(注)

1 国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その３の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。

2 開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

3 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部 立命館大学・アメリカン大学国際連携学科）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	アメリカン大学	ANTH-225 Language and Human Experience	Examines language and its contribution to creativity, and how knowledge of language enriches human experience. Includes imagery and metaphor building through language; the effects of topic, speaking situation, and gender on creativity in tribal, state-level, and post-colonial contexts; and ways written language recasts and redefines human imagination. Usually offered every fall. 言語およびその創造力への貢献、また言語知識がどのようにして人間の経験を豊かにするかを検証する。言語を通したイメージや比喩の形成、部族、国家レベル、またポストコロニアルのコンテクストにおける主題、発話状況およびジェンダーの創造力への影響、そして文語がどのように人間の想像を書き換え、再定義するか等を検討する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ANTH-250 Human Origins	The contributions that physical anthropology and archaeology can make toward an understanding of the origins and development of humankind. Includes genetics, the principles of evolution as applied to humans, the nonhuman primates and their behavior, human fossils, and the archaeology of the New and Old Worlds. Usually offered every fall. 人類の起源と発展の理解のために自然人類学および考古学に可能な貢献。遺伝学、人類・非ヒト霊長類に適用される進化の原理、またその行動、人類の化石、そして新世界・旧世界の考古学等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ARTH-105 Art: The Historical Experience	Introduction to Western art and architecture from ancient times to the twentieth century, with some discussion of non-Western cultures. Case studies of major works and artists such as the Great Pyramids, the Parthenon, Chartres Cathedral, Michelangelo, Rembrandt, and Picasso provide a foundation for understanding art in its aesthetic, historical, social, and political contexts. Also covers materials, techniques, and practices of art-making, and introduces key stylistic innovations. Usually offered every term. 古代から20世紀までの西洋美術および建築について、非西洋文化についても触れながら紹介する。大ピラミッド、パルテノン神殿、シャルトル大聖堂、ミケランジェロ、レンブラントおよびピカソといった主要な作品および芸術家のケーススタディにより、その美的、歴史的、社会的、また政治的背景において芸術を理解するための基礎を養う。また芸術作品製作の材料、技術および実践についても扱い、重要な様式の革新を紹介する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	ARTS-100 Art: The Studio Experience	This beginning studio course introduces students to painting, drawing, sculpture, and design combined with visual literacy. The course focuses on the interrelationship of hand, eye, and mind to create informed works of art that engage larger critical, formal, or cultural dialogues and relate basic visual language to analytic and creative processes of the artist. Usually offered every term. この初歩のスタジオ科目では、絵画、図面、彫刻および設計を視覚リテラシーと結び付けて学生に紹介する。本科目では、より大規模な批評的、形式的あるいは文化的対話に関わる情報に基づく芸術作品を創造し、基本的な視覚言語を芸術家の分析的・創造的プロセスに結びつける手と目と精神の相互関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	BIO-100 Great Experiments in Biology	The core of biology is the scientific experiment. This course, through lecture and laboratory, focuses on some classic experiments that introduce students to the modern study of biology and scientific method. Experiments include the molecular basis of mutation, separation of complex biologically important molecules, and the construction of demographic tables. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生物学の核心は科学実験である。本コースでは講義と実験を通していくつかの古典的実験に注目し、生物学と科学的手法の現代的研究を学生に紹介する。実験には突然変異の分子学的基礎、生物学的に重要な高分子の分離、また個体群統計学的な表の作成が含まれる。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	CHEM-100 The Molecular World	A general introduction to chemistry leading to biochemistry and the chemistry of life. Study of the composition of materials, their structures and properties, related energy conversions, and the use of molecular genetic information. Questions of scientific inquiry and the scientific method in cultural and historical contexts are considered. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生化学および生命の科学に導く化学の概略を紹介する。物質組成、その構造および特性、関連するエネルギー変換、また分子遺伝学的情報の使用について学ぶ。文化的・歴史的背景における科学研究と科学的研究法の問題について検討する。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	

基礎科目	アメリカン大学	COMM-105 Visual Literacy	(PC, FM) (MS) Introduces students to ways of understanding visual images in art, design, photography, film, and digital media. Students create an online website that showcases their work over the semester, including creative and written assignments and a final client project. Includes a Community-Based Learning component wherein students collaborate directly with a non-profit organization in Washington, DC. Usually offered every term. (PC、FM) (MS) 芸術作品、デザイン、写真、映画、デジタルメディア中の視覚イメージを理解する方法を学生に紹介する。学生は創作および筆記課題、また期末クライアントプロジェクトといった自身の作品を、学期を通して公開するオンラインウェブサイトを作成する。学生がワシントン市の非営利団体と直接協働するコミュニティベースの学習コンポーネントが含まれる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	ENVS-150 The Sustainable Earth	This course examines the issue of sustainability; what it means, how it is measured, and how it can be used to address environmental challenges. In doing so, the course builds on the most current scientific understanding of how the natural world works. 本科目は、持続可能性について、特にその意味、どのように測定するか、そしてそれが環境問題に対処するためにどのように利用できるかについて検証する。その過程で、本科目では、自然界がどのように機能するかに関して知りえた最新の科学的知見を根拠とする。	
	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	HPRM-205 Introduction to Nutrition	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. 本科目では、必須栄養素およびその体内での働き、さらに食生活と慢性疾患の関係についての、既知のおよび仮定された基本的情報について検討する。本科目ではアメリカ政府の栄養指針、栄養神話、食品表示、消化機能および体重管理についても検討し、学生がその栄養所要量や食品の選択について十分な情報に基づいて判断を下すことを可能にする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	JLC-110 Western Legal Tradition	From the biblical era to the American experiment, the Western legal tradition encompasses primitive, divine, natural, canon, secular, and common law. This course examines the key legal documents and issues of the tradition including the Code of Hammurabi, the Ten Commandments, the trials of Socrates and Jesus, the Magna Carta, the Rule of Law, and Common law. Usually offered every term. 聖書の時代からアメリカの実験まで、西洋の法的伝統は原始法、神聖法、自然法、教会法、世俗法および慣習法を包含している。本科目では、重要な法的文書、またハムラビ法典、十戒、ソクラテスおよびイエスの裁判、マグナカルタ、法の原則、慣習法といった伝統の問題について検証する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World	This course enriches students' knowledge and appreciation of Western civilization by familiarizing them with some of the most important literary texts in Western literature from Homer through the nineteenth century. In addition to studying these works for their literary artistry, the course addresses the cultural context of these works, the ethical issues they address and the pivotal roles they have played in Western society, and what it means to call a work ″a classic.″ Usually offered every term. 本科目では、ホメロスから19世紀までの西洋文学において最も重要な文学テキストの一部を学生に親しませることにより、学生の西洋文明に関する知識および理解を強化する。その文学的芸術性のためにこうした作品を研究するだけでなく、本科目ではこうした作品の文化的背景、これらが取り上げる倫理的問題、また西洋社会においてこれらが果たした重要な役割、そしてある作品を「古典」と呼ぶことの意味について検討する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. 本科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	MATH-150 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. For students who need extra work on mathematical skills. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学能力について特別の努力を要する学生を対象とする。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-151 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-154 Great Ideas in Mathematics	This course explores a sample of beautiful branches of modern mathematics, concentrating on conceptual underpinnings rather than technical aspects. Includes study of infinity, number theory, fractals, and modern geometry, among other mathematical ideas. The course focuses on verbal and written communication skills and problem solving. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 本科目では、技術的側面よりも概念の基礎に焦点を合わせる現代数学の素晴らしい分野の実例を探究する。数ある数学的概念の中でも無限、整数論、フラクタルおよび近世幾何学の研究を対象とする。本科目では口頭および書面によるコミュニケーションのスキルと問題解決に焦点を当てる。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-155 Elementary Mathematic Models	Study of mathematical subjects including linear, quadratic, polynomial, rational, exponential, and logarithmic functions, in the context of difference equations models. Emphasizes concepts and applications using numerical, graphical, and theoretical methods. Also includes an introduction to the mathematical subject of chaos. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 差分方程式モデルとの関連で、一次、二次、多項式、有理、指数および対数関数といった数学的主題について研究する。数値法、図式法および理論手法を使用した概念および応用に重点を置く。カオスという数学的主題の紹介も含まれる。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-160 Applied Precalculus	Fundamentals of algebraic, exponential, and logarithmic functions with emphasis on applications to problems in business and economics and the natural sciences. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-211 Applied Calculus I. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、ビジネス、経済、自然科学の問題への応用を重視した代数関数、指数関数、対数関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：主にMATH-221 Applied Calculus Iを履修する予定の学生を対象としている。数学専攻の学生には単位は与えられない。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-170 Precalculus Mathematics	Fundamentals of algebraic, logarithmic, exponential, and trigonometric functions. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-221 Calculus I. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、代数関数、対数関数、指数関数、および三角関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：登録資格は、数学に関するプレスメント試験のスコアの適切性によって判断される。主にMATH-221 Calculus Iを履修する予定の学生を対象としておいる。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-211 Applied Calculus I	Functions, differentiation, and integration. Applications to several areas, especially business. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-160 or MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Credit toward a major in the Department of Mathematics and Statistics requires departmental approval. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-211 and MATH-221. 関数、微分、積分を扱う。さまざまな分野、特にビジネスへの応用を考える。通常は毎学期に開講する。MATH-160またはMATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。数学および統計学専攻の学生の単位は、学部の承認が必要。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-221 Calculus I	Real numbers; coordinate systems; functions; limits and continuity; differentiation and applications; trigonometric functions; indefinite and definite integration and applications; fundamental theorem of integral calculus. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-221 and MATH-211. この科目では、実数、座標系、関数、極限と連続、微分と応用、三角関数、不定積分と定積分とその応用、微積分学の基本定理を取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	
	アメリカン大学	MATH-222 Calculus II	Techniques of integration, calculus of exponential and logarithmic functions, infinite series, power series representations, and analytic geometry. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-211 or MATH-221. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. この科目では、積分のテクニック、指数関数や対数関数の計算法、無限級数、べき級数の提示、解析幾何学について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-211またはMATH-221の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。	
	アメリカン大学	MATH-310 Linear Algebra	Vector spaces, systems of linear equations, solutions by matrices, determinants, linear transformations, and algebraic forms. Usually offered every spring and summer. Prerequisite: MATH-222 (may be taken concurrently). この科目では、ベクトル空間、連立線形方程式、行列解、判別式、線形変換、代数形式について取り扱う。通常は毎春学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする（並行して受講可能）。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-313 Calculus III	Vectors, functions of several variables, partial differentiation, and multiple integrals. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では、ベクトル、多変数関数、偏微分、多重積分について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-321 Differential Equations	First order equations, linear equations of higher order, solutions in series, Laplace transforms, numerical methods, and applications to mechanics, electrical circuits, and biology. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-310 and MATH-313, both of which may be taken concurrently. この科目では、一次方程式、高次線形方程式、級数解、ラプラス変換、数値法、力学・電気回線・生物学への応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-310およびMATH-313の履修を条件とし、いずれも並行して受講可能。	
	アメリカン大学	MATH-401 Probability	Algebra of sets; probability in discrete sample spaces; combinatorial analysis; random variables; binomial, Poisson, normal, and other distributions; and applications. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-313 (may be taken concurrently). この科目では、集合代数、離散的サンプル空間の確率、組み合わせ解析、乱数、2項分布、ポアソン分布、正規分布、その他の分布、それらの応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-313の履修を条件とする(並行受講も可能)。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-403 Foundations of Mathematics	An introduction to the proof-based methodology of advanced mathematics courses, with emphasis on the fundamentals of logic and set theory (truth-tables and quantifiers, Boolean operations, functions, relations, and cardinality); elementary number theory (mathematical induction and modular arithmetic), and structural properties of the fields of real and complex numbers. Meets with MATH-603. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では高等数学の証明に基づく方法の基礎を学ぶ。特に、論理と集合論（真偽表と限定作用素、ブール演算、関数、関係、濃度）、初等整数論（数学的帰納法とモジュラー演算）、実体数と複素数体の構造特性に注目する。MATH-603に同じ。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables	Vector-functions of several variables, limits and continuity, differentials and tangent plane, implicit and inverse functions, line and surface integrals, gradient, divergent, curl, Stoke's and Green's theorems. Meets with MATH-604. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-310, MATH-313, and MATH-403. この科目では、多変数のベクトル関数、極限と連続、微分と接平面、陰関数と逆関数、線積分と面積分、勾配、発散、回転、ストークスの定理、グリーンの定理を取り扱う。関連講座はMATH-604。通常は隔年の春学期に開講する（奇数年）。MATH-310、MATH-313、MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-405 Mathematical Logic	The mathematical study of the scope and limits of deductive reasoning with special attention to propositional and first order logic, leading to results concerning completeness, compactness, and the existence of decision procedures for various logical systems, culminating in the incompleteness theorems of Godel. Meets with MATH-605. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: MATH-403. この科目では、演繹的推論の範囲と限界について数学的に研究する。特に、命題論理や一階論理に着目する。さらにさまざまな論理システムに向けた意思決定手順の完全性、簡潔性、存在に関する結果を導き、最終的に、ゲーデルの不完全性定理にいたる。MATH-605に同じ。通常は隔年の秋学期に開講する（偶数年）。MATH-403の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-410 Geometry	Euclidean and non-Euclidean (spherical, elliptic and hyperbolic) geometries from axiomatic and analytic points of view. Includes isometrics, transformation groups, symmetry groups, quadratic forms, projective geometry, as well as some historical background. Meets with MATH-610. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: MATH-310. ユークリッド幾何学と非ユークリッド幾何学(球面、楕円、双曲線)を公理的および解析的観点から検討する。等角図、変換群、対称性群、二次形式、射影幾何のほか、歴史的背景についても触れる。MATH-610に同じ。通常は隔年の秋学期に開講する(偶数年)。MATH-310の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-412 Introduction to Modern Algebra	An introduction to the study of abstract algebraic structures. Includes groups, subgroup, quotient groups, homomorphisms, rings, ideals, fields, and group actions and Sylow theory. Meets with MATH-612. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. この科目では、抽象代数構造の研究について初歩を学ぶ。群、下位群、商群、準同型、環、イデヤル、体、群作用、シローの定理についても検討する。関連講座はMATH-612。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-413 Rings and Fields	An advanced study of rings and fields with a focus on polynomials and their roots. Includes ring theory, factorization, polynomials, field theory, ruler and compass constructions, Galois theory, and solvability of polynomials. Meets with MATH-613. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-412. 環や体について高度な内容を学ぶ。特に多項式やその根に焦点を当てる。また環論、因数分解、多項式、体の理論、定規とコンパスによる作図、ガロアの理論、多項式の可解性についても扱う。関連講座はMATH-613。通常は隔年の春学期(奇数年)に開講する。MATH-412の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-415 Number Theory	Divisibility, fundamental theorem of arithmetic, congruences, arithmetic functions, Diophantine equations, quadratic residues, sums of squares, and partitions. Meets with MATH-615. Usually offered alternate falls. Prerequisite: MATH-403. この科目では、被整除性、算術の基本定理、合同、算術関数、ディオファントス方程式、平方剰余、平方和、分割を扱う。関連講座はMATH-615。通常は隔年の秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-420 Introduction to Analysis	This course develops the foundations of mathematical analysis by focusing on the real numbers as a complete ordered field, infinite sequences and series, limits and continuity, and key theorems of the differential and integral calculus. Meets with MATH-620. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. 本科目は、完備な順序体としての実数、無限数列および無限級数、極限と連続、微積分学の基本定理等に焦点を当てることにより、数理解析の基礎的理解を深める。関連講座はMATH-620。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-421 Measure Theory and Integration	This course presents the fundamental concepts and techniques of measure theory. It includes Borel sets, measures, measurable sets and functions, integrals as measures, Lp spaces, modes of convergence, and decomposition and generation of measures (including product measure). Meets with MATH-621. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-403 and MATH-420. 本科目では、測度論の基本的な概念と技法を扱う。またボレル集合、可測集合、可測関数、約数としての整数、Lp空間、収束モード、測度の分解および生成（積測度を含む）も対象とする。関連講座はMATH-621。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-403およびMATH-420の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-440 Topology	Topological spaces, continuity, compactness, connectedness, and metric spaces. Meets with MATH-640. Usually offered alternate falls (odd years). Prerequisite: MATH-403. この科目では位相空間、連続性、コンパクト性、連結、距離空間。関連講座はMATH-640。通常は隔年の秋学期（奇数年）に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-450 Complex Analysis	Complex functions, Cauchy's theorem and integral formulae, Taylor and Laurent series, residue calculus and contour integration, and conformal mapping. Meets with MATH-650. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-313 and MATH-403. この科目では、複合関数、コーシーの定理、積分公式、テイラー級数、ローラン級数、留数解析、閉曲線積分、等角写像を取り扱う。関連講座はMATH-650。通常は毎春学期に開講する。MATH-313とMATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-451 Partial Differential Equations	Fourier series, orthonormal systems, wave equation, vibrating strings and membranes, heat equation, Laplace's equation, harmonic and Green functions. Meets with MATH-651. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-321. この科目では、フーリエ級数、正規直交系、波動方程式、振動弦、振動膜、熱伝導方程式、ラプラスの方程式、調和関数、グリーン関数を取り扱う。関連講座はMATH-651。通常は隔年の春学期（奇数年）に開講する。MATH-321の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-460 Tools of Scientific Computing	Designed to teach scientific rigor in the use of computers and/or computational tools. Techniques from mathematics are introduced which lead to efficient algorithm design, algorithm analysis, data classification, data manipulation, and scientific computation. Includes data types, induction, recursion, sorting, searching, summation, optimization, asymptotic analysis, basic number theory, discrete probability, and parallel computing. Meets with CSC-460. Usually offered every fall. Prerequisite: CSC-280, MATH-221, and MATH-222. この科目では、コンピュータや計算道具を使用する際の科学技術上の厳密さについて教授する。効率的なアルゴリズム設計、アルゴリズム解析、データ分類、データ操作、科学技術計算に寄与する数学的分野の技法を紹介する。またデータ型、数学的帰納法、再帰、ソーティング、検索、総和、最適化、漸近解析、基礎数論、離散分布、並列演算等についても扱う。関連講座はCSC-460。通常は毎秋学期に開講する。CSC-280、MATH-221、MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-465 Numerical Analysis: Basic Problems	Computer arithmetic and error analysis in computation, matrix decomposition methods in solving systems of linear equations and linear least squares problems, polynomial approximation and polynomial data fitting, iterative algorithms for solving nonlinear equations, and numerical differentiation and integration. Meets with MATH-665. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: CSC-280, MATH-222, and MATH-310. コンピュータ演算、演算におけるエラー解析、線形方程式や線形最小二乗問題の解決システムにおける行列分解方法、多項式近似と多項式データ・フィティング、非線形方程式解決のための反復アルゴリズム、数値微積分。関連講座はMATH-665。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。CSC-280、MATH-222、MATH-310の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-470 History of Mathematics	This course surveys aspects of historical development of mathematics from ancient to modern times and examines the ideological, social, and cultural forces which shaped this development. By providing historical continuity, the course interrelates and unifies the major subject areas such as algebra, calculus and analysis, geometry, number theory, probability, set theory, and the foundation of mathematics. Meets with MATH-670. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-222 本科目は、古代から現代にいたる数学の歴史的発展の諸側面について概観し、そのような発展を形作ってきた理念、社会、文化的側面について検証する。歴史的な流れの中で、代数、微積分および解析、幾何学、数論、確率論、集合論、数学の根拠といった主要分野の相互関係を考察し統合する。関連講座はMATH-670。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-480 Advanced Topics in Mathematics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Intensive courses in a specialized area of mathematics. Meets with MATH-680. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。数学の特殊な分野を対象とした集中講座。MATH-680に同じ。	
	アメリカン大学	MATH-565 Mathematical Applications of Interest and Derivatives	Mathematical study of finance, including theory of interest, arbitrage theorem, random walk models of prices, options, Black-Scholes formula and consequences. Meets with ECON-565. Usually offered alternate falls (even numbered). Grading: A-F only. Prerequisite: MATH-221, MATH-222, MATH-313, and STAT-202 or STAT-203. 金融を数学的に研究する。たとえば、利子論、裁定定理、価格のランダム・ウォーク・モデル、オプション、ブラック・ショールズ式と結果等を対象とする。関連講座はECON-565。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。A-F評定のみ。MATH-221、MATH-222、MATH-313と、STAT-202またはSTAT-203の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	PERF-110 Understanding Music	An introduction to musical language through listening and comprehension. The fundamentals of acoustics, melody, harmony, form, texture, and color in a wide range of music from ancient and global music to European concert music, jazz, blues, and popular music. Includes listening and concert attendance requirements. Usually offered every term. 鑑賞および理解を通して音楽言語を紹介する。古代の、また世界的な音楽からヨーロッパのコンサート音楽、ジャズ、ブルース、ポピュラー音楽まで、様々な音楽における音響、旋律、和音、様式、構成および音色の基礎。音楽鑑賞およびコンサートへの参加が求められる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances	Provides an overview of the principles of drama from the ancient Greeks to contemporary society. The class draws on theatre history and social context, the reading of great literature, critical analyses, and artistic exploration to culminate in the experience which is the essential element of the art itself – performance. Usually offered every term. 古代ギリシャから現代社会までの演劇の原理について概観する。本クラスでは演劇の歴史と社会的背景、偉大な文学作品の講読、批評的分析、また芸術そのものの必須要素である経験－演技において頂点に達する芸術的探求を扱う。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PHIL-105 Western Philosophy	A historical introduction to the Western philosophical tradition. Students closely examine classic and contemporary texts on the nature of reality, truth, morality, goodness, and justice; the possibility of knowledge; faith, reason, and the existence of God; and the issue of freedom and determinism. Usually offered every term. 西洋哲学の伝統について歴史的に紹介する。学生は現実、真理、道徳、善良性、正義の本質、知識の可能性、信仰、理性、神の存在、また自由と決定論の問題に関する古典および現代のテキストを綿密に検証する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	PSYC-115 Psychology as a Natural Science	Through lectures and discussion, students are introduced to the many experimental questions addressed in psychology, e.g., environmental and genetic factors in behavior, biological bases of behavior, sensations and perception, conditioning and learning, memory and cognition, and drug use and abuse, as well as to the specific methods used in psychological research and the general research approaches used in science. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−116. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. 講義と議論を通して、心理学で取り上げられる多くの実験上の疑問(たとえば行動における環境および遺伝要因、行動の生物学的基盤、感覚および知覚、条件づけおよび学習、記憶および認識、また薬物の使用と乱用)、さらに心理学的研究において使用される特定手法と科学に使用される一般研究法を学生に紹介する。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−116。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-116 Psychology as a Natural Science lab	Through laboratory experiments and simulations, students are exposed to the various techniques, procedures, and designs used in the study of behavior. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−115. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. (レクチャー、演習に加えて)室内実験の体験およびシミュレーションを通して、学生は行動研究に使用される様々な手法、手順、計画に触れる。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−115。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-200 Behavior Principles	The experimental analysis of behavior (EAOB) systematically relates a behavior's probability to its consequences (reinforcement and punishment). Principles derived from the EAOB are used to explain simple animal learning, stimulus control, behavioral sequences and patterning, verbal and other complex human behavior, and emotion. Issues raised by a behavioral approach to human conduct are discussed. Usually offered every term. 実験的行動分析(EAOB)は行動の確率とその結果(促進および罰)を系統的に関連づける。EAOBから得られた原理は、単純な動物の学習、刺激制御、行動連鎖およびパターンづけ、言語およびその他の複雑な人間行動と感情を説明するのに使用されている。人間の行動に対して行動科学的研究により提起される問題について論じる。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts	Examines theories of the nature, purpose, and meaning of artistic activities and objects through the religious, cultural, and philosophical contexts in which they arose. Both Western and non-Western expressions and viewpoints are considered. Student projects explore the relationship between particular works familiar to them and their role in religious expression. Usually offered every term. 自然の理論、芸術活動とこれが発生した宗教的、文化的、哲学的文脈を通した対象物の目的および意義を検証する。西洋的・非西洋的表現と視点の両方について検討する。学生プロジェクトでは、馴染み深い特定の作品と宗教的表現におけるその役割の関係について探究する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	STAT-202 Basic Statistics	Data presentation, display, and summary, averages, dispersion, simple linear regression, and correlation, probability, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Use of statistical software both to analyze real data and to demonstrate and explore concepts. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-15x or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、平均、ばらつき、単回帰および相関、確率、標本分布、信頼区間および有意性検定。実データの分析、また概念の実証および探究の両方のために統計ソフトウェアを使用する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-15x以上の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-203 Basic Statistics with Calculus	A calculus-based introduction to basic statistics including data presentation, display and summary, correlation, development of least squares regression models, probability, independence, probability density functions, moments, use of moment generating functions, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Concepts are explored through simulation and the use of the calculus tools of finding maxima and minima of a function and the area under a curve. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-221 or one semester of calculus. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、相関、最小二乗回帰モデルの開発、確率、独立性、確率密度関数、積率、積率母関数の使用、標本分布、信頼区間および有意性検定といった、微積分法に基づく基礎統計学の紹介。シミュレーションと関数の極大値および極小値、また曲線下の領域を検出する微積分ツールの使用により概念を探究する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-221または微積分法の1学期の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-204 Introduction to Business Statistics	Statistical concepts and methods used in business decision making. Topics include probability rules, discrete and continuous distributions, descriptive and graphical statistics, estimation, confidence intervals, hypothesis testing, analysis of variance, regression, and applications of MS Excel data analysis tools to economic and business data. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: MATH–150, MATH–151, MATH–154, or MATH–155. Note: students may receive credit for only one of STAT–202, STAT–203, or STAT–204. ビジネス上の意思決定に使用される統計概念および手法。トピックには確率規則、離散および連続分布、記述および図解統計学、概算、信頼区間、仮説検定、分散、回帰分析、また経済およびビジネスデータへのMicrosoft Excelデータ分析ツールの適用が含まれる。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 MATH–150、MATH–151、MATH–154またはMATH–155履修を条件とする。注意：学生はSTAT–202、STAT–203またはSTAT–204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-302 Intermediate Statistics	Methods include techniques for estimation and inference with qualitative and quantitative data focusing on simple linear and multiple regression, correlation, logistic regression, and analysis of variance. Usually offered every term. Prerequisite: STAT–202 or STAT–203 with a grade of C or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT–302, STAT–320, or STAT–514. この科目では、単回帰および重回帰、相関、ロジスティック回帰、および分散分析に焦点を絞った定性的および定量的データによる推計統計学の技法を学ぶ。通常、毎学期提供される。 この科目を履修するには、Cまたはそれ以上のグレードでSTAT –202またはSTAT – 203を履修していることが条件となる。注：学生は、STAT – 302、STAT–320、またはSTAT–514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-320 Biostatistics	This course examines how statistical methods are utilized within the fields of biology, medicine, and public health. Advanced statistical methods, including ANOVA, multiple regression, analysis of covariance, survival analysis, and nonparametric methods are discussed, with emphasis on their applicability to public health. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT-202 or STAT-203. Note: students may receive credit for only one of STAT-302, STAT-320, or STAT-514. この科目では、生物学、医学、公衆衛生の分野で統計的手法をどのように活用するかを検討する。公衆衛生への適用性に重点を置いて、分散分析、重回帰分析、共分散分析、生存分析、ノンパラメトリック法などの高度な統計的方法が議論される。通常、毎春セメスターに開講される。 登録前提条件：STAT-202またはSTAT-203を履修していること。注：学生は、STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	
	アメリカン大学	STAT-370 Introduction to Statistical Computing and Modeling	The basics of programming using the open source statistical program R. Data analysis, both numerical and qualitative, including graphical and formal inference. Applications include numerical methods, text mining, modeling, and simulation. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-221 and STAT-202 or STAT-203. この科目では、オープンソース統計プログラムであるRを使用したプログラミングの基礎を学ぶ。描画による推論および形式的推論を含む、量的および質的データの分析を行う。手法には、数値メソッド、テキストマイニング、モデリング、シミュレーションなどが含まれる。通常、毎春学期に提供される。 前提条件：MATH-221およびSTAT-202またはSTAT-203を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-402 Introduction to Mathematical Statistics	Probability, probability distributions, sampling, sampling distributions, and introduction to the theory of point estimation and statistical inference, including confidence intervals and hypothesis testing. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-401. この科目では、確率、確率分布、サンプリング、標本分布、信頼区間と仮説検定を含む点推定理論と統計的推論の導入的指導を行う。通常、毎春セメスターに開講される。 前提条件：MATH-401を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-405 Introduction to Survey Sampling	This course introduces the basic approaches to surveys, including simple random, systematic, and stratified sampling. Also included is the design of questionnaires and the analysis of sample data. Emphasis is on the practical application of sampling. Meets with STAT-605. Usually offered alternate falls. Prerequisite: STAT-202, STAT-203, or STAT-514. この科目では、単純無作為抽出法、系統抽出法、層化抽出法を含む調査の基本的なアプローチを紹介する。アンケートのデザインとサンプルデータの分析も含まれ、サンプリングの実用化に重点を置いている。 STAT-605に同じ。通常、隔年秋学期に開講する。 前提条件：STAT-202、STAT-203、またはSTAT-514を履修していること。	隔年
	アメリカン大学	STAT-415 Regression	Simple and multiple regression, least squares, curve fitting, graphic techniques, and tests and confidence intervals for regression coefficients. Meets with STAT-615. Usually offered every fall and summer. Prerequisite: STAT-302, STAT-320, or STAT-514. この科目では、単回帰および多重回帰、最小二乗法、曲線あてはめ、グラフィック技術、および回帰係数の検定および信頼区間について学ぶ。 STAT-615に対応する。通常、毎秋学期と夏季集中期間に提供される。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-422 Advanced Biostatistics	Introduction to methodologies used to understand complex problems in four major areas of biomedical science: clinical trials, epidemiology, survival analysis, and bioinformatics. Phases of clinical trials, dynamics of epidemiology and disease, estimation of survival, hazard and mortality functions, and analysis of gene expression data are covered. Usually offered every fall. Meets with STAT-622. Grading: A-F only. Prerequisite: STAT-302, or STAT-320, or STAT-514. この科目では、生物医学の4つの主要分野である臨床試験、疫学、生存分析、バイオインフォマティクス（生命情報学）における複雑な問題を理解するために使用される方法論を紹介する。臨床試験の諸段階、疫学と疾病の動態、生存の推定、ハザードと死亡率の関数、および遺伝子発現データ解析が含まれる。 STAT-622に対応する。通常、毎秋学期に提供される。評価はA-Fのみである。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-424 Data Analysis	An introduction to exploratory data analysis including graphical summaries, model assessment and selection, model inference and averaging, and data mining elements. Explores supervised statistical learning for regression and classification, unsupervised machine learning algorithms, and related topics. Meets with STAT-624. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT-415. この科目では、グラフィカルサマリー、モデル評価と選択、モデル推論と平均化、データマイニング要素などの探索的データ分析の紹介を行う。回帰と分類に関する教師付き(supervised)統計学習と、教師無し機械学習(unsupervised machine learning)アルゴリズムを探索する。 STAT-624に対応する。通常、毎春に開講される。登録前提条件:STAT-415。	
	アメリカン大学	STAT-425 Statistical Software	Introduction to the use of the SAS language to prepare, modify, and analyze data, interpret output and final preparation of results. Emphasis on practical programming principles and use of built-in procedures. Comparisons with other programming languages. Meets with STAT-625. Usually offered every fall. Prerequisite: STAT-514 or two statistics courses. この科目は、SAS言語を使用するためのデータの準備、修正、分析、出力の解釈と結論の最終的な準備について紹介する。実用的なプログラミング原則と組み込みプロシージャの使用を重視し、他のプログラミング言語との比較を行う。STAT-625に対応する。通常、毎秋に開講される。 前提条件:STAT-514または2つの統計科目を履修していること。	
	アメリカン大学	WGSS-150 Women's Voices Through Time	This course focuses on distinctive contributions of women to Western artistic and intellectual traditions; significant articulations of human experience expressed by women through literature, art, and history; how such traditions became established; and how women, despite obstacles, have produced lasting works of ideas and imagination. Usually offered every spring. 本科目では、西洋の芸術的・知的伝統への女性の際立った貢献、文学、美術および歴史を通して女性により表現される人間の経験の意義深い明確な表現、こうした伝統がどのように確立されたのか、そして女性がどのようにして障害を排して不朽の思想および想像の作品を生み出したのかに注目する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	WRTG-100 College Writing	Develops students' skills in reading with understanding, summarizing and synthesizing information accurately, and writing correct, reasoned prose. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. 情報を正確に理解、要約、総合する学生の読解力、また正確で筋の通った散文を書く作文力を向上させる。通常は、毎学期に開講する。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	

基礎科目	アメリカン大学	WRTG-101 College Writing Seminar	Continues the work begun in WRTG-100, stressing the student's abilities to construct extended arguments, to synthesize diverse materials, and to pursue library research. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-100. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-100で開始した課題を継続して学ぶ。広範な議論を構築し、多様な資料を総合し、図書館で調査を行う学生の能力に重きを置く。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-100履修を条件とする。注意：WRTG-100およびWRTG-101をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-102 College Writing	WRTG-102 is a specially designed version of WRTG-100. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-102はWRTG-100の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。注意：WRTG-102およびWRTG-103をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-103 College Writing Seminar	WRTG-103 is a specially designed version of WRTG-101. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-102. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-103はWRTG-101の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-102履修を条件とする。 注：WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	

基礎科目	アメリカン大学	WRTG-106 College Writing, Intensive	Develops students' academic writing and research skills. Builds students' abilities to construct extended arguments and synthesize diverse materials. Emphasizes information literacy, including evaluating source material and making strategies and appropriate use of different sources. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-106 with a grade of C or better and an Advanced Placement English Language and Composition score of 4 or 5, or a Higher Level International Baccalaureate Examination score of 5 or higher fulfills the university College Writing Requirement. この科目は、生徒のアカデミックライティングとリサーチスキルを向上させる。展開的な議論を構築し、多様な資料を統合する能力を育成する。情報源の評価、戦略の作成、さまざまな情報源の適切な使用など、情報リテラシーに特化して教授する。通常、すべての学期で開講される。 注：WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
	立命館大学	Introduction to Linguistics	This course introduces students to the study of language. The course provides students with a comprehensive understanding about contemporary linguistics through subjects such as the origin and properties of language, the differences and similarities between animal and human communication, the properties of grammar, the types of language acquisition, as well as the relationship between language and culture. By giving ample examples from various languages, the centric focus of the course is on how reality is perceived and reflected in language, and also on how language and thinking are related to each other. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、言語研究への入門科目である。この科目では、言語の起源や基礎的な特徴、人間と動物のコミュニケーションの相違点と類似点、言語学習の類型、言語と文化との関係等のトピックを提示した上で、言語学について総合的な知識を与える。この科目において、現実認識と言語のあり方との関係性、そして言語と思考との関係性は中心的な課題である。この科目は、基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Introduction to Anthropology	This course will introduce students to the central topics, concepts and methods of socio-cultural anthropology, which can be broadly defined as the study of human cultures and societies. It will survey the key topics in contemporary socio-cultural anthropology and offer insights into how the seemingly most commonsensical aspects of people's lives can be informed by the social contexts of which they consider themselves a part. The course focuses on anthropological theories, thus also providing a historical overview of the discipline. It draws on ethnographic examples and case studies from various societies, but contemporary Japan will be central, in order to provide students with an understanding of where we are living. Active participation in discussion will be fundamental.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、様々な人間集団の文化と社会を考察する学問である文化人類学についての入門的知識を提供する。この科目では、文化人類学における理論に着目することにより、本学問の歴史的展開も検討の対象とする。また、私たちが暮らしている枠組みを分析するため、現代日本に関わる事例が中心的になる。この科目は講義形式で行われるが、議論への積極的な参加が期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Sociology for Global Studies	This course introduces students to the study of sociology. This includes a brief introduction to the history of sociology, the sociological way of thinking, sociological dilemmas, social relations and institutions, as well as the study of micro and macro-level issues. In doing so, the students will learn fundamental concepts related to sociology in order to have a wide-ranging lexical knowledge in this academic field, they will also acquire a basic analytical ability indispensable for the study of global issues and the conditions of the international community from a sociological perspective. The course is basically a lecture course, but there is also enough room given for doing both open discussion and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は社会学への入門科目である。本授業では、社会学史や社会学的な考え方への入門、社会学的なジレンマ、社会関係や社会的諸制度のあり方、そしてミクロとマクロレベルにおける様々な社会現象から論じる。そうしながら、学生は社会学の分野における幅広い語彙的知識を持つために、社会学に関連した基本的な概念を学び、また、社会学的観点から国際社会の状況やグローバルイシューの研究に不可欠な基礎的分析能力を獲得する。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Politics for Global Studies	This course uses the history of Western political thought to explore and introduce wider issues in politics such as the roles and responsibilities of political organisations, their leaders, and their subjects / members; as well as concepts such as democracy, communism, utilitarianism, and others; and how these have evolved over time. With classes covering the era from ancient Greece to the mid-20th century, the major 'classic' works of European political thought are examined. The content of the course also introduces students to key concepts and ideas which form the basis of both the academic discipline of politics and the origins of International Relations as a distinct field of academic inquiry.The teaching methods of the module are designed to develop cognitive, writing and presentation skills. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、民主主義、共産主義、功利主義などの概念、政治団体、その指導者、支持者／メンバーの役割と責任、およびこれらの変遷など、西欧政治思想史を用いて政治の幅広い事項を概説する。授業では古代ギリシャから20世紀半ばまでの時代をカバーし、欧州政治思想の主要な「古典的」著作について考察する。学術的探求の明確な一分野として、政治学の学問領域および国際関係学の起源の基盤となっている主要な概念と考え方も取り上げる。認知、記述、プレゼンテーションのスキルを伸ばす授業形態をとる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Modern World History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Professional Workshop	Through specialized workshops spanning lines of work that include government, media, and private enterprises, this course presents specialized knowledge and information to students with a professional interest in these areas and imparts specific and practical knowledge needed for their career path. Students will actively examine issues and make reports based on talks from guest speakers conversant in their respective fields and on guidance from teaching staff with practical experience in that area. This course will afford students the opportunity to contemplate their career after graduation. Assessment is formative. この科目では、行政、メディア、民間企業といった各業種に関する専門的なワークショップを設け、当該分野を志望する学生に対して、専門的な知識や情報を提示するとともに、キャリア・パスのために必要な実践的で具体的なノウハウを教授する。この科目では、それぞれの分野に精通したゲスト講師の講演や、当該分野で実務経験を有する教員による指導を踏まえて、学生の主体的な検討と報告を中心に行われる。この科目により、自らの卒業後のキャリアについて考える機会を提供する。評価は、形成的評価により行う。 (オムニバス方式/前15回) (25 西崎 純代/7回) 上記テーマのうち、主としてビジネスに関する分野、日本国内に関連する分野について取り扱う。 (24 林 恩廷/7回) 上記テーマのうち、主として国際機関に関する分野、国際的な領域に関連する分野について取り扱う。 (25 西崎 純代 24 林 恩廷/1回) (共同) 上記のうち、総括的内容について取り扱う(総括プレゼンテーション等)	オムニバス方式・共同(一部)

基礎科目	立命館大学	Academic SkillsI	The aim of Academic Skills I is to familiarize students with theories, historical developments and current issues in the field of International Relations while developing their reading and critical thinking skills. In class, students will analyze and evaluate assigned readings for content, structure, facts and opinion, language use, implied meaning and contradictions, compare opposing viewpoints and express their own standpoint supported by evidence from the text or other relevant outside sources. Class activities may include group discussions, oral presentations, formal debates as well as units on rhetoric, grammar refresher spotlights and short response papers. The focus of this course is on developing students' conceptual background, power of analysis, and sense of diversity. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミック・スキルⅠの目標は、リーディング・スキルとクリティカルシンキング・スキルを習得する一方で、国際関係学の分野の理論、歴史的な展開、および現在の問題について学ぶことである。この科目では、学生は課題の資料を分析し、内容、論理構造、事実と意見、含蓄された意味や矛盾点を検討する。また、対立する考え方を比較し、根拠のある自己の意見を表す。グループディスカッション、プレゼンテーション、ディベートをおよび短いエッセイを作成する。学生の思考力、分析力、そして多様性に対する感性を伸ばすことに重点を置く。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基礎科目	立命館大学	Academic Skills II	The aim of Academic Skills II is to develop students' academic writing competence together with related skills such as critical thinking, autonomous learning, research and referencing, team work and IT skills. Students will examine contentious issues in International Relations, identify key questions and construct well-supported, logically sequenced arguments to address these questions. They will familiarize themselves with conventions of academic writing, expand their academic vocabulary and increase their control over complex grammar. Class activities may include group discussions and oral presentations, sentence, paragraph and essay-level writing, as well as academic skills training such as paraphrasing, citing and referencing. The focus of this course is on developing students' research skills, power of argument and support, written expression, and awareness of writing conventions. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅡの目標は、クリティカル・シンキング、ITを含むリサーチ・スキルといった他のスキルとともに、ライティング・スキルを習得することである。学生は、国際関係学の論争を検討し、重要な問題を認識し、論理的な議論を用いてそうした問題に言及する。また、アカデミックなライティングに慣れ、語彙を増やし、複雑な文法を駆使する。この科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションを行い、さらにエッセイを書く。また、パラフレーズ、引用と参照文献を含むアカデミック・スキルを用いた練習も行う。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基礎科目		立命館大学	Academic Skills III	The aim of Academic Skills III is to solidify students' writing, research and academic interaction skills. Students will conduct in-depth research on a topic of their choice within International Relations, integrating a wide range of academic sources, and present their findings in the form of a substantial academic paper accompanied by a conference-ready oral presentation. Class activities may include progress reports on individual research, a series of writing and editing sessions, critical discussions of research methods, research ethics and underlying research paradigms, as well as lectures and discussions on emerging theoretical and practical issues in IR. The focus of this course is on developing students' academic literacy and voice while creating a deeper understanding of the complex nature of academic research and scholarship. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅢの目標は、学生のライティング・スキル、リサーチ・スキル、アカデミックなコミュニケーション・スキルを強化することである。学生は国際関係学分野における選択したトピックについて十分な調査を行い、幅広いアカデミックな資料を組み入れ、カンファレンスでの口頭発表に伴う論文の形で研究結果を提示する。この科目では、各自の研究について進行状況を報告したり、ライティング・セッションを行ったり、研究方法について批判的な議論を行ったり、研究倫理やリサーチのパラダイムなどについても議論する。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	
基幹科目	基礎経済学	アメリカン大学	ECON-100 Macroeconomics FA4	Introduction to the basic principles of aggregate economic analysis. Includes measurement and determinants of national income, unemployment, inflation, economic growth, and business cycles. Topics also include historical perspectives, alternative approaches to economics, and current issues and controversies. Usually offered every term. 経済の総体的な分析のための基本原理を紹介する。国民所得、失業、インフレーション、経済成長、景気循環等の測定や決定因子等を対象とする。また歴史的側面、経済学に対する代替アプローチ、時事的な問題や論争といったトピックも扱う。通常は、毎学期に開講する。	
		アメリカン大学	ECON-200 Microeconomics FA4	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 市場や様々な経済主体の行動に対する分析について紹介する。内容として、需要と供給、消費者や企業の行動、競争市場対独占または寡占、所得分布、差別、国際貿易等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	

基幹科目	基礎経済学	立命館大学	Macroeconomics	This is the core theory course in macroeconomics designed for global studies students. Macroeconomics, the study of the economy as a whole, is concerned with economy-wide phenomena such as growth, inflation, employment, money stock, and the balance of payments. We will study the theoretical framework of macroeconomics and learn to apply it to the analysis of macroeconomic policy issues. Emphasis is placed on understanding relations among macroeconomic variables and tools of analysis for the open economy. Monetary and fiscal policies as well as their cross-border spillover effects are also discussed. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル・スタディーズを専攻する学生を対象にしたマクロ経済学の基本理論である。経済を1つの全体として研究するマクロ経済学は、成長、インフレ、雇用、マネーストック、国際収支など経済全体としての現象を扱う。この科目では、マクロ経済学の理論的枠組み、マクロ経済政策課題の分析へのその応用を学ぶ。マクロ経済の様々な変数の関係、開放経済の分析ツールを理解することに重点を置く。金融・財政政策とそれらの国境を越えた波及効果も取り上げる。この科目は講義形式が最適ではあるが、クラスディスカッションも行うので積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Microeconomics	This is the core theory course in microeconomics designed for international relations students. microeconomics explores how consumers and firms behave, markets function, and government policies shape economic results. Starting from the basic ideas of opportunity cost, gains of trade, and supply and demand, we will study the principles of microeconomics that have important implications for global economic issues. Emphasis is placed on understanding tools of analysis for international trade models. We will also discuss optional topics such as information, game theory, and decision-making under uncertainty. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際関係学を専攻する学生のためのミクロ経済学概論である。ミクロ経済学は、消費者や企業の行動、市場の機能、政策が経済的成果をどのように形成するのかを探求する。機会費用、交換の利益、需要と供給の基本概念からスタートし、グローバル経済に大きな影響を与えるミクロ経済学の原則を学ぶ。国際貿易モデルの分析ツールを理解することに重点を置く。また、情報、ゲーム理論、不確実な状況下での意思決定などのトピックも適宜議論する。この科目は講義形式に適しているが、学生はクラスディスカッションにも積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基幹科目	国際政治	アメリカン大学	SISU-105 World Politics FA3	Patterns of conflict and cooperation in a rapidly-changing world. The primary focus is on concepts and theories which provide a framework for analyzing and understanding contemporary issues. The course examines the behavior of states and other international actors, seeks to explain foreign policies, and identifies the main characteristics of interaction among states. Usually offered every term. Grading:A-F only. 急速に変化する世界における紛争と協力のパターンを明らかにする。現代的課題を分析し理解するための枠組みとなるコンセプトや理論を中心に扱う。本科目では、世界各国や国際的組織の行動を検証し、外交政策について説明し、諸国間の関係における主な特性を明らかにする。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	
		立命館大学	Theories of International Relations	This course will introduce students to the basic theoretical approaches to international relations. The aim of the course is to learn about a variety of distinct perspectives and how they highlight different aspects of international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group work, etc. By studying for this course, students will be able to understand the basic theories, concepts and debates in International Relations and to apply these insights to contemporary international affairs.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際関係学の基本的な理論を取り上げる。国際関係についての多様な理論的視座を学ぶことによって、国際社会の諸課題を多角的に検討する。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の基礎的な理論、概念や論争を理解し、それらを実際の国際関係の諸問題にむすびつけて考えることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基幹科目	国際政治	立命館大学	Introductory Seminar I	The purpose of the course is to leave students with a foundational knowledge of world politics and an appreciation of a range of the major issues that future practitioners in international affairs will confront in the 21st century. The course also serves as an introduction to university life and as such also seeks to provide the skills students need relating to their studies, including, research, note taking, critical thinking, and on life in Japan and at university in general.This course will use formative evaluation. この科目の目的は、世界政治の基礎知識を身につけ、将来の実務家が21世紀の国際情勢で直面する主要課題を幅広く理解することである。この科目は大学生活への導入にもなり、リサーチ、ノートの取り方、批判的思考を含め、学業や大学生活全般に関連して、また日本での生活に必要なスキルを提供する。評価は、形成的評価で行う。	
	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	SISU-106 First Year Seminar	Topics vary by section, not repeatable for credit. This seminar course introduces first semester AU home and 4th semetser RU students to major current world affairs and to life at American University. This is a cohort class where RU and AU students will study together. Grading: A-F only. セクションにより異なったトピックを扱うが、重複して単位を取得することはできない。本科目では、第一セメスターAUホーム学生と第四セメスターRUホーム学生を対象とし、現在の主な国際情勢と、アメリカン大学における学生生活について紹介する。本科目は、RU学生とAU学生が一緒に受講するコホートクラスとなる。A-F評定のみ。	共同開設科目
		アメリカン大学	SISU-140 Cross-Cultural Communication FA3	Examines the impact of culture on communication, perception, thought patterns, values, and beliefs in order to better understand the behavior of individuals within different societies. Specific concerns include the dynamics of verbal and nonverbal communication; the relationship between dominant cultures and subcultures; ethnic, racial, class and other forms of diversity within countries and organizations; third-culture and multicultural persons; and the dynamics of cross-cultural adjustment. Usually offered every term. Grading: A-F only. 様々な社会の中の個人の行動について理解を深めるために、コミュニケーション、感性、思考パターン、価値観、信念に対する文化の影響について考察する。特に、言語／非言語コミュニケーションのダイナミクス、メジャーカルチャーとサブカルチャーとの関係、国内や組織内における民族、人種、階級その他の多様性、第三カルチャーおよび多カルチャー人格、異文化間調整のダイナミクス等を検討する。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	

基幹科目	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	Japanese Culture	This course introduces students to the study of Japanese culture. The course is devoted to decompose the Japan myth as a unique society, and to reconstruct its real conditions from a cultural anthropological perspective. This includes a general introduction to core issues in the field of cultural studies, as well as to the genealogy of Japanese self-images such as “mixed nation” or “one nation”, invented traditions in modern Japan such as “harmony”, and also a reconsideration of popular images and theories on Japanese culture such as those regarding collectivism, conformity or shame culture. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This is a cohort class and Course Jointly Designed by Ritsumeikan University and American University, JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. この科目では、日本の文化について紹介する。日本の通説を独特の社会として解析し、文化人類学的視点からその実態を再構築する。これには、文化学分野の中核となる問題の概略紹介や、「混合国家」や「単一国家」などの日本の自己像の系譜、「調和」などの現代日本でつくられた伝統、集団主義、調和、恥じの文化など、日本の文化に関する一般的イメージや理論の再考が含まれている。科目は基本的に講義形式で行われるが、生徒が主体となる学習プロセスを促進するため、オープンディスカッションやグループディスカッションも行われる。これはコーホートクラスであり、かつアメリカン大学と立命館大学との共同開設科目である。JDクラスの学生は自国の文化や同級生の文化の理解を深める機会となる。	共同開設科目

基幹科目	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	Cultural Awareness and Communication	This course offers a critical approach to the field of Cross-Cultural Communication by introducing students to ideas of 'culture' and 'identity'. An understanding of these two concepts is fundamental to all human interaction and a knowledge of the worldwide variations found will enhance the ability of students to communicate successfully across boundaries at all levels. We also look at the importance of language in understanding cultures, and variations in fundamental understandings of such concepts as 'space' and 'time' which are shared by human beings around the world. The emphasis of the course is on human commonalities, rather than surface differences. This is a cohort class and Course Jointly Designed of Ritsumeikan University and American University. JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. このコースは、学生に「文化」と「アイデンティティー」の概念を導入することにより、異文化間コミュニケーションの分野に対する批評的なアプローチを提供する。このような二つの概念の理解は、あらゆる人間の相互作用にとって基本的であり、見出される世界的な相違に関する知識が、あらゆるレベルにおいて、境界を越えるコミュニケーションを成功させる学生の能力を強化する。私たちはまた、文化の理解における言語の重要性、および世界中の人間が共有する「空間」および「時間」のような概念の基本的な理解における差違に目を向ける。このコースは、表層的な差違ではなく、人間の共通性を重視する。これはコホート・クラス、立命館大学、アメリカン大学による共同開設科目であり、JDの学生は、自身の文化および仲間の学生の文化をさらに理解する機会を得る。	共同開設科目
	経済学	アメリカン大学	SISU-300 Introduction to International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Grading: A-F only. Prerequisite: ECON-100 and ECON-200. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場や変動為替相場等も対象とする。A-F評定のみ。 ECON-100およびECON-200履修を条件とする。	

基幹科目	経済学	アメリカン大学	ECON-370 International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Usually offered every term. Prerequisite: ECON-100 and ECON-200. Note: Intended for majors in other teaching units and BA in Economics: general track. No credit toward BA in Economics: international track, BS in Economics, or BS in Mathematics and Economics. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場、変動為替相場も対象とする。通常は、毎学期に開講する。 ECON-100およびECON-200履修を条件とする。 注意：他の科目専攻学生と経済学BA（一般科目）を対象とする。経済学BA（国際科目）、経済学BS、数学および経済学BSには単位認定は行わない。	
		アメリカン大学	ECON-371 International Economics: Trade	Theories of international trade and its impact on national economies, including overall welfare gains and redistributive effects; analysis of the effects of tariffs, quotas, and other trade policies. Topics include capital and labor mobility, trade and development linkages, and preferential or regional trade agreements. Usually offered every spring. Prerequisite: ECON-300 or ECON-400. 国際貿易の理論と、その国民経済に対する影響（全体的な福利の向上と再分配効果および関税、割当、その他貿易政策の影響解析を含む）。また、資本移動や労働移動、貿易と開発との関係、特恵貿易協定や地域貿易協定といったトピックも対象とする。通常は、春学期に開講する。 ECON-300またはECON-400履修を条件とする。	
		アメリカン大学	ECON-372 International Economics: Finance	Determination of income, employment, and inflation in open economies; international impact of monetary-fiscal policies under fixed and flexible exchange rates; theories of exchange-rate determination; and international monetary organization and reform. Usually offered every fall. Prerequisite: ECON-301 or ECON-401. Recommendation: STAT-202 or STAT-203. 開放経済における所得、雇用、インフレーションの決定について明らかにする。固定為替相場や変動為替相場における金融・財政政策の国際的影響。為替レート決定理論、国際金融機関と改革。通常は、秋学期に開講する。 ECON-301またはECON-401履修を条件とする。 STAT-202またはSTAT-203を履修していることが望ましい。	

基幹科目	経済学	立命館大学	International Finance	This course covers the core set of principles of international finance. We first introduce the basics of international finance, including the balance of payments, roles and functions of the foreign exchange market, and interrelations among macroeconomic variables in an open economy. We then discuss currently topical issues such as international financial crises and monetary unions. The goal is to enable students to understand the relationship between the real economy and international finance and the basic forces behind international capital movements. Upon successful completion of this course, students will gain a keen insight into international financial markets. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際金融の重要な論点をカバーする。国際収支、外国為替市場の役割と機能、開放経済におけるマクロ経済変数の相互連関など、国際金融の基礎を解説した後、国際金融危機や通貨同盟などの今日的な問題を論ずる。この科目を通じ受講者は、実体経済と国際金融の連関や、国際資本移動をもたらす要因などを理解し、国際金融市場に対する識見を高めることが期待される。授業は科目内容に相応しい講義形式で行うが、受講者の積極的な参加が望まれる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Trade and Investment	This course deals with international trade and investment as two of those three pillars of international economics which include international finance. It is primarily a lecture-based course, which gives theoretical explanation of Classical and Neoclassical trade theories (and others) and international investment theory starting from Hymer and moving through to the Eclectic theory. The course promotes theoretical understanding of the basic framework of the modern world economy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際経済学の3つの構成要素である国際貿易、国際投資、国際金融のうち前記2つを取り扱う。この科目では、主として講義形式により、国際貿易の基本理論を古典派、新古典派等を通じて理解したのち、多国籍企業による国際投資に関するハイマー以来、折衷理論にいたる理論的発展を概観する。この科目を通じて、英語をツールとして、現代世界経済の基本的枠組みの理論的な理解を促進する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

リサーチメソッド科目	アメリカン大学	SISU-206 Introduction to International Relations Research	Introduction to scientific method, data gathering, research design, statistical analysis, and computer applications for international relations and comparative studies research. The course is designed for the beginning student and employs a hands-on approach. The course also develops the analytical skills students need as active consumers of research findings. Applications are geared to research projects to be encountered in subsequent SIS courses. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: International Studies (BA). 国際関係学や比較研究における科学的手法、データ収集、研究設計、統計解析、コンピュータの活用について紹介する。本科目は、初学者を対象とし、実践的な学習活動を行う。また、学生が研究結果を積極的に活用するために必要となる分析技能の開発も行う。今後のSISの授業で遭遇する研究プロジェクトに応用できる技能を対象とする。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 国際研究(BA)限定。	
	立命館大学	Introductory Seminar II	The purpose of the course is develop their analytical and practical skills necessary to begin conducting independent academic research. Using the seminar work by some reference materials, this class guides students through the process of conducting research from thinking of a topic through to the production of the final report. In the process students develop a detailed research project and report in a step by step process and enhance their critical thinking and research skills by continually refining and refocusing their research plans, sources of data, and topics in order to learn how to produce quality academic work. This course will use formative evaluation. この科目の目的は、独自の学術研究を始めるために必要な分析力と実践力を身につけることである。様々な参考資料を用いて、テーマの選定から最終レポートの作成まで研究のプロセスを学ぶ。学生はこのプロセスに従って、詳細な研究計画を立てて段階的にレポートを作成する。研究計画、データソース、テーマを継続的に見直し、調整することにより、批判的思考と研究のスキルを磨き、質の高い論文を作成する方法を身につける。評価は、形成的評価で行う。	

リサーチメソッド科目	立命館大学	Global Studies Research	This course aims to introduce students to the basic principles of interdisciplinary social science research that are particularly relevant to the fields of global studies and International Relations. The course will provide students with information about the methods and tools used in research and the situations in which they are applied. Topics include: understanding the purpose of research; identifying researchable issues; finding, evaluating, and using sources effectively; recognizing methods associated with different types of data; and writing a research report. The course will prepare students for undertaking research in areas such as globalization, international relations, international law, international governance, international human rights, global security and justice, international and transnational crime, international aid and development, environmental protection, comparative politics, immigration and multiculturalism. Students will be encouraged to select a research topic, develop a research plan and prepare a report based on the tools and methodology learned in class. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、とくにグローバル・スタディーズと国際関係学に関わる学際的な社会科学研究の基本原則を概論し、これらの基本原則が応用される研究や状況で用いる方法論とツールに関する情報を提供する。授業で取り上げるトピックは、研究目的の理解、研究対象の特定、ソースの効果的な特定・評価・活用方法、データのタイプに応じた研究方法の認識、研究レポートの作成などである。この科目は、グローバリゼーション、国際関係、国際法、国際ガバナンス、国際人権、世界の安全保障と正義、国際・越境犯罪、国際支援・開発、環境保護、比較政治学、移民、多文化主義などの分野の研究に取り組むための準備段階である。学生は授業で学ぶツールと方法論に基づいて、研究テーマの選択、研究計画の策定、レポートの作成を行うことが求められる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced Seminar (Research Methods)	Building upon the skills learned in ‘Global Studies Research’ students will plan and conduct a research project in a specific academic field of their choosing under the guidance of a single professor. They will receive more focused methodological instruction and will further develop their research skills through focused, sustained, and systematic research on a single topic. This will Improve students’ understanding of research methods and methodology in international affairs and encourage them to become a critical, reflective consumers and producers of research. この科目はGlobal Studies Research で学び、開発されたスキルを生かして、学生が担当教員の指導に基づいて選択する固有の分野において、リサーチ・プロジェクトを実施するものである。この科目では、学生は、リサーチ手法についての指導を受け、ひとつのトピックに関するフォーカスが明確で、持続可能かつ計画的なリサーチスキルを構築する。この授業は国際関係に関する学生のリサーチ手法と方法論に関する理解を促進し、研究に関する批判的、応答的な主体者び活用者となるよう働きかける。	

リサーチメソッド科目	アメリカン大学	SISU-306 Advanced International Studies Research	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Application of research methods in international studies to an original research project. Rotating topics focus on a specific research methodology or a specific subject area. Methodologies covered include survey research methods, comparative case study analysis, game theory, discourse analysis, and ethnographic research methods. Areas include foreign policy, civil war and intervention, and nationalism. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際関係学の研究手法を、各自のプロジェクトに適用する。特定の研究手法や特定の対象分野に対して、内容で順次開講する。対象となる方法論として、調査研究手法、比較ケーススタディ分析、ゲーム理論、談話分析、民族誌的調査方法がある。分野としては、外交政策、内戦と介入、ナショナリズム等が対象となる。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-206履修を条件とする。	
外国語科目	立命館大学	日本語Ⅰ-1(総合)	ごく基本的な日本語をある程度理解・発信することができるようになる。ごく初歩的な文法、平仮名、片仮名、漢字(50字程度)、語彙(400語程度)を習得し、あいさつや自己紹介ができたり、数を数えたりすることができるようになる。単語やごく短い文の読み書きができるようになる。ロールプレイなどを通じ、教室や日常生活によくある場面の単純なやりとりの会話や聞き取り練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅰ-2(総合)	ごく基本的な日本語の理解・発信能力を定着向上させる。初歩的な文法、漢字(150字程度)、語彙(800語程度)を習得し、自身の日常的な行動などについて、限られた表現でごく簡単に話すことができるようになる。平易な短文の読み書きができる能力を身につける。ロールプレイや会話練習を通じて、自分の家族について語ったり、自分の考えや希望、経験を述べたり、相手を誘ったりする練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅱ(ライティング)	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。新たに漢字(200字程度)を習得する。日常的な話題について、簡単な文章を書くことができるようになる。初歩的な漢字や語彙、初級文法を使って短い文章を書く練習をする。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅱ（総合）	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。初歩的な文法、語彙（1,500語程度）を習得し、ごく身近なテーマについて簡単な発話をしたり、聞いて理解する能力を身につける。平易な文や短い文章が読み書きできる能力を身につける。身の回りのことなど、主として具体的で日常生活に関係が深く、場面に密着したことがらを描写するために必要な初歩的な文型や表現を学習し、「読」・「書」・「聴」・「話」の四技能の向上を図るための練習を行う。初級文法の学習を終える。	
	立命館大学	日本語Ⅲ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。接続表現を適切に使った段落単位の文章が書けるようになり、平易な話題について、説明や意見表明の文章が書けるようになる。文の間の意味関係を意識した文章を産出する練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅲ（総合）	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。日常生活に必要な基本的な会話や、身近なテーマに関する簡単な叙述ができるようになり、身近なテーマに関する簡単な文章を理解する能力を身につける。日常会話を話題や場面に応じて適切に行うのに必要となる文型や語彙を学習する。待遇表現を含め、コミュニケーションを円滑にする話し言葉を学習する。また、複数段落の文章を読み、接続表現などに注意して大意を把握する。	
	立命館大学	日本語Ⅳ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的な話題について、フォーマルな文体でまとまった文章が書けるようになる。書式に則ってさまざまな用紙に記入することができるようになる。一般的なことがらに関する文章を産出する練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅳ（総合）	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的なことがらについて、簡単な会話ができ、多少まとまりのある文章を理解する能力を身につける。論理的な文や文章の構成に必要な文法、表現、語彙などの学習をさらに進める。また、常体と敬体の使い分けを学び、常体の文章に慣れる。教材は日常的なテーマについて、身近なことから一般的な内容へ広がりのあるものを用いる。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅴ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。抽象的な語や比較的平易な専門用語を文章の中に適切に用いることができるようになる。さまざまな接続表現や文末表現を用いて、論理的な段落構成を踏まえた文章を書くことができるようになる。現代社会、文化、各自の専門分野など、幅広い話題について説得力のある文章を書く練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅴ（総合）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。一般的なことがらについて幅広い会話ができ、論理的にまとまりのある発話ができ、論理的でまとまりのある文章を理解する能力を身につける。社会や文化など、多様なテーマの文章を教材として、その中で使用されている語彙、表現、文法などを学習するとともに、論理展開を予想しながら読むことを学ぶ。また、接続表現や機能表現などを含む論理的でまとまりのある発話に必要な表現力を涵養する。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（ライティング）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになり、専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（総合）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになる。専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（聴解口頭）	幅広い場面やテーマのまとまりのある会話、ニュース等を聞き、話の流れや内容を理解する活動を行う。また、現代日本社会や時事問題等のテーマでディスカッションやスピーチを行い、より高い表現能力を養う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅶ（聴解口頭a）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。大学での講義を正確に聞き取ることができ、それをノートに正確にまとめることができるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の授業に参加するために必要な聴解力・口頭表現力を養う。ノートのとり方、講義の聞き方の練習を中心とし、自分の意見を正確に伝える力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（聴解口頭b）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。発表に必要な分析能力、批判能力を身につけ、論理的に話せるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の講義に参加するために必要な聴解力・口頭表現能力を養う。自分の関心のあるテーマについて情報を収集し、論拠を提示しながら論理的に話す力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（読解a）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。読解のスキルを身につけ、文章構成、論理展開を把握し、推量、予測しながら読み進める力を養う。段落ごとに内容を理解し、文章全体の大意把握、要約ができるようになる。様々な文章の読みを通して読解のスキルを磨き、文章の内容をより速くより正確に掴めるようにすると共に、その背景にある日本文化・社会に対する理解を深める。さらに、段落の要点理解から、文章全体の大意を把握し要約する力を養う。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（読解b）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。読解のスキルを用いて、複雑な構造の長文の大意把握、要約ができ、評論、論説の読み方に習熟し、筆者の考え方、ものの見方をクリティカルに読み取り、自分の意見を述べることができるようになる。評論、論説文、小説等複雑な構造の長文を速読して、論旨を読み取り要約し、自分の意見を構築することを目指す。また異なる視点から書かれた文章を読み比べるなど、文章をクリティカルに読む姿勢を身につける。	
	立命館大学	日本語Ⅶ（文章表現a）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。大学の授業で必要とされるレポートの全体像をつかみ、適切な文体や目的に応じた表現を使い、簡潔な形でまとめられるようになる。レポート作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅶ（文章表現b）	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル（アカデミック・ジャパニーズ）を身につける。論文作成に必要な文章構成に基づき、適切な文体や目的に応じた表現を使えるようになる。アウトラインの作り方と論証の仕方を練習し、小論文が書けるようになる。論文作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語a）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れ、高度な読解力、文章表現力、聴解力、口頭表現力を総合的にのばす。難解な文章を読み、内容や構成を把握でき、長文レポートの文章構成力、作成力、論理的な思考力や認識力、論理的発信力を身につける。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語b）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れた総合的日本語力をのばす。関心のあるテーマについて情報やデータを収集し、論文を作成できるようになる。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語a）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。日本の社会や慣習を理解し、ビジネス場面における適切な表現、語彙を学ぶ。社会人としての基本的な敬語や待遇表現を身につけ、円滑なコミュニケーションができるようにする。	
	立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語b）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。実際のビジネス場面（電話、訪問、商談、等）に即したコミュニケーションの方法、ビジネス文書やメール文の実務的な表現や書式を学ぶ。プレゼンテーションの練習を行う。	

外国語科目	アメリカン大学	JAPN-114: Elementary Japanese I	Prepares students to function in everyday situations in the Japanese-speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every fall この科目は、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎秋学期に開講される。	
	アメリカン大学	JAPN-115: Elementary Japanese II	Continuation of JAPN-114. Prepares students to function in everyday situations in the Japanese-speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-114. この科目はJAPN 114科目の継続版であり、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎春学期に開講される。 当該科目を履修する場合は、JAPN114を履修していることが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-214: Intermediate Japanese I	Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-115. この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎秋に提供される。この科目を受講するに当たっては、JAPN-115を履修しておくことが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-215: Intermediate Japanese II	A continuation of JAPN-214. Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills.Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-214. この科目はJAPN 214科目の継続版である。この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN214を履修していることが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-314: Advanced Japanese I	Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-215. この科目は、本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎秋に提供される。 この科目を受講する場合、JAPN-215を履修しておくこと。	

外国語科目		アメリカン大学	JAPN-315: Advanced Japanese II	Continuation of JAPN-314. Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-314. この科目はJAPN 314科目の継続版である。本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN314を履修していることが求められる。	
		アメリカン大学	JAPN-490: Independent Research in Japanese	This course is individually designed by the student and faculty member to explore an area of research in Japanese. この科目は、受講する学生と担当教員の間で、日本語/日本に関する分野の研究を行っていくために、それぞれの場合に応じて設計される。	
固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance	This course examines explanations for the major changes in political order and governance over time and across the globe. Topics include the rise and decline of empires and caliphates, the rise of and challenges to the nation-state and the state system, and the emergence of regional and global international organizations and institutions. Usually offered every term. Grading: A-F only. この科目では、政治秩序やガバナンスの大きな変化について、時代の経過と、グローバルな観点で説明する。トピックには、帝国およびカリフ制の勃興および没落、国家および国家体制への挑戦、ならびに地域および世界の国際的組織および機関の出現が含まれる。通常、すべての学期で開講される。グレーディング：A-Fのみ。	
		立命館大学	Introduction to The United Nations	The aim of this course is to introduce students to the United Nations'(UN) history, functions, structures, and contemporary challenges. By studying for this course, students should be able to understand the key concepts related to the UN and to apply these insights to contemporary international affairs. The course traces the development of the UN and its 'practices' within international politics. The course will consist of small group and class discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際連合の歴史、機能、構成、および今日の課題を概説することを目的とする。この科目を学ぶことにより、学生は国際連合の主要な概念を理解し、その洞察を現代の国際問題に応用できるようにする。国際政治の中での国際連合とその慣行の発展をたどる。講義は基本的に、小グループとクラス全体でのディスカッションにより進める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Comparative and Global Governance	The course looks at different ways of thinking about the drivers of history and the sources of political order and the ability of these approaches to explain developments in key historical periods: The rise of the nation-state and the competitive state system; the spread of democratic and non-democratic regimes; and the rapid increase in the number and importance of international institutions and the rise of new powers and alternative political orders in the contemporary period. The course will conclude with an effort to bring informed historical and theoretical arguments to bear on contemporary problems and to better anticipate and understand potential avenues of change in the future. この科目は歴史の推進要因と政治秩序の根源に対する様々な考え方と主要な歴史的時期における発展－国民国家の台頭と競争的国家システム;民主的および非民主的体制の拡散;国際制度の数的拡大と重要性の増大と現代における新しいパワーの台頭とオルターナティブな政治秩序ーを説明するためのこれらのアプローチの能力に着目する。この講義は幅広い知識の歴史的かつ理論的な議論に基づいて現代の諸問題を論じ、また、将来における変化の潜在的な方法をより良く予期し理解することを試みる。	
	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture	Explores the complex and dynamic configuration of identity based on race, ethnicity, gender, nationalism, and religion as they relate to specific cultures, globalization, and social discourse. Usually offered every spring. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: no more than 90 credit hours. 人種、民族性、ジェンダー、ナショナリズム、宗教にもとづいたアイデンティティの複雑かつ動的な様態と、それらの特定のカルチャー、グローバリゼーション、社会的言説との関係について探る。通常は毎春学期に開講する。A-F評定のみ。SISU-105の履修を条件とする。90単位数の履修を上限とする。	

固有専門科目	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Race and Ethnicity in the Modern World	This course introduces students to studies of race and ethnicity from a historical and comparative perspective. Difference based on race, skin color, and ethnic origin has been incorporated into the formation of modern nation states across the globe. Indigenous peoples, racial minorities, and immigrant-based ethnic groups suffer from forced assimilation, marginalization, exclusion, and genocide in the process of nation-building. At the same time, minorities emphasized their identity based on race and ethnicity as a source of self-esteem and solidarity to overcome discrimination, oppression, and exclusion. The course examines the theoretical concept of race, nation, ethnicity in social science and questions ethnocentric views to conflicts in globalized society. It also focuses on various empirical case studies of racism, ethnic conflicts and multiculturalism across the glove. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は、歴史と比較の視点から人種エスニシティ研究を紹介する。人種、肌の色、エスニックな起源にもとづく差異は、世界各地における近代国民国家形成の過程に組み込まれてきた。その国家建設の過程では、先住民族、人種マイノリティ、移民エスニック集団は、強制的同化、周縁化、排除、そして大量虐殺という苦難を経験している。この講義では、社会科学における人種、ネーション、エスニシティの理論的概念について検証し、グローバル社会における自民族中心的な考え方を問う。また、世界各地の人種主義、民族対立、多文化共生などの事例研究にも注目する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Introduction to Gender Studies	This course explores gendering processes in everyday social life and in identity dynamics within global society. It draws on a range of feminist perspectives in gender studies. Students will engage in debate and discussion to deepen their understanding of mini-lectures and of academic reading content. They will also engage in simulation activities and research projects. They will develop the capability to challenge mainstream discourses on femininities and masculinities and to evaluate policies in terms of gender equality. Students will be able to analyze a wide range of gender issues from terdisciplinary and global perspectives. They will be able to critically examine the influences of gender in the construction of personal identities and national identities in policy documents, news media, entertainment media, and in the academy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル社会における日常の社会生活とアイデンティティダイナミクスに見られるジェンダリング（性別化）のプロセスを探求する。ジェンダー研究における幅広いフェミニズムの視点を活用する。学生は、ミニレクチャーと文献読解の理解を討論・議論を通して深めていく。シミュレーションとリサーチプロジェクトも行う。女性性と男性性をめぐる主流の言説を問い直し、ジェンダー平等の視点から政策を評価する能力を身につける。学生は、学際的でグローバルな視点から多様なジェンダー問題を分析できるようになる。政策文書、ニュースメディア、エンターテイメントメディア、学術界において、個人と国家のアイデンティティの確立にジェンダーが及ぼしている影響を批判的に検討できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	This course explores the central concepts of peace and conflict resolution, important theories of causes of conflict and applications of conflict resolution in difficult global contexts. It compares definitions of peace, explores types of conflict, and analyzes conflict from multiple perspectives, which range from individual-level theories of aggression and human nature to inter-group theories of identity and mobilization. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: no more than 90 credit hours. 本科目では、平和と紛争解決の中心的コンセプト、紛争の原因に関する重要な理論、困難な国際的状況に対する紛争解決策の適用について探求する。また、様々な平和の定義を比較し、紛争をタイプ別に検討し、紛争を様々な角度（攻撃性や人間性の個人レベルの理論からアイデンティティや動員に関するグループ間理論を含む）から分析する。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 90単位数の履修を上限とする。	
		立命館大学	Security Studies	This course will cover basic arguments in Security Studies. Students are expected to develop skills for critical analysis and making logical arguments supported by evidence - in other words, to make academic arguments. Lectures intend to demonstrate how to analyse case studies applying relevant theories. The former part of the course focuses on analytical tools, i.e., theories in Security Studies. The latter part of the course will explore non-traditional security issues, such as transnational crimes and international terrorism.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は安全保障論の基礎的な議論をカバーするものである。学生は科学的根拠に支えられた批判的な分析力、論理的思考の発展、つまり、学術的な分析力をのばす事が求められる。講義は理論を用いた事例の論じ方を紹介するものである。コースの前半は分析ツールである理論を中心に行い、硬軟は非伝統的な安全保障の領域である組織犯罪や国際テロなどの分野を検証する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Introduction to peace studies	This course reviews a wide range of theories exploring the nature and causes of conflict, the possibilities for conflict resolution, and the foundations of peace. The course will combine lecture and group work, exploring from past to contemporary case studies, so that it will help students to foster practical understandings of the cause of conflicts and discuss ways to resolve current global issues. At completion, students will possess an understanding of the key concepts of peace studies and a broad knowledge of different perspectives on peace and conflict and develop skills to address personal and group issues that require peaceful conflict transformation currently and in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、紛争の性質や要因、紛争解決方法、平和とは何かという課題を様々な理論を用いて考察する。この科目は、講義とグループワークの形態を取り、過去から今日に至る様々な紛争の事例を取り上げながら、紛争の要因を実際に理解し、今日の国際的な課題の解決に向けた議論を促す。この科目を通じて、学生は平和学の主要な概念と平和と紛争についての多様な考え方を理解し、今日あるいは将来において平和的紛争転換が必要とされる個人や集団間の問題解決の技能を習得するようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-381 African Political Institutions	This course introduces students to the themes, debates, and basic techniques of comparative institutional analysis. It examines classic readings on presidentialism/parliamentarism, party systems, electoral systems, and constitutional design alongside new research that applies institutional models to Africa. The course culminates in an empirical investigation of the relationship between particular institutional combinations and outcomes such as better representation, less corruption, or improved macroeconomic performance. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 本科目では、比較制度分析にかかわる様々なテーマ、議論、基本技法を学生に紹介する。大統領制／議会制、政党制度、選挙制度、立憲制の設計のほか、アフリカに制度モデルを適用するあらたな研究内容についても、古典的な文献にあたる。最終的には、特定の制度の組合せとその成果（代議制度の改善、腐敗の減少、あるいはマクロ経済的パフォーマンスの改善等）との関係について、実態調査を行う。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-383 Overview of the European Union	The European Union and its institutions, historical roots, the variety of its political scenery, the unity of its different cultures, and the strength of its economy–in brief, comprehending the European identity. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 欧州連合とその諸制度、歴史的由来、政治的側面の多様性、異文化の統合、経済的強みなど、ヨーロッパのアイデンティティを理解する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-385 Islam and Democracy	The purpose of democracy in Islam is primarily to serve the community–the collective good–rather than the individual, while democracy in Western liberalism underscores individualism. However, as in other religions, there are democratic precepts and practices in Islam which promote the rights of the individual. This course seeks answers to questions raised by Islam's relation to democracy, including what Islamic traditions, precepts, and practices are most promising for the support of democracy; the ramifications of an Islamic civil society; what roles women play; and the most important issues and forces behind contemporary Islamic activism for democracy. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. イスラムにおけるデモクラシーでは、個人ではなく、コミュニティ—集団的な善—に奉仕することを目的とし、西欧リベラリズムの民主主義では個人を重視する。だが他の宗教と同様に、イスラムにも、個人の権利を尊重するデモクラティックな教えや実践がある。本科目は、イスラムとデモクラシーとの関係において提起される疑問に答えようとするものであり、たとえば、どのようなイスラムの伝統、教え、実践がデモクラシーを支える上でもっとも有効であるか、そのイスラム市民社会への影響、女性の果たす役割、そしてデモクラシーに向けた現在のイスラム改革主義の背景となっている最重要事項とその勢力について検討する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-386 Contemporary Africa	Africa's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to Africa south of the Sahara. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU 206 and SISU–280. アフリカの現在の政治文化とその歴史的、経済的、地理的、社会的ルーツを明らかにする。特に、サハラ以南のアフリカに注目する。毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post-Gandhi period. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目は系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		アメリカン大学	GOVT-315 Elections and Voting Behavior	Focuses on public opinion, participation, and voting and campaign strategy in elections, with attention to issues of representation and democracy. Usually offered every term. Prerequisite: GOVT-110. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は選挙における世論、市民参加、投票や選挙戦略に焦点を当て、特に、代議制度と民主主義の諸問題に注目する。通常は毎期に開講する。GOVT-110の履修を条件とする。またGPA2.5取得を最低条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including international law, comparative governing institutions, and leading global organizations. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際法、比較統治機構、主な国際機関といったトピックをローテーションを組んで扱う。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-280の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-329 Global Economic Governance	A study of the entrepreneurial, corporate, and governmental forces and organizations that have shaped international commerce and cross-border finance. The course examines how private-sector and official institutions in particular have become more or less relevant in light of fast-paced globalization since the 1960s, the challenges these institutions currently face, and how these institutions interact with and react to developments in commodity and financial markets. Grading: A-F only. この科目は、国際商取引や国境を越えた資金調達を行っている起業家、企業、政府の力や組織の研究を行う。1960年代から急速に進んだグローバリゼーションのなかで、民間セクターと公的機関がどのように関連し、これらの機関が現在直面している課題、およびこれらの機関が商品やフィナンシャルマーケットの発展とどのように相互作用し反応するかを考慮する。グレーディング：A-Fのみ。	
		立命館大学	Global Civil Society and Development	This course investigates the origins, roles and practices of civil society in the context of international development efforts. Building on a multi-disciplinary approach the course will discuss the main theories addressing the actor in the wide field of international development. Attention will be paid to the plurality of actors nestled within the umbrella concept of 'Civil Society' (non-governmental organisations, international advocacy actors, protest movements, etc.). Key contemporary questions will be addressed: the role of global civil society in fostering - and sometimes hampering - social change; the institutional and financial constraints faced by such civil society organisations (CSOs) and the strategic choices attached to such constraints; the global divide between Northern and Southern CSOs; and a wide range of other ethical, political, environmental and economic issues linked to the multiple roles played by contemporary civil society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際開発活動の文脈において、市民社会の起源、役割、活動を調べる。学際的なアプローチにより、国際開発という幅広い分野におけるアクターを取り上げ、主要な理論について考察する。「市民社会」という包括的な概念に含まれる多様なアクターに着目する（非政府組織、国際的なアドボカシー団体、反対運動など）。さらに、社会の変化を促進する（ときには阻みもする）グローバルな市民社会の役割、そのような市民社会組織（CSO）が直面している制度的・財政的制約、それらの制約に伴う戦略的選択、南北間でのCSOの世界的分断など現代の主要課題を取り上げる。他にも、民族、政治、環境、経済問題など、現代の市民社会が果たす多くの役割に結びつく事項を幅広くカバーする。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Sociology	This course introduces students to the study of global sociology. The course challenges the perspective of nationalist sociology that takes the nation-state as its analytical unit, and investigates the formation of the global civil society and global consciousness from a sociological perspective. In doing so, the course both outlines the trends within globalisation from above, such as the formation of a capitalist economic world system, along with the reaction of the nation-states to this, and also discusses the aspects of globalisation from below through subjects such as global tourism, migration, social movements, terrorism and identity formation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目はグローバル社会学への入門科目である。国民国家を分析の対象とするナショナリスト社会学に挑戦して、グローバルな市民社会やグローバルな意識の形成過程を社会学的な視点から論じる。具体的には、資本主義的経済を基にする世界システムの形成やそれに対する国民国家の反応のような、「上」からのグローバル化を明示する一方で、グローバルなツーリズム、マイグレーション、社会運動、テロリズム、アイデンティティ形成のような、「下」からのグローバル化のあり方を論じる。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Human Rights	This course will provide an introduction to human rights philosophy, principles and institutions and familiarize students with current debates in the field. The course will also explore aspects of the diverse and increasingly complex body of international human rights law, analyze the ways in which allegations of human rights violations are dealt with in national and international courts and examine the impact of human rights discourse on international relations. Among the themes covered are: the philosophical foundations of human rights; the structure of international human rights treaties; the content of the major substantive rights; and the means by which human rights norms are implemented on national and international levels. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、人権に関する理念、原則、および制度を概論し、人権分野において今日なされている議論を学ぶ。また、多面的で複雑の度を増す国際人権法を様々な角度から掘り下げ、国内および国際裁判所での人権侵害の申し立ての対応を分析し、人権をめぐる言説が国際関係に与える影響を検討する。授業で取り上げるテーマは、人権の理念的基盤、国際人権条約の構造、主要な実体的権利の内容、国内および国際レベルでの人権規範の実施手段などである。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	
		立命館大学	International Migration	International migration has been one of the signature phenomena of globalization for decades. People in modern society move as labor migrants and their family members, transnational professional elites working in multinational corporations, refugees and asylum seekers, international students, tourists, and undocumented immigrants. This course seeks to examine international migration from an interdisciplinary perspective, bringing together insights from sociology, history and political science. Questioning the given framework of the nation-states, this course tries to understand global society from legal, historical and sociological perspectives on international migration. The topics may include theory of international migration, modern history of global migration, migration policies, settlement and incorporation, formation of ethnic minorities, migration and development, and transnationalism. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際移民は、現代のグローバル化における重要な現象の一つである。現代の移動者は、労働移民とその家族、多国籍企業で働くエリート、難民や庇護申請者、留学生、観光客、非合法移民などさまざまなかたちで国境を越えて移動する。本科目では、社会学・歴史学・政治学などの学際的な視点から国際移民について検証する。そして、国民国家を前提とした枠組を問い直し、国際移民についての法的・歴史的・社会学的視点から、グローバル社会についての理解を深める。具体的なトピックとしては、国際移民の理論と歴史、移民政策、定住と統合、エスニック・マイノリティの形成、移民と開発、トランスナショナリズムなどを扱う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	International Law	This course is designed to familiarize students with the rules and processes through which international law governs relations between states and regulates the affairs of corporate bodies and individuals on the international plane. Much of the focus of the course is on systemic issues: the principal sources of international law and the main institutions in which international law is developed and in which international disputes are resolved. Special attention will be given to issues such as personality, jurisdiction and responsibility; the main rules on the use of force; the rights of the individual under international law; and the relationship between power and the use and abuse of international law. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国家間の関係を司り、国際レベルでの企業・個人の問題を規定する国際法のルールとプロセスを学ぶ。国際法の主たる法源、国際法の立法や国際紛争の解決にあたる主要機関など、主として制度面に重点を置く。とくに法主体性・管轄権・国家責任、武力紛争法、国際法における個人の権利、国際法の優劣関係・権利濫用などに着目する。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Global Environmental Issues	This course broadly introduces students to global environmental issues. While providing students with the ability to look at issues with a holistic, bird's eye view angle, the course will focus more on 'how' and 'why' certain environmental issues have emerged and how they have evolved, rather than merely focussing on related facts and status (i.e.'what'). The course covers a variety of global environmental issues, including climate change, desertification, air pollution, ozone depletion, loss of biodiversity, and loss of marine resources. It also covers several different modes of environmental governance through which we, as the international community, have adopted aiming to solve them. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバルな環境問題を概論する。関係する事実や状況(「何が」)だけを見るのではなく、特定の環境問題が「どのように」「なぜ」起きたのか、どのように変化してきたかに重点を置いて考察し、問題に対して包括的、俯瞰的な視点をもつことを学ぶ。授業では、気候変動、砂漠化、大気汚染、オゾン層破壊、生物多様性の喪失、海洋資源の喪失を含め、世界の様々な環境問題をカバーする。また、これらの問題を解決するために、国際社会が採用してきた環境ガバナンスの形態もいくつか取り上げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	International Organizations	International Organisations (IOs) have become pivotal actors on the global stage today, addressing pressing concerns of international public good, trade, the environment, international security, and poverty. This course addresses the historical and theoretical foundations of IOs - both International Governmental Organisations (IGOs) and International Non-Governmental Organisations (NGOs). While this course will aim to equip students with a broad understanding of the structures of some of today's most prominent IOs, it will further encourage students to reflect on the relevance, effectiveness and practices of IOs in our globalising world, as well as the pressing issues of accountability that they bring forth. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際機関(IO)は今日の国際社会における重要なアクターであり、国際公共善、貿易、環境、世界の安全保障、貧困など差し迫った問題に対応している。この科目では、国際政府組織(IGO)と国際非政府組織(NGO)の両方について、IOの歴史的および理論的基盤を取り上げる。この科目では、広く知られるIOを例にとり、その組織構造について概要を理解するとともに、現代のグローバル化社会におけるIOの妥当性、効果、活動、これらのIOが明るみにした説明責任に関する喫緊の課題ついても考察する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Special Lecture (GCG)	The focus of this class is on new or emerging topics related to global and comparative governance. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Global and Comparative Governance 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Explores the contemporary and historical development of Washington D.C. and the Chesapeake region; or invites students to interact with communities and the environment in the area. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ワシントンDCとチェサピーク地域の現在および歴史的発展について探求する。また学生が当該地域のコミュニティや環境と触れ合う機会を設ける。通常は毎期に開講する。	
		アメリカン大学	ANTH-210 Race and Racism FA3	Drawing from biological anthropology, this course traces the development of the race concept, beginning with the emergence of ″pre-racial″ categories. It then examines the biological and social construction of race, how race has been mutually constructed with sexism, heterosexism, classism, and other essentialist forms of oppression. Modes of resistance are examined simultaneously. Usually offered every term. この科目では、生物人類学を援用し、人種という概念の変遷をたどる。まず「プレ・レイシャル」カテゴリーの出現から始め、人種の生物学的および社会学的構造を検討し、人種が、性差別、同性愛差別、階級差別、その他本質主義的な抑圧形態とどのように関係してきたかを検証する。またさまざまな抵抗形態についても検証する。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目		アメリカン大学	HPRM-441 Health Communication	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. この科目では、必須栄養素とその体内における機能、食習慣と慢性病との既知の関係や仮説として示されている関係について検討する。また、米国政府発表の栄養指針、栄養に関する迷信、食品ラベル、消化、体重管理等についても対象とし、学生が自分に必要な栄養や食事について、適切な情報に基づいた判断ができるようにする。通常は毎期に開講する。	
	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Europe. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ヨーロッパにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Latin America. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in the Middle East. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。中東におけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-210またはSISU-260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-369 Topics in Public Diplomacy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on public diplomacy. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。パブリックディプロマシーに関するトピックで順次開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on the intersection of human rights, identity, and culture. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260 or SISU-270. この科目では人権、アイデンティティ、カルチャーの交差といったトピックをローテーションを組んで扱う。セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260またはSISU-270の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4	Race, class, gender, sexuality, ability, and age are key factors in systematic marginalization and inequality. This course examines how some people suffer from inequalities while others benefit from them. It explores how power, privilege, and inequality are maintained through a range of social institutions and daily social interactions. It also cultivates intellectual insight and personal agency. Usually offered every term. 人種、階級、ジェンダー、性差、能力、年齢は、システマチックな社会的疎外や不平等をもたらす大きな要因となっている。本科目では、不平等により被害をこうむる人がいる一方で、不平等の恩恵にあずかる人がいる実態について検証する。また権力、特権、不平等がさまざまな社会的機構や日常の社会的相互作用の中で温存されている実態についても検証する。本科目は、知的洞察力や各人の主体性を高めようとするものである。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SOCY-310 Language, Culture, Power	This course cultivates insight into the ways that language and representation can (re)produce, maintain, and subvert relations of power, social identities, and social hierarchies. Discussions and readings develop insights into the various ways in which gender, sexuality, race, ethnicity, class, and ability are constructed and contested through systems of language and representation. The course is hands-on and students draw from course readings to examine a range of data including popular film, advertisements, newspaper articles, and social interactions. Usually offered every spring. この科目は、言語と表象により、権力、社会的アイデンティティ、社会的階層の関係がいかに現出、維持、転換されるかについて、深く考察する。授業での議論や課題図書を通じて、言語や表象のシステムが、ジェンダー、性差、人種、民族、階層、能力をどのように構築し競合関係を生み出しているかについて洞察を深める。本科目は実体験を重視し、学生は、課題図書に基づき、人気映画、広告、新聞記事、人的交流といったさまざまなデータを検証する。通常は春学期に開講する。	
		アメリカン大学	SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives	A focus on what happens when divergent types of persons experience social contact. Racial, ethnic, tribal, national, and religious interactions throughout the world. The processes include conflict, amalgamation, acculturation, assimilation, prejudice, and discrimination. Usually offered every fall. Prerequisite: SOCY-100 or SOCY-110 or SOCY-150. この科目は、さまざまなタイプの人間が社会的接触を経験する場合に何が起こるかに注目する。世界各地における人種、民族、部族、国家、宗教の相互作用について考える。その検討プロセスには、紛争、融合、変容、同化、偏見、差別を含む。通常は毎秋学期に開講する。SOCY-100またはSOCY-110またはSOCY-150の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research	This course examines intersectionality as both an analytical tool and a conceptual framing that has developed into a broad web of theoretical and empirical work examining how race, class, and gender interact in meaningful and complex ways. The focus includes important methodological assumptions and complications of intersectionality, as well as contemporary challenges such as the discussions of positionalities ignored in initial framings of intersectionality, including age, disability, and sexuality. Usually offered alternate springs. Prerequisite: three courses in sociology. Recommendation: SOCY-210, SOCY-351, or SOCY-354. 本科目は、インターセクショナリティ(交差性)を、分析ツールとして、また考え方の枠組みとして検証する。この枠組みは人種、階層、ジェンダーが有意かつ複雑にどのように関係し合っているかを検証する、さまざまな理論や経験を取り込んだ研究に発展してきている。特に、インターセクショナリティにおける重要な方法論的仮説やその複雑化のほか、インターセクショナリティの初期構想時には考慮されなかった、年齢、障害、性差といったポジショナリティ(立場性)の議論といった、今日的な課題についても注目する。通常は隔年の春学期に開講する。社会学3科目の履修を条件とする。SOCY-210、SOCY-351、SOCY-354の受講が勧められる。	隔年

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A-F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		立命館大学	Media and Society	This course introduces students to many aspects of contemporary media studies and considers ways of understanding the various roles that media, both traditional and 'new', play in modern society. It will draw on students' own experiences and academic discourse to consider a broad variety of areas; media production, representations of society, theories of 'media effects', public opinion and democracy, audiences and media consumption, and the legal and regulatory frameworks that shape the media landscape. Academic approaches to understanding the mass media will be presented in lecture-based sessions, contemporary media texts will be used as a basis for structured discussion and debate aimed at giving students the opportunity to evaluate and assess their personal experiences and knowledge. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、現代のメディア研究の様々な側面を概論し、従来のメディアと「ニュー」メディアが現代社会で果たす多様な役割を理解するための方法を検討する。学生自身の経験と学術論文から、メディア制作、社会の描写、「メディア効果」理論、世論と民主主義、オーディエンスとメディア消費、メディア環境を形成する法的・規制の枠組みなど、幅広い多様な分野について考察する。マスメディアを理解するための学術的アプローチについて講義するほか、学生が自分の体験と知識を振り返り評価する機会として、現代メディア論のテキストを用いて体系的な議論・討論も行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Topics in Identity	Identity is a subject we can all discuss, but not an easy idea to pin down in an academic context. This course offers students an overview of important issues in and around the notion of 'identity', allowing them a way in to a more structured understanding of this pivotal concept. Topics covered may include theories of personal and social identity, gender and sexuality, race and ethnicity, the role of the 'Other', nationalism and identity politics, and so on. This course makes use of students' knowledge of identity issues as a basis for interactive learning, this approach is complemented by lecture-style teaching which provides a structured framework to locate discuss experiences. Students completing this course successfully will gain an improved ability to discuss and understand identity as a concept, and improved communication skills. They will also gain a thorough knowledge of theory and issues related to 'identity'. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. アイデンティティはだれでも議論できるテーマではあるが、学術的な文脈で明確に述べるとなると簡単ではない。この科目では「アイデンティティ」の概念をめぐる重要な諸課題を概説する。学生は、このきわめて重要な概念を体系的に理解するための方法を学ぶことができる。個人と社会のアイデンティティ、ジェンダーとセクシュアリティ、人種と民族、「その他」の役割、ナショナリズムとアイデンティティポリティックスなどのトピックを取り上げる。アイデンティティの諸問題に対する学生の知識を引き出し、双方向的に授業を進める。さらにこのアプローチを講義で補完し、経験を特定し議論するための体系的な枠組みを提供する。この科目を履修する学生は、概念としてのアイデンティティを考察し理解する能力を身につけ、コミュニケーション力が向上する。「アイデンティティ」に関連する学説や課題を詳しく知ることもできる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Special Lecture (IRGC)	The focus of this class is on new or emerging topics related to identity, race, gender, and culture. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Identity, race, gender, and culture 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including peace and social justice, international security, causes of war, and human and global security. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。平和と社会正義、国際安全保障、戦争の原因、ヒューマンセキュリティ、国際安全保障といったトピックを順次開講する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia	This course compares economic development strategies of the East Asian developmental states (Japan, Taiwan, South Korea and Singapore) and the more recent export-led growth models of Malaysia, China, and Vietnam. All cases have in common strong government intervention in their economies and strong export promotion policies. The differences in global economic conditions have led scholars to assert that the developmental state model is no longer viable. This course investigates what created the economic miracles of China and Vietnam, and earlier Malaysia, and whether the basic principles of the developmental state model still apply; is state intervention obsolete, possible, or necessary in the twenty-first century global economy. The class then contrasts the East and Southeast Asian models with India, an emerging economy and one that in the past was seen as a failed developmental state, and concludes by trying to find lessons with wider applicability for developing countries. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. この科目では、東アジアの開発主導型国家・地域（日本、台湾、韓国、シンガポール）における経済開発戦略と、近年のマレーシア、中国、ベトナムにおける輸出主導型成長モデルを比較する。これらすべてに共通するのは経済に対する各国政府の強力な介入と強力な輸出促進政策だが、研究者の間では、グローバル経済条件の変化により、開発主導型国家モデルはもはや妥当しないとも評されている。本科目では、中国やベトナムおよび以前のマレーシアにおいて、奇跡的な経済発展の原因となったものは何か、開発主導型国家モデルの基本原理はまだ有効なのか、つまり、国家の介入は21世紀のグローバル経済環境においては時代遅れなのか、可能なのか、あるいは必要なのかについて検証する。さらに、東アジアや東南アジアのモデルを、新興経済の一つであり過去において開発主導型国家の失敗事例とされたインドと比較し、最終的に、発展途上国に広く適用できる教訓を学び取ろうとする。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-313 Transatlantic Security	This course examines the evolution of trans-Atlantic security policy and defense planning. It begins with a review of the formation of NATO and of trans-Atlantic defense policy and military force planning through the Cold War to the breakup of the Soviet Union. The course then focuses in some detail on the transformation that trans-Atlantic security relations have undergone, in particular the shift of NATO's focus from defense of European territory to expeditionary operations outside its boundaries and the European Union's assuming a strong role in defense planning. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. 本科目は、大西洋安全保障政策と防衛計画の推移について検証する。NATOの設立から検討を始め、大西洋防衛政策や軍事計画について冷戦からソ連崩壊までを概観する。さらに大西洋安全保障関係に生じた変遷について、特にNATOが欧州の地域防衛から周辺地域への派遣作戦に主力をシフトし、欧州連合が防衛計画に大きな役割を担うようになっていく変遷に注目する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-316 United States-Russian/Eurasian Security Relations	Addresses the relations between the United States and Russia, the Soviet Union and its successor states, focusing on the security aspects of those relations. The course primarily covers the evolution of security relations from the Bolshevik Revolution to the present. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. アメリカとロシア、ソ連とその後継諸国との関係について検討する。これらの関係における安全保障の側面に注目し、特に本科目では、ボルシェビキ革命から現在にいたる安全保障関係の推移を中心に扱う。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on global security and foreign policy. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-230. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。グローバル安全保障と外交といったトピックで順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210、またはSISU-230履修を条件とする。	

固有専門科目		アメリカン大学	SISU-319 Arab-Israeli Relations	A survey of Arab–Israeli relations from their origins to the present. Includes an account of Zionism and Palestinian nationalism, the history of the British mandate, the Arab–Israeli wars, the involvement of external powers, and the quest for peace. The emphasis is on conflict resolution. Usually offered every spring. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–220. アラブ・イスラエル関係について、その起源から現在にいたるまでを概観する。シオニズムとパレスチナナショナリズムについて説明し、イギリスの委任統治の歴史、アラブ・イスラエル戦争、諸外国の関与、和平への模索についても検討する。中心テーマは紛争解決。通常は、通常は、春学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–220履修を条件とする。	
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-359 Environment, Conflict, and Peace	The focus of the emerging interdisciplinary field of environmental peacemaking, with its focus on relationship–building between conflict actors, is to identify ways that the environment, natural and human, provides opportunities for building bridges of collaboration between conflicting parties. In this course, students deal with concepts from ecopolitics, environmental security studies, international relations, and conflict resolution to develop an understanding of the theoretical framework informing the emerging environmental peacemaking paradigm. The course examines the interactions among violence, conflict, peace, security, and the natural environment. It is structured to create the context for students to address questions including what impact violent conflict has on the environment; is environmental degradation itself a source or trigger of violent conflict; and how environmental cooperation can be used to promote peace and sustainable development. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–250. 環境の平和維持活動という新しい学際的分野では、紛争当事者間の関係構築を中心として、環境（自然環境と人工的環境）により、紛争関係者間の協力体制の構築に向けた機会がどのように実現されるかを明らかにする。本コースで、学生は、環境政治学、環境安全保障研究、国際関係、紛争解決等に由来する概念に取組み、新しい環境平和維持パラダイムに情報を提供する、理論的枠組みについて理解を深める。また暴力、紛争、平和、安全保障、自然環境等の相互作用についても検証する。本コースでは、暴力的な紛争は環境にどのような影響を及ぼすのか、環境悪化そのものが暴力的紛争の原因あるいは引き金になっているのか、そして環境に係る相互協力は、平和と持続可能な発展の促進にどのように役立てることができるのかといった疑問に答えるための枠組みを、学生自ら構築できるように構成されている。A–F評定のみ。SISU–206およびSISU–210またはSISU–250の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–210またはSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
		アメリカン大学	IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post–conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on–the–ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post–conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with IBUS–671 and MGMT–471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。対応講座はIBUS–671およびMGMT–471/671。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post-conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on-the-ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post-conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with MGMT-671 and IBUS-471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。 MGMT-671 and IBUS-471/671と対応する。	
		アメリカン大学	RELG-475 Religion and Violence	This course explores the religious dimensions, both ideological and cultural, of political and military conflict. Themes include sacred geography and literature as grounds for bloodshed; the sanctity of race; martyrdom/terrorism; and pacifism. Empirical data is drawn from Germany, Lithuania, the Middle East, and the Balkans. Meets with RELG-675. Usually offered every spring. 本科目は、政治的・軍事的対立における宗教的側面（イデオロギーおよびカルチャーの両面から）について探求する。テーマとしては、流血の原因となる神聖地理学や神聖文学、人種の神聖化、殉教／テロリズム、平和主義等が含まれる。ドイツ、リトアニア、中東、バルカン諸国から得られた経験的データを使う。関連講座はRELG-675。通常は毎春学期に開講する。	
		アメリカン大学	WGSS-350 Interpreting Gender in Culture : Gender and Violence	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. An exploration of diverse aspects of gender experience from different disciplinary perspectives. Rotating topics focus on specific subjects, integrating recent scholarship and interdisciplinary contexts. Representative topics include gender and violence, gay and lesbian documentary, masculinities, and international feminisms. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。多様な学際的見地から得られたジェンダー体験のさまざまな側面について検討する。さまざまなテーマをローテーションを組んで扱い、最新の研究や学際的な内容を統合していく。代表的なトピックとしては、ジェンダーと暴力、ゲイおよびレズビアン・ドキュメンタリー、男性性、国際フェミニズム等がある。	

固有専門科目	固有専門科目Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Peace and Conflict Studies	The aim of the course is to deepen students' understanding of theoretical and empirical problems in the study of the outbreak, development and resolution of armed conflicts. Focus is directed upon the post-Cold War conflict processes within states, different analytical levels - individual, group, state, and regional - are considered. The course combines lecture and group work, exploring the various peacebuilding attempts, to identify empirically and critically evaluate central obstacles and problems for conflict resolution, conflict management, and durable peace. At completion, students will acquire a thorough understanding and critical examination of the origin, dynamics and resolution of on-going armed conflicts today. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、武力紛争の発生、発達、解決における問題を理論的・実証的に学習し、理解を深めることを目的としている。特に冷戦後の国内紛争に焦点をあて、個人・集団・国家・地域の異なる観点から分析する。この科目は、講義とグループワークの形式を取り、冷戦後発達した平和構築の取り組みを取り上げ、紛争解決、紛争管理、永続的な平和を阻害する要因や問題を批判的に考察する。この科目を通じて、学生は現在進行中の武力紛争の発生原因、力学、解決についても批判的に分析し理解することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	
		立命館大学	Special Lecture (PGSCR)	The focus of this class is on new or emerging topics related to peace, global security, and conflict resolution. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Peace, Global Security, and Conflict Resolution分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
地域研究科目		アメリカン大学	ANTH-439 Culture, History, Power, Place	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Examination of a particular culture area to provide insight into the conditions that produced distinctive cultures in certain geographical regions. Rotating culture areas include North American Indians, Latin America, Mexico and Central America, African American women, India, Africa, China, and Japan. Meets with ANTH-639. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。特定の地域をとりあげ、その地域に特徴的な文化を醸成した諸条件に関する考察を行う。北米ネイティブ・アメリカン、ラテンアメリカ（メキシコ、中米）、米国アフリカ系女性、インド、アフリカ、中国、日本といった文化圏ごとに順次開講する。関連科目はANTH-639。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	AWST-225 Arab Societies	This course introduces students to the twenty-two nations of the Arab world. Themes covered include popular images in the media, politics, economics, religion, and gender and sexuality. Comparisons between countries, both macro and micro, are emphasized throughout the course. Usually offered every term. 本科目は、アラブ世界の22か国について、学生に紹介するものとなる。対象テーマとしては、マスコミに取り上げられる一般的なイメージ、政治、経済、宗教、ジェンダー、セクシュアリティを扱う。科目全体を通じて、マクロ的およびミクロ的両面における各国の比較を特に強調する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	FREN-431 Civilisation Francaise I	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 中世からフランス革命までのフランスを対象とする。政治、社会、経済における発展を概観し、特に、一次資料をもとに、エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-631。通常は、隔年の秋学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-432 Civilisation Francaise II	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 19世紀・20世紀フランスを対象とする。新体制、フランス革命が社会階層とその精神構造に及ぼした影響について学ぶ。エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-632。通常は、隔年の春学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-433 French Topics	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。フランスの政治、社会、映画、フランス語圏の小説やショートストーリー、アルジェリア植民地化と独立、自伝、映画、文学、社会、そしてフランス文学におけるユーモアやアイロニー、アメリカに対するフランス人の印象といったトピックについてフランス語で順次開講する。関連科目はFREN-633。通常は、毎学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	GERM-336 German Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics taught in German include German culture and society, survey or arts, cinema, literature, and politics. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Prerequisite: GERM-333. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ドイツの文化、社会、調査、美術、映画、文学、政治といったトピックについてドイツ語で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。GERM-333履修を条件とする。	
	アメリカン大学	GERM-438 German Civilization I	A survey of German culture and society from the Middle Ages to the Romantic period. Historical, social, and intellectual developments, literature, art, and music are studied as the basis for discussion of German cultural history. Taught in German. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GERM-333. ドイツ文化を中世からロマン派の時代まで概観する。歴史的、社会的、知性的な発展状況と、文学、美術、音楽について、ドイツ文化史研究を論ずる基礎として学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	GERM-439 German Civilization II	Continuation of GERM-438, covering German history from the Romantic period to the twenty-first century. Taught in German. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GERM-333. GERM-438に続き、ロマン派時代から21世紀にわたるドイツ史を学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-233 Communism and Capitalism in East Asia	This course focuses on the theories of communism and capitalism, as well as their respective practices in East Asia and implications for socioeconomic and political development in the region. More specifically, the course examines the political and economic systems, processes, and changes in East Asia including China and Taiwan, North and South Korea, Japan, and Singapore. Major contemporary issues and policies of the East Asian systems are also surveyed, with particular emphasis on how the East Asian societies' socioeconomic and political performance, as well as their cultural traditions, affects these regimes' claim to political legitimacy. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GOVT-130. この科目は共産主義と資本主義の諸理論と東アジアにおける各国・地域のこれら理論の実践および同地域における社会経済的および政治的発展に対するインプリケーションに焦点を当てる。より具体的には、この授業は中国と台湾、南北朝鮮、日本、そしてシンガポールを含む東アジアにおける政治および経済システム、プロセス、変容を検討する。とくに、東アジア社会の社会経済的および政治的パフォーマンスと文化的伝統が各国・地域の主張する政治的正統性にどのような影響を及ぼすのかに焦点をあてながら、東アジアシステムに関する主要な現代的諸問題と各国の政策も概観する。通常、隔年ごとの秋学期に開講される。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-334 Modern British Politics	Offered as part of the AU Abroad London Semester. An introduction to institutions of politics and government in Britain and how its constitutional monarchy and parliamentary system have evolved. How politics are practiced and power is distributed between institutions, parties, and individuals. Considers the relationship between politics and other aspects of British society and the major contemporary issues in British politics. Usually offered every term. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は、「アメリカン大学海外ロンドンセメスター」の一環として開講されるもので、英国の政治制度や政府のほか、その立憲君主制や議会制度の発展の過程を紹介する。様々な制度、政党、個人の間で、政治がどのように機能し権力が分散されているか、また政治と英国社会の他の側面との関係や、英国政治の主な現代的課題についても検討する。通常は、毎学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-349 The Middle East in Comparative Perspective	Description: Using the insights of comparative politics, this course examines the contemporary constellation of regime types, authority structures, institutions, and state-society relations in the Middle East. It analyzes the success of the powerful and the resistance of various groups bound together by ethnic, regional, religious, class, and gender identities. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231. この科目は、比較政治の視点を通じて、中東での一連の統治体制、権限組織、制度、国家社会関係を研究する。 有力者と民族・地域・宗教・階級・性別のアイデンティティーにより結束した様々な集団による力のある抵抗の成功事例を分析する。 通常、隔年春学期に開講する。 GOVT-130 または GOVT-231を履修しておく必要がある。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-432 Political Institutions and Processes in Selected Countries	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. The nature of political institutions and processes of specific countries, such as Great Britain, Germany, France, the former Soviet Union, Israel, Iran, Greece, India, Turkey, and Mexico. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231 or GOVT-232. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。英国、ドイツ、フランス、旧ソ連、イスラエル、イラン、ギリシャ、インド、トルコ、メキシコといった特定の国における政治制度や政治プロセスの特徴について学ぶ。 GOVT-130またはGOVT-231またはGOVT-232履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	
	アメリカン大学	GOVT-433 Topics in Sub-Saharan African Politics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics course examine the political development of African states south of the Sahara Desert and the nature of politics in Sub-Saharan Africa generally and by country. Usually offered alternate falls. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。サハラ砂漠以南のアフリカ各国の政治的発展と、サハラ以南の政治状況全般と国別の状況といったトピックで順次開講する。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-450 Politics in Cuba	An examination of the social, economic, and political roots of the Cuban revolution of 1959 and the changes brought about in Cuban politics and society as a result of the revolution. Usually offered every fall. Prerequisite: GOVT-130. Restriction: minimum 2.5 GPA. 1959年のキューバ革命の社会的、経済的、政治的なルーツを探り、革命の結果、キューバの政治や社会がどのように変化したかを検証する。通常は、秋学期に開講する。 GOVT-130履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. この科目は、ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-204 Medieval Europe	Exploration of the medieval world-view and consideration of the organization of economic and political institutions, the relationship of secular and ecclesiastical authority, and the creation of new social and religious ideals during the millennium that bridges antiquity and modernity. Usually offered alternate springs. この科目は、中世的な世界観、その経済構造や政治制度、世俗と教会権力の関係、そして古代と近代とを結ぶ千年間における新たな社会理念や宗教理念の台頭について探求する。通常は、隔年の春学期に開講する。	隔年
	アメリカン大学	HIST-221 History of Britain I	Political, social, and cultural development in Britain to 1689. Parliament, common law, civil war, plague, rebellion, concepts of kingship, and the conflict of church and state. Usually offered every fall. 1689年にいたる英国の政治、社会、文化的な変遷について明らかにする。議会、コモンロー、内乱、疫病、反乱、王権の概念、そして政教対立について学ぶ。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-222 History of Britain II	This course examines phenomena that have defined Britain's place in the world, such as the ascension of parliament, the industrial revolution, and the growth of empire, to understand what is unique about Britain and which elements of the British historical experience are more broadly shared. Usually offered every spring. 本科目では、英国が国際社会における今日の地歩を確立するにいたる様々な事象、たとえば、議会の優位性の確保、産業革命、帝国の拡大等について検証し、英国のユニークさ、英国の歴史の中でどのような側面が広く共有できるかについて理解を深める。通常は、春学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-225 Russia and the Origins of Contemporary Eurasia	This course provides an overview and introduction to the history of empires, nations, and states in the Eurasian plain, from the origins of Rus' over a thousand years ago to the present day, as well as the various ethnic, national, and religious groups of the region. 本科目は、千年以上前のロシアの起源から現代にいたるまで、ユーラシア平原に勃興した様々な帝国、諸国、諸邦の歴史について概観するほか、この地域の様々な民族、国、宗教の状況についても検討する。	
	アメリカン大学	HIST-231 The Russian Empire, 1650-1917	This course examines the history of the Romanov dynasty and the Russian Empire focusing on understanding the structures of the diverse society that made up the empire, the growth and modernization of the empire, and the tensions within the system which led to its collapse. Readings include historical narratives, documents, and novels. 本科目は、ロマノフ王朝とロシア帝国の歴史について検証する。特に、帝国を構成する様々な社会の構造、帝国の成長と近代化、そしてその崩壊にいたる制度内の葛藤について理解することを主眼とする。課題図書として、歴史的物語、文書、小説等を読む。	
	アメリカン大学	HIST-232 The Soviet Union	This course treats the history of the Soviet Union (1917–1991), seeking to explain how this civilization arose, survived, and ultimately fell, with particular attention to the history of communism as an idea. Readings help give a sense of both the aspirations and sufferings of its citizens. 本科目では、ソ連の歴史(1917年–1991年)を対象として、その文明の興隆、維持、そして最終的な没落について説明を試みる。特に、共産主義の歴史を一つの理念として捉える。様々な文献にあたることにより、一般市民の希望と苦悩を垣間見ることができる。	
	アメリカン大学	HIST-241 Colonial Latin America	Conquest and change in Indian civilization; imperial politics; race and class; Indian labor and the Black legend; imperial economic relations; imperial reform and revolution. Usually offered every fall. ネイティブ・アメリカン征服とその文化の変化、帝国主義時代の政治、人種と階級、ネイティブ・アメリカン労働者、「黒い伝説」、帝国主義時代の経済関係、帝国主義時代の改革と革命等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-242 Latin America since Independence	Problems in creating nations; militarism, dictatorship, and democracy; sources of underdevelopment; reform and revolution in the twentieth century. Usually offered every spring. 建国にかかわる諸問題、軍国主義、独裁政治、民主主義、低開発の原因、20世紀における改革と革命について検討する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-250 Empires and States in East Asia	This course examines the origins and history of multiple imperial traditions throughout East Asian history, including ancient China (origins to 221 B.C.); Chinese empires (221 B.C. to 1912); the Japanese empire (1895–1945); and modern East Asia (1600–present). この科目では、東アジア史における複数の帝国的伝統の淵源と歴史について検証する。古代中国（起源から紀元前221年）、中国各王朝（紀元前221年から1912年）、大日本帝国（1895年から1945年）、そして近代東アジア（1600年から現在）を対象とする。	
	アメリカン大学	HIST-327 Twentieth Century Europe	In this century Europe has experienced two major wars, a wave of communist revolution, a violent reaction in the form of fascism, and the horror of mass extermination. Yet Europe today is quite prosperous, and there are better links between the Western countries and their communist counterparts than could have been imagined two decades ago. There is something in Europe's past that gives it a certain resilience. Usually offered alternate years. 20世紀においてヨーロッパは、二つの大戦、共産主義革命のうねり、それに対するファシズムという形の暴力的応酬、そして大量殺戮の恐怖にみまわれてきた。しかし現在のヨーロッパは繁栄を謳歌し、西側諸国と共産諸国との関係は、二十年前には想像もできなかったほどにまで改善されている。ヨーロッパの過去には、ある種の強靭な対応力があったと思われる。通常は、隔年で開講する。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-418 Nazi Germany	The political, social, and economic conditions that made it possible for Hitler to take power. The nature of Nazi rule. Emphasis on World War II and the Holocaust. Meets with HIST-618. Usually offered every spring. この科目では、ヒトラーの台頭を許した政治、社会、経済的な条件、ナチ統治の性格について考える。特に第二次世界大戦とホロコーストに注目する。関連科目はHIST-618。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-419 Holocaust	Traces the history of anti-Semitism and the development of racism that led to the Holocaust. Examines the historical development of the Final Solution. Considers the variety of responses to Jewish persecution by the Nazi perpetrators, the Jews, and the nations of the world. Meets with HIST-619. Usually offered every fall. ホロコーストへとつながる、反ユダヤ主義の歴史と人種差別の台頭をたどり、「最終的解決」にいたる歴史的流れを検証する。ユダヤ人迫害に対するナチ加害者、ユダヤ人、世界各国の様々な反応について検討する。関連科目はHIST-619。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-437 British Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Hanoverian England, Victorian England, Edwardian England, the British Empire, the British working class, and popular culture in modern Britain. Meets with HIST-637. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ハノーバー朝イングランド、ビクトリア朝イングランド、エドワード朝イングランド、大英帝国、英国の労働者階層、現代英国のポップカルチャーといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-637。	
	アメリカン大学	HIST-440 Latin American Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including the diplomatic history of Latin America, Latin American intellectual history, and Latin American feminisms. Meets with HIST-640. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおける外交史、知的系譜、フェミニズムといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-640。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-443 History of Israel	Traces the development of modern political Zionism in nineteenth-century Europe; the historical background leading to the establishment of the State of Israel in 1948; and the history of Israel since then, including patterns of Jewish immigration and its relationship to the Arab world. Meets with HIST-643. Usually offered every fall. この科目では、19世紀ヨーロッパの近代政治シオニズムの進展をたどり、1948年のイスラエル建国にいたる歴史的背景、それ以降のイスラエルの歴史を検証する。ユダヤ移民のパターンと、そのアラブ世界との関係についても検討する。関連科目はHIST-643。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-445 Russian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Russian intellectual history, World War I and the end of empires, the Russian Revolution, and Russian film history. Meets with HIST-645. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ロシアインテリの歴史、第一次世界大戦と帝国の終焉、ロシア革命、ロシア映画史といったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-645。	
	アメリカン大学	HIST-447 Asian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Topical courses in Asian history including modern China, late imperial China, the Japanese empire, modern Eurasian frontiers, and other topics in Chinese, Japanese, and inner Asian history. Meets with HIST-647. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。アジア史をテーマとする。たとえば、近代中国、中華帝国後期、大日本帝国、近代ユーラシア辺境地域のほか、中国史、日本史、内陸アジア史にかかわるその他のトピックを扱う。関連科目はHIST-647。	
	アメリカン大学	JLC-471 Evolution of Global Jihad	This course examines the contours of the Sunni jihadist movement with the aim of understanding ideological as well as strategic and operational characteristics that define it. A heavy emphasis is placed on exploring the ideological and strategic debates within the movement, as well as national, regional, and international events that contribute to these debates. Meets with JLC-671. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目では、スンニ・ジハード運動の概略を検証し、そのイデオロギー的特徴だけでなく、戦略と実践に関する特徴をも理解する。特に、この運動内部におけるイデオロギー論争や戦略論争と、そのような論争の機縁となった国家、地域、国際的な出来事に注目する。関連科目はJLC-671。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	JWST-205 Ancient and Medieval Jewish Civilization	Examines the independent Jewish states that flourished in Palestine, the rise of the most important Jewish communities outside the ancient Jewish homeland, and the foreign influences that shaped not only the political life of the Jews but also their internal organization and their creativity. Usually offered every fall. この科目では、パレスチナの地に台頭した様々な独立ユダヤ国家、古代ユダヤの地以外の最も重要なユダヤコミュニティの台頭、そしてユダヤ人の政治生活だけでなくその内部組織や創造性をも形作った外国の影響について検証する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. この科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-267 Literatures of the Global South	An introduction to literature written by writers from the Global South: Africa, Asia, and Latin America. The emphasis is on contemporary fiction and the ways that this writing depicts cultural and political change brought about by the impact of outside forces. Usually offered every term. 「グローバルサウス（アフリカ、アジア、ラテンアメリカ）」の作家による文学作品を紹介する。特に、現代フィクションと、外的な力によりもたらされた文化的・政治的変化を、そのような作品がどのように描いているかに注目する。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	RELG-185 The Religious Heritage of Asia	Introduces methods of studying religion and places religious traditions in comparative relief. Surveys the basic features of the major religions of Asia, including Hinduism, Taoism, and Confucianism, and explains how these traditions shape Asian cultures and societies. Usually offered every term. 宗教を研究対象とするための様々な方法論を紹介し、様々な宗教的伝統を比較の中で浮かび上がらせる。ヒンズー教、道教、儒教といったアジアの主要宗教の基本特性を調べ、このような伝統が、どのようにアジア的文化や社会を構築してきたか説明する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-210 Non-Western Religious Traditions	How non-Western religious traditions function as systems of symbols, how they interact with both indigenous religious traditions and external religious traditions such as Islam and Christianity, and how they respond to modernization and imperialism. Usually offered every term. 西洋以外の宗教的伝統が、象徴のシステムとしてどのように機能しているのか、それらが土着の宗教的伝統や、イスラムやキリスト教といった外部の宗教的伝統とどのように関係しあっているか、また近代化や帝国主義とどのように対峙しているかについて検討する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-470 Islam	Hundreds of millions of people adhere to Islam, sometimes described as the world's fastest growing religion. Students examine historical origins, Prophet Muhammad, Qur'an, and other formative elements underlying the modern Muslim situation. Meets with RELG-670. Usually offered every fall. イスラム教は数億人の信者を擁し、世界でもっとも急速に拡大しつつある宗教とも言われている。本科目では、その歴史的な起源、預言者ムハマド、コーラン、その他現在のイスラム教を取り巻く状況を形作ってきた要因について検証する。関連科目はRELG-670。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-473 Hinduism	This course focuses on four phases in the development of Hinduism. Central to the study of each phase are close readings of selections from its main mythological and philosophical texts, which are considered in light of lived religious practices. Meets with RELG-673. Usually offered alternate springs (even years). 本科目では、ヒンズー教の4つの発展段階に注目する。各段階の研究では、その主要な神話的・哲学的選集の精読が中心となる。そのような文献を実際の宗教的実践の枠組みの中で検討していく。関連科目はRELG-673。通常は、隔年（偶数年）の春学期に開講する。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	RUSS-200 Russia and the United States	A comparative study of the two countries, Russia and the United States, through an interdisciplinary approach with emphasis on the major similarities and differences. The course draws primarily from international studies, cross-cultural communication, political science, history, literature, and the arts. Taught in English. Usually offered every fall. ロシアとアメリカ合衆国両国の比較研究。主な類似点と相違点に注目した学際的アプローチを用いる。本科目は、国際関係学、異文化コミュニケーション、政治学、歴史、文学、美術等を主な対象とする。授業は英語で行う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	SISU-211 Civilizations of Africa	By concentrating on African societies and states, ancient and modern, the course aims to create a greater understanding of, and empathy with, the Africans: the diversity, history, culture, accomplishments, and problems of the people and their continent; and the interaction of their culture with Islam and the West. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は、古代から現代にいたるアフリカの社会と各国に注目し、アフリカ大陸の多様性、歴史、文化、業績、そして問題について、またアフリカ文化とイスラムや西洋との相互作用理解となどアフリカ人に対する共感を高めようとする。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-212 China, Japan and the United States	A multidisciplinary introduction to China and Japan that explores the history, culture, social structure, literature, art, politics, economics, and foreign relations of these important countries. Particular attention is paid to the context of East Asian international relations. Usually offered every term. Grading: A–F only. 中国と日本の両国の歴史、文化、社会構造、文学、美術、政治、経済、外交関係に関する学際的な探究を紹介する。特に東アジアにおける国際関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-213 Contemporary Europe	This course examines the major political, economic, and social issues shaping contemporary Europe. The first portion of the course covers the concepts and theoretical approaches that make up the analytical toolkit for understanding and analyzing European politics. The second part covers the overarching themes of European politics, including state formation, governments and institutions, political parties and elections, welfare state development and reform, and European integration. The final segment consists of country and issue case studies as opportunities to apply the theoretical, methodological, and analytical tools, and looks at lessons that can be learned from the diverse ways European societies have answered the basic questions of economic, social, and political organization confronting all societies. Grading: A–F only. 本科目では、現代ヨーロッパを形成している主な政治的、経済的、社会的な課題について検討する。まず、ヨーロッパの政治を理解・分析するための分析ツールとなる概念と理論的アプローチについて触れ、次に、ヨーロッパ政治の全体的テーマである、国家形成、政府と諸機関、政党と選挙、福祉国家の発展と改善、そしてヨーロッパ統合について考える。最後に、理論的・方法論的・分析的ツールを応用して、国や課題別のケーススタディを行い、あらゆる社会が直面する経済、社会、政治組織の基本的問題に対して、ヨーロッパ社会で採用されてきた対応方法から得られる教訓について考える。A-F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-214 Contemporary Latin America	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目はラテンアメリカの政治、社会、経済における重要な変化、その基盤や、それを助長あるいは妨害する要因、今後の見通しやトレンドについて学ぶ。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-215 Contemporary Middle East	The Middle East's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to the Arab world. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は中東の現在の政治文化と、その歴史的・経済的・地理的・社会的ルーツについて、特にアラブ世界に注目する。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-216 Contemporary Russia	Russia's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 本科目はロシアの現代政治文化とその歴史・経済・地理・社会的なルーツについて取り扱う。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. 本科目はセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post–Gandhi period. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature	Latin America's history through literary texts, films and documentaries, and other artistic representations. Analysis of how the Latin, African, and indigenous cultural heritages have combined to produce a unique culture. Usually offered every term. Separate sections taught in English and Spanish. Prerequisite: SPAN–353. 文学、映画、ドキュメンタリー、その他芸術表現を通じてラテンアメリカ史を学ぶ。ラテン、アフリカ、土着のそれぞれの文化的遺産がどのように融合してユニークな文化を醸成してきたか分析する。通常は、毎学期に開講する。セクションごとに、英語とスペイン語による授業となる。SPAN–353履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SPAN-355 Spanish Introductory Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics include courses that serve as a bridge between the language sequence and upper-level courses. Courses are taught in Spanish on topics such as central issues in Latin American studies, indigenous people in Latin America, and media in Latin America. Emphasis is placed on vocabulary, expressions, and structures related to the specific topic. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。言語習得科目と上級科目の橋渡しとなる複数の内容を順次開講する。ラテンアメリカ研究の主要課題、ラテンアメリカにおける先住民、そしてラテンアメリカにおけるメディアといったトピックについて、スペイン語で講義する。それぞれのトピックに関連する語彙、表現、構文に注目する。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature	A systematic survey of the historical development of Latin American literature. Reading of selected texts in the original, and their relationship to cultural, historical, political, and social developments. This course is a transition course between SPAN-353 and higher level courses. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、ラテンアメリカ文学の歴史的発展を系統的に研究する。原書選集を講読し、その文化、歴史、政治、社会的な発展との関連について検討する。本科目は、SPAN-353と上級レベル科目との橋渡しとなる。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-456 Spanish Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Courses taught in Spanish on such topics as: Latin American film, Mexican-U.S. border, urban cultures in Latin America, indigenous people of Latin America, Hispanics in the United States, Caribbean cultures, and the Latin American short story. Meets with SPAN-656. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカの映画、米墨国境、ラテンアメリカの都市文化、ラテンアメリカの先住民、アメリカ合衆国のヒスパニック、カリブ文化、ラテンアメリカのショートストーリーといったトピックで順次開講する。関連科目はSPAN-656。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring	This course designation is for a variety of classes in the field of international relations. Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. May be taken A-F only. この科目は、国際関係学のフィールドにおける様々な内容について取り扱うよう位置づけられる。トピックは、セクションによって異なり、異なるトピックを取り扱った場合は重複受講が可能である。概ねA,Fのみで評価される。	
	立命館大学	Japanese Politics	Recent years have seen a number of significant developments in Japanese politics, from the rise and fall of the Democratic Party (DPJ), through the growing economic and demographic crises, to the potential rekindling of the peace movement. This course will examine these issues and others through exploring the broader trends to which they connect and interact with both inside and outside Japan. Students will gain a knowledge of the major parties and other actors which influence Japanese politics. Students will also broaden their understanding of the political history of Japan from the 19th to early 21st centuries and the impact this will have on Japanese politics in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 近年の日本の政治には、民主党(DPJ)の台頭と凋落から、経済・人口動態の危機の増大、平和運動の潜在的な再燃まで多くの重要な変化が見られる。この科目は、これらの変化、その他の問題が日本国内外のより大きな流れとどのように結びつき、作用しあっているのかを検討する。学生は、日本の政治に影響を与える主要政党、その他のアクターに関する知識を得る。また、19世紀から21世紀初頭までの日本の政治史、それが将来の日本政治に及ぼす影響についての理解を広げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Japanese Society	This course introduces students to the study of Japanese society. This includes a general introduction to the transition of Japanese society from traditional to modern, as well as to Japan's contemporary social conditions through subjects such as social modernisation, demographic changes, social stratification, social welfare, employment patterns, education, immigration, family and sexuality. In doing so, the course discovers the path of modernisation in Japan in comparison to Western countries and East Asian societies, and discusses Japan's future in light of current globalisation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は日本社会への入門科目である。本授業において、伝統的な社会からモダン社会への転換過程を論じる一方で、社会的モダニゼーション、人口転換、社会階層、社会福祉体制、雇用パターン、教育、移民の現状、家族とセクシュアリティ等のようなトピックから現代日本の社会的条件を明らかにする。そうしながら、西欧諸国や東アジア地域と対照して、日本における近代化の道筋を議論し、グローバル化の中での日本の将来を考える。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japanese Economy	This course provides an introduction to the Japanese economy. The classes consist of lectures, presentations and discussions.We will first introduce basic economic concepts as a basis for analysis, and then discuss institutional background and various aspects of the Japanese economy, including growth, business management, fiscal affairs, and international trade. Current topics such as the country's population aging, labor market dualism, and the government's new economic program dubbed "Abenomics", will also be discussed.Japan emerged as the first non-Western industrialized state and became the second largest power in the world economy. However, after the collapse of the asset price bubble in the 1990s, the country experienced Japan's lost decade(s). Students are expected to learn lessons from Japan's economic success and failure. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本経済への入門である。授業のスタイルは、講義、プレゼンテーション、議論である。授業では先ず、分析の用具としての経済学の基礎知識を紹介する。続いて、日本の経済システムのほか、成長、企業経営、対外関係をはじめ多角的な論点から日本経済を検証する。また、高齢化、労働市場での格差の拡大、政府が取り組んでいるアベノミクスと呼称される経済政策など、日本経済が直面する諸問題を取り上げる。日本は、欧米以外で初めて産業化に成功し、一時は世界第二位の経済規模を有するに至った。しかし、1990年代の資産バブルの崩壊後、「日本の失われた十年(あるいはそれ以上)」と言われる長期低迷に見舞われた。受講者は、こうした日本経済の成功と失敗から有益な教訓を得ることが期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	United States Politics and Foreign Policy	As we approach the third decade of the twenty-first century the US is faced with a 'rising' China abroad, a weak economy at home, and an increasingly polarized domestic political landscape characterized by movements such as Occupy Wall Street and the Tea Party. These events and the broader historical, political and theoretical background they connect with will form the basis of this course. The course itself will be divided roughly into two, with the first half examining US domestic politics, and the second half looking at US foreign policy. This division is not totally rigid, however, and elements of both will crop up either side of the halfway divide. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 21世紀の30年代が近づくなか、米国は国外では中国の「台頭」に、国内では経済の弱体化に直面している。またオキュパイ・ウォールストリートやティーパーティなどの運動に見られる国内政治の二極化も進んでいる。これらの事象、さらにそれに関係するより広範な歴史・政治・理論的背景が、この科目のベースになる。講義そのものは大まかに前後半に分かれる。前半は米国の国内政治、後半が外交政策である。ただしこの区分は厳格ではなく、取り上げる内容が前後半で重複する場合もある。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japan-United States Relations	The US-Japan relationship is described by many as the most important foreign relationship either country has and since 1945 relations with the United States have formed the central focus of almost all Japanese foreign and security policy and strategy. This course aims to improve students' awareness of the origins and evolution of US-Japan relations since the mid-nineteenth century and will examine the changing relations between the two countries and the evolution of their relationship from bitter rivalry to today's close partnership. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 日米関係は両国にとって最も重要な対外関係の一つであるというのが大方の見方であり、1945年以来、米国との関係はほぼすべての日本の外交・安全保障政策・戦略の中心となっている。この科目は、日米関係の起源と19世紀半ば以降の変遷について学生の認識を深めることを目的とし、厳しい対立から現在の緊密なパートナーシップに到達するまでの両国の関係の変化について検討する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Special Lecture (Area Studies Course)	This course looks at a variety of political, economic and social issues in [PLACE] in their historical and contemporary international contexts. The course combines lecture-based sessions with interactive discussion in order to give student the opportunity to gain a multi-level, comprehensive view of these issues. By completing this course student will be able to gain a thorough, broad knowledge of the relevant issues in [PLACE]. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では世界各地域の政治・経済・社会的な課題を、歴史的な背景を踏まえ、国際社会の中に位置づけながら取り上げる。この科目では、講義形式と、必要に応じてグループワークを組み合わせ、多角的、複合的視野から各々の地域が抱える諸問題について考えることを目的とする。この科目を通して、各地域についての幅広い知識と深い理解を身に付けることができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Foreign Relations of Japan	This course covers the foreign relations of Japan up until the current day. While looking back over a variety of issues that Japan has encountered in its foreign relations and examining the principles and thought behind how the Japanese government has engaged and dealt with them, we will compare and discuss Japan's foreign policy in relation to that of other countries. This course gives students an opportunity to learn about, critique and evaluate Japan's foreign policy and that of related countries. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日までの日本の外交政策について取り扱う。この科目では、日本が抱える様々な外交問題を取り上げ、それらについて日本政府が取った対外政策がどのような理念と構想により決定されたかについて振り返りつつ、日本以外の国の外交政策と比較しながら、検討し、学生と共に議論する。この科目を通じて、日本の外交政策を諸外国のそれと比較して評価できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Business Administration of Japan	This course looks at the historical develpment of the Japanese-style management model, its current state and the issues its faces. Through a study of a number of case studies, and by trough a consideration of comparisons with other countries, we discuss the strengths and weakness of this model, its historical evolution and possible future prospects. Students will gain a deeper understanding of Japanese society and culture, as a context for understanding a variety of management paradigms and strategies. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本型経営モデルの歴史的変遷、およびその現状と課題を取り扱う。この科目では、様々な具体的事例を紹介し、諸外国との比較的検討を通じて、日本型経営の長所および短所、ならびに歴史的および将来的視点について検討する。この科目を通じて、経営学における様々なモデルや経営戦略の多様性について確認すると共に、日本の社会や文化についての理解を深める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Korean Studies	This course deals with the historical development of Korea in the modern and contemporary periods. It is designed to introduce students to the main aspects of modern and contemporary Korean society, including those pertaining to the family, gender, religion, and political system. We will start the class by introducing theoretical frameworks that analyze the Korean society. We will then learn more specific topics. Classes are conducted through various methods such as group work and discussion, using various media such as newspapers, magazines, and the Internet. This course provides overall knowledge about contemporary Korean society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、近現代における韓国の歴史的変化を取り上げる。家族、ジェンダー、宗教、政治体制に関するものを含め、近現代の韓国社会の主要な側面を概説する。まず韓国社会を分析するための理論的枠組みを示してから、具体的なトピックを取り上げる。授業は、グループワークやディスカッションなどの形式をとり、新聞、雑誌、インターネットなど多様なメディアを用いて行う。授業では現代の韓国社会に関する総合的な知識を提供する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Contemporary China	This course provides an overview of the politics of China today. It consists of two parts: one on the domestic politics of China (focusing on the legitimacy of the Chinese Communist Party), and the other on the international politics of China (focusing on the notion of international responsibility and the importance of historical memories). Each class consists of a mini-lecture and seminar-style discussion based on required reading. Upon the successful completion of the course students will be able to write an essay with a theoretically-informed argument on China's domestic and/or international politics. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日の中国政治概説を取り上げる。中国共産党の正統性に注目した国内政治と、国際的責任の概念や歴史的記憶の重要性に注目し国際政治の2部構成である。授業では講義と必読文献を元にしたセミナー形式のディスカッションを行う。この科目終了時には、中国の国内及び(または)国際政治に関して、理論に基づく主張をレポートに執筆することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced topics in Area studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	South East Asian Studies	This course is designed to introduce Southeast Asian Studies to undergraduate students. Why is Southeast Asia identified as a regional unit in today's international relations? What are commonalities and differences in colonial history in Southeast Asia? Why have some countries experienced high economic growth and why have some not? Why in some countries in Southeast Asia, did political democratization take place whereas other had very different experiences? The political economy of international relations in Southeast Asia is very dynamic and students are expected to learn its unique nature from historical and comparative perspectives. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、学部生を対象にした東南アジア研究概論である。現代の国際関係において東南アジアが1つの地域単位とみなされているのはなぜか。東南アジアの植民地の歴史における共通点と相違点は何か。顕著な経済成長を遂げている国とそうでない国があるのはなぜか。東南アジアには政治的民主化がなされた国もある一方で、それとはまるで異なる国もあるのはなぜか。東南アジアの国際関係における政治経済はきわめてダイナミックであり、学生は、歴史をふまえた比較の観点から、この地域固有の性質を学ぶことができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Modern Japanese History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Introduction to Area Studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Kyoto and Japanese Arts	The course consists in a comprehensive survey of the intimate relationship between the city of Kyoto and the birth and development of Japanese art and culture. Beginning with the circumstances which led to the foundation in the Kyoto basin of an everlasting capital, the course puts a special emphasis on the history of civil and religious architecture, introduces the performing arts of the various eras (noh, kyogen, kabuki), examines the culture of the tea ceremony and tells the story of the glory and decline of the period movie and its industry. Students will be asked to make oral presentations, thus increasing their ability to convey their ideas in the English language. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、京都が日本の芸術・文化の誕生と発展にどのように関わってきたかを総合的に検討する。この科目では、京都の古都としての歴史、宗教との関係、伝統的な建築などに重点を置き、各時代の芸術（能、狂言、歌舞伎）や茶道をはじめとする伝統文化に注目しつつも、時代劇を代表とする映画産業なども検討の素材に含める。この科目では、授業の中で取り上げられたテーマに関して英語でプレゼンテーションをすることにより、自分の考えを英語で表現する能力を発展させる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japan and the west	The aim of the course is to introduce students to some of the most significant historical and cultural issues and concepts in the complex relationship between Japan and 'the West'. This course aims to challenge students to question taken for granted essentialized binary opposition between Japan and The West and to understand the nature of complex and mutually constitutive relationship between the two. This course uses academic texts, case studies, and visual aids to facilitate students understanding and engagement. This course enables students to engage in theoretically and historical debate about the relationship between Japan and the West. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本と「西洋」の複雑な関係に顕著にみられる歴史的、文化的な問題と概念にふれることを目的とする。疑いなく受け入れられている日本と西洋という二項対立を問い直し、双方にとって本質的で複雑な関係の性質を理解する。文献、ケーススタディ、視聴覚資料を用いて授業への参加と理解を促す。学生は、日本と西洋の関係について、歴史を踏まえた理論的な議論に参加することができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	

地域研究科目	立命館大学	Internship(Area Studies)	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
シニアキャップストーン科目	アメリカン大学	SISU-419 Senior Capstone: International Studies	Topics vary by section. Rotating senior capstone topics focusing on international studies. Grading: A-F only. この科目は、シニアキャップストーンプロジェクトを完成させるため、教員の指導のもと、それぞれのトピックについて取り扱う。	
	立命館大学	Advanced Seminar	This course provides opportunities for learning together for students with the same interest in an academic field that is of the most interest to them in the field of international studies. The objective is to encourage ongoing study in order to develop the ability to ultimately write a graduation thesis, to compile information, and create documents. Students will also improve their communication skills through a combination of classes taken in AU and RU. Assessment is formative and summative. この科目は、国際関係学の中で自らが最も関心を持つ学問領域について同じ関心を持つ学生と共に学ぶ機会を提供する。この科目では、継続的な学びを通じて最終的に卒業論文を作成するレベルの知識、ならびに情報収集能力および文書作成能力を修得することを目標とする。加えて、この科目を通じて、アメリカン大学並びに立命館大学での学びの集大成として、コミュニケーション能力の向上をはかる。評価は、形成的評価および総括的評価により行う。	

シニアキャップストーン科目	立命館大学	Graduation Research	Students taking this subject will write a graduation thesis that demonstrates all they have learned in the College of International Relations. This subject is closely tied to topics covered in advanced seminars. Under the close guidance of an adviser, students set objectives based on their interests and conduct exhaustive research and accurate analyses using literature and data, after which they present their views in a thesis. This subject allows students to bring together the knowledge, methodologies, logic, and other learning acquired throughout their studies in the College of International Relations. Assessment is summative. この科目は、国際関係学部における学びの集大成である卒業論文の作成をおこなう。この科目では、専門演習での学びと密接な連携を持つ。学生は、指導教員の綿密な指導の下で、自らの問題関心にもとづいて課題を設定し、文献やデータなどの十分なリサーチと正確な分析をおこなった上で、自らの見解を論文としてまとめる。この科目により、国際関係学部でこれまで学んだ知識や方法論、論理性などが集約される。評価は、総括的評価により行う。	
選択科目	アメリカン大学	Independent Study	This course allows students to explore a topic of international relations of particular interest to the student and acts as preparation for completing the capstone requirement. この科目は、学生が、国際関係学分野に関係する学生の固有の関心（課題）及び、キャップストーン要件を満たす準備作業等について（指導を伴って）取り組むものである。	
	立命館大学	Global Political Economy	This course will provide students with basic analytical frameworks to understand the fact that international/global political issues and international relations, as well as foreign affairs, are essentially caused and influenced by a variety of economic factors and policies. In this course, analyses and discussions are more focused on policy-based and practically-oriented aspects of economics and the real economy at the global scale. Several economic issues, which cannot be analyzed under the conventional frameworks in economics will be taken up in this course. The subjects/ issues include: Political economy of the US and other nations in trade issues; major effects of central banks' monetary policies on the global economies; industrial development strategies and economic policies based on the 'Washington Consensus'; Capital account liberalization and its effects on the risks of crises, etc.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は現在の国際経済の基礎的な知識（国際貿易、国際収支、為替制度、金融市場等）とともに様々な国際経済の現象（例：為替変動、株価変動、危機発生、国際政治経済情勢等）を理解する基礎となる理論的背景と具体例を採りあげる。本科目では様々な国際経済状況の変化や危機（例：アジア、ラテンアメリカ、欧米等）の背景（国際資本移動の自由化）や規制・管理の方策、国際開発金融、望ましい国際金融体制等について理論的かつ政治経済的な側面から理解させる。また、主要な国際機関（世銀・IMF、ADB等）のプログラムと評価、国際貿易・金融体制、国際機関と経済発展・協力の課題についても学習する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

選択科目	立命館大学	Introduction to Law	This course is designed as an introduction to the essentials of law and legal systems. It aims to provide insight into the nature and function of law and familiarize students with key concepts, institutions and processes in various fields of law, such as constitutional law, criminal law, procedural law, property law, contracts and torts. The course seeks to place law in its social, economic, political, historical and philosophical context and thus not only to provide students with a knowledge of legal institutions but also to help them to develop a critical understanding of the operation of those institutions in society. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、法律および法体系の基本を学ぶ概論である。法律の性質と機能を洞察し、憲法、刑法、手続法、財産権法、契約法、不法行為法など、様々な法律分野の主だった概念、制度、プロセスを知ることを目的とする。社会、経済、政治、歴史、哲学の文脈で法律をとらえ、法制度の知識を得るだけでなく、これらの制度の社会における働きを根本的に理解できるようにする。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Natural Sciences	This course deals with basic theories and major findings in particular fields of natural sciences and analyses their relation to human society and culture as well as approaches to global issues that the international society has faced. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. Students taking this course will be able to understand human society and culture, global issues from the viewpoint of natural science. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、自然科学のいくつかの分野における基礎的な理論および知見、ならびにそれらと人びとの生活・社会との関係、地球規模の課題群に対する自然科学的な解決手段などを取り扱う。この科目では、さまざまな事象や文献を用いながら、セミナーまたは講義形式で進められる。この科目を通じて、自然科学的な観点から文化・社会およびグローバル・イシューを理解する力が向上させられる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

選択科目	立命館大学	Introduction to Humanities	How do people create their world, their environment, traditions and heritage? How are they in turn created by them? This course looks at the contemporary world through the lens of human culture and provides an introductory overview of cross-disciplinary approaches to social issues and global problems with a base in the humanities, including, but not restricted to, geography, history, languages and linguistics, philosophy and the arts. In order to draw on students' diverse experience and knowledge, this course combines lecture-based elements with interactive teaching styles such as group discussions, presentation and seminars. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 人間は、自らの世界、環境、伝統、遺産をどのように創造するのか。そして、それらをどのように活用するのか。この科目は、人類の文化というレンズを通して現代世界を眺め、地理学、史学、言語および言語学、哲学、芸術等を含めた人文科学をベースとして、社会的課題やグローバルな問題への学際的アプローチを概論する。学生の多様な体験と知識を引き出すために、講義に加え、グループディスカッション、プレゼンテーション、ゼミなど双方向的なスタイルで授業を行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Development Studies	The course broadly introduces students to the topics related to international development cooperation, by particularly focusing on the post-WWII era. Important development concepts such as human development, economic development, and important development actors, such as governments, private sector, NGOs and non-traditional donors, will be explained. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、第二次世界大戦後の時代に焦点を絞り、国際協力開発に関係するトピックを概論する。人間開発、開発経済、開発の重要なアクター(政府、民間セクター、NGO、非伝統的ドナー等)など、開発の重要な概念を説明する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive English Ⅰ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS I focuses on building vocabulary and reading comprehension. Students will learn reading skills and read texts with a variety of genres in general academic fields. Students will also practice reading short texts such as newspaper articles as well as long ones within a limited time in order to cope with major program courses carried out in English. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、アカデミック・スキルの授業や英語による専門授業の受講および交換留学の準備など、学生のさまざまなニーズに対応するために、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする選択科目である。IEIS Ⅰは、英文読解と語彙に重点を置き、リーディング・スキルを用いて、アカデミックな分野のさまざまなジャンルの英文を読み解く。英語で行われる授業に対応できるように、長文のエッセイやテキストの章だけでなく、新聞記事などの短文なども限られた時間内で速読する演習も行う。評価は、形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English Ⅱ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS II promotes communicative competence by preparing students to demonstrate their listening and speaking skills in approved standardized tests. Topics of interest within International Studies are incorporated into the syllabus, while maintaining a focus on chosen themes for test preparation. Course objectives include promotion of the ability to engage in face-to-face interview situations and to converse on topics such as describing your own life situations and goals, and the ability to understand conversations about everyday experiences and educational context situations. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIは、特にリスニング・スキルやスピーキングスキルなどの口頭によるコミュニケーション・スキルに重点を置く。この科目では、標準テストについても念頭に置きつつ、国際関係に関するトピックを選択する。また、一対一の対面式のインタビューを行ったり、自分の将来や教育環境における経験について会話する能力を伸ばすこともこの科目の目標である。評価は形成的評価を行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive EnglishⅢ	The aim of Intensive English III is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in planning, drafting and revising a variety of academic genres combining macro-level skills on the textual level with micro-level skills on the sentence level. In class, students will analyze samples of good writing, plan their response to a given writing task and collaboratively develop texts that summarize pertinent information, compare and evaluate different sources, and support their arguments. Students will also gain practice with task types generally included in standardized exams. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIIは、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、テキスト単位のマクロなレベルのスキルと文単位のミクロなレベルのスキルをつなぎ合わせ、アカデミックなさまざまな文章を草稿し、リライトする。この科目では、優れた例を分析し、文献を比較・評価し、議論を支える資料を見つけ、ライティングを行う。標準テストに出題されるような問題演習も行う。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive EnglishⅣ	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive English V	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English VI	The aim of IEIS VI, similar to IEIS III, is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in manipulating the basic building blocks of successful writing at the sentence, paragraph and textual level. In class, students will study argument structure, thesis and support, discuss writing strategies appropriate to their context and analyze common errors occurring in their work. Students will also gain practice with a variety of test-related genres such as independent vs. integrated writing, descriptions of graphs and tables, as well as opinion essays. IEIS VIの目標は、IEIS IIIと同様に、アカデミック英語運用能力を習得することであり、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、文章レベルからテクストレベルまで、優れた文章を書く基本知識を学ぶ。例えば、論理構造、主題と根拠、文脈に適切なストラテジーなどについて議論し、演習を行う。自由英作文や複合英作文、エッセイやグラフの書き方など、標準テストなどでも問われるさまざまなジャンルのライティングを演習する。 評価は形成的評価を行う。	

（注）

1　国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その３の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。

2　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

3　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）（立命館大学）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	立命館大学	Introduction to Linguistics	This course introduces students to the study of language. The course provides students with a comprehensive understanding about contemporary linguistics through subjects such as the origin and properties of language, the differences and similarities between animal and human communication, the properties of grammar, the types of language acquisition, as well as the relationship between language and culture. By giving ample examples from various languages, the centric focus of the course is on how reality is perceived and reflected in language, and also on how language and thinking are related to each other. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、言語研究への入門科目である。この科目では、言語の起源や基礎的な特徴、人間と動物のコミュニケーションの相違点と類似点、言語学習の類型、言語と文化との関係等のトピックを提示した上で、言語学について総合的な知識を与える。この科目において、現実認識と言語のあり方との関係性、そして言語と思考との関係性は中心的な課題である。この科目は、基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Anthropology	This course will introduce students to the central topics, concepts and methods of socio-cultural anthropology, which can be broadly defined as the study of human cultures and societies. It will survey the key topics in contemporary socio-cultural anthropology and offer insights into how the seemingly most commonsensical aspects of people's lives can be informed by the social contexts of which they consider themselves a part. The course focuses on anthropological theories, thus also providing a historical overview of the discipline. It draws on ethnographic examples and case studies from various societies, but contemporary Japan will be central, in order to provide students with an understanding of where we are living. Active participation in discussion will be fundamental.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、様々な人間集団の文化と社会を考察する学問である文化人類学についての入門的知識を提供する。この科目では、文化人類学における理論に着目することにより、本学問の歴史的展開も検討の対象とする。また、私たちが暮らしている枠組みを分析するため、現代日本に関わる事例が中心的になる。この科目は講義形式で行われるが、議論への積極的な参加が期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Sociology for Global Studies	This course introduces students to the study of sociology. This includes a brief introduction to the history of sociology, the sociological way of thinking, sociological dilemmas, social relations and institutions, as well as the study of micro and macro-level issues. In doing so, the students will learn fundamental concepts related to sociology in order to have a wide-ranging lexical knowledge in this academic field, they will also acquire a basic analytical ability indispensable for the study of global issues and the conditions of the international community from a sociological perspective. The course is basically a lecture course, but there is also enough room given for doing both open discussion and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は社会学への入門科目である。本授業では、社会学史や社会学的な考え方への入門、社会学的なジレンマ、社会関係や社会的諸制度のあり方、そしてミクロとマクロレベルにおける様々な社会現象から論じる。そうしながら、学生は社会学の分野における幅広い語彙的知識を持つために、社会学に関連した基本的な概念を学び、また、社会学的観点から国際社会の状況やグローバルイシューの研究に不可欠な基礎的分析能力を獲得する。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Politics for Global Studies	This course uses the history of Western political thought to explore and introduce wider issues in politics such as the roles and responsibilities of political organisations, their leaders, and their subjects / members; as well as concepts such as democracy, communism, utilitarianism, and others; and how these have evolved over time. With classes covering the era from ancient Greece to the mid-20th century, the major ‘classic’ works of European political thought are examined. The content of the course also introduces students to key concepts and ideas which form the basis of both the academic discipline of politics and the origins of International Relations as a distinct field of academic inquiry.The teaching methods of the module are designed to develop cognitive, writing and presentation skills. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、民主主義、共産主義、功利主義などの概念、政治団体、その指導者、支持者／メンバーの役割と責任、およびこれらの変遷など、西欧政治思想史を用いて政治の幅広い事項を概説する。授業では古代ギリシャから20世紀半ばまでの時代をカバーし、欧州政治思想の主要な「古典的」著作について考察する。学術的探求の明確な一分野として、政治学の学問領域および国際関係学の起源の基盤となっている主要な概念と考え方も取り上げる。認知、記述、プレゼンテーションのスキルを伸ばす授業形態をとる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Modern World History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基礎科目	立命館大学	Professional Workshop	Through specialized workshops spanning lines of work that include government, media, and private enterprises, this course presents specialized knowledge and information to students with a professional interest in these areas and imparts specific and practical knowledge needed for their career path. Students will actively examine issues and make reports based on talks from guest speakers conversant in their respective fields and on guidance from teaching staff with practical experience in that area. This course will afford students the opportunity to contemplate their career after graduation. Assessment is formative. この科目では、行政、メディア、民間企業といった各業種に関する専門的なワークショップを設け、当該分野を志望する学生に対して、専門的な知識や情報を提示するとともに、キャリア・パスのために必要な実践的で具体的なノウハウを教授する。この科目では、それぞれの分野に精通したゲスト講師の講演や、当該分野で実務経験を有する教員による指導を踏まえて、学生の主体的な検討と報告を中心に行われる。この科目により、自らの卒業後のキャリアについて考える機会を提供する。評価は、形成的評価により行う。 (オムニバス方式/前15回) (25　西崎 純代/7回) 上記テーマのうち、主としてビジネスに関する分野、日本国内に関連する分野について取り扱う。 (24　林 恩廷/7回) 上記テーマのうち、主として国際機関に関する分野、国際的な領域に関連する分野について取り扱う。 (25　西崎 純代　24　林 恩廷/1回)　(共同) 上記のうち、総括的内容について取り扱う(総括プレゼンテーション等)	オムニバス方式・共同(一部)
	立命館大学	Academic SkillsI	The aim of Academic Skills I is to familiarize students with theories, historical developments and current issues in the field of International Relations while developing their reading and critical thinking skills. In class, students will analyze and evaluate assigned readings for content, structure, facts and opinion, language use, implied meaning and contradictions, compare opposing viewpoints and express their own standpoint supported by evidence from the text or other relevant outside sources. Class activities may include group discussions, oral presentations, formal debates as well as units on rhetoric, grammar refresher spotlights and short response papers. The focus of this course is on developing students' conceptual background, power of analysis, and sense of diversity. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミック・スキルⅠの目標は、リーディング・スキルとクリティカルシンキング・スキルを習得する一方で、国際関係学の分野の理論、歴史的な展開、および現在の問題について学ぶことである。この科目では、学生は課題の資料を分析し、内容、論理構造、事実と意見、含蓄された意味や矛盾点を検討する。また、対立する考え方を比較し、根拠のある自己の意見を表す。グループディスカッション、プレゼンテーション、ディベートをおよび短いエッセイを作成する。学生の思考力、分析力、そして多様性に対する感性を伸ばすことに重点を置く。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基礎科目	立命館大学	Academic Skills II	The aim of Academic Skills II is to develop students' academic writing competence together with related skills such as critical thinking, autonomous learning, research and referencing, team work and IT skills. Students will examine contentious issues in International Relations, identify key questions and construct well-supported, logically sequenced arguments to address these questions. They will familiarize themselves with conventions of academic writing, expand their academic vocabulary and increase their control over complex grammar. Class activities may include group discussions and oral presentations, sentence, paragraph and essay-level writing, as well as academic skills training such as paraphrasing, citing and referencing. The focus of this course is on developing students' research skills, power of argument and support, written expression, and awareness of writing conventions. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅡの目標は、クリティカル・シンキング、ITを含むリサーチ・スキルといった他のスキルとともに、ライティング・スキルを習得することである。学生は、国際関係学の論争を検討し、重要な問題を認識し、論理的な議論を用いてそうした問題に言及する。また、アカデミックなライティングに慣れ、語彙を増やし、複雑な文法を駆使する。この科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションを行い、さらにエッセイを書く。また、パラフレーズ、引用と参照文献を含むアカデミック・スキルを用いた練習も行う。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	
	立命館大学	Academic Skills III	The aim of Academic Skills III is to solidify students' writing, research and academic interaction skills. Students will conduct in-depth research on a topic of their choice within International Relations, integrating a wide range of academic sources, and present their findings in the form of a substantial academic paper accompanied by a conference-ready oral presentation. Class activities may include progress reports on individual research, a series of writing and editing sessions, critical discussions of research methods, research ethics and underlying research paradigms, as well as lectures and discussions on emerging theoretical and practical issues in IR. The focus of this course is on developing students' academic literacy and voice while creating a deeper understanding of the complex nature of academic research and scholarship. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments as well as one or more essays, papers, and presentations, based on a rubric that targets each skill. アカデミックスキルⅢの目標は、学生のライティング・スキル、リサーチ・スキル、アカデミックなコミュニケーション・スキルを強化することである。学生は国際関係学分野における選択したトピックについて十分な調査を行い、幅広いアカデミックな資料を組み入れ、カンファレンスでの口頭発表に伴う論文の形で研究結果を提示する。この科目では、各自の研究について進行状況を報告したり、ライティング・セッションを行ったり、研究方法について批判的な議論を行ったり、研究倫理やリサーチのパラダイムなどについても議論する。評価は、ルーブリックを基に、平常の授業参加と課題から測る形成的評価を行う。	

基幹科目	基礎経済学	立命館大学	Macroeconomics	This is the core theory course in macroeconomics designed for global studies students. Macroeconomics, the study of the economy as a whole, is concerned with economy-wide phenomena such as growth, inflation, employment, money stock, and the balance of payments. We will study the theoretical framework of macroeconomics and learn to apply it to the analysis of macroeconomic policy issues. Emphasis is placed on understanding relations among macroeconomic variables and tools of analysis for the open economy. Monetary and fiscal policies as well as their cross-border spillover effects are also discussed. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル・スタディーズを専攻する学生を対象にしたマクロ経済学の基本理論である。経済を1つの全体として研究するマクロ経済学は、成長、インフレ、雇用、マネーストック、国際収支など経済全体としての現象を扱う。この科目では、マクロ経済学の理論的枠組み、マクロ経済政策課題の分析へのその応用を学ぶ。マクロ経済の様々な変数の関係、開放経済の分析ツールを理解することに重点を置く。金融・財政政策とそれらの国境を越えた波及効果も取り上げる。この科目は講義形式が最適ではあるが、クラスディスカッションも行うので積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Microeconomics	This is the core theory course in microeconomics designed for international relations students. microeconomics explores how consumers and firms behave, markets function, and government policies shape economic results. Starting from the basic ideas of opportunity cost, gains of trade, and supply and demand, we will study the principles of microeconomics that have important implications for global economic issues. Emphasis is placed on understanding tools of analysis for international trade models. We will also discuss optional topics such as information, game theory, and decision-making under uncertainty. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際関係学を履修する学生のためのミクロ経済学概論である。ミクロ経済学は、消費者や企業の行動、市場の機能、政策が経済的成果をどのように形成するのかを探求する。機会費用、交換の利益、需要と供給の基本概念からスタートし、グローバル経済に大きな影響を与えるミクロ経済学の原則を学ぶ。国際貿易モデルの分析ツールを理解することに重点を置く。また、情報、ゲーム理論、不確実な状況下での意思決定などのトピックも適宜議論する。この科目は講義形式に適しているが、学生はクラスディスカッションにも積極的に参加してほしい。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

基幹科目	基礎経済学	立命館大学	Economics for Global Studies	This is an introductory course in economics designed for international relations students. It covers both microeconomics and macroeconomics. Topics include (but are not limited to) gains from trade, supply and demand, elasticity, consumer and producer surplus, national income, fiscal and monetary policies, economic growth, and the open economy.The goals of this course are to enable students to understand the basic principles of economics that underlie international economic relations and to acquire basic skills with which to analyze current issues in the global economy.The classes consist of lectures, presentations and discussions on the foundations of economic principles.This course will keep a non-technical profile. Mathematical skills beyond simple algebra and graphical analysis are not required. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際関係学を学ぶ学生のための経済学入門である。ミクロ経済学とマクロ経済学の両方をカバーする。取り上げるテーマは、交換の利益、需要と供給、弾力性、消費者余剰と生産者余剰、国民所得、財政・金融政策、経済成長、対外開放経済などである。この科目は、受講者が国際経済関係の根底にある基本的な経済原理を理解することと、世界経済で起きている諸問題に対応するための基礎的な分析力を得ることを目指している。授業のスタイルは、基本的な経済理論についての講義、プレゼンテーション、議論である。本科目では、数理的なアプローチは用いない。単純な算式やグラフが理解できれば十分である。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	国際政治	立命館大学	Theories of International Relations	This course will introduce students to the basic theoretical approaches to international relations. The aim of the course is to learn about a variety of distinct perspectives and how they highlight different aspects of international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group work, etc. By studying for this course, students will be able to understand the basic theories, concepts and debates in International Relations and to apply these insights to contemporary international affairs.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際関係学の基本的な理論を取り上げる。国際関係についての多様な理論的視座を学ぶことによって、国際社会の諸課題を多角的に検討する。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の基礎的な理論、概念や論争を理解し、それらを実際の国際関係の諸問題にむすびつけて考えることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Introductory Seminar I	The purpose of the course is to leave students with a foundational knowledge of world politics and an appreciation of a range of the major issues that future practitioners in international affairs will confront in the 21st century. The course also serves as an introduction to university life and as such also seeks to provide the skills students need relating to their studies, including, research, note taking, critical thinking, and on life in Japan and at university in general.This course will use formative evaluation. この科目の目的は、世界政治の基礎知識を身につけ、将来の実務家が21世紀の国際情勢で直面する主要課題を幅広く理解することである。この科目は大学生活への導入にもなり、リサーチ、ノートの取り方、批判的思考を含め、学業や大学生活全般に関連して、また日本での生活に必要なスキルを提供する。評価は、形成的評価で行う。	

基幹科目	コーホート	アメリカン大学・立命館大学	SISU-106 First Year Seminar	Topics vary by section, not repeatable for credit. This seminar course introduces first semester AU home and 4th semetser RU students to major current world affairs and to life at American University. This is a cohort class where RU and AU students will study together. Grading: A-F only. セクションにより異なったトピックを扱うが、重複して単位を取得することはできない。本科目では、第一セメスターAUホーム学生と第四セメスターRUホーム学生を対象とし、現在の主な国際情勢と、アメリカン大学における学生生活について紹介する。本科目は、RU学生とAU学生が一緒に受講するコホートクラスとなる。A-F評定のみ。	共同開設科目
		アメリカン大学・立命館大学	Japanese Culture	This course introduces students to the study of Japanese culture. The course is devoted to decompose the Japan myth as a unique society, and to reconstruct its real conditions from a cultural anthropological perspective. This includes a general introduction to core issues in the field of cultural studies, as well as to the genealogy of Japanese self-images such as “mixed nation” or “one nation”, invented traditions in modern Japan such as “harmony”, and also a reconsideration of popular images and theories on Japanese culture such as those regarding collectivism, conformity or shame culture. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This is a cohort class and Course Jointly Designed by Ritsumeikan University and American University, JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. この科目では、日本の文化について紹介する。日本の通説を独特の社会として解析し、文化人類学的視点からその実態を再構築する。これには、文化学分野の中核となる問題の概略紹介や、「混合国家」や「単一国家」などの日本の自己像の系譜、「調和」などの現代日本でつくられた伝統、集団主義、調和、恥じの文化など、日本の文化に関する一般的イメージや理論の再考が含まれている。科目は基本的に講義形式で行われるが、生徒が主体となる学習プロセスを促進するため、オープンディスカッションやグループディスカッションも行われる。これはコーホートクラスであり、かつアメリカン大学と立命館大学との共同開設科目である。JDクラスの学生は自国の文化や同級生の文化の理解を深める機会となる。	共同開設科目
		アメリカン大学・立命館大学	Cultural Awareness and Communication	This course offers a critical approach to the field of Cross-Cultural Communication by introducing students to ideas of ’culture’ and ’identity’. An understanding of these two concepts is fundamental to all human interaction and a knowledge of the worldwide variations found will enhance the ability of students to communicate successfully across boundaries at all levels. We also look at the importance of language in understanding cultures, and variations in fundamental understandings of such concepts as ’space’ and ’time’ which are shared by human beings around the world. The emphasis of the course is on human commonalities, rather than surface differences. This is a cohort class and Course Jointly Designed of Ritsumeikan University and American University. JD students will have the opportunity to further understand their own cultures and those of their fellow students. このコースは、学生に「文化」と「アイデンティティー」の概念を導入することにより、異文化間コミュニケーションの分野に対する批評的なアプローチを提供する。このような二つの概念の理解は、あらゆる人間の相互作用にとって基本的であり、見出される世界的な相違に関する知識が、あらゆるレベルにおいて、境界を越えるコミュニケーションを成功させる学生の能力を強化する。私たちはまた、文化の理解における言語の重要性、および世界中の人間が共有する「空間」および「時間」のような概念の基本的な理解における差違に目を向ける。このコースは、表層的な差違ではなく、人間の共通性を重視する。これはコホート・クラス、立命館大学、アメリカン大学による共同開設科目であり、JDの学生は、自身の文化および仲間の学生の文化をさらに理解する機会を得る。	共同開設科目

基幹科目	経済学	立命館大学	International Finance	This course covers the core set of principles of international finance. We first introduce the basics of international finance, including the balance of payments, roles and functions of the foreign exchange market, and interrelations among macroeconomic variables in an open economy. We then discuss currently topical issues such as international financial crises and monetary unions. The goal is to enable students to understand the relationship between the real economy and international finance and the basic forces behind international capital movements. Upon successful completion of this course, students will gain a keen insight into international financial markets. Although this course is best suited to a lecture format, students are encouraged to actively participate in class discussions.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、国際金融の重要な論点をカバーする。国際収支、外国為替市場の役割と機能、開放経済におけるマクロ経済変数の相互連関など、国際金融の基礎を解説した後、国際金融危機や通貨同盟などの今日的な問題を論ずる。この科目を通じ受講者は、実体経済と国際金融の連関や、国際資本移動をもたらす要因などを理解し、国際金融市場に対する識見を高めることが期待される。授業は科目内容に相応しい講義形式で行うが、受講者の積極的な参加が望まれる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Trade and Investment	This course deals with international trade and investment as two of those three pillars of international economics which include international finance. It is primarily a lecture-based course, which gives theoretical explanation of Classical and Neoclassical trade theories (and others) and international investment theory starting from Hymer and moving through to the Eclectic theory. The course promotes theoretical understanding of the basic framework of the modern world economy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際経済学の3つの構成要素である国際貿易、国際投資、国際金融のうち前記2つを取り扱う。この科目では、主として講義形式により、国際貿易の基本理論を古典派、新古典派等を通じて理解したのち、多国籍企業による国際投資に関するハイマー以来、折衷理論にいたる理論的発展を概観する。この科目を通じて、英語をツールとして、現代世界経済の基本的枠組みの理論的な理解を促進する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
リサーチメソッド科目		立命館大学	Introductory Seminar II	The purpose of the course is develop their analytical and practical skills necessary to begin conducting independent academic research. Using the seminar work by some reference materials, this class guides students through the process of conducting research from thinking of a topic through to the production of the final report. In the process students develop a detailed research project and report in a step by step process and enhance their critical thinking and research skills by continually refining and refocusing their research plans, sources of data, and topics in order to learn how to produce quality academic work. This course will use formative evaluation. この科目の目的は、独自の学術研究を始めるために必要な分析力と実践力を身につけることである。様々な参考資料を用いて、テーマの選定から最終レポートの作成まで研究のプロセスを学ぶ。学生はこのプロセスに従って、詳細な研究計画を立てて段階的にレポートを作成する。研究計画、データソース、テーマを継続的に見直し、調整することにより、批判的思考と研究のスキルを磨き、質の高い論文を作成する方法を身につける。評価は、形成的評価で行う。	

リサーチメソッド科目	立命館大学	Global Studies Research	This course aims to introduce students to the basic principles of interdisciplinary social science research that are particularly relevant to the fields of global studies and International Relations. The course will provide students with information about the methods and tools used in research and the situations in which they are applied. Topics include: understanding the purpose of research; identifying researchable issues; finding, evaluating, and using sources effectively; recognizing methods associated with different types of data; and writing a research report. The course will prepare students for undertaking research in areas such as globalization, international relations, international law, international governance, international human rights, global security and justice, international and transnational crime, international aid and development, environmental protection, comparative politics, immigration and multiculturalism. Students will be encouraged to select a research topic, develop a research plan and prepare a report based on the tools and methodology learned in class. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、とくにグローバル・スタディーズと国際関係学に関わる学際的な社会科学研究の基本原則を概論し、これらの基本原則が応用される研究や状況で用いる方法論とツールに関する情報を提供する。授業で取り上げるトピックは、研究目的の理解、研究対象の特定、ソースの効果的な特定・評価・活用方法、データのタイプに応じた研究方法の認識、研究レポートの作成などである。この科目は、グローバリゼーション、国際関係、国際法、国際ガバナンス、国際人権、世界の安全保障と正義、国際・越境犯罪、国際支援・開発、環境保護、比較政治学、移民、多文化主義などの分野の研究に取り組むための準備段階である。学生は授業で学ぶツールと方法論に基づいて、研究テーマの選択、研究計画の策定、レポートの作成を行うことが求められる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced Seminar (Research Methods)	Building upon the skills learned in ‘Global Studies Research’ students will plan and conduct a research project in a specific academic field of their choosing under the guidance of a single professor. They will receive more focused methodological instruction and will further develop their research skills through focused, sustained, and systematic research on a single topic. This will Improve students’ understanding of research methods and methodology in international affairs and encourage them to become a critical, reflective consumers and producers of research. この科目はGlobal Studies Research で学び、開発されたスキルを生かして、学生が担当教員の指導に基づいて選択する固有の分野において、リサーチ・プロジェクトを実施するものである。この科目では、学生は、リサーチ手法についての指導を受け、ひとつのトピックに関するフォーカスが明確で、持続可能かつ計画的なリサーチスキルを構築する。この授業は国際関係に関する学生のリサーチ手法と方法論に関する理解を促進し、研究に関する批判的、応答的な主体者び活用者となるよう働きかける。	
外国語科目	立命館大学	日本語Ⅰ-1(総合)	ごく基本的な日本語をある程度理解・発信することができるようになる。ごく初歩的な文法、平仮名、片仮名、漢字(50字程度)、語彙(400語程度)を習得し、あいさつや自己紹介ができたり、数を数えたりすることができるようになる。単語やごく短い文の読み書きができるようになる。ロールプレイなどを通じ、教室や日常生活によくある場面の単純なやりとりの会話や聞き取り練習を行う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅰ-2(総合)	ごく基本的な日本語の理解・発信能力を定着向上させる。初歩的な文法、漢字(150字程度)、語彙(800語程度)を習得し、自身の日常的な行動などについて、限られた表現でごく簡単に話すことができるようになる。平易な短文の読み書きができる能力を身につける。ロールプレイや会話練習を通じて、自分の家族について語ったり、自分の考えや希望、経験を述べたり、相手を誘ったりする練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅱ(ライティング)	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。新たに漢字(200字程度)を習得する。日常的な話題について、簡単な文章を書くことができるようになる。初歩的な漢字や語彙、初級文法を使って短い文章を書く練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅱ(総合)	基本的な日本語を理解・発信することができるようになる。初歩的な文法、語彙(1,500語程度)を習得し、ごく身近なテーマについて簡単な発話をしたり、聞いて理解する能力を身につける。平易な文や短い文章が読み書きできる能力を身につける。身の回りのことなど、主として具体的で日常生活に関係が深く、場面に密着したことがらを描写するために必要な初歩的な文型や表現を学習し、「読」・「書」・「聴」・「話」の四技能の向上を図るための練習を行う。初級文法の学習を終える。	
	立命館大学	日本語Ⅲ(ライティング)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。接続表現を適切に使った段落単位の文章が書けるようになり、平易な話題について、説明や意見表明の文章が書けるようになる。文の間の意味関係を意識した文章を産出する練習を行う。	
	立命館大学	日本語Ⅲ(総合)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解・発信することができるようになる。日常生活に必要な基本的な会話や、身近なテーマに関する簡単な叙述ができるようになり、身近なテーマに関する簡単な文章を理解する能力を身につける。日常会話を話題や場面に応じて適切に行うのに必要となる文型や語彙を学習する。待遇表現を含め、コミュニケーションを円滑にする話し言葉を学習する。また、複数段落の文章を読み、接続表現などに注意して大意を把握する。	
	立命館大学	日本語Ⅳ(ライティング)	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的な話題について、フォーマルな文体でまとまった文章が書けるようになる。書式に則ってさまざまな用紙に記入することができるようになる。一般的なことがらに関する文章を産出する練習を行う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅳ（総合）	日常的な場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。一般的なことがらについて、簡単な会話ができ、多少まとまりのある文章を理解する能力を身につける。論理的な文や文章の構成に必要な文法、表現、語彙などの学習をさらに進める。また、常体と敬体の使い分けを学び、常体の文章に慣れる。教材は日常的なテーマについて、身近なことから一般的な内容へ広がりのあるものを用いる。	
	立命館大学	日本語Ⅴ（ライティング）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。抽象的な語や比較的平易な専門用語を文章の中に適切に用いることができるようになる。さまざまな接続表現や文末表現を用いて、論理的な段落構成を踏まえた文章を書くことができるようになる。現代社会、文化、各自の専門分野など、幅広い話題について説得力のある文章を書く練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅴ（総合）	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。一般的なことがらについて幅広い会話ができ、論理的にまとまりのある発話ができ、論理的でまとまりのある文章を理解する能力を身につける。社会や文化など、多様なテーマの文章を教材として、その中で使用されている語彙、表現、文法などを学習するとともに、論理展開を予想しながら読むことを学ぶ。また、接続表現や機能表現などを含む論理的でまとまりのある発話に必要な表現力を涵養する。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（ライティング）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになり、専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（総合）	幅広い場面で使われる日本語を理解・発信することができるようになる。専門性のあることがらについても、会話ができ、意見が述べられるようになる。専門性のある文章を読み書きできる能力を身につける。論説文や雑誌・新聞記事など、専門性や時事性を含む文章を教材として、高度な語彙、表現、文法を学習するとともに、日本事情に関する理解を深める。また、分析的、批判的な読みをとおして、要点や論点を指摘したり、筆者の主張に反駁したりすることを学ぶ。	
	立命館大学	日本語Ⅵ（聴解口頭）	幅広い場面やテーマのまとまりのある会話、ニュース等を聞き、話の流れや内容を理解する活動を行う。また、現代日本社会や時事問題等のテーマでディスカッションやスピーチを行い、より高い表現能力を養う。	

外国語科目	立命館大学	日本語Ⅶ(聴解口頭a)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。大学での講義を正確に聞き取ることができ、それをノートに正確にまとめることができるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の授業に参加するために必要な聴解力・口頭表現力を養う。ノートのとり方、講義の聞き方の練習を中心とし、自分の意見を正確に伝える力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(聴解口頭b)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。発表に必要な分析能力、批判能力を身につけ、論理的に話せるようになる。日常的な会話能力を高めるとともに、大学の講義に参加するために必要な聴解力・口頭表現能力を養う。自分の関心のあるテーマについて情報を収集し、論拠を提示しながら論理的に話す力を伸ばす。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(読解a)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。読解のスキルを身につけ、文章構成、論理展開を把握し、推量、予測しながら読み進める力を養う。段落ごとに内容を理解し、文章全体の大意把握、要約ができるようになる。様々な文章の読みを通して読解のスキルを磨き、文章の内容をより速くより正確に掴めるようにすると共に、その背景にある日本文化・社会に対する理解を深める。さらに、段落の要点理解から、文章全体の大意を把握し要約する力を養う。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(読解b)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。読解のスキルを用いて、複雑な構造の長文の大意把握、要約ができ、評論、論説の読み方に習熟し、筆者の考え方、ものの見方をクリティカルに読み取り、自分の意見を述べることができるようになる。評論、論説文、小説等複雑な構造の長文を速読して、論旨を読み取り要約し、自分の意見を構築することを目指す。また異なる視点から書かれた文章を読み比べるなど、文章をクリティカルに読む姿勢を身につける。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(文章表現a)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。大学の授業で必要とされるレポートの全体像をつかみ、適切な文体や目的に応じた表現を使い、簡潔な形でまとめられるようになる。レポート作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	
	立命館大学	日本語Ⅶ(文章表現b)	大学での学びに必要な日本語の実践的な学術スキル(アカデミック・ジャパニーズ)を身につける。論文作成に必要な文章構成に基づき、適切な文体や目的に応じた表現を使えるようになる。アウトラインの作り方と論証の仕方を練習し、小論文が書けるようになる。論文作成に必要な文章構成を考え、適切な文体や目的に応じた表現を使い簡潔な文章を作成する練習をする。	

外国語科目		立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語a）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れ、高度な読解力、文章表現力、聴解力、口頭表現力を総合的にのばす。難解な文章を読み、内容や構成を把握でき、長文レポートの文章構成力、作成力、論理的な思考力や認識力、論理的発信力を身につける。	
		立命館大学	日本語Ⅷ（アカデミック日本語b）	アカデミック・ワークに必要な日本語力をさらに高度化し、ゼミなどの小集団授業や卒業論文執筆、大学院進学を視野に入れた総合的日本語力をのばす。関心のあるテーマについて情報やデータを収集し、論文を作成できるようになる。	
		立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語a）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。日本の社会や慣習を理解し、ビジネス場面における適切な表現、語彙を学ぶ。社会人としての基本的な敬語や待遇表現を身につけ、円滑なコミュニケーションができるようにする。	
		立命館大学	日本語Ⅷ（キャリア日本語b）	日本での就職をめざす際に必要な日本語力を身につける。実際のビジネス場面（電話、訪問、商談、等）に即したコミュニケーションの方法、ビジネス文書やメール文の実務的な表現や書式を学ぶ。プレゼンテーションの練習を行う。	
固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Introduction to The United Nations	The aim of this course is to introduce students to the United Nations' (UN) history, functions, structures, and contemporary challenges. By studying for this course, students should be able to understand the key concepts related to the UN and to apply these insights to contemporary international affairs. The course traces the development of the UN and its 'practices' within international politics. The course will consist of small group and class discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際連合の歴史、機能、構成、および今日の課題を概説することを目的とする。この科目を学ぶことにより、学生は国際連合の主要な概念を理解し、その洞察を現代の国際問題に応用できるようにする。国際政治の中での国際連合とその慣行の発展をたどる。講義は基本的に、小グループとクラス全体でのディスカッションにより進める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Comparative and Global Governance	The course looks at different ways of thinking about the drivers of history and the sources of political order and the ability of these approaches to explain developments in key historical periods: The rise of the nation-state and the competitive state system; the spread of democratic and non-democratic regimes; and the rapid increase in the number and importance of international institutions and the rise of new powers and alternative political orders in the contemporary period. The course will conclude with an effort to bring informed historical and theoretical arguments to bear on contemporary problems and to better anticipate and understand potential avenues of change in the future. この科目は歴史の推進要因と政治秩序の根源に対する様々な考え方と主要な歴史的時期における発展－国民国家の台頭と競争的国家システム;民主的および非民主的体制の拡散;国際制度の数的拡大と重要性の増大と現代における新しいパワーの台頭とオルターナティブな政治秩序ーを説明するためのこれらのアプローチの能力に着目する。この講義は幅広い知識の歴史的かつ理論的な議論に基づいて現代の諸問題を論じ、また、将来における変化の潜在的な方法をより良く予期し理解することを試みる。	
	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Race and Ethnicity in the Modern World	This course introduces students to studies of race and ethnicity from a historical and comparative perspective. Difference based on race, skin color, and ethnic origin has been incorporated into the formation of modern nation states across the globe. Indigenous peoples, racial minorities, and immigrant-based ethnic groups suffer from forced assimilation, marginalization, exclusion, and genocide in the process of nation-building. At the same time, minorities emphasized their identity based on race and ethnicity as a source of self-esteem and solidarity to overcome discrimination, oppression, and exclusion. The course examines the theoretical concept of race, nation, ethnicity in social science and questions ethnocentric views to conflicts in globalized society. It also focuses on various empirical case studies of racism, ethnic conflicts and multiculturalism across the glove. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は、歴史と比較の視点から人種エスニシティ研究を紹介する。人種、肌の色、エスニックな起源にもとづく差異は、世界各地における近代国民国家形成の過程に組み込まれてきた。その国家建設の過程では、先住民族、人種マイノリティ、移民エスニック集団は、強制的同化、周縁化、排除、そして大量虐殺という苦難を経験している。この講義では、社会科学における人種、ネーション、エスニシティの理論的概念について検証し、グローバル社会における自民族中心的な考え方を問う。また、世界各地の人種主義、民族対立、多文化共生などの事例研究にも注目する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Introduction to Gender Studies	This course explores gendering processes in everyday social life and in identity dynamics within global society. It draws on a range of feminist perspectives in gender studies. Students will engage in debate and discussion to deepen their understanding of mini-lectures and of academic reading content. They will also engage in simulation activities and research projects. They will develop the capability to challenge mainstream discourses on femininities and masculinities and to evaluate policies in terms of gender equality. Students will be able to analyze a wide range of gender issues from terdisciplinary and global perspectives. They will be able to critically examine the influences of gender in the construction of personal identities and national identities in policy documents, news media, entertainment media, and in the academy. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバル社会における日常の社会生活とアイデンティティダイナミクスに見られるジェンダリング（性別化）のプロセスを探求する。ジェンダー研究における幅広いフェミニズムの視点を活用する。学生は、ミニレクチャーと文献読解の理解を討論・議論を通して深めていく。シミュレーションとリサーチプロジェクトも行う。女性性と男性性をめぐる主流の言説を問い直し、ジェンダー平等の視点から政策を評価する能力を身につける。学生は、学際的でグローバルな視点から多様なジェンダー問題を分析できるようになる。政策文書、ニュースメディア、エンターテイメントメディア、学術界において、個人と国家のアイデンティティの確立にジェンダーが及ぼしている影響を批判的に検討できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	専門入門科目Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Security Studies	This course will cover basic arguments in Security Studies. Students are expected to develop skills for critical analysis and making logical arguments supported by evidence - in other words, to make academic arguments. Lectures intend to demonstrate how to analyse case studies applying relevant theories. The former part of the course focuses on analytical tools, i.e., theories in Security Studies. The latter part of the course will explore non-traditional security issues, such as transnational crimes and international terrorism.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は安全保障論の基礎的な議論をカバーするものである。学生は科学的根拠に支えられた批判的な分析力、論理的思考の発展、つまり、学術的な分析力をのばす事が求められる。講義は理論を用いた事例の論じ方を紹介するものである。コースの前半は分析ツールである理論を中心に行い、硬軟は非伝統的な安全保障の領域である組織犯罪や国際テロなどの分野を検証する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Introduction to peace studies	This course reviews a wide range of theories exploring the nature and causes of conflict, the possibilities for conflict resolution, and the foundations of peace. The course will combine lecture and group work, exploring from past to contemporary case studies, so that it will help students to foster practical understandings of the cause of conflicts and discuss ways to resolve current global issues. At completion, students will possess an understanding of the key concepts of peace studies and a broad knowledge of different perspectives on peace and conflict and develop skills to address personal and group issues that require peaceful conflict transformation currently and in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、紛争の性質や要因、紛争解決方法、平和とは何かという課題を様々な理論を用いて考察する。この科目は、講義とグループワークの形態を取り、過去から今日に至る様々な紛争の事例を取り上げながら、紛争の要因を実際に理解し、今日の国際的な課題の解決に向けた議論を促す。この科目を通じて、学生は平和学の主要な概念と平和と紛争についての多様な考え方を理解し、今日あるいは将来において平和的紛争転換が必要とされる個人や集団間の問題解決の技能を習得するようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Civil Society and Development	This course investigates the origins, roles and practices of civil society in the context of international development efforts. Building on a multi-disciplinary approach the course will discuss the main theories addressing the actor in the wide field of international development. Attention will be paid to the plurality of actors nestled within the umbrella concept of 'Civil Society' (non-governmental organisations, international advocacy actors, protest movements, etc.). Key contemporary questions will be addressed: the role of global civil society in fostering - and sometimes hampering - social change; the institutional and financial constraints faced by such civil society organisations (CSOs) and the strategic choices attached to such constraints; the global divide between Northern and Southern CSOs; and a wide range of other ethical, political, environmental and economic issues linked to the multiple roles played by contemporary civil society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国際開発活動の文脈において、市民社会の起源、役割、活動を調べる。学際的なアプローチにより、国際開発という幅広い分野におけるアクターを取り上げ、主要な理論について考察する。「市民社会」という包括的な概念に含まれる多様なアクターに着目する(非政府組織、国際的なアドボカシー団体、反対運動など)。さらに、社会の変化を促進する(ときには阻みもする)グローバルな市民社会の役割、そのような市民社会組織(CSO)が直面している制度的・財政的制約、それらの制約に伴う戦略的選択、南北間でのCSOの世界的分断など現代の主要課題を取り上げる。他にも、民族、政治、環境、経済問題など、現代の市民社会が果たす多くの役割に結びつく事項を幅広くカバーする。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Sociology	This course introduces students to the study of global sociology. The course challenges the perspective of nationalist sociology that takes the nation-state as its analytical unit, and investigates the formation of the global civil society and global consciousness from a sociological perspective. In doing so, the course both outlines the trends within globalisation from above, such as the formation of a capitalist economic world system, along with the reaction of the nation-states to this, and also discusses the aspects of globalisation from below through subjects such as global tourism, migration, social movements, terrorism and identity formation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目はグローバル社会学への入門科目である。国民国家を分析の対象とするナショナリスト社会学に挑戦して、グローバルな市民社会やグローバルな意識の形成過程を社会学的な視点から論じる。具体的には、資本主義的経済を基にする世界システムの形成やそれに対する国民国家の反応のような、「上」からのグローバル化を明示する一方で、グローバルなツーリズム、マイグレーション、社会運動、テロリズム、アイデンティティ形成のような、「下」からのグローバル化のあり方を論じる。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Human Rights	This course will provide an introduction to human rights philosophy, principles and institutions and familiarize students with current debates in the field. The course will also explore aspects of the diverse and increasingly complex body of international human rights law, analyze the ways in which allegations of human rights violations are dealt with in national and international courts and examine the impact of human rights discourse on international relations. Among the themes covered are: the philosophical foundations of human rights; the structure of international human rights treaties; the content of the major substantive rights; and the means by which human rights norms are implemented on national and international levels. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、人権に関する理念、原則、および制度を概論し、人権分野において今日なされている議論を学ぶ。また、多面的で複雑の度を増す国際人権法を様々な角度から掘り下げ、国内および国際裁判所での人権侵害の申し立ての対応を分析し、人権をめぐる言説が国際関係に与える影響を検討する。授業で取り上げるテーマは、人権の理念的基盤、国際人権条約の構造、主要な実体的権利の内容、国内および国際レベルでの人権規範の実施手段などである。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	
		立命館大学	International Migration	International migration has been one of the signature phenomena of globalization for decades. People in modern society move as labor migrants and their family members, transnational professional elites working in multinational corporations, refugees and asylum seekers, international students, tourists, and undocumented immigrants. This course seeks to examine international migration from an interdisciplinary perspective, bringing together insights from sociology, history and political science. Questioning the given framework of the nation-states, this course tries to understand global society from legal, historical and sociological perspectives on international migration. The topics may include theory of international migration, modern history of global migration, migration policies, settlement and incorporation, formation of ethnic minorities, migration and development, and transnationalism. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際移民は、現代のグローバル化における重要な現象の一つである。現代の移動者は、労働移民とその家族、多国籍企業で働くエリート、難民や庇護申請者、留学生、観光客、非合法移民などさまざまなかたちで国境を越えて移動する。本科目では、社会学・歴史学・政治学などの学際的な視点から国際移民について検証する。そして、国民国家を前提とした枠組を問い直し、国際移民についての法的・歴史的・社会学的視点から、グローバル社会についての理解を深める。具体的なトピックとしては、国際移民の理論と歴史、移民政策、定住と統合、エスニック・マイノリティの形成、移民と開発、トランスナショナリズムなどを扱う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	International Law	This course is designed to familiarize students with the rules and processes through which international law governs relations between states and regulates the affairs of corporate bodies and individuals on the international plane. Much of the focus of the course is on systemic issues: the principal sources of international law and the main institutions in which international law is developed and in which international disputes are resolved. Special attention will be given to issues such as personality, jurisdiction and responsibility; the main rules on the use of force; the rights of the individual under international law; and the relationship between power and the use and abuse of international law. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、国家間の関係を司り、国際レベルでの企業・個人の問題を規定する国際法のルールとプロセスを学ぶ。国際法の主たる法源、国際法の立法や国際紛争の解決にあたる主要機関など、主として制度面に重点を置く。とくに法主体性・管轄権・国家責任、武力紛争法、国際法における個人の権利、国際法の優劣関係・権利濫用などに着目する。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Global Environmental Issues	This course broadly introduces students to global environmental issues. While providing students with the ability to look at issues with a holistic, bird's eye view angle, the course will focus more on 'how' and 'why' certain environmental issues have emerged and how they have evolved, rather than merely focussing on related facts and status (i.e.'what'). The course covers a variety of global environmental issues, including climate change, desertification, air pollution, ozone depletion, loss of biodiversity, and loss of marine resources. It also covers several different modes of environmental governance through which we, as the international community, have adopted aiming to solve them. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、グローバルな環境問題を概論する。関係する事実や状況(「何が」)だけを見るのではなく、特定の環境問題が「どのように」「なぜ」起きたのか、どのように変化してきたかに重点を置いて考察し、問題に対して包括的、俯瞰的な視点をもつことを学ぶ。授業では、気候変動、砂漠化、大気汚染、オゾン層破壊、生物多様性の喪失、海洋資源の喪失を含め、世界の様々な環境問題をカバーする。また、これらの問題を解決するために、国際社会が採用してきた環境ガバナンスの形態もいくつか取り上げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	International Organizations	International Organisations (IOs) have become pivotal actors on the global stage today, addressing pressing concerns of international public good, trade, the environment, international security, and poverty. This course addresses the historical and theoretical foundations of IOs - both International Governmental Organisations (IGOs) and International Non-Governmental Organisations (NGOs). While this course will aim to equip students with a broad understanding of the structures of some of today's most prominent IOs, it will further encourage students to reflect on the relevance, effectiveness and practices of IOs in our globalising world, as well as the pressing issues of accountability that they bring forth. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 国際機関(IO)は今日の国際社会における重要なアクターであり、国際公共善、貿易、環境、世界の安全保障、貧困など差し迫った問題に対応している。この科目では、国際政府組織(IGO)と国際非政府組織(NGO)の両方について、IOの歴史的および理論的基盤を取り上げる。この科目では、広く知られるIOを例にとり、その組織構造について概要を理解するとともに、現代のグローバル化社会におけるIOの妥当性、効果、活動、これらのIOが明るみにした説明責任に関する喫緊の課題ついても考察する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Special Lecture (GCG)	The focus of this class is on new or emerging topics related to global and comparative governance. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Global and Comparative Governance 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間

固有専門科目	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Media and Society	This course introduces students to many aspects of contemporary media studies and considers ways of understanding the various roles that media, both traditional and 'new', play in modern society. It will draw on students' own experiences and academic discourse to consider a broad variety of areas; media production, representations of society, theories of 'media effects', public opinion and democracy, audiences and media consumption, and the legal and regulatory frameworks that shape the media landscape. Academic approaches to understanding the mass media will be presented in lecture-based sessions, contemporary media texts will be used as a basis for structured discussion and debate aimed at giving students the opportunity to evaluate and assess their personal experiences and knowledge. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、現代のメディア研究の様々な側面を概論し、従来のメディアと「ニュー」メディアが現代社会で果たす多様な役割を理解するための方法を検討する。学生自身の経験と学術論文から、メディア制作、社会の描写、「メディア効果」理論、世論と民主主義、オーディエンスとメディア消費、メディア環境を形成する法的・規制の枠組みなど、幅広い多様な分野について考察する。マスメディアを理解するための学術的アプローチについて講義するほか、学生が自分の体験と知識を振り返り評価する機会として、現代メディア論のテキストを用いて体系的な議論・討論も行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Topics in Identity	Identity is a subject we can all discuss, but not an easy idea to pin down in an academic context. This course offers students an overview of important issues in and around the notion of 'identity', allowing them a way in to a more structured understanding of this pivotal concept. Topics covered may include theories of personal and social identity, gender and sexuality, race and ethnicity, the role of the 'Other', nationalism and identity politics, and so on. This course makes use of students' knowledge of identity issues as a basis for interactive learning, this approach is complemented by lecture-style teaching which provides a structured framework to locate discuss experiences. Students completing this course successfully will gain an improved ability to discuss and understand identity as a concept, and improved communication skills. They will also gain a thorough knowledge of theory and issues related to 'identity'. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. アイデンティティはだれでも議論できるテーマではあるが、学術的な文脈で明確に述べるとなると簡単ではない。この科目では「アイデンティティ」の概念をめぐる重要な諸課題を概説する。学生は、このきわめて重要な概念を体系的に理解するための方法を学ぶことができる。個人と社会のアイデンティティ、ジェンダーとセクシュアリティ、人種と民族、「その他」の役割、ナショナリズムとアイデンティティポリティックスなどのトピックを取り上げる。アイデンティティの諸問題に対する学生の知識を引き出し、双方向的に授業を進める。さらにこのアプローチを講義で補完し、経験を特定し議論するための体系的な枠組みを提供する。この科目を履修する学生は、概念としてのアイデンティティを考察し理解する能力を身につけ、コミュニケーション力が向上する。「アイデンティティ」に関連する学説や課題を詳しく知ることもできる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

固有専門科目	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Special Lecture (IRGC)	The focus of this class is on new or emerging topics related to identity, race, gender, and culture. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Identity, race, gender, and culture 分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義 16時間 実習 40時間

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Peace and Conflict Studies	The aim of the course is to deepen students' understanding of theoretical and empirical problems in the study of the outbreak, development and resolution of armed conflicts. Focus is directed upon the post-Cold War conflict processes within states, different analytical levels - individual, group, state, and regional - are considered. The course combines lecture and group work, exploring the various peacebuilding attempts, to identify empirically and critically evaluate central obstacles and problems for conflict resolution, conflict management, and durable peace. At completion, students will acquire a thorough understanding and critical examination of the origin, dynamics and resolution of on-going armed conflicts today. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、武力紛争の発生、発達、解決における問題を理論的・実証的に学習し、理解を深めることを目的としている。特に冷戦後の国内紛争に焦点をあて、個人・集団・国家・地域の異なる観点から分析する。この科目は、講義とグループワークの形式を取り、冷戦後発達した平和構築の取り組みを取り上げ、紛争解決、紛争管理、永続的な平和を阻害する要因や問題を批判的に考察する。この科目を通じて、学生は現在進行中の武力紛争の発生原因、力学、解決についても批判的に分析し理解することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Advanced Topics in International Relations	This course will challenge students to think about global issues from a critical theoretical point of view. The aim of the course is to destabilize taken-for-granted ideas and views in order to cultivate alternative thinking and practice in international relations. Teaching methodologies employed include a combination of lectures and discussion oriented seminars; students will be expected to prepare for class through weekly readings, engage in group works, etc. By studying for this course, students will be able to understand advance issues, concepts and theoretical debates in International Relations, but also be able to engage with those debates in a critical fashion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では、批判理論的な見地から国際社会の諸課題を検討する。こうした諸課題についての常識的な理解を疑うことで、多様な見方を養う。この科目では、講義とグループワーク、各種課題を組み合わせる教育方法を通じて、リーディング・ライティング・コミュニケーションの各技能の伸張を図る。この科目を通じて、国際関係学の高度な概念や理論を理解し、それらを批判的に検討することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Global Simulation Gaming	Global Simulation gaming aims to add to student classroom-acquired knowledge of International Relations by proving a 'real-life' experience allowing students to participate in dynamic scenarios drawn from contemporary international society. Students take on the role of various 'actors' and go through the process of identifying issues, forming policy, negotiation, and policy implementation, all within the context of developments in international politics and changes in the international economic landscape. The course is run as a series of sessions which include general guidance, preliminary research and study, 'actor' presentations, a mini-GSG, and finally the Global Simulation Game itself. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）は国際関係をゲーミングで擬似的に体験することで、座学では得られない国際関係のダイナミズム体感することを目的とする。受講者全員はそれぞれアクター(国際関係における主体)になりきって、国際政治や国際経済の動きの中で、課題設定、政策立案、交渉、政策行使という一連のプロセスを擬似的に経験する。この科目は、ガイダンス、事前学習会、アクタープレゼン、ミニGSG、GSG本番および事後学習によって構成される。 成績評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行われる。	

固有専門科目	固有専門科目Peace, Global Security, and Conflict Resolution	立命館大学	Special Lecture (PGSCR)	The focus of this class is on new or emerging topics related to peace, global security, and conflict resolution. This course explores themes that are of benefit to students in the College of International Relations and that focus on topics and issues not covered in thematic area courses. To give students an understanding of the many multifaceted issues involved in international studies, this course goes beyond region and academic field to explore a range of topics that instructor and student examine together. This course offers insights into the academic character of international studies and allows ample opportunity to deepen learning. Assessment is formative, summative, or both. この科目は、Peace, Global Security, and Conflict Resolution分野に関する新しく、また興隆しつつある事柄について扱うものである。この科目は、固有専門科目として開講されている科目ではカバーできない領域や課題で、国際関係学部生にとって履修することが有益であるものを取り上げる。この科目では、国際関係学の学びの多面的な諸問題を理解するために、地域や学問領域にとらわれず、様々な事例を提示して、学生共に検討する。この科目を通じて、国際関係学の学際的な性格について理解し、深い学びを主体的に進めることができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
		立命館大学	Internship	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
地域研究科目		立命館大学	Japanese Politics	Recent years have seen a number of significant developments in Japanese politics, from the rise and fall of the Democratic Party (DPJ), through the growing economic and demographic crises, to the potential rekindling of the peace movement. This course will examine these issues and others through exploring the broader trends to which they connect and interact with both inside and outside Japan. Students will gain a knowledge of the major parties and other actors which influence Japanese politics. Students will also broaden their understanding of the political history of Japan from the 19th to early 21st centuries and the impact this will have on Japanese politics in the future. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 近年の日本の政治には、民主党(DPJ)の台頭と凋落から、経済・人口動態の危機の増大、平和運動の潜在的な再燃まで多くの重要な変化が見られる。この科目は、これらの変化、その他の問題が日本国内外のより大きな流れとどのように結びつき、作用しあっているのかを検討する。学生は、日本の政治に影響を与える主要政党、その他のアクターに関する知識を得る。また、19世紀から21世紀初頭までの日本の政治史、それが将来の日本政治に及ぼす影響についての理解を広げる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japanese Society	This course introduces students to the study of Japanese society. This includes a general introduction to the transition of Japanese society from traditional to modern, as well as to Japan's contemporary social conditions through subjects such as social modernisation, demographic changes, social stratification, social welfare, employment patterns, education, immigration, family and sexuality. In doing so, the course discovers the path of modernisation in Japan in comparison to Western countries and East Asian societies, and discusses Japan's future in light of current globalisation. The course is basically a lecture course, but there is also space for both open and group discussion in the class in order to promote a student-led learning process. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は日本社会への入門科目である。本授業において、伝統的な社会からモダン社会への転換過程を論じる一方で、社会的モダニゼーション、人口転換、社会階層、社会福祉体制、雇用パターン、教育、移民の現状、家族とセクシュアリティ等のようなトピックから現代日本の社会的条件を明らかにする。そうしながら、西欧諸国や東アジア地域と対照して、日本における近代化の道筋を議論し、グローバル化の中での日本の将来を考える。本授業は基本的に講義形式で行うが、公開討論や集団討論も実施し、学生中心の学習過程を進めていく。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Japanese Economy	This course provides an introduction to the Japanese economy. The classes consist of lectures, presentations and discussions.We will first introduce basic economic concepts as a basis for analysis, and then discuss institutional background and various aspects of the Japanese economy, including growth, business management, fiscal affairs, and international trade. Current topics such as the country's population aging, labor market dualism, and the government's new economic program dubbed ″Abenomics″, will also be discussed.Japan emerged as the first non-Western industrialized state and became the second largest power in the world economy. However, after the collapse of the asset price bubble in the 1990s, the country experienced Japan's lost decade(s). Students are expected to learn lessons from Japan's economic success and failure. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本経済への入門である。授業のスタイルは、講義、プレゼンテーション、議論である。授業では先ず、分析の用具としての経済学の基礎知識を紹介する。続いて、日本の経済システムのほか、成長、企業経営、対外関係をはじめ多角的な論点から日本経済を検証する。また、高齢化、労働市場での格差の拡大、政府が取り組んでいるアベノミクスと呼称される経済政策など、日本経済が直面する諸問題を取り上げる。日本は、欧米以外で初めて産業化に成功し、一時は世界第二位の経済規模を有するに至った。しかし、1990年代の資産バブルの崩壊後、「日本の失われた十年(あるいはそれ以上)」と言われる長期低迷に見舞われた。受講者は、こうした日本経済の成功と失敗から有益な教訓を得ることが期待される。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	United States Politics and Foreign Policy	As we approach the third decade of the twenty-first century the US is faced with a 'rising' China abroad, a weak economy at home, and an increasingly polarized domestic political landscape characterized by movements such as Occupy Wall Street and the Tea Party. These events and the broader historical, political and theoretical background they connect with will form the basis of this course. The course itself will be divided roughly into two, with the first half examining US domestic politics, and the second half looking at US foreign policy. This division is not totally rigid, however, and elements of both will crop up either side of the halfway divide. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 21世紀の20年代が近づくなか、米国は国外では中国の「台頭」に、国内では経済の弱体化に直面している。またオキュパイ・ウォールストリートやティーパーティなどの運動に見られる国内政治の二極化も進んでいる。これらの事象、さらにそれに関係するより広範な歴史・政治・理論的背景が、この科目のベースになる。講義そのものは大まかに前後半に分かれる。前半は米国の国内政治、後半が外交政策である。ただしこの区分は厳格ではなく、取り上げる内容が前後半で重複する場合もある。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Japan-United States Relations	The US-Japan relationship is described by many as the most important foreign relationship either country has and since 1945 relations with the United States have formed the central focus of almost all Japanese foreign and security policy and strategy. This course aims to improve students' awareness of the origins and evolution of US-Japan relations since the mid-nineteenth century and will examine the changing relations between the two countries and the evolution of their relationship from bitter rivalry to today's close partnership. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 日米関係は両国にとって最も重要な対外関係の一つであるというのが大方の見方であり、1945年以来、米国との関係はほぼすべての日本の外交・安全保障政策・戦略の中心となっている。この科目は、日米関係の起源と19世紀半ば以降の変遷について学生の認識を深めることを目的とし、厳しい対立から現在の緊密なパートナーシップに到達するまでの両国の関係の変化について検討する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Special Lecture (Area Studies Course)	This course looks at a variety of political, economic and social issues in [PLACE] in their historical and contemporary international contexts. The course combines lecture-based sessions with interactive discussion in order to give student the opportunity to gain a multi-level, comprehensive view of these issues. By completing this course student will be able to gain a thorough, broad knowledge of the relevant issues in [PLACE]. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目では世界各地域の政治・経済・社会的な課題を、歴史的な背景を踏まえ、国際社会の中に位置づけながら取り上げる。この科目では、講義形式と、必要に応じてグループワークを組み合わせ、多角的、複合的視野から各々の地域が抱える諸問題について考えることを目的とする。この科目を通して、各地域についての幅広い知識と深い理解を身に付けることができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Foreign Relations of Japan	This course covers the foreign relations of Japan up until the current day. While looking back over a variety of issues that Japan has encountered in its foreign relations and examining the principles and thought behind how the Japanese government has engaged and dealt with them, we will compare and discuss Japan's foreign policy in relation to that of other countries. This course gives students an opportunity to learn about, critique and evaluate Japan's foreign policy and that of related countries. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日までの日本の外交政策について取り扱う。この科目では、日本が抱える様々な外交問題を取り上げ、それらについて日本政府が取った対外政策がどのような理念と構想により決定されたかについて振り返りつつ、日本以外の国の外交政策と比較しながら、検討し、学生と共に議論する。この科目を通じて、日本の外交政策を諸外国のそれと比較して評価できるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Business Administration of Japan	This course looks at the historical develpment of the Japanese-style management model, its current state and the issues its faces. Through a study of a number of case studies, and by trough a consideration of comparisons with other countries, we discuss the strengths and weakness of this model, its historical evolution and possible future prospects. Students will gain a deeper understanding of Japanese society and culture, as a context for understanding a variety of management paradigms and strategies. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本型経営モデルの歴史的変遷、およびその現状と課題を取り扱う。この科目では、様々な具体的事例を紹介し、諸外国との比較的検討を通じて、日本型経営の長所および短所、ならびに歴史的および将来的視点について検討する。この科目を通じて、経営学における様々なモデルや経営戦略の多様性について確認すると共に、日本の社会や文化についての理解を深める。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Korean Studies	This course deals with the historical development of Korea in the modern and contemporary periods. It is designed to introduce students to the main aspects of modern and contemporary Korean society, including those pertaining to the family, gender, religion, and political system. We will start the class by introducing theoretical frameworks that analyze the Korean society. We will then learn more specific topics. Classes are conducted through various methods such as group work and discussion, using various media such as newspapers, magazines, and the Internet. This course provides overall knowledge about contemporary Korean society. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、近現代における韓国の歴史的変化を取り上げる。家族、ジェンダー、宗教、政治体制に関するものを含め、近現代の韓国社会の主要な側面を概説する。まず韓国社会を分析するための理論的枠組みを示してから、具体的なトピックを取り上げる。授業は、グループワークやディスカッションなどの形式をとり、新聞、雑誌、インターネットなど多様なメディアを用いて行う。授業では現代の韓国社会に関する総合的な知識を提供する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Contemporary China	This course provides an overview of the politics of China today. It consists of two parts: one on the domestic politics of China (focusing on the legitimacy of the Chinese Communist Party), and the other on the international politics of China (focusing on the notion of international responsibility and the importance of historical memories). Each class consists of a mini-lecture and seminar-style discussion based on required reading. Upon the successful completion of the course students will be able to write an essay with a theoretically-informed argument on China's domestic and/or international politics. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、今日の中国政治概説を取り上げる。中国共産党の正統性に注目した国内政治と、国際的責任の概念や歴史的記憶の重要性に注目し国際政治の2部構成である。授業では講義と必読文献を元にしたセミナー形式のディスカッションを行う。この科目終了時には、中国の国内及び(または)国際政治に関して、理論に基づく主張をレポートに執筆することができるようになる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Advanced topics in Area studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	South East Asian Studies	This course is designed to introduce Southeast Asian Studies to undergraduate students. Why is Southeast Asia identified as a regional unit in today's international relations? What are commonalities and differences in colonial history in Southeast Asia? Why have some countries experienced high economic growth and why have some not? Why in some countries in Southeast Asia, did political democratization take place whereas other had very different experiences? The political economy of international relations in Southeast Asia is very dynamic and students are expected to learn its unique nature from historical and comparative perspectives. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、学部生を対象にした東南アジア研究概論である。現代の国際関係において東南アジアが1つの地域単位とみなされているのはなぜか。東南アジアの植民地の歴史における共通点と相違点は何か。顕著な経済成長を遂げている国とそうでない国があるのはなぜか。東南アジアには政治的民主化がなされた国もある一方で、それとはまるで異なる国もあるのはなぜか。東南アジアの国際関係における政治経済はきわめてダイナミックであり、学生は、歴史をふまえた比較の観点から、この地域固有の性質を学ぶことができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Modern Japanese History	This course aims to provide essential historical knowledge of the world for the last 200 years. The period is usually called modern era. The modern era was more or less established by the end of Napoleonic wars in Europe and later spread to the rest of the world. Major characteristics of the modern era will be explained especially in comparison to the medieval era. The course will also trace the evolution and challenges of the modern era. Major ideologies of the modern era such as nationalism, capitalism, democracy, Marxism, and fascism will be described. The causes and effects of major wars and economic depressions will also be discussed. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、過去二百年間の世界史に関する基本的知識を提供する。この科目では、通常近代と呼ばれている時代を、中世と比較することによって概説する。加えて、この科目では、近代の変遷と試練について振り返り、ナショナリズム、資本主義、民主主義、マルクス主義、そしてファシズムといった代表的な近代思想についても取り上げるほか、近代の主要な戦争や恐慌などについても議論する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Area Studies	Area Studies aims to clarify the characteristic features of particular areas. It is an interdisciplinary field of research which crosses several major academic disciplines. This course deals with the development process of the field and its and academic achievements, focusing on specific areas and related disciplines. Students taking this course will be able to understand the nature of Area Studies as an academic field and understand its relationship to other approaches. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 地域研究の目的は特定地域の特質を明確にすることであり、複数の主要な学問領域にまたがる学際的な研究分野である。具体的な地域、関連する学問領域に焦点を絞り、この分野の発達のプロセスと研究成果を取り上げる。この科目を履修する学生は、学問領域としての地域研究の内容、他のアプローチとの関係を理解することができる。授業は、ゼミ、講義、ディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Kyoto and Japanese Arts	The course consists in a comprehensive survey of the intimate relationship between the city of Kyoto and the birth and development of Japanese art and culture. Beginning with the circumstances which led to the foundation in the Kyoto basin of an everlasting capital, the course puts a special emphasis on the history of civil and religious architecture, introduces the performing arts of the various eras (noh, kyogen, kabuki), examines the culture of the tea ceremony and tells the story of the glory and decline of the period movie and its industry. Students will be asked to make oral presentations, thus increasing their ability to convey their ideas in the English language. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、京都が日本の芸術・文化の誕生と発展にどのように関わってきたかを総合的に検討する。この科目では、京都の古都としての歴史、宗教との関係、伝統的な建築などに重点を置き、各時代の芸術（能、狂言、歌舞伎）や茶道をはじめとする伝統文化に注目しつつも、時代劇を代表とする映画産業なども検討の素材に含める。この科目では、授業の中で取り上げられたテーマに関して英語でプレゼンテーションをすることにより、自分の考えを英語で表現する能力を発展させる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

地域研究科目	立命館大学	Japan and the west	The aim of the course is to introduce students to some of the most significant historical and cultural issues and concepts in the complex relationship between Japan and 'the West'. This course aims to challenge students to question taken for granted essentialized binary opposition between Japan and The West and to understand the nature of complex and mutually constitutive relationship between the two. This course uses academic texts, case studies, and visual aids to facilitate students understanding and engagement. This course enables students to engage in theoretically and historical debate about the relationship between Japan and the West. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、日本と「西洋」の複雑な関係に顕著にみられる歴史的、文化的な問題と概念にふれることを目的とする。疑いなく受け入れられている日本と西洋という二項対立を問い直し、双方にとって本質的で複雑な関係の性質を理解する。文献、ケーススタディ、視聴覚資料を用いて授業への参加と理解を促す。学生は、日本と西洋の関係について、歴史を踏まえた理論的な議論に参加することができる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Internship(Area Studies)	This course is intended for students participating in internship programs that provide opportunities for real life work experience. Through preliminary study concerning and activities performed at the host organization, and through follow-up study, this course aims to provide insights into how work is actually done and to deepen the experience and improve the skills needed to build one's career. Students will learn how they can contribute to society and get a specific sense of their career path trajectory. Assessment is formative. この科目は、学生に就業体験の機会を提供する制度としてのインターンシップ・プログラムに参加する学生を対象とする。この科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざす。この科目を通じて、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるようになる。評価は、形成的評価により行う。	講義　16時間 実習　40時間
ｼﾆｱｷｬｯﾌﾟｽﾄｰﾝ科目	立命館大学	Advanced Seminar	This course provides opportunities for learning together for students with the same interest in an academic field that is of the most interest to them in the field of international studies. The objective is to encourage ongoing study in order to develop the ability to ultimately write a graduation thesis, to compile information, and create documents. Students will also improve their communication skills through a combination of classes taken in AU and RU. Assessment is formative and summative. この科目は、国際関係学の中で自らが最も関心を持つ学問領域について同じ関心を持つ学生と共に学ぶ機会を提供する。この科目では、継続的な学びを通じて最終的に卒業論文を作成するレベルの知識、ならびに情報収集能力および文書作成能力を修得することを目標とする。加えて、この科目を通じて、アメリカン大学並びに立命館大学での学びの集大成として、コミュニケーション能力の向上をはかる。評価は、形成的評価および総括的評価により行う。	

シニアキャップストーン科目	立命館大学	Graduation Research	Students taking this subject will write a graduation thesis that demonstrates all they have learned in the College of International Relations. This subject is closely tied to topics covered in advanced seminars. Under the close guidance of an adviser, students set objectives based on their interests and conduct exhaustive research and accurate analyses using literature and data, after which they present their views in a thesis. This subject allows students to bring together the knowledge, methodologies, logic, and other learning acquired throughout their studies in the College of International Relations. Assessment is summative. この科目は、国際関係学部における学びの集大成である卒業論文の作成をおこなう。この科目では、専門演習での学びと密接な連携を持つ。学生は、指導教員の綿密な指導の下で、自らの問題関心にもとづいて課題を設定し、文献やデータなどの十分なリサーチと正確な分析をおこなった上で、自らの見解を論文としてまとめる。この科目により、国際関係学部でこれまで学んだ知識や方法論、論理性などが集約される。評価は、総括的評価により行う。	
選択科目	立命館大学	Global Political Economy	This course will provide students with basic analytical frameworks to understand the fact that international/global political issues and international relations, as well as foreign affairs, are essentially caused and influenced by a variety of economic factors and policies. In this course, analyses and discussions are more focused on policy-based and practically-oriented aspects of economics and the real economy at the global scale. Several economic issues, which cannot be analyzed under the conventional frameworks in economics will be taken up in this course. The subjects/ issues include: Political economy of the US and other nations in trade issues; major effects of central banks' monetary policies on the global economies; industrial development strategies and economic policies based on the 'Washington Consensus'; Capital account liberalization and its effects on the risks of crises, etc.This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 本科目は現在の国際経済の基礎的な知識（国際貿易、国際収支、為替制度、金融市場等）とともに様々な国際経済の現象（例：為替変動、株価変動、危機発生、国際政治経済情勢等）を理解する基礎となる理論的背景と具体例を採りあげる。本科目では様々な国際経済状況の変化や危機（例：アジア、ラテンアメリカ、欧米等）の背景（国際資本移動の自由化）や規制・管理の方策、国際開発金融、望ましい国際金融体制等について理論的かつ政治経済的な側面から理解させる。また、主要な国際機関（世銀・IMF、ADB等）のプログラムと評価、国際貿易・金融体制、国際機関と経済発展・協力の課題についても学習する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Law	This course is designed as an introduction to the essentials of law and legal systems. It aims to provide insight into the nature and function of law and familiarize students with key concepts, institutions and processes in various fields of law, such as constitutional law, criminal law, procedural law, property law, contracts and torts. The course seeks to place law in its social, economic, political, historical and philosophical context and thus not only to provide students with a knowledge of legal institutions but also to help them to develop a critical understanding of the operation of those institutions in society. The teaching of the course will take the form of formal lecturing and class discussions. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、法律および法体系の基本を学ぶ概論である。法律の性質と機能を洞察し、憲法、刑法、手続法、財産権法、契約法、不法行為法など、様々な法律分野の主だった概念、制度、プロセスを知ることを目的とする。社会、経済、政治、歴史、哲学の文脈で法律をとらえ、法制度の知識を得るだけでなく、これらの制度の社会における働きを根本的に理解できるようにする。授業は講義とクラスディスカッションで行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

選択科目	立命館大学	Introduction to Natural Sciences	This course deals with basic theories and major findings in particular fields of natural sciences and analyses their relation to human society and culture as well as approaches to global issues that the international society has faced. Teaching methodologies employed include seminar or lecture and discussion. Students taking this course will be able to understand human society and culture, global issues from the viewpoint of natural science. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、自然科学のいくつかの分野における基礎的な理論および知見、ならびにそれらと人びとの生活・社会との関係、地球規模の課題群に対する自然科学的な解決手段などを取り扱う。この科目では、さまざまな事象や文献を用いながら、セミナーまたは講義形式で進められる。この科目を通じて、自然科学的な観点から文化・社会およびグローバル・イシューを理解する力が向上させられる。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Introduction to Humanities	How do people create their world, their environment, traditions and heritage? How are they in turn created by them? This course looks at the contemporary world through the lens of human culture and provides an introductory overview of cross-disciplinary approaches to social issues and global problems with a base in the humanities, including, but not restricted to, geography, history, languages and linguistics, philosophy and the arts. In order to draw on students' diverse experience and knowledge, this course combines lecture-based elements with interactive teaching styles such as group discussions, presentation and seminars. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. 人間は、自らの世界、環境、伝統、遺産をどのように創造するのか。そして、それらをどのように活用するのか。この科目は、人類の文化というレンズを通して現代世界を眺め、地理学、史学、言語および言語学、哲学、芸術等を含めた人文科学をベースとして、社会的課題やグローバルな問題への学際的アプローチを概論する。学生の多様な体験と知識を引き出すために、講義に加え、グループディスカッション、プレゼンテーション、ゼミなど双方向的なスタイルで授業を行う。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	
	立命館大学	Development Studies	The course broadly introduces students to the topics related to international development cooperation, by particularly focusing on the post-WWII era. Important development concepts such as human development, economic development, and important development actors, such as governments, private sector, NGOs and non-traditional donors, will be explained. This course will use both/either formative and/or summative evaluation. この科目は、第二次世界大戦後の時代に焦点を絞り、国際協力開発に関係するトピックを概論する。人間開発、開発経済、開発の重要なアクター（政府、民間セクター、NGO、非伝統的ドナー等）など、開発の重要な概念を説明する。評価は、形成的評価、総括的評価、またはその双方により行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive English Ⅰ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS I focuses on building vocabulary and reading comprehension. Students will learn reading skills and read texts with a variety of genres in general academic fields. Students will also practice reading short texts such as newspaper articles as well as long ones within a limited time in order to cope with major program courses carried out in English. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、アカデミック・スキルの授業や英語による専門授業の受講および交換留学の準備など、学生のさまざまなニーズに対応するために、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする選択科目である。IEIS Ⅰは、英文読解と語彙に重点を置き、リーディング・スキルを用いて、アカデミックな分野のさまざまなジャンルの英文を読み解く。英語で行われる授業に対応できるように、長文のエッセイやテキストの章だけでなく、新聞記事などの短文なども限られた時間内で速読する演習も行う。評価は、形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English Ⅱ	Intensive English for International Studies is an elective course intended to meet the various needs of students who must increase their command of English to take Academic Skills courses and core program courses carried out in English or to prepare for study abroad as exchange students. IEIS II promotes communicative competence by preparing students to demonstrate their listening and speaking skills in approved standardized tests. Topics of interest within International Studies are incorporated into the syllabus, while maintaining a focus on chosen themes for test preparation. Course objectives include promotion of the ability to engage in face-to-face interview situations and to converse on topics such as describing your own life situations and goals, and the ability to understand conversations about everyday experiences and educational context situations. Formative evaluation is performed through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIは、特にリスニング・スキルやスピーキングスキルなどの口頭によるコミュニケーション・スキルに重点を置く。この科目では、標準テストについても念頭に置きつつ、国際関係に関するトピックを選択する。また、一対一の対面式のインタビューを行ったり、自分の将来や教育環境における経験について会話する能力を伸ばすこともこの科目の目標である。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive English Ⅲ	The aim of Intensive English III is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in planning, drafting and revising a variety of academic genres combining macro-level skills on the textual level with micro-level skills on the sentence level. In class, students will analyze samples of good writing, plan their response to a given writing task and collaboratively develop texts that summarize pertinent information, compare and evaluate different sources, and support their arguments. Students will also gain practice with task types generally included in standardized exams. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEISは、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことを目標とする。IEIS IIIは、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、テキスト単位のマクロなレベルのスキルと文単位のミクロなレベルのスキルをつなぎ合わせ、アカデミックなさまざまな文章を草稿し、リライトする。この科目では、優れた例を分析し、文献を比較・評価し、議論を支える資料を見つけ、ライティングを行う。標準テストに出題されるような問題演習も行う。評価は形成的評価を行う。	

自由科目	立命館大学	Intensive EnglishⅣ	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive EnglishⅤ	The aim of IEIS IV is, similar to IEIS I, to increase students' command of general academic English in the areas of reading and vocabulary. In this course, students will review the Academic Vocabulary List and increase their vocabulary by learning synonyms of these listed words and reading various types of academic materials. With these reading skills such as previewing, skimming, and scanning, students will read and comprehend various controversial issues such as environmental issues and immigrant issues discussed very often in the fild of international issues. Students will have task-based testings and examine their improvement in reading comprehension in terms of increasing voabulary. Formative evaluation is made through class participation, including small quizzes and assignments. IEIS IVの目標は、IEIS Iと同様に、一般的なアカデミック英語運用能力を伸ばすことである。この科目でも、特に語彙と読解に重点を置き、IEIS Iで用いたアカデミック語彙リストの反復練習をしながら、さらにリーディングの資料からも語彙を増やす。また、previewing, skimming, scanningなどの リーディングのスキルを応用し、アカデミックな分野のさまざまな文章を読解する。環境問題や移民問題など、特に国際関係学分野において頻繁に取り上げられる論争を読む。リーディングのさまざまな種類のタスクが課された小テストを行い、理解力の向上を検証する。評価は形成的評価を行う。	
	立命館大学	Intensive EnglishⅥ	The aim of IEIS VI, similar to IEIS III, is to increase students' command of general academic English in the areas of writing and grammar. Students will gain practice and confidence in manipulating the basic building blocks of successful writing at the sentence, paragraph and textual level. In class, students will study argument structure, thesis and support, discuss writing strategies appropriate to their context and analyze common errors occurring in their work. Students will also gain practice with a variety of test-related genres such as independent vs. integrated writing, descriptions of graphs and tables, as well as opinion essays. IEIS VIの目標は、IEIS IIIと同様に、アカデミック英語運用能力を習得することであり、特にライティング・スキルと文法の習得に重点を置く。学生は、文章レベルからテクストレベルまで、優れた文章を書く基本知識を学ぶ。例えば、論理構造、主題と根拠、文脈に適切なストラテジーなどについて議論し、演習を行う。自由英作文や複合英作文、エッセイやグラフの書き方など、標準テストなどでも問われるさまざまなジャンルのライティングを演習する。 評価は形成的評価を行う。	

（注）
1　国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その３の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。
2　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。
3　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（国際関係学部 立命館大学・アメリカン大学国際連携学科）　（アメリカン大学）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	アメリカン大学	ANTH-225 Language and Human Experience	Examines language and its contribution to creativity, and how knowledge of language enriches human experience. Includes imagery and metaphor building through language; the effects of topic, speaking situation, and gender on creativity in tribal, state-level, and post-colonial contexts; and ways written language recasts and redefines human imagination. Usually offered every fall. 言語およびその創造力への貢献、また言語知識がどのようにして人間の経験を豊かにするかを検証する。言語を通したイメージや比喩の形成、部族、国家レベル、またポストコロニアルのコンテクストにおける主題、発話状況およびジェンダーの創造力への影響、そして文語がどのように人間の想像を書き換え、再定義するか等を検討する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ANTH-250 Human Origins	The contributions that physical anthropology and archaeology can make toward an understanding of the origins and development of humankind. Includes genetics, the principles of evolution as applied to humans, the nonhuman primates and their behavior, human fossils, and the archaeology of the New and Old Worlds. Usually offered every fall. 人類の起源と発展の理解のために自然人類学および考古学に可能な貢献。遺伝学、人類・非ヒト霊長類に適用される進化の原理、またその行動、人類の化石、そして新世界・旧世界の考古学等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	ARTH-105 Art: The Historical Experience	Introduction to Western art and architecture from ancient times to the twentieth century, with some discussion of non-Western cultures. Case studies of major works and artists such as the Great Pyramids, the Parthenon, Chartres Cathedral, Michelangelo, Rembrandt, and Picasso provide a foundation for understanding art in its aesthetic, historical, social, and political contexts. Also covers materials, techniques, and practices of art-making, and introduces key stylistic innovations. Usually offered every term. 古代から20世紀までの西洋美術および建築について、非西洋文化についても触れながら紹介する。大ピラミッド、パルテノン神殿、シャルトル大聖堂、ミケランジェロ、レンブラントおよびピカソといった主要な作品および芸術家のケーススタディにより、その美的、歴史的、社会的、また政治的背景において芸術を理解するための基礎を養う。また芸術作品製作の材料、技術および実践についても扱い、重要な様式の革新を紹介する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	ARTS-100 Art: The Studio Experience	This beginning studio course introduces students to painting, drawing, sculpture, and design combined with visual literacy. The course focuses on the interrelationship of hand, eye, and mind to create informed works of art that engage larger critical, formal, or cultural dialogues and relate basic visual language to analytic and creative processes of the artist. Usually offered every term. この初歩のスタジオ科目では、絵画、図面、彫刻および設計を視覚リテラシーと結び付けて学生に紹介する。本科目では、より大規模な批評的、形式的あるいは文化的対話に関わる情報に基づく芸術作品を創造し、基本的な視覚言語を芸術家の分析的・創造的プロセスに結びつける手と目と精神の相互関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	BIO-100 Great Experiments in Biology	The core of biology is the scientific experiment. This course, through lecture and laboratory, focuses on some classic experiments that introduce students to the modern study of biology and scientific method. Experiments include the molecular basis of mutation, separation of complex biologically important molecules, and the construction of demographic tables. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生物学の核心は科学実験である。本コースでは講義と実験を通していくつかの古典的実験に注目し、生物学と科学的手法の現代的研究を学生に紹介する。実験には突然変異の分子学的基礎、生物学的に重要な高分子の分離、また個体群統計学的な表の作成が含まれる。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	CHEM-100 The Molecular World	A general introduction to chemistry leading to biochemistry and the chemistry of life. Study of the composition of materials, their structures and properties, related energy conversions, and the use of molecular genetic information. Questions of scientific inquiry and the scientific method in cultural and historical contexts are considered. Usually offered every term. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH-170 or MATH-211 or STAT-202 or STAT-203. 生化学および生命の科学に導く化学の概略を紹介する。物質組成、その構造および特性、関連するエネルギー変換、また分子遺伝学的情報の使用について学ぶ。文化的・歴史的背景における科学研究と科学的研究法の問題について検討する。通常は、毎学期に開講する。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH-170、MATH-211、STAT-202またはSTAT-203に登録している必要がある。	

基礎科目	アメリカン大学	COMM-105 Visual Literacy	(PC, FM) (MS) Introduces students to ways of understanding visual images in art, design, photography, film, and digital media. Students create an online website that showcases their work over the semester, including creative and written assignments and a final client project. Includes a Community-Based Learning component wherein students collaborate directly with a non-profit organization in Washington, DC. Usually offered every term. (PC、FM) (MS) 芸術作品、デザイン、写真、映画、デジタルメディア中の視覚イメージを理解する方法を学生に紹介する。学生は創作および筆記課題、また期末クライアントプロジェクトといった自身の作品を、学期を通して公開するオンラインウェブサイトを作成する。学生がワシントン市の非営利団体と直接協働するコミュニティベースの学習コンポーネントが含まれる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	ENVS-150 The Sustainable Earth	This course examines the issue of sustainability; what it means, how it is measured, and how it can be used to address environmental challenges. In doing so, the course builds on the most current scientific understanding of how the natural world works. 本科目は、持続可能性について、特にその意味、どのように測定するか、そしてそれが環境問題に対処するためにどのように利用できるかについて検証する。その過程で、本科目では、自然界がどのように機能するかに関して知りえた最新の科学的知見を根拠とする。	
	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	HPRM-205 Introduction to Nutrition	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. 本科目では、必須栄養素およびその体内での働き、さらに食生活と慢性疾患の関係についての、既知のおよび仮定された基本的情報について検討する。本科目ではアメリカ政府の栄養指針、栄養神話、食品表示、消化機能および体重管理についても検討し、学生がその栄養所要量や食品の選択について十分な情報に基づいて判断を下すことを可能にする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	JLC-110 Western Legal Tradition	From the biblical era to the American experiment, the Western legal tradition encompasses primitive, divine, natural, canon, secular, and common law. This course examines the key legal documents and issues of the tradition including the Code of Hammurabi, the Ten Commandments, the trials of Socrates and Jesus, the Magna Carta, the Rule of Law, and Common law. Usually offered every term. 聖書の時代からアメリカの実験まで、西洋の法的伝統は原始法、神聖法、自然法、教会法、世俗法および慣習法を包含している。本科目では、重要な法的文書、またハムラビ法典、十戒、ソクラテスおよびイエスの裁判、マグナカルタ、法の原則、慣習法といった伝統の問題について検証する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World	This course enriches students' knowledge and appreciation of Western civilization by familiarizing them with some of the most important literary texts in Western literature from Homer through the nineteenth century. In addition to studying these works for their literary artistry, the course addresses the cultural context of these works, the ethical issues they address and the pivotal roles they have played in Western society, and what it means to call a work ″a classic.″ Usually offered every term. 本科目では、ホメロスから19世紀までの西洋文学において最も重要な文学テキストの一部を学生に親しませることにより、学生の西洋文明に関する知識および理解を強化する。その文学的芸術性のためにこうした作品を研究するだけでなく、本科目ではこうした作品の文化的背景、これらが取り上げる倫理的問題、また西洋社会においてこれらが果たした重要な役割、そしてある作品を「古典」と呼ぶことの意味について検討する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. 本科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	MATH-150 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. For students who need extra work on mathematical skills. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学能力について特別の努力を要する学生を対象とする。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-151 Finite Mathematics	Review of algebra, sets, linear equations and inequalities, nonlinear inequalities, interest problems, systems of linear equations, functions and graphs, and elementary data analysis. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 代数、集合、線形方程式、不等式、非線形不等式、利率問題、連立一次方程式、関数およびグラフ、基本的データ解析の概要。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-154 Great Ideas in Mathematics	This course explores a sample of beautiful branches of modern mathematics, concentrating on conceptual underpinnings rather than technical aspects. Includes study of infinity, number theory, fractals, and modern geometry, among other mathematical ideas. The course focuses on verbal and written communication skills and problem solving. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 本科目では、技術的側面よりも概念の基礎に焦点を合わせる現代数学の素晴らしい分野の実例を探究する。数ある数学的概念の中でも無限、整数論、フラクタルおよび近世幾何学の研究を対象とする。本科目では口頭および書面によるコミュニケーションのスキルと問題解決に焦点を当てる。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-155 Elementary Mathematic Models	Study of mathematical subjects including linear, quadratic, polynomial, rational, exponential, and logarithmic functions, in the context of difference equations models. Emphasizes concepts and applications using numerical, graphical, and theoretical methods. Also includes an introduction to the mathematical subject of chaos. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit for more than one course numbered MATH-15x. 差分方程式モデルとの関連で、一次、二次、多項式、有理、指数および対数関数といった数学的主題について研究する。数値法、図式法および理論手法を使用した概念および応用に重点を置く。カオスという数学的主題の紹介も含まれる。通常は、毎学期に開講する。注意：登録資格は数学のクラス分け試験での成績が妥当か否かにより決定される。数学専攻学生には単位なし。学生はMATH-15xと番号のついた複数の科目について単位を取得することはできない。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-160 Applied Precalculus	Fundamentals of algebraic, exponential, and logarithmic functions with emphasis on applications to problems in business and economics and the natural sciences. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-211 Applied Calculus I. No credit toward mathematics major. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、ビジネス、経済、自然科学の問題への応用を重視した代数関数、指数関数、対数関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：主にMATH-221 Applied Calculus Iを履修する予定の学生を対象としている。数学専攻の学生には単位は与えられない。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-170 Precalculus Mathematics	Fundamentals of algebraic, logarithmic, exponential, and trigonometric functions. Usually offered every term. Note: Registration eligibility determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Intended primarily for students planning to take MATH-221 Calculus I. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-160 and MATH-170. この科目では、代数関数、対数関数、指数関数、および三角関数の基礎を学ぶ。通常、春・秋の両学期で開講される。注意：登録資格は、数学に関するプレスメント試験のスコアの適切性によって判断される。主にMATH-221 Calculus Iを履修する予定の学生を対象としておいる。学位取得に向けて、MATH-160とMATH-170の両方の単位を修得することはできない。	
	アメリカン大学	MATH-211 Applied Calculus I	Functions, differentiation, and integration. Applications to several areas, especially business. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-160 or MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Credit toward a major in the Department of Mathematics and Statistics requires departmental approval. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-211 and MATH-221. 関数、微分、積分を扱う。さまざまな分野、特にビジネスへの応用を考える。通常は毎学期に開講する。MATH-160またはMATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。数学および統計学専攻の学生の単位は、学部の承認が必要。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-221 Calculus I	Real numbers; coordinate systems; functions; limits and continuity; differentiation and applications; trigonometric functions; indefinite and definite integration and applications; fundamental theorem of integral calculus. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-170. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. Students may not receive credit toward a degree for both MATH-221 and MATH-211. この科目では、実数、座標系、関数、極限と連続、微分と応用、三角関数、不定積分と定積分とその応用、微積分学の基本定理を取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-170の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。MATH-211およびMATH-221の両方について、学位に必要となる単位を受けられない可能性がある。	
	アメリカン大学	MATH-222 Calculus II	Techniques of integration, calculus of exponential and logarithmic functions, infinite series, power series representations, and analytic geometry. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-211 or MATH-221. Note: Registration eligibility may be determined by appropriate score on the Mathematics Placement test. この科目では、積分のテクニック、指数関数や対数関数の計算法、無限級数、べき級数の提示、解析幾何学について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-211またはMATH-221の履修を条件とする。ただし「数学プレースメントテスト」の点数によっては、これらの科目履修がなくても受講が認められることがある。	
	アメリカン大学	MATH-310 Linear Algebra	Vector spaces, systems of linear equations, solutions by matrices, determinants, linear transformations, and algebraic forms. Usually offered every spring and summer. Prerequisite: MATH-222 (may be taken concurrently). この科目では、ベクトル空間、連立線形方程式、行列解、判別式、線形変換、代数形式について取り扱う。通常は毎春学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする（並行して受講可能）。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-313 Calculus III	Vectors, functions of several variables, partial differentiation, and multiple integrals. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では、ベクトル、多変数関数、偏微分、多重積分について取り扱う。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-321 Differential Equations	First order equations, linear equations of higher order, solutions in series, Laplace transforms, numerical methods, and applications to mechanics, electrical circuits, and biology. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-310 and MATH-313, both of which may be taken concurrently. この科目では、一次方程式、高次線形方程式、級数解、ラプラス変換、数値法、力学・電気回線・生物学への応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-310およびMATH-313の履修を条件とし、いずれも並行して受講可能。	
	アメリカン大学	MATH-401 Probability	Algebra of sets; probability in discrete sample spaces; combinatorial analysis; random variables; binomial, Poisson, normal, and other distributions; and applications. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-313 (may be taken concurrently). この科目では、集合代数、離散的サンプル空間の確率、組み合わせ解析、乱数、2項分布、ポアソン分布、正規分布、その他の分布、それらの応用について取り扱う。通常は毎秋学期に開講する。MATH-313の履修を条件とする(並行受講も可能)。	

基礎科目	アメリカン大学	MATH-403 Foundations of Mathematics	An introduction to the proof-based methodology of advanced mathematics courses, with emphasis on the fundamentals of logic and set theory (truth-tables and quantifiers, Boolean operations, functions, relations, and cardinality); elementary number theory (mathematical induction and modular arithmetic), and structural properties of the fields of real and complex numbers. Meets with MATH-603. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-222. この科目では高等数学の証明に基づく方法の基礎を学ぶ。特に、論理と集合論（真偽表と限定作用素、ブール演算、関数、関係、濃度）、初等整数論（数学的帰納法とモジュラー演算）、実体数と複素数体の構造特性に注目する。MATH-603に同じ。通常は毎学期に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables	Vector-functions of several variables, limits and continuity, differentials and tangent plane, implicit and inverse functions, line and surface integrals, gradient, divergent, curl, Stoke's and Green's theorems. Meets with MATH-604. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-310, MATH-313, and MATH-403. この科目では、多変数のベクトル関数、極限と連続、微分と接平面、陰関数と逆関数、線積分と面積分、勾配、発散、回転、ストークスの定理、グリーンの定理を取り扱う。関連講座はMATH-604。通常は隔年の春学期に開講する（奇数年）。MATH-310、MATH-313、MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-405 Mathematical Logic	Vector-functions of several variables, limits and continuity, differentials and tangent plane, implicit and inverse functions, line and surface integrals, gradient, divergent, curl, Stoke's and Green's theorems. Meets with MATH-604. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-310, MATH-313, and MATH-403. この科目では、多変数のベクトル関数、極限と連続、微分と接平面、陰関数と逆関数、線積分と面積分、勾配、発散、回転、ストークスの定理、グリーンの定理を取り扱う。関連講座はMATH-604。通常は隔年の春学期に開講する（奇数年）。MATH-310、MATH-313、MATH-403の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-410 Geometry	Euclidean and non-Euclidean (spherical, elliptic and hyperbolic) geometries from axiomatic and analytic points of view. Includes isometrics, transformation groups, symmetry groups, quadratic forms, projective geometry, as well as some historical background. Meets with MATH-610. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: MATH-310. ユークリッド幾何学と非ユークリッド幾何学(球面、楕円、双曲線)を公理的および解析的観点から検討する。等角図、変換群、対称性群、二次形式、射影幾何のほか、歴史的背景についても触れる。MATH-610に同じ。通常は隔年の秋学期に開講する(偶数年)。MATH-310の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-412 Introduction to Modern Algebra	An introduction to the study of abstract algebraic structures. Includes groups, subgroup, quotient groups, homomorphisms, rings, ideals, fields, and group actions and Sylow theory. Meets with MATH-612. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. この科目では、抽象代数構造の研究について初歩を学ぶ。群、下位群、商群、準同型、環、イデヤル、体、群作用、シローの定理についても検討する。関連講座はMATH-612。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-413 Rings and Fields	An advanced study of rings and fields with a focus on polynomials and their roots. Includes ring theory, factorization, polynomials, field theory, ruler and compass constructions, Galois theory, and solvability of polynomials. Meets with MATH-613. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-412. 環や体について高度な内容を学ぶ。特に多項式やその根に焦点を当てる。また環論、因数分解、多項式、体の理論、定規とコンパスによる作図、ガロアの理論、多項式の可解性についても扱う。関連講座はMATH-613。通常は隔年の春学期(奇数年)に開講する。MATH-412の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-415 Number Theory	Divisibility, fundamental theorem of arithmetic, congruences, arithmetic functions, Diophantine equations, quadratic residues, sums of squares, and partitions. Meets with MATH-615. Usually offered alternate falls. Prerequisite: MATH-403. この科目では、被整除性、算術の基本定理、合同、算術関数、ディオファントス方程式、平方剰余、平方和、分割を扱う。関連講座はMATH-615。通常は隔年の秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-420 Introduction to Analysis	This course develops the foundations of mathematical analysis by focusing on the real numbers as a complete ordered field, infinite sequences and series, limits and continuity, and key theorems of the differential and integral calculus. Meets with MATH-620. Usually offered every fall. Prerequisite: MATH-403. 本科目は、完備な順序体としての実数、無限数列および無限級数、極限と連続、微積分学の基本定理等に焦点を当てることにより、数理解析の基礎的理解を深める。関連講座はMATH-620。通常は毎秋学期に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-421 Measure Theory and Integration	This course presents the fundamental concepts and techniques of measure theory. It includes Borel sets, measures, measurable sets and functions, integrals as measures, Lp spaces, modes of convergence, and decomposition and generation of measures (including product measure). Meets with MATH-621. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-403 and MATH-420. 本科目では、測度論の基本的な概念と技法を扱う。またボレル集合、可測集合、可測関数、約数としての整数、Lp空間、収束モード、測度の分解および生成（積測度を含む）も対象とする。関連講座はMATH-621。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-403およびMATH-420の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-440 Topology	Topological spaces, continuity, compactness, connectedness, and metric spaces. Meets with MATH-640. Usually offered alternate falls (odd years). Prerequisite: MATH-403. この科目では位相空間、連続性、コンパクト性、連結、距離空間。関連講座はMATH-640。通常は隔年の秋学期（奇数年）に開講する。MATH-403の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-450 Complex Analysis	Complex functions, Cauchy's theorem and integral formulae, Taylor and Laurent series, residue calculus and contour integration, and conformal mapping. Meets with MATH-650. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-313 and MATH-403. この科目では、複合関数、コーシーの定理、積分公式、テイラー級数、ローラン級数、留数解析、閉曲線積分、等角写像を取り扱う。関連講座はMATH-650。通常は毎春学期に開講する。MATH-313とMATH-403の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-451 Partial Differential Equations	Fourier series, orthonormal systems, wave equation, vibrating strings and membranes, heat equation, Laplace's equation, harmonic and Green functions. Meets with MATH-651. Usually offered alternate springs (odd years). Prerequisite: MATH-321. この科目では、フーリエ級数、正規直交系、波動方程式、振動弦、振動膜、熱伝導方程式、ラプラスの方程式、調和関数、グリーン関数を取り扱う。関連講座はMATH-651。通常は隔年の春学期（奇数年）に開講する。MATH-321の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-460 Tools of Scientific Computing	Designed to teach scientific rigor in the use of computers and/or computational tools. Techniques from mathematics are introduced which lead to efficient algorithm design, algorithm analysis, data classification, data manipulation, and scientific computation. Includes data types, induction, recursion, sorting, searching, summation, optimization, asymptotic analysis, basic number theory, discrete probability, and parallel computing. Meets with CSC-460. Usually offered every fall. Prerequisite: CSC-280, MATH-221, and MATH-222. この科目では、コンピュータや計算道具を使用する際の科学技術上の厳密さについて教授する。効率的なアルゴリズム設計、アルゴリズム解析、データ分類、データ操作、科学技術計算に寄与する数学的分野の技法を紹介する。またデータ型、数学的帰納法、再帰、ソーティング、検索、総和、最適化、漸近解析、基礎数論、離散分布、並列演算等についても扱う。関連講座はCSC-460。通常は毎秋学期に開講する。CSC-280、MATH-221、MATH-222の履修を条件とする。	
	アメリカン大学	MATH-465 Numerical Analysis: Basic Problems	Computer arithmetic and error analysis in computation, matrix decomposition methods in solving systems of linear equations and linear least squares problems, polynomial approximation and polynomial data fitting, iterative algorithms for solving nonlinear equations, and numerical differentiation and integration. Meets with MATH-665. Usually offered alternate falls (even years). Prerequisite: CSC-280, MATH-222, and MATH-310. この科目では、コンピュータ演算、演算におけるエラー解析、線形方程式や線形最小二乗問題の解決システムにおける行列分解方法、多項式近似と多項式データ・フィティング、非線形方程式解決のための反復アルゴリズム、数値微積分を取り扱う。関連講座はMATH-665。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。CSC-280、MATH-222、MATH-310の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	MATH-470 History of Mathematics	This course surveys aspects of historical development of mathematics from ancient to modern times and examines the ideological, social, and cultural forces which shaped this development. By providing historical continuity, the course interrelates and unifies the major subject areas such as algebra, calculus and analysis, geometry, number theory, probability, set theory, and the foundation of mathematics. Meets with MATH-670. Usually offered alternate springs (even years). Prerequisite: MATH-222 本科目は、古代から現代にいたる数学の歴史的発展の諸側面について概観し、そのような発展を形作ってきた理念、社会、文化的側面について検証する。歴史的な流れの中で、代数、微積分および解析、幾何学、数論、確率論、集合論、数学の根拠といった主要分野の相互関係を考察し統合する。関連講座はMATH-670。通常は隔年の春学期（偶数年）に開講する。MATH-222の履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	MATH-480 Advanced Topics in Mathematics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Intensive courses in a specialized area of mathematics. Meets with MATH-680. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。数学の特殊な分野を対象とした集中講座。MATH-680に同じ。	
	アメリカン大学	MATH-565 Mathematical Applications of Interest and Derivatives	Mathematical study of finance, including theory of interest, arbitrage theorem, random walk models of prices, options, Black-Scholes formula and consequences. Meets with ECON-565. Usually offered alternate falls (even numbered). Grading: A-F only. Prerequisite: MATH-221, MATH-222, MATH-313, and STAT-202 or STAT-203. 金融を数学的に研究する。たとえば、利子論、裁定定理、価格のランダム・ウォーク・モデル、オプション、ブラック・ショールズ式と結果等を対象とする。関連講座はECON-565。通常は隔年の秋学期（偶数年）に開講する。A-F評定のみ。MATH-221、MATH-222、MATH-313と、STAT-202またはSTAT-203の履修を条件とする。	隔年

基礎科目	アメリカン大学	PERF-110 Understanding Music	An introduction to musical language through listening and comprehension. The fundamentals of acoustics, melody, harmony, form, texture, and color in a wide range of music from ancient and global music to European concert music, jazz, blues, and popular music. Includes listening and concert attendance requirements. Usually offered every term. 鑑賞および理解を通して音楽言語を紹介する。古代の、また世界的な音楽からヨーロッパのコンサート音楽、ジャズ、ブルース、ポピュラー音楽まで、様々な音楽における音響、旋律、和音、様式、構成および音色の基礎。音楽鑑賞およびコンサートへの参加が求められる。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances	Provides an overview of the principles of drama from the ancient Greeks to contemporary society. The class draws on theatre history and social context, the reading of great literature, critical analyses, and artistic exploration to culminate in the experience which is the essential element of the art itself – performance. Usually offered every term. 古代ギリシャから現代社会までの演劇の原理について概観する。本クラスでは演劇の歴史と社会的背景、偉大な文学作品の講読、批評的分析、また芸術そのものの必須要素である経験－演技において頂点に達する芸術的探求を扱う。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	PHIL-105 Western Philosophy	A historical introduction to the Western philosophical tradition. Students closely examine classic and contemporary texts on the nature of reality, truth, morality, goodness, and justice; the possibility of knowledge; faith, reason, and the existence of God; and the issue of freedom and determinism. Usually offered every term. 西洋哲学の伝統について歴史的に紹介する。学生は現実、真理、道徳、善良性、正義の本質、知識の可能性、信仰、理性、神の存在、また自由と決定論の問題に関する古典および現代のテキストを綿密に検証する。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	PSYC-115 Psychology as a Natural Science	Through lectures and discussion, students are introduced to the many experimental questions addressed in psychology, e.g., environmental and genetic factors in behavior, biological bases of behavior, sensations and perception, conditioning and learning, memory and cognition, and drug use and abuse, as well as to the specific methods used in psychological research and the general research approaches used in science. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−116. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. 講義と議論を通して、心理学で取り上げられる多くの実験上の疑問(たとえば行動における環境および遺伝要因、行動の生物学的基盤、感覚および知覚、条件づけおよび学習、記憶および認識、また薬物の使用と乱用)、さらに心理学的研究において使用される特定手法と科学に使用される一般研究法を学生に紹介する。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−116。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-116 Psychology as a Natural Science lab	Through laboratory experiments and simulations, students are exposed to the various techniques, procedures, and designs used in the study of behavior. Usually offered every term. Corequisite: PSYC−115. Restriction: completion of the University Mathematics Requirement, or concurrent enrollment in MATH−170 or MATH−211 or STAT−202 or STAT−203. (レクチャー、演習に加えて)室内実験の体験およびシミュレーションを通して、学生は行動研究に使用される様々な手法、手順、計画に触れる。通常は、毎学期に開講する。共通必修課目:PSYC−115。大学の数学要件の修了、あるいは同時にMATH−170、MATH−211、STAT−202またはSTAT−203に登録している必要がある。	
	アメリカン大学	PSYC-200 Behavior Principles	The experimental analysis of behavior (EAOB) systematically relates a behavior's probability to its consequences (reinforcement and punishment). Principles derived from the EAOB are used to explain simple animal learning, stimulus control, behavioral sequences and patterning, verbal and other complex human behavior, and emotion. Issues raised by a behavioral approach to human conduct are discussed. Usually offered every term. 実験的行動分析(EAOB)は行動の確率とその結果(促進および罰)を系統的に関連づける。EAOBから得られた原理は、単純な動物の学習、刺激制御、行動連鎖およびパターンづけ、言語およびその他の複雑な人間行動と感情を説明するのに使用されている。人間の行動に対して行動科学的研究により提起される問題について論じる。通常は、毎学期に開講する。	

基礎科目	アメリカン大学	RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts	Examines theories of the nature, purpose, and meaning of artistic activities and objects through the religious, cultural, and philosophical contexts in which they arose. Both Western and non-Western expressions and viewpoints are considered. Student projects explore the relationship between particular works familiar to them and their role in religious expression. Usually offered every term. 自然の理論、芸術活動とこれが発生した宗教的、文化的、哲学的文脈を通した対象物の目的および意義を検証する。西洋的・非西洋的表現と視点の両方について検討する。学生プロジェクトでは、馴染み深い特定の作品と宗教的表現におけるその役割の関係について探究する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	STAT-202 Basic Statistics	Data presentation, display, and summary, averages, dispersion, simple linear regression, and correlation, probability, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Use of statistical software both to analyze real data and to demonstrate and explore concepts. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-15x or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、平均、ばらつき、単回帰および相関、確率、標本分布、信頼区間および有意性検定。実データの分析、また概念の実証および探究の両方のために統計ソフトウェアを使用する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-15x以上の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-203 Basic Statistics with Calculus	A calculus-based introduction to basic statistics including data presentation, display and summary, correlation, development of least squares regression models, probability, independence, probability density functions, moments, use of moment generating functions, sampling distributions, confidence intervals, and tests of significance. Concepts are explored through simulation and the use of the calculus tools of finding maxima and minima of a function and the area under a curve. Usually offered every term. Prerequisite: MATH-221 or one semester of calculus. Note: students may receive credit for only one of STAT-202, STAT-203, or STAT-204. データ表現、表示および要約、相関、最小二乗回帰モデルの開発、確率、独立性、確率密度関数、積率、積率母関数の使用、標本分布、信頼区間および有意性検定といった、微積分法に基づく基礎統計学の紹介。シミュレーションと関数の極大値および極小値、また曲線下の領域を検出する微積分ツールの使用により概念を探究する。通常は、毎学期に開講する。 MATH-221または微積分法の1学期の履修を条件とする。注意：学生はSTAT-202、STAT-203またはSTAT-204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-204 Introduction to Business Statistics	Statistical concepts and methods used in business decision making. Topics include probability rules, discrete and continuous distributions, descriptive and graphical statistics, estimation, confidence intervals, hypothesis testing, analysis of variance, regression, and applications of MS Excel data analysis tools to economic and business data. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: MATH–150, MATH–151, MATH–154, or MATH–155. Note: students may receive credit for only one of STAT–202, STAT–203, or STAT–204. ビジネス上の意思決定に使用される統計概念および手法。トピックには確率規則、離散および連続分布、記述および図解統計学、概算、信頼区間、仮説検定、分散、回帰分析、また経済およびビジネスデータへのMicrosoft Excelデータ分析ツールの適用が含まれる。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 MATH–150、MATH–151、MATH–154またはMATH–155履修を条件とする。注意：学生はSTAT–202、STAT–203またはSTAT–204のうち1つについてしか単位を取得することができない。	
	アメリカン大学	STAT-302 Intermediate Statistics	Methods include techniques for estimation and inference with qualitative and quantitative data focusing on simple linear and multiple regression, correlation, logistic regression, and analysis of variance. Usually offered every term. Prerequisite: STAT–202 or STAT–203 with a grade of C or higher. Note: students may receive credit for only one of STAT–302, STAT–320, or STAT–514. この科目では、単回帰および重回帰、相関、ロジスティック回帰、および分散分析に焦点を絞った定性的および定量的データによる推計統計学の技法を学ぶ。通常、毎学期提供される。 この科目を履修するには、Cまたはそれ以上のグレードでSTAT –202またはSTAT – 203を履修していることが条件となる。注：学生は、STAT – 302、STAT–320、またはSTAT–514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	
	アメリカン大学	STAT-320 Biostatistics	This course examines how statistical methods are utilized within the fields of biology, medicine, and public health. Advanced statistical methods, including ANOVA, multiple regression, analysis of covariance, survival analysis, and nonparametric methods are discussed, with emphasis on their applicability to public health. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT–202 or STAT–203. Note: students may receive credit for only one of STAT–302, STAT–320, or STAT–514. この科目では、生物学、医学、公衆衛生の分野で統計的手法をどのように活用するかを検討する。公衆衛生への適用性に重点を置いて、分散分析、重回帰分析、共分散分析、生存分析、ノンパラメトリック法などの高度な統計的方法が議論される。通常、毎春セメスターに開講される。 登録前提条件：STAT–202またはSTAT–203を履修していること。注：学生は、STAT–302、STAT–320、またはSTAT–514のいずれか1つのみで単位取得することとなる。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-370 Introduction to Statistical Computing and Modeling	The basics of programming using the open source statistical program R. Data analysis, both numerical and qualitative, including graphical and formal inference. Applications include numerical methods, text mining, modeling, and simulation. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-221 and STAT-202 or STAT-203. この科目では、オープンソース統計プログラムであるRを使用したプログラミングの基礎を学ぶ。描画による推論および形式的推論を含む、量的および質的データの分析を行う。手法には、数値メソッド、テキストマイニング、モデリング、シミュレーションなどが含まれる。通常、毎春学期に提供される。 前提条件：MATH-221およびSTAT-202またはSTAT-203を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-402 Introduction to Mathematical Statistics	Probability, probability distributions, sampling, sampling distributions, and introduction to the theory of point estimation and statistical inference, including confidence intervals and hypothesis testing. Usually offered every spring. Prerequisite: MATH-401. この科目では、確率、確率分布、サンプリング、標本分布、信頼区間と仮説検定を含む点推定理論と統計的推論の導入的指導を行う。通常、毎春セメスターに開講される。 前提条件：MATH-401を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-405 Introduction to Survey Sampling	This course introduces the basic approaches to surveys, including simple random, systematic, and stratified sampling. Also included is the design of questionnaires and the analysis of sample data. Emphasis is on the practical application of sampling. Meets with STAT-605. Usually offered alternate falls. Prerequisite: STAT-202, STAT-203, or STAT-514. この科目では、単純無作為抽出法、系統抽出法、層化抽出法を含む調査の基本的なアプローチを紹介する。アンケートのデザインとサンプルデータの分析も含まれ、サンプリングの実用化に重点を置いている。 STAT-605に同じ。通常、隔年秋学期に開講する。 前提条件：STAT-202、STAT-203、またはSTAT-514を履修していること。	隔年
	アメリカン大学	STAT-415 Regression	Simple and multiple regression, least squares, curve fitting, graphic techniques, and tests and confidence intervals for regression coefficients. Meets with STAT-615. Usually offered every fall and summer. Prerequisite: STAT-302, STAT-320, or STAT-514. この科目では、単回帰および多重回帰、最小二乗法、曲線あてはめ、グラフィック技術、および回帰係数の検定および信頼区間について学ぶ。 STAT-615に対応する。通常、毎秋学期と夏季集中期間に提供される。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	STAT-422 Advanced Biostatistics	Introduction to methodologies used to understand complex problems in four major areas of biomedical science: clinical trials, epidemiology, survival analysis, and bioinformatics. Phases of clinical trials, dynamics of epidemiology and disease, estimation of survival, hazard and mortality functions, and analysis of gene expression data are covered. Usually offered every fall. Meets with STAT-622. Grading: A-F only. Prerequisite: STAT-302, or STAT-320, or STAT-514. この科目では、生物医学の4つの主要分野である臨床試験、疫学、生存分析、バイオインフォマティクス（生命情報学）における複雑な問題を理解するために使用される方法論を紹介する。臨床試験の諸段階、疫学と疾病の動態、生存の推定、ハザードと死亡率の関数、および遺伝子発現データ解析が含まれる。 STAT-622に対応する。通常、毎秋学期に提供される。評価はA-Fのみである。 前提条件：STAT-302、STAT-320、またはSTAT-514を履修していること。	
	アメリカン大学	STAT-424 Data Analysis	An introduction to exploratory data analysis including graphical summaries, model assessment and selection, model inference and averaging, and data mining elements. Explores supervised statistical learning for regression and classification, unsupervised machine learning algorithms, and related topics. Meets with STAT-624. Usually offered every spring. Prerequisite: STAT-415. この科目では、グラフィカルサマリー、モデル評価と選択、モデル推論と平均化、データマイニング要素などの探索的データ分析の紹介を行う。回帰と分類に関する教師付き（supervised）統計学習と、教師無し機械学習（unsupervised machine learning）アルゴリズムを探索する。 STAT-624に対応する。通常、毎春に開講される。登録前提条件：STAT-415。	
	アメリカン大学	STAT-425 Statistical Software	Introduction to the use of the SAS language to prepare, modify, and analyze data, interpret output and final preparation of results. Emphasis on practical programming principles and use of built-in procedures. Comparisons with other programming languages. Meets with STAT-625. Usually offered every fall. Prerequisite: STAT-514 or two statistics courses. この科目は、SAS言語を使用するためのデータの準備、修正、分析、出力の解釈と結論の最終的な準備について紹介する。実用的なプログラミング原則と組み込みプロシージャの使用を重視し、他のプログラミング言語との比較を行う。STAT-625に対応する。通常、毎秋に開講される。 前提条件：STAT-514または2つの統計科目を履修していること。	

基礎科目	アメリカン大学	WGSS-150 Women's Voices Through Time	This course focuses on distinctive contributions of women to Western artistic and intellectual traditions; significant articulations of human experience expressed by women through literature, art, and history; how such traditions became established; and how women, despite obstacles, have produced lasting works of ideas and imagination. Usually offered every spring. 本科目では、西洋の芸術的・知的伝統への女性の際立った貢献、文学、美術および歴史を通して女性により表現される人間の経験の意義深い明確な表現、こうした伝統がどのように確立されたのか、そして女性がどのようにして障害を排して不朽の思想および想像の作品を生み出したのかに注目する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	WRTG-100 College Writing	Develops students' skills in reading with understanding, summarizing and synthesizing information accurately, and writing correct, reasoned prose. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. 情報を正確に理解、要約、総合する学生の読解力、また正確で筋の通った散文を書く作文力を向上させる。通常は、毎学期に開講する。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-101 College Writing Seminar	Continues the work begun in WRTG-100, stressing the student's abilities to construct extended arguments, to synthesize diverse materials, and to pursue library research. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-100. Note: Completion of WRTG-100 and WRTG-101 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-100で開始した課題を継続して学ぶ。広範な議論を構築し、多様な資料を総合し、図書館で調査を行う学生の能力に重きを置く。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-100履修を条件とする。注意:WRTG-100およびWRTG-101をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	
	アメリカン大学	WRTG-102 College Writing	WRTG-102 is a specially designed version of WRTG-100. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-102はWRTG-100の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。注意:WRTG-102およびWRTG-103をC以上の成績で修了することで、ユニバーシティカレッジのライティング要件が満たされる。	

基礎科目		アメリカン大学	WRTG-103 College Writing Seminar	WRTG-103 is a specially designed version of WRTG-101. It is aimed at students whose language skills need special attention and has a required one-on-one conference with the course instructor. Usually offered every term. Prerequisite: WRTG-102. Note: Completion of WRTG-102 and WRTG-103 with grades of C or better fulfills the university College Writing Requirement. WRTG-103はWRTG-101の特別版である。語学力に特別な配慮が必要で、科目講師との一対一の面談が必要な学生を対象とする。通常は、毎学期に開講する。 WRTG-102履修を条件とする。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
		アメリカン大学	WRTG-106 College Writing, Intensive	Develops students' academic writing and research skills. Builds students' abilities to construct extended arguments and synthesize diverse materials. Emphasizes information literacy, including evaluating source material and making strategies and appropriate use of different sources. Usually offered every term. Note: Completion of WRTG-106 with a grade of C or better and an Advanced Placement English Language and Composition score of 4 or 5, or a Higher Level International Baccalaureate Examination score of 5 or higher fulfills the university College Writing Requirement. この科目は、生徒のアカデミックライティングとリサーチスキルを向上させる。展開的な議論を構築し、多様な資料を統合する能力を育成する。情報源の評価、戦略の作成、さまざまな情報源の適切な使用など、情報リテラシーに特化して教授する。通常、すべての学期で開講される。 注:WRTG-106の成績がC以上で、英語プレスメントテストの成績スコアが4または5、または国際バカロレア試験の得点が5以上であれば、大学のライティング要件が満たされる。	
基幹科目	基礎経済学	アメリカン大学	ECON-100 Macroeconomics FA4	Introduction to the basic principles of aggregate economic analysis. Includes measurement and determinants of national income, unemployment, inflation, economic growth, and business cycles. Topics also include historical perspectives, alternative approaches to economics, and current issues and controversies. Usually offered every term. 経済の総体的な分析のための基本原理を紹介する。国民所得、失業、インフレーション、経済成長、景気循環等の測定や決定因子等を対象とする。また歴史的側面、経済学に対する代替アプローチ、時事的な問題や論争といったトピックも扱う。通常は、毎学期に開講する。	

基幹科目	基礎経済学	アメリカン大学	ECON-200 Microeconomics FA4	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 市場や様々な経済主体の行動に対する分析について紹介する。内容として、需要と供給、消費者や企業の行動、競争市場対独占または寡占、所得分布、差別、国際貿易等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	
	国際政治	アメリカン大学	SISU-105 World Politics FA3	Patterns of conflict and cooperation in a rapidly-changing world. The primary focus is on concepts and theories which provide a framework for analyzing and understanding contemporary issues. The course examines the behavior of states and other international actors, seeks to explain foreign policies, and identifies the main characteristics of interaction among states. Usually offered every term. Grading:A-F only. 急速に変化する世界における紛争と協力のパターンを明らかにする。現代的課題を分析し理解するための枠組みとなるコンセプトや理論を中心に扱う。本科目では、世界各国や国際的組織の行動を検証し、外交政策について説明し、諸国間の関係における主な特性を明らかにする。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	
	コーホート		SISU-140 Cross-Cultural Communication FA3	Examines the impact of culture on communication, perception, thought patterns, values, and beliefs in order to better understand the behavior of individuals within different societies. Specific concerns include the dynamics of verbal and nonverbal communication; the relationship between dominant cultures and subcultures; ethnic, racial, class and other forms of diversity within countries and organizations; third-culture and multicultural persons; and the dynamics of cross-cultural adjustment. Usually offered every term. Grading: A-F only. 様々な社会の中の個人の行動について理解を深めるために、コミュニケーション、感性、思考パターン、価値観、信念に対する文化の影響について考察する。特に、言語／非言語コミュニケーションのダイナミクス、メジャーカルチャーとサブカルチャーとの関係、国内や組織内における民族、人種、階級その他の多様性、第三カルチャーおよび多カルチャー人格、異文化間調整のダイナミクス等を検討する。通常は、毎学期に開設する。A-F評定のみ。	

基幹科目	経済学	アメリカン大学	SISU-300 Introduction to International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Grading: A–F only. Prerequisite: ECON–100 and ECON–200. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場や変動為替相場等も対象とする。A–F評定のみ。 ECON–100およびECON–200履修を条件とする。	
		アメリカン大学	ECON-370 International Economics	Introduction to international trade and finance and open economy macroeconomics. Includes why countries trade, trade policies and their effects, the balance of payments, foreign exchange markets, and fixed and flexible exchange rates. Usually offered every term. Prerequisite: ECON–100 and ECON–200. Note: Intended for majors in other teaching units and BA in Economics: general track. No credit toward BA in Economics: international track, BS in Economics, or BS in Mathematics and Economics. 国際貿易、国際金融、開放マクロ経済学について紹介する。また、諸国が貿易を行う理由、貿易政策、その影響、国際収支、外国為替市場、固定為替相場、変動為替相場も対象とする。通常は、毎学期に開講する。 ECON–100およびECON–200履修を条件とする。 注意：他の科目専攻学生と経済学BA（一般科目）を対象とする。経済学BA（国際科目）、経済学BS、数学および経済学BSには単位認定は行わない。	
		アメリカン大学	ECON-371 International Economics: Trade	Theories of international trade and its impact on national economies, including overall welfare gains and redistributive effects; analysis of the effects of tariffs, quotas, and other trade policies. Topics include capital and labor mobility, trade and development linkages, and preferential or regional trade agreements. Usually offered every spring. Prerequisite: ECON–300 or ECON–400. 国際貿易の理論と、その国民経済に対する影響（全体的な福利の向上と再分配効果および関税、割当、その他貿易政策の影響解析を含む）。また、資本移動や労働移動、貿易と開発との関係、特恵貿易協定や地域貿易協定といったトピックも対象とする。通常は、春学期に開講する。 ECON–300またはECON–400履修を条件とする。	

基幹科目	経済学	アメリカン大学	ECON-372 International Economics: Finance	Determination of income, employment, and inflation in open economies; international impact of monetary-fiscal policies under fixed and flexible exchange rates; theories of exchange-rate determination; and international monetary organization and reform. Usually offered every fall. Prerequisite: ECON-301 or ECON-401. Recommendation: STAT-202 or STAT-203. 開放経済における所得、雇用、インフレーションの決定について明らかにする。固定為替相場や変動為替相場における金融・財政政策の国際的影響。為替レート決定理論、国際金融機関と改革。通常は、秋学期に開講する。 ECON-301またはECON-401履修を条件とする。 STAT-202またはSTAT-203を履修していることが望ましい。	
リサーチメソッド科目		アメリカン大学	SISU-206 Introduction to International Relations Research	Introduction to scientific method, data gathering, research design, statistical analysis, and computer applications for international relations and comparative studies research. The course is designed for the beginning student and employs a hands-on approach. The course also develops the analytical skills students need as active consumers of research findings. Applications are geared to research projects to be encountered in subsequent SIS courses. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: International Studies (BA). 国際関係学や比較研究における科学的手法、データ収集、研究設計、統計解析、コンピュータの活用について紹介する。本科目は、初学者を対象とし、実践的な学習活動を行う。また、学生が研究結果を積極的に活用するために必要となる分析技能の開発も行う。今後のSISの授業で遭遇する研究プロジェクトに応用できる技能を対象とする。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 国際研究(BA)限定。	

リサーチメソッド科目	アメリカン大学	SISU-306 Advanced International Studies Research	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Application of research methods in international studies to an original research project. Rotating topics focus on a specific research methodology or a specific subject area. Methodologies covered include survey research methods, comparative case study analysis, game theory, discourse analysis, and ethnographic research methods. Areas include foreign policy, civil war and intervention, and nationalism. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際関係学の研究手法を、各自のプロジェクトに適用する。特定の研究手法や特定の対象分野に対して、内容で順次開講する。対象となる方法論として、調査研究手法、比較ケーススタディ分析、ゲーム理論、談話分析、民族誌的調査方法がある。分野としては、外交政策、内戦と介入、ナショナリズム等が対象となる。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU–206履修を条件とする。	
外国語科目	アメリカン大学	JAPN-114: Elementary Japanese I	Prepares students to function in everyday situations in the Japanese–speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every fall この科目は、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎秋学期に開講される。	
	アメリカン大学	JAPN-115: Elementary Japanese II	Continuation of JAPN–114. Prepares students to function in everyday situations in the Japanese–speaking world. Focuses on the acquisition of basic vocabulary and grammatical structures in culturally authentic contexts through speaking, reading, writing, and listening comprehension. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN–114. この科目はJAPN 114科目の継続版であり、日本語会話の日常的な場面で機能するように学生を教育する。会話、読解、筆記、聞き取りを通して、文化的文脈における基本的な語彙の獲得や文法構造の理解を行うことについて焦点を当てる。通常、毎春学期に開講される。 当該科目を履修する場合は、JAPN114を履修していることが求められる。	

外国語科目	アメリカン大学	JAPN-214: Intermediate Japanese I	Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-115. この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎秋に提供される。この科目を受講するに当たっては、JAPN-115を履修しておくことが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-215: Intermediate Japanese II	A continuation of JAPN-214. Refinement of basic language skills in a cultural context. Expansion of vocabulary and grammatical structures and further development of communicative skills.Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN-214. この科目はJAPN 214科目の継続版である。この科目は文化的背景を踏まえた基本的な言語能力を洗練させる。語彙や文法の構造の理解の拡張、コミュニケーションスキルのさらなる発展をめざす。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN214を履修していることが求められる。	
	アメリカン大学	JAPN-314: Advanced Japanese I	Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every fall. Prerequisite: JAPN-215. この科目は、本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎秋に提供される。 この科目を受講する場合、JAPN-215を履修しておくこと。	

外国語科目		アメリカン大学	JAPN-315: Advanced Japanese II	Continuation of JAPN−314. Promotes the advanced active use of Japanese in culturally authentic contexts. Emphasis on the development of fluency and accuracy in oral and written communication. Includes social, economic, and political aspects of Japanese culture. Usually offered every spring. Prerequisite: JAPN−314. この科目はJAPN 314科目の継続版である。本質的な文化的文脈を踏まえた日本語の高度かつ積極的な活用を促進する。口頭および書面によるコミュニケーションにおける流暢さと正確さの向上に注目する。日本文化の社会的、経済的、政治的側面を含んだトピックを取り扱う。通常、毎春に提供される。当該科目を履修する場合は、JAPN314を履修していることが求められる。	
		アメリカン大学	JAPN-490: Independent Research in Japanese	This course is individually designed by the student and faculty member to explore an area of research in Japanese. この科目は、受講する学生と担当教員の間で、日本語/日本に関する分野の研究を行っていくために、それぞれの場合に応じて設計される。	
固有専門科目	専門入門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance	This course examines explanations for the major changes in political order and governance over time and across the globe. Topics include the rise and decline of empires and caliphates, the rise of and challenges to the nation−state and the state system, and the emergence of regional and global international organizations and institutions. Usually offered every term. Grading: A−F only. この科目では、政治秩序やガバナンスの大きな変化について、時代の経過と、グローバルな観点で説明する。トピックには、帝国およびカリフ制の勃興および没落、国家および国家体制への挑戦、ならびに地域および世界の国際的組織および機関の出現が含まれる。通常、すべての学期で開講される。グレーディング：A−Fのみ。	
	専門入門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture	Explores the complex and dynamic configuration of identity based on race, ethnicity, gender, nationalism, and religion as they relate to specific cultures, globalization, and social discourse. Usually offered every spring. Grading: A−F only. Prerequisite: SISU−105. Restriction: no more than 90 credit hours. 人種、民族性、ジェンダー、ナショナリズム、宗教にもとづいたアイデンティティの複雑かつ動的な様態と、それらの特定のカルチャー、グローバリゼーション、社会的言説との関係について探る。通常は毎春学期に開講する。A−F評定のみ。SISU−105の履修を条件とする。90単位数の履修を上限とする。	

固有専門科目	専門入門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	This course explores the central concepts of peace and conflict resolution, important theories of causes of conflict and applications of conflict resolution in difficult global contexts. It compares definitions of peace, explores types of conflict, and analyzes conflict from multiple perspectives, which range from individual-level theories of aggression and human nature to inter-group theories of identity and mobilization. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-105. Restriction: no more than 90 credit hours. 本科目では、平和と紛争解決の中心的コンセプト、紛争の原因に関する重要な理論、困難な国際的状況に対する紛争解決策の適用について探求する。また、様々な平和の定義を比較し、紛争をタイプ別に検討し、紛争を様々な角度（攻撃性や人間性の個人レベルの理論からアイデンティティや動員に関するグループ間理論を含む）から分析する。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-105履修を条件とする。 90単位数の履修を上限とする。	
	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-381 African Political Institutions	This course introduces students to the themes, debates, and basic techniques of comparative institutional analysis. It examines classic readings on presidentialism/parliamentarism, party systems, electoral systems, and constitutional design alongside new research that applies institutional models to Africa. The course culminates in an empirical investigation of the relationship between particular institutional combinations and outcomes such as better representation, less corruption, or improved macroeconomic performance. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目では、比較制度分析にかかわる様々なテーマ、議論、基本技法を学生に紹介する。大統領制／議会制、政党制度、選挙制度、立憲制の設計のほか、アフリカに制度モデルを適用するあらたな研究内容についても、古典的な文献にあたる。最終的には、特定の制度の組合せとその成果（代議制度の改善、腐敗の減少、あるいはマクロ経済的パフォーマンスの改善等）との関係について、実態調査を行う。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-383 Overview of the European Union	The European Union and its institutions, historical roots, the variety of its political scenery, the unity of its different cultures, and the strength of its economy–in brief, comprehending the European identity. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. 欧州連合とその諸制度、歴史的由来、政治的側面の多様性、異文化の統合、経済的強みなど、ヨーロッパのアイデンティティを理解する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-385 Islam and Democracy	The purpose of democracy in Islam is primarily to serve the community–the collective good–rather than the individual, while democracy in Western liberalism underscores individualism. However, as in other religions, there are democratic precepts and practices in Islam which promote the rights of the individual. This course seeks answers to questions raised by Islam's relation to democracy, including what Islamic traditions, precepts, and practices are most promising for the support of democracy; the ramifications of an Islamic civil society; what roles women play; and the most important issues and forces behind contemporary Islamic activism for democracy. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–280. イスラムにおけるデモクラシーでは、個人ではなく、コミュニティ—集団的な善—に奉仕することを目的とし、西欧リベラリズムの民主主義では個人を重視する。だが他の宗教と同様に、イスラムにも、個人の権利を尊重するデモクラティックな教えや実践がある。本科目は、イスラムとデモクラシーとの関係において提起される疑問に答えようとするものであり、たとえば、どのようなイスラムの伝統、教え、実践がデモクラシーを支える上でもっとも有効であるか、そのイスラム市民社会への影響、女性の果たす役割、そしてデモクラシーに向けた現在のイスラム改革主義の背景となっている最重要事項とその勢力について検討する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-386 Contemporary Africa	Africa's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to Africa south of the Sahara. Usually offered every term. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU 206 and SISU–280. アフリカの現在の政治文化とその歴史的、経済的、地理的、社会的ルーツを明らかにする。特に、サハラ以南のアフリカに注目する。毎学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–280履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post-Gandhi period. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目は系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		アメリカン大学	GOVT-315 Elections and Voting Behavior	Focuses on public opinion, participation, and voting and campaign strategy in elections, with attention to issues of representation and democracy. Usually offered every term. Prerequisite: GOVT-110. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は選挙における世論、市民参加、投票や選挙戦略に焦点を当て、特に、代議制度と民主主義の諸問題に注目する。通常は毎期に開講する。GOVT-110の履修を条件とする。またGPA2.5取得を最低条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including international law, comparative governing institutions, and leading global organizations. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。国際法、比較統治機構、主な国際機関といったトピックをローテーションを組んで扱う。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-280の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Global and Comparative Governance	アメリカン大学	SISU-329 Global Economic Governance	A study of the entrepreneurial, corporate, and governmental forces and organizations that have shaped international commerce and cross-border finance. The course examines how private-sector and official institutions in particular have become more or less relevant in light of fast-paced globalization since the 1960s, the challenges these institutions currently face, and how these institutions interact with and react to developments in commodity and financial markets. Grading: A-F only. この科目は、国際商取引や国境を越えた資金調達を行っている起業家、企業、政府の力や組織の研究を行う。1960年代から急速に進んだグローバリゼーションのなかで、民間セクターと公的機関がどのように関連し、これらの機関が現在直面している課題、およびこれらの機関が商品やフィナンシャルマーケットの発展とどのように相互作用し反応するかを考慮する。グレーディング：A-Fのみ。	
		アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Explores the contemporary and historical development of Washington D.C. and the Chesapeake region; or invites students to interact with communities and the environment in the area. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ワシントンDCとチェサピーク地域の現在および歴史的発展について探求する。また学生が当該地域のコミュニティや環境と触れ合う機会を設ける。通常は毎期に開講する。	
		アメリカン大学	ANTH-210 Race and Racism FA3	Drawing from biological anthropology, this course traces the development of the race concept, beginning with the emergence of "pre-racial" categories. It then examines the biological and social construction of race, how race has been mutually constructed with sexism, heterosexism, classism, and other essentialist forms of oppression. Modes of resistance are examined simultaneously. Usually offered every term. この科目では、生物人類学を援用し、人種という概念の変遷をたどる。まず「プレ・レイシャル」カテゴリーの出現から始め、人種の生物学的および社会学的構造を検討し、人種が、性差別、同性愛差別、階級差別、その他本質主義的な抑圧形態とどのように関係してきたかを検証する。またさまざまな抵抗形態についても検証する。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目		アメリカン大学	HPRM-441 Health Communication	This course addresses basic information about essential nutrients and their functions in the body as well as known and hypothesized relationships between diet and chronic disease. The course also addresses the U.S. government's nutrition guidelines, nutrition myths, food labeling, digestion, and weight management, and enables students to make informed decisions about their nutritional requirements and food choices. Usually offered every term. この科目では、必須栄養素とその体内における機能、食習慣と慢性病との既知の関係や仮説として示されている関係について検討する。また、米国政府発表の栄養指針、栄養に関する迷信、食品ラベル、消化、体重管理等についても対象とし、学生が自分に必要な栄養や食事について、適切な情報に基づいた判断ができるようにする。通常は毎期に開講する。	
	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Europe. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ヨーロッパにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in Latin America. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目は、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on issues of identity, race, gender, and culture in the Middle East. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。中東におけるアイデンティティ、人種、ジェンダー、文化にかかわる問題で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-210またはSISU-260履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-369 Topics in Public Diplomacy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on public diplomacy. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260. この科目ではセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。パブリックディプロマシーに関するトピックで順次開講する。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on the intersection of human rights, identity, and culture. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-260 or SISU-270. この科目では人権、アイデンティティ、カルチャーの交差といったトピックをローテーションを組んで扱う。セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。。A-F評定のみ。SISU-206およびSISU-260またはSISU-270の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4	Race, class, gender, sexuality, ability, and age are key factors in systematic marginalization and inequality. This course examines how some people suffer from inequalities while others benefit from them. It explores how power, privilege, and inequality are maintained through a range of social institutions and daily social interactions. It also cultivates intellectual insight and personal agency. Usually offered every term. 人種、階級、ジェンダー、性差、能力、年齢は、システマチックな社会的疎外や不平等をもたらす大きな要因となっている。本科目では、不平等により被害をこうむる人がいる一方で、不平等の恩恵にあずかる人がいる実態について検証する。また権力、特権、不平等がさまざまな社会的機構や日常の社会的相互作用の中で温存されている実態についても検証する。本科目は、知的洞察力や各人の主体性を高めようとするものである。通常は毎期に開講する。	

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SOCY-310 Language, Culture, Power	This course cultivates insight into the ways that language and representation can (re)produce, maintain, and subvert relations of power, social identities, and social hierarchies. Discussions and readings develop insights into the various ways in which gender, sexuality, race, ethnicity, class, and ability are constructed and contested through systems of language and representation. The course is hands-on and students draw from course readings to examine a range of data including popular film, advertisements, newspaper articles, and social interactions. Usually offered every spring. この科目は、言語と表象により、権力、社会的アイデンティティ、社会的階層の関係がいかに現出、維持、転換されるかについて、深く考察する。授業での議論や課題図書を通じて、言語や表象のシステムが、ジェンダー、性差、人種、民族、階層、能力をどのように構築し競合関係を生み出しているかについて洞察を深める。本科目は実体験を重視し、学生は、課題図書に基づき、人気映画、広告、新聞記事、人的交流といったさまざまなデータを検証する。通常は春学期に開講する。	
		アメリカン大学	SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives	A focus on what happens when divergent types of persons experience social contact. Racial, ethnic, tribal, national, and religious interactions throughout the world. The processes include conflict, amalgamation, acculturation, assimilation, prejudice, and discrimination. Usually offered every fall. Prerequisite: SOCY-100 or SOCY-110 or SOCY-150. この科目は、さまざまなタイプの人間が社会的接触を経験する場合に何が起こるかに注目する。世界各地における人種、民族、部族、国家、宗教の相互作用について考える。その検討プロセスには、紛争、融合、変容、同化、偏見、差別を含む。通常は毎秋学期に開講する。SOCY-100またはSOCY-110またはSOCY-150の履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research	This course examines intersectionality as both an analytical tool and a conceptual framing that has developed into a broad web of theoretical and empirical work examining how race, class, and gender interact in meaningful and complex ways. The focus includes important methodological assumptions and complications of intersectionality, as well as contemporary challenges such as the discussions of positionalities ignored in initial framings of intersectionality, including age, disability, and sexuality. Usually offered alternate springs. Prerequisite: three courses in sociology. Recommendation: SOCY-210, SOCY-351, or SOCY-354. 本科目は、インターセクショナリティ(交差性)を、分析ツールとして、また考え方の枠組みとして検証する。この枠組みは人種、階層、ジェンダーが有意かつ複雑にどのように関係し合っているかを検証する、さまざまな理論や経験を取り込んだ研究に発展してきている。特に、インターセクショナリティにおける重要な方法論的仮説やその複雑化のほか、インターセクショナリティの初期構想時には考慮されなかった、年齢、障害、性差といったポジショナリティ(立場性)の議論といった、今日的な課題についても注目する。通常は隔年の春学期に開講する。社会学3科目の履修を条件とする。SOCY-210、SOCY-351、SOCY-354の受講が勧められる。	隔年

固有専門科目	固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Culture	アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A–F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
		アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研（履修には）究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including peace and social justice, international security, causes of war, and human and global security. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。平和と社会正義、国際安全保障、戦争の原因、ヒューマンセキュリティ、国際安全保障といったトピックを順次開講する。A-F評定のみ。 SISU–206およびSISU–210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia	This course compares economic development strategies of the East Asian developmental states (Japan, Taiwan, South Korea and Singapore) and the more recent export-led growth models of Malaysia, China, and Vietnam. All cases have in common strong government intervention in their economies and strong export promotion policies. The differences in global economic conditions have led scholars to assert that the developmental state model is no longer viable. This course investigates what created the economic miracles of China and Vietnam, and earlier Malaysia, and whether the basic principles of the developmental state model still apply; is state intervention obsolete, possible, or necessary in the twenty-first century global economy. The class then contrasts the East and Southeast Asian models with India, an emerging economy and one that in the past was seen as a failed developmental state, and concludes by trying to find lessons with wider applicability for developing countries. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. この科目では、東アジアの開発主導型国家・地域（日本、台湾、韓国、シンガポール）における経済開発戦略と、近年のマレーシア、中国、ベトナムにおける輸出主導型成長モデルを比較する。これらすべてに共通するのは経済に対する各国政府の強力な介入と強力な輸出促進政策だが、研究者の間では、グローバル経済条件の変化により、開発主導型国家モデルはもはや妥当しないとも評されている。本科目では、中国やベトナムおよび以前のマレーシアにおいて、奇跡的な経済発展の原因となったものは何か、開発主導型国家モデルの基本原理はまだ有効なのか、つまり、国家の介入は21世紀のグローバル経済環境においては時代遅れなのか、可能なのか、あるいは必要なのかについて検証する。さらに、東アジアや東南アジアのモデルを、新興経済の一つであり過去において開発主導型国家の失敗事例とされたインドと比較し、最終的に、発展途上国に広く適用できる教訓を学び取ろうとする。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-313 Transatlantic Security	This course examines the evolution of trans-Atlantic security policy and defense planning. It begins with a review of the formation of NATO and of trans-Atlantic defense policy and military force planning through the Cold War to the breakup of the Soviet Union. The course then focuses in some detail on the transformation that trans-Atlantic security relations have undergone, in particular the shift of NATO's focus from defense of European territory to expeditionary operations outside its boundaries and the European Union's assuming a strong role in defense planning. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. 本科目は、大西洋安全保障政策と防衛計画の推移について検証する。NATOの設立から検討を始め、大西洋防衛政策や軍事計画について冷戦からソ連崩壊までを概観する。さらに大西洋安全保障関係に生じた変遷について、特にNATOが欧州の地域防衛から周辺地域への派遣作戦に主力をシフトし、欧州連合が防衛計画に大きな役割を担うようになっていく変遷に注目する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-316 United States-Russian/Eurasian Security Relations	Addresses the relations between the United States and Russia, the Soviet Union and its successor states, focusing on the security aspects of those relations. The course primarily covers the evolution of security relations from the Bolshevik Revolution to the present. Usually offered every term. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210. アメリカとロシア、ソ連とその後継諸国との関係について検討する。これらの関係における安全保障の側面に注目し、特に本科目では、ボルシェビキ革命から現在にいたる安全保障関係の推移を中心に扱う。通常は、毎学期に開講する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics focusing on global security and foreign policy. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-210 or SISU-230. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。グローバル安全保障と外交といったトピックで順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-210、またはSISU-230履修を条件とする。	

固有専門科目		アメリカン大学	SISU-319 Arab-Israeli Relations	A survey of Arab–Israeli relations from their origins to the present. Includes an account of Zionism and Palestinian nationalism, the history of the British mandate, the Arab–Israeli wars, the involvement of external powers, and the quest for peace. The emphasis is on conflict resolution. Usually offered every spring. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–220. アラブ・イスラエル関係について、その起源から現在にいたるまでを概観する。シオニズムとパレスチナナショナリズムについて説明し、イギリスの委任統治の歴史、アラブ・イスラエル戦争、諸外国の関与、和平への模索についても検討する。中心テーマは紛争解決。通常は、通常は、春学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–220履修を条件とする。	
	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-359 Environment, Conflict, and Peace	The focus of the emerging interdisciplinary field of environmental peacemaking, with its focus on relationship–building between conflict actors, is to identify ways that the environment, natural and human, provides opportunities for building bridges of collaboration between conflicting parties. In this course, students deal with concepts from ecopolitics, environmental security studies, international relations, and conflict resolution to develop an understanding of the theoretical framework informing the emerging environmental peacemaking paradigm. The course examines the interactions among violence, conflict, peace, security, and the natural environment. It is structured to create the context for students to address questions including what impact violent conflict has on the environment; is environmental degradation itself a source or trigger of violent conflict; and how environmental cooperation can be used to promote peace and sustainable development. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–250. 環境の平和維持活動という新しい学際的分野では、紛争当事者間の関係構築を中心として、環境（自然環境と人工的環境）により、紛争関係者間の協力体制の構築に向けた機会がどのように実現されるかを明らかにする。本コースで、学生は、環境政治学、環境安全保障研究、国際関係、紛争解決等に由来する概念に取組み、新しい環境平和維持パラダイムに情報を提供する、理論的枠組みについて理解を深める。また暴力、紛争、平和、安全保障、自然環境等の相互作用についても検証する。本コースでは、暴力的な紛争は環境にどのような影響を及ぼすのか、環境悪化そのものが暴力的紛争の原因あるいは引き金になっているのか、そして環境に係る相互協力は、平和と持続可能な発展の促進にどのように役立てることができるのかといった疑問に答えるための枠組みを、学生自ら構築できるように構成されている。A–F評定のみ。SISU–206およびSISU–210またはSISU–250の履修を条件とする。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	This course on conflict resolution examines our interdependent world and fosters greater intercultural awareness and communication. It encourages students to explore their own sense of identity, attitudes, and behavioral choices, and how they affect and are affected by differences and similarities encountered with others. The course employs experiential learning activities. Usually offered every fall. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–210 or SISU–260. 紛争解決をテーマとした本科目は、相互依存により成り立っている世界について検証し、異文化間の理解とコミュニケーションの促進を目指すものである。学生には自らのアイデンティティ、態度、行動の選択肢について探求し、他者とのかかわり合いの中で遭遇する相違点や類似点に、自分がどのように影響し、また影響されるかを考察するよう求める。本科目では経験的学習活動を採り入れている。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–210またはSISU–260履修を条件とする。	
		アメリカン大学	SISU-393 International Relations Theory	Major trends in recent thought, including systematic and behavioral modes of analysis. Problems of explanation and theory building in social sciences with special reference to international studies. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 系統分析方法や行動分析方法など近年主流となっている思潮について明らかにする。特に国際関係研究に係わるような社会科学における説明や理論構築の諸問題について検討する。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
		アメリカン大学	IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post–conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on–the–ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post–conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with IBUS–671 and MGMT–471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。対応講座はIBUS–671およびMGMT–471/671。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	The course has three major components: experiential learning in which students work in teams to assist entrepreneurs in post-conflict regions to develop their business plans; seminars led by guest speakers with on-the-ground experience with entrepreneurship, global business, and economic development in post-conflict areas; and a guided research component wherein students choose a specific topic within the spectrum of peace through commerce issues. Meets with MGMT-671 and IBUS-471/671. 本科目は大きく3つの部分で構成されている。まず体験学習では、学生はチームを組み、紛争終結地域における起業家の事業計画立案を支援する。次に、紛争終結地域における起業、グローバル・ビジネス、経済発展に関して実際の経験を有する講演者を招いてセミナーを聴く。そして、研究指導として、各学生は、商業活動を通じた平和という枠組みの中で、具体的なトピックを選ぶことになる。 MGMT-671 and IBUS-471/671と対応する。	
		アメリカン大学	RELG-475 Religion and Violence	This course explores the religious dimensions, both ideological and cultural, of political and military conflict. Themes include sacred geography and literature as grounds for bloodshed; the sanctity of race; martyrdom/terrorism; and pacifism. Empirical data is drawn from Germany, Lithuania, the Middle East, and the Balkans. Meets with RELG-675. Usually offered every spring. 本科目は、政治的・軍事的対立における宗教的側面（イデオロギーおよびカルチャーの両面から）について探求する。テーマとしては、流血の原因となる神聖地理学や神聖文学、人種の神聖化、殉教／テロリズム、平和主義等が含まれる。ドイツ、リトアニア、中東、バルカン諸国から得られた経験的データを使う。関連講座はRELG-675。通常は毎春学期に開講する。	
		アメリカン大学	WGSS-350 Interpreting Gender in Culture : Gender and Violence	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. An exploration of diverse aspects of gender experience from different disciplinary perspectives. Rotating topics focus on specific subjects, integrating recent scholarship and interdisciplinary contexts. Representative topics include gender and violence, gay and lesbian documentary, masculinities, and international feminisms. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。多様な学際的見地から得られたジェンダー体験のさまざまな側面について検討する。さまざまなテーマをローテーションを組んで扱い、最新の研究や学際的な内容を統合していく。代表的なトピックとしては、ジェンダーと暴力、ゲイおよびレズビアン・ドキュメンタリー、男性性、国際フェミニズム等がある。	

固有専門科目	固有専門科目 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研(履修には)究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
地域研究科目		アメリカン大学	ANTH-439 Culture, History, Power, Place	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Examination of a particular culture area to provide insight into the conditions that produced distinctive cultures in certain geographical regions. Rotating culture areas include North American Indians, Latin America, Mexico and Central America, African American women, India, Africa, China, and Japan. Meets with ANTH-639. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。特定の地域をとりあげ、その地域に特徴的な文化を醸成した諸条件に関する考察を行う。北米ネイティブ・アメリカン、ラテンアメリカ(メキシコ、中米)、米国アフリカ系女性、インド、アフリカ、中国、日本といった文化圏ごとに順次開講する。関連科目はANTH-639。通常は、毎学期に開講する。	
		アメリカン大学	AWST-225 Arab Societies	This course introduces students to the twenty-two nations of the Arab world. Themes covered include popular images in the media, politics, economics, religion, and gender and sexuality. Comparisons between countries, both macro and micro, are emphasized throughout the course. Usually offered every term. 本科目は、アラブ世界の22か国について、学生に紹介するものとなる。対象テーマとしては、マスコミに取り上げられる一般的なイメージ、政治、経済、宗教、ジェンダー、セクシュアリティを扱う。科目全体を通じて、マクロ的およびミクロ的両面における各国の比較を特に強調する。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	FREN-431 Civilisation Francaise I	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 中世からフランス革命までのフランスを対象とする。政治、社会、経済における発展を概観し、特に、一次資料をもとに、エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-631。通常は、隔年の秋学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-432 Civilisation Francaise II	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. 19世紀・20世紀フランスを対象とする。新体制、フランス革命が社会階層とその精神構造に及ぼした影響について学ぶ。エリート文化と民衆文化との違いに焦点を当てる。関連科目はFREN-632。通常は、隔年の春学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	FREN-433 French Topics	Introduction to the analysis of markets and the behavior of different kinds of economic agents. Covers supply and demand, behavior of consumers and firms, competitive markets versus monopoly or oligopoly, income distribution, discrimination, and international trade. Usually offered every term. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。フランスの政治、社会、映画、フランス語圏の小説やショートストーリー、アルジェリア植民地化と独立、自伝、映画、文学、社会、そしてフランス文学におけるユーモアやアイロニー、アメリカに対するフランス人の印象といったトピックについてフランス語で順次開講する。関連科目はFREN-633。通常は、毎学期に開講する。FREN-323履修を条件とする。	
	アメリカン大学	GERM-336 German Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics taught in German include German culture and society, survey or arts, cinema, literature, and politics. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Prerequisite: GERM-333. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ドイツの文化、社会、調査、美術、映画、文学、政治といったトピックについてドイツ語で順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。GERM-333履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	GERM-438 German Civilization I	A survey of German culture and society from the Middle Ages to the Romantic period. Historical, social, and intellectual developments, literature, art, and music are studied as the basis for discussion of German cultural history. Taught in German. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GERM-333. ドイツ文化を中世からロマン派の時代まで概観する。歴史的、社会的、知性的な発展状況と、文学、美術、音楽について、ドイツ文化史研究を論ずる基礎として学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	GERM-439 German Civilization II	Continuation of GERM-438, covering German history from the Romantic period to the twenty-first century. Taught in German. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GERM-333. GERM-438に続き、ロマン派時代から21世紀にわたるドイツ史を学ぶ。授業はドイツ語で行う。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GERM-333履修を条件とする。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-233 Communism and Capitalism in East Asia	This course focuses on the theories of communism and capitalism, as well as their respective practices in East Asia and implications for socioeconomic and political development in the region. More specifically, the course examines the political and economic systems, processes, and changes in East Asia including China and Taiwan, North and South Korea, Japan, and Singapore. Major contemporary issues and policies of the East Asian systems are also surveyed, with particular emphasis on how the East Asian societies' socioeconomic and political performance, as well as their cultural traditions, affects these regimes' claim to political legitimacy. Usually offered alternate falls. Prerequisite: GOVT-130. この科目は共産主義と資本主義の諸理論と東アジアにおける各国・地域のこれら理論の実践および同地域における社会経済的および政治的発展に対するインプリケーションに焦点を当てる。より具体的には、この授業は中国と台湾、南北朝鮮、日本、そしてシンガポールを含む東アジアにおける政治および経済システム、プロセス、変容を検討する。とくに、東アジア社会の社会経済的および政治的パフォーマンスと文化的伝統が各国・地域の主張する政治的正統性にどのような影響を及ぼすのかに焦点をあてながら、東アジアシステムに関する主要な現代的諸問題と各国の政策も概観する。通常、隔年ごとの秋学期に開講される。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-334 Modern British Politics	Offered as part of the AU Abroad London Semester. An introduction to institutions of politics and government in Britain and how its constitutional monarchy and parliamentary system have evolved. How politics are practiced and power is distributed between institutions, parties, and individuals. Considers the relationship between politics and other aspects of British society and the major contemporary issues in British politics. Usually offered every term. Restriction: minimum 2.5 GPA. この科目は、「アメリカン大学海外ロンドンセメスター」の一環として開講されるもので、英国の政治制度や政府のほか、その立憲君主制や議会制度の発展の過程を紹介する。様々な制度、政党、個人の間で、政治がどのように機能し権力が分散されているか、また政治と英国社会の他の側面との関係や、英国政治の主な現代的課題についても検討する。通常は、毎学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	
	アメリカン大学	GOVT-349 The Middle East in Comparative Perspective	Description: Using the insights of comparative politics, this course examines the contemporary constellation of regime types, authority structures, institutions, and state-society relations in the Middle East. It analyzes the success of the powerful and the resistance of various groups bound together by ethnic, regional, religious, class, and gender identities. Usually offered alternate springs. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231. この科目は、比較政治の視点を通じて、中東での一連の統治体制、権限組織、制度、国家社会関係を研究する。 有力者と民族・地域・宗教・階級・性別のアイデンティティーにより結束した様々な集団による力のある抵抗の成功事例を分析する。 通常、隔年春学期に開講する。 GOVT-130 または GOVT-231を履修しておく必要がある。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-432 Political Institutions and Processes in Selected Countries	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. The nature of political institutions and processes of specific countries, such as Great Britain, Germany, France, the former Soviet Union, Israel, Iran, Greece, India, Turkey, and Mexico. Prerequisite: GOVT-130 or GOVT-231 or GOVT-232. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。英国、ドイツ、フランス、旧ソ連、イスラエル、イラン、ギリシャ、インド、トルコ、メキシコといった特定の国における政治制度や政治プロセスの特徴について学ぶ。 GOVT-130またはGOVT-231またはGOVT-232履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	

地域研究科目	アメリカン大学	GOVT-433 Topics in Sub-Saharan African Politics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics course examine the political development of African states south of the Sahara Desert and the nature of politics in Sub-Saharan Africa generally and by country. Usually offered alternate falls. Restriction: minimum 2.5 GPA. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。サハラ砂漠以南のアフリカ各国の政治的発展と、サハラ以南の政治状況全般と国別の状況といったトピックで順次開講する。通常は、隔年の秋学期に開講する。 GPA2.5以上が必要。	隔年
	アメリカン大学	GOVT-450 Politics in Cuba	An examination of the social, economic, and political roots of the Cuban revolution of 1959 and the changes brought about in Cuban politics and society as a result of the revolution. Usually offered every fall. Prerequisite: GOVT-130. Restriction: minimum 2.5 GPA. 1959年のキューバ革命の社会的、経済的、政治的なルーツを探り、革命の結果、キューバの政治や社会がどのように変化したかを検証する。通常は、秋学期に開講する。 GOVT-130履修を条件とする。 GPA2.5以上が必要。	
	アメリカン大学	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815	Explores transformations in the culture, society, politics, and intellectual life of early modern Europe, such as the Italian Renaissance, the print revolution, the Reformation, European expansionism, New World slavery, the Scientific Revolution, the Enlightenment and the French Revolution. Usually offered every term. この科目は、ヨーロッパ近代初期の文化、社会、政治、知的生活における変遷をたどる。たとえば、イタリアルネッサンス、印刷革命、宗教革命、ヨーロッパ拡張、新世界の奴隷制度、科学革命、啓蒙主義、フランス革命等を対象とする。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-204 Medieval Europe	Exploration of the medieval world-view and consideration of the organization of economic and political institutions, the relationship of secular and ecclesiastical authority, and the creation of new social and religious ideals during the millennium that bridges antiquity and modernity. Usually offered alternate springs. この科目は、中世的な世界観、その経済構造や政治制度、世俗と教会権力の関係、そして古代と近代とを結ぶ千年間における新たな社会理念や宗教理念の台頭について探求する。通常は、隔年の春学期に開講する。	隔年

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-221 History of Britain I	Political, social, and cultural development in Britain to 1689. Parliament, common law, civil war, plague, rebellion, concepts of kingship, and the conflict of church and state. Usually offered every fall. 1689年にいたる英国の政治、社会、文化的な変遷について明らかにする。議会、コモンロー、内乱、疫病、反乱、王権の概念、そして政教対立について学ぶ。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-222 History of Britain II	This course examines phenomena that have defined Britain's place in the world, such as the ascension of parliament, the industrial revolution, and the growth of empire, to understand what is unique about Britain and which elements of the British historical experience are more broadly shared. Usually offered every spring. 本科目では、英国が国際社会における今日の地歩を確立するにいたる様々な事象、たとえば、議会の優位性の確保、産業革命、帝国の拡大等について検証し、英国のユニークさ、英国の歴史の中でどのような側面が広く共有できるかについて理解を深める。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-225 Russia and the Origins of Contemporary Eurasia	This course provides an overview and introduction to the history of empires, nations, and states in the Eurasian plain, from the origins of Rus' over a thousand years ago to the present day, as well as the various ethnic, national, and religious groups of the region. 本科目は、千年以上前のロシアの起源から現代にいたるまで、ユーラシア平原に勃興した様々な帝国、諸国、諸邦の歴史について概観するほか、この地域の様々な民族、国、宗教の状況についても検討する。	
	アメリカン大学	HIST-231 The Russian Empire, 1650-1917	This course examines the history of the Romanov dynasty and the Russian Empire focusing on understanding the structures of the diverse society that made up the empire, the growth and modernization of the empire, and the tensions within the system which led to its collapse. Readings include historical narratives, documents, and novels. 本科目は、ロマノフ王朝とロシア帝国の歴史について検証する。特に、帝国を構成する様々な社会の構造、帝国の成長と近代化、そしてその崩壊にいたる制度内の葛藤について理解することを主眼とする。課題図書として、歴史的物語、文書、小説等を読む。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-232 The Soviet Union	This course treats the history of the Soviet Union (1917–1991), seeking to explain how this civilization arose, survived, and ultimately fell, with particular attention to the history of communism as an idea. Readings help give a sense of both the aspirations and sufferings of its citizens. 本科目では、ソ連の歴史(1917年–1991年)を対象として、その文明の興隆、維持、そして最終的な没落について説明を試みる。特に、共産主義の歴史を一つの理念として捉える。様々な文献にあたることにより、一般市民の希望と苦悩を垣間見ることができる。	
	アメリカン大学	HIST-241 Colonial Latin America	Conquest and change in Indian civilization; imperial politics; race and class; Indian labor and the Black legend; imperial economic relations; imperial reform and revolution. Usually offered every fall. ネイティブ・アメリカン征服とその文化の変化、帝国主義時代の政治、人種と階級、ネイティブ・アメリカン労働者、「黒い伝説」、帝国主義時代の経済関係、帝国主義時代の改革と革命等を扱う。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-242 Latin America since Independence	Problems in creating nations; militarism, dictatorship, and democracy; sources of underdevelopment; reform and revolution in the twentieth century. Usually offered every spring. 建国にかかわる諸問題、軍国主義、独裁政治、民主主義、低開発の原因、20世紀における改革と革命について検討する。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-250 Empires and States in East Asia	This course examines the origins and history of multiple imperial traditions throughout East Asian history, including ancient China (origins to 221 B.C.); Chinese empires (221 B.C. to 1912); the Japanese empire (1895–1945); and modern East Asia (1600–present). この科目では、東アジア史における複数の帝国的伝統の淵源と歴史について検証する。古代中国(起源から紀元前221年)、中国各王朝(紀元前221年から1912年)、大日本帝国(1895年から1945年)、そして近代東アジア(1600年から現在)を対象とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-327 Twentieth Century Europe	In this century Europe has experienced two major wars, a wave of communist revolution, a violent reaction in the form of fascism, and the horror of mass extermination. Yet Europe today is quite prosperous, and there are better links between the Western countries and their communist counterparts than could have been imagined two decades ago. There is something in Europe's past that gives it a certain resilience. Usually offered alternate years. 20世紀においてヨーロッパは、二つの大戦、共産主義革命のうねり、それに対するファシズムという形の暴力的応酬、そして大量殺戮の恐怖にみまわれてきた。しかし現在のヨーロッパは繁栄を謳歌し、西側諸国と共産諸国との関係は、二十年前には想像もできなかったほどにまで改善されている。ヨーロッパの過去には、ある種の強靭な対応力があったと思われる。通常は、隔年で開講する。	隔年
	アメリカン大学	HIST-418 Nazi Germany	The political, social, and economic conditions that made it possible for Hitler to take power. The nature of Nazi rule. Emphasis on World War II and the Holocaust. Meets with HIST-618. Usually offered every spring. この科目では、ヒトラーの台頭を許した政治、社会、経済的な条件、ナチ統治の性格について考える。特に第二次世界大戦とホロコーストに注目する。関連科目はHIST-618。通常は、春学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-419 Holocaust	Traces the history of anti-Semitism and the development of racism that led to the Holocaust. Examines the historical development of the Final Solution. Considers the variety of responses to Jewish persecution by the Nazi perpetrators, the Jews, and the nations of the world. Meets with HIST-619. Usually offered every fall. ホロコーストへとつながる、反ユダヤ主義の歴史と人種差別の台頭をたどり、「最終的解決」にいたる歴史的流れを検証する。ユダヤ人迫害に対するナチ加害者、ユダヤ人、世界各国の様々な反応について検討する。関連科目はHIST-619。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-437 British Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Hanoverian England, Victorian England, Edwardian England, the British Empire, the British working class, and popular culture in modern Britain. Meets with HIST-637. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ハノーバー朝イングランド、ビクトリア朝イングランド、エドワード朝イングランド、大英帝国、英国の労働者階層、現代英国のポップカルチャーといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-637。	
	アメリカン大学	HIST-440 Latin American Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including the diplomatic history of Latin America, Latin American intellectual history, and Latin American feminisms. Meets with HIST-640. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカにおける外交史、知的系譜、フェミニズムといったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-640。	
	アメリカン大学	HIST-443 History of Israel	Traces the development of modern political Zionism in nineteenth-century Europe; the historical background leading to the establishment of the State of Israel in 1948; and the history of Israel since then, including patterns of Jewish immigration and its relationship to the Arab world. Meets with HIST-643. Usually offered every fall. この科目では、19世紀ヨーロッパの近代政治シオニズムの進展をたどり、1948年のイスラエル建国にいたる歴史的背景、それ以降のイスラエルの歴史を検証する。ユダヤ移民のパターンと、そのアラブ世界との関係についても検討する。関連科目はHIST-643。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	HIST-445 Russian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including Russian intellectual history, World War I and the end of empires, the Russian Revolution, and Russian film history. Meets with HIST-645. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ロシアインテリの歴史、第一次世界大戦と帝国の終焉、ロシア革命、ロシア映画史といったトピックで順次開講する。関連科目はHIST-645。	

地域研究科目	アメリカン大学	HIST-447 Asian Studies	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Topical courses in Asian history including modern China, late imperial China, the Japanese empire, modern Eurasian frontiers, and other topics in Chinese, Japanese, and inner Asian history. Meets with HIST-647. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。アジア史をテーマとする。たとえば、近代中国、中華帝国後期、大日本帝国、近代ユーラシア辺境地域のほか、中国史、日本史、内陸アジア史にかかわるその他のトピックを扱う。関連科目はHIST-647。	
	アメリカン大学	JLC-471 Evolution of Global Jihad	This course examines the contours of the Sunni jihadist movement with the aim of understanding ideological as well as strategic and operational characteristics that define it. A heavy emphasis is placed on exploring the ideological and strategic debates within the movement, as well as national, regional, and international events that contribute to these debates. Meets with JLC-671. Usually offered every fall. Grading: A-F only. この科目では、スンニ・ジハード運動の概略を検証し、そのイデオロギー的特徴だけでなく、戦略と実践に関する特徴をも理解する。特に、この運動内部におけるイデオロギー論争や戦略論争と、そのような論争の機縁となった国家、地域、国際的な出来事に注目する。関連科目はJLC-671。通常は、秋学期に開講する。A-F評定のみ。	
	アメリカン大学	JWST-205 Ancient and Medieval Jewish Civilization	Examines the independent Jewish states that flourished in Palestine, the rise of the most important Jewish communities outside the ancient Jewish homeland, and the foreign influences that shaped not only the political life of the Jews but also their internal organization and their creativity. Usually offered every fall. この科目では、パレスチナの地に台頭した様々な独立ユダヤ国家、古代ユダヤの地以外の最も重要なユダヤコミュニティの台頭、そしてユダヤ人の政治生活だけでなくその内部組織や創造性をも形作った外国の影響について検証する。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	LIT-225 African Literature	This course looks at a range of fiction from across the African continent. The course examines the ways that African literature reacts to and records various crises that have shaped the continent, including colonialism, civil war, structural adjustment, racism, AIDS, etc., but also moves beyond the rhetoric of crises to highlight the ″poetics of survival″ that underpin much African literary production. Usually offered every fall. この科目では、アフリカ大陸全体を対象とし、その地で生み出された様々な文芸作品（フィクション）を検討する。現在のアフリカ大陸の在り方を形作ってきた、植民地主義、内戦、構造的調整、人種差別、AIDSといった様々な危機的状況に対して、アフリカ文学がどのように対応してきたか、それらをどのように記録してきたかを検証するが、そのような危機のレトリックを超えて、現在アフリカ文学を生み出す基盤となっている「サバイバルの詩学」に注目する。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	LIT-267 Literatures of the Global South	An introduction to literature written by writers from the Global South: Africa, Asia, and Latin America. The emphasis is on contemporary fiction and the ways that this writing depicts cultural and political change brought about by the impact of outside forces. Usually offered every term. 「グローバルサウス（アフリカ、アジア、ラテンアメリカ）」の作家による文学作品を紹介する。特に、現代フィクションと、外的な力によりもたらされた文化的・政治的変化を、そのような作品がどのように描いているかに注目する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-185 The Religious Heritage of Asia	Introduces methods of studying religion and places religious traditions in comparative relief. Surveys the basic features of the major religions of Asia, including Hinduism, Taoism, and Confucianism, and explains how these traditions shape Asian cultures and societies. Usually offered every term. 宗教を研究対象とするための様々な方法論を紹介し、様々な宗教的伝統を比較の中で浮かび上がらせる。ヒンズー教、道教、儒教といったアジアの主要宗教の基本特性を調べ、このような伝統が、どのようにアジア的文化や社会を構築してきたか説明する。通常は、毎学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	RELG-210 Non-Western Religious Traditions	How non-Western religious traditions function as systems of symbols, how they interact with both indigenous religious traditions and external religious traditions such as Islam and Christianity, and how they respond to modernization and imperialism. Usually offered every term. 西洋以外の宗教的伝統が、象徴のシステムとしてどのように機能しているのか、それらが土着の宗教的伝統や、イスラムやキリスト教といった外部の宗教的伝統とどのように関係しあっているか、また近代化や帝国主義とどのように対峙しているかについて検討する。通常は、毎学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-470 Islam	Hundreds of millions of people adhere to Islam, sometimes described as the world's fastest growing religion. Students examine historical origins, Prophet Muhammad, Qur'an, and other formative elements underlying the modern Muslim situation. Meets with RELG-670. Usually offered every fall. イスラム教は数億人の信者を擁し、世界でもっとも急速に拡大しつつある宗教とも言われている。本科目では、その歴史的な起源、預言者ムハマド、コーラン、その他現在のイスラム教を取り巻く状況を形作ってきた要因について検証する。関連科目はRELG-670。通常は、秋学期に開講する。	
	アメリカン大学	RELG-473 Hinduism	This course focuses on four phases in the development of Hinduism. Central to the study of each phase are close readings of selections from its main mythological and philosophical texts, which are considered in light of lived religious practices. Meets with RELG-673. Usually offered alternate springs (even years). 本科目では、ヒンズー教の4つの発展段階に注目する。各段階の研究では、その主要な神話的・哲学的選集の精読が中心となる。そのような文献を実際の宗教的実践の枠組みの中で検討していく。関連科目はRELG-673。通常は、隔年（偶数年）の春学期に開講する。	隔年
	アメリカン大学	RUSS-200 Russia and the United States	A comparative study of the two countries, Russia and the United States, through an interdisciplinary approach with emphasis on the major similarities and differences. The course draws primarily from international studies, cross-cultural communication, political science, history, literature, and the arts. Taught in English. Usually offered every fall. ロシアとアメリカ合衆国両国の比較研究。主な類似点と相違点に注目した学際的アプローチを用いる。本科目は、国際関係学、異文化コミュニケーション、政治学、歴史、文学、美術等を主な対象とする。授業は英語で行う。通常は、秋学期に開講する。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-211 Civilizations of Africa	By concentrating on African societies and states, ancient and modern, the course aims to create a greater understanding of, and empathy with, the Africans: the diversity, history, culture, accomplishments, and problems of the people and their continent; and the interaction of their culture with Islam and the West. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は、古代から現代にいたるアフリカの社会と各国に注目し、アフリカ大陸の多様性、歴史、文化、業績、そして問題について、またアフリカ文化とイスラムや西洋との相互作用理解とアフリカ人に対する共感を高めようとする。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-212 China, Japan and the United States	A multidisciplinary introduction to China and Japan that explores the history, culture, social structure, literature, art, politics, economics, and foreign relations of these important countries. Particular attention is paid to the context of East Asian international relations. Usually offered every term. Grading: A–F only. 中国と日本の両国の歴史、文化、社会構造、文学、美術、政治、経済、外交関係に関する学際的な探究を紹介する。特に東アジアにおける国際関係に注目する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-213 Contemporary Europe	This course examines the major political, economic, and social issues shaping contemporary Europe. The first portion of the course covers the concepts and theoretical approaches that make up the analytical toolkit for understanding and analyzing European politics. The second part covers the overarching themes of European politics, including state formation, governments and institutions, political parties and elections, welfare state development and reform, and European integration. The final segment consists of country and issue case studies as opportunities to apply the theoretical, methodological, and analytical tools, and looks at lessons that can be learned from the diverse ways European societies have answered the basic questions of economic, social, and political organization confronting all societies. Grading: A–F only. 本科目では、現代ヨーロッパを形成している主な政治的、経済的、社会的な課題について検討する。まず、ヨーロッパの政治を理解・分析するための分析ツールとなる概念と理論的アプローチについて触れ、次に、ヨーロッパ政治の全体的テーマである、国家形成、政府と諸機関、政党と選挙、福祉国家の発展と改善、そしてヨーロッパ統合について考える。最後に、理論的・方法論的・分析的ツールを応用して、国や課題別のケーススタディを行い、あらゆる社会が直面する経済、社会、政治組織の基本的問題に対して、ヨーロッパ社会で採用されてきた対応方法から得られる教訓について考える。A–F評定のみ。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-214 Contemporary Latin America	Major political, social, and economic change in Latin America, its foundations, factors accelerating and impeding it, and prospects and trends. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目はラテンアメリカの政治、社会、経済における重要な変化、その基盤や、それを助長あるいは妨害する要因、今後の見通しやトレンドについて学ぶ。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-215 Contemporary Middle East	The Middle East's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots, with special attention to the Arab world. Usually offered every term. Grading: A–F only. 本科目は中東の現在の政治文化と、その歴史的・経済的・地理的・社会的ルーツについて、特にアラブ世界に注目する。通常は、毎学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-216 Contemporary Russia	Russia's contemporary political culture and its historical, economic, geographic, and social roots. Usually offered every fall. Grading: A–F only. 本科目はロシアの現代政治文化とその歴史・経済・地理・社会的なルーツについて取り扱う。通常は、秋学期に開講する。A–F評定のみ。	
	アメリカン大学	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics including race and international relations, cultural diplomacy, and international education. Class content will reflect the specialisation and / or research of the instructing faculty members. Grading: A–F only. Prerequisite: SISU–206 and SISU–260. 本科目はセクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。人種と国際関係、文化外交、国際教育といったトピックを順次開講する。授業の内容は、教員の専門分野および／または研究対象を反映したものとなる。A–F評定のみ。 SISU–206およびSISU–260履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-387 Contemporary India	This course examines the contemporary politics, society, and economy of India, one of the largest emerging powers. Students explore issues of democracy and market liberalization, religion, politics, and identity in the post-Gandhi period. Grading: A-F only. Prerequisite: SISU-206 and SISU-280. 本科目は、世界有数の新興国であるインドの現在の政治状況、社会、経済について検証する。学生は、ガンジー後の民主主義、市場自由化、宗教、政治、アイデンティティといった課題について探求する。A-F評定のみ。 SISU-206およびSISU-280履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature	Latin America's history through literary texts, films and documentaries, and other artistic representations. Analysis of how the Latin, African, and indigenous cultural heritages have combined to produce a unique culture. Usually offered every term. Separate sections taught in English and Spanish. Prerequisite: SPAN-353. 文学、映画、ドキュメンタリー、その他芸術表現を通じてラテンアメリカ史を学ぶ。ラテン、アフリカ、土着のそれぞれの文化的遺産がどのように融合してユニークな文化を醸成してきたか分析する。通常は、毎学期に開講する。セクションごとに、英語とスペイン語による授業となる。SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-355 Spanish Introductory Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Rotating topics include courses that serve as a bridge between the language sequence and upper-level courses. Courses are taught in Spanish on topics such as central issues in Latin American studies, indigenous people in Latin America, and media in Latin America. Emphasis is placed on vocabulary, expressions, and structures related to the specific topic. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。言語習得科目と上級科目の橋渡しとなる複数の内容を順次開講する。ラテンアメリカ研究の主要課題、ラテンアメリカにおける先住民、そしてラテンアメリカにおけるメディアといったトピックについて、スペイン語で講義する。それぞれのトピックに関連する語彙、表現、構文に注目する。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	

地域研究科目	アメリカン大学	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature	A systematic survey of the historical development of Latin American literature. Reading of selected texts in the original, and their relationship to cultural, historical, political, and social developments. This course is a transition course between SPAN-353 and higher level courses. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. この科目では、ラテンアメリカ文学の歴史的発展を系統的に研究する。原書選集を講読し、その文化、歴史、政治、社会的な発展との関連について検討する。本科目は、SPAN-353と上級レベル科目との橋渡しとなる。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SPAN-456 Spanish Topics	Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. Courses taught in Spanish on such topics as: Latin American film, Mexican-U.S. border, urban cultures in Latin America, indigenous people of Latin America, Hispanics in the United States, Caribbean cultures, and the Latin American short story. Meets with SPAN-656. Usually offered every term. Prerequisite: SPAN-353. セクションごとに異なったトピックを扱い、内容が異なれば重複して単位取得可能。ラテンアメリカの映画、米墨国境、ラテンアメリカの都市文化、ラテンアメリカの先住民、アメリカ合衆国のヒスパニック、カリブ文化、ラテンアメリカのショートストーリーといったトピックで順次開講する。関連科目はSPAN-656。通常は、毎学期に開講する。 SPAN-353履修を条件とする。	
	アメリカン大学	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring	This course designation is for a variety of classes in the field of international relations. Topics vary by section, may be repeated for credit with different topic. May be taken A-F only. この科目は、国際関係学のフィールドにおける様々な内容について取り扱うよう位置づけられる。トピックは、セクションによって異なり、異なるトピックを取り扱った場合は重複受講が可能である。概ねA,Fのみで評価される。	

地域研究科目	アメリカン大学	SISU-391 Internship	Credit-bearing, work assignments (internships) with a significant academic component under the guidance of an American University instructor. The internship can be designated as meeting requirements for a thematic area or regional area, based on the content of the internship. Permission: internship coordinator and SIS undergraduate studies office. アメリカン大学教員による指導に基づく特筆すべき学問的な側面を伴う就労経験によって、単位取得する。このインターンシップは、その内容に応じて、固有専門分野ないし、地域研(履修には)究分野の科目として取り扱われる。インターンシップコーディネーター及び学士課程事務室による許可が必要である。	
シニアキャップストーン科目	アメリカン大学	SISU-419 Senior Capstone: International Studies	Topics vary by section. Rotating senior capstone topics focusing on international studies. Grading: A-F only. この科目は、シニアキャップストーンプロジェクトを完成させるため、教員の指導のもと、それぞれのトピックについて取り扱う。	
選択科目	アメリカン大学	Independent Study	This course allows students to explore a topic of international relations of particular interest to the student and acts as preparation for completing the capstone requirement. この科目は、学生が、国際関係学分野に関係する学生の固有の関心(課題)及び、キャップストーン要件を満たす準備作業等について(指導を伴って)取り組むものである。	

(注)

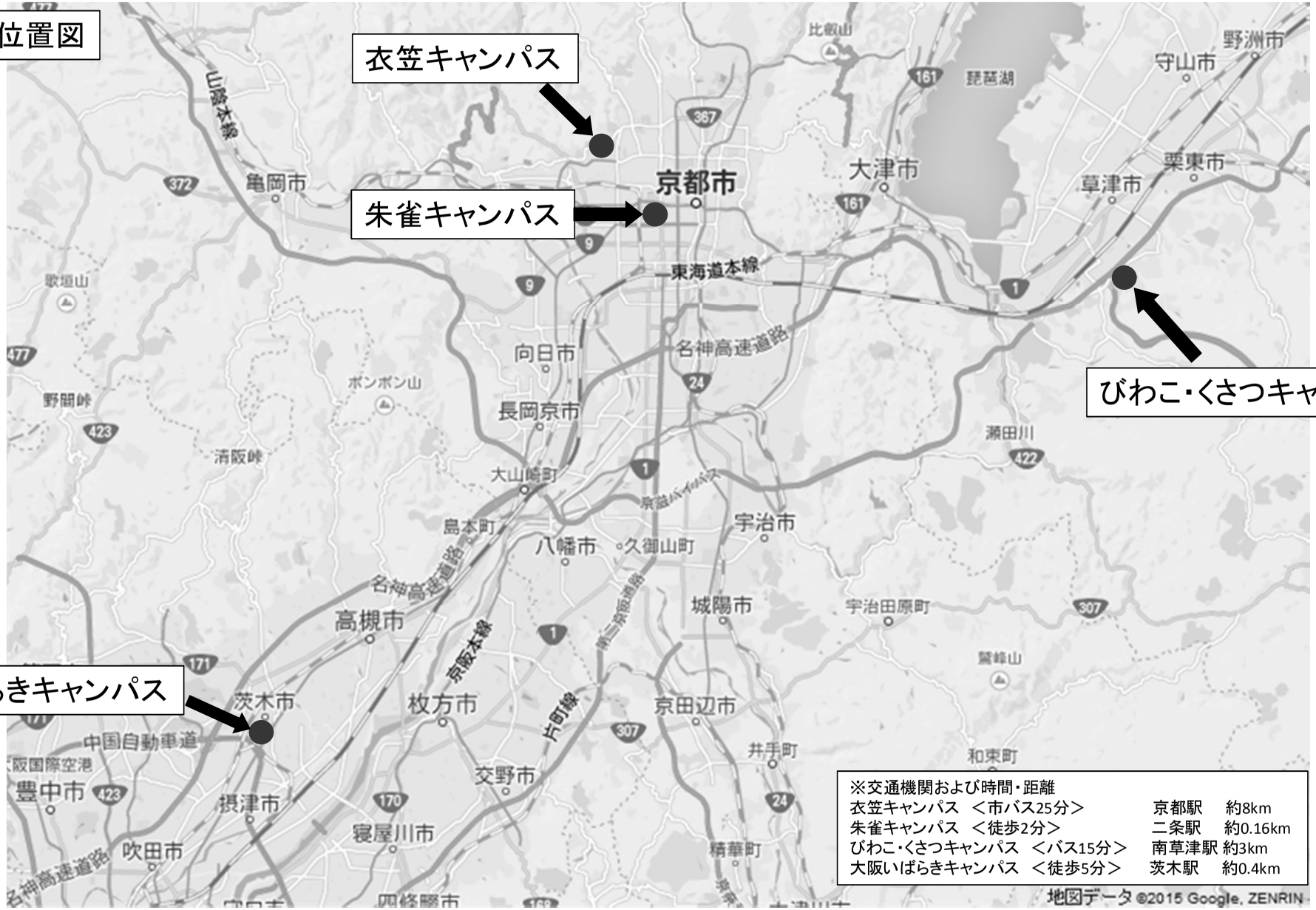
1 国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第２号（その３の１）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合に，単位を修得したとする大学の書類に含めること。

2 開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

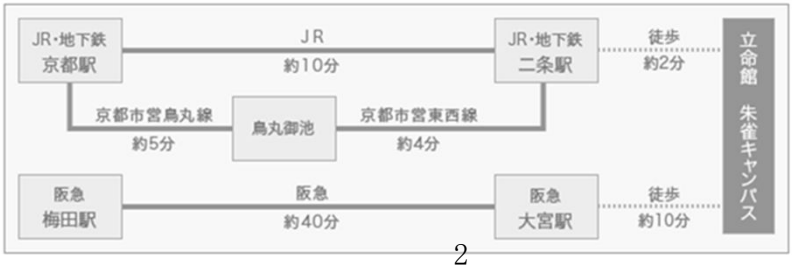
3 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

都道府県内における位置関係の図面

キャンパス位置図



衣笠キャンパス、朱雀キャンパス 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



Ⅰ．　１．書類等の題名

「校地校舎等の図面」　１ページ

都道府県における位置関係の図面

２．引用元

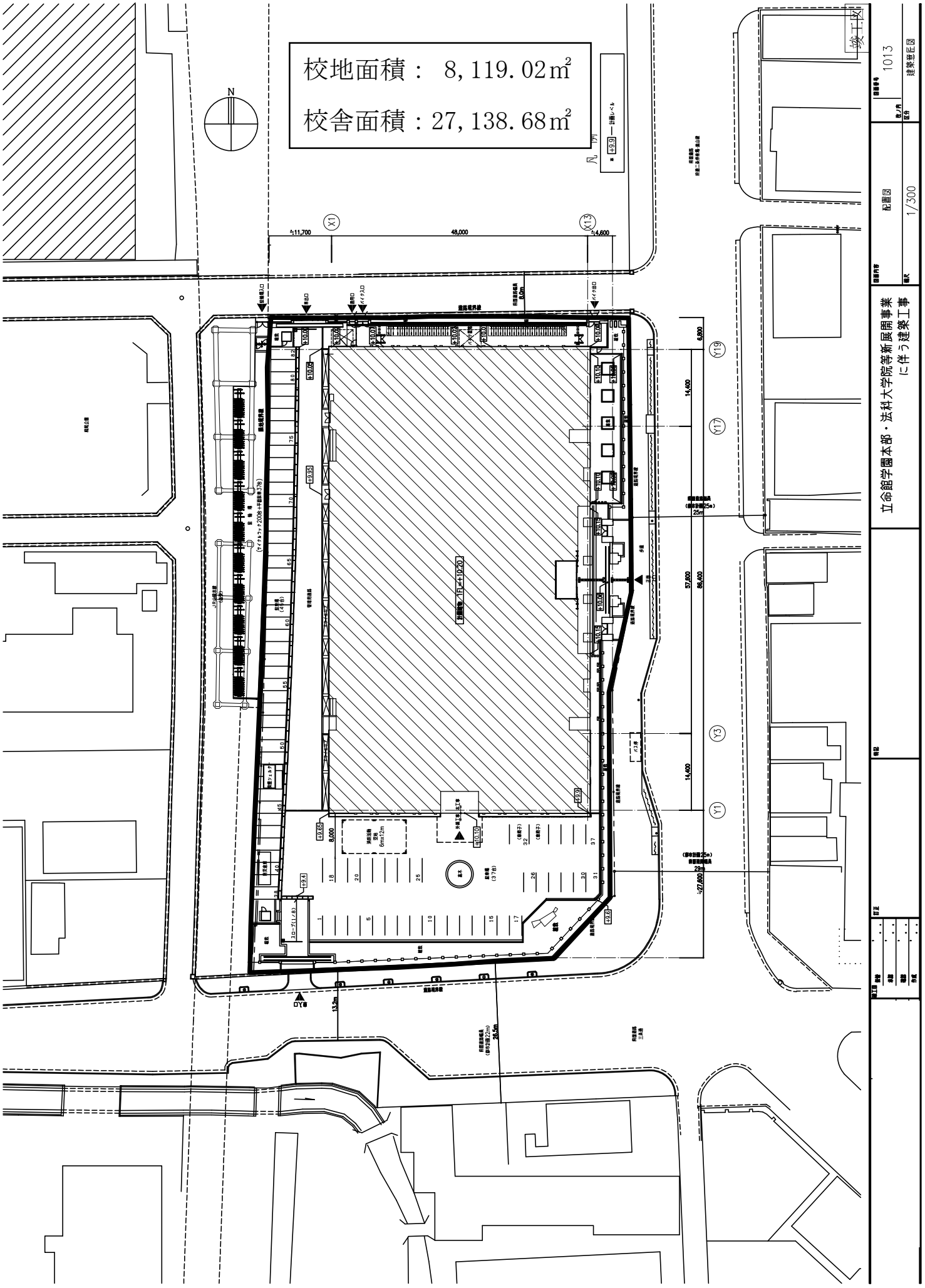
Google マップ

https://maps.google.co.jp/

３．説明

地図中の立命館大学朱雀キャンパス、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパスの位置を印し、注釈を付けた。

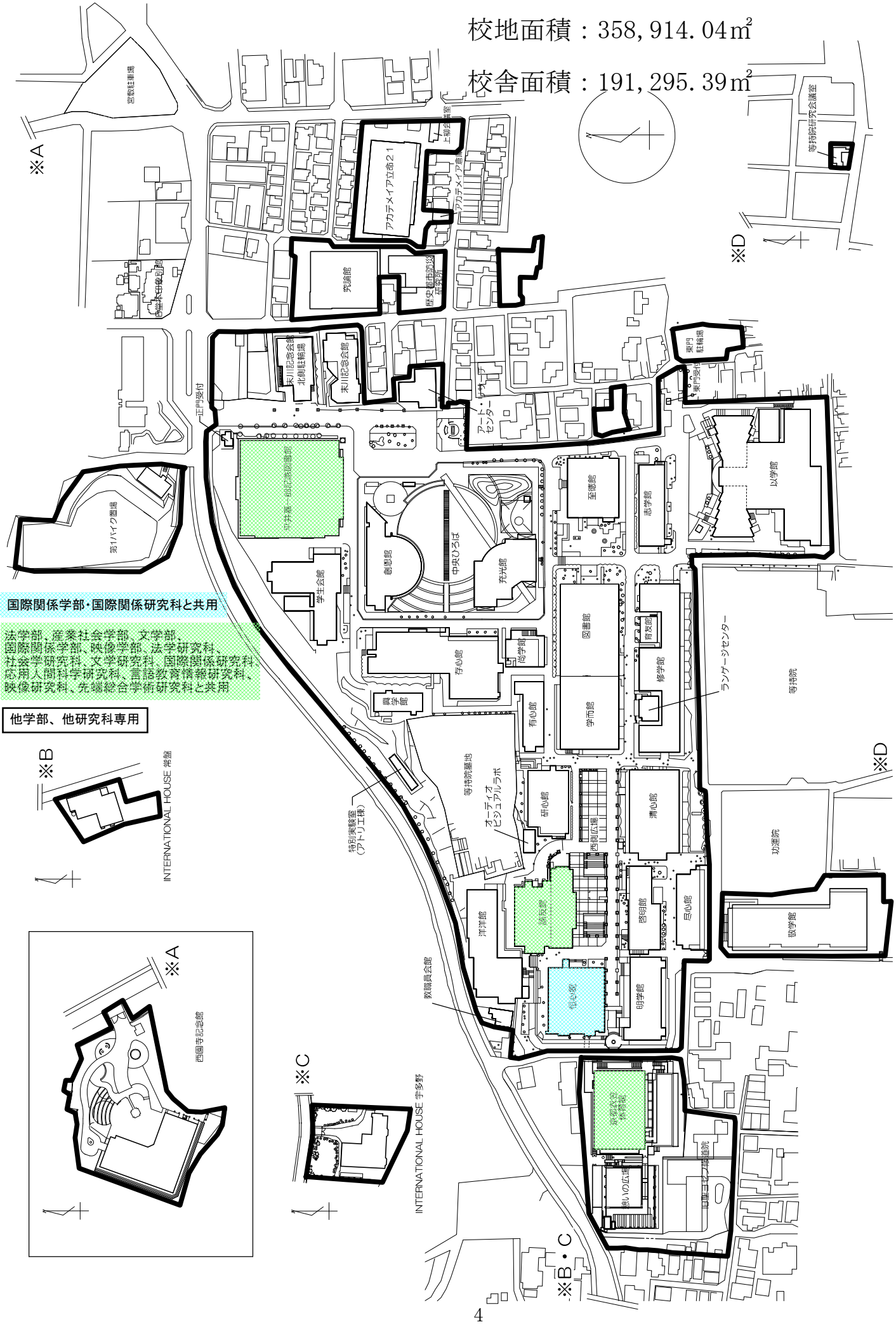
校舎、運動場等の配置図　　【朱雀キャンパス】



校舎、運動場等の配置図　【衣笠キャンパス】

校地面積：358,914.04㎡

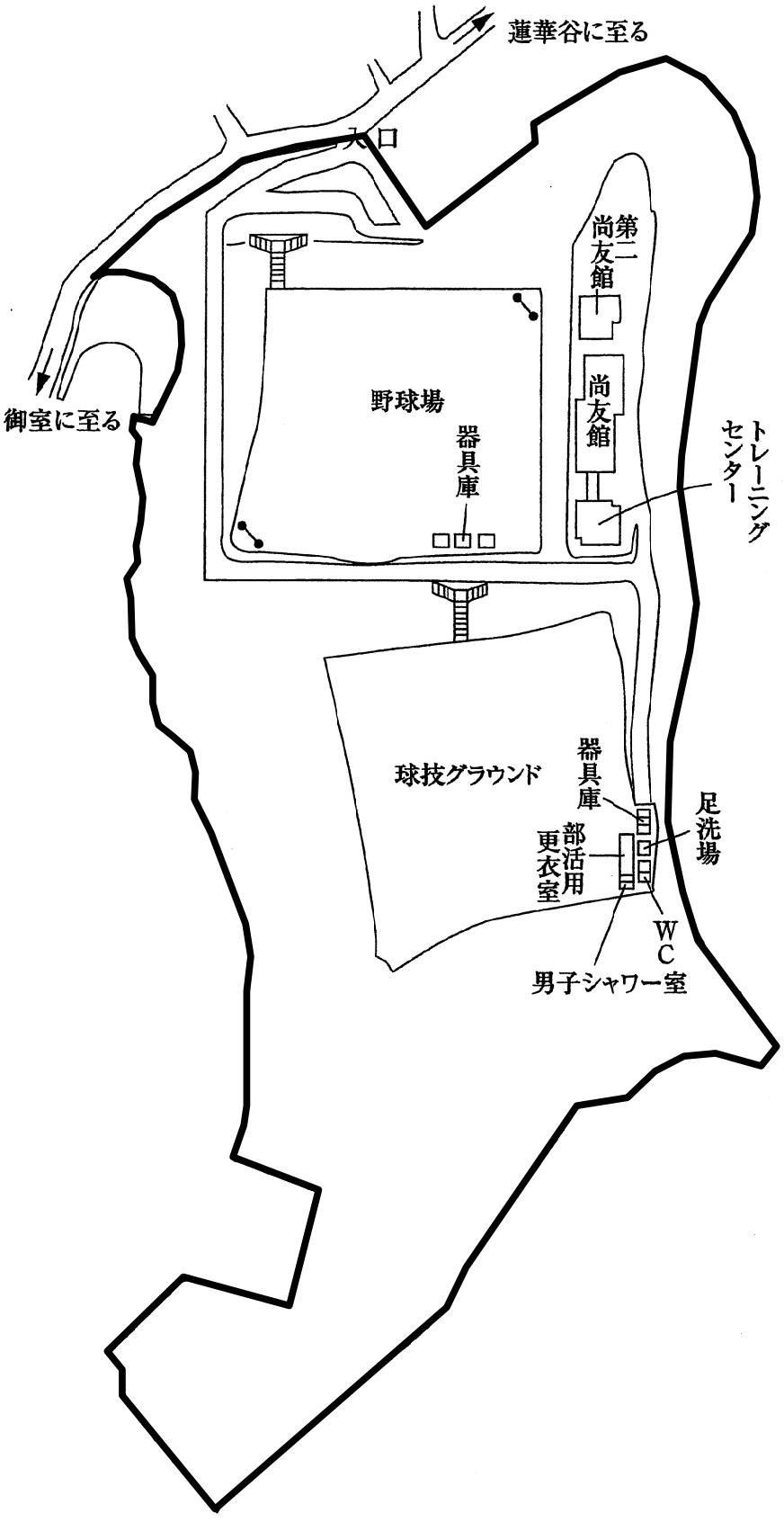
校舎面積：191,295.39㎡



TITLE	NAME	SCALE	DATE	NO.
衣笠キャンパス全体図		1:2000	2015.12.25	

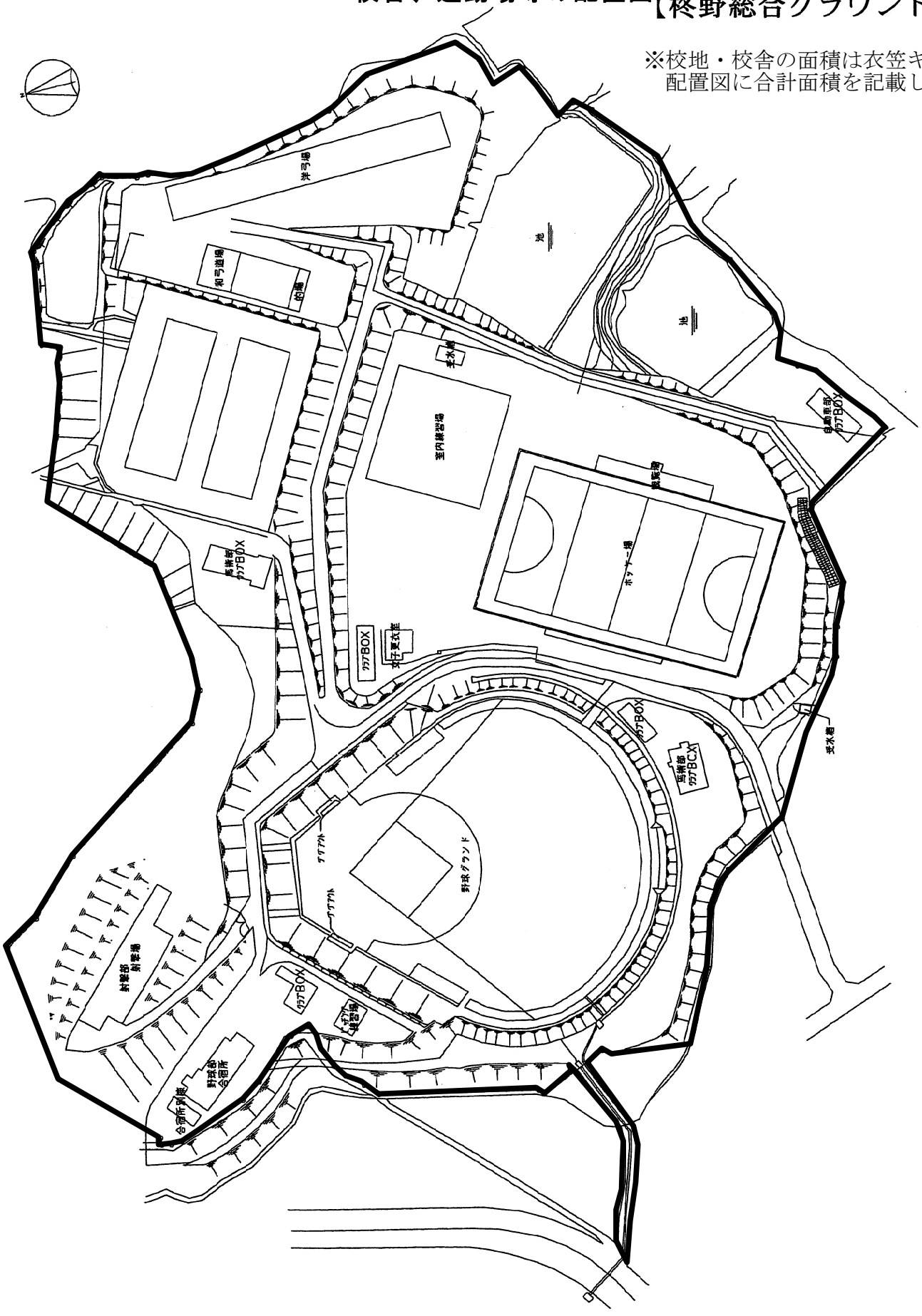
校舎、運動場等の配置図　【原谷グラウンド】

※校地・校舎の面積は衣笠キャンパスの
配置図に合計面積を記載している



校舎、運動場等の配置図【柊野総合グラウンド】

※校地・校舎の面積は衣笠キャンパスの配置図に合計面積を記載している

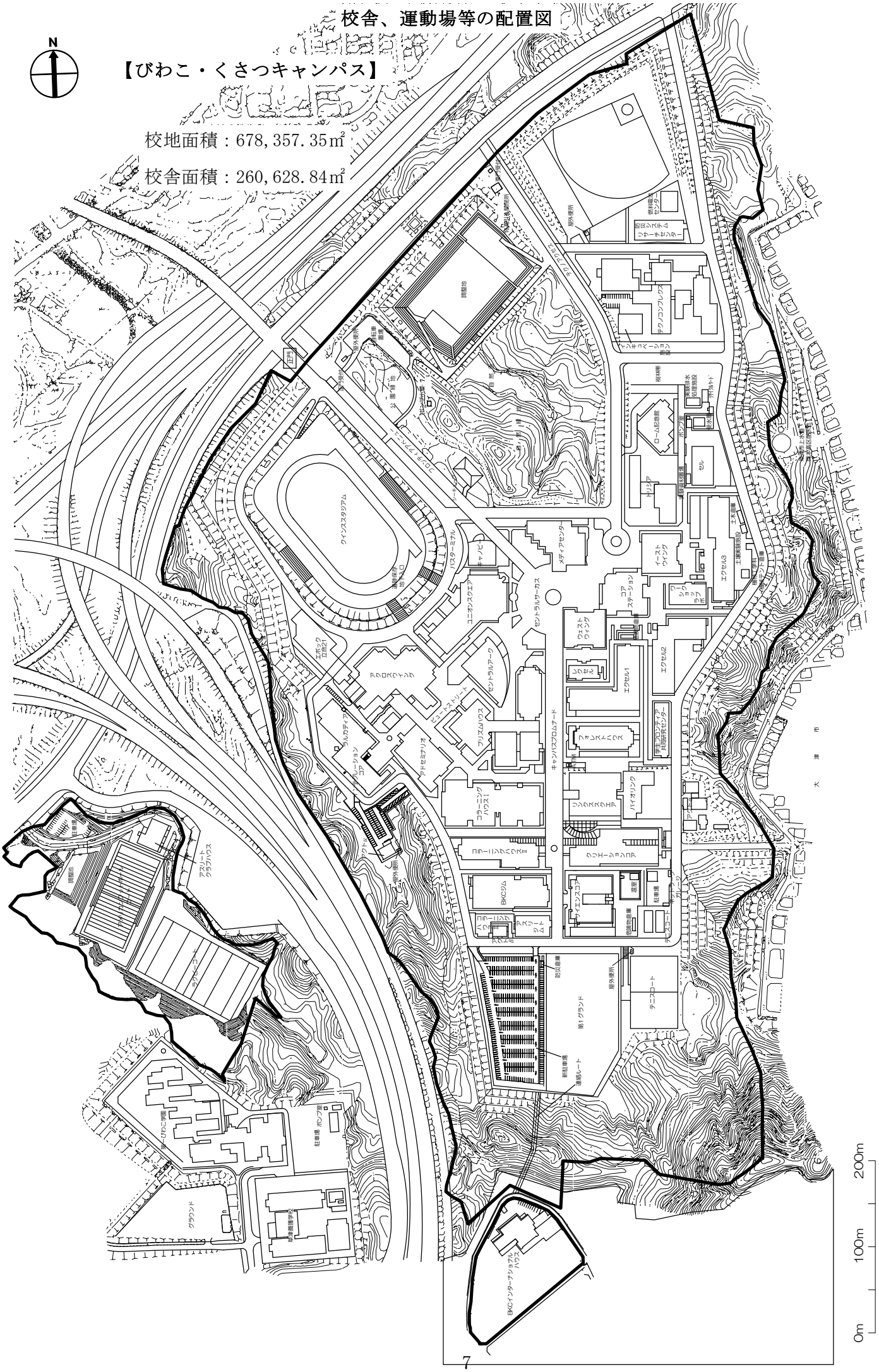


校舎、運動場等の配置図

【びわこ・くさつキャンパス】

校地面積：678,357.35㎡

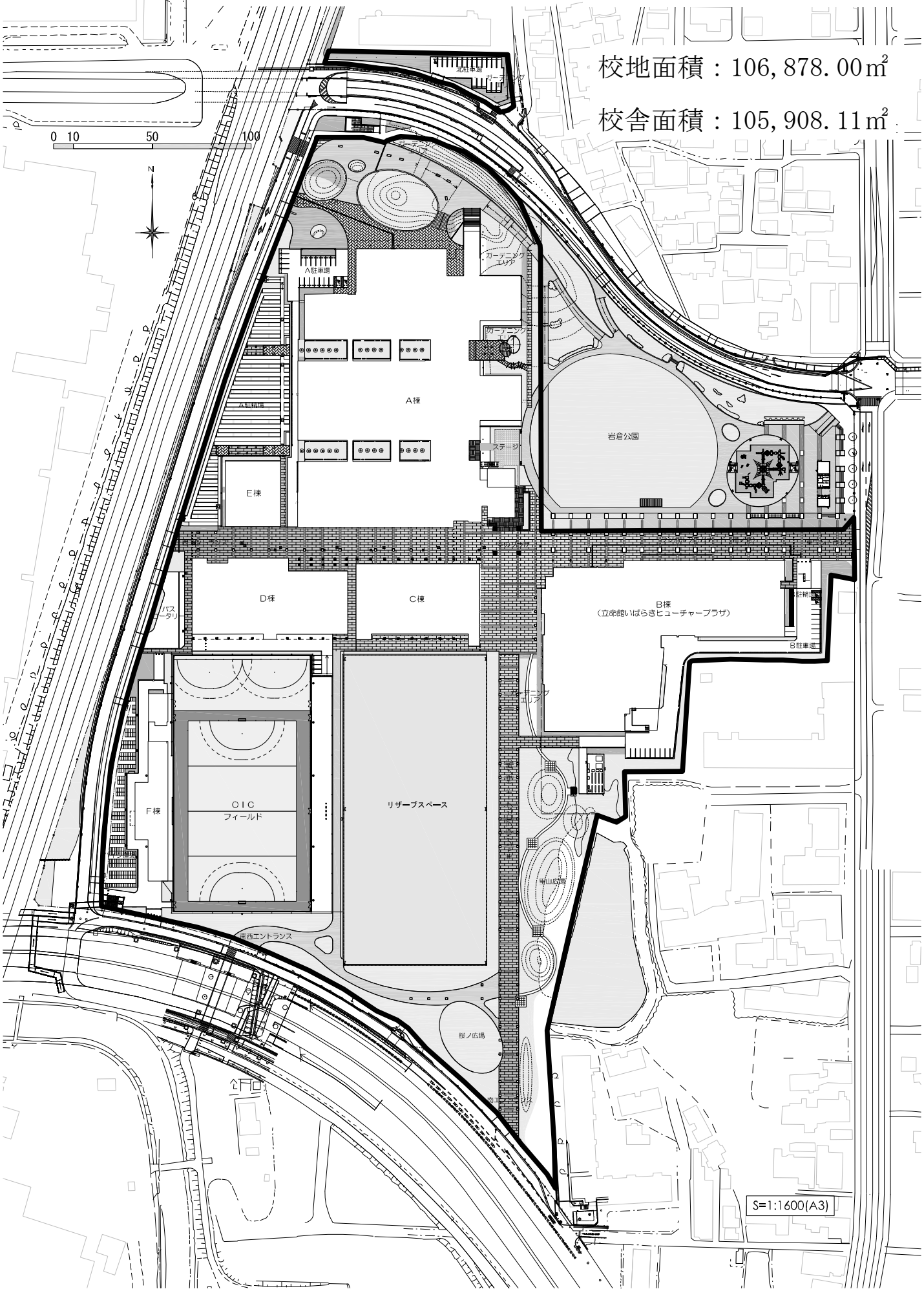
校舎面積：260,628.84㎡



校舎、運動場等の配置図　【大阪いばらきキャンパス】

校地面積：106,878.00㎡

校舎面積：105,908.11㎡



Vicinity Map

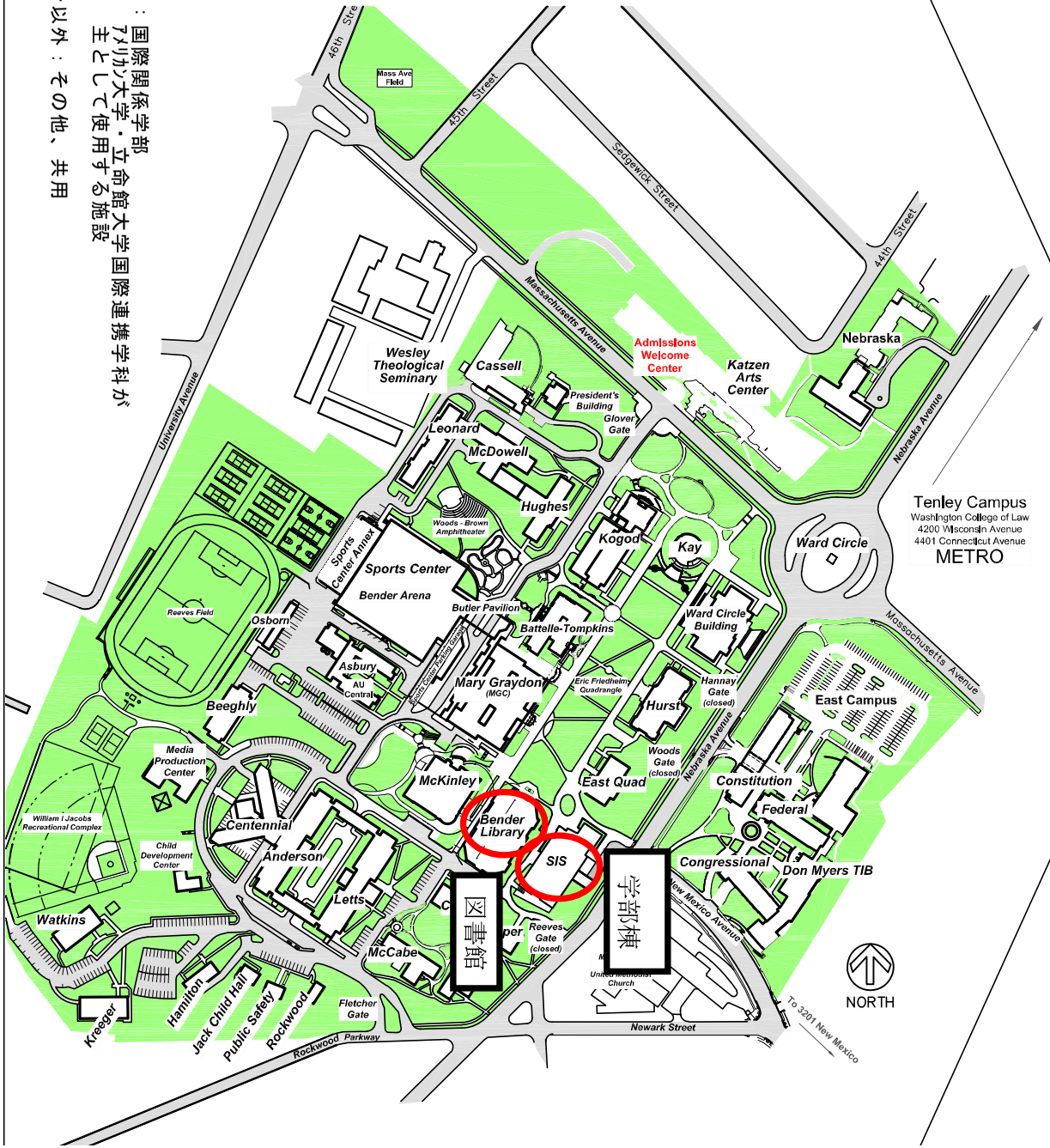
AMERICAN UNIVERSITY
WASHINGTON, DC

Office of Planning &
Project Management
Rev. August 2016

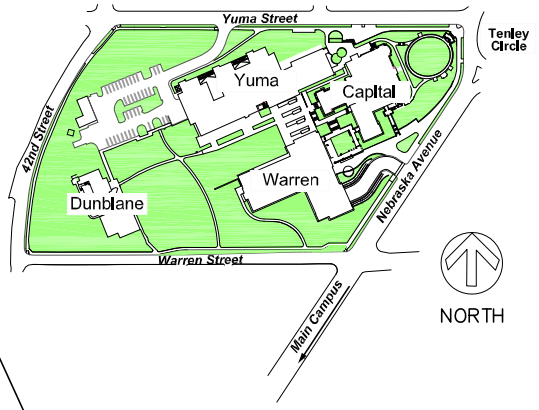
○部分：国際関係学部
アメリカン大学・立命館大学国際連携学科が
主として使用する施設

○部分以外：その他、共用

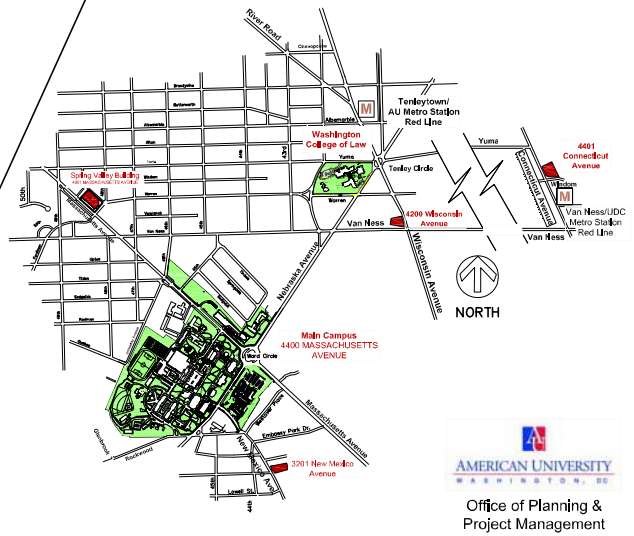
Main Campus



Washington College of Law Tenley Campus



Vicinity Map



AMERICAN UNIVERSITY
WASHINGTON, DC

Office of Planning &
Project Management

立　命　館　大　学　学　則
変　更　案

〔平成３０（２０１８）年４月１日施行〕

平成２９（２０１７）年３月
（平成２９（２０１７）年１月２７日理事会決定）

学 校 法 人 立　命　館

立命館大学学則

昭和26年２月23日

規程第17号

第１章　総則

第１節　目的

（目的）

第１条　本大学は、建学の精神と教学理念にもとづき、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努め、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献することを目的とする。

２　各学部の教育研究上の目的は、各学部則で定める。

（自己点検・評価等）

第２条　本大学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、本大学における教育研究活動等の状況を把握し、適切な事項について必要な体制をとり、教育研究の改善に努める。

（情報公開）

第３条　本大学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に公開する。

第２節　教育組織

（学部および学科等）

第４条　本大学に、次の学部、学科および専攻を置く。

法学部

　法学科

経済学部

　経済学科

経営学部

　経営学科

　国際経営学科

産業社会学部

　現代社会学科

　　現代社会専攻

　　メディア社会専攻

スポーツ社会専攻

人間福祉専攻

子ども社会専攻

文学部

人文学科

理工学部

数理科学科

物理科学科

電気電子工学科

電子情報工学科

機械工学科

ロボティクス学科

環境都市工学科

建築都市デザイン学科

国際関係学部

国際関係学科

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科

政策科学部

政策科学科

情報理工学部

情報理工学科

映像学部

映像学科

薬学部

薬学科

創薬科学科

生命科学部

応用化学科

生物工学科

生命情報学科

生命医科学科

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

総合心理学部

総合心理学科

２　前項に規定する国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は、大学設置基準第50条に定める国際連携学科とする。

（入学定員および収容定員）

第５条　本大学の入学定員、編入学定員および収容定員は、次表のとおりとする。

学部	学科		入学定員	3年次編入学定員	収容定員
法学部	法学科		790		3,160
経済学部	経済学科		795		3,180
経営学部	経営学科		675		2,700
	国際経営学科		150		600
	計		825		3,300
産業社会学部	現代社会学科	現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻	840		3,360
		子ども社会専攻	60		240
		計	900		3,600
文学部	人文学科		980		3,920
理工学部	電気電子工学科		154	12	640
	機械工学科		173	10	712
	環境都市工学科		166	4	672
	ロボティクス学科		90	6	372
	数理科学科		97		388

	物理科学科	86	2	348
	電子情報工学科	102	8	424
	建築都市デザイン学科	91	4	372
	計	959	46	3,928
国際関係学部	国際関係学科	335	0	1,340
	アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	25		100
	計	360		1,440
政策科学部	政策科学科	410		1,640
情報理工学部	情報理工学科	475	40	1,980
映像学部	映像学科	160		640
薬学部	薬学科	100		600
	創薬科学科	60		240
	計	160		840
生命科学部	応用化学科	111		444
	生物工学科	86		344
	生命情報学科	64		256
	生命医科学科	64		256
	計	325		1,300
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	235		940
総合心理学部	総合心理学科	280		1,120
合計		7,654	86	30,988

（大学院）

第６条　本大学に、大学院を置く。

２　大学院に関する事項は、この学則に定める他、立命館大学大学院学則に定める。

第７条　削除

（附属施設および機関）

第８条　本大学に、研究所、図書館、共通教育推進機構、教育開発推進機構、言語教育推進機構、国際教育推進機構、教職教育推進機構、保健センター、心理・教育相談センターそ

の他の附属施設および機関を置く。

２　各附属施設および機関に関する事項は、各規程に定める。

第３節　教職員組織

（役職）

第９条　本大学に、学長、副学長および学長補佐を置く。

２　各学部に、学部長、副学部長および学生主事を置く。

３　各研究科に、研究科長を置く。

４　学部および研究科は、必要に応じて、前２項以外の役職者を置くことができる。

（教職員）

第10条　本大学に、教授、准教授、講師、助教およびその他の職員を置く。

２　教職員に関する事項は、別に定める。

（学長）

第11条　学長は、学校法人立命館総長がこれを兼ねる。

２　学長は、本大学を代表し、教育研究に関する事項を統括する。

（副学長）

第11条の２　副学長は、複数名とし、１人は学長に事故あるとき、または学長が欠けたときに、その職務を代行する。

２　副学長は、学長が任命する。

３　副学長の任期は、3年とする。

（学長補佐）

第11条の３　学長補佐は、必要に応じキャンパスに置く。

２　学長補佐は、当該キャンパスを代表する対外業務および地域連携に関する職務を分掌する。

３　学長補佐は、学長が任命する。

第４節　教授会および大学協議会等

（教授会）

第12条　本大学の各学部に、教授会を置く。

２　教授会は、当該の学部に属する次の各号に掲げる者で構成する。

(1)　教授

(2)　准教授

(3)　専任講師

3　教授会は、必要に応じて、前項にかかげる以外の教職員を出席させることができる。

4　教授会は、学部長が必要と認めたとき、または構成員の３分の１以上の要求があったとき、学部長がこれを招集してその議長となる。学部長に支障があるときは、その指名により他の教授がこれを代行する。

5　学長は、必要と認めたとき、教授会の招集を要請し、または教授会に出席して発言することができる。

6　教授会は、次の事項を審議し、学長に対して意見を述べる。

(1)　学部の学科および専攻の新設、増設、廃止、変更に関する事項

(2)　学則および学部諸規程の制定、改廃に関する事項

(3)　教員の人事に関する事項

(4)　学科課程、授業および学力考査に関する事項

(5)　学生の入学、卒業および学位の授与に関する事項

(6)　学生の補導に関する事項

(7)　学生の定数に関する事項

(8)　学校法人および大学の諸規程において、教授会の議を経ることを要すると定められた事項

7　教授会は、前項に規定するもののほか、学長および学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、学長および学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

8　学部長は、教授会の議決を執行し、学部を代表する。

9　この学則に定めるものの他、教授会の組織、運営等に関する事項は、各学部の教授会規程に定める。

（大学協議会）

第13条　本大学に、大学協議会（以下本条において「協議会」という。）を置く。

2　協議会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

(1)　学長

(2)　副学長

(3)　各学部長

(4)　各学部教授会から選出された１人

(5)　独立研究科の各研究科長

3　協議会は、学長がこれを招集してその議長となる。

4　協議会は、次の事項について協議する。

(1)　教学の基本方針に関する事項

(2)　大学の機構、組織および制度に関する事項

(3)　教員の人事に関する事項

(4)　教学、教務に関する事項

(5)　本大学と学校法人立命館が設置するその他の学校との関係に関する事項

(6)　その他、教学上の重要な事項

5　協議会は、教学、教務、補導、就職等に関する他の諸機関の審議、決定事項について、当該機関から報告を受け、またはこれに承認を与える。

6　この学則に定めるものの他、協議会の運営等に関する事項は、大学協議会規程に定める。

（教学委員会）

第13条の２　本大学に、教学委員会を置く。

２　教学委員会の組織および運営に関する事項は、立命館大学教学委員会規程に定める。

（補導会議）

第14条　本大学に、補導会議を置く。

２　補導会議は、学生の補導厚生に関する基本方針を協議決定する。

３　補導会議の組織および運営に関する事項は、立命館大学補導会議規程に定める。

第５節　学年、学期および休業日

（学年および学期）

第15条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

２　学年をふたつの学期に分け、前期および後期とする。

(1)　前期学期　４月１日から９月25日まで

(2)　後期学期　９月26日から３月31日まで

（休業日）

第16条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は、次のとおりとする。

(1)　日曜日および土曜日

(2)　国民の祝日に関する法律に定める日のうち学長が定める日

(3)　創立記念日

(4)　夏期休暇

(5)　冬期休暇

(6)　春期休暇

２　各年度の休業日については、大学協議会の議を経て、学年のはじめまでに学長が定める。

３　学長が必要と認めたときは、大学協議会の議を経て、前２項の休業日を臨時に変更し、または臨時の休業日を定めることができる。

第２章　学部通則

第１節　修業年限および在学年限

（修業年限）

第17条　修業年限は、４年とする。ただし、薬学部薬学科にあっては、６年とする。

（在学年限）

第18条　在学年限は、８年とする。ただし、薬学部薬学科にあっては、12年とする。

（長期にわたる教育課程の履修）

第19条　第17条にかかわらず、社会人を対象とした入学制度により１年次に入学した学生が、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを申し出たときは、教授会の議を経て、学部長が在学年限を上限としてその計画的な履修を許可することがある。

第２節　入学

（入学の時期）

第20条　本大学の入学時期は、毎年４月とする。ただし、教授会の議を経て、学長が９月に入学を認めることがある。

（入学の資格）

第21条　本大学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する資格を有する者でなければならない。

(1)　高等学校または中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5)　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6)　文部科学大臣の指定した者

(7)　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8)　本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学の出願）

第22条　入学を志願する者は、所定の期日までに、入学願書に第62条の２に定める入学検定料および立命館大学入学の出願および入学手続に関する規程（以下「入学の出願等に関する規程」という。）に定める書類を添えて願い出なければならない。

２　前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、入学検定料を徴収しない。

(1)　大使館推薦または大学推薦による国費外国人留学生の場合

(2)　「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択大学を対象とする国費外国人留学生の場合

(3)　大学その他の団体との間で協定等により不徴収について合意している場合

３　入学志願に関する事項は、入学の出願等に関する規程に定める。

（入学者の選考）

第23条　入学志願者は、別に定める方法により選考し、教授会の議を経て、学部長が合格者を決定する。

２　学部長は、前項の合格者に合格の通知を行う。

３　入学志願者の選考に関し必要な事項は、毎年度の立命館大学入学試験要項に定める。

（入学手続および入学許可）

第24条　前条第２項の合格の通知を受けた者は、入学の出願等に関する規程に定めるところにより、所定の期日までに入学手続書類を提出するとともに、所定の納付金を納めなければならない。

２　学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

（編入学の資格）

第25条　本大学に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する資格を有する者でなければならない。

(1)　短期大学（外国の短期大学、我が国における、外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む。）を卒業した者

(2)　高等専門学校を卒業した者

(3)　専修学校の専門課程（修業年限が２年以上、総授業時数が1,700時間以上であるもの

に限る。）を修了した者

（転入学の資格）

第26条　本大学に転入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する資格を有する者でなければならない。

(1)　２年次

大学（外国の大学を含む。）に１年以上在学し、30単位以上修得した者

(2)　３年次

大学（外国の大学を含む。）に２年以上在学し、60単位以上修得した者

（学士入学の資格）

第27条　本大学に学士入学することのできる者は、学士の学位を有する者でなければならない。

２　本大学の卒業生が卒業学部の他学科等へ入学を志願するときは、教授会の議を経て、学部長がこれを許可することがある。

（再入学の資格）

第28条　本大学に再入学することのできる者は、本大学を退学または除籍となった者で、退学または除籍となった学期の最終日の翌日から起算して２年以内のものとする。ただし、第18条に規定する在学年限を超えて除籍となった者および第57条第１項により退学処分となった者は、再入学することはできない。

（編入学、転入学、学士入学、再入学の在学年数）

第29条　編入学、転入学、学士入学および再入学を許可された者の入学年次および在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が決定する。

（編入学等の出願、入学者選考、入学手続および入学許可）

第30条　編入学、転入学、学士入学および再入学の場合には、第20条および第22条から第24条までの規定を準用する。

２　前項の規定にかかわらず、再入学の検定料は徴収しない。

第３節　教育課程および履修方法等

（教育課程の編成方針）

第31条　本大学は、学部および学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

２　教育課程の編成にあたっては、各学部および学科に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう配慮する。

（資格課程）

第31条の２　教育職員免許状を得るための資格、学芸員、図書館司書または学校図書館司書教諭他の資格を得ようとする者のために、特に指定する資格課程を置く。

（授業科目）

第32条　授業科目は、各学部則に定める科目区分に分類して配置する。

２　授業科目は、必修科目、選択科目および自由科目に分け、各年次に配当して編成する。

（授業科目の担当者の決定）

第32条の２　授業科目の担当者は、科目適合性を配慮し、教授会の議を経て学部長が決定する。

（授業の方法）

第33条　授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。

２　教授会が必要と認めた場合には、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

３　前項の授業方法により修得する単位数は60単位を超えてはならない。

４　教授会が必要と認めた場合には、文部科学大臣が別に定めるところにより、第１項の授業の一部を、校舎および附属施設以外の場所（外国を含む）で行うことができる。

（単位計算方法）

第34条　各授業科目の単位数は、１単位あたり45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果および授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1)　講義および演習については、教授会の定めるところにより毎週１時間から２時間までの範囲で、15週の授業をもって１単位とする。

(2)　実験、実習および実技については、教授会の定めるところにより毎週２時間から３時間までの範囲で、15週の授業をもって１単位とする。

(3)　１の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち２以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じて、前２号に規定する基準を考慮して、教授会の定める時間の授業をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、当該教授会が単位数を定めることができる。

（各授業科目の授業期間）

第35条　各授業科目の授業は、学期毎に15週にわたる期間を単位として行う。ただし、教授会が必要と認めた場合には、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

（成績）

第35条の２　授業科目の成績評価は、A＋、A、B、C、PまたはFで行い、A＋、A、B、CおよびPを合格、Fを不合格とする。

２　前項の成績評価は、A＋は100点法では90点以上、Aは同80点台、Bは同70点台、Cは同60点台およびFは同60点未満とし、Pは特定科目における合格とする。

３　前２項は、他学部の授業科目を履修した場合および入学する前に本大学の科目等履修生制度により授業科目を修得した単位を認定する場合についても適用する。

４　第１項および第３項にかかわらず、他大学等において修得した単位を認定する場合は、N（認定）とする。

（単位の授与）

第36条　授業科目を履修し、授業科目毎に実施する試験に合格した者には、所定の単位を与える。

２　授与または認定した単位の取消しは、行わない。ただし、教学委員会の議を経て教授会で承認した場合は、この限りでない。

（登録上限単位数）

第36条の２　学生が１年間または１学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、各学部則で定める。

（自由科目）

第36条の３　自由科目の単位数は、卒業に必要な単位数に算入しない。

（他学部の授業科目の履修等）

第36条の４　教授会が教育上有益と認めるときは、学生に本大学の他学部の授業科目を履修させることができる。

（他大学等における授業科目の履修等）

第37条　教授会が教育上有益と認めるときは、他の大学または短期大学との協議にもとづき、学生に当該他大学等の授業科目を履修させることができる。

２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位については、60単位を超えない範囲で本大学における卒業に必要な単位として認めることができる。

3　前２項の規定は、学生が、外国の大学または短期大学に留学する場合について準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）

第38条　教授会が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2　前項により与えることができる単位数は、前条第１項および第２項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えてはならない。

（入学前の既修得単位等の認定）

第39条　教授会が教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学または短期大学（いずれも外国の大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生制度により修得した単位を含む。）を、本大学に入学した後における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　教授会が教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3　前２項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転入学、学士入学および再入学の場合を除き、30単位を上限とし、第37条第１項および第２項ならびに前条第１項の規定により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えてはならない。

（単位認定等の権限）

第40条　第36条および第36条の４から第39条にもとづく単位授与または単位認定は、教授会の議を経て学部長が決定する。

（編入学、転入学および学士入学の単位認定）

第41条　編入学者、転入学者または学士入学者にあっては、第39条の規定により、入学以前の大学等において修得した単位のうち、２年次入学者にあっては30単位、３年次入学者にあっては62単位を超えない範囲で、本大学において履修し、修得したものとみなすことができる。ただし、理工学部および情報理工学部の２年次入学者にあっては34単位、３年次入学者にあっては70単位、理工学部の外国の大学との特別プログラムにおいて大学教育の学部２年次課程を修了し３年次に転入学した者にあっては92単位を上限とすることができる。

2　教授会が認めたときは、編入学、転入学または学士入学以前の大学等において修得した教職および教科に関する科目、学芸員に関する科目ならびに社会福祉士指定科目の単位を

本大学において履修し、修得したものとみなすことができる。この場合、卒業に必要な単位として算入されない科目については前項に規定する上限を超えて単位を認定することができる。

（転籍の単位認定）

第42条　転籍者にあっては、前条の規定を準用する。ただし、同一の学部内の転籍者については、前条第１項に規定する上限を超えて単位を与えることができる。

第43条　削除

第44条　削除

（学部則）

第45条　この節に定めるものの他、授業科目の種類および単位数、履修方法、卒業に必要な単位数ならびに単位認定等については、各学部則に定める。

第４節　休学、復学、転学、転籍、留学、国内交流派遣、退学および除籍

（休学）

第46条　病気その他やむを得ない理由により継続して２か月以上就学することができない者は、休学を願い出ることができる。

２　休学を願い出た者に対して、学長が休学を許可することがある。

３　学長は、病気のため就学することが適当でないと認められる者に対して、休学を命ずることができる。

４　休学期間は、継続して２年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、１年を限度として、その期間を延長して許可することがある。

５　休学期間は、通算して３年を超えることができない。

６　前項にかかわらず、第１項の願い出の理由が、学長が決定した緊急災害による場合は、休学期間は前項の通算３年に含めない。

７　休学期間は、在学期間に算入しない。

（復学）

第47条　休学している者が復学を願い出たときは、学長が復学を許可することがある。

（他大学への転学）

第48条　本大学の学生が他の大学に転学を志願する場合は、学長がこれを許可することがある。

（転籍）

第49条　本大学の学生で、第５条に定める他の学部、学科または専攻等に転籍を志願する

者については、選考のうえ、転籍元の教授会および転籍先の教授会の議を経て、２年次または３年次の学年始めの転籍を学長が許可することがある。

２　転籍は、年次を下げてこれを許可しない。

３　前項にかかわらず、理工学部、情報理工学部、薬学部および生命科学部の３年次へ転籍を志願する者については、単位修得状況により２年次への転籍を許可することがある。

（留学）

第50条　留学とは、外国の大学、短期大学およびそれらに相当する高等教育機関で、協定または合意にもとづき、１学期相当以上にわたり正規の授業科目を履修することをいう。

２　留学を志願する者に対して、教育上有益と認めるときは、学長が留学を許可することがある。

３　留学期間は、在学期間に算入する。

（国内交流派遣）

第51条　国内交流派遣とは、国内の大学および短期大学との協定にもとづき、１学期相当以上にわたり当該大学等の正規の授業科目を履修するために派遣することをいう。

２　国内交流派遣を志願する者に対して、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学部長が国内交流派遣を許可することがある。

３　国内交流派遣期間は、在学期間に算入する。

（退学）

第52条　退学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

（除籍）

第53条　次の各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

(1)　授業料、在籍料または特別在学料を納めない者

(2)　第18条に規定する在学年限を超えた者

(3)　第46条第５項に規定する休学期間を超えてなお復学しない者

(4)　休学期間終了日までに所定の手続をとらなかった者

(5)　薬学部薬学科に在学する者で、同一年次において、再度進級条件を満たさなかったもの

(6)　死亡した者

（手続き）

第53条の２　この節に定めるものの他、休学、復学、転籍、留学、国内交流派遣、退学および除籍に関する手続きは、立命館大学学籍に関する規程に定める。

第５節　卒業および学位

（卒業の認定）

第54条　第17条に規定する修業年限以上在学し、学部則に定める卒業に必要な単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

２　薬学部薬学科を除き本大学に３年以上在学したものが、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと教授会が認める場合には、前項の規定にかかわらず、学長が卒業を認定することができる。

（学位）

第55条　学位および学位の授与に関する事項については、立命館大学学位規程による。

第６節　賞罰

（表彰）

第56条　学生として表彰に価する行為があった者は、学長が表彰することができる。

（懲戒）

第57条　本大学の規定に違反し、学生の本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

２　懲戒の種類は、退学、停学および戒告とする。

３　停学期間は、在学期間に算入し、修業年限に算入しない。ただし、停学期間が３か月以内の場合には、修業年限に算入することができる。

４　懲戒に関する事項は、立命館大学学生懲戒規程に定める。

第７節　科目等履修生、聴講生、特別聴講学生および外国人留学生

（科目等履修生）

第58条　本大学の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て、学部長が科目等履修生として許可することがある。

２　科目等履修生に関する事項は、立命館大学科目等履修生規程に定める。

（聴講生）

第59条　本大学の授業科目の聴講を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て、学部長が聴講生として許可することがある。

２　聴講生に関する事項は、立命館大学聴講生規程に定める。

（特別聴講学生）

第60条　他の大学または短期大学（外国の大学等を含む。）との協定等にもとづき、本大

学の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て、学部長が特別聴講学生として許可することがある。

２　特別聴講学生に関する事項は、立命館大学特別聴講学生規程に定める。

（外国人留学生）

第61条　大学教育を受ける目的をもって入国し、本大学に入学した外国人で正規課程に在籍するものを外国人留学生とする。

第８節　授業料等納付金および手数料

第62条　削除

（入学検定料）

第62条の２　入学検定料は、納付金等別表１のとおりとする。

（入学金）

第62条の３　入学する者は、納付金等別表２に定める入学金を納めなければならない。

（授業料）

第62条の４　学生は、在籍する学部、学科および専攻ならびに年次に応じて、前期授業料および後期授業料を学期毎に納めなければならない。ただし、９月に入学した者の授業料は、前期授業料を第15条第２項に定める後期学期の授業料とし、後期授業料を同前期学期の授業料とする。

２　前項の授業料は、納付金等別表３―１―１および、納付金等別表３―１―２のとおりとする。

３　前項にかかわらず、在学期間が修業年限を超える者において当該学期に成績評価する授業科目の受講登録単位数および第37条第２項にもとづき卒業に必要な単位として認定する単位数の合計が８単位以下である学期の授業料は、納付金等別表３―１―１および、納付金等別表３―１―２に定める授業料の２分の１とする。

４　前２項にかかわらず、第19条の規定により長期にわたる教育課程の履修を許可された者（以下「長期履修生」という。）の授業料は、納付金等別表３―２に定める１単位あたりの授業料に当該学期の受講登録単位数を乗じた額とする。

（実習費）

第62条の５　特定の科目または課程を履修する者は、立命館大学学費等の納付に関する規程に定める実習費を納めなければならない。

（在籍料）

第62条の６　休学中の者は、当該期間中（休学を開始した学期を含む。）は、授業料に代

えて納付金等別表４―１に定める在籍料を学期毎に納めなければならない。

（特別在学料）

第62条の７　他大学との協定にもとづく学位取得プログラムにおいて本大学から当該他大学に留学している者であって、当該他大学に対する学費の納付を要するものは、当該期間中は、授業料に代えて納付金等別表４―２に定める特別在学料を学期毎に納めなければならない。ただし、同プログラムにより本大学に入学または転入学した者については、この限りでない。

第63条　削除

（科目等履修料等）

第64条　科目等履修生に志願する者は、科目等履修生選考料を所定の期日までに納めなければならない。

２　科目等履修生に許可された者は、科目等履修生登録料を所定の期日までに納めなければならない。

３　前２項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、科目等履修生選考料および科目等履修生登録料を徴収しない。

(1)　本大学の大学院生が履修する場合（第31条の２に定める教育職員免許状を得るための資格課程の授業科目であって、所属する研究科において設置していない資格課程の授業科目を履修する場合を除く。）

(2)　Study in Kyoto Programを履修する場合

(3)　大学その他の団体との間で協定等により不徴収について合意している場合

４　科目等履修生は、納付金等別表５―１に定める科目等履修料を所定の期日までに納めなければならない。

５　前項にかかわらず、第３項第１号または同第３号に該当する場合は、科目等履修料を徴収しない。

（聴講料等）

第64条の２　聴講生に志望する者は、聴講生選考料を所定の期日までに納めなければならない。

２　聴講生は、納付金等別表５―２に定める聴講料を所定の期日までに納めなければならない。

３　前２項にかかわらず、大学その他の団体との間で協定等により合意している場合は、聴講生選考料および聴講料を徴収しない。

（手数料の金額等）

第64条の３　科目等履修生選考料、科目等履修生登録料および聴講生選考料の金額および納付に関する事項は、立命館大学手数料規程に定める。

（特別履修料）

第64条の４　特別聴講学生は、納付金等別表５―３に定める特別履修料を所定の期日までに納めなければならない。

２　前項にかかわらず、大学その他の団体との間で協定等により合意している場合は、特別履修料を徴収しない。

第65条　削除

（納付金等の減免）

第65条の２　第22条、第62条の３、第62条の４、第62条の６および第62条の７にかかわらず、入学検定料、入学金、授業料、在籍料および特別在学料の一部または全額を免除することがある。

２　前項については、非常災害時による修学困難者に対する立命館大学学費減免規程、立命館大学外国人留学生授業料減免規程および立命館大学災害救助法適用地域の受験生に対する入学検定料免除規程に定める。

（納付金等の納付）

第66条　入学検定料、入学金、授業料、実習費、在籍料、特別在学料、科目等履修料、聴講料および特別履修料の納付に関する事項は、立命館大学学費等の納付に関する規程に定める。

第67条　削除

（納付金等の返還）

第68条　既に納めた入学検定料、入学金、授業料、実習費、在籍料、特別在学料、科目等履修料、聴講料および特別履修料は、返還しない。

２　前項にかかわらず、次の期日までに入学辞退を願い出た場合は、既に納めた授業料に限り返還する。

(1)　４月入学予定者　入学予定の前年度３月31日まで

(2)　９月入学予定者　入学予定の当年度９月25日まで

３　第１項にかかわらず、９月25日までに退学または除籍となった場合は、当年度の後期学期以降の授業料に相当する既納額を、３月31日までに退学または除籍となった場合は、次年度の前期学期以降の授業料に相当する既納額を返還する。

４　第１項にかかわらず、長期履修生、科目等履修生または聴講生が前期学期に後期学期分を含む授業料、科目等履修料または聴講料を納め、後期学期の受講登録において後期学期の受講科目を取り消した場合は、取り消した科目数に相当する既納額を返還する。

第68条の２　削除

第９節　奨学制度および学費貸与制度

（奨学制度）

第69条　本大学に、奨学制度および学費貸与制度を設ける。

２　奨学制度および学費貸与制度に関する事項は、各規程に定める。

第１０節　国際連携学科

（国際連携学科について定める事項）

第69条の２　第45条に定めるもののほか、第４条第１項のアメリカン大学・立命館大学国際連携学科に係る次の各号に掲げる事項については、第15条、第16条、第20条、第22条、第23条、第35条の２、第46条、第53条、第57条、第62条の２、第62条の３、第62条の４、第62条の６、第65条の２、第66条および第68条にかかわらず、別に定める。

(1)　学年および学期

(2)　休業日

(3)　入学の時期

(4)　入学の出願

(5)　入学者の選考

(6)　成績

(7)　休学

(8)　除籍

(9)　懲戒

(10)　入学検定料

(11)　入学金

(12)　授業料

(13)　在籍料

(14)　納付金等の減免

(15)　納付金等の納付

(16)　納付金等の返還

(17)　その他国際連携学科に関する事項

第３章　公開講座

（公開講座）

第70条　本大学の教育研究を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

第４章　国際寮

（国際寮）

第70条の２　本大学に、国際寮を置く。

２　国際寮に関する事項は、各施設の規程に定める。

第５章　改廃および細則

（変更）

第71条　この学則の変更は、教授会、大学協議会および常任理事会の議を経て、理事会が決定する。ただし、一部の学部または研究科のみに関する変更については、他の学部および研究科の教授会の議を経ることを要しない。

（細則）

第72条　この学則の施行に関する細則その他必要な事項は、別にこれを定める。

附　則

本学則は、昭和23年４月１日からこれを実施する。

附　則（理工学部増設に伴う改正昭和24年２月21日認可）

本学則は、昭和24年４月１日から施行する。

附　則（文学部専攻増設昭和25年３月１日認可および大学院設置昭和25年３月14日認可等に伴う改正）

本学則は、昭和25年４月１日から施行する。

附　則（例規登録）

本学則は、昭和26年４月１日から施行する。

附　則（大学院研究科専攻増設に伴う改正昭和27年３月31日認可）

本学則は、昭和27年４月１日から施行する。

附　則（経済学部学科増設昭和28年１月31日認可および大学院専攻増設昭和28年３月31日認可等に伴う改正）

本学則は、昭和28年４月１日から施行する。

附　則（大学院学則を分離したことに伴う改正）

本学則は、昭和29年４月１日から施行する。

附　則（字句その他整備および一部改正）

本学則は、昭和31年11月30日から施行する。

附　則（文学部専攻増設昭和32年３月22日認可および経済学部規定、文学部規定および聴講生規定中一部改正）

本学則は、昭和33年２月１日から施行する。

附　則（法学部規定、外国人学生規定中一部改正）

本学則は、昭和33年４月１日から施行する。

附　則（法学部・経済学部定員変更ならびに総則および文学部規定中一部改正）

この学則は、昭和34年４月１日から適用する。

附　則（総則、経済学部規定および文学部規定中一部改正）

この学則は、昭和35年４月１日から適用する。

附　則（教授会および大学協議会規定の整備に伴う改正）

この学則は、昭和35年９月１日からこれを適用する。

附　則（文学部規定および理工学部規定中一部改正）

この学則は、昭和36年４月１日から施行する。

附　則（経営学部増設に伴う改正昭和37年１月20日認可）

この学則は、昭和37年４月１日から施行する。

附　則（二部改組ならびに文学部および教員養成課程学則一部変更に伴う改正）

この学則は、昭和38年４月１日から適用する。

附　則（経営学部二部増設および各学部科目増設変更に伴う改正）

この学則は、昭和39年４月１日から適用する。

附　則（産業社会学部増設に伴う改正および各学部科目変更に伴う改正）

この学則は、昭和40年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、昭和41年４月１日から施行する。

附　則(各学部規定のうち二部の随意外国語科目増設および二部文学部履修規定変更に伴う改正)

この学則は、昭和42年４月１日から施行する。

附　則（昭和42年８月22日転部制度廃止に伴う改正）

この学則は、昭和43年４月１日から適用する。

但し、昭和42年度以前入学者の転部は改正前の学則による。

附　則（法学部および経営学部専門科目ならびに文学部学芸員科目を置くことの改正）

この学則は、昭和43年４月１日から適用する。

附　則（文学部専門科目及び二部法・経済・経営・文各学部科目変更に伴う改正）

この学則は、昭和44年４月１日から適用する。

附　則（昭和44年10月24日教授会民主化の制度化に伴う改正）

この学則は、昭和44年10月１日から適用する。

ただし、第11条第２項については昭和44年11月１日から施行する。

附　則（昭和45年３月６日二部法・経済・文学部専門科目の一部改正）

この学則は、昭和45年４月１日から施行する。

附　則（昭和45年４月10日経済・経営・文・理工学部規定中科目等の改正）

この学則は、昭和45年４月１日から適用する。

附　則（昭和46年６月26日成績表示方法の改訂に伴う改正）

この学則は、昭和46年４月１日から適用する。

但し、昭和42年度以前入学者は改正前の学則による。

附　則（法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、文学部ならびに理工学部の履修科目の整理と単位数の変更および外国語の単位数増に伴う改正）

この学則は、昭和46年４月１日から適用する。

ただし、第32条、第33条、第39条、第40条、第46条および第47条は昭和44年度入学生から、また、第57条は昭和45年度入学生から、それぞれ適用する。

附　則（二部理工学部の専門科目中の一部改正）

この学則は、昭和46年４月１日から施行する。

附　則（経済学部、二部文学部専門科目等の一部改正）

この学則は、昭和47年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、昭和48年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、昭和48年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、昭和49年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、昭和49年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、昭和50年４月１日から施行する。

ただし、第60条(4)ロ、化学科の履修科目は、昭和48年度入学生から適用する。

附　則（学部の学科の名称及び収容定員の一部改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

附　則（法学部、経済学部、経営学部一部の教職に関する専門科目の一部改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

附　則（法学部、経済学部、経営学部、文学部二部の専門科目中共通専門科目の一部改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

附　則（文学部二部の専門科目中固有専門科目の一部改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

附　則（理工学部一部の外国語科目中一部改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

附　則（理工学部一部専門科目中一部改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

附　則（理工学部一部の教科及び教職に関する専門科目の一部改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

附　則（昭和52年１月14日法学部一部の一般教育科目の一部改正）

この学則は、昭和52年４月１日から施行する。

附　則（昭和52年１月14日産業社会学部の専門科目の特殊講義の科目表示及び単位数の一部改正）

この学則は、昭和52年４月１日から施行する。

ただし、昭和50年度入学者から適用する。

附　則（昭和52年１月28日経済学部一部の専門科目の一部改正）

この学則は、昭和52年４月１日から施行する。

ただし、昭和52年度１回生から適用する。

附　則（昭和52年３月25日法、経済、経営、文学部二部の一般教育、外国語、専門科目及び文学部二部の教職科目の一部改正）

この学則は、昭和52年４月１日から施行する。

附　則（昭和52年11月12日経営学部一部専門科目の一部改正）

この学則は、昭和53年４月１日から施行する。

附　則（昭和53年１月20日法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、文学部一部の「外国語」随意科目の名称統一に伴う改正）

この学則は、昭和53年４月１日から施行する。

附　則（昭和53年１月20日理工学部一部、数学物理学科、化学科、専門科目中の単位数一部変更に伴う改正）

この学則は、昭和52年12月23日より適用する。

附　則（昭和53年１月20日理工学部、機械工学科のカリキュラム改訂に伴う改正）

この学則は、昭和53年４月１日より施行する。

附　則（昭和53年１月20日法学部、経済学部、経営学部、文学部二部の一般教育科目、外国語、共通専門科目、固有専門科目の一部変更に伴う改正）

この学則は、昭和53年４月１日より施行する。

附　則（昭和53年３月10日理工学部二部のカリキュラム改訂に伴う改正）

この学則は、昭和53年４月１日より施行する。

附　則（昭和53年10月13日理工学部二部の随意外国語の一部改正）

この学則は、昭和54年４月１日から施行する。

ただし、昭和53年度以前の入学者にも適用する。

附　則（昭和53年11月10日産業社会学部のカリキュラム改訂に伴う改正）

この学則は、昭和54年４月１日から施行する。

ただし、昭和54年度１回生から適用する。

附　則（昭和53年12月８日理工学部一部の随意外国語の一部改正）

この学則は、昭和54年４月１日から施行する。

ただし、昭和53年度以前の入学者にも適用する。

附　則（昭和54年１月26日理工学部一部化学科専門科目の一部改正）

この学則は、昭和54年４月１日から施行する。

附　則（昭和54年３月23日文学部一部の専門科目履修に関する一部改正）

この学則は、昭和54年４月１日から施行する。

附　則（昭和54年３月23日理工学部二部の外国語および教職科目の一部改正）

この学則は、昭和54年４月１日から施行する。

ただし、昭和53年度入学者から適用する。

附　則（昭和54年11月30日法学部一部の一般教育科目の特殊講義の単位数の改正および経済学部、経営学部、文学部、理工学部の一部の一般教育科目に特殊講義設置に伴う改正）

この学則は、昭和55年４月１日より施行する。

ただし、昭和54年度以前の入学者にも適用する。

附　則（昭和54年11月30日第49条産業社会学部一般教育科目中、特殊講義の適用回生については、昭和53年度以前の入学者にも適用することに改める改正）

この学則は、昭和55年４月１日から施行する。

附　則（昭和55年２月８日経済学部一部の一般教育および専門科目の一部改正及び理工学部一部数学物理学科の専門科目の一部改正）

この学則は、昭和55年４月１日から施行する。

附　則（昭和55年３月14日法・経済・理工学部の二部の専門科目並びに理工学部一部数学物理学科・化学科の専門科目の一部改正）

この学則は、昭和55年４月１日から施行する。

ただし、経済学部規定の改正については昭和55年度在学生より適用する。

附　則（昭和55年４月11日法学部一部の専門科目、教職専門科目並びに文学部一部地理学科の専門科目の一部改正）

この学則は、昭和55年４月１日から適用する。

附　則（昭和55年５月16日休業日に関する改正）

この学則は、昭和55年４月１日から適用する。

附　則（昭和55年10月17日教職に関する専門科目、教育心理学、青年心理学の独立開設と条文の表現の統一及び科目名の統一と配列の一部改正）

この学則は、昭和56年４月１日より施行する。

ただし、昭和55年以前の入学者にも適用する。

附　則（昭和56年３月13日経営学部一部の専門科目履修単位数、理工学部一部数学物理学科並びに電気工学科専門科目増設､理工学部二部の専門科目単位数変更に伴う一部改正）

この学則は、昭和56年４月１日より施行する。

ただし、第60条(3)数学物理学科規程については昭和56年度在学生にも適用する。

附　則（1981年３月27日法、文学部一部の専門科目の一部改正）

この学則は、1981年４月１日から施行する。

附　則（1982年２月26日副学長の設置、経済学部一部の他学部受講科目の認定、理工学部一部機械工学科および土木工学科のカリキュラム変更、産業社会学部一部・理工学部一部および二部５学部の随意外国語科目の変更に伴う改正）

この学則は、1982年４月１日から施行する。

ただし、第32条(2)、第39条(2)、第46条(2)、第49条(2)、第56条(2)、第60条(2)および第63条(2)の随意外国語規定については1982年度在学生にも適用する。

附　則（1982年３月26日各学部の学士号を得るための一般教育科目の要件の一部改正）

この学則は、1982年４月１日から施行する。

ただし、1981年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1982年６月11日本大学において取得できる教育職員免許状の種類および教科の明記等に伴う一部改正）

この学則は、1982年４月１日から適用する。

附　則（1983年２月25日理工学部化学科、工業化学課程選択科目の変更に伴う改正）

この学則は、1983年４月１日から施行し、同年度入学の者より適用する。

附　則（1983年10月14日法学部一部の第二外国語科目増設に伴う一部改正）

この学則は、1984年４月１日から施行する。

附　則（1983年12月９日文学部一部の専門科目名変更および履修規程の一部改正）

この学則は、1984年４月１日から施行する。

附　則（1984年１月27日法学部、経済学部、経営学部、文学部、理工学部二部の教学改革に伴うカリキュラム改正）

この学則は、1984年４月１日より施行する。

ただし、1983年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲については別に定める。

附　則（1984年３月23日法学部、経済学部、経営学部、文学部、理工学部二部の外国語科目の一部改正）

この学則は、1984年４月１日より施行する。

ただし、1983年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲については別に定める。

附　則（1984年３月23日理工学部二部の専門科目の一部改正）

この学則は、1984年４月１日から施行する。

ただし、1983年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲については別に定める。

附　則（1984年３月23日理工学部二部の専門科目の一部改正）

この学則は、1984年４月１日から施行し、1983年度以前の入学者に適用する。

附　則（1984年４月27日法学部一部の外国語・クラス選択制の実施に伴う改正）

この学則は、1984年４月１日より適用し、1984年度入学の者より適用する。

附　則（1984年４月27日経済学部一部専門科目の一部改正）

この学則は、1984年度入学者より適用する。

ただし、「演習Ⅰ（４単位）」、「演習Ⅱ・卒業論文（８単位）」は、1982年度入学者より適用する。

附　則（1984年４月27日法・経済・経営・産業社会・文学部一部の随意外国語の単位の表現の変更および経済学部一部の随意外国語にスペイン語を、理工学部一部の随意外国語に露語を新設することに伴う改正）

この学則は、1984年４月１日から適用する。

ただし、1983年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1984年６月８日収容定員の一部改正）

この学則は、1985年４月１日から施行する。

附　則（1984年10月22日入学資格に関する一部改正）

この学則は、1985年度入学試験より適用する。

附　則（1985年１月25日収容定員の一部改正）

この学則は、1985年４月１日から施行する。

附　則（1985年１月25日教職に関する専門科目の一部改正）

この学則は、1985年４月１日より施行し、1984年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1985年２月22日理工学部一部数学物理学科の専門科目の一部改正）

この学則は、1985年４月１日より施行する。

ただし、数学課程は1983年度入学者より適用する。

物理学課程は、1984年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1985年２月22日理工学部一部機械工学科の専門科目の一部改正）

この学則は、1985年４月１日より施行する。

附　則（1985年３月８日理工学部一部数学物理学科の専門科目の一部改正）

この学則は、1985年４月１日より施行する。

ただし、数学課程は1983年度入学者より適用する。

物理学課程は、1984年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1985年３月８日理工学部一部機械工学科の専門科目の一部改正）

この学則は、1985年４月１日より施行する。

附　則（1985年３月22日法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、文学部、理工学部一部の一般教育科目および保健体育科目の改正､経済学部一部の専門科目の一部改正、産業社会学部の他学部受講の規定化ならびに字句の整合）

この学則は、1985年４月１日から施行する。

ただし、経済学部一部の「統計学」、産業社会学部の「比較社会論」、保健体育科目の改正を除いて1984年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1986年２月28日経済学部一部の専門科目の一部改正）

この学則は、1986年度入学者より適用する。

附　則（1986年２月28日経営学部一部の専門科目の一部改正）

この学則は、1986年度４月１日から施行し、1985年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1986年２月28日理工学部一部の専門科目の一部改正）

この学則は、1986年４月１日より施行する。

附　則（1986年２月28日法・経済・経営学部二部の学科目変更）

この学則は、1986年４月１日から施行する。

ただし、1985年度以前の入学者については、改正前の科目名に読替えるものとする。

附　則（1986年２月28日外国人留学生の外国語科目履修に関する改正）

この規程は、1986年４月１日から適用する。

ただし、1985年度以前の入学生にも適用する。

附　則（1986年３月28日学年暦、除籍制度変更に伴う改正）

この学則は、1986年４月１日から施行する。

附　則（1986年３月28日法・経済・経営・産業社会・文・理工学部の一般教育科目の一部改正）

この学則は、1986年４月１日より施行し、1985年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1986年４月11日専任講師制度設置に伴う改正）

この学則は、1986年４月11日から施行する。

附　則（1986年５月30日理工学部一部数学物理学科数学課程カリキュラム改訂に伴う改正）

この学則は、1986年４月１日から適用する。

附　則（1986年５月30日外国人留学生の受入れおよび本学学生の外国留学を促進する政策の具体化に伴う改正）

この学則は、1986年４月１日から適用する。

附　則（1986年５月30日現行学則が一般教育等を全学一括で実施していることと整合していないので、関係条文を整備するための改正）

この学則は、1986年４月１日から適用する。

附　則（1986年６月13日「外国人留学生の既修得単位の取り扱いに関する規程」を新設することに伴う改正）

この学則は、1986年４月１日から適用する。

附　則（1986年12月23日文部省認可理工学部一部情報工学科設置に伴う改正）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

附　則（1986年12月23日文部省認可期間を付した学生定員増申請に伴う改正）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

ただし、第16条の規定にかかわらず、1987年度から1995年度までの間の毎年入学収容定員は次のとおりとする。

学部または学科の種別		毎年入学収容定員	
		第1部	第2部
法学部法学科		650	200
経済学部経済学科		650	200
経営学部経営学科		650	200
産業社会学部産業社会学科		700	
文学部	哲学科	120	
	文学科	290	
	史学科	200	
	地理学科	90	
	人文学科		150
	計	700	150
理工学部	数学物理学科	90	
	化学科	100	

	電気工学科	80	
	機械工学科	80	
	土木工学科	100	
	情報工学科	80	
	基礎工学科		100
	計	530	100
合計		3880	850

附　則（1986年12月23日文部省認可理工学部第一部情報工学科設置申請補正に伴う改正）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

附　則（1987年２月13日理事会議案63号による第４条の変更）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

附　則（1987年２月13日理事会議案63号による第29条の変更）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

ただし、1986年度以前の入学生にも適用する。

附　則（1987年２月13日理事会議案63号による第36条および第37条の変更）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

ただし、第36条については1986年度以前の入学生にも適用する。

第37条第４項のロについては1985年度および1986年度入学生にも適用する。

附　則（1987年２月13日理事会議案63号による第43条、第44条および第45条の変更）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

ただし、「最適化理論」「多国籍企業論」「国際比較経営論」「国際マーケティング論」「貿易商社論」は経営学系列、「会計情報システム論」は会計学系列、「国際産業論」は産業・商学系列、「国際取引法」は法学系列の開設科目として、1986年度以前の入学生にも適用する。

第44条第４項のニもまた同じ。

附　則（1987年２月13日理事会議案63号による第49条および第50条の変更）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

附　則（1987年２月13日理事会議案63号による第53条、第54条および第55条の変更）

この学則は、1987年４月１日から施行する。

ただし、「外国文化（講読）」「比較思想」「現代思想」は哲学専攻、「外国文化（講読）」

は心理学専攻、「外国文化（講読）」「現代文学論」「日本文化論」は日本文学専攻、「外国文化（講読）」は中国文学専攻、「外国文化（講読）」は英米文学専攻、「外国文化（講読）」「文化交流史」「比較社会史」は日本史学専攻、「外国文化（講読）」「文化交流史」「比較社会史」は東洋史学専攻、「外国文化（講読）」「文化交流史」「比較社会史」は西洋史学専攻、「外国文化（講読）」「比較地誌学」は地理学専攻の開設科目として、1986年度以前の入学生にも適用する。

第54条第４項もまた同じ。

附　則（1987年９月18日理事会議案第26号による第19条の３の変更）

この学則は、1988年４月１日から施行する。

附　則（1987年９月18日理事会議案第26号による第16条及び期間を付した入学収容定員に関する附則の変更）

この学則は、1988年４月１日から施行する。

ただし、本則第16条の規定にかかわらず、理工学部（第１部）電気工学科、機械工学科以外の学部、学科の1988年度から1995年度までの間の入学収容定員及び理工学部（第１部）電気工学科、機械工学科の1988年度から1996年度までの間の入学収容定員は、次のとおりとする。

学部または学科の種類		毎年入学収容定員	
		第一部	第二部
法学部法学科		600	200
経済学部経済学科		600	200
経営学部経営学科		630	200
産業社会学部産業社会学科		700	
文学部	哲学科	120	
	文学科	290	
	史学科	200	
	地理学科	90	
	人文学科		150
	計	700	150
理工学部	数学物理学科	90	
	化学科	100	

	電気工学科	100	
	機械工学科	100	
	土木工学科	100	
	情報工学科	80	
	基礎工学科		100
	計	570	100
国際関係学部国際関係学科		160	
合計		3,960	850

附　則（1987年12月18日理事会議案第42号による第19条の２、第29条、第30条、第36条、第37条、第60条及び第61条の変更）

この学則は、1988年４月１日から施行する。

附　則（1987年12月18日理事会議案第42号による第43条、第44条及び第45条の変更）

この学則は、1988年４月１日から施行する。

ただし、「国際貿易論」は1987年度入学生は国際産業流通コース科目として、「途上国経済論」は経済学系列科目として1987年度以前の入学生にも適用する。

附　則（1987年12月18日理事会議案第42号による第50条の変更）

この学則は、1988年４月１日から施行する。

ただし、1987年度入学生より適用する。

附　則（1987年12月18日理事会議案第42号による第53条、第54条および第55条の変更）

この学則は、1988年４月１日より施行する。

ただし、第53条については1987年度の入学者にも、また第55条については1987年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1988年１月22日理事会議案第47号による第19条の２、第32条、第33条、第39条、第40条、第46条、第47条、第56条、第57条、第63条及び第64条の変更）

この学則は、1988年４月１日より施行する。

ただし、1987年度以前の入学者にもその一部を適用することとし、その適用範囲については別に定める。

附　則（1988年２月12日理事会議案第52号。1987年12月23日文部省認可国際関係学部国際関係学科設置に伴う変更）

この学則は1988年４月１日から施行する。

ただし、本則第16条の規定にかかわらず1988年度から期間を付した入学収容定員を定めたものを、1988年度から国際関係学部の入学収容定員を加えたものとして、次のとおりとする。

学部または学科の種類		毎年入学収容定員	
		第一部	第二部
法学部法学科		600	200
経済学部経済学科		600	200
経営学部経営学科		630	200
産業社会学部産業社会学科		700	
文学部	哲学科	120	
	文学科	290	
	史学科	200	
	地理学科	90	
	人文学科		150
	計	700	150
理工学部	数学物理学科	90	
	化学科	100	
	電気工学科	100	
	機械工学科	100	
	土木工学科	100	
	情報工学科	80	
	基礎工学科		100
	計	570	100
国際関係学部国際関係学科		160	
合計		3,960	850

附　則（1988年３月30日理事会議案第77号による第33条、第40条、第47条、第56条及び第64条の変更）

この学則は、1988年４月１日から施行する。

附　則（1988年７月22日理事会議案第28号及び1988年12月22日文部省認可による第16条及び期間を付した入学収容定員に関する附則の変更）

この学則は、1989年４月１日から施行する。

ただし、本則第16条の規程にかかわらず、入学収容定員は、次のとおりとする。

学部または学科の種類		1989年度から毎年入学収容定員		第一部の期間付き入学定員（入学収容定員の内数）とその期間
		第一部	第二部	
法学部法学科		600	200	1987年度～1995年度　50
経済学部経済学科		600	200	1987年度～1995年度　50
経営学部経営学科		630	200	1987年度～1995年度　50
産業社会学部産業社会学科		650		1987年度～1988年度　100 1989年度～1995年度　50
文学部	哲学科	120		1987年度～1995年度　30
	文学科	290		1987年度～1995年度　50
	史学科	200		1987年度～1995年度　40
	地理学科	90		―
	人文学科		150	
	計	700	150	
理工学部	数学物理学科	90		1987年度～1995年度　10
	化学科	100		1987年度～1995年度　20
	電気工学科	100		1988年度～1996年度　20
	機械工学科	100		1988年度～1996年度　20
	土木工学科	100		1987年度～1995年度　20
	情報工学科	100		1989年度～1997年度　20
	基礎工学科		100	
	計	590	100	
国際関係学部国際関係学科		200		1989年度～1997年度　40
合計		3,970	850	

附　則（1988年12月26日副総長制の確立に関わる寄附行為変更認可に伴う学則の一部変更）

この学則は、1988年12月26日から施行する。

附　則（1989年１月27日理工学部第一部数学物理学科物理学課程カリキュラム改訂に伴う変更）

この学則は、1989年４月１日から施行する。

附　則（1989年３月29日産業社会学部のカリキュラム整備に伴う専門科目の一部変更）

この学則は、1989年４月１日より施行する。

ただし、1987年度入学生より適用する。

附　則（1989年３月29日第二部一般教育の科目変更に伴う変更）

この学則は、1989年４月１日から施行する。

ただし、1988年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1989年７月28日理事会議案第22号及び1989年12月22日文部省認可による期間を付した入学収容定員に関する附則の変更）

この学則は1990年４月１日から施行する。

ただし、本則第16条の規定にかかわらず、入学収容定員は、次のとおりとする。

学部または学科の種類		1990年度から毎年入学収容定員		第一部の期間付き入学定員（入学収容定員の内数）とその期間
		第一部	第二部	
法学部法学科		700	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100
経済学部経済学科		700	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100
経営学部経営学科		700	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　70
産業社会学部産業社会学科		750		1987年度～1988年度　100、1990年度～1998年度　100、1989年度～1995年度　50
文学部	哲学科	120		1987年度～1995年度　30
	文学科	290		1987年度～1995年度　50
	史学科	200		1987年度～1995年度　40
	地理学科	90		
	人文学科		150	

	計	700	150	
理工学部	数学物理学科	100		1987年度～1995年度　10、1990年度～1998年度　10
	化学科	110		1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10
	電気工学科	110		1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10
	機械工学科	110		1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10
	土木工学科	110		1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10
	情報工学科	110		1989年度～1997年度　20、1990年度～1998年度　10
	基礎工学科		100	
	計	650	100	
国際関係学部国際関係学科		210		1989年度～1997年度　40、1990年度～1998年度　10
合計		4,410	850	

附　則（1989年７月28日「平成元年４月７日」付け文部省高等教育局長通知における学則内容検討依頼への対応、教育職員免許法改定に伴う再課程認定申請及び中学校専修免許状課程認定申請のための免許種別・設置科目の変更、「期間を付した入学定員」受入申請、第一部理工学部数学物理学科及び第一部経営学部におけるカリキュラム改革、条文各項目における表現上の統一に伴う変更）

この学則は、1990年４月１日から施行する。

附　則（1989年10月27日教育職員免許法改定に伴う再課程認定申請免許種別の変更、産業社会学部での社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目の新設、理工学部第一部数学物理学科、土木工学科におけるカリキュラム改定に伴う変更）

この学則は、1990年４月１日から施行する。

付　則（1989年12月22日産業社会学部のカリキュラム整備に伴う専門科目の一部変更）

この学則は、1990年４月１日より施行する。

ただし、1989年度入学生より適用する。

付　則（1990年１月26日法学部カリキュラム整備に伴う専門科目一部変更）

この学則は、1990年４月１日から施行する。

ただし、1989年度入学者から適用する。

附　則（1990年１月26日保健体育講義の修得単位を４単位に変更することに伴う一部変更）

この学則は、1990年４月１日から施行する。

ただし、1990年度入学生から適用する。

附　則（1990年３月９日経済学部第一部専門科目中第１類科目の一部変更）

この学則は、1990年４月１日から施行する。

ただし、1988年度入学者から適用する。

附　則（1990年７月27日理事会議案第27号及び1990年12月21日文部省認可による期間を付した入学収容定員に関する附則の変更）

この学則は、1991年４月１日から施行する。

ただし、本則第16条の規定にかかわらず、入学収容定員は、次のとおりとする。

学部または学科の種類		1991年度から毎年入学収容定員		第一部の期間付き入学定員（入学収容定員の内数）とその期間
		第一部	第二部	
法学部法学科		700	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100
経済学部経済学科		700	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100
経営学部経営学科		700	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　70
産業社会学部産業社会学科		830		1989年度～1995年度　50、1991年度～1999年度　80、1990年度～1998年度　100
文学部	哲学科	120		1987年度～1995年度　30
	文学科	330		1987年度～1995年度　50、1991年度～1999年度　40
	史学科	230		1987年度～1995年度　40、1991年度～

				1999年度　30
	地理学科	90		
	人文学科		150	
	計	770	150	
理工学部	数学物理学科	100		1987年度～1995年度　10、1990年度～1998年度　10
	化学科	110		1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10
	電気工学科	110		1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10
	機械工学科	110		1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10
	土木工学科	110		1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10
	情報工学科	110		1989年度～1997年度　20、1990年度～1998年度　10
	基礎工学科		100	
	計	650	100	
国際関係学部国際関係学科		210		1989年度～1997年度　40、1990年度～1998年度　10
合計		4,560	850	

附　則（1990年７月27日理事会議案第28号②及び1991年２月27日文部省認可による第19条の３、第31条、第34条、第38条、第41条、第45条、第48条、第51条および第55条の変更）

この学則は、1991年４月１日から施行する。

ただし、1990年度入学者から適用する。

附　則（1991年１月11日理工学部第一部電気工学科および情報工学科専門科目の一部改正に伴う変更）

この学則は、1991年４月１日から施行する。

ただし、電気工学科は1988年度入学者より適用し、情報工学科は1991年度入学者より適

用する。

附　則（1991年１月11日外国留学認定科目に対応するための科目整備）

この学則は、1991年４月１日から施行する。

ただし、1990年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1991年１月11日第二部の特修外国語科目の一部改正）

この学則は、1991年４月１日から施行する。

ただし、1990年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1991年１月11日理事会議案第42号③及び1991年２月27日文部省認可による第34条、第41条、第48条および第58条の変更）

この学則は、1991年４月１日から施行する。

ただし、1990年度入学者から適用する。

附　則（1991年３月８日二部責任体制の改革に伴う変更）

この学則は、1991年４月１日から施行する。

附　則（1991年７月26日理工学部第一部電気工学科の学科名称および一部学科目名・単位数の変更に伴う変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

（理工学部第一部電気工学科の存続に関する経過措置）

理工学部第一部電気工学科は、改正後の学則の規定にかかわらず1992年３月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（1991年７月26日理事会議案第22号及び1991年12月20日文部省認可による期間を付した入学収容定員に関する附則の変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

ただし、本則第16条の規定にかかわらず、入学収容定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類	1992年度から毎年入学収容定員		第一部の期間付き入学定員（入学収容定員の内数）とその期間
	第一部	第二部	
法学部法学科	750	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100、1992年度～1999年度　50
経済学部経済学科	750	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100、1992年度～1999年度　50
経営学部経営学科	750	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年

				度　70、1992年度～1999年度　50
産業社会学部産業社会学科		830		1989年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100、1991年度～1999年度　80
文学部	哲学科	120		1987年度～1995年度　30
	文学科	330		1987年度～1995年度　50、1991年度～1999年度　40
	史学科	230		1987年度～1995年度　40、1991年度～1999年度　30
	地理学科	130		1992年度～1999年度　40
	人文学科		150	
	計	810	150	
理工学部	数学物理学科	130		1987年度～1995年度　10、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	化学科	140		1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	電気工学科	140		1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	機械工学科	140		1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	土木工学科	140		1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	情報工学科	140		1989年度～1997年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	基礎工学科		100	
	計	830	100	
国際関係学部国際関係学科		230		1989年度～1997年度　40、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　20
合計		4950	850	

附　則（1991年７月26日学位規則の一部を改正する文部省令にもとづく変更）

この学則は、1991年７月１日から適用する。

附　則（1992年１月24日大学設置基準の改正および副専攻科目設置に伴う変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

ただし、1990年度入学者から適用する。

附　則（1992年１月24日「教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令」が平成３年６月10日文部省令第30号をもって公布され、平成３年７月１日から施行されたことによる変更）

この学則は、1991年７月１日から適用する。

附　則（1992年１月24日法学部第一部の専門科目の名称変更ならびに専門科目履修に関する一部改正）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

附　則（1992年１月24日経営学部の科目新設、他学部規定の改訂等に伴う変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

ただし、第44条(4)経済学科目規定については、1992年在学者についても適用する。

附　則（1992年１月24日国際関係学部の外国留学認定科目に対応するための科目整備等に伴う変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

但し、「外国留学科目」「外国留学特修科目」「異文化間コミュニケーション(UBC)」「環太平洋研究(UBC)」「憲法」「比較政治論Ⅰ」「比較政治論Ⅱ」「国際平和学Ⅰ」「国際平和学Ⅱ」「経済政策」「民族問題Ⅰ」「民族問題Ⅱ」「比較地域論Ⅰ」「比較地域論Ⅱ」並びに他学部科目については1991年度以前の入学生にも適用する。

附　則（1992年１月24日文学部の科目の改廃・名称変更・分野変更等による変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

ただし、副専攻実施に伴う規定は1990年度入学者から適用する。

附　則（1992年１月24日二部法学部、経済学部、経営学部、文学部のカリキュラム整備に伴う専門科目の一部変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

ただし、1990年度入学者から適用する。

附　則（1992年３月27日博物館実習料等の根拠規程を明確化するための変更）

この学則は、1992年４月１日から施行する。

附　則（1992年６月26日教育上有益なとき、９月入学を認めるための変更）

この学則は、1992年９月21日から施行する。

附　則（1992年６月26日科目等履修生制度を新設するための変更）

この学則は、1993年４月１日から施行する。

附　則（1993年１月22日理工学部第一部カリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、1993年４月１日から施行する。

但し、第19条の２第３号および第60条に規定する科目および単位については1992年度以前の入学生にも当該設置科目に追加して適用し、詳細は別途定める。

附　則（1993年１月22日副専攻カリキュラム改革にともなう変更）

この学則は、1993年４月１日から施行する。

ただし、1992年度以前入学者にも当該設置科目に追加して適用し、詳細は別途定める。

附　則（1993年１月22日教職課程カリキュラム改革にともなう変更）

この学則は、1993年４月１日から施行する。

ただし、1992年度以前入学者にも当該設置科目に追加して適用し、詳細は別途定める。

附　則（1993年１月22日編入学制度の改革および科目等履修生の新設にともなう変更）

この学則は、1993年４月１日から施行する。

附　則（1992年６月26日理事会議案第15号、1993年５月28日理事会議案第17号・第20号、1993年６月25日理事会議案第32号および1993年９月24日理事会議案第46号並びに1993年12月21日文部省認可による入学定員等の変更）

この学則は、1994年４月１日から施行する。

ただし、本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類	1994年度からの入学定員			第一部の期間付き入学定員（入学定員の内数）とその期間
	入学定員	編入学定員	入学定員	
	第一部		第二部	
法学部法学科	730	35	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100、1992年度～1999年度　50
経済学部経済学科	730	35	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100、1992年度～1999年度　50

経営学部経営学科		700	35	200	1987年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　70、1992年度～1999年度　50
産業社会学部産業社会学科		820	40		1989年度～1995年度　50、1990年度～1998年度　100、1991年度～1999年度　80
文学部	哲学科	120			1987年度～1995年度　30
	文学科	330	20		1987年度～1995年度　50、1991年度～1999年度　40
	史学科	230	15		1987年度～1995年度　40、1991年度～1999年度　30
	地理学科	130	5		1992年度～1999年度　40
	人文学科			150	
	計	810	40	150	
理工学部	数学物理学科	130			1987年度～1995年度　10、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	化学科	140			1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	電気電子工学科	140			1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	機械工学科	140			1988年度～1996年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	土木工学科	130			1987年度～1995年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	情報工学科	(*1)			〔1989年度～1997年度　20、1990

		〔140〕			年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30〕
	情報学科	(*2) 260			1989年度～1997年度　20、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　30
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			
	基礎工学科			100	
	計	1,110		100	
国際関係学部国際関係学科		230	30		1989年度～1997年度　40、1990年度～1998年度　10、1992年度～1999年度　20
政策科学部政策科学科		300	50		
合計		5,430	265	850	

編入学定員は、３年次を原則とする。ただし、政策科学部の編入学定員は、1996年度からの定員である。

（*１）　1994年４月から学生募集を停止し、期限付き入学定員は情報学科に振り替える。なお、情報工学科は、在学生がいなくなるのを待って廃止する。

（*２）　期限付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

附　則（1993年９月24日理工学部第一部情報学科、生物工学科及び環境システム工学科設置による課程認定申請に伴う変更）

この学則は、1994年４月１日から施行する。

ただし、1993年度以前入学者にも適用する。

附　則（1993年12月10日一般教育、外国語および教職課程ならびに法学部第一部・第二部、経済学部第一部・第二部、経営学部第一部・第二部、産業社会学部、文学部第一部・第二部および国際関係学部のカリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、1994年４月１日から施行する。

ただし、1993年度以前の入学者にも当該設置科目を追加して適用し、詳細は別途定める。

附　則（1994年３月25日聴講制度、科目等履修制度等に伴う変更）

この学則は、1994年４月１日から施行する。

附　則（1994年７月22日政策科学部政策科学科における免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請に伴う変更）

この学則は、1995年４月１日から施行する。

ただし、1994年度入学者から適用する。

なお、1994年度入学者については、施行日以降の取得科目に限定して適用する。

附　則（1994年10月14日副専攻カリキュラム改革にともなう変更）

この学則は、1995年４月１日から施行する。

ただし、1994年度以前の入学者にも該当設置科目を追加して適用する。

附　則（1995年２月24日単位計算基準および科目の新設に伴う変更）

この学則は、1995年４月１日から施行する。

ただし、1994年度以前の入学者にも追加して適用する。

附　則（1995年５月26日理事会議案第13号及び1995年12月22日文部大臣認可による昼夜開講制にともなう変更および経過措置）

１　この学則は、1998年４月１日から施行する。

２　本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類	1996年度からの入学定員			昼間主コースの期間付き入学定員（入学定員の内数）とその期間
	入学定員	編入学定員	入学定員	
	昼間主コース		夜間主コース	
法学部法学科	810	35	160	1987年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50
経済学部経済学科	810	35	50	1987年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50
経営学部経営学科	780	35	100	1987年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　70 1992年度～1999年度　50
産業社会学部産業社会学科	820	40		1987年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　100

					1991年度～1999年度　80
文学部	哲学科	140		40	1987年度～1995年度　30
	文学科	360	20	40	1987年度～1995年度　50 1991年度～1999年度　40
	史学科	260	15	40	1987年度～1995年度　40 1991年度～1999年度　30
	地理学科	130	5		1992年度～1999年度　40
	計	890	40	120	
理工学部	数学物理学科	130			1987年度～1995年度　10 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	化学科	140			1987年度～1995年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	電気電子工学科	140			1988年度～1996年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	機械工学科	140			1988年度～1996年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	土木工学科	130			1987年度～1995年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	情報学科	260			1989年度～1997年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			
	計	1,110			
国際関係学部国際関係学		230	30		1989年度～1997年度　40

科				1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　20
政策科学部政策科学科	300	50		
合計	5,750	265	430	

編入学定員は、３年次を原則とする。

理工学部については昼間主コースの定員を第一部の定員に、夜間主コースの定員を第二部の定員に読みかえる。

情報学科の期間付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

３　以下に掲げる学部・学科の学生定員は、次の通りとし、在学する者がいなくなるまでの間存続する。

理工学部　第一部　情報工学科　入学定員80人　収容定員320人

法学部　第二部　法学科　入学定員200人　収容定員800人

経済学部　第二部　経済学科　入学定員200人　収容定員800人

経営学部　第二部　経営学科　入学定員200人　収容定員800人

文学部　第二部　人文学科　入学定員150人　収容定員600人

理工学部　第二部　基礎工学科　入学定員100人　収容定員400人

４　以下に掲げる学部・学科にあっては、存続している間取得できる教育職員免許状の種類および教科は、次のとおりとする。

理工学部　第一部　情報工学科

　高等学校教諭１種免許状　工業

法学部　第二部　法学科

　中学校教諭１種免許状　社会

　高等学校教諭１種免許状　地理歴史、公民

経済学部　第二部　経済学科

　中学校教諭１種免許状　社会

　高等学校教諭１種免許状　地理歴史、公民

経営学部　第二部　経営学科

　中学校教諭１種免許状　社会

　高等学校教諭１種免許状　地理歴史、公民、商業

文学部　第二部　人文学科

　中学校教諭１種免許状　社会、国語、英語

高等学校教諭１種免許状　地理歴史、公民、国語、英語

理工学部　第二部　基礎工学科

高等学校教諭１種免許状　工業

附　則（1995年５月26日理事会議案第16号及び1995年12月22日文部大臣認可による理工学部第一部光工学科、ロボティクス学科の設置にともなう変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

ただし、本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		1996年度からの入学定員			第一部の期間付き入学定員（入学定員の内数）とその期間
		入学定員	編入学定員	入学定員	
		第一部		第二部	
法学部法学科		730	35	200	1987年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50
経済学部経済学科		730	35	200	1987年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50
経営学部経営学科		700	35	200	1987年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　70 1992年度～1999年度　50
産業社会学部産業社会学科		820	40		1989年度～1995年度　50 1990年度～1998年度　100 1991年度～1999年度　80
文学部	哲学科	120			1987年度～1995年度　30
	文学科	330	20		1987年度～1995年度　50 1991年度～1999年度　40
	史学科	230	15		1987年度～1995年度　40 1991年度～1999年度　30
	地理学科	130	5		1992年度～1999年度　40
	人文学科			150	

	計	810	40	150	
理工学部	数学物理学科	130			1987年度～1995年度　10 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	化学科	140			1987年度～1995年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	電気電子工学科	140			1988年度～1996年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	機械工学科	140			1988年度～1996年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	土木工学科	130			1987年度～1995年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	情報工学科	(*1) 〔140〕			〔1989年度～1997年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30〕
	情報学科	(*2) 260			1989年度～1997年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			
	光工学科	100			
	ロボティクス学科	100			
	基礎工学科			100	
	計	1,310		100	
国際関係学部国際関係学科		230	30		1989年度～1997年度　40 1990年度～1998年度　10

				1992年度～1999年度　20
政策科学部政策科学科	300	50		
合計	5,630	265	850	

編入学定員は、３年次を原則とする。

（*１）　1994年４月から学生募集を停止し、期限付き入学定員は情報学科に振り替える。なお、情報工学科は、在学生がいなくなるのを待って廃止する。

（*２）　期限付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

附　則（1995年６月23日カナダ研究(UBC)新設に伴う変更）

この学則は、1995年４月１日から適用する。

ただし、1994年度以前の入学者にも当該設置科目を追加して適用する。

附　則（1995年７月14日　理事会議案第26号及び1995年12月22日文部大臣認可による期間を付した入学定員の期間延長に係る学則変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類	1996年度からの入学定員			第一部の期間付き入学定員（入学定員の内数）とその期間
	入学定員	編入学定員	入学定員	
	第一部		第二部	
法学部法学科	730	35	200	1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
経済学部経済学科	730	35	200	1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
経営学部経営学科	700	35	200	1990年度～1998年度　70 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
産業社会学部産業社会学科	820	40		1990年度～1998年度　100 1991年度～1999年度　80 1996年度～1999年度　50
文　哲学科	120			1996年度～1999年度　30

学部	文学科	330	20		1991年度～1999年度　40 1996年度～1999年度　50
	史学科	230	15		1991年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　40
	地理学科	130	5		1992年度～1999年度　40
	人文学科			150	
	計	810	40	150	
理工学部	数学物理学科	130			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　10
	化学科	140			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　20
	電気電子工学科	140			1988年度～1996年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	機械工学科	140			1988年度～1996年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	土木工学科	130			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　20
	情報工学科	〔140〕			〔1989年度～1997年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30〕
	情報学科	260			1989年度～1997年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			

	基礎工学科			100	
	計	1,110		100	
国際関係学部国際関係学科		230	30		1989年度～1997年度　40 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　20
政策科学部政策科学科		300	50		
合計		5,430	265	850	

編入学定員は、３年次を原則とする。

情報学科の期間付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

附　則（1995年７月28日理工学部第一部光工学科、ロボティクス学科設置による課程認定申請に伴う変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

附　則（1995年９月22日学校法人宇治学園との合併に伴う一部変更）

この学則は、1995年４月１日から適用する。

附　則（1995年12月８日文学部人文総合科学インスティテュート開設にともなう変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

附　則（1996年３月22日法学部昼間主コースのカリキュラム整備に伴う専門科目の一部変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

ただし、1994年度入学者から適用する。

附　則（1996年３月22日経済学部の専門科目増設に伴う一部変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

ただし、1995年度以前入学者にも当該設置科目を追加して適用する。

附　則（1996年３月22日法学部、経済学部、経営学部、文学部の各夜間主コースにおける京都・大学センター単位互換制度導入に伴う一般教育科目の一部変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

ただし、1994年度以降の入学者に当該設置科目を追加して適用する。

附　則（1996年３月22日昼夜開講制実施による社会人入学者の履修に関する規程新設等に伴う変更）

この学則は、1996年４月１日から施行する。

附　則（1996年７月12日期間を付した入学定員の期間延長に係る学則変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		1997年度からの入学定員			昼間主コースの期間付き入学定員（入学定員の内数）とその期間
		入学定員	編入学定員	入学定員	
		昼間主コース		夜間主コース	
法学部法学科		810	35	160	1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
経済学部経済学科		810	35	50	1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
経営学部経営学科		780	35	100	1990年度～1998年度　70 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
産業社会学部産業社会学科		820	40		1990年度～1998年度　100 1991年度～1999年度　80 1996年度～1999年度　50
文学部	哲学科	140		40	1996年度～1999年度　30
	文学科	360	20	40	1991年度～1999年度　40 1996年度～1999年度　50
	史学科	260	15	40	1991年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　40
	地理学科	130	5		1992年度～1999年度　40
	計	890	40	120	
理工学	数学物理学科	130			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　10

部	化学科	140			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　20
	電気電子工学科	140			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1997年度～1999年度　20
	機械工学科	140			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1997年度～1999年度　20
	土木工学科	130			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　20
	情報学科	260			1989年度～1997年度　20 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			
	光工学科	100			
	ロボティクス学科	100			
	計	1,310			
国際関係学部国際関係学科		230	30		1989年度～1997年度　40 1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　20
政策科学部政策科学科		300	50		
合計		5,950	265	430	

編入学定員は、３年次を原則とする。

理工学部については昼間主コースの定員を第一部の定員に読みかえる。

産業社会学部、文学部地理学科、国際関係学部および政策科学部の定員は昼間主コースの欄に記載。

情報学科の期間付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

附　則（1996年10月25日理工学部第二部基礎工学科廃止および理工学部第一部名称

変更にともなう学則変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

（立命館大学理工学部第一部数学物理学科、化学科、電気電子工学科、機械工学科、土木工学科、情報工学科、情報学科、生物工学科、環境システム工学科、光工学科、ロボティクス学科の存続に関する経過措置）

立命館大学理工学部第一部数学物理学科、化学科、電気電子工学科、機械工学科、土木工学科、情報工学科、情報学科、生物工学科、環境システム工学科、光工学科、ロボティクス学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1997年３月31日に当該学科に在学するものが、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（1996年11月22日「博物館法施行規則の一部を改正する省令」（平成８年文部省令第28号）に伴う変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

但し、施行の前に、下表の旧学則に掲げる科目の単位を修得した者は、新学則に掲げる科目の単位を修得したものとみなす。

旧学則	新学則
社会教育概論　2	生涯学習概論　2
博物館学Ⅰ　2 博物館学Ⅱ　2	博物館概論　2 博物館学各論Ⅰ　2 博物館学各論Ⅱ　2
視聴覚教育　2	視聴覚教育メディア論　2

附　則（1997年２月28日経済学部昼間主コースのカリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

ただし、1996年度以前入学者にも当該設置科目に追加して適用し、詳細は別途定める。

附　則（1997年２月28日経営学部昼間主コースのカリキュラム改革にともなう変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

ただし、1996年度以前入学者にも当該設置科目に追加して適用し、詳細は別途定める。

附　則（1997年２月28日国際関係学部カリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

ただし、1996年度以前の入学者にもその一部を適用することとし、その適用範囲については別に定める。

附　則（1997年２月28日経済・経営学部のカリキュラム改革に関わる一般教育科目

増設・副専攻に関する変更、ならびに一般教育・基礎科目の特殊講義の単位数変更・調整および特修外国語科目イタリア語の新設に伴う変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

ただし、一般教育・基礎科目の特殊講義の単位数変更・調整および特修外国語科目イタリア語の新設については1996年度以前の入学者にも適用する。

また、副専攻に関する変更については1996年度入学者から適用する。

附　則（1997年２月28日文学部および理工学部における他学科受講による教育職員免許状の種類と教科の取り扱いに関する変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

ただし、1996年度以前の入学者にも適用し、詳細は別途定める。

附　則（1997年２月28日入学前修得単位の認定限度に関する変更）

この学則は、1997年４月１日から施行する。

附　則（1997年４月25日産業社会学部社会調査士プログラム新設に伴う変更）

この学則は、1997年４月25日から施行し、1997年４月１日から適用する。

附　則（1997年６月27日期間を付した入学定員の期間延長に係る学則変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類	1998年度からの入学定員			昼間主コースの期間付き入学定員（入学定員の内数）とその期間
	入学定員	編入学定員	入学定員	
	昼間主コース		夜間主コース	
法学部法学科	810	35	160	1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
経済学部経済学科	810	35	50	1990年度～1998年度　100 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50
経営学部経営学科	780	35	100	1990年度～1998年度　70 1992年度～1999年度　50 1996年度～1999年度　50

産業社会学部産業社会学科		820	40		1990年度～1998年度　100 1991年度～1999年度　80 1996年度～1999年度　50
文学部	哲学科	140		40	1996年度～1999年度　30
	文学科	360	20	40	1991年度～1999年度　40 1996年度～1999年度　50
	史学科	260	15	40	1991年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　40
	地理学科	130	5		1992年度～1999年度　40
	計	890	40	120	
理工学部	数学物理学科	130			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　10
	化学科	140			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　20
	電気電子工学科	140			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1997年度～1999年度　20
	機械工学科	140			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1997年度～1999年度　20
	土木工学科	130			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1996年度～1999年度　20
	情報学科	260			1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　30 1998年度～1999年度　20
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			

	光工学科	100			
	ロボティクス学科	100			
	計	1,310			
国際関係学部国際関係学科		230	30		1990年度～1998年度　10 1992年度～1999年度　20 1998年度～1999年度　40
政策科学部政策科学科		300	50		
合計		5,950	265	430	

編入学定員は、３年次を原則とする。

産業社会学部、文学部地理学科、国際関係学部、政策科学部および理工学部の定員は昼間主コースの欄に記載。

情報学科の期間付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

附　則（1997年９月26日産業社会学部の社会人入学者の履修に関する取り扱いの新設）

この学則は、1997年９月26日から施行し、1997年４月１日から適用する。

ただし、1996年度社会人入学者にも別途定めるところによりその一部を適用する。

附　則（1998年２月27日一般教育・基礎科目・基礎教育科目、特修外国語、副専攻科目のカリキュラム改革等に伴う一部変更および総合人間学プログラムの新設に伴う変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

ただし、その一部については1997年度以前の入学者にも適用することとし、詳細は別に定める。

附　則（1998年２月27日経済学部昼間主コース、経営学部昼間主コースおよび理工学部におけるインスティテュート設置に伴う変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

附　則（1998年２月27日経済学部昼間主コースのカリキュラム改革にともなう変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

ただし、その一部については1997年度以前の入学者にも適用することとし、詳細は別途定める。

附　則（1998年２月27日経営学部昼間主コースのカリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

ただし、その一部については1997年度以前の入学者にも適用することとし、詳細は別途定める。

附　則（1997年２月27日基礎科目の分野表示の廃止、外国語教育改革および副専攻の履修単位の変更に伴う第50条の一部変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

ただし、選択外国語の自由選択での認定については1997年度以前の入学者にも適用する。

副専攻の履修単位の変更の適用については、別途定める。

附　則（1998年２月27日国際行政コース設置および各コースのカリキュラム改革などにともなう変更）

この学則は、1998年４月１日から施行し、1997年度入学者から適用する。

ただし、選択外国語の自由選択としての認定については、1997年度以前の入学者にも適用し、専門外国語科目の変更については1996年度以前の入学者にも適用する。

また、副専攻の単位認定の変更は、1998年度入学者から適用する。

附　則（1998年２月27日政策科学部のカリキュラム改革にともなう変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

附　則（1998年２月27日文学部カリキュラム改訂等に伴う改正）

この学則は、1998年４月１日から施行し、1997年度入学者以前の入学者にも適用する。

ただし、「４回生演習・卒業論文」に関しては、1995年度以降の入学者より適用する。

副専攻の履修単位の変更の適用については別途定める。

附　則（1998年２月27日理工学部のカリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

ただし、1998年度入学者より適用し、詳細は別途定める。

附　則（1998年２月27日総合人間学プログラムの新設にともなう一部変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

ただし、1994年度以降の入学者にも適用する。

附　則（1998年３月27日一般教育の分野区分の廃止、外国語教育の改編、全学・学部副専攻履修単位の変更、および選択外国語科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、1998年４月１日から施行する。

ただし、一般教育の分野区分の廃止は1994年度以降の入学者にも適用し、選択外国語科目の設置に伴う一部変更は1997年度以前の入学者にも適用する。

なお、副専攻履修単位の変更の適用は別途定める。

附　則（1998年５月22日産業社会学部および文学部地理学科における昼夜開講制実施に伴う学則変更）

この学則は、1999年４月１日から施行する。

２　本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		1999年度からの入学定員			昼間主コースの期間付入学定員（入学定員の内数）とその期間
		入学定員	編入学定員	入学定員	
		昼間主コース		夜間主コース	
法学部法学科		810	35	160	1990年度～1998年度　100、 1992年度～1999年度　50、 1996年度～1999年度　50
経済学部経済学科		810	35	50	1990年度～1998年度　100、 1992年度～1999年度　50、 1996年度～1999年度　50
経営学部経営学科		780	35	100	1990年度～1998年度　70、 1992年度～1999年度　50、 1996年度～1999年度　50
産業社会学部産業社会学科		820	40	100	1990年度～1998年度　100、 1991年度～1999年度　80、 1996年度～1999年度　50
文学部	哲学科	140		40	1996年度～1999年度　30
	文学科	360	20	40	1991年度～1999年度　40、 1996年度～1999年度　50
	史学科	260	15	40	1991年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　40
	地理学科	130	5	40	1992年度～1999年度　40
	計	890	40	160	
理工学部	数学物理学科	130			1990年度～1998年度　10、 1992年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　10
	化学科	140			1990年度～1998年度　10、

					1992年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　20
	電気電子工学科	140			1990年度～1998年度　10、 1992年度～1999年度　30、 1997年度～1999年度　20
	機械工学科	140			1990年度～1998年度　10、 1992年度～1999年度　30、 1997年度～1999年度　20
	土木工学科	130			1990年度～1998年度　10、 1992年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　20
	情報学科	260			1990年度～1998年度　10、 1992年度～1999年度　30、 1998年度～1999年度　20
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			
	光工学科	100			
	ロボティクス学科	100			
	計	1,310			
国際関係学部国際関係学科		230	30		1990年度～1998年度　10、 1992年度～1999年度　20、 1998年度～1999年度　40
政策科学部政策科学科		300	50		
合計		5,950	265	570	

編入学定員は、３年次を原則とする。

国際関係学部、政策科学部および理工学部の定員は昼間主コースの欄に記載。

理工学部情報学科の期間付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

附　則（1998年７月24日大学コンソーシアム京都単位互換科目の単位数対応に伴う一部変更）

この学則は、1998年７月24日から施行し、1998年４月１日から適用する。

ただし、その一部については1997年度以前の入学者にも適用する。

附　則（1998年７月24日期間を付した入学定員の期間延長に係る学則変更）

この学則は、1999年４月１日から施行する。

本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		1999年度からの入学定員			昼間主コースの期間付き入学定員（入学定員の内数）とその期間
		入学定員	編入学定員	入学定員	
		昼間主コース		夜間主コース	
法学部法学科		810	35	160	1992年度～1999年度　50、 1996年度～1999年度　50、 1999年度　100
経済学部経済学科		810	35	50	1992年度～1999年度　50、 1996年度～1999年度　50、 1999年度　100
経営学部経営学科		780	35	100	1992年度～1999年度　50、 1996年度～1999年度　50、 1999年度　70
産業社会学部産業社会学科		820	40		1991年度～1999年度　80、 1996年度～1999年度　50、 1999年度　100
文学部	哲学科	140		40	1996年度～1999年度　30
	文学科	360	20	40	1991年度～1999年度　40、 1996年度～1999年度　50
	史学科	260	15	40	1991年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　40
	地理学科	130	5		1992年度～1999年度　40
	計	890	40	120	
理工学部	数学物理学科	130			1992年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　10、 1999年度　10

	化学科	140			1992年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　20、 1999年度　10
	電気電子工学科	140			1992年度～1999年度　30、 1997年度～1999年度　20、 1999年度　10
	機械工学科	140			1992年度～1999年度　30、 1997年度～1999年度　20、 1999年度　10
	土木工学科	130			1992年度～1999年度　30、 1996年度～1999年度　20、 1999年度　10
	情報学科	260			1992年度～1999年度　30、 1998年度～1999年度　20、 1999年度　10
	生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			
	光工学科	100			
	ロボティクス学科	100			
	計	1,310			
国際関係学部国際関係学科		230	30		1992年度～1999年度　20、 1998年度～1999年度　40、 1999年度　10
政策科学部政策科学科		300	50		
合計		5,950	265	430	

編入学定員は、３年次を原則とする。

産業社会学部、文学部地理学科、国際関係学部、政策科学部および理工学部の定員は昼間主コースの欄に記載。

情報学科の期間付き入学定員は情報工学科より振り替えたものである。

附　則（1999年１月22日法学部・経済学部・経営学部・産業社会学部および文学部夜間主コースにおける、外国語科目の再整理、認定用科目の追加に伴う学則変更）

本学則は、1999年４月１日から施行する。

ただし、科目受講に関しては、1992年度入学生から適用する。

附　則（1999年１月22日政策科学部副専攻「教育学コース」導入に伴う変更）

この学則は1999年４月１日から施行する。

附　則（1999年３月26日新昼夜開講制に伴う学部専門科目の別表化に伴い、「放送大学科目」の学則上の扱いの変更）

この学則は1999年４月１日から施行する。

附　則（1999年３月26日法学部昼間主コースカリキュラム改革並びに夜間主コース抜本改革の実施に伴う変更）

この学則は、1999年４月１日から施行する。

ただし、その一部については1998年度以前入学者にも適用することとし、詳細は別途定める。

附　則（1999年３月26日経済学部新昼夜開講制導入による受講制度改正に伴う変更）

この学則は、1999年４月１日から施行する。

ただし、その一部については1998年度以前入学者にも適用することとし、詳細は別途定める。

附　則（1999年３月26日経営学部新昼夜開講制導入による受講制度改革に伴う変更）

この学則は、1999年４月１日から施行する。

ただし、その一部については1998年度以前入学者にも適用することとし、詳細は別途定める。

附　則（1999年３月26日国際関係学部専門外国語等のカリキュラム改革等に伴う一部変更）

この学則は、1999年４月１日から施行する。

ただし、1998年度以前入学者にもその一部を適用することとし、その適用範囲については別に定める。

附　則（1999年３月26日基礎科目（理工学部）の単位数の一部変更および理工学部他学部受講制度導入に伴う変更）

この学則は1999年４月１日から施行する。

ただし第19条の２については1998年度入学生より、第61条については1992年度入学生よ

り、第61条の２については1998年度入学生より適用する。

附　則（1999年４月23日産業社会学部ボランティアコーディネーター養成プログラム開設に伴う一部変更）

この学則は1999年４月23日から施行する。

ただし、1998年度以前入学者にも適用することとする。

なお、その適用の範囲は別途定める。

附　則（1999年５月28日理工学部化学科および生物工学科の学科名称および一部科目名・単位数の変更に伴う一部変更）

この学則は2000年４月１日から施行する。

２　（理工学部化学科および生物工学科の存続に関する経過措置）

理工学部化学科および生物工学科は、変更後の学則の規定にかかわらず2000年３月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（1999年６月25日副専攻カリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は1999年６月25日から施行し、1999年４月１日から適用する。

ただし、1997年度以前の入学者にも該当設置科目を追加して適用する。

附　則（1999年７月９日理工学部数理科学科および物理科学科設置に伴う一部変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

２　（理工学部数学物理学科の存続に関する経過措置）

理工学部数学物理学科は、変更後の学則の規定にかかわらず2000年３月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（1999年７月９日期間を付した入学定員の廃止に伴う私立大学の恒常的入学定員の増加および期間を付した入学定員の設定に係る学則変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

２　本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類	2000年度から2003年度までの入学定員				昼間主コースの期間付入学定員（入学定員の内数）とその年度
	入学定員		編入学定員	入学定員	
	昼間主コース			夜間主コース	
法学部法学科	2000年度	800	35	160	
	2001年度				

		2002年度				
		2003年度				
経済学部経済学科		2000年度	790	35	50	2000年度　80
		2001年度	770			2001年度　60
		2002年度	750			2002年度　40
		2003年度	730			2003年度　20
経営学部経営学科		2000年度	763	35	100	2000年度　68
		2001年度	746			2001年度　51
		2002年度	729			2002年度　34
		2003年度	712			2003年度　17
産業社会学部産業社会学科		2000年度	789	40	100	2000年度　129
		2001年度	752			2001年度　92
		2002年度	716			2002年度　56
		2003年度	679			2003年度　19
文学部	哲学科	2000年度	140	0	40	2000年度　30
		2001年度	110			
		2002年度				
		2003年度				
	文学科	2000年度	350	20	40	2000年度　50
		2001年度	346			2001年度　46
		2002年度	327			2002年度　27
		2003年度	309			2003年度　9
	史学科	2000年度	260	15	40	2000年度　30
		2001年度	259			2001年度　29
		2002年度	247			2002年度　17
		2003年度	235			2003年度　5
	地理学科	2000年度	108	5	40	2000年度　18
		2001年度	107			2001年度　17
		2002年度	101			2002年度　11
		2003年度	95			2003年度　5

	計	2000年度	858	40	120	2000年度　128
		2001年度	822			2001年度　92
		2002年度	785			2002年度　55
		2003年度	749			2003年度　19
理工学部	応用化学科	2000年度	125			2000年度　30
		2001年度	120			2001年度　25
		2002年度	115			2002年度　20
		2003年度	105			2003年度　10
	電気電子工学科	2000年度	135			2000年度　25
		2001年度	125			2001年度　15
		2002年度	115			2002年度　5
		2003年度	115			2003年度　5
	機械工学科	2000年度	135			2000年度　25
		2001年度	125			2001年度　15
		2002年度	115			2002年度　5
		2003年度	110			
	土木工学科	2000年度	125			2000年度　30
		2001年度	120			2001年度　25
		2002年度	115			2002年度　20
		2003年度	105			2003年度　10
	情報学科	2000年度	240			2000年度　30
		2001年度	235			2001年度　25
		2002年度	230			2002年度　20
		2003年度	220			2003年度　10
	化学生物工学科	2000年度	80			
		2001年度				
		2002年度				
		2003年度				
	環境システム工学科	2000年度	90			
		2001年度				

		2002年度				
		2003年度				
	光工学科	2000年度	100			
		2001年度				
		2002年度				
		2003年度				
	ロボティクス学科	2000年度	100			
		2001年度				
		2002年度				
		2003年度				
	数理科学科	2000年度	65			
		2001年度				
		2002年度				
		2003年度				
	物理科学科	2000年度	80			
		2001年度				
		2002年度				
		2003年度				
	計	2000年度	1,275			2000年度　140
		2001年度	1,240			2001年度　105
		2002年度	1,205			2002年度　70
		2003年度	1,170			2003年度　35
国際関係学部国際関係学科		2000年度	230	30		2000年度　35
		2001年度				2001年度　35
		2002年度				2002年度　35
		2003年度				2003年度　35
政策科学部政策科学科		2000年度	300	50		
		2001年度				
		2002年度				
		2003年度				

合計	2000年度	5,805	265	570	2000年度　580
	2001年度	5,660			2001年度　435
	2002年度	5,515			2002年度　290
	2003年度	5,370			2003年度　145

編入学定員は、３年次を原則とする。

国際関係学部、政策科学部および理工学部の定員は昼間主コースの欄に記載。

附　則（2000年３月24日教職課程再課程認定申請等に伴う変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2000年３月24日学則第19条の２の(1)の科目表に「社会と正義」「民族と国家」を新設するための学則の一部変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2000年３月24日他大学における学修等の認定単位数の拡大、専修学校の専門課程での修得単位の認定および専修学校の専門課程卒業者に編入資格を認めることに伴う変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2000年３月24日学芸員課程カリキュラム変更のための変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2000年３月24日学則第53条別表の昼間主コース・夜間主コース科目の統一および整理のための科目名称変更・廃止および科目の新設に伴う変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

ただし、1999年度以前の入学者にも適用する。

附　則(2000年３月24日学則第53条別表に文学部英語副専攻を新設するための変更)

この学則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2000年３月24日学則第53条別表の科目分野を整理するための変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2000年３月24日法学部昼間主コース、産業社会学部昼間主コース、国際関係学部､政策科学部および文学部昼間主コースにおける国際インスティテュート設置に伴う変更）

この学則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2000年５月26日産業社会学部人間福祉学科、文学部心理学科の設置に伴う変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

附　則（2000年７月14日産業社会学部産業社会学科のカリキュラム改正のための変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

附　則（2000年７月14日文学部教育人間学専攻設置、哲学専攻カリキュラム変更、昼夜カリキュラム一本化に伴う変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

ただし、2000年度以前の入学者にも適用する。

附　則（2000年７月28日理工学部光工学科の学科名称変更に伴う一部変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

２　（理工学部光工学科の存続に関する経過措置について）

理工学部光工学科は、変更後の学則の規定に係わらず、2001年３月31日に当該学科に在学するものが、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（2000年７月28日理工学部情報工学科廃止に伴う一部変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

附　則（2000年９月29日理工学部電気電子工学科、機械工学科、情報学科、環境システム工学科、光工学科及びロボティクス学科のカリキュラム変更に伴う科目名・単位数の一部変更および理工学部副専攻マイクロエレクトロニクス・コース設置に伴う変更）

この学則は、2000年９月29日から施行し、2000年度入学生から適用する。

附　則（2000年12月22日経済学部、経営学部、理工学部インスティテュートのカリキュラム整備・改革にともなう一部変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

なお、2000年度以前入学者についても、2001年度以降開講の同科目はこの規程に拠る。

附　則（2001年３月23日立命館アジア太平洋大学等の設置、昼夜開講制の拡大、役職名等の変更、学則第19条の２および第19条の３の科目名等の新設・変更・削除ならびに別表化、カリキュラム改正に伴う学則の一部変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

附　則（2001年３月23日産業社会学部人間福祉学科及び文学部心理学科新設に係る教職課程認定申請に伴う変更ならびに教科「情報」「福祉」の新設に係る教職課程認定申請に伴う変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

附　則（2001年３月23日国際関係学部カリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は、2001年４月１日から施行する。

附　則（2001年６月22日理工学部情報学科の定員増にともなう学則変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

２　本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		2002年度から2003年度までの入学定員				昼間主コースの期間付入学定員（入学定員の内数）とその年度
			入学定員	編入学定員	入学定員	
			昼間主コース		夜間主コース	
法学部法学科		2002年度	800	35	160	
		2003年度				
経済学部経済学科		2002年度	750	35	50	2002年度　40
		2003年度	730			2003年度　20
経営学部経営学科		2002年度	729	35	100	2002年度　34
		2003年度	712			2003年度　17
産業社会学部	産業社会学科	2002年度	716	40	100	2002年度　56
		2003年度	679			2003年度　19
	人間福祉学科	2002年度	200	30		
		2003年度				
	計	2002年度	916	70	100	2002年度　56
		2003年度	879			2003年度　19
文学部	哲学科	2002年度	110		40	
		2003年度				
	文学科	2002年度	327	20	40	2002年度　27
		2003年度	309			2003年度　9
	史学科	2002年度	247	15	40	2002年度　17
		2003年度	235			2003年度　5
	地理学科	2002年度	101	5	40	2002年度　11

		2003年度	95			2003年度　5
	心理学科	2002年度	150	30		
		2003年度				
	計	2002年度	935	70	160	2002年度　55
		2003年度	899			2003年度　19
理工学部	応用化学科	2002年度	115			2002年度　20
		2003年度	105			2003年度　10
	電気電子工学	2002年度	115			2002年度　5
	科	2003年度	115			2003年度　5
	機械工学科	2002年度	115			2002年度　5
		2003年度	110			
	土木工学科	2002年度	115			2002年度　20
		2003年度	105			2003年度　10
	情報学科	2002年度	460			2002年度　20
		2003年度	450			2003年度　10
	化学生物工学	2002年度	80			
	科	2003年度				
	環境システム	2002年度	90			
	工学科	2003年度				
	電子光情報工	2002年度	100			
	学科	2003年度				
	ロボティクス	2002年度	100			
	学科	2003年度				
	数理科学科	2002年度	65			
		2003年度				
	物理科学科	2002年度	80			
		2003年度				
	計	2002年度	1,435			2002年度　70
		2003年度	1,400			2003年度　35
国際関係学部国際関係学科		2002年度	230	30		2002年度　35

	2003年度				2003年度　35
政策科学部政策科学科	2002年度	300	50		
	2003年度				
合計	2002年度	6,095	325	570	2002年度　290
	2003年度	5,950			2003年度　145

附　則（2001年９月28日科目等履修生の受講要件の変更に伴う変更）

この学則は、2001年９月28日から施行し、2001年４月１日から適用する。

附　則（2002年３月８日第29条別表の一部変更に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

附　則（2002年３月８日経済学部2002年度以降入学生対象のカリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

ただし、2001年度以前入学者についても新設科目「アドバンスト・プログラムⅦ」、「アドバンスト・プログラムⅧ」は遡及して適用する。

附　則（2002年３月８日経営学部2002年度以降入学生対象のカリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

附　則（2002年３月８日産業社会学部科目名称変更に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

ただし、第49条の２別表については、1994年度入学者より適用する。

附　則（2002年３月８日国際関係学部カリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

ただし、2001年度以前入学者にもその一部を適用することとし、その適用範囲については別途定める。

附　則（2002年３月８日政策科学部カリキュラム改革に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

附　則（2002年３月８日文学部専門科目の一部変更に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

ただし、イタリア文化プログラム以外の変更は2001年度以前の入学者にも適用する。

附　則（2002年３月８日理工学部外国語改革に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行し、2002年度入学生より適用する。

ただし、外国語改革で追加された「実践英語」は、2000年度以降入学生にも当該設置科目に追加して適用する。

附　則（2002年３月29日セメスター期間の変更および社会福祉士国家試験受験資格取得要件の修正に伴う変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

ただし、第51条第３項については、2001年度入学者より適用する。

附　則（2002年３月26日夜間時間帯一般教育・基礎科目カリキュラムに伴う学則第19条の２別表の変更）

この学則は、2002年４月１日から施行する。

ただし、学則第19条の２別表(1)一般教育科目（法学部、経済学部および経営学部）、基礎科目（産業社会学部、文学部および国際関係学部）の内、次の科目については在校生にも適用する。

企業と社会、経済学、現代の福祉、哲学Ⅰ、歴史学Ⅰ、心理学Ⅰ、科学技術史Ⅰ、ジェンダー論、情報リテラシー、社会学、歴史学

附　則（2002年３月26日教職科目カリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則（別表）は、2002年４月１日から施行する。

附　則（2002年４月12日文理総合インスティテュートのカリキュラム整備・改革にともなう一部変更）

この学則は、2002年４月12日から施行し、2002年４月１日から適用する。

ただし、2001年度以前入学者についても、「コミュニティ・デザイン」「エコマテリアルⅠ」「生活福祉経済論」および「エコマテリアルⅡ」は遡及して適用する。

附　則（2002年６月14日理事会議案第21号および2002年10月28日文部科学大臣認可による電気電子工学科および電子光情報工学科の定員増に伴う変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

２　本学則第16条の規定にかかわらず、入学定員および編入学定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類	2003年度の入学定員			2003年度昼間主コースの期間付入学定員（入学定員の内数）
	入学定員	編入学定員	入学定員	
	昼間主コース		夜間主コース	
法学部法学科	800	35	160	
経済学部経済学科	730	35	50	20

経営学部経営学科		712	35	100	17
産業社会学部	産業社会学科	679	40	100	19
	人間福祉学科	200	300		
	計	879	70	100	19
文学部	哲学科	110		40	
	文学科	309	20	40	9
	史学科	235	15	40	5
	地理学科	95	5	40	5
	心理学科	150	30		
	計	899	70	160	19
理工学部	応用化学科	105			10
	電気電子工学科	165			5
	機械工学科	110			
	土木工学科	105			10
	情報学科	450			10
	化学生物工学科	80			
	環境システム工学科	90			
	電子光情報工学科	150			
	ロボティクス学科	100			
	数理科学科	65			
	物理科学科	80			
	計	1,500			35
国際関係学部 国際関係学科		230	30		35
政策科学部 政策科学科		300	50		
合計		6,050	325	570	145

附　則（2002年12月13日文学部のカリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

ただし、人文総合科学インスティテュート・学際プログラム教学改革に伴う変更は2002年度以前入学生にも適用し、テーマリサーチ型ゼミナール科目新設に伴う変更は2001年度以降入学生にも適用する。

附　則（2003年１月24日文学部に図書館司書課程および学校図書館司書教諭課程を設置することに伴う変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

附　則（2003年３月20日、2001年１月６日省庁再編による職名変更による一部変更）

この学則は、2003年３月20日から施行し、2001年１月６日から適用する。

附　則（2003年３月26日法学部インターンシップ科目およびAPU交流科目の設置に伴うならびにカリキュラム改革の前倒し措置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

２　インターンシップ科目の適用は2000年度以降の入学生とし、APU交流科目の適用は2002年度以降の在学生とする。

３　カリキュラム改革の前倒し措置の適用は、2003年度入学生からとする。

附　則（2003年３月26日経済学部インターンシップ科目およびAPU交流科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

ただし、インターンシップ科目は2000年度入学生より適用する。

また、APU交流科目は、2002年度以降在学生より適用する。

附　則（2003年３月26日経営学部インターンシップ科目およびAPU交流科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

ただし、インターンシップ科目の適用は2000年度以降の入学生とし、APU交流科目の適用は、2002年度以降の在学生とする。

附　則（2003年３月26日産業社会学部インターンシップ科目およびAPU交流科目の設置ならびに精神保健福祉士課程の設置等に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

ただし、インターンシップ科目の適用は、2000年度以降の入学生とし、APU交流科目の適用は、2002年度以降の在学生とする。

附　則（2003年３月26日国際関係学部カリキュラム改革およびインターンシップ科目ならびにAPU交流科目の設置に伴う一部変更）

この学則は2003年４月１日から施行する。

２　インターンシップ科目の適用は2000年度以降の入学生とし、APU交流科目の適用は、2002年度以降の在学生とする。

３　カリキュラム改革の適用は、2002年度以前の入学生にもその一部を適用し、その適用範囲については別途定める。

附　則（2003年３月26日政策科学部インターンシップ科目およびAPU交流科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

ただし、インターンシップ科目の適用は2000年度以降の入学生とし、APU交流科目の適用は、2002年度以降の在学生からとする。

附　則（2003年３月26日インターンシップ科目およびAPU交流科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

ただし、インターンシップ科目の適用は2000年度以降の入学生とし、APU交流科目の適用は、2002年度以降の在学生とする。

附　則（2003年３月26日理工学部APU交流科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行し、2002年度以降の在学生より適用する。

附　則（2003年３月26日インターンシップ科目およびAPU交流科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

ただし、インターンシップ科目の適用は2000年度以降の入学生とし、APU交流科目の適用は2002年度以降の在学生とする。

附　則（2003年３月26日副専攻「朝鮮語コミュニケーションコース」および経済学部・経営学部に副専攻「スペイン語コミュニケーションコース」を開設することに伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日より施行し、2003年度以降の入学生から適用する。

附　則（2003年３月28日立命館宇治中学校設置および産業社会学部に精神保健福祉士課程設置に伴う一部変更）

この学則は、2003年４月１日から施行する。

附　則（2003年３月28日理事会議案第73号および2003年５月17日文部科学省届出による立命館大学情報理工学部設置にともなう学則の一部改正）

この学則は、2004年４月１日より施行する。

附　則（2003年４月25日文学部人文学科を設置することに伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日から施行する。

附　則（2003年４月25日文学部人文学科を設置することに伴う一部変更）

この学則（別表）は、2004年４月１日から施行する。

附　則（2003年４月25日理事会議案第８号および2003年５月26日文部科学省届出による学部間の定員振替および昼間主コース、夜間主コース、編入学定員の統合に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日から施行する。

附　則（2003年５月23日外国語科目としてのロシア語および選択外国語初修外国語科目の廃止に伴う一部変更）

この学則は、2003年５月23日に施行し、2003年４月１日から適用する。

附　則（2003年５月23日国際インスティテュートカリキュラム改革に伴う一部変更）

1　この学則は、2003年５月23日に施行し、2003年４月１日から適用する。

2　ただし、適用は2003年度入学生からとする。

3　２にかかわらず、2002年度以前入学生にもその一部を適用し、その範囲は別に定める。

4　１～３にかかわらず、専門ドイツ語Ⅰ～Ⅶの変更については、2002年４月１日から適用する。

附　則（2003年５月23日専門アラビア語Ⅰ～Ⅳ単位数の変更に伴う一部変更）

この学則は、2003年５月23日から施行し、2003年度４月１日から適用する。

附　則（2003年６月27日理事会議案第25号および2003年７月24日文部科学大臣届出による立命館大学理工学部電子情報デザイン学科、マイクロ機械システム工学科、建築都市デザイン学科の設置、理工学部土木工学科の学科名称変更および文部科学省認可による収容定員増等に伴う学則変更）

この学則は、2004年４月１日から施行する。

附　則（2003年７月25日文学部人文学科、理工学部電子情報デザイン学科、マイクロ機械システム工学科、建築都市デザイン学科、情報理工学部設置に係る教職課程認定申請および昼間主コース定員、夜間主コース定員の統合化および理工学部土木工学科の学科名称変更に係る教職課程の変更届出ならびに理工学部情報学科の募集停止に伴う学則の一部変更）

1　この学則は、2004年４月１日から施行する。

2　以下に掲げる学部・学科にあっては、存続している間取得できる教育職員免許状の種類および教科は、次の通りとする。

法学部　法学科　昼間主コース・夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

　高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民

経済学部　経済学科　昼間主コース・夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

　高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民

経営学部　経営学科　昼間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

　高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民、商業

経営学部　経営学科　夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

　高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民

産業社会学部　産業社会学科　昼間主コース・夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

　高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民

文学部　哲学科　昼間主コース・夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

　高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民

文学部　文学科　昼間主コース

　中学校教諭一種免許状　国語、英語

　高等学校教諭一種免許状　国語、英語

文学部　文学科　夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　国語

　高等学校教諭一種免許状　国語

文学部　史学科　昼間主コース・夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

　高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民

文学部　地理学科　昼間主コース・夜間主コース

　中学校教諭一種免許状　社会

高等学校教諭一種免許状　地理歴史、公民

理工学部　情報学科

中学校教諭一種免許状　数学

高等学校教諭一種免許状　数学、工業

理工学部　土木工学科

高等学校教諭一種免許状　工業

附　則（2004年３月12日情報理工学部教職課程設置にともなう教科に関する科目別表ならびに教職科目カリキュラム改革に伴なう教職に関する科目別表の一部変更）

この学則（別表）は、2004年４月１日より施行し、2004年度入学生より適用する。

なお、2003年度以前入学生については、別途各学部の履修要項（教職課程）に定める。

附　則（2004年３月12日キャリア形成科目設置に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日より施行し、2001年度入学生より適用する。

附　則（2004年３月12日キャリア形成科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日より施行し、2001年度入学生より適用する。

附　則（2004年３月12日インターンシップ科目およびキャリア形成科目の設置、カリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は、2004年４月１日より施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は、法学部履修要項に定める。

附　則（2004年３月12日インターンシップ科目の設置およびカリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は2004年４月１日から施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は、経済学部履修要項に定める。

附　則（2004年３月12日カリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は、2004年４月１日より施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は、国際関係学部履修要項に定める。

附　則（2004年３月12日インターンシップの履修上の取り扱いの変更、教職課程認定のための科目の変更などに伴う変更）

この学則は、2004年４月１日から施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は、文学部履修要項に定める。

附　則（2004年３月12日人文学科設置によるカリキュラムの変更に伴う変更）

この学則は、2004年４月１日より施行し、2004年度入学生より適用する。

附　則（2004年３月12日カリキュラム改正およびMOT入門科目および自由選択科目の設置に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日から施行する。

ただし2003年度以前の入学生の適用範囲については履修要項に定める。

附　則（2004年３月25日ファイナンスインスティテュートの名称変更、カリキュラム改革および全学インターンシップ科目の設置にともなう一部変更）

この学則は2004年４月１日より施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は、経済学部、経営学部、理工学部の履修要項に定める。

附　則（2004年３月25日BKC外国語副専攻改革、文理総合インスティテュートのカリキュラム整備・改革に伴う変更）

この学則は、2004年４月１日より施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用については経済学部・経営学部・理工学部の履修要項に定める。

附　則（2004年３月25日教養教育カリキュラム改革に伴う変更）

この学則別表は、2004年４月１日から施行し、同日以降の入学生から適用する。

ただし、2003年度以前の入学生が改正後の第19条の２別表(1)または(3)に定める科目の単位を修得したときは、学部が定めるところに従い、これを一般教育科目、基礎科目または基礎教育科目として認定することができる。

附　則（2004年３月26日産業社会学部精神保健福祉士課程の設置に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日より施行し、2001年度入学生より適用する。

附　則（2004年３月26日教養教育カリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日から施行し、同日以降の入学生から適用する。

ただし、2003年度以前の入学生が改正後の第19条の２別表(1)または(3)に定める科目の単位を修得したときは、学部が定めるところに従い、これを一般教育科目、基礎科目または基礎教育科目として認定することができる。

附　則（2004年３月26日初修外国語学力回復科目の設置、総合人間学プログラムの廃止および放送大学との単位互換協定締結に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日から施行する。

附　則（2004年３月26日法学部昼間主コースおよび夜間主コースの統合にともなう一部変更）

この学則は、2004年４月１日より施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は、法学部履修要項に定める。

附　則（2004年３月26日理工学部の卒業に必要な単位数の変更に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月１日から施行する。

ただし2003年度以前の入学生の適用範囲については理工学部履修要項に定める。

附　則（2004年３月26日情報理工学部教職課程設置にともなう一部変更）

この学則は、2004年４月１日より施行する。

附　則（2004年４月23日国際インスティテュートカリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は、2004年４月23日より施行し、2004年４月１日より適用する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は履修要項に定める。

附　則（2005年３月11日英語コミュニケーションコースの廃止および「教職に関する科目」のカリキュラム改革、文学部人文学科、理工学部新設３学科および情報理工学部設置に係る教職課程認定申請に伴う一部変更）

この学則は2005年４月１日から施行する。

ただし、教育学コースの変更は2004年４月１日から適用する。

附　則（2005年３月11日）

１　この学則は2005年４月１日から施行する。

２　適用は2005年度入学生からとする。

３　２にかかわらず、2004年度以前入学生にもその一部を適用し、その範囲は履修要項に定める。

附　則（2005年３月11日インターンシップ科目およびボランティアコーディネータープログラムの設置､カリキュラム改革進行にともなう新規科目開設にともなう一部変更）

この学則は、2005年４月１日から施行する。

ただし、2004年度以前の入学生の適用範囲は、法学部履修要項に定める。

附　則（2005年３月11日カリキュラムの一部変更に伴う設置科目の追加に係わる変更）

この学則は、2005年４月１日から施行し、2005年度入学生から適用する。

附　則（2005年３月11日キャリア形成科目の設置科目の追加に係わる改正）

この学則は、2005年４月１日から施行する。

ただし、2003年度以前入学生の適用範囲は、履修要項に定める。

附　則（2005年３月11日キャリア形成科目設置に伴う一部変更）

この学則は、2005年４月１日から施行する。

ただし、2003年度以前の入学生の適用範囲は、履修要項に定める。

附　則（2005年３月11日2005年度産業社会学部カリキュラム改革による設置科目の改編､国際社会コースならびに国際福祉コースの設置および学部英語副専攻の開設にともなう一部変更）

この学則は、2005年４月１日から施行する。

ただし、2004年度以前の入学生の適用範囲は、産業社会学部履修要項に定める。

附　則（2005年３月11日文学部心理学科のカリキュラムの改革、公務員進路プログラム・ボランティアコーディネーター養成プログラム開設等に伴う変更）

この学則は、2005年４月１日から施行する。

ただし、2004年度以前の入学生の適用範囲は、文学部履修要項に定める。

附　則（2005年３月11日カリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は、2005年４月１日から施行する。

ただし、2004年度以前の入学生の適用範囲は、国際関係学部履修要項に定める。

附　則（2005年３月25日経済学部国際経済学科設置、経営学部国際経営学科設置、および文学部学科改編に伴う一部変更）

１　この学則は、2006年４月１日から施行する。

（文学部心理学科の存続に関する経過措置について）

２　文学部心理学科は、変更後の学則の規定にかかわらず、2006年３月31日に当該学科に在学するものが、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（2005年３月25日国際経済学科設置、および経済学科カリキュラム改革に係わる変更）

本規程は2006年４月１日から施行し、2006年度入学生から適用する。

附　則（2005年３月25日国際経営学科設置、および経営学科カリキュラム改革に伴う改正）

本規程は2006年４月１日から施行する。

附　則（2005年３月25日文学部学科改編に伴う変更）

本規程は2006年４月１日から施行する。

附　則（2005年５月27日インスティテュートカリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は2005年５月27日から施行し、2005年度入学者より適用する。

附　則（2005年７月15日理工学部数理科学科から経済学部経済学科への定員の振替えに伴う学則の一部変更）

この学則は2006年４月１日から施行する。

附　則（2005年７月15日経済学部国際経済学科ならびに経営学部国際経営学科の設置に係る教職課程認定申請、文学部心理学科の学生募集停止と人文学科への定員振替に係る教職課程認定変更の届出に伴う、学則の一部変更）

１　この学則は、2006年４月１日から施行する。

２　以下に掲げる学部・学科にあっては、存続している間取得できる教育職員免許状の種類および教科は、次の通りとする。

文学部　心理学科

中学校教諭一種免許状　社会

高等学校教諭一種免許状　公民

附　則（2005年11月25日産学協同アントレプレナー教育プログラムの新設に伴う一部変更）

この学則は、2005年11月25日から施行し、2005年４月１日から適用する。

ただし、産学協同アントレプレナー教育プログラム科目は、2004年度入学生から適用する。

附　則（2006年１月27日学費納付規程および同施行細則に記載されている学費額を立命館大学学則へ記載変更する。また、立命館大学の2006年度学費額変更に伴い一部変更する。）

この学則は、2006年４月１日から施行する。

附　則（2006年３月10日）

１　この学則は2006年４月１日から施行する。

２　前項にかかわらず、2005年度以前入学生にもその一部を適用する場合がある。その範囲は履修要項に定める。

附　則（2006年３月10日インターンシップ科目追加、カリキュラム改革進行、ボランティア教育関連科目の新規開設に伴う一部変更）

この学則は、2006年４月１日より施行する。

ただし、2004年度以前の入学生の適用範囲は、法学部履修要項に定める。

附　則（2006年３月10日2006年度経済学科カリキュラム改革による設置科目の整理、2006年度国際経済学科開設による設置科目の整理、コーオプ演習の設置に伴うに係

わる一部変更）

この学則は2006年４月１日から施行する。

ただし、2005年度以前の入学生の適用範囲は、経済学部履修要項に定める。

附　則（2006年３月10日経営学部海外留学科目新設に伴う一部変更）

この学則は2006年４月１日から施行する。

附　則（2006年３月10日日本語教育プログラムの設置、公務員進路プログラムの設置、コーオプ演習の設置、ボランティア教育関連科目の新規開設および社会調査士課程のカリキュラム変更による設置科目の改編に伴う一部変更）

この学則は、2006年４月１日から施行する。

ただし、2005年度以前の入学生の適用範囲は、産業社会学部履修要項に定める。

附　則（2006年３月10日国際関係学部カリキュラム改革に伴う一部変更）

この規程は、2006年４月１日から施行する。

ただし、2005年度以前の入学生の適用範囲は、国際関係学部履修要項に定める。

附　則（2006年３月10日文学部カリキュラム改革および教職課程カリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は、2006年４月１日から施行する。

ただし、2005年度以前の入学生の適用範囲は、文学部履修要項に定める。

附　則（2006年３月10日政策科学部2006年度カリキュラム改革、ボランティア教育関連科目の新規開設に伴う一部変更）

この学則は、2006年４月１日から施行する。

ただし、2005年度以前の入学生の適用範囲は、政策科学部履修要項に定める。

附　則（2006年３月24日早期卒業制度導入、立命館守山高等学校および立命館小学校の設置、「立命館アジア太平洋大学と立命館大学理工学部・情報理工学部連携プログラムの推進に関する諸施策について」（2006年１月25日常任理事会）による入学金の取扱いの変更に伴う一部変更）

この学則は、2006年４月１日から施行する。

附　則（2006年４月28日大学協議員の構成変更に伴う一部変更）

この学則は、2006年４月28日から施行し、2006年４月１日から適用する。

附　則（2006年４月28日映像学部映像学科設置に伴う一部変更）

この学則は、2007年４月１日から施行する。

附　則（2006年５月12日　教職課程科目カリキュラム改革に伴う一部変更）

この学則は、2006年５月12日から施行し、2006年４月１日から適用する。

ただし、2005年度以前入学生については、別途各学部の履修要項（教職課程）に定める。

附　則（2006年７月21日　現代社会学科の設置と産業社会学部産業社会学科および人間福祉学科の学生募集停止に伴う一部変更）

この学則は、2007年４月１日から施行する。

ただし、2006年度以前の入学生の適用範囲は、産業社会学部履修要項に定める。

附　則（2006年７月21日産業社会学部現代社会学科および映像学部設置に係る教職課程認定申請に伴う、学則の一部変更）

１　この学則は、2007年４月１日から施行する。

２　以下に掲げる学部・学科にあっては、存続している間取得できる教育職員免許状の種類および教科は、次の通りとする。

産業社会学部　産業社会学科

中学校教諭一種普通免許状　社会

高等学校教諭一種普通免許状　地理歴史、公民

産業社会学部　人間福祉学科

中学校教諭一種普通免許状　社会

高等学校教諭一種普通免許状　地理歴史、公民、福祉

養護学校一種免許状

附　則（2006年７月28日海外研修プログラムの単位認定に伴う一部変更）

この学則は、2006年７月28日から施行し、2006年４月１日から適用する。

附　則（2006年11月24日　学校教育法の一部を改正する法律（平成17年法律第83号）および大学設置基準等文部科学省令の施行ならびに立命館大学の2007年度学費額変更にともなう一部変更）

この学則は、2007年４月１日から施行する。

附　則（2007年１月26日　学校教育法の一部を改正する法律（平成17年法律第83号）および大学設置基準等文部科学省令の施行ならびに大学設置基準（平成13年文部科学省告示第51号「多様なメディアを高度に利用して当該授業を教室以外の場所で行うことができる」）の一部改正にともなう一部変更）

この学則は、2007年４月１日から施行する。

ただし、第19条第７項および第20条２第７項については2005年４月１日から遡及適用する。

附　則（2007年３月23日　条項の整理、産業社会学部の教育職員免許法改正にともなう一部変更､映像学部映像学科の教職課程および学芸員課程設置にともなう一部変更）

この学則は、2007年４月１日から施行する。

ただし、第19条の４、第51条の２および第51条の３の2006年度以前入学生の適用範囲は、産業社会学部履修要項に定める。

また教職に関わる科目別表の2006年度以前入学生の適用範囲は、別途各学部の履修要項（教職課程）に定める。

附　則（2008年１月25日　理工学部数学物理学科廃止に伴う一部変更）

この学則は、2008年１月25日から施行する。

附　則（2007年３月23日生命科学部設置に伴う一部変更）

１　この学則は、2008年４月１日から施行する。

（理工学部応用化学科､化学生物工学科および情報理工学部生命情報学科の存続に関する経過措置について）

２　理工学部応用化学科、化学生物工学科および情報理工学部生命情報学科は、変更後の学則の規定に関わらず、2008年３月31日現在に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（2007年５月25日生命科学部新設に係る教職課程認定申請に伴う、学則の一部変更）

１　この学則は、2008年４月１日から施行する。

２　以下に掲げる学部・学科にあっては、存続している間取得できる教育職員免許状の種類および教科は、次の通りとする。

理工学部　応用化学科

中学校一種免許状　理科

高等学校一種免許状　理科、工業

理工学部　化学生物工学科

中学校一種免許状　理科

高等学校一種免許状　理科、工業

情報理工学部　生命情報学科

中学校一種免許状　理科

高等学校一種免許状　理科、情報

附　則（2007年５月25日薬学部設置に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2007年５月25日総合理工学院の設置に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2007年６月８日薬学部設置申請に向けた文部科学省等への相談結果に基づく別表の一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2007年９月28日科目名および科目内容の整合性を高めるための一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2007年11月30日複数大学との学部共同学位プログラム協定締結および立命館大学の2008年度学費額変更に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2008年２月22日　2008年度教養教育改革にともなう科目新設および科目名の変更による立命館大学学則別表の一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、「教養ゼミナール」は2007年度以前入学生にも適用する。

附　則（2008年３月13日　2008年度からの法学部改革にともなう一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2007年度以前の入学生の適用範囲は、法学部履修要項に定める。

附　則（2008年３月13日　経営学部開講科目の変更に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2006年度以降入学生にも適用することとする。

附　則（2008年３月13日文学部副専攻の新規コース開設および科目名称変更にともなう別表の一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2008年３月13日　理工学部カリキュラム改定およびイングリッシュ・ディプロマ・コースの新設にともなう一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2007年度以前の入学生の適用範囲については、理工学部履修要項に定める。

附　則（2008年３月13日国際関係学部カリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2007年度の入学生にも遡及して適用する。

附　則（2008年３月13日政策科学部科目の新規開設にともなう一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2005年度以前の入学生の適用範囲は、政策科学部履修要項に定める。

附　則（2008年３月13日　学則への教育研究目標の明示にともなう別表条項の整理、生命科学部随意科目の開講および科目名称変更に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2008年３月13日　薬学部随意科目の開講に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2008年３月13日　国際インスティテュートカリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2007年度以前入学生にもその一部を適用する場合がある。

その範囲は履修要項に定める。

附　則（2008年３月13日　平成19年度現代GP「琵琶湖で学ぶMOTTAINAI共生学」の科目設置ならびにカリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2007年度以前の入学者の適用範囲は、履修要項に定める。

附　則（2008年３月13日　生命科学部の設置届出に係る教職課程認定申請にともなう一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

ただし、2007年度以前入学生については、別途各学部の履修要項（教職課程）に定める。

附　則（2008年３月13日　異文化理解セミナープログラム見直しに伴う一部変更）

この学則は2008年４月１日から施行し、2007年度以前入学生より適用する。

附　則（2008年３月28日　教育研究上の目的を明示することに伴う一部変更ならびに教育関連機構設置および総合理工学院設置に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2008年３月28日　理工学部情報学科に係る本則および附則の整理ならびに数学物理学科廃止に伴う一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

（理工学部情報学科の存続に関する経過措置について）

2　理工学部情報学科については、2004年３月31日を持って、学生募集を停止する。

3　理工学部情報学科は、変更後の学則の規定に関わらず、2004年３月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則（2008年３月28日　理工学部数学物理学科の廃止にともなう学費別表の一部変更）

この学則は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2008年４月25日　公務員進路プログラム関連科目群の再編および産業社会学部「初修外国語高度化科目」の開講に伴う第49条の２別表の一部変更）

この学則は、2008年４月25日から施行し、2008年４月１日から適用する。

附　則（2008年４月25日　公務員進路プログラム関連科目群の再編に伴う第53条別表の一部変更）

この学則は、2008年４月25日から施行し、2008年４月１日から適用する。

附　則（2008年４月25日　公務員進路プログラムおよびボランティアセンター関連科目群開設ならびに第73条の２の２別表と学芸員に関わる科目別表との重複整理等に伴う第19条の２別表および第73条の２の２別表の一部変更）

この学則は、2008年４月25日から施行し、2008年４月１日から適用する。

ただし、2007年度入学生にも適用する。

附　則（2008年５月９日　公務員プログラム科目の改編ならびに学則別表に記載もれのあった科目を記載することに伴う第66条の２別表の一部変更）

この学則は、2008年５月９日から施行し、2008年４月１日から適用する。

ただし、「企業研究」については2003年度以降の入学生から適用する。

附　則（2008年３月28日　法学部、国際関係学部および文学部における教学改革による収容定員変更に伴う一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

附　則（2008年11月28日立命館大学の2009年度学費額変更に伴う一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

附　則（2009年３月27日単位の取扱の整理および編入学、転入学、学士入学等の整理にともなう一部変更）

1　この学則は、2009年４月１日から施行する。

2　この学則の施行に伴い、昭和27年２月２日に定めた立命館大学転学・編入学に関する規程（規程第96号）は廃止する。

附　則（2009年３月27日国際教育推進機構設置および多様なメディアを高度に利用した科目の別表明示にともなう一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

附　則（2009年３月12日環境論コース廃止、外国語コミュニケーションコース再編にともなう別表の一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

ただし、2008年度入学生にも遡及して適用する。

附　則（2009年３月12日法学部における2006年度からの政策科学部カリキュラム改革および公務行政特修課程専門化プログラム対象科目の変更にともなう一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

ただし、政策科学部カリキュラム改革にともなう一部変更は2006年度入学生から遡及適用し、法学部カリキュラム改革にともなう一部変更は2008年度入学生から遡及適用する。

附　則（2009年３月12日産業社会学部における社会福祉士課程関連科目群の再編および精神保健福祉士課程科目群の再編に伴う第49条の２別表の一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

附　則（2009年３月12日国際関係学部カリキュラム改革にともなう一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

ただし、2008年度以前の入学生にも遡及して適用する。

附　則（2009年３月12日文学部人文学科人文総合科学インスティテュート京都学プログラムおよび言語コミュニケーションプログラムの設置、文学部副専攻「アジア太平洋コース」の募集停止、文学部人文学科人文総合科学インスティテュート学際プログラムのカリキュラム変更、文学部人文学科人文総合科学インスティテュート総合プログラムの募集停止、文学部人文学科人文総合科学インスティテュート国際プログラムのカリキュラム変更にともなう別表の一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

附　則（2009年３月12日政策科学部におけるPS-APUプログラム廃止にともなう一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

附　則（2009年３月12日映像学部における初年度より変更すべき科目等の是正ならびに教学内容の現代化による英語購読科目の新設にともなう第73条の２の２別表の一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

ただし、科目等の是正については2008年度以前の入学生にも適用する。

附　則（2009年３月12日文学部に「京都学プログラム」と「言語コミュニケーションプログラム」を開設することにともなう教職に関わる科目別表の一部変更）

この学則は、2009年４月１日から施行する。

ただし、2008年度以前入学生については、別途各学部の履修要項（教職課程）に定める。

附　則（2009年３月27日　スポーツ健康科学部設置にともなう一部変更）

この学則は、2010年４月１日から施行する。

附　則（2009年４月24日　文学部、理工学部および国際関係学部における３年次編入学定員の設定にともなう学則の一部変更）

この学則は、2010年４月１日から施行する。

附　則（2009年５月15日教養科目（B群）「スポーツ方法実習」の設置にともなう一部変更）

この学則は、2010年４月１日から施行し、2010年度入学者より適用する。

附　則（2009年５月15日スポーツ健康科学部設置に伴う一部変更）

この学則は、2010年４月１日より施行する。

附　則（2009年６月12日　異文化理解セミナーの認定単位数変更による産業社会学部英語副専攻カリキュラムへの「異文化理解セミナー」（２単位）の科目追加に伴う第49条の２別表の一部変更）

この学則は、2009年６月12日から施行し、2008年４月１日から適用する。

附　則（2010年１月22日校務の権限の明確化および教務諸規程と学則の整理に伴う一部変更）

１　この学則は2010年４月１日から施行する。ただし、第46条第５項および第53条第３号は2010年度入学生から適用する。

２　本学則第５条の規定にかかわらず、2010年度の学部および学科別学生の入学定員、編入学定員および収容定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		入学定員	3年次編入学定員	収容定員
法学部法学科		790		3,330
経済学部	経済学科	535		2,290
	国際経済学科	200		800

	計		735		3,090
経営学部	経営学科		610		2,590
	国際経営学科		150		600
	計		760		3,190
産業社会学部	現代社会学科	現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻	840		3,360
		子ども社会専攻	60		240
		計	900		3,600
文学部人文学科			1,102	6	4,363
理工学部	応用化学科		0		95
	電気電子工学科		94	2	386
	機械工学科		99	2	401
	都市システム工学科		84	2	341
	化学生物工学科		0		80
	環境システム工学科		69	2	281
	電子光情報工学科		79	2	321
	ロボティクス学科		79	2	321
	数理科学科		90		360
	物理科学科		80		320
	電子情報デザイン学科		74	2	321
	マイクロ機械システム工学科		74	2	306
	建築都市デザイン学科		70		280
	計		892	16	3,813
国際関係学部国際関係学科			302	6	1,163
政策科学部政策科学科			360		1,440

情報理工学部	情報システム学科	110		455
	情報コミュニケーション学科	110		455
	メディア情報学科	110		455
	知能情報学科	110		455
	生命情報学科	0		60
	計	440		1,880
映像学部映像学科		150		600
薬学部薬学科		100		300
生命科学部	応用化学科	80		240
	生物工学科	80		240
	生命情報学科	60		180
	生命医科学科	60		180
	計	280		840
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科		220		220
合計		7,031	28	27,829

附　則（2010年３月26日　学費減免、学費および諸費の返還ならびに科目等履修料等の整理に伴う一部変更）

この学則は、2010年４月１日から施行する。

附　則（2010年９月24日　別表１―３への条項追加に伴う一部改正）

この学則は、2010年９月26日から施行する。

附　則（2011年１月28日　転籍の単位認定に関する準用条項の追加に伴う一部変更）

１　この学則は、2011年４月１日から施行する。

２　本学則第５条の規定にかかわらず、2011年度の学部および学科別学生の入学定員、編入学定員および収容定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		入学定員	3年次編入学定員	収容定員
法学部法学科		790		3,245
経済学部	経済学科	535		2,240
	国際経済学科	200		800
	計	735		3,040

経営学部	経営学科		610		2,540
	国際経営学科		150		600
	計		760		3,140
産業社会学部	現代社会学科	現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻	840		3,360
		子ども社会専攻	60		240
		計	900		3,600
文学部人文学科			1,102	6	4,396
理工学部	電気電子工学科		94	2	382
	機械工学科		99	2	402
	都市システム工学科		84	2	342
	環境システム工学科		69	2	282
	電子光情報工学科		79	2	322
	ロボティクス学科		79	2	322
	数理科学科		90		360
	物理科学科		80		320
	電子情報デザイン学科		74	2	302
	マイクロ機械システム工学科		74	2	302
	建築都市デザイン学科		70		280
	計		892	16	3,616
国際関係学部国際関係学科			302	6	1,196
政策科学部政策科学科			360		1,440
情報理工学部	情報システム学科		110		440
	情報コミュニケーション学科		110		440
	メディア情報学科		110		440
	知能情報学科		110		440
	計		440		1,760
映像学部映像学科			150		600

薬学部薬学科		100		400
生命科学部	応用化学科	80		320
	生物工学科	80		320
	生命情報学科	60		240
	生命医科学科	60		240
	計	280		1,120
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科		220		440
合計		7,031	28	27,993

附　則（2011年３月25日　文学部の入学定員等の変更、理工学部電子情報デザイン学科の電子情報工学科への名称変更および理工学部の学科再編による定員変更等に伴う一部変更）

１　この学則は、2012年４月１日から施行する。

２　理工学部電子光情報工学科およびマイクロ機械システム工学科は、2012年３月31日をもって学生募集を停止する。

３　理工学部電子光情報工学科、電子情報デザイン学科およびマイクロ機械システム工学科は、変更後の学則の規定にかかわらず、2012年３月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

４　前項にかかわらず、理工学部電子光情報工学科、電子情報デザイン学科およびマイクロ機械システム工学科は、2012年４月１日以後においても、当該学科に在学する者の属する年次には、転入学、編入学、転籍または再入学者を受け入れることができるものとする。

５　本学則第５条の規定にかかわらず、2012年度から2014年度の入学定員、編入学定員および収容定員は次のとおりとする。

学部または学科の種類		年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
法学部法学科		2012年度	790		3,160
		2013年度			
		2014年度			
経済学部	経済学科	2012年度	535		2,190
		2013年度			2,140
		2014年度			

	国際経済学科		2012年度	200		800
			2013年度			
			2014年度			
	計		2012年度	735		2,990
			2013年度			2,940
			2014年度			
経営学部	経営学科		2012年度	610		2,490
			2013年度			2,440
			2014年度			
	国際経営学科		2012年度	150		600
			2013年度			
			2014年度			
	計		2012年度	760		3,090
			2013年度			3,040
			2014年度			
産業社会学部	現代社会学科	現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻	2012年度 2013年度 2014年度	840		3,360
		子ども社会専攻	2012年度	60		240
			2013年度			
			2014年度			
		計	2012年度	900		3,600
			2013年度			
			2014年度			
文学部人文学科			2012年度	1,105	0	4,420
			2013年度			4,414
			2014年度			4,417
理工学部	電気電子工学科		2012年度	142	2	429
			2013年度			476

		2014年度		12	534
	機械工学科	2012年度	160	2	462
		2013年度			522
		2014年度		10	591
	都市システム工学科	2012年度	84	2	341
		2013年度			340
		2014年度			
	環境システム工学科	2012年度	69	2	281
		2013年度			280
		2014年度			
	電子光情報工学科	2012年度	0	2	242
		2013年度			162
		2014年度		0	81
	ロボティクス学科	2012年度	83	2	325
		2013年度			328
		2014年度		6	336
	数理科学科	2012年度	90		360
		2013年度			
		2014年度			
	物理科学科	2012年度	80		320
		2013年度			
		2014年度			
	電子情報デザイン学科	2012年度	0	2	227
		2013年度			152
		2014年度		0	76
	電子情報工学科	2012年度	94	0	94
		2013年度		0	188
		2014年度		8	290
	マイクロ機械システム工学科	2012年度	0	2	227

		2013年度			152
		2014年度		0	76
	建築都市デザイン学科	2012年度	70	16	296
		2013年度			312
		2014年度			
	計	2012年度	872	32	3,604
		2013年度			3,592
		2014年度		56	3,596
国際関係学部国際関係学科		2012年度	302	6	1,223
		2013年度			1,220
		2014年度			
政策科学部政策科学科		2012年度	360		1,440
		2013年度			
		2014年度			
情報理工学部	情報システム学科	2012年度	110		440
		2013年度			
		2014年度			
	情報コミュニケーション学科	2012年度	110		440
		2013年度			
		2014年度			
	メディア情報学科	2012年度	110		440
		2013年度			
		2014年度			
	知能情報学科	2012年度	110		440
		2013年度			
		2014年度			
	計	2012年度	440		1,760
		2013年度			
		2014年度			
映像学部映像学科		2012年度	150		600

		2013年度			
		2014年度			
薬学部薬学科		2012年度	100		500
		2013年度			600
		2014年度			
生命科学部	応用化学科	2012年度	80		320
		2013年度			
		2014年度			
	生物工学科	2012年度	80		320
		2013年度			
		2014年度			
	生命情報学科	2012年度	60		240
		2013年度			
		2014年度			
	生命医科学科	2012年度	60		240
		2013年度			
		2014年度			
	計	2012年度	280		1,120
		2013年度			
		2014年度			
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科		2012年度	220		660
		2013年度			880
		2014年度			
合計		2012年度	7,014	38	28,167
		2013年度			28,366
		2014年度		62	28,373

附　則（2011年４月22日　学費額変更に伴う一部変更）

この学則は、2011年４月22日から施行し、2011年４月１日から適用する。

附　則（2011年５月27日緊急災害による休学期間および在籍料の追加に伴う一部変更）

この学則は、2011年５月27日から施行し、2011年４月１日から適用する。

附　則（2012年３月23日　大学院学則の全部変更および総合理工学院の解消等に伴う一部変更）

この学則は、2012年４月１日から施行する。

附　則（2012年３月23日　立命館大学の2012年度学費変更に伴う一部変更）

1　この学則は、2012年４月１日から施行する。

2　前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者については、2016年３月31日（薬学部は2018年３月31日）まで、第46条、第50条、第62条、第62条の３から第62条の７、第63条、第65条、第65条の２、第66条および第68条第１項から同第３項はなお従前の例によるものとし、第53条第１号は「学費、在籍料または特別在学料を納めない者」とする。

(1)　2012年３月31日に在籍する者

(2)　2012年度に２年次以上に再入学、転入学、編入学または学士入学する者

(3)　2013年度に３年次以上に再入学、転入学、編入学または学士入学する者

(4)　2014年度に４年次以上に再入学する者

(5)　2015年度に５年次以上に再入学する者

(6)　2016年度に薬学部の６年次以上に再入学する者

(7)　2017年度に薬学部の７年次以上に再入学する者

3　前２項にかかわらず、理工学部、情報理工学部、生命科学部、スポーツ健康科学部および薬学部の授業料、教育充実費および実験実習料は、前項の各号のいずれかに該当する者については、2015年度（薬学部は2017年度）まで次表のとおりとする。

（単位：円）

学部	学科等	費目	1年次（年間）	2年次（年間）	3年次（年間）	4年次（年間）（注1）
理工学部	物理科学科、電気電子工学科、電子光情報工学科、電子情報デザイン学科、機械工学科、ロボティクス学	授業料	1,098,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000
		実験実習料（2007年度以前の入学者）	—	—	—	135,000
		実験実習料（2008年度以降の入学者）	105,000	105,000	105,000	105,000

	科、マイクロ機械システム工学科、都市システム工学科、環境システム工学科および建築都市デザイン学科	教育充実費	155,000	315,000	315,000	315,000
	数理科学科	授業料	1,098,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000
		実験実習料（2007年度以前の入学者）	—	—	—	65,000
		実験実習料（2008年度以降の入学者）	50,000	50,000	50,000	50,000
		教育充実費	155,000	315,000	315,000	315,000
情報理工学部	情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科、知能情報学科、生命情報学科	授業料	1,098,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000
		実験実習料（2007年度以前の入学者）	—	—	—	135,000
		実験実習料（2008年度以降の入学者）	105,000	105,000	105,000	105,000
		教育充実費	155,000	315,000	315,000	315,000
生命科学部	応用化学科、生物工学科、生命情報学科、生命医科学科	授業料	1,098,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000
		実験実習料	135,000	135,000	135,000	135,000
		教育充実費	155,000	315,000	315,000	315,000
スポーツ健康	スポーツ健康科学科	授業料	915,000	915,000	915,000	915,000
		教育充実費	103,000	263,000	263,000	263,000

科学部						

学部	学科	費目	1年次	2年次	3年次	4年次
薬学部	薬学科	授業料	1,574,000	1,574,000	1,574,000	1,574,000
		実験実習料	242,000	242,000	242,000	242,000
		教育充実費	242,000	452,000	452,000	452,000
		区分	5年次	6年次（注1）		
		授業料	1,574,000	1,574,000		
		実験実習料	242,000	242,000		
		教育充実費	452,000	452,000		

注１　５年次（薬学部は７年次）以降は、４年次（薬学部は６年次）の金額と同額とする。

４　第１項にかかわらず､第２項の各号のいずれかに該当する者のうち次の各号のいずれかに該当する者で、次表の区分ごとに定める要件をすべて満たす場合については、2015年度（薬学部は2017年度）までは、当該年次の授業料を年額の２分の１とし、教育充実費および実験実習料は徴収しない。ただし、長期履修生は適用しない。

(1)　在学期間が修業年限を超えた５年次生以上の者（薬学部は７年次生以上の者）

(2)　情報理工学部において原級に留置されたことがある４年次生以上の者

(3)　薬学部において原級に留置されたことがある６年次生以上の者

区分		要件
4月入学者	当該年次の前期学期に在学する場合（留学および国内交流派遣は除く）	(1)　前期学期の受講登録において、当該年次の授業科目の受講登録単位数と改正後の第37条第2項にもとづき認定する単位数の合計が1単位以上8単位以内であること。 (2)　前期学期の受講登録において、卒業見込みとなること。 (3)　後期学期の受講登録においても(1)の要件を満たしていること（前期学期に卒業した場合は除く）。
	当該年次の前期学期に休学、留学もしくは国内交流派遣をしていた	(1)　後期学期の受講登録において、当該年次の授業科目の受講登録単位数と改正後の第37条第2項にもとづき認定する単位数の合計が1単位以上8単位以内であること。

	場合または後期学期に再入学する場合	(2)　後期学期の受講登録において、卒業見込みとなること。
9月入学者	当該年次の後期学期に在学する場合（留学および国内交流派遣は除く）	(1)　後期学期の受講登録において、当該年次の授業科目の受講登録単位数と改正後の第37条第2項にもとづき認定する単位数の合計が1単位以上8単位以内であること。 (2)　後期学期の受講登録において、卒業見込みとなること。 (3)　前期学期の受講登録においても(1)の要件を満たしていること（後期学期に卒業した場合を除く）。
	当該年次の後期学期に休学、留学もしくは国内交流派遣をしていた場合または前期学期に再入学する場合	(1)　前期学期の受講登録において、当該年次の授業科目の受講登録単位数と改正後の第37条第2項にもとづき認定する単位数の合計が1単位以上8単位以内であること。 (2)　前期学期の受講登録において、卒業見込みとなること。

附　則（2012年７月27日　入学検定料に関わる免除措置および見直し等に伴う一部変更）

この学則は、2012年７月27日から施行し、2012年５月１日から適用する。

附　則（2012年３月23日　国際関係学部の入学定員等の変更に伴う一部変更）

１　この学則は、2013年４月１日から施行する。

２　変更後の学則第５条にかかわらず、国際関係学部の2013年度から2015年度の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	2013年度	2014年度	2015年度
国際関係学部	国際関係学科	1,217	1,214	1,217

附　則（2013年１月25日　資格課程および他学部受講の追加ならびに改廃手続きの変更等に伴う一部変更）

１　この学則は、2013年４月１日から施行する。

２　前項にかかわらず、2013年３月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附　則（2013年１月25日　2012年３月23日変更に伴う経過措置の一部変更）

2012年３月23日変更の附則第２項にかかわらず、2013年度以降は、インスティテュート費を徴収しない。

附　則（2013年３月22日　科目等履修料の一部追加に伴う第64条別表の一部変更）

この学則は、2013年４月１日から施行する。

附　則（2013年５月24日　入学検定料の区分名称変更等に伴う第62条の２別表の一部変更）

この学則は、2013年５月24日から施行する。

附　則（2014年１月24日　変更手続の変更に伴う一部変更）

この学則は、2014年４月１日から施行する。

附　則（2014年３月28日　創薬科学科設置に伴う一部変更）

1　この学則は、2015年４月１日から施行する。

2　変更後の第５条にかかわらず、薬学部創薬科学科の2015年度から2017年度の収容定員は次表のとおりとする。

学部	学科	2015年度	2016年度	2017年度
薬学部	創薬科学科	60	120	180

附　則（2014年３月28日　2012年３月23日の2012年度学費変更に伴う経過措置の一部変更）

2012年３月23日学費変更に伴う附則第４項第１号から第３号を次のとおりとする。

(1)　在学期間が修業年限を超えた５年次生以上の者

(2)　情報理工学部において、在学期間が修業年限を超えた５年次生以上の者または原級に留置されたことにより在学期間が修業年限を超えた者

(3)　薬学部薬学科において、在学期間が修業年限を超えた７年次生以上の者または原級に留置されたことにより在学期間が修業年限を超えた者

附　則（2014年５月23日　入学検定料の区分変更に伴う納付金等別表１の一部変更）

この学則は、2014年５月23日から施行し、2015年度入学を志願する者から適用する。

附　則（2014年５月23日　創薬科学科設置に伴う一部変更）

この学則は、2015年４月１日から施行する。

附　則（2014年９月26日　副学長体制の変更および学長補佐の追加に伴う一部変更）

1　この学則は、2015年１月１日から施行する。

2　前項にかかわらず、変更後の第９条および第11条の３は、2014年４月１日から適用する。

附　則（2015年１月23日　科目等履修料の徴収対象の追加および一部廃止ならびに除籍対象の追加に伴う一部変更）

1　この学則は、2015年４月１日から施行する。

2　前項にかかわらず、変更後の第53条は、2015年３月31日に在籍する者については、な

お従前の例による。

附　則（2015年１月23日　総合心理学部設置に伴う一部変更）

１　この学則は、2016年４月１日から施行する。

２　変更後の第５条にかかわらず、文学部人文学科および総合心理学部総合心理学科の2016年度から2018年度の収容定員および収容定員の合計は次表のとおりとする。

学部	学科	2016年度	2017年度	2018年度
文学部	人文学科	4,220	4,020	3,820
総合心理学部	総合心理学科	280	560	840
収容定員の合計		28,580	28,720	28,860

附　則（2015年３月27日　「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」および「学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴う一部変更）

この学則は、2015年４月１日から施行する。

附　則（2015年５月22日　情報理工学部の３年次編入学定員の設定に伴う一部変更）

１　この学則は、2016年４月１日から施行する。

２　変更後の第５条にかかわらず、2016年度から2018年度の情報理工学部情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科および知能情報学科の収容定員および収容定員の合計は、次表のとおりとする。

学部	学科	2016年度	2017年度	2018年度
情報理工学部	情報システム学科	450	460	460
	情報コミュニケーション学科	450	460	460
	メディア情報学科	450	460	460
	知能情報学科	450	460	460
	計	1,800	1,840	1,840
収容定員の合計		28,620	28,800	28,940

附　則（2016年１月22日　入学検定料の免除対象の追加および授業料等の変更に伴う一部変更）

１　この学則は、2016年４月１日から施行する。

２　前項にかかわらず、2016年３月31日に在籍する者および同日に在学する者の属する年次に2016年４月１日以降に再入学、転入学、編入学または学士入学する者については、

なお従前の例による。

3　第１項にかかわらず、変更後の第64条納付金等別表５―１は、2015年度以前に開始した教育職員免許状取得のためのプログラムの科目等履修生は、なお従前の例による。

4　第１項にかかわらず、変更後の第22条は、2015年度の入学を出願する者から適用する。

附　則（2016年１月22日　立命館大学の収容定員の変更、経済学部国際経済学科の募集停止および情報理工学部の学科再編に伴う一部変更）

1　この学則は、2017年４月１日から施行する。

2　経済学部国際経済学科、情報理工学部情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科および知能情報学科は、2017年３月31日をもって学生募集を停止する。

3　変更後の第４条にかかわらず、経済学部国際経済学科、情報理工学部情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科および知能情報学科は、2017年３月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続する。

4　第２項にかかわらず、経済学部国際経済学科、情報理工学部情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科および知能情報学科は、2017年３月31日に当該学科に在学する者の属する年次に、2017年４月１日以降に編入学、転入学、再入学または転籍する者を受け入れることができる。

5　変更後の第５条にかかわらず、2017年度から2019年度の経済学部、経営学部、文学部、理工学部、国際関係学部、政策科学部、情報理工学部、映像学部、生命科学部およびスポーツ健康科学部の収容定員ならびに全学部の収容定員の合計は、次表のとおりとする。

学部	学科	2017年度	2018年度	2019年度
経済学部	経済学科	2,400	2,660	2,920
	国際経済学科	600	400	200
	計	3,000	3,060	3,120
経営学部	経営学科	2,505	2,570	2,635
	国際経営学科	600	600	600
	計	3,105	3,170	3,235
文学部	人文学科	4,095	3,970	3,845
理工学部	電気電子工学科	604	616	628
	機械工学科	673	686	699
	都市システム工学科	347	354	361
	環境システム工学科	286	292	298

	ロボティクス学科	351	358	365
	数理科学科	367	374	381
	物理科学科	328	336	342
	電子情報工学科	400	408	416
	建築都市デザイン学科	321	330	351
	計	3,677	3,754	3,841
国際関係学部	国際関係学科	1,250	1,280	1,310
政策科学部	政策科学科	1,490	1,540	1,590
情報理工学部	情報理工学科	515	1,030	1,505
	情報システム学科	340	220	110
	情報コミュニケーション学科	340	220	110
	メディア情報学科	340	220	110
	知能情報学科	340	220	110
	計	1,875	1,910	1,945
映像学部	映像学科	610	620	630
生命科学部	応用化学科	351	382	413
	生物工学科	326	332	338
	生命情報学科	244	248	252
	生命医科学科	244	248	252
	計	1,165	1,210	1,255
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	895	910	925
収容定員の合計		29,262	29,864	30,416

附　則（2017年1月27日　立命館大学外国人留学生学費減免規程の名称変更および経済学部経済学科の授業料の変更に伴う一部変更）

1　この学則は、2017年4月1日から施行する。

2　前項にかかわらず、変更後の第62条の４納付金等別表3-1-1および納付金等別表3-2は、2017年4月1日以降の入学者から適用し、2017年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附　則（2017年1月27日　国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科の設置、理工学部の学科再編に伴う一部変更）

1　この学則は、2018年4月1日から施行する。

2　理工学部都市システム工学科および環境システム工学科は、2018年３月31日をもって学生募集を停止する。

3　変更後の第４条にかかわらず、理工学部都市システム工学科および環境システム工学科は、2018年３月31日に当該学科に在籍する者が、当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続する。

4　第２項にかかわらず、理工学部都市システム工学科および環境システム工学科は、2018年３月31日に当該学科に在学する者の属する年次に、2018年４月１日以降に編入学、転入学、再入学または転籍する者を受け入れることができる。

5　変更後の第５条にかかわらず、2018年度から2020年度までの理工学部環境都市工学科、都市システム工学科、環境システム工学科、国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科の収容定員ならびに収容定員の合計は、次表のとおりとする。

学部	学科	2018年度	2019年度	2020年度
理工学部	環境都市工学科	166	332	502
	都市システム工学科	263	179	93
	環境システム工学科	217	148	77
国際関係学部	アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	25	50	75
収容定員の合計		29,909	30,476	30,963

6　第１項にかかわらず、変更後の第62条の４納付金等別表３―１―１は、2018年４月１日以降の入学者から適用し、2018年３月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

納付金等別表１（入学検定料）

（第62条の２関連）

（単位：円）

区分	金額
以下の入学試験方式以外の入学試験	35,000
同一日に実施する同一入学試験で、複数の学科、学域または専攻に併願する入学試験	45,000

大学入試センター試験方式		18,000
二段階選考を行う特別入学試験	1次選考	15,000
	2次選考	20,000
AO英語基準入学試験		5,000
推薦英語基準入学試験		

納付金等別表２（入学金）

（第62条の３関連）

（単位：円）

区分	金額
入学、編入学、転入学、学士入学	300,000
再入学	10,000

納付金等別表３―１―１（授業料）

（第62条の４関連）

（単位：円）

学部	学科および専攻	費目	1年次	2年次	3年次	4年次（注1）
法学部	法学科	前期授業料	319,200	479,200	479,200	479,200
		後期授業料	479,200	479,200	479,200	479,200
経済学部	経済学科	前期授業料	336,100	496,100	496,100	496,100
		後期授業料	496,100	496,100	496,100	496,100
経営学部	経営学科	前期授業料	319,200	479,200	479,200	479,200
		後期授業料	479,200	479,200	479,200	479,200
	国際経営学科	前期授業料	381,300	541,300	541,300	541,300
		後期授業料	541,300	541,300	541,300	541,300
産業社	現代社会学科現代社会専攻、メディア社会専攻、スポ	前期授業料	405,700	565,700	565,700	565,700
		後期授業料	565,700	565,700	565,700	565,700

会学部	ーツ社会専攻、人間福祉専攻					
	現代社会学科子ども社会専攻	前期授業料	439,300	599,300	599,300	599,300
		後期授業料	599,300	599,300	599,300	599,300
文学部	人文学科地域研究学域	前期授業料	402,100	562,100	562,100	562,100
		後期授業料	562,100	562,100	562,100	562,100
	人文学科人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古学・文化遺産専攻	前期授業料	391,500	562,100	562,100	562,100
		後期授業料	551,500	562,100	562,100	562,100
	人文学科人間研究学域哲学・倫理学専攻、日本文学研究学域、日本史研究学域日本史学専攻、東アジア研究学域、国際文化学域、コミュニケーション学域	前期授業料	391,500	551,500	551,500	551,500
		後期授業料	551,500	551,500	551,500	551,500
理工学部	数理科学科	前期授業料	584,300	744,300	744,300	744,300
		後期授業料	744,300	744,300	744,300	744,300
	物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、環境都市工学科および建築都市デザイン学科	前期授業料	612,300	772,300	772,300	772,300
		後期授業料	772,300	772,300	772,300	772,300
国	国際関係学科	前期授業料	463,200	623,200	623,200	623,200

際関係学部		後期授業料	623,200	623,200	623,200	623,200
政策科学部	政策科学科	前期授業料	414,900	574,900	574,900	574,900
		後期授業料	574,900	574,900	574,900	574,900
情報理工学部	情報理工学科	前期授業料	612,300	772,300	772,300	772,300
		後期授業料	772,300	772,300	772,300	772,300
映像学部	映像学科	前期授業料	755,200	915,200	915,200	915,200
		後期授業料	915,200	915,200	915,200	915,200
生命科学部	応用化学科、生物工学科、生命情報学科、生命医科学科	前期授業料	627,500	787,500	787,500	787,500
		後期授業料	787,500	787,500	787,500	787,500
スポーツ健康	スポーツ健康科学科	前期授業料	439,300	599,300	599,300	599,300
		後期授業料	599,300	599,300	599,300	599,300

科学部						
薬学部	創薬科学科	前期授業料	730,300	890,300	890,300	890,300
		後期授業料	890,300	890,300	890,300	890,300
総合心理学部	総合心理学科	前期授業料	433,200	593,200	593,200	593,200
		後期授業料	593,200	593,200	593,200	593,200

注１　５年次以降は、４年次の金額と同額とする。

納付金等別表３―１―２（６年制の授業料）

（第62条の４関連）

（単位：円）

学部	学科	費目	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次（注1）
薬学部	薬学科	前期授業料	943,800	1,153,800	1,153,800	1,153,800	1,153,800	1,153,800
		後期授業料	1,153,800	1,153,800	1,153,800	1,153,800	1,153,800	1,153,800

注１　７年次以降は、６年次の金額と同額とする。

納付金等別表３―２（長期履修生の１単位あたりの授業料）

（第62条の４関連）

（単位：円）

学部	学科等	金額
法学部	法学科	29,600
経済学部	経済学科	30,700
経営学部	経営学科	29,600
	国際経営学科	33,600

産業社会学部	現代社会学科現代社会専攻、メディア社会専攻、スポーツ社会専攻、人間福祉専攻	35,200
	現代社会学科子ども社会専攻	37,400
文学部	人文学科地域研究学域	35,000
	人文学科人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古学・文化遺産専攻	34,800
	人文学科人間研究学域哲学・倫理学専攻、日本文学研究学域、日本史研究学域日本史学専攻、東アジア研究学域、国際文化学域、コミュニケーション学域	34,300

納付金等別表４―１（在籍料）

（第62条の６関連）

（単位：円）

学部および学科等	金額
全学部	5,000（学期につき）

納付金等別表４―２（特別在学料）

（第62条の７関連）

（単位：円）

学部および学科等	金額
全学部	5,000（学期につき）

納付金等別表５―１（科目等履修料）

（第64条関連）

（単位：円）

区分	金額
法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、国際関係学部、政策科学部、文学部、スポーツ健康科学部および総合心理学部の科目	21,400（1単位につき）
理工学部、情報理工学部、生命科学部および映像学部の専門科目	31,500（1単位につき）
理工学部、情報理工学部、生命科学部および映像学	21,400（1単位につき）

部の専門科目以外の科目	
佛教大学との教育交流協定により中学校・高等学校教諭免許状（理科）取得のためのプログラムとして指定した授業科目（履修科目一括）	プログラム初年度～2年度　247,300（年額） プログラム3年度　245,200（年額）
佛教大学との教育交流協定により中学校・高等学校教諭免許状（保健体育）取得のためのプログラムとして指定した授業科目（履修科目一括）	プログラム初年度～3年度　185,200（年額）
Study in Kyoto Program	372,400（学期につき）

納付金等別表５―２（聴講料）

（第64条の２関連）

（単位：円）

区分	金額
法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、国際関係学部、政策科学部、文学部、スポーツ健康科学部および総合心理学部の科目	12,700（1単位につき）
理工学部、情報理工学部、生命科学部および映像学部の専門科目	18,800（1単位につき）
理工学部、情報理工学部、生命科学部および映像学部の専門科目以外の科目	12,700（1単位につき）

納付金等別表５―３（特別履修料）

（第64条の４関連）

（単位：円）

学部および学科等	金額
全学部	372,400（学期につき）

変更事項を記載した書類

下記のとおり立命館大学学則の一部変更を行う。

記

１．変更理由

(1) 国際関係学部の国際関係学科の教学改革による入学定員､収容定員の変更およびアメリカン大学・立命館大学国際連携学科の設置に伴う変更

(2) 理工学部環境都市工学科の設置および同学部都市システム工学科､環境システム工学科の学生募集の停止に伴う変更

２．変更内容

(1) 国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科を追加する（第４条)。

(2)理工学部都市システム工学科および環境システム工学科を削除し、環境都市工学科を追加する（第４条)。

(3) 国際連携学科の定義を規定する（第４条第２項)。

(4) 国際関係学部の入学定員および収容定員を変更し、アメリカン大学・立命館大学国際連携学科の入学定員および収容定員を追加する（第５条)。

(5) 理工学部都市システム工学科および環境システム工学科の入学定員､３年次編入学定員および収容定員を削除し、環境都市工学科の入学定員、３年次編入学定員および収容定員を追加する（第５条)。

(6) 理工学部都市システム工学科および環境システム工学科の授業料を削除し、環境都市工学科の授業料を追加する（納付金等別表３―１―１)。

以　上

立命館大学学則新旧対照表

2017年１月27日決定 （2017年４月１日施行）	変更案
第１条～第３条（省略）	第１条～第３条（現行どおり）
（学部および学科等）	（学部および学科等）
第４条　本大学に、次の学部、学科および専攻を置く。	第４条　本大学に、次の学部、学科および専攻を置く。
法学部	法学部
法学科	法学科
経済学部	経済学部
経済学科	経済学科
経営学部	経営学部
経営学科	経営学科
国際経営学科	国際経営学科
産業社会学部	産業社会学部
現代社会学科	現代社会学科
現代社会専攻	現代社会専攻
メディア社会専攻	メディア社会専攻
スポーツ社会専攻	スポーツ社会専攻
人間福祉専攻	人間福祉専攻
子ども社会専攻	子ども社会専攻
文学部	文学部
人文学科	人文学科
理工学部	理工学部
数理科学科	数理科学科
物理科学科	物理科学科
電気電子工学科	電気電子工学科
電子情報工学科	電子情報工学科
機械工学科	機械工学科
ロボティクス学科	ロボティクス学科
	環境都市工学科
都市システム工学科	
環境システム工学科	
建築都市デザイン学科	建築都市デザイン学科
国際関係学部	国際関係学部

国際関係学科	国際関係学科
	アメリカン大学・立命館大学国際連携学科
政策科学部	政策科学部
政策科学科	政策科学科
情報理工学部	情報理工学部
情報理工学科	情報理工学科
映像学部	映像学部
映像学科	映像学科
薬学部	薬学部
薬学科	薬学科
創薬科学科	創薬科学科
生命科学部	生命科学部
応用化学科	応用化学科
生物工学科	生物工学科
生命情報学科	生命情報学科
生命医科学科	生命医科学科
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科	スポーツ健康科学科
総合心理学部	総合心理学部
総合心理学科	総合心理学科
	2　前項に規定する国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は、大学設置基準第50条に定める国際連携学科とする。

（入学定員および収容定員）

第５条　本大学の入学定員、編入学定員および収容定員は、次表のとおりとする。

学部	学科		入学定員	3年次編入学定員	収容定員
法学部	法学科		790		3,160
経済学部	経済学科		795		3,180
経営学部	経営学科		675		2,700
	国際経営学科		150		600
	計		825		3,300
産業社会学部	現代社会学科	現代社会専攻	840		3,360

（入学定員および収容定員）

第５条　本大学の入学定員、編入学定員および収容定員は、次表のとおりとする。

学部	学科		入学定員	3年次編入学定員	収容定員
法学部	法学科		790		3,160
経済学部	経済学科		795		3,180
経営学部	経営学科		675		2,700
	国際経営学科		150		600
	計		825		3,300
産業社会学部	現代社会学科	現代社会専攻	840		3,360

		メディア社会専攻スポーツ社会専攻人間福祉専攻			
		子ども社会専攻	60		240
		計	900		3,600
文学部	人文学科		980		3,920
理工学部	電気電子工学科		154	12	640
	機械工学科		173	10	712
	都市システム工学科		91	2	368
	環境システム工学科		75	2	304
	ロボティクス学科		90	6	372
	数理科学科		97		388
	物理科学科		86	2	348
	電子情報工学科		102	8	424
	建築都市デザイン学科		91	4	372
	計		959	46	3,928
国際関係学部	国際関係学科		335	0	1,340
政策科学部	政策科学科		410		1,640
情報理工学部	情報理工学科		475	40	1,980
映像学部	映像学科		160		640
薬学部	薬学科		100		600

		メディア社会専攻スポーツ社会専攻人間福祉専攻			
		子ども社会専攻	60		240
		計	900		3,600
文学部	人文学科		980		3,920
理工学部	電気電子工学科		154	12	640
	機械工学科		173	10	712
	環境都市工学科		166	4	672
	ロボティクス学科		90	6	372
	数理科学科		97		388
	物理科学科		86	2	348
	電子情報工学科		102	8	424
	建築都市デザイン学科		91	4	372
	計		959	46	3,928
国際関係学部	国際関係学科		335		1,340
	アメリカン大学・立命館大学国際連携学科		25		100
	計		360		1,440
政策科学部	政策科学科		410		1,640
情報理工学部	情報理工学科		475	40	1,980
映像学部	映像学科		160		640
薬学部	薬学科		100		600

	創薬科学科	60		240
	計	160		840
生命科学部	応用化学科	111		444
	生物工学科	86		344
	生命情報学科	64		256
	生命医科学科	64		256
	計	325		1,300
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	235		940
総合心理学部	総合心理学科	280		1,120
合計		7,629	86	30,888

第６条～第62条の３（省略）

（授業料）

第62条の４　学生は、在籍する学部、学科および専攻ならびに年次に応じて、前期授業料および後期授業料を学期毎に納めなければならない。ただし、９月に入学した者の授業料は、前期授業料を第15条第２項に定める後期学期の授業料とし、後期授業料を同前期学期の授業料とする。

２　前項の授業料は、納付金等別表３―１―１および、納付金等別表３―１―２のとおりとする。

３　前項にかかわらず、在学期間が修業年限を超える者において当該学期に成績評価する授業科目の受講登録単位数および第37条第２項にもとづき卒業に必要な単位として認定する単位数の合計が８単位以下である学期の授業料は、納付金等別表３―１―１および、納付金等別表３―１―２に定める授業料の２分の１とする。

４　前２項にかかわらず、第19条の規定により長期にわたる教育課程の履修を許可された者（以下「長期履修生」という。）の授業料は、納付金等別表３―２に定める１単位あたりの授業料に当該学期の受講登録単位数を乗じた額と

	創薬科学科	60		240
	計	160		840
生命科学部	応用化学科	111		444
	生物工学科	86		344
	生命情報学科	64		256
	生命医科学科	64		256
	計	325		1,300
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	235		940
総合心理学部	総合心理学科	280		1,120
合計		7,654	86	30,988

第６条～第62条の３（現行どおり）

（授業料）

第62条の４　学生は、在籍する学部、学科および専攻ならびに年次に応じて、前期授業料および後期授業料を学期毎に納めなければならない。ただし、９月に入学した者の授業料は、前期授業料を第15条第２項に定める後期学期の授業料とし、後期授業料を同前期学期の授業料とする。

２　前項の授業料は、納付金等別表３―１―１および、納付金等別表３―１―２のとおりとする。

３　前項にかかわらず、在学期間が修業年限を超える者において当該学期に成績評価する授業科目の受講登録単位数および第37条第２項にもとづき卒業に必要な単位として認定する単位数の合計が８単位以下である学期の授業料は、納付金等別表３―１―１および、納付金等別表３―１―２に定める授業料の２分の１とする。

４　前２項にかかわらず、第19条の規定により長期にわたる教育課程の履修を許可された者（以下「長期履修生」という。）の授業料は、納付金等別表３―２に定める１単位あたりの授業料に当該学期の受講登録単位数を乗じた額と

する。	する。
第62条の５～第69条の１（省略）	第62条の５～第69条の１（現行どおり）
	第10節　国際連携学科
	（国際連携学科について定める事項）
	第69条の２　第45条に定めるもののほか、第４条第１項のアメリカン大学・立命館大学国際連携学科に係る次の各号に掲げる事項については、第15条、第16条、第20条、第22条、第23条、第35条の２、第46条、第53条、第57条、第62条の２、第62条の３、第62条の４、第62条の６、第65条の２、第66条および第68条にかかわらず、別に定める。
	（１）　学年および学期
	（２）　休業日
	（３）　入学の時期
	（４）　入学の出願
	（５）　入学者の選考
	（６）　成績
	（７）　休学
	（８）　除籍
	（９）　懲戒
	(10)　入学検定料
	(11)　入学金
	(12)　授業料
	(13)　在籍料
	(14)　納付金等の減免
	(15)　納付金等の納付
	(16)　納付金等の返還
	(17)　その他国際連携学科に関する事項
第70条～第72条（省略）	第70条～第72条（現行どおり）
附　則（省略）	附　則（2017年1月27日　国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科の設置、理工学部の学科再編に伴う一部変更）
	１　この学則は、2018年４月１日から施行する。
	２　理工学部都市システム工学科および環境シ

	ステム工学科は、2018年３月31日をもって学生募集を停止する。 ３　変更後の第４条にかかわらず、理工学部都市システム工学科および環境システム工学科は、2018年３月31日に当該学科に在籍する者が、当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続する。 ４　第２項にかかわらず、理工学部都市システム工学科および環境システム工学科は、2018年３月31日に当該学科に在学する者の属する年次に、2018年４月１日以降に編入学、転入学、再入学または転籍する者を受け入れることができる。 ５　変更後の第５条にかかわらず、2018年度から2020年度までの理工学部環境都市工学科、都市システム工学科、環境システム工学科、国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科の収容定員ならびに収容定員の合計は、次表のとおりとする。

学部	学科	2018年度	2019年度	2020年度
理工学部	環境都市工学科	166	332	502
	都市システム工学科	263	179	93
	環境システム工学科	217	148	77
国際関係学部	アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	25	50	75
収容定員の合計		29,909	30,476	30,963

納付金等別表１～納付金等別表２（省略）	納付金等別表１～納付金等別表２（現行どおり）

納付金等別表３―１―１（授業料）

（第62条の４関連）

（単位：円）

学部	学科および専攻	費目	1年次	2年次	3年次	4年次（注1）

納付金等別表３―１―１（授業料）

（第62条の４関連）

（単位：円）

学部	学科および専攻	費目	1年次	2年次	3年次	4年次（注1）

法学部	法学科	前期授業料	319,200	479,200	479,200	479,200
		後期授業料	479,200	479,200	479,200	479,200
経済学部	経済学科	前期授業料	336,100	496,100	496,100	496,100
		後期授業料	496,100	496,100	496,100	496,100
経営学部	経営学科	前期授業料	319,200	479,200	479,200	479,200
		後期授業料	479,200	479,200	479,200	479,200
	国際経営学科	前期授業料	381,300	541,300	541,300	541,300
		後期授業料	541,300	541,300	541,300	541,300
産業社会学部	現代社会学科現代社会専攻、メディア社会専攻、スポーツ社会専攻、人間福祉専攻	前期授業料	405,700	565,700	565,700	565,700
		後期授業料	565,700	565,700	565,700	565,700
	現代社会学科子ども社会専攻	前期授業料	439,300	599,300	599,300	599,300
		後期授業料	599,300	599,300	599,300	599,300
文学部	人文学科地域研究学域	前期授業料	402,100	562,100	562,100	562,100
		後期授業料	562,100	562,100	562,100	562,100
	人文学科人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古	前期授業料	391,500	562,100	562,100	562,100
		後期授業料	551,500	562,100	562,100	562,100

法学部	法学科	前期授業料	319,200	479,200	479,200	479,200
		後期授業料	479,200	479,200	479,200	479,200
経済学部	経済学科	前期授業料	336,100	496,100	496,100	496,100
		後期授業料	496,100	496,100	496,100	496,100
経営学部	経営学科	前期授業料	319,200	479,200	479,200	479,200
		後期授業料	479,200	479,200	479,200	479,200
	国際経営学科	前期授業料	381,300	541,300	541,300	541,300
		後期授業料	541,300	541,300	541,300	541,300
産業社会学部	現代社会学科現代社会専攻、メディア社会専攻、スポーツ社会専攻、人間福祉専攻	前期授業料	405,700	565,700	565,700	565,700
		後期授業料	565,700	565,700	565,700	565,700
	現代社会学科子ども社会専攻	前期授業料	439,300	599,300	599,300	599,300
		後期授業料	599,300	599,300	599,300	599,300
文学部	人文学科地域研究学域	前期授業料	402,100	562,100	562,100	562,100
		後期授業料	562,100	562,100	562,100	562,100
	人文学科人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古	前期授業料	391,500	562,100	562,100	562,100
		後期授業料	551,500	562,100	562,100	562,100

	学・文化遺産専攻					
	人文学科人間研究学域哲学・倫理学専攻、日本文学研究学域、日本史研究学域日本史学専攻、東アジア研究学域、国際文化学域、コミュニケーション学域	前期授業料	391,500	551,500	551,500	551,500
		後期授業料	551,500	551,500	551,500	551,500
理工学部	数理科学科	前期授業料	584,300	744,300	744,300	744,300
		後期授業料	744,300	744,300	744,300	744,300
	物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、都市システム工学科、環境システム工学科および建築都市	前期授業料	612,300	772,300	772,300	772,300
		後期授業料	772,300	772,300	772,300	772,300

	学・文化遺産専攻					
	人文学科人間研究学域哲学・倫理学専攻、日本文学研究学域、日本史研究学域日本史学専攻、東アジア研究学域、国際文化学域、コミュニケーション学域	前期授業料	391,500	551,500	551,500	551,500
		後期授業料	551,500	551,500	551,500	551,500
理工学部	数理科学科	前期授業料	584,300	744,300	744,300	744,300
		後期授業料	744,300	744,300	744,300	744,300
	物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、環境都市工学科および建築都市デザイン学科	前期授業料	612,300	772,300	772,300	772,300
		後期授業料	772,300	772,300	772,300	772,300

	デザイン学科					
国際関係学部	国際関係学科	前期授業料	463,200	623,200	623,200	623,200
		後期授業料	623,200	623,200	623,200	623,200
政策科学部	政策科学科	前期授業料	414,900	574,900	574,900	574,900
		後期授業料	574,900	574,900	574,900	574,900
情報理工学部	情報理工学科	前期授業料	612,300	772,300	772,300	772,300
		後期授業料	772,300	772,300	772,300	772,300
映像学部	映像学科	前期授業料	755,200	915,200	915,200	915,200
		後期授業料	915,200	915,200	915,200	915,200
生命科学部	応用化学科、生物工学科、生命情報学科、生命医科学科	前期授業料	627,500	787,500	787,500	787,500
		後期授業料	787,500	787,500	787,500	787,500
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	前期授業料	439,300	599,300	599,300	599,300
		後期授業料	599,300	599,300	599,300	599,300
薬学	創薬科学科	前期授業料	730,300	890,300	890,300	890,300

国際関係学部	国際関係学科	前期授業料	463,200	623,200	623,200	623,200
		後期授業料	623,200	623,200	623,200	623,200
政策科学部	政策科学科	前期授業料	414,900	574,900	574,900	574,900
		後期授業料	574,900	574,900	574,900	574,900
情報理工学部	情報理工学科	前期授業料	612,300	772,300	772,300	772,300
		後期授業料	772,300	772,300	772,300	772,300
映像学部	映像学科	前期授業料	755,200	915,200	915,200	915,200
		後期授業料	915,200	915,200	915,200	915,200
生命科学部	応用化学科、生物工学科、生命情報学科、生命医科学科	前期授業料	627,500	787,500	787,500	787,500
		後期授業料	787,500	787,500	787,500	787,500
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	前期授業料	439,300	599,300	599,300	599,300
		後期授業料	599,300	599,300	599,300	599,300
薬学	創薬科学科	前期授業料	730,300	890,300	890,300	890,300

部		後期授業料	890,300	890,300	890,300	890,300
総合心理学部	総合心理学科	前期授業料	433,200	593,200	593,200	593,200
		後期授業料	593,200	593,200	593,200	593,200

注１　５年次以降は、４年次の金額と同額とする。

納付金等別表３―１―２～５―３（省略）

部		後期授業料	890,300	890,300	890,300	890,300
総合心理学部	総合心理学科	前期授業料	433,200	593,200	593,200	593,200
		後期授業料	593,200	593,200	593,200	593,200

注１　５年次以降は、４年次の金額と同額とする。

納付金等別表３―１―２～５―３（現行どおり）

立命館大学国際関係学部教授会規程

1992 年 1 月 24 日
規程第 224 号

(趣旨)

第 1 条　この規程は、立命館大学学則第 9 条第 2 項および第 12 条にもとづき国際関係学部教授会の組織および運営について必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条　教授会は、次の事項を審議する。

(1)　学部の学科、専攻ならびに大学院の研究科、課程専攻の新設、増設、廃止、変更に関する事項

(2)　学則ならびに学部諸規程の制定、改廃に関する事項

(3)　教員の人事に関する事項

(4)　学科課程とその担当者、授業および学力考査に関する事項

(5)　学生の入学、卒業、その他学生の身上に関する事項

(6)　学生の指導・援助に関する事項

(7)　学生の定数に関する事項

(8)　学校法人および大学の諸規程において、教授会の議を経ることを要すると定められた事項

(9)　その他重要な事項

(組織)

第 3 条　教授会は、国際関係学部に所属する任期の定めのない教授、准教授をもって組織する。

2　教授会は、必要に応じて、前項に掲げる以外の教職員を出席させることができる。

(専門委員会)

第 3 条の 2　学校教育法施行規則第 143 条にもとづき、教授会の専門委員会としてアメリカン大学・立命館大学国際連携学科運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2　運営委員会は、第 2 条第 4 号から第 6 号までの事項のうち、アメリカン大学・立命館大学国際連携学科（以下「国際連携学科」という。）に関する事項および国際連携学科に関し学部長が必要と認める事項について、その議決をもって教授会の議決とすることができる。

3　運営委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

(1)　学部長
(2)　副学部長
(3)　学生主事
(4)　国際連携学科に所属する教授会の構成員
(5)　その他学部長が指名する教授会の構成員
4　学部長は、運営委員会の議長となる。
5　運営委員会は、構成員の 3 分の 2 以上の出席により成立する。ただし、成立に要する構成員には、学外研究員、研究専念教員、公務による長期出張者を含まないものとする。
6　運営委員会の議決は、出席した構成員の過半数の賛成により行い、可否同数のときは議長の決定するところによる。
7　学部長は、 アメリカン大学の教職員その他必要と認める者を運営委員会に出席させることができる。この場合において、出席させる者は前 2 項の構成員に含まない。
8　運営委員会の運営に当たっては、本条に規定するもののほか、第 6 条、第 7 条第 5 項および第 8 条の規定を準用する。

（役職者の選出および職務）
第 4 条　学部長は、立命館大学学部長選挙規程により選出する。
学部長は、教授会の議長となり、その議決を執行し、学部を代表する。
2　学部長は、教授会の承認を得て、副学部長、学生主事を指名する。
(1)　副学部長は、教学、入試、企画・国際、大学院および国際連携学科に関する事項につき、学部長を補佐する。
(2)　学生主事は、学生の指導・援助および厚生援助に関する事項につき、学部長を補佐する。
3　学部長は、国際関係学部の教育研究水準の向上を図るために、教授会の運営に必要なその他の委員を、教授会の承認を得て委嘱することができる。
4　学部長は、国際関係学部における教育研究活動等の状況を把握し、教育研究および学生援助の充実改善をはかるため、必要により委員会を設置することができる。
5　学部長に支障があるときは、その指名または教授会の指名により他の教員がこれを代行する。

第 5 条　削除

(招集)
第 6 条　教授会は、学部長が必要と認めたとき、あるいは構成員の 3 分の 1 以上の要求があったとき、学部長がこれを招集する。
2　学長は、必要と認めたとき、教授会の招集を要請し、または教授会に出席して発言する

ことができる。

(議事)

第 7 条　教授会は、構成員の 2 分の 1 以上の出席により、成立する。ただし、成立に要する構成員には、学外研究員、研究専念教員、公務による長期出張者を含まないものとする。なお、これら教員の教授会出席は妨げない。

2　教授会の議決は、出席者の 2 分の 1 を超える賛成により、これを行う。可否同数の場合は、議長の決するところによる。

3　教員の任用・昇任に関する教授会の成立要件および議決要件は、立命館大学教員任用・昇任規程による。

4　教員の免職または降職の議決は、教授会構成員の 4 分の 3 以上が出席し、その 4 分の 3 以上の同意を得なければならない。

5　教授会の議事については、議事録を作成し、教授会においてその承認を得なければならない。

(事務局)

第 8 条　事務長は、教授会に出席し、その事務を担当する。

(規程の改廃)

第 9 条　この規程の改廃は、教授会の議により、これを行う。

(雑則)

第 10 条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は、教授会が定める。

附　則

本規程の制定により、立命館大学国際関係学部教授会内規(1988 年 4 月 1 日より適用)は、廃止する。

この規程は、1991 年 11 月 12 日から施行する。

附　則(1997 年 10 月 7 日学部長等任期の変更にともなう改正)

この規程は、1997 年 10 月 7 日から施行し、1997 年 4 月 1 日から適用する。

附　則(2007 年 3 月 12 日学校教育法改正および役職名称変更にともなう一部改正)

この規程は、2007 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(2010 年 2 月 12 日立命館大学学則の変更に伴う一部改正)

この規程は、2010 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(2011 年 3 月 1 日教授会組織の見直しに伴う一部改正)

この規程は、2011 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(2011 年 3 月 24 日教授会成立要件の見直しに伴う一部改正)

この規程は、2011 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(2017 年 3 月 14 日専門委員会の設置および副学部長の職務の変更に伴う一部改正)

この規程は、2018 年 4 月 1 日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類

１．設置の趣旨及び必要性

（１）背景と経緯

2018（平成 30）年 4 月に国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科（以下、国際連携学科）を共同して設置する立命館大学とアメリカン大学（American University；AU）との連携関係は、それぞれの日米における教育研究プログラムの国際展開の必要性から、両者が共同でシンポジウムを実施したことに端を発し、1991（平成 3）年の学術交流協定ならびに交換留学協定締結から 2016（平成 28）年で 26 年目となる。立命館大学とアメリカン大学との連携による個々のプログラムについては、以下に詳述するが、1988（昭和 63）年の国際関係学部の設置を皮切りとした 1990 年代初頭の本学の国際化の初期段階において、その後の国際化の礎となり、全学の国際教育プログラムを牽引する役割を担ってきた。爾来、両大学間での絶え間ないプログラム内容の改善に向けた努力と協議が定期的かつ継続的に積み重ねられてきた結果、個々の教職員レベルにおいても厚い信頼関係が形成され、確固たるパートナーシップとして現在に至っている。国内初となる学士課程におけるジョイント・ディグリー・プログラムの開発に向けた新たな先進的挑戦は、このような永年に亘って築き上げられてきた信頼関係と、国際教育における確たる実績という基盤の上に、初めて可能となる取り組みであると言える。

１）アメリカン大学との国際教育プログラム

アメリカン大学との交換留学プログラムは、交換留学制度開始時のスターティングプログラムの一つであり、立命館大学の学生が海外の大学で広く専門科目を中心とした履修を行う機会を提供してきた。そして 1992（平成 4）年には大学院修士課程レベルのデュアル・マスターディグリー・プログラム（以下、DMDP）、続いて 1994（平成 6）年には学士課程レベルのデュアル・アンダーグラデュエート・ディグリー・プログラム（以下、DUDP）がアメリカン大学との協定にもとづき我が国初の国境を超えたダブル・ディグリー・プログラムとして開始され、立命館大学を代表するレベルの高い先進的国際教育プログラムとして広く社会的にも認知されるに至った。

DUDP は、国際社会のリーダーとなり得る高い語学力と専門性を有する高度人材の育成を目的とし、「学生が知識、技能及び構想力を涵養するために人間相互の関係と人間の価値を重んずる教育をする」として設計された。プログラムを実施するに当たっては、立命館大学・アメリカン大学両大学にて世界の平和に寄与する人材育成に取り組む必要性が共有され、単位互換の仕組みを始めとして、教育プログラムとしての互換性の担保や人材育成像の共有において共通の努力を行ってきた経緯がある。

2016（平成 28）年度現在、両大学において、DUDP は 325 名、DMDP は 83 名、計 408 名がプログラムを修了・履修中である。立命館大学の修了生は、「国際社会で通用する自信」と

「レジリエンスと革新、挑戦のマインドセット」を身に付け、プログラム開始から 20 余年を経た現在、外務省、米国国務省、国際機関、総合商社、グローバルに展開するメーカー等、幅広い分野において、世界各国で活躍している。

2）アメリカン大学との教員・研究交流

立命館大学・アメリカン大学の両大学では、学生レベルにとどまらず、1993（平成 5）年には学術交流協定に基づく教員交換協定が締結され、法学部・研究科、政策科学部・研究科、国際関係学部・研究科において交換教員制度が開始された。交換教員は半年間派遣先大学に滞在するが、学外研究とは異なり、派遣先大学での研究面での交流活動のみならず、派遣先大学の学生を対象とした講義科目も担当している。

これまで交換教員制度を利用した教員は、両大学合わせて 20 名を超え、立命館大学ではアメリカン大学からの教員が、最新のトピックを英語で教授する授業を実施している。本制度に加え、共同研究プロジェクトや共同出版、学外研究やサバティカル制度のホスティングなどにおいても旺盛な交流が広く行われ、講演会や研究会の実施など、両大学教員の FD 活動にも資するような取り組みがなされている。

さらに両大学は、定期的な国際学術会議の開催においても協働してきた。2003（平成 15）年の DUDP 10 周年を機に、広く国際関係に関するテーマを扱う国際学術会議を両大学が中心となって企画した結果、立命館大学・立命館アジア太平洋大学、アメリカン大学、高麗大学、モンテレイ工科大学、ブリティッシュコロンビア大学、復旦大学がメンバー大学として参加する「6 大学シンポジウム」にまで発展し、各大学がホスト役を毎年交替で担当する形で国際会議を実施してきた。

3）連携関係の維持・発展に向けた取り組み

立命館大学・アメリカン大学の両大学は年に一度の定期協議会の開催という形でトップ同士が直接、継続的に対話する機会を持っており、良好な関係の維持・発展を図っている。加えて、2002（平成 14）年には両大学の交流 10 周年記念シンポジウムを、2013（平成 25）年には 20 周年記念シンポジウムをそれぞれ実施した。20 周年記念シンポジウムでは、両大学関係者のみならず、在日米国大使館公使、文部科学省国際企画室長、卒業生・在学生など、110 名を超える参加者を得た。同シンポジウムでは、両大学の関係が、個別の大学間の連携にとどまらず、「人材育成における日本・アメリカ両国の、卓越した実践」であることが確認されている。

（2）設立の趣旨

立命館大学の基本課題の一つとして「学びのグローバル展開」が提起されているが、その取り組みとして「国際水準・共同の教育（ジョイント・ディグリー：海外大学との共同による教育課程)」の設置を通して各学部・研究科の特色を活かしたグローバル教育の展開

が構想されている。立命館大学国際関係学部がアメリカン大学　School of International Service（以下 SIS。詳細は下記参照）と国際連携学科を設立する目的はこの趣旨に合致し、また、さらに発展させるものである。国際関係学部と SIS の間には、これまでの DUDP の実践・運営の蓄積や協働を通じて両大学がこれまで築き上げてきた盤石な信頼関係が存在するが、これらの協力連携関係をさらに発展させる形で国際連携プログラムを構築していく。とくに、「国際関係学」という教学分野・カリキュラムの共通項目が存在するために、さらに進んだ連携・提携が可能である。

連携外国大学として想定しているアメリカン大学の SIS は 1955(昭和 30)年に設立され、同分野では全米でも最大規模を誇る国際的にも著名な国際関係学の拠点大学の一つである。アメリカン大学の位置する米国の首都ワシントン D.C.のキャンパスには 150 以上の国・地域から留学生が集まっており、国際関係分野での主要誌 *Foreign Policy Magazine*（2014）が特集した The top 25 IR programs for undergraduate, master's and Ph.Ds において、学部では全米 9 位、大学院修士課程では同 8 位にランキングされるなど全米でもトップレベルの教育を提供している。

SIS には学部生 1600 名、大学院生 800 名が在籍し、SIS の教員スタッフは 160 名を数え、教育研究に不可欠な施設・設備などの教育資源は十分に有しており、国際連携学科を共同で設立・実施していくための教育資源に不足はない。アメリカン大学の SIS には各分野で世界的な研究成果を上げている教員は数多く在籍するが、とりわけ、国際連携学科がカバーする学問分野において最も権威ある国際学会といえる国際関係学会（ISA）では、上に述べた西洋中心の国際関係学と非西洋の国際関係学をも包括する「グローバル国際関係学（Global IR)」の必要性が議論されており、国際連携学科のプログラムを構築するうえでも重要な役割を期待できる。また、アメリカン大学が位置する米国の首都ワシントン D.C.は世界政治の中心であるために、米国政府機関、各国大使館、メディア、多国籍企業、シンクタンク、国際 NGO などが集中している。国際連携学科の学生は議会公聴会、各種セミナー等への参加を通して教室での専門知識の習得と同時に、様々な現実の国際関係学を学ぶ上での最高の教育環境と機会を得ることができる。

（3）国際連携学科の必要性

立命館大学国際関係学部がアメリカン大学 SIS と国際連携学科を創設して実施する教育上の必要性は次の 3 点にまとめられる。

第 1 に、日本および東アジアと米国に関連したグローバルおよびリージョナルな諸課題に対して深い理解を持った人材を育成するために、国際連携学科の設立が不可欠である。国際連携学科では、アメリカン大学においてグローバル国際関係学に関連した専門科目とともに、世界を網羅した地域研究科目を学ぶ一方で、立命館大学では専門科目と合わせて日本および東アジアに重点を置いた地域研究科目を履修する。立命館大学において、国際連携学科の母体となる国際関係学部の既存の国際関係学科では、世界各地域に関連した地

域研究科目を配置しているが、英語では開講されていない一方で、同学科の英語で学ぶグローバル・スタディーズ専攻の地域研究科目は東アジアと日本に特化しているために、アメリカ研究やアメリカの視点を学ぶ機会は多くない。また一方で、アメリカン大学では日米関係や東アジア地域に関連した地域研究は決して強くはなく、また高いレベルの日本語能力を習得する機会はない。したがって、立命館大学およびアメリカン大学の既存のプログラムでは必ずしも十分に提供できていない日英両言語を活用した米国および東アジア関連科目を体系的に学ぶことによって、国際連携学科では、日本および米国に関連したグローバルおよびリージョナルな諸課題について対処する能力を育成することが可能となる。昨今、東アジア諸国の経済成長と中国の台頭に伴って米国を筆頭とする西洋中心の国際秩序が揺らいでいるが、こうした国際秩序の転換期において、米国と東アジアの両地域に精通した人材を育成することは国際社会において不可欠である。とりわけ、国際秩序の形成と維持において依然として主要な役割を果たしている米国との関係を踏まえて東アジアを理解する人材はアジア地域に特化したプログラムでは育成しえないために、国際連携学科が育成する人材の意義と重要性はこの点にある。

第 2 に、卒業生が将来的に国際機関、各国政府機関、グローバル企業、グローバル・メディア、国際 NGO 等の分野において指導的な役割を担う上での基礎力の習得とネットワークの構築のために国際連携学科の設立が不可欠である。国際連携学科では、グローバル国際関係学や米国および東アジアに関する深い理解を獲得し、将来的には日米関係の発展や国際社会の平和と繁栄に貢献できる人材の育成を目的としている。アメリカン大学では、世界政治の中心であるワシントン D.C.という地の利を最大限に活用し、米国政府機関、シンクタンク、メディア、国際 NGO でのインターンシップやセミナー等の各種イベントに参加する機会を提供している。したがって、国際連携学科の学生は米国の政策決定過程、多国籍企業のロビー活動や世界戦略、メディアの役割、国際 NGO の活動など、現実の国際関係に対する学びの機会を習得できる。他方で、立命館大学が位置する京都は、数々のグローバルな先端企業を抱える一方で、30 を超える大学を有する研究の拠点であるとともに、数多くの世界遺産を有する世界の伝統文化・観光都市である。国際連携学科の学生は日本の文化や歴史を直接経験しながら国際社会で活躍する素養を身に着ける機会を得ることになる。また、DUDP とは異なって、国際連携学科は立命館大学とアメリカン大学からの参加学生が一つのプログラムをともに学ぶことを通して参加学生間の相互理解とネットワークの形成が可能となる。両大学がともに国際社会の平和と繁栄および日米関係の発展に寄与する人材を育成するためにも国際連携学科の設立は不可欠である。

第 3 に、国際関係分野において新たなパラダイムとして台頭したグローバル国際関係学に対する体系的な学びと発展のために国際連携学科の設立が不可欠である。(知と権力は密接に結びついているために) これまで国際関係学それ自体が西洋、とりわけ米国的視点によって発展してきたが、国際社会の多元化に伴い非西洋的視点の必要性が国際関係学の世界でも主張されている。こうした状況のなかで、非西洋社会に位置しつつもいち早く西洋

化を遂げた日本社会においては、西洋および非西洋という二項対立的視点を超えた新たな国際関係学を学ぶ意義と必要性は高い。国際連携学科では、西洋の国際関係学および非西洋の国際関係学といった区分を超えて、グローバル国際関係学の習得を目指している。グローバル国際関係学は非西洋の観点から西洋の国際関係学を批判するのではなくて、既存の主流パラダイムである西洋の国際関係学に非西洋の国際関係学をも包摂した国際関係分野における新たな潮流の一つである。したがって、学生はいずれか一方の大学ではなくて、立命館大学の国際関係学部とアメリカン大学の SIS での両者の学びを通してグローバル国際関係学の習得が可能となる。すなわち DUDP においては立命館大学の国際関係学とアメリカン大学の国際関係学（あるいは他の学問）を個別に二つ学ぶものであるが、国際連携学科はアメリカン大学において西洋中心の国際関係学を学ぶと同時に、立命館大学では東アジアの視点を含む国際関係学を一つの統一したカリキュラムとして体系的に学ぶことでグローバル国際関係学の習得を目指すものであり、こうした目的のためには国際連携学科の設立は不可欠である。

（4）教育研究上の目的およびディプロマ・ポリシー

国際連携学科は、グローバル国際関係学を理論、歴史、文化、民族の多面的な視点・見地から批判的に学び、グローバルおよびリージョナルな諸課題、とくに、東アジアと米国に関する諸課題に対する深い理解を習得し、国際機関、各国政府機関、グローバル企業、メディア、国際 NGO 等の分野において指導的役割を担う能力を有する人材の育成を目指すこととし、下記のとおり、ディプロマ・ポリシーを制定する。

国際連携学科は学生がグローバル国際関係学に対する深い知見と国際社会の諸問題を批判的に分析する能力を獲得することを目的として､以下の 5 項目を教育目標として定める。学生は、両大学においてそれぞれ 2 年間（4 セメスター）の学習を行い、立命館大学とアメリカン大学の開設科目及び共同開設科目から国際連携学科で規定する所定単位の修得をもって、教育目標の達成とみなし、学士（グローバル国際関係学）を授与する。

① 国際関係を理論、歴史、文化、民族の多面的な視点・見地から批判的に分析できる。
② 東アジアと米国に関連したグローバルかつリージョナルな諸課題について深い理解を有する。
③ 将来的に国際社会において指導的な役割を担うことができる基礎的な能力を有する。
④ リサーチクエスチョンを設定し、リサーチ・プロジェクトを企画・実施することができる。
⑤ 日本語を母語としない学生は中級レベルの日本語能力を示すことができる。

（５）卒業後の進路、社会の人材需要の見通し

国際連携学科では、新たな国際関係学における教学展開ならびに高度人材育成プログラムの構築を目指すことから、グローバルな分野における人材の輩出を重視し、これまでのDUDP 等で一定の成果があった外務省をはじめとした各国政府機関、国際機関、総合商社、グローバル企業、日系企業、研究者、国際 NGO、国際的な起業家などへの進路（*）を想定し、卒業生を送り出すことを想定している。

[*これまでの国際関係学部の進路就職実績（1991（平成 3）年度～2015（平成 27）年度末までの累計。判明分のみ）　外務省 26 名、商社（総合・専門）118 名、国際機関（国連機関、JICA 、JETRO、世界銀行、国際交流基金等）42 名、ジャーナリズム（新聞、TV、出版）152 名　等]

（６）アメリカン大学の教員との教育研究上の目的の共有方法

国際連携学科においては、国際関係学部と SIS の日米両国の教員が綿密なコミュニケーションとプログラムデザインを通して、上記の教育研究上の目的を実現していくことを目指している。これらの目的を共有するため、立命館大学とアメリカン大学の両大学間で合同運営委員会（Joint Committee）を設置して、定期的に協議・調整を行うとともに、これまでも実施実績のある合同（研究/FD）ワークショップ等の開催、教員交換制度（1 年おきに両大学の教員が交換派遣される制度。アメリカン大学との間では 1993（平成 5）年以降実施されている）を継続実施し、教職員が定期的、かつ日常的に交流・連絡・調整を行って教育研究上の目的の共有を図っていく。

２．学科・専攻の特色

国際連携学科の特色として、これまでの DUDP 等のプログラムとは異なる以下の 4 つの独自の教育システムをあげることができる。

第 1 に、「シニアキャップストーン科目」の実施である。立命館大学において履修を始める RU-Home 学生に対しては 4 年間の学習の集大成として SIS のシニアキャップストーン科目をモデルとして科目を開設する。この科目は 4 年間の学びの質を保証するものとして重視しているが、学生の実践を主体としたリサーチ・プロジェクト、または理論を主体とした論文作成のいずれかの選択を可能とするものである。どちらを選択するにしても、日本独自の小集団教育システムであるゼミナールシステムの特長を活かして、それを基本として実施する。SIS との密接な協議を行いつつ、両大学にわたる統一的な指導を行う。

【用語】RU-Home 学生／AU-Home 学生

国際連携学科はアメリカン大学・立命館大学両大学が共同で学生を受け入れるものであ

るが、その管理・支援の観点から、立命館大学で履修を開始し、アメリカン大学において履修を行った後、立命館大学において卒業を迎える学生を RU‐Home 学生、アメリカン大学で履修を開始し、立命館大学において履修を行った後、アメリカン大学において卒業を迎える学生を AU-Home 学生として、その属性に応じて学修スケジュール等を設計する。

第 2 に、コーホートシステム（Cohort system）の導入である。国際連携学科所属の学生は最初に入学した大学ごとに「コーホート」と呼ばれる同期グループに所属し、両大学においてコーホート単位による履修やサポートを受けることができるようにする。また、両大学において入学時期とホーム大学（最初に入学した大学）が異なるコーホートを組み合わせる（ジョイント・コーホート）ことによって、相互交流を制度的に図るような新たなスチューデント・モビリティ・モデルを構築する。このシステムによって双方向型の国際連携学科の長所である両大学で一体となったカリキュラム運営と学生就学支援システムを実現可能なものとして実施していく。

第 3 に、ワシントン D.C.でのインターンシップと人的ネットワーク形成を組み込んだ新たな国際高度人材育成プログラムの展開である。アメリカン大学との連携で獲得できる大きなメリットの一つはワシントン D.C.へのアクセスである。アメリカン大学のインターンシップオフィスは地の利を活かした各種機関へのインターンシップを積極的に学生に紹介し、相談体制やリフレクションのプログラムを充実させ、実際に、年間で 500 件以上のインターンシッププログラムを実施している。立命館大学において履修を始める RU-Home 学生向けに、ワシントン D.C.でのインターンシップを中心とした新たなキャリア形成支援を提供する。

第 4 に、英語力・英語での学習スキルの向上である。立命館大学において履修を始める RU-Home 学生に対しては、学習スキルの基礎的科目である“Academic Skills”を開講するほか、自己のレベルに合わせて英語力を引き上げるための科目である“Intensive English”を自由科目として開講し、また、アメリカン大学における英語ベースの授業に支障がないレベルまで到達することを目標として設定する。

国際連携学科を設立することによって、立命館大学の国際関係学部とアメリカン大学の SIS の両者において想定しうるメリットは以下の点である。

まず、国際連携学科を設立・運営することでこれまでの DUDP 以上により体系的かつ効率的なプログラムの構築が可能となる点である。DUDP はそれぞれの大学において 2 種類以上の課程を修了し、学位を授与するシステムである。一方で国際連携学科においては、一つの学位課程を二つの大学で共同的に運営するため、同じ学問分野においてより深く一貫した教育課程を作り上げることになる。その中で、二つの大学のカリキュラムを相互補完す

ることによって、学生の科目履修の選択の幅が広がり、内容を豊富化することができる。

また、両大学が共同で運営することから、両大学においてシームレスなサポート体制をとることが可能となる。国際連携学科に所属する学生全体が一つのコミュニティを形成することも容易である。DUDP と比較すると履修科目が少なく、相対的に学生にとって財政負担が少なくなることもメリットの一つである。

次に、国際関係学部の既存教学に与える効果としては、次の 3 点が考えられる。

（1）日本とは異なる教育方法・学習支援の取り組みを取り入れる効果

今次の国際連携学科の設置によって、立命館大学国際関係学部の教員組織が、アメリカン大学の SIS 教員組織と一体的・包括的に、国際関係学という分野におけるグローバル教学の展開に取り組むという連携環境が制度的に作られることになる。その過程でお互いの学部の教育の長所を取り入れ、絶えず自らの教育実践を見直すという、国際関係学部教学の国際通用性を高めるためのサイクルが作り出される。多くの教員がこのサイクルに関わるよう運営体制を工夫し、教員同士の交流や意見交換の機会を更に増やすことで、国際関係学部の既設学科である国際関係学科のグローバル・スタディーズ専攻で実績を積んだ、少人数・インタラクティブな授業スタイル、授業時間外学習の多いスタイルを元に、「国際関係学部スタイル」を構築して、既存の国際関係学専攻へ波及させることを狙う。地道ではあるが、日常的な学部運営に取り込むことから、確実に効果が出る教学改善の取り組みであるといえる。

（2）アメリカン大学との更なる連携強化による教育・研究面での高度化

国際連携学科の実施によって次のような研究面での高度化も期待できる。まず、立命館大学とアメリカン大学との間で相互のカリキュラムを検討し開発していく過程で現在の国際関係学における教育・研究の主要テーマに対する相互理解が深まると考えられる。また、国際関係学それ自体が国際的な観点を踏まえた教育・研究であるが、日本における国際関係学教育・研究が日本的文脈において展開してきたことはいうまでもない。こうしたなかで、アメリカン大学との連携強化を通して国際関係学部における教育・研究が日本的文脈をこえて、より国際的な観点から実施されることが期待できる。これらはいわゆる「世界基準」の教育・研究を目指す際の礎ともなろう。

同様に、現在、アメリカン大学と立命館大学の研究レベルでの交流・協力は 20 数年を経てかつてほど活発とは言い難いが、国際連携学科を通した多様な学問領域と様々な層での協力の強化を通して、教育・研究についての問題関心と意識を共有した国際シンポジウムや共同出版などアメリカン大学との教育・研究領域における協力の再活性化とさらなる高度化にも寄与することが考えられる。

３．学部・学科等の名称及び学位の名称

以上のような設置の趣旨及び必要性や、後述する教育課程等を踏まえて新設される学科及び授与される学位の名称は下記のとおりであり、いずれも立命館大学とアメリカン大学との間で合意され、協定書に明記される。

学科名称については、とくに英文学科名に国際連携学科の訳語として「Joint Degree Program」をあて、両大学間での国際連携による学位プログラムであることをわかりやすく表記している。なお教育・研究分野である「グローバル国際関係学」は、下記の学位名称に含まれることや、制度上必ず含むことが要請されている「国際連携」との重複を鑑み、学科名称には含めないものとする。

学位名称である「グローバル国際関係学」は既存の主流パラダイムである西洋の国際関係学に非西洋の国際関係学をも包摂した国際関係分野における新たな潮流の一つである。現在国際学会等でも、伝統的な国際関係学の枠組みを超えたグローバル化社会の現状に対応する新たな国際関係学のあり方として議論が進んでおり、国際通用性が担保された名称である。

国際連携学科の学位の分野は法学関係・経済学関係・文学関係の学際領域であり、母体となる国際関係学部の学位の分野には変更がない。学位記は、別紙資料 1 の参考様式のように、両大学による連名の形式とすることで合意しており、日英両言語で記載される。その際には「Degree Name」には学位名称が明記され、ジョイント・ディグリー・プログラムであることを示すなど、両大学が合同で発行する学位記であることを明確にするものとする。

また連携外国大学であるアメリカン大学は後述するように、Middle State Association of Colleges and Secondary Schools の認証評価を受ける実績ある私立大学であり、連携外国大学の SIS では、学士学位として、「Bachelor of Arts in International Service」を授与している。

（１）学科名称

国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科
College of International Relations,
American Universiy-Ritsumeikan University Joint Degree Program

（２）学位名称

学士（グローバル国際関係学）
／Bachelor of Arts in Global International Relations

４．教育課程の編成の考え方及び特色

国際連携学科は、立命館大学とアメリカン大学の SIS による 20 年以上の学生・教員交換、

教育・研究上の連携やDUDPの運営等の連携実績とこれによって醸成された協力・信頼関係を元に、より一層の連携強化を行って、共通する人材育成目標の実現のために、きめ細かい協働教育体制や学生支援体制を構築し、教育課程を編成するものである。特に、学生が立命館大学と連携外国大学であるアメリカン大学でそれぞれ 2 年間学修する教育課程であることを踏まえ、国際連携学科全体でカリキュラム体系の一貫性を担保し、どちらの大学で履修を開始しても、4年間で学位取得が可能となるよう配慮して教育課程の編成や科目開講を行うものとする。

なお、連携外国大学であるアメリカン大学においては、国際連携学科の開設前後に全学規模での教養教育改革等が実施される可能性があるが、その場合も両大学で丁寧に協議・すり合わせ及び学生への適切な告知を行い、学生の履修に不利益が生じないよう留意するとともに、変更内容について設置計画履行状況等報告の中で報告を行うものとする。

（1）カリキュラム・ポリシー

国際連携学科の学生は、立命館大学とアメリカン大学によって編成された共通にして単一の教育課程において卒業要件を満たすことで、両大学から単一の連名学位を授与されるものとする。国際連携学科はアメリカン大学と立命館大学の両大学での学びを通して西洋・非西洋という枠組みを超えた「グローバル国際関係学」の学びを主たる目的としている点にその特徴がみられる。このプログラムによって授与される学位はグローバル国際関係学と呼ばれる。このプログラムはグローバルな意味で西洋と非西洋の両方の視点から国際関係学を学ぶことの意義を重視している。

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科の教育目標の達成のために、本課程は、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1）グローバル国際関係学を日米両大学で学ぶ

本課程は、グローバル化する社会における国際関係学の課題に応えるために、立命館大学とアメリカン大学の両大学の学生が双方の大学において 2 年間の履修を行い、西洋・非西洋型の国際関係学のアプローチにとらわれない学問領域である「グローバル国際関係学」を習得するものである。国際連携学科は、立命館大学およびアメリカン大学のそれぞれのプログラムが有している強みを活用し、国際連携学科の学生が、それぞれの能力を最もよく補完し、発展させるために入念に形成された両大学の科目群からグローバル国際関係学を体系的に学ぶための授業を履修することができるよう、カリキュラムを編成する。

2）将来、国際社会で指導的な役割を果たすために必要な基礎的教養を身につける

グローバル国際関係学を多面的な視点から学ぶための基礎的素養を養成し、将来、国際社会で指導的な役割を担う上で必要な幅広い教養を身につけるために、1年次において基礎

科目（General Education Courses）群を設置する。基礎科目群においては、幅広い知識の習得を通して多様な世界観を形成し、2 年次以降に取り組む専門分野に対する深い知見を得るための基礎を身につけるとともに、バランスのとれた知性と知恵の獲得を目指す。

３）グローバル国際関係学を学ぶための基幹科目を学ぶ

グローバル国際関係学を学ぶための基幹科目として、基幹科目（Foundation Courses)群を配置する。基幹科目群は「基礎経済学」(Basic Economics）分野、「国際政治学」(World Politics）分野、「コーホート」(Cohort）分野、「経済学」(Economics）分野から構成される。国際経済学を学ぶための基礎となる「基礎経済学」分野、国際政治の基礎的な理論、歴史、現状分析を学ぶ「国際政治学」分野、立命館大学から履修を始める RU-Home 学生とアメリカン大学から履修を始める AU-Home 学生とがともに学ぶ共同開設科目である「コーホート」分野、「経済学」分野での学びを通して、グローバル国際関係学を学ぶための基盤を形成する。

とくに、「コーホート」分野において、必修科目として、共同開設科目である「Cultural Awareness and Communication」および「Japanese Culture」を開設し、両科目とも立命館大学の専任教員が担当するとともに、同じく共同開設科目である「First Year Seminar」をアメリカン大学において開講する。

RU-Home 学生と AU-Home 学生が立命館大学においてこれらの必修科目をともに学ぶことを通して、グローバルな視点から日本の文化を学んだり、多様な文化的背景が交差する環境において異文化コミュニケーションを学んだりすることはグローバル国際関係学の基盤を形成する上で不可欠な要素として位置づけられている。

なお、その他の基幹科目群で開講される科目も、国際連携学科の教育課程では、アメリカン大学と立命館大学のいずれかにおいて、両大学で相互に対応して開設されている科目を必ず履修しなければならない。したがってこれらの基幹科目は必修科目としては位置づけていないが、必修科目に準じて配置されるものである。

４）グローバル国際関係学を学ぶ方法論を身につける

グローバル国際関係学の諸課題を分析するための適切な研究方法を身につけるために、方法論に関連した科目を配置する。まず、基礎的な研究方法を身につけるために、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションの練習とともに、基礎的な定性的・定量的な分析方法について学ぶ科目を配置する。さらにそれぞれの問題関心や専門分野に特化したより高度な方法論の習得を目指す上級科目を配置する。

５）体系的な専門科目の学び

グローバル国際関係学を体系的かつ専門的に学ぶために、3 つの分野である「グローバル・比較ガバナンス」(Global and Comparative Governance)、「アイデンティティ・民族・

ジェンダー・文化」(Identity, Race, Gender, and Culture)、「平和・国際安全保障・紛争解決」(Peace, Global Security, and Conflict Resolution)、を固有専門科目群（thematic area courses）として設定し、学生はその中から主専攻と副専攻を選択して履修する。また、各分野の専門科目を履修する前に、それぞれの分野で導入的な専門入門科目（Gateway Courses）の履修を義務付けることでグローバル国際関係学の体系的な学習体系を整備する。

６）国際連携プログラムの特性を活かした地域研究科目と外国語科目

グローバルおよびリージョナルな諸課題に対する理解を深めるために、アメリカン大学においては世界の全地域を網羅する地域研究科目を開講し、主専攻および副専攻として自己の選択した専門分野と地域研究との有機的な連関を図ることができる。また、東アジアに関する諸問題に対する関心と理解を得るために、立命館大学では主として日本とアジア地域に関連した地域研究科目を重点的に配置し、日本で学ぶ強みを生かした地域科目を提供している。いずれか片方の大学のみでは提供しえない体系的な地域研究科目を配置することが可能である。外国語科目については国際連携学科の理念を実現し、日本で学ぶ意義を高めるために日本語を学ぶことができる科目を提供する。

７）シニアキャップストーン科目

グローバル国際関係学を体系的に学ぶ教育課程の学習の質を保証するために、4 年間の学習の成果の集大成となる、シニアキャップストーン科目をおく。当該科目では、調査法科目と連動して、グローバル国際関係学における適切な調査法を用いながら、それぞれの学生の基礎・専門分野の履修の成果を反映した研究プロジェクトを企画・実施し、成果物を作成する。

（２）科目群の編成および授業科目の概要

グローバル国際関係学について幅広い理解と専門的な知見を有する人材の育成のため、基礎科目群、基幹科目群、外国語科目群、リサーチメソッド科目群、固有専門科目群、地域研究科目群、シニアキャップストーン科目群を設け、それぞれ科目をおく。

国際連携学科では、日米両国で学ぶことによる西洋型、非西洋型の概念を超えたグローバル国際関係学を教授するため、その双方の学生に適切な履修機会を提供するべく、日米両国において科目を開講する。

各授業科目群の概要は以下の通りである。

a　基礎科目群（General Education Courses, 配当年次：1 年次）

グローバル国際関係学の基礎的素養を形成し、幅広い教養を身につけるため、基礎科目群を設置する。基礎科目はⅰ）専門教育よりもさらに幅広い知識の修得を目指す、ⅱ）幅

広い教養と確固たる世界観の形成によって、人生の指針となる知性と知恵、価値観の獲得を目指す、iii）専門教育と相俟って心身ともに均衡のとれた 21 世紀の国際社会を担う世界市民の育成をめざす。

b　基幹科目群（Foundation Courses, 配当年次：1〜3 年次）

グローバル国際関係学を学ぶための基幹的な科目を、基幹科目群として配置する。基幹科目群は国際経済や開発経済等を包括的に学ぶ基礎となる「基礎経済学」(Basic Economics) 分野、国際政治の理論、歴史、現状の基礎的な内容を学ぶ「国際政治」(World Politics) 分野、グローバル国際関係学を日米で学ぶための導入と、日米の学生との交流と共同学習を進める共同開設科目等からなる「コーホート」(Cohort) 分野、国際関係学を学ぶために必要な経済学を学ぶ「経済学」分野から構成される。

共同開設科目については、立命館大学・アメリカン大学双方の Home 学生がともに学び、国際連携学科の教育課程の基盤を共有するために設定される。プログラムの特色を活かし、一貫性を担保するため、両大学の Home の学生が共に学ぶ First Year Seminar（アメリカン大学で実施、演習形式)、 Japanese Culture および Cultural Awareness and Communication（立命館大学で実施、講義形式）を共同開設科目として開講する。

＜共同開設科目＞

共同開設科目は下記のとおり実施される。

・First Year Seminar: 立命館 Home の学生（アメリカン大学での 1 年目)、アメリカン Home の学生（入学・アメリカン大学での 1 年目）がともに学ぶ科目。国際情勢に関連するトピックを通じて学ぶと同時にアメリカン大学での学習についての基礎を身につける。

・Japanese Culture/Cultural Awareness and Communication:立命館 Home の学生（入学・立命館大学での 1 年目)、アメリカン Home の学生（立命館大学での 1 年目）がともに履修する科目で異文化間コミュニケーションや日本の文化について理解を深める。

共同開設科目の内容、実施方法、使用教材、評価等については合同運営委員会において十分に共有・調整して実施を行うとともに、実施の経費については、授業を実施する大学が負担することで協定書でも合意している。

c　外国語科目群（Foreign Language Courses, 配当年次：1 年次〜4 年次）

外国語科目群は、立命館大学において履修を始める RU-Home 学生のうち、国際学生およびアメリカン大学で履修を始める AU-Home 学生は、日本で学ぶ意義をより高めるために日本語の初歩的な学修ないし能力向上を行う（Comprehensive Japanese)。

d　リサーチメソッド科目群（Research Methodology Courses, 配当年次：2〜3 年次）

グローバル国際関係学の課題について適切な調査法を身につけ、実践するため、リサーチメソッド関連科目群をもうける。基礎的な情報収集･整理、批判的な立場からの定性的・定量的分析、レポートやプレゼンテーションなどへの表現方法などを習得する「基礎」（Foundation）分野、さらに国際関係学に即したより専門性の高いリサーチメソッドの習得を目指す「上級」(Advanced）分野を設置する。

e　固有専門科目群（Thematic Area Courses, 配当年次：2〜4 年次）

グローバル国際関係学を構成する専門的な分野を 3 つ（グローバル･比較ガバナンス（Global and Comparative Governance)、アイデンティティ・民族・ジェンダー・文化（Identity, Race, Gender and Culture)、平和・国際安全保障・紛争解決（Peace, Global Security and Conflict Resolution）を設定し、その中から学生自身が分野を選択して履修する。3 分野科目群には、それぞれ専門入門科目（Gateway Courses）を設置し、系統的な履修・理解を深められるよう、配慮する。

グローバル･比較ガバナンス（Global and Comparative Governance）分野は世界各地域の諸問題および移民や地球環境問題など国境を越えた諸問題の理解を理解するとともに国際機関や地域機関などによる国際的なガバナンスのあり方についての検討を行う分野である。

アイデンティティ・民族・ジェンダー・文化（Identity, Race, Gender and Culture）分野は民族、ジェンダー、文化などのアイデンティティに関わる諸問題とその解決方法についての検討する分野である。

平和・国際安全保障・紛争解決（Peace, Global Security and Conflict Resolution）は平和、安全保障、紛争解決について検討するとともに、焦点となる国家間関係に焦点を当てた検討を行う分野である。

f　地域研究科目群（Regional Focus Courses, 配当年次：2〜4 年次）

地域科目は、基幹科目群や固有専門科目群で学んだ理論を、地域研究を通じて検証することを目的とする。地域科目群は当該プログラムの特性を活かし、日本と東アジアを中心とする。

g　シニアキャップストーン科目群（Senior Capstone Courses, 配当年次：4 年次）

教育課程の学修の質を保証するものとして、4 年間の学修の成果の集大成となる、シニアキャップストーン科目群をおく。当該科目は、リサーチメソッド科目群と連動して、グローバル国際関係学における適切なリサーチメソッドを用いながら、それぞれの学生の基礎・専門分野の履修の成果を反映した研究プロジェクトを実施し、成果物を作成する。

h　選択科目群（Elective Courses, 配当年次：1〜4 年次）

グローバル国際関係学の教育目標に関連するものとして、選択科目群を置く。

i　自由科目群（Other courses）

特に、学生の英語力の向上を通じて、専門科目の英語による履修を可能とし、本教育課程の履修を円滑に進めるための卒業要件に含まれない自由科目として開講し、自由科目群を置く。

５．　教員組織の編成の考え方及び特色

（１）教員組織の編成

国際連携学科は、立命館大学国際関係学部国際関係学科と兼務する専任教員のほか、ジョイント・ディグリー・プログラムのコーディネートやアカデミック・アドバイジング等を担う国際連携学科所属の専任教員となる 2 名（国際関係学科からの移籍による。教授 1 名、准教授 1 名）、および助教 2 名の計 4 名で発足させる。ただし、その実施・運営にあたっては、立命館大学国際関係学部所属教員及びアメリカン大学の SIS 所属教員による合同運営委員会を形成し、科目運営に関しても、丁寧な学科運営を行うことができるよう、組織を編成する。

なお、学科の責任者として、これらの教員を統括し、コーディネートを行う専任教員を国際連携学科担当副学部長とし、学部長が学部執行部の一員として任命することで、国際関係学部全体の運営との整合をはかり、効果的な運営を行うことを目指す。

カリキュラム運営にあたっては、立命館大学側にあっては、国際連携学科の主要科目については基本的に専任教員で担当できる開講体制を整える。また、2011（平成 23）年度以降、すでに英語による専門教育の実績を有する、国際関係学科グローバル・スタディーズ専攻の科目を共同履修できるようにするとともに、アメリカン大学にあっては、SIS の一般科目を履修できるようにすることで、学科運営に関わる過度な負担を避け、安定した運営を行うことができるよう、丁寧な配慮を行うものである。

教員組織の編成の特色として、日米間の大学間連携により、国際的かつグローバルな視点で、幅広い専門分野の教授および学生支援ができるよう配慮した。また、連携による合同運営委員会が初年次教育やリサーチメソッド科目、シニアキャップストーン科目等の運営を共同して行うことで、両大学間の教育の質の向上や国際化、FD に資することができる教員体制となっている。

（２）教員配置計画

国際連携学科は、グローバル国際関係学の視点に立って、政治学、経済学、社会学等の複数のディシプリンからなるカリキュラムを運営し、リサーチメソッド科目やシニアキャップストーン科目の実施を通じて、学生自身がグローバル国際関係学に関する幅広い知識を有するとともに、同分野における調査・研究を実践できるよう、支援するものである。こ

のため、国際関係学、政治学、経済学、社会学等の専門分野について、教員を配置する。

なお、立命館大学では、専任教員の担当授業時間数については通年平均 5 授業時間を標準として安定したカリキュラム運営に臨むことができるように配慮しているとともに、国際連携学科で連携外国大学との調整役を担う専任教員の責任者（副学部長）については、担当授業時間数を減ずる（通年平均 3 授業時間）などして過度な負担を避け、その教育研究活動と連携外国大学との調整の職務の両方に支障が生じないよう、配慮を行う。なお定年および定年を超えて採用される教員の採用の根拠となる規程は、別紙資料 2 のとおりである。

（3）教員の専門分野の構成

国際連携学科の学問分野は「グローバル国際関係学」である。上記の教育・研究を行う本学およびアメリカン大学の教員は、「グローバル国際関係学」の主要な分野である、特に政治学、経済学、社会学等の分野に大別され、それぞれの専門において、国際的かつ豊富な教育・研究実績を有する専任教員がその講義を担当することとする。

（4）必修科目の指導体制

必修科目である「Japanese Culture」「Cultural Awareness and Communication」は立命館大学において立命館大学の専任教授・准教授によって責任ある担当体制のもとで開講されると同時に、共同開設科目としてアメリカン大学とも十分に調整・共有が行われるものである。また、「First Year Seminar」はアメリカン大学で開講されるが、同様に、共同開設科目としてその企画・運営・評価等について立命館大学・アメリカン大学の教職員で構成される合同運営委員会（Joint Committee）において十分に共有・審議を行って、立命館大学としても責任をもって開設する。

６．教育方法、履修指導方法、研究指導体制及び卒業要件

（1）教育方法

国際連携学科では、一般的な授業科目において、授業言語として英語を使用する。立命館大学における日本語教育等については、受講生の習熟度に拠って、日本語での履修を認める。英語は、国際関係学の分野において、研究・教育の双方において最も国際通用性のある言語であり、米国と日本の大学が共同して実施する教育課程の教授言語として最も適切であると考えられる。

入学者選抜の段階において、英語で学修するために必要な学力の確認を行い、入学後も授業外において、とりわけ英文でのアカデミックライティングの修得をティーチング・アシスタント等が、1 対 1（ないし少数）で支援する授業外学習支援プログラムである「ライティングチュートリアル」等の十分な学習サポートを行うことで、非英語圏出身者も学習や学位取得に支障が出ないよう、配慮する。

科目受講は原則としてそれぞれの大学のキャンパスにおける教室において行うものとし、正課外のコーホートによる交流・オリエンテーション、シニアキャップストーンプロジェクトの指導等の際には、ラーニング・マネジメントシステム、テレビ会議システム等を活用するものとする。

【用語】ラーニング・マネジメントシステム
オンライン上の教材フォルダや映像の共有、ディスカッション掲示板、小テスト、レポート課題の掲示・提出受付等の機能を持ち、学生と教職員の双方向のやりとりを支援するシステム。
【用語】テレビ会議システム
インターネット・電話回線等を用いて、2 地点以上の場所で映像・音声による会議を行うシステム。

（2）履修指導方法

立命館大学、アメリカン大学の両大学にアカデミック・アドバイザーをおいて、双方が協力しながら履修指導を行うとともに、テレビ会議システムやラーニング・マネジメントシステム等を活用しながら、両大学において、適切かつ一貫性を持った履修を行うことができるよう、支援を行う。

履修指導にあたっては、国際連携学科に所属する主として調整を担当する専任の教員 2 名（教授 1 名、准教授 1 名）および助教 2 名の計 4 名に加え、国際関係学部事務室に所属する約 20 名のうち国際連携学科を主に担当する事務職員 2 名をアカデミック・アドバイザーとして任命して教職協働、アメリカン大学との国際的な協働のもとで履修指導にあたるほか、既設の国際関係学科に所属する専任教員のうち、教務学担当副学部長を中心に履修指導を支援できる体制を整備する。

特に、入学時には、2 カ国で履修することの特殊性を勘案した丁寧なオリエンテーションを行って、学生が安心して学習することができるよう、取組を行っている。

【用語】アカデミック・アドバイザー

カリキュラムの内容を理解し、学生それぞれの履修計画について監督・指導を行う専門的教職員。アメリカン大学では、アカデミック・アドバイジングが実施されており、履修状況に応じて、卒業要件を適切に満たしていくためのアドバイスや指導を行っている。

（3）教育・研究の指導体制

立命館大学・アメリカン大学が実施している交換教員制度を活用して、上記のアカデミック・アドバイザーによる指導に加え、協力大学の教員による教育・研究指導を双方のキャンパスにおいて（立命館大学教員がアメリカン大学において、アメリカン大学教員が立

命館大学において）実施する。特にシニアキャップストーン科目については、最終セメスターにおいて実施するための準備を、キャンパスをまたいで実施することから、アカデミック・アドバイザーとの連絡・調整・指導については両キャンパスにおいて実施する。

（4）学生の履修スケジュールと学生の異動

1）学生の入学・卒業時期と異動

国際連携学科での履修は、「立命館大学での履修 2 年間」＋「アメリカン大学での履修 2 年間」で構成される。学生は、入学した大学で卒業期を迎えることとなり、在学期間の中間期をホスト大学（連携先大学）で過ごし、各大学での規定の単位を修得することになる。

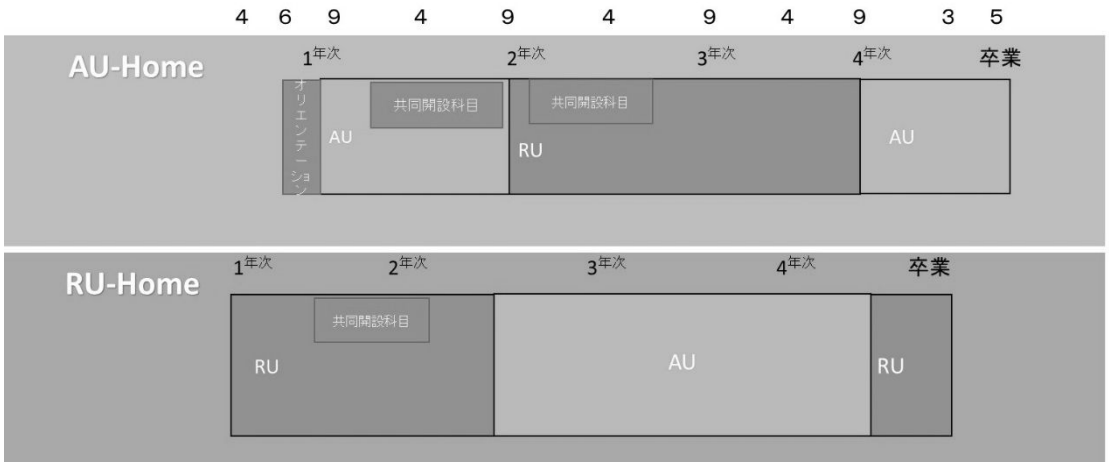
アメリカン大学で履修を始める AU-Home 学生については、入学時期を 6 月として設定し、立命館大学において履修を始める RU-Home 学生については、4 月を入学時期とする。

また、AU-Home 学生については、6 月に入学後、アメリカン大学での受講登録が 8 月下旬に始まるまでの間は、国際連携学科での学び方に関するガイダンスやグローバル国際関係学や日本や東アジアに関連したミニ講義、日本留学のための個別相談等の支援プログラムを共同で実施し、AU-Home 学生全員に提供する。これらは単位授与の対象とはならないが、国際連携学科のユニークな教育目標やその意義に対する理解を深めさせることを目的とした入学後の初年次教育の一環として位置付けるものとする。

なお、立命館大学において履修を始める RU-Home 学生は、当初の 1 年半の間は日本において、基礎科目、基幹科目、外国語科目、一部の固有専門科目、リサーチメソッド科目（基礎）を履修する。その後 2 年間の米国における履修を通じて、リサーチメソッド科目（上級）、固有専門科目の履修を進め、半年間、日本でシニアキャップストーン科目等を履修し、学習成果を取りまとめる。

アメリカン大学で履修を始める AU-Home 学生は、当初 1 年間の教養科目、基幹科目等の履修をアメリカで行ったのち、日本で 2 年間、上級調査法、専門科目、外国語科目の履修を行ったのち、最終 1 年間、アメリカにおいて固有専門科目、シニアキャップストーン科目の履修を行う。地域研究科目は両大学の地域的特性を反映して、2 年次以降継続して履修を行うことができる。

＊学生の異動と履修のイメージ



2）学籍に関する整理

二つの大学を国際的に移動して学ぶ国際連携学科を適切に運用するため、両大学で異なる学籍制度等についても入念にすりあわせを行い、学生を支援していく。特に休学等の取扱いについて、アメリカン大学との間で下記のように合意し、これらに合わせて、学内で関連する諸規程の改正等を行って適切な運用を行うものとする

（■共通ルールを適用、●履修大学におけるルールを適用）

	国際連携学科における取り扱い	
	立命館大学（RU）において履修する期間	アメリカン大学（AU）において履修する期間
■在学年限	8 年	
■休学の在学期間算入	算入しない	
■休学上限期間	連続 1 年、合計 1 年	
●休学申請期限	前期 5/31、後期 11/30	開講後 2 週間
●休学申請先	国際関係学部事務室	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ
■休学申請期間単位	セメスター単位	
■休学判断	Joint Committee （※RU においては、RU 教授会 →RU 学長のプロセスを加える）	
●休学費用	5,000 円/セメスター（在籍料）	なし
●上記の例外	―	病気・兵役・家族の死去による休学は上記

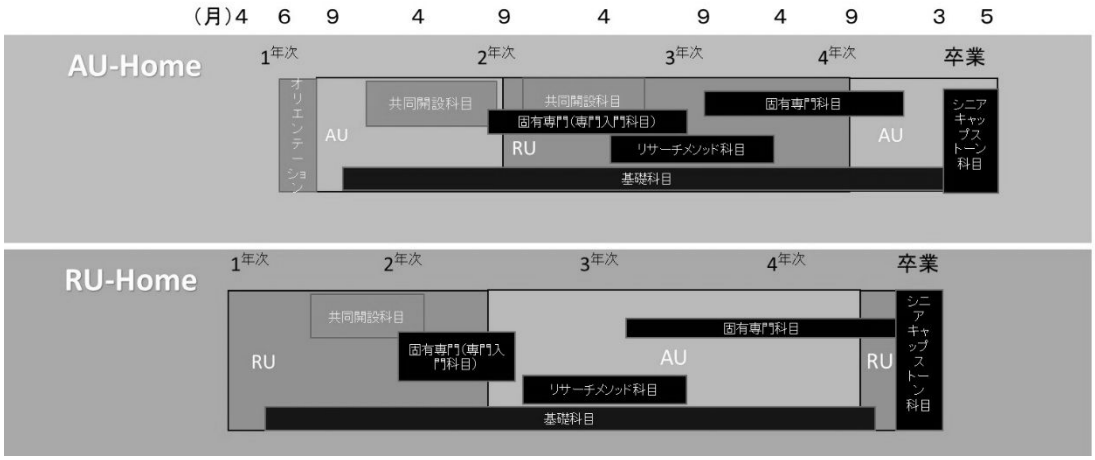
		期限以降の申請受付も行う。

＊アメリカン大学では、通常の休学（temporary leave）の場合,セメスター単位で申請を受け付けている（1 年間の休学の場合、1 セメスターの休学期間経過後に再申請を要する）ただし、病気による休学（medical leave）などの場合は、1 度申請すればその休学事由が解消されるまで 1 年間は再申請手続きは要しない。ただし、病気による理由で休学期間が 1 年を超過する場合は、休学とは別の“separated”の学籍状態が許可されることがある。

（5）履修モデルと 4 年間の履修登録上限単位数

1）履修モデル

両大学が合意した要件を満たしながら 2 年ずつの履修を行う国際連携学科においては、学生の科目履修は、両大学が連携したアカデミック･アドバイジングのもとに、計画的に実施される必要がある。一般的な履修スケジュールは下記ならびに別紙のとおりである（別紙資料 3-1、3-2)。



〈履修のイメージ〉

2）年間履修登録単位

上記の履修モデルに代表される 4 年間の計画的学習を促すためにセメスターごとに以下の履修登録上限単位数を設定する。アメリカン大学での学習中は、同校のガイドラインにしたがって運用を行う 1 セメスターごとの履修登録単位の上限は、既存の国際関係学科と同様に、個々の授業に対する学生の十分な授業外学修時間を担保できるよう、設定を行う。特に、低年次教育については、単位数を低めに制限し、学習スキルの獲得や、専門分野についての基礎的理解を十分に深めることができるよう、配慮している。

年間履修登録上限単位数			
RU-Home 学生		AU-Home 学生	
第1セメスター	20	第1セメ	※
第2セメスター	20	第2セメ	※
第3セメスター	20	第3セメ	20
第4セメスター	※	第4セメ	22
第5セメスター	※	第5セメ	22
第6セメスター	※	第6セメ	24
第7セメスター	※	第7セメ	※
第8セメスター以降	24	第8セメ	※

※の間はアメリカン大学で履修を行う。アメリカン大学での標準履修単位は、セメスターあたり 15-17 単位で、履修状況等に応じて、アカデミック・アドバイザーが履修単位の指導・監督を行うことで、学生ひとりひとりの実情に応じた十分な学修時間の確保を担保している。

（6）卒業に必要な履修条件

学生は、卒業の要件として、両大学においてそれぞれ 2 年間（4 セメスター)、合計 4 年間の学修を行い、立命館大学、アメリカン大学の開設科目及び共同開設科目の履修を行って、下記の単位修得要件を満たすものとする。

基礎科目（38 単位以上をアカデミックガイドブックの履修ガイダンスにそって習得すること。

基幹科目を下記に詳述される要件に沿って 18 単位以上

基礎経済学　6 単位以上
国際政治　3 単位以上
コーホート　6 単位以上
経済学　3 単位以上

外国語科目　3 単位以上　中級以上の日本語能力を取得すること

リサーチ手法科目　6 単位以上

固有専門科目　18 単位以上

専門入門　9 単位以上　主副専攻分野からそれぞれ 3 単位以上

固有専門　9 単位以上　主分野から 6 単位以上、副分野から 3 単位以上

地域研究科目　9 単位以上　東洋およびアジア太平洋について 3 つ以上の科目を修得すること。3 年次配当以上の科目をひとつ含むこと。

シニアキャップストーン科目　3 単位以上

＊卒業要件としてアメリカン大学基準による GPA2.0 以上を取得すること

＊立命館大学において実施される科目もしくはアメリカン大学において実施される共同

開設科目を、卒業要件である 124 単位の半数以上修得すること。

＊アメリカン大学において実施される授業科目（立命館大学によるアメリカン大学での共同開設科目を含む）を卒業要件である 124 単位の半数より多く取得すること。

＊学生は、それぞれのホーム校においてキャップストーンプロジェクトを完成させること。

＊学生は、履修要件を満たすにあたり、アカデミックハンドブックに記載されている履修ガイダンスに従うこと。

米国においては、学士課程においては、卒業にあたって 120 単位の取得が必要である。当該卒業要件は、わが国における卒業要件及び、米国における大学ならびにアメリカン大学における卒業要件をともに満たすものである。

なお、米国の大学特有の制度として同一の科目が異なる科目分野に配置され、取得にあたって、どの科目分野の履修要件を満たすかについてアカデミック・アドバイザーの指示を持って決定する場合がある。本プログラムにおいても、両国の大学制度、学生支援の仕組みの違いを尊重しながら、アメリカン大学における開講科目について同様の対応を行うこととする。

卒業要件表

科目群	分野	要卒単位数	注記
基礎科目（General Education Courses）		38 単位以上	一部の基幹科目の修得を持って該当単位が免除される。
基幹科目(Foundation Courses)		18 単位以上	
	基礎経済学	6 単位以上	
	国際政治	3 単位以上	
	コーホート	6 単位以上	
	経済学	3 単位以上	
リサーチメソッド科目（Research Methodology Courses）		6 単位以上	
外国語科目(Foreign Language Courses)		3 単位以上	中級以上の日本語能力がある場合は免除される
固有専門科目（Thematic Area Courses）		18 単位以上	
	専門入門（Gateway	9 単位以上	主副専攻分野からそれぞれ 3 単位以上

	Courses)		
	固有専門 (Thematic Area Courses)	9 単位以上	主分野から 6 単位以上、副分野から 3 単位以上
地域研究科目 (Regional Focus)		9 単位以上	
シニアキャップストーン科目 (Senior Capstone)		3 単位以上	
合計		124 単位以上	履修においては、アメリカン大学が基準とする GPA2.0 を満たし、アメリカン大学において実施される授業科目（立命館大学によるアメリカン大学での共同開設科目を含む）を 50%より多く、且つ立命館大学において実施される授業科目とアメリカン大学で実施される共同開設科目を 50%以上修得すること。

＊アメリカン大学側の要件として、で卒業に必要な単位総数の 50%（62 単位）より多くの科目を物理的にアメリカン大学において修得する必要がある。

（7）授業時間及び成績評価

講義科目においては、立命館大学開設科目は、90 分授業を 15 回実施することで 2 単位を授与する。アメリカン大学開設科目は 150 分授業を 14 回実施することで 3 単位を授与する。双方とも、十分な時間外学習時間が確保され、その授業時間数を含む学習時間の条件はわが国の基準を満たしている。

成績評価にあたっては、双方の大学間においてその透明性や客観性についての担保に留意し、すり合わせを行うともに、これまでの交換留学、DUDP での実績等をもとに両大学間に下記のとおり成績換算表を作成し、卒業要件や GPA の算出の際に双方に齟齬がないよう努めるものである。

立命館大学（RU）取得単位をアメリカン大学（AU）基準の成績評価で表記する場合

RU		AU	GPA (AU)
A+ A	→	A	4
		A-	

		B+	
B	→	B	3
		B-	
		C+	
C	→	C	2
		C-	
		D	1
F	→	F	

アメリカン大学（AU）における評価を立命館大学（RU）の成績評価基準で表記する場合

AU		RU	GPA(RU)
A	→	A	4
A-			
B+	→	B	3
B			
B-			
C+	→	C	2
C			
C-			
D (基礎科目)	→	C	2
D(その他)	→	F	0
F	→	F	0

７．施設、設備等の整備計画

国際連携学科を設置する立命館大学およびアメリカン大学は、国際的な連携プログラムを円滑に実施できるよう、以下のとおり既存の施設、設備等を共同利用し、国際的なプログラム展開のための新たなシステムを整備する。

（１）立命館大学における施設の利用について

１）校地・校舎等の整備計画について

立命館大学においては、国際関係学部が設置される衣笠キャンパスの施設、設備等を使用する。衣笠キャンパスには、学部では、国際関係学部のほかに法学部、産業社会学部、文学部、映像学部が、研究科では国際関係研究科、法学研究科、社会学研究科、文学研究

科、応用人間科学研究科（2018（平成 30）年 4 月学生募集停止）、言語教育情報研究科、映像研究科、先端総合学術研究科が設置されている。

キャンパス内には、教室棟に加えて、平井嘉一郎記念図書館・同ラーニングコモンズ、保健センター、体育館等が設置されている。

授業・指導・事務的なサポートにあたっては、国際関係学部の基本棟である恒心館を中心に活用し、学習・研究の進展にあたっては、平井嘉一郎記念図書館・同ラーニングコモンズ等を活用することで、国際連携学科で実施する教育・研究に必要な施設・設備について十分にその条件を満たすことができる。

２）図書等の資料及び図書館の整備計画

①図書および雑誌

立命館大学には、図書館施設として、衣笠キャンパスに平井嘉一郎記念図書館、修学館リサーチライブラリー、人文系文献資料室、朱雀キャンパスに朱雀リサーチライブラリー、びわこ・くさつキャンパスにメディアセンター（自然科学系図書館)、メディアライブラリー（社会科学系図書館)、大阪いばらきキャンパスに OIC ライブラリーをそれぞれ設置している。

またこれらの施設を含めた大学全体の蔵書は、2017（平成 29）年 4 月現在で約 292 万 7 千冊（製本雑誌含む）に達し、これに加えて約 5 万 4 千タイトルの学術雑誌、そのうち約 4 万 4 千タイトルの電子ジャーナルを収集・整備している。これらはほぼすべて、学生の利用が可能である。

国際連携学科は、アメリカン大学との国際連携の上で開設される小規模な学科であることからも、同学科にかかる図書等については大学全体で整備されている蔵書・雑誌等の活用をもって、同学科の教育・研究を実施するうえで支障のないように整備することになる。特に学術雑誌については、主として下記のような雑誌の整備を行っている。

International Sociology
International Political Science abstracts
World Investment Report
Security dialogue
Foreign Affairs
European journal of international relations
International Studies Quarterly
Australian Journal of International Relations
Finance and Development
日本民俗学
European Journal of International Relations(雑誌・電子ジャーナル)
International Organization(電子ジャーナル)

World Politics(電子ジャーナル)

②電子ジャーナル、オンラインデータベース、電子書籍等

電子ジャーナルについては、キャンパス・ネットワークを介して大学全体で共有しており、人文科学、自然科学、社会科学の分野を問わず幅広い分野を対象に選定・収集している。特に、Elsevier Science B. V.、Wiley-Blackwell、Oxford University Press、Springer、Cambridge University Press の大手 5 社が刊行する電子ジャーナルについてはパッケージ契約をしており、最新の情報と共にバックナンバーの講読が継続的に行える環境がある。データベースについては Web of Science や Magazine Plus などの二次情報、EBSCO Host、ProQuest Central などのアグリゲータ系電子ジャーナル、日経テレコン 21、聞蔵などの新聞データベースを中心に、基本的なデータベース・ツールの提供を行い、全学で共有できる電子書籍も積極的に収集している。

③閲覧席、ラーニングコモンズ

立命館大学の学術資料は、立命館大学学術情報システム（RUNNERS）を利用して、図書資料の所蔵情報、貸出返却・予約などが可能であり、一部図書資料については、抄録のオンラインでの閲覧も可能となっている。なお、ラーニングコモンズ「ぴあら」を設置し、これまでの成果を継承・発展させ様々な学習支援を開始した。

④図書館等との相互協力

他機関との協力に関わっては、Online Computer Library Center, Inc.（OCLC）や国立情報学研究所の NACSIS-CAT/ILL、GeNii の図書館間ネットワーク等に参加するとともに、私立大学図書館協会、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）等の加盟館として、国内外を問わず他大学、他機関と図書館間相互協力（文献複写や相互現物貸借）を推進している。

⑤検索手法の指導等

大学図書館の基本的な使い方を初め、RUNNERS や電子ジャーナル、オンラインデータベースの検索・活用方法等を中心に、各学部の教学やニーズに沿った図書館リテラシー教育を各学部の担当教員と協働で展開している。そこでは、各図書館の職員によってクリッカーを利用した双方向授業の取り組みや、Web 視聴による講義等を実施し、RUNNERS の図書検索など内容の充実をはかっている。

また、自学自習のために、Web ガイドや RAIL（Ritsumeikan Academic Information Literacy）などの、情報の収集、選択、活用の能力を高めるためのオンラインツールを提供している。

（2）アメリカン大学に置ける施設の利用について

アメリカン大学においては、ワシントン D.C.のメインキャンパスの施設、設備等を利用する。特に、授業運営、研究・学習指導、事務運営にあたっては、連携先学部である SIS の学部棟および、全学図書館等を活用する。これらの施設の利用によって、国際連携学科で実施する教育・研究に必要な施設・設備について十分にその条件を満たすことができる。

アメリカン大学図書館は、700,000 冊以上の書籍、300,000 冊以上の電子書籍を所蔵し、300 以上のデータベースにアクセスできるなど、教育・研究に十分な環境を有している。
http://www.american.edu/library/collections/index.cfm

（3）国際的なプログラム運用に向けた環境整備

国際連携学科が国際的な連携に基づいて実施されるものであることを踏まえ、既存のラーニング・マネジメントシステムの活用等を積極的に活用するとともに、テレビ会議システムを活用して、円滑な教育・研究・運営に努める。

上記を通じて、当該学科に限定した施設・設備の整備を行わないが、当該学科の定員が極めて小規模であることから、既存学部等の教育研究の実施に支障をきたすものではない。

８．入学者選抜の概要

（1）学生の受入れに関する考え方

国際連携学科の入学定員は立命館大学において履修を始める RU-Home 学生 20 人、アメリカン大学において履修を始める AU-Home 学生 5 人の合計 25 人を想定している。国際連携学科は、グローバル・国際社会における幅広い課題を、グローバル国際関係学の観点から適切に理解し、その課題解決や平和的かつ持続可能な発展に貢献することのできる人材を育成することを旨とし、それらの事象に関心を持ち、日米双方での学修を行って、将来、行政・経済・文化等さまざまな分野で国際的視野を持って働くことに強い意欲を持つ学生の受入れを行うことを目指している。

これらの考え方を基本としながら、下記のとおりアドミッション・ポリシーを定め、入学者選抜を実施する。

（2）アドミッション・ポリシー

国際連携学科はキャンパスの内外で効果的なリーダーシップを発揮できるグローバルなマインドと国際社会の諸問題を分析するために必要な基礎学力を有し、卒業後、友好的で相互に有益な東アジアおよび日本と米国の関係発展ならびに国際社会の平和と繁栄に貢献する意欲を持った学生を求めている。

（3）教育方法や内容等の具体的な周知方法

国際連携学科の学生募集に当たり、アメリカン大学および立命館大学は連携して、学位取得要件、カリキュラム、授業料、奨学金、アカデミックカレンダー、履修計画、その他の必要事項などの情報を、ウェブサイト、パンフレット、出願関連資料などで公表する。

プログラムの概要については共同のウェブサイトを運用し、出願受付を担当する大学が、その特性（言語等）に応じた具体的なウェブサイト・パンフレットをそれぞれ作成する。これらの資料は、共同学位プログラムであることを踏まえ、両大学の事務局によって入念に共有され、齟齬がないよう努めるものである。

（4）入学選抜の概要

国際連携学科における学生受け入れに関する考え方で求めている人材を確保するため、入学資格及び出願資格を満たし、国際連携学科を運営する立命館大学およびアメリカン大学合同による合否判定を行って、受験生を受入れる。特に、両大学における履修の必要性や共同学位の特色を受験生自身が適切に理解し、その学修を安定して行うことができることが重要であり、その学修動機について十分な審査・確認を行う。

（5）入学資格

立命館大学において履修を始める RU-Home 学生の入学・出願資格については、既設の国際関係学科のグローバル・スタディーズ専攻における内容に準じて概ね下記のとおりとする。なお、日本国内のみではなく、国外に居住する外国人留学生からの出願についても受理するものとする。またアメリカン大学において履修を始める AU－Home の学生についても基本的にこれに準拠する。

＜出願資格（2018（平成 30）年 4 月入学の RU-Home 学生）＞

出願資格は、次の①～③のすべてに該当する者とする。各出願資格において「見込み」で受験して合格し、出願資格に必要な要件を入学日の前日までに満たさない場合は入学を許可しない。

①国際連携学科で勉学したいと強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確に持つ者。

② 下記 a～c のいずれかに該当する者。

a. 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者、または 2018（平成 30） 年 3 月卒業見込みの者。

b. 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、または 2018（平成 30） 年 3 月までに修了見込みの者。

c 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、また、入学の前日までにこれに該当する見込みの者。

＜高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められるものの要件＞

ア 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、または入学の前日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または入学日までに修了見込みの者。

ウ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または大学の入学の前日までに修了見込みの者。

エ 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA レベルを有する者で 2018（平成 30）年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者など)。

オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験(旧規程による大学入学資格検定を含む）に合格した者、または入学の前日までに合格見込みの者で、18 歳に達する者。

カ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。

キ その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の前日までに 18 歳に達するもの。

③英語による講義を理解する能力がある者。具体的には、以下の英語能力試験の基準を出願時に満たしており、証明書によりそのスコアを証明できる者。

TOEFL iBT®Test 71 点以上

（6）選抜の方法・時期

入学者選抜は、受験票を当初受理した大学（Home 大学）が出願資格や出願動機についての審査を行い合否判定案を作成する。そのうえで、両大学の教職員で構成される合同運営委員会が合同で審議を行って、最終的な合否判定を行うこととする。具体的には以下のとおりとする。

【RU-Home 学生の選抜（立命館大学主管)】

立命館大学が主管で実施する RU-Home 学生の入学試験については、特別入試（AO 英語基準入試および英語基準の推薦入試等）を想定しており、現行の 4 月入学者のためのグローバル・スタディーズ専攻の入試との合同実施を基本とする。当該入試においては、書類選考（英文での志望動機や課題論文の提出、過去の学業成績、英語試験スコア等)・必要に応じた面接選考により、アドミッション・ポリシーに掲げる要件について、適切に審査・判

断を行う。

AO 入試の場合は、概ね次のようなスケジュールと内容にて実施することとする。

	獲得 目標数	出願 期間	1 次選 考合否 発表日	2 次選考 （面接試 験） 実施日	学部教授会 および合同 運営委員会 による 合否判定	2 次選考 合否 発表日	入学時期
AO 英語 基準入 試	約17名	8月29 日～9 月2日 頃	9 月 30 日頃	10 月 9 日 頃	10 月中旬	10 月 18 日 頃	4 月
AO 英語 基準入 試（外 国人留 学生対 象）	約 3 名	9 月 9 日～ 9月30 日頃	11 月 1 日頃	11 月 19 日 頃	11 月下旬	12 月 8 日 頃	4 月

【AU-Home 学生の選抜（アメリカン大学主管）】

アメリカン大学が主管で実施する、アメリカン大学で履修を始める AU-Home 学生の入学試験については、アメリカ国内の生徒を対象としたアメリカン大学における通常の入学者選抜の方法・手順に則り、同大学の責任のもとで実施し、合否判定案を同大学が作成する。

	獲得 目標数	出願受付 および 書類選考の実施	学部教授会および 合同運営委員会に よる合否判定	入学日
アメリカン大 学（AU）にお ける入学者選 抜	5 名	AU 側のスケジュールで 随時実施 （～1 月 10 日頃）	3 月初旬	6 月 1 日

※AU では入学者選抜において面接選考を実施していないため、書類選考のみで合否判定案を作成する。

（7）合同運営委員会による合否判定

国際連携学科においては、両大学の教職員で構成される合同運営委員会が最終的な合否

判定を適切に行う。合同運営委員会は、立命館大学側からは学部長、国際連携学科担当副学部長、入試担当副学部長および国際連携学科運営担当の教員等が、アメリカン大学側からは入試部門長、国際教育部門長、アカデミック・アドバイザー、プログラム・コーディネーター等がメンバーとして加わることを計画しており、テレビ会議等を通じて実施するものとする。なお、入試の合否判定において、学部教授会と合同運営委員会において判定内容に齟齬が生じないよう、アドミッション・ポリシーを両大学間で共有しつつ、事前に十分なすり合わせを行うものとする。

９．企業実習等を実施する場合の具体的計画

立命館大学においては、これまで国際関係学科が蓄積してきた実習先（国際交流基金、日本記者クラブ、多文化共生センターFACIL 等）との間で、協定の締結に加え、担当教員・国際関係学部事務室との間で、責任ある実施連絡・運営体制を構築して、インターンシップを実施する。

このインターンシップ科目では、受け入れ先についての事前学習、受け入れ先での活動、および事後学習を通して、実務の現状を理解し、キャリア形成のための経験とスキルの向上をめざすインターンシップを実施し、社会に貢献する自らの適正とキャリア・パスに対する具体的な方向性について認識することができるよう、支援を行う。

評価にあたっては、事前研修と事後研修をすべて受講すること、インターンシップ研修（40 時間以上の実務研修）に参加すること、研修日誌（日報・総括)、最終レポート等の提出を持って、「合格：P 評価」または「不合格：F 評価」による評価を実施する。

アメリカン大学におけるインターンシップについても、担当教員による指導と実習により、ワシントン D.C.近郊の企業・在外公館等での実習を実施する。SIS 内のインターンシップコーディネーターがインターンシップ受入れ先との関係や学生の支援等について、支援する体制を整えている。当該授業科目では、上記のインターンシップ先での実習（1 単位あたり 70 時間以上の実務研修）に併行して、指導教員による指導のほか、週ごとに提出するレポート課題、事後レポート等の実施を通じて評価を行うものである。

10. 管理運営

（１）学内における管理運営体制

国際連携学科の管理運営にあっては、立命館大学では学部として国際関係学科との一体的運用を前提として、教員組織・学部執行部が責任を持って、アメリカン大学との連携を推進できる体制を構築する。具体的には、国際連携学科の母体となる国際関係学部国際関係学科より、専任教員 2 名を国際連携学科に移籍させ、国際連携学科を担当する副学部長を学部に新たに置く。これらの教員と学部執行部（学部長・副学部長・学生主事）によって構成される、学校教育法施行規則第 143 条にもとづく専門委員会として「アメリカン大学・立命館大学国際連携学科運営委員会」をおき、その定めによって教授会から下記の国

際連携学科に係る事項について権限を委譲して国際連携学科の運営について審議・議決等を行うものとする。
（1） 学科課程とその担当者、授業および学力考査に関する事項
（2） 学生の入学、卒業、その他学生の身上に関する事項
（3） 学生の指導・援助に関する事項

さらに、2 名の専任教員（助教）を新規任用の上国際連携学科の所属とし、担当の副学部長による統括の下で、国際連携学科における入試・学生支援・教学の各分野をそれぞれが分掌のうえ、学部事務室の担当事務職員との間での教職協働により日常的な管理運営の実務を担うものとする。

また、国際連携学科の管理運営を適正且つ円滑に行うため、「立命館大学国際関係学部教授会規程」にもとづき、国際関係学科だけでなく、国際連携学科の運営についても、国際関係学部教授会が責任を持って運営する体制を構築する。教授会は、学部長が議長を務め、専任教員を構成員として運営される。教授会の運営及び学部としての教学運営を円滑に行うため、国際関係学部執行部会議を週 1 回開催し、新たに国際連携学科担当の副学部長も同会議の構成員として出席した上で、教授会への提案事項等についての事前調整・審議を行うものとする。

（2）連携外国大学との管理運営・調整体制

連携外国大学であるアメリカン大学とは、合同運営委員会を設置し、毎月一度程度の対面もしくはスカイプ会議の実施を通じて日常的な連携・協力を行うものとする。これに加えて、入学・履修・卒業等の課題の必要性に応じて、都度委員会を開催する。合同運営委員会の構成員としては、その審議すべき議題に応じて、両大学から担当副学部長、プログラム･コーディネーター（立命館大学からは入試・学生支援・教学の各分野をそれぞれ担当する国際連携学科所属の各教員）、国際部門･学生部門･入試部門の各責任者とする。なお、立命館大学側では、一定の英語運用能力を有する担当の事務職員も出席することにより、国際連携学科にかかわる事務の円滑な処理に努めるものとする。

（3）事務局運営体制について

事務局レベルでは、学部としての一体的な運営を前提とすることから、国際関係学部事務室が、国際部、入学センター等の全学部門と協働しながら、運営の支援を担当する。グローバルな規模での国際連携学科の教学展開に対応できる事務職員の組織的力量（一定の英語運用能力は言うまでもなく、多様な文化・宗教的背景を有する学生や教員に対して適切且つ公平な対応ができる異文化対応能力を有した十分な数の事務職員の配置）や、連携外国大学との間での事務を適切かつ効率的に処理するために必要な権限の付与が必要となる。これらに鑑みて、アメリカン大学側の事務局との日常的な調整・協議に際して、責任

ある決定と判断が下せる事務局体制として、学部事務室の事務長および事務長補佐の下に、国際連携学科を担当する専任職員・契約職員等の事務職員を新たに配置する。その上で、前述した国際連携学科を担当する副学部長、国際連携学科における入試・学生支援・教学の各分野をそれぞれ担当する専任教員（助教）との間での教職協働により、連携外国大学であるアメリカン大学の教職員と日常的な連携を図り、学生支援や履修指導を含む業務および必要な事務の処理にあたることとする。なお、国際関係学部国際関係学科では、既に2011（平成23）年に、主に英語により国際関係学を学ぶグローバル･スタディーズ専攻を開設し、英語基準の学生を受け入れている。そのため、英語対応を前提とした業務遂行・事務の処理については、一定のノウハウと人材を有している。

11. 自己点検・評価

立命館大学にあっては大学基準協会の、アメリカン大学はMiddle States Association of Colleges and Secondary Schools 等の認証評価を受けるとともに、双方の大学の基準に沿った自己点検・評価を実施する。

また、プログラム運営の質保証や改善の観点から、アメリカン大学と合同でのレビュー委員会の設置を行い、本学のこれまでの自己評価・第三者評価の取組みや、アメリカン大学での取組みも活かしながら、自己ならびに第三者評価体制を構築して、自己点検・評価の取り組みを行う。

12.情報の公表

（1）情報の公表

立命館大学では、かねてより大学ホームページ上で大学基準協会認証評価結果、自己点検・評価報告書、大学基礎データ、財務書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表など)、事業計画・事業報告書、学部・研究科の設置認可申請書および届出書、設置計画履行状況報告書、教員の教育研究情報、入学試験要項・入試情報、入試合格発表、進路・就職状況、学生数などを広く社会に公表している。

（2）国際関係学部としての情報の公表

国際関係学部では、学部のホームページを開設し、自己評価、人材育成目的、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、教員情報、シラバス、カリキュラムなどを公開している。

http://www.ritsumei.ac.jp/ir/

13. 連携外国大学について

連携外国大学であるアメリカン大学は、7 つの学部からなるワシントン D.C.にキャンパスを置く 1891（明治 24）年創立の私立大学で、学部生約 7200、大学院生約 3600 人が学ん

でいる。

同大学 SIS は、1955（昭和 30）年に創立され、国際関係学のスクールとしては全米で最大規模を誇り（学部生約 1600 名、大学院生約 800 名が在籍)、“Foreign Policy Magazine (2014)”の“The top 25 IR programs for undergraduates, master's, and Ph.D.s”では、学部で全米 9 位、大学院修士課程で同 8 位にランキングされるなど、極めて社会的評価が高く、連携外国大学として望ましい条件を備えている。

（1）アメリカ合衆国における国際連携教育課程に関する制度

アメリカン大学が所在するアメリカ合衆国では、国家による制度上の枠組みとしての国際連携教育課程についての制度、規定はないが、適切な運営を行うことによって、大学が適切に判断し、運営を行うことが可能である。先行事例としてヴァージニア州に所在する College of William and Mary が英国の University of St. Andrews との間でジョイント・ディグリー（学士課程）が実施されている。

http://www.wm.edu/as/undergraduate/curriculum/special/standrews/?svr=web

（2）質保証制度に基づく評価等

アメリカン大学は、米国の地区アクレディテーション機関である The Middle States Commission on Higher Education からアクレディテーションを受けており、最新では 2014（平成 26）年にその審査を更新している。また、立命館大学、アメリカン大学ともに、全米を中心とした国際関係学系スクールからなる団体（Association of Professional Schools of International Affairs: APSIA）の正規メンバーであり、年に 1 度の Annual Meeting 等で教育プログラムの内容や質保証等について意見交換を行っている。

（Middle School States Commission on Higher Education)

http://www.msche.org/Documents/SAS/13/Statement%20of%20Accreditation%20Status.htm

14. 協議及び協定について

（1）協議の場について

アメリカン大学と立命館大学とは、アメリカン大学　School of International Service 学部長、立命館大学国際部長をそれぞれの代表出席者とする定期協議会が年 1 回開催されてきた。国際連携学科の実施・運営に際しては、同年次定期協議会においてジョイント・ディグリーに関する課題を協議するとともに、立命館大学国際関係学部国際連携学科教職員及びアメリカン大学 SIS 教職員による合同運営委員会を、下記の課題に対応しながらテレビ会議システム等を活用しながら月一度程度定期開催する。

合同運営委員会が所管する事項は下記のとおりである。

＊教育課程の編成および運営等に関する事項

＊入学者の募集・選抜及び学位の授与に関する事項
＊在学生の在籍管理及び学生支援に関する事項
＊共同開設科目に関する事項
＊教育課程等の評価に関する事項
＊その他

（2）連絡窓口等について

国際連携学科の運営、学生支援等やそれにかかわって起こりうる、不測の事態等に備えるため、立命館大学においては国際関係学部長、アメリカン大学においては Dean of School of International Service がその連絡責任者を務めるほか、それぞれ担当職員を置いて、密に連絡・調整を行う。

（3）協定について

国際連携学科に関する協定を立命館大学学長とアメリカン大学学務担当副学長（プロヴォスト）との間で締結する。アメリカン大学では、通例として学術プログラムに関する協定等は、その最高責任者である学務担当副学長がこれを担うことになっており、協定代表者として適切である。

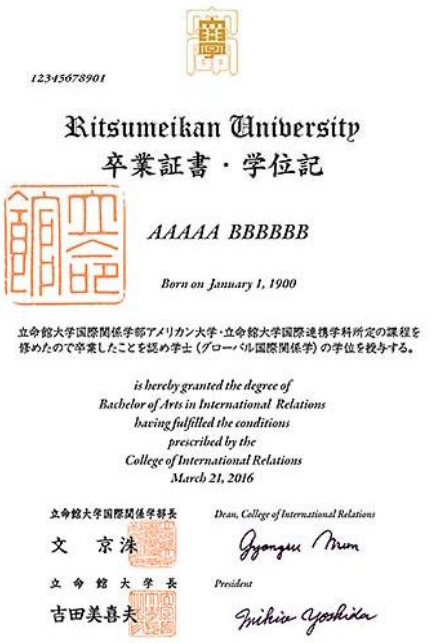
15. 学生への経済的支援に関する取組

立命館大学およびアメリカン大学は、それぞれの Home 学生について、相応の経済的な負担を伴う海外留学プログラムであることに鑑み、適切な奨学金等の経済的な支援を行うよう、努力する。立命館大学において履修を始める RU-Home 学生については、一定の成績要件を満たした学生について、アメリカン大学側から 30％の学費減免が行われる。加えて、既存の「立命館大学グローバル・イニシアチブ奨学金」の枠組みを援用するなど、一定の水準を満たした学生に対し、奨学金を支給できる制度を整備するとともに、外部奨学金（官民協働海外留学支援制度、JASSO「海外留学支援制度（協定派遣）」等の適用についても申請し、アメリカン大学での就学に支障をきたさぬよう、支援を行うものとする。

アメリカン大学で履修を始める AU-Home 学生については、立命館大学から入学金を免除するほか、アメリカン大学側で米国連邦奨学金（米国籍対象の奨学金）の適用を受けるとともに、来日時には JASSO 留学生受入れ奨学金等の外部奨学金の適用についても申請することで、日本就学時の経済的な負担について軽減できるよう努力する。

以　上

【資料1】学位記サンプル



12345678901

Ritsumeikan University

卒業証書・学位記

AAAAA BBBBBB

Born on January 1, 1900

立命館大学国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科所定の課程を
修めたので卒業したことを認め学士（グローバル国際関係学）の学位を授与する。

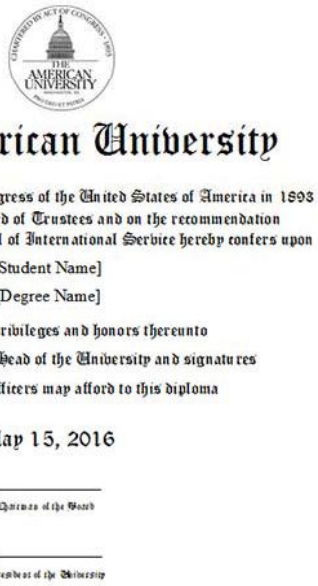
is hereby granted the degree of
Bachelor of Arts in International Relations
having fulfilled the conditions
prescribed by the
College of International Relations
March 21, 2016

立命館大学国際関係学部長
文　京洙

Dean, College of International Relations

立命館大学長
吉田美喜夫

President



The American University

Incorporated by Act of Congress of the United States of America in 1893
By authority of the Board of Trustees and on the recommendation
of the Faculty of the School of International Service hereby confers upon

[Student Name]

[Degree Name]

With all rights, privileges and honors thereunto
In witness whereof the Head of the University and signatures
of duly appointed officers may afford to this diploma

May 15, 2016

Chairman of the Board

President of the University

【資料2】大学教員定年規則／立命館大学特別任用教員規程

○大学教員定年規則

昭和34年２月27日

規程第62号

第１条　大学教員の定年は、教授については満65歳とする。教授以外の教員については満60歳とする。

第２条　大学教員が定年に達したときは、その学年末に退職するものとする。

第３条　前２条にかかわらず、総長（学長）および副総長（副学長）の職にある者は、その在任中、教授に任用する。

第４条　この規程の改廃は、各教授会、大学協議会、常任理事会の議を経て理事会が行う。

附　則

この規則は、昭和34年３月１日から施行する。

附　則（1985年４月26日付第３条の改正並びに第４条及び附則第１項から第５項までの削除）

１　第３条による任用は、該当の学部教授会及び大学協議会の議を経て行なうものとする。

２　この規則は、1985年４月１日から適用する。

附　則（2000年３月８日副総長（副学長）職追加に伴う改正）

この規則は、2000年４月１日から施行する。

附　則（2004年３月26日改廃規定新設にともなう一部改正）

この規則は、2004年３月26日から施行する。

附　則（2008年７月11日総合理工学院設置に伴う一部改正）

この規程は、2008年７月11日から施行し、2008年４月１日から適用する。

○立命館大学特別任用教員規程

1993年11月26日

規程第277号

（趣旨）

第１条　この規程は、特別任用教員に関して必要な事項を定める。

（定義）

第２条　特別任用教員は、本大学を定年退職した教授のうち、高度な教育の能力と実績を有する者を、主として授業を担当する目的で任用する有期雇用教員をいう。

（職位）

第３条　特別任用教員の職位は、教授とする。

（所属）

第４条　特別任用教員は、大学院独自の教員組織を整備した研究科（以下「独立研究科」という。）または定年退職時の学部もしくは教育機構に所属する。

（職務）

第５条　特別任用教員は、主として所属組織の教育に従事する。ただし、原則として大学運営には加わらない。

２　特別任用教員の職務は、その所属により次の２つに区分する。

(1)　学部または機構に所属する者（以下「特別任用教員A」という。）は、主として学部教育にあたる。

(2)　独立研究科に所属する者（以下「特別任用教員B」という。）は、主として大学院教育にあたる。

３　特別任用教員の責任時間は、通年４授業時間（１授業時間は90分）とする。ただし、次の各号に定める授業科目および授業時間を含まなければならない。

(1)　特別任用教員A

教養科目（教養ゼミナールおよびTheme Studyを除く。）、理工系の専門基礎（基礎専門）科目、教職課程科目（教職に関する科目、一般的包括的な内容を含む教科に関する科目および教科又は教職に関する科目）、外国語科目のいずれかを通年１授業時間以上

(2)　特別任用教員B

独立研究科の研究指導科目（法務研究科は演習科目）を通年２授業時間以上および独立研究科の講義科目を通年１授業時間以上

４　特別任用教員は、教授会、研究科委員会、各種委員会等への出席を要しない。

（人事委員会）

第６条　特別任用教員の任用のために、特別任用教員人事委員会（以下「人事委員会」という。）を置く。

２　人事委員会は、次の各号に定める者で構成し、委員長は学長とする。

⑴　学長

⑵　副学長

⑶　該当する学部、研究科および機構の長

⑷　教学部長

⑸　教学部副部長

（任用手続）

第７条　特別任用教員の任用は、学部長、研究科長または機構長が、次条に定める任用基準に合致する候補者を人事委員会に推薦し、人事委員会で審査のうえ、本人の意向を確認し、大学協議会の議を経て決定する。

２　前項にかかわらず、次の各号に定める者の推薦は、当該各号に定める者が行う。

⑴　定年退職する年度に英語以外の外国語科目を主たる授業科目として担当していた者
　　言語教育推進機構長

⑵　定年退職する年度に日本語科目を主たる授業科目として担当していた者
　　国際教育推進機構長

⑶　定年退職する年度に教職課程科目を主たる授業科目として担当していた者
　　教職教育推進機構長

（任用基準）

第８条　特別任用教員の任用は、次の各号に掲げる基準をすべて満たす場合に行う。

⑴　全学共通教育および学部教育に必要な者であることまたは課程博士輩出等大学院教育に顕著な実績があること。

⑵　若手教員の模範となり、FDへの理解と実績があること。

⑶　担当する授業科目についての適合性があること。

２　前項の基準を満たす者であっても、教育および研究を行うに十分な健康状態にない者は任用しない。

第９条　削除

第10条　削除

（更新基準等）

第11条　第８条に定めるもののほか、契約更新時の審査基準は、人事委員会で定める。

（就業規則）

第12条　特別任用教員の就業等に関する事項は、立命館大学有期雇用教員就業規則の定めるところによる。

（処遇）

第13条　個人研究費については、立命館大学個人研究費取扱規程の定めるところによる。

２　共用の教員研究室を提供する。

（改廃）

第14条　この規程の改廃は、大学協議会が行う。

附　則

（施行期日）

第１条　本規程は、1994年４月１日から施行する。

（経過措置）

第２条　本規程は、1993年３月31日定年退職教授及び1994年３月31日定年退職予定教授についても、これを適用することができる。

第３条　1993年３月31日定年退職教授及び1994年３月31日定年退職予定教授の任用手続については、本規程第４条第１項中、「５月15日」とあるのは「1993年11月30日」と、同条第３項中、「６月末日」とあるのは「1993年12月20日」と読み替えるものとする。

（見直し期限）

第４条　本規程は、1998年10月末日までに、その改廃も含めてこれを再検討するものとする。

附　則（1994年10月28日第７条の期日読替え規定の改正）

本規程は、1994年４月１日から適用する。

附　則（1996年４月26日昼夜開講制実施に伴う一部改正）

１　この規程は、1996年４月１日から施行する。

２　1996年３月31日現在「第二部」に在学する学生がいなくなるまでの間、この規程の条文における「夜間主コース」を「二部」と読み替えることができる。

附　則（1999年３月12日第４条、第７条の任用手続変更に関わる規程の改正）

１　本規程は、1999年４月１日から施行する。

２　本規程は、2000年10月末日までに、その改廃も含めてこれを再検討するものとする。

附　則（2001年６月22日任用制度の変更及び教学上の全学的必要性を任用基準として明確にすることに関わる規程の改正）

本規程は、2001年６月22日から施行し、2002年４月１日付任用者から適用する。

附　則（2006年４月１日機構改革に伴う改正）

この規程は、2006年６月28日から施行し、2006年４月１日から適用する。

附　則（2008年３月19日　授業時間の表記変更にともなう一部改正）

この規程は、2008年４月１日から施行する。

附　則（2008年10月29日2013年度までの運用とする新たな特別任用教授制度への変更にともなう改正）

1　この規程は、2009年４月１日から施行する。ただし、2006年３月31日定年退職教授、2007年３月31日定年退職教授および2008年３月31日定年退職教授についても、適用する。

2　2005年３月31日に定年退職を迎えた特別任用教授任用者に関する取扱いは従来の定めによる。

附　則（2011年11月４日特別任用教授制度の見直しに伴う全部改正）

1　この規程は、2013年４月１日から施行する。

2　前項にかかわらず、特別任用教授の所属および特別任用教授人事委員会については、2012年４月１日から施行する。

附　則（2013年３月８日立命館大学有期雇用教員就業規則の改正等に伴う一部改正）

この規程は、2013年４月１日から施行する。

附　則（2014年12月19日委員会構成の変更に伴う一部改正）

この規程は、2015年１月１日から施行する。

附　則（2016年１月29日　任用手続の変更等に伴う一部改正）

この規程は、2016年４月１日から施行する。

【資料3-1】　履修モデル　（RU-Home学生　日本語能力あり/ Thematic Area Global and Comparative Governance）

分野及び必要単位数	第１セメスター	第２セメスター	第３セメスター	第４セメスター	第５セメスター	第６セメスター	第７セメスター	第８セメスター	
	April	Sept	April	Sept	April	Sept	April	Sept	
キャンパス	RU	RU	RU	AU	AU	AU	AU	RU	
科目/単位数	7科目/18単位	7科目16単位	10科目20単位	5科目16単位	6科目16単位	6科目17単位	6科目16単位	6科目12単位	
基礎科目　38単位	Academic Skills I (4) Academic Skills II(4) Modern World History(2) Introduction to Lingistics(2)	Academic Skills III(4) Politics for Global Studies (2) Introduction to Anthroporogy (2)	Professional Workshop(2)	MATH-154 Great Ideas in Mathematics I(4) WRTG-101 College Writing Seminar(3)	ANTH-250 Human Origins(3) PSYC-115 Psychology as a Natural Science(3) PSYC-116 Psychology as a Natural Science lab(1)	JLC-110 Western Legal Tradition(3)	PHIL-105 Western Philosophy(3) LIT-125 Great Books That Shaped the Western World(3)		RU 22単位 AU 23単位
基幹科目　18単位	Introductory Seminar I (2) Economics for Global Studies(2) Theories of International Relations(2)	Macro Economics(2) Japanese culture(共同開設科目/2) Cultural awareness and Communication（共同開設科目/2)	Micro Economics（２）	First Year Seminar（共同開設科目/3)		SISU-300 Introduction to International Economics(3)			RU 14単位 RU(共同開設含）17単位 AU 6 単位 AU （共同開設科目除く）3単位
リサーチメソッド科目　6単位		Introductory Seminar II(2)	Global Studies Research(2)		SISU-306 Advanced International Studies Research (3)				RU 4単位 AU 3単位
外国語科目									―
固有専門科目（専門入門科目）　2分野以上から計9単位			Secuirty studies(2) Comparative and Global Governance (2) Introduction to Peace Studies(2) Introducton to the United Nations(2)	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture(3)					RU 8単位 AU 3単位
固有専門科目（固有専門科目）　9単位 （専門入門科目との合計18単位以上）			Global Simulation Gaming(2) Global Civil Society and Development(2)		SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia(3)	SISU-313 Transatlantic Security (3) SISU-393 International Relations Theory (3) SISU-391 Internship(4)	SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy (3) SISU-381 African Political Institutions (3)		RU 4単位 AU 19単位
地域研究科目　9単位			Japanese Politics(2)	SISU-212 China, Japan and the United States(3)	HIST-250 Empires and States in East Asia (3)		SISU-211 Civilizations of Africa(3)	Japanese Society (2) Japanese Economy (2)	RU 6単位 AU 9単位
Senior Capstone科目　3単位								Advanced Seminar (2) Graduation Research(2)	RU 4単位
選択科目						IndependentStudy (1)	IndependentStudy (1)	Global Political Economy(2) Development Studies(2)	AU 2単位 RU 4単位

AUキャンパスにおける取得単位	64単位
RUキャンパスにおける取得単位	65単位
取得単位合計	129単位

AU側取得単位	61単位
RU側取得単位（共同開設含む）	68単位
取得単位合計	129単位

【資料3-2】履修モデル （AU-Home学生　日本語能力なし/Thematic Area：Global and Comparative Governance）

分野及び必要単位数	オリエンテーション June	第1セメスター August	第2セメスター January	第3セメスター September	第4セメスター April	第5セメスター September	第6セメスター April	第7セメスター August	第8セメスター January	
キャンパス	AUI等(AU/ RU からコンテンツ提供)	AU	AU	RU	RU	RU	RU	AU	AU	
科目/単位数	単位無し	5科目/17単位	5科目17単位	8科目18単位	7科目14単位	8科目16単位	6科目12単位	5科目16単位	5科目15単位	
基礎科目　38単位		WRTG-101 College Writing Seminar(3)	ARTS-100 Art: The Studio Experience(3) HIST-100 Historians and the Living Past(3) MATH-150 Finite Mathematics(3)	Introduction to Anthropology (2)	Modern World history(2) Introduciton to Linguistics (2)	Politics for Global Studies(2)		WGSS-150 Women's Voices Through Time(3) ENVS-150 The Sustainable Earth(3) JLC-110 Western Legal Tradition(3) RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts(3)	CHEM-100 The Molecular World(3) PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances(3)	RU 8単位 AU30単位
基幹科目　18単位		First Year Seminar（共同開設科目/3) ECON-100 Macroeconomics FA4　3) SISU-105 World Politics FA3 (3)	ECON-200 Microeconomics FA4 (3)	Japanese culture(共同開設科目/2) Cultural Awareness and Communication（共同開設科目/2)		International Finance(2)	International Trade and Investment(2)			RU8単位 AU 12単位 RU/共同開設　11単位 AU9単位
リサーチメソッド科目　6単位				Introductory Seminar II(2)	Global Studies Research(2)		Advanced　Seminar (Research Methods)(2)			RU 6単位
外国語科目		Elementary Japanese I (5)	Elementary Japanese Ii (5)	日本語Ⅱ(ライティング)(1) 日本語Ⅱ(総合)(5)						RU　6単位 AU10単位
固有専門科目(専門入門科目)　2分野以上から計9単位				Introduction to the United Nations (2) Introduction to Peace Studies(2)	Secuirty studies(2) Global and comparative governance(2) Race and Ethnicity in the Modern World(2) Introduction to Gender Studies (2)					RU　12単位
固有専門科目(固有専門科目)　9単位 (専門入門科目との合計18単位以上)						Advanced Topics in International Relations (2) Global Sociology(2) International Human Rights(2)	Peace and Conflict Studies (2) Global Simulation Gaming(2)	SISU-391 Internship(4)		RU　10単位 AU　4単位
地域研究科目　9単位						Japan-United States Relations (2) Foreign Relations of Japan(2)	Modern Japanese History(2) Japan and the West(2)		RELG-473 Hinduism(3) RELG-210 Non-Western Religious Traditions(3)	RU　8単位 AU　6単位
Senior Capstone科目　(3単位)						Advanced　Seminar(2)			SISU-419 Senior Capstone: International Studies(3)	RU 2単位 AU 3 単位
選択科目										

AUキャンパスにおける取得単位	65単位
RUキャンパスにおける取得単位	60単位
取得単位合計	125単位

AU側取得単位	62単位
RU側取得単位(共同開設含む)	63単位
取得単位合計	125単位

学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科（以下、「本学科」という。）は、入学定員を 25 人として設定し、その内訳については立命館大学（以下、「本学」という。）で学習を開始する学生（以下、「RU-Home 学生」という。）20 名、アメリカン大学で学習を開始する学生（以下、「AU-Home 学生」という。）5 名を目処として構成する形で本学・アメリカン大学双方が連携･協力し、学科のアドミッションポリシーに適う学生の受け入れを行なう。入学定員およびその学生内訳の設定に際しては母体となる学部の専任教員数や既存の施設条件などの教学条件を勘案しつつ、日本側・アメリカ側双方において確実に定員充足が見込める数字として設定している。

本学は、近代日本の代表的な国際人であり自由主義者でもあった西園寺公望が 1869（明治 2）年に開いた家塾「立命館」を前身としており、学園の創立は 1900（明治 33）年に遡ることができ、長い歴史と伝統を有しているといえる。現在は 14 学部（法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、文学部、理工学部、国際関係学部、政策科学部、情報理工学部、映像学部、薬学部、生命科学部、スポーツ健康科学部、総合心理学部）、18 研究科（法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、社会学研究科、文学研究科、理工学研究科、国際関係研究科、政策科学研究科、応用人間科学研究科（2018（平成 30）年 4 月学生募集停止）、言語教育情報研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、公務研究科（2018（平成 30）年 4 月学生募集停止）、スポーツ健康科学研究科、映像研究科、情報理工学研究科、生命科学研究科、先端総合学術研究科、薬学研究科）、2 専門職大学院（法務研究科、経営管理研究科）を構成するまでに至り、2016（平成 28）年 5 月 1 日時点での本学の在校生数は学部生約 32,000 名、大学院生約 2,500 名にのぼり、卒業生数は 300,000 名を超えている。本学の 2016（平成 28）年度の入学試験結果では、全学部の入学定員 7,157 人に対し志願者が 94,930 名、志願倍率が 13.2 倍であった。過去 5 年間の 14 学部の志願者・合格者・入学者数の推移（資料 1　立命館大学の志願者・合格者・入学者数の推移）を見ても、本学においては 18 歳人口が減少している中でも非常に安定して志願者および入学者を確保しているといえる。

さらに本学では、2006（平成 18）年に『立命館憲章』を制定し、その中で「アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する」ことを宣言した。そして、日本人学生と留学生が多文化環境下で共に学び合うことで多文化協働人材として成長できるための様々な学びの仕組みや環境の整備を全学を挙げて推進している。国際連携学科の母体となる国際関係学部では、2011（平成 23）年に、既設の国際関係学科に国際関係学を主として英語で学ぶグローバル・スタディー

ズ専攻（以下、「GS 専攻」という。）を立ち上げた。折りしも、我が国企業のアジア等を中心とした海外への事業展開の加速に伴い、自ら主体的に物事を考え、多様な言語・文化・価値を乗り越えて、高いコミュニケーション能力や協調性、寛容性を以って相手との良好な関係を構築し協働することができるような、いわゆるグローバル人材の育成・確保の重要性が社会的に叫ばれるようになっていた。その開設以来、本学のグローバル人材育成を牽引してきた国際関係学部としては、日本語だけにとどまらず、国際通用性の高い言語である英語基準による学生の受入れ・教育を開始したことは、社会的な人材育成ニーズに即応するための必然的な結果であったといえる。GS 専攻の英語基準入試（AO および推薦入試）だけを見ても、その志願者数は 58 名【2011（平成 23）年度】、127 名【2012（平成 24）年度】、105 名【2013（平成 25）年度】、119 名【2014（平成 26）年度】、150 名【2015（平成 27）年度】、209 名【2016（平成 28）年度】と、ほぼ右肩上がりで順調に推移している（資料 2　国際関係学部 国際関係学科 グローバル･スタディーズ（GS）専攻 英語基準入試 過年度志願者数および入学手続き状況）。

国際連携学科においては、これまでの GS 専攻での英語基準によるカリキュラムや教員体制を基盤としながら、大学院修士課程では 1992（平成 4）年、続いて学士課程では 1994（平成 6）年に開始された DMDP／DUDP（ダブルディグリー・プログラム）の長きにわたってのパートナーであり、教育研究上の実績をともに作り上げてきたアメリカン大学との新たな連携により、教育の質とその内容、国際通用性において、更なる高みを目指すものである。次項「イ」に詳述するとおり、国際連携学科への学内推薦枠を設定予定である本学の附属高等学校の生徒に対するアンケート調査においても、国際連携学科への進学を検討したい声が強く上がっているほか、現在の国際関係学科 GS 専攻に学ぶ学生や DUDP に参加した現役学生に対するアンケート調査からも、国際連携学科に対する高い関心が窺えることからも、長期的に、RU-Home 学生の確保の見通しは十分に立つものと判断している。

他方でアメリカ国内においても、在学中に日本にある本学で学びたいと考える学生は年々増加傾向にあり、近年でも底堅く推移している。アメリカ国内にある本学の協定先大学からだけでも、38 名【2012（平成 24）年度】、49 名【2013（平成 25）年度】、46 名【2014（平成 26）年度】、43 名【2015（平成 27）年度】、41 名【2016（平成 28）年度】の学生が毎年短期留学の形で来日し、本学にて学んでいる（資料 3　派遣元大学（協定校）の所在国・地域別　短期留学生数（立命館大学での受入数）過年度推移）。したがって、AU-Home 学生として国際連携学科を志望するであろうアメリカ国内の学生は、安定して一定数存在する見通しであり、RU-Home 学生だけに偏った学生構成にはならないものと考えている。また、もし仮に一時的にそのような偏りが生じた場合、RU-Home 学生と AU-Home 学生が共に学ぶ科目（アメリカン大学のキャンパスにおいて開講される共同開設科目「コーホート科目」）において受講学生の内訳に偏りが発生することになるが、RU-Home 学生のアメリカン大学での履修および帰国後の本学での履修自体に何ら支障が生じるものではなく、国際連携学科の教学運営に影響を及ぼすものではない。

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

今回の国際連携学科の新設に伴う学生確保の見通しの根拠として、まず最初に、前項で触れた各種データに加えて、大手予備校による 2016（平成 28）年度入試結果を取り上げる。本学科が該当する「社会・国際」の学部系統における志願者数は、この間のグローバル人材育成に対する社会的関心の高さ等を反映して増加傾向にあり、私立大学全体では 257,791 名【2014（平成 26）年度】、258,941 名【2015（平成 27）年度】、247,771 名【2016（平成 28）年度】といった推移を見せている（資料 4　2016 年度入試結果　私立大学　（kei-net ホームページより））。また、「急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ，社会課題に対する関心と深い教養に加え，コミュニケーション能力，問題解決力等の国際的素養を身に付け，将来，国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する（文部科学省）」ための取り組みを行なう「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」に指定された全国の高等学校は、2016（平成 28）年度までのところで、123 校（国立 12 校，公立 73 校，私立 38 校）となっており、アソシエイト 56 校（国立 2 校，公立 24 校，私立 30 校）も加えると、一定の規模になっている。国際連携学科での学びに関心を持ち、潜在的な入学志願者となり得る高等学校の生徒層が、確実に拡大しつつあると考えられる。

次に、本学の附属高等学校のうち、立命館高等学校と立命館宇治高等学校の 2 校において実施したアンケート調査の概要と結果について述べる（資料 5　立命館大学附属高等学校 2 校において実施した国際連携学科への進学希望を尋ねるアンケート調査）。なお 2 校はいずれもスーパーグローバルハイスクール（SGH）指定校であり、この調査は 2 校ともグローバル人材育成教育を実践的に展開するコースの生徒を対象に実施した。

＜立命館大学附属高等学校 2 校において実施した国際連携学科への進学希望を尋ねるアンケート調査＞

調査対象：立命館高等学校 GL（国際系）コースの 2 年生の生徒（計 37 名）および立命館宇治高等学校 IM（イマージョン）コースの 2 年生の生徒（計 71 名）計 108 名

有効回答数：107（有効回答率 99.1%）

調査方法：上記の 2 高等学校に国際関係学部教員がそれぞれ赴き、回答協力への同意が得られた生徒に対し、専用のアンケート用紙を配布した上で、そこに記載された国際連携学科の構想内容について口頭説明を行なった後、15 分程度の回答時間を設け、その場でアンケート用紙を回収した。

調査実施日：2017（平成 29）年 3 月 9 日　立命館宇治高等学校、
同年 3 月 13 日　立命館高等学校

調査の結果、もっとも興味がある学問分野としては「経済・経営・商学」を挙げる生徒が 33 名（30.8%）ともっとも多かったが、「国際関係学」20 名（18.7%）がこれに続き、以下、「外国語学」11 名（10.3%）、「文学・史学・地理学・哲学・心理学」10 名（9.3%）となっており、国際関係学を含む人文社会科学系への強い志向性が見て取れる。海外留学の希望については、「1 年程度の留学（直接留学以外）を希望」する生徒が 33 名（30.8%）ともっとも多かったが、「海外の大学への留学（直接留学）を希望」する生徒（10 名、9.3%）や「2 年以上の留学（直接留学以外）を希望」する生徒（8 名、7.5%）も一定数存在している。

このような国際分野への興味や関心を有する生徒に対して、国際連携学科への進学の検討について質問したところ、42 名が「検討したい（8 名、7.5%）」・「少し検討したい（34 名、31.8%）」と回答しており、両者を合わせると、アンケートの対象となっている本学附属高等学校の生徒のうち、全体の 4 割（39.3%）に及ぶ層が、国際連携学科に何らかの興味を持っていることが判明した。

これら「検討したい」・「少し検討したい」と回答した生徒に対して、その理由を尋ねたところ、「他の学科や専攻では得られない、日米両大学の良い所を活かした学びや授業科目の受講、様々な学生との交流が期待できるから」と回答した生徒がもっとも多く（20 名、46.5%）、続いて「日本とアメリカで体系的かつ効率的に学べ、4 年間で日本の大学の卒業資格を得られるから」（13 名、30.2%）という回答が次に多い結果となった。

一方、「あまり検討したくない（44 名、41.1%）」・「全く検討したくない（20 名、18.7%）」と回答した生徒は、過半数がその理由として「学費が高いから」（35 名、54.7%）を挙げていた。

以上の結果により、本学科が提供する日米両大学の連携によるこれまでにない学びや授業科目、日米間の学生交流については、本学附属高等学校の生徒の関心も高く、具体的な進学先の検討の際の材料になっていることがわかった。その反面、学費の高さについては進学を躊躇する大きな要素になっていることも明らかになった。今回の調査を踏まえれば、次項「ウ」に詳述する学生の実質的な学費負担を軽減する奨学金制度を整備することにより、本学科の入学定員 25 人のうち、RU-Home 学生 20 名を充足することが見込まれ、今後十分に本学科においては安定的に学生確保が見通せるという判断に至った。

最後に、現在、国際関係学科 GS 専攻に学ぶ学生、および DUDP に参加した、もしくは現在参加中の現役学生に対してそれぞれ実施したアンケート調査の概要と結果について述べる（資料 6　国際関係学科 GS 専攻に学ぶ学生、および DUDP に参加した、もしくは現在参加中の現役学生に対してそれぞれ実施したアンケート調査）。これらの学生に対しては、

構想中の本学科の特徴と課程の内容についてその概要を説明した上で、もし自分自身が現在受験生であったとしたら、進学先として本学科を選択するか否かについて、その理由とともに尋ねている。

＜１）2016（平成 28）年度に国際関係学部国際関係学科 GS 専攻に在籍している学生を対象としたアンケート調査＞

調査対象：2016（平成 28）年度に国際関係学部国際関係学科 GS 専攻に在籍している全学生（計 273 名）

有効回答数：15（有効回答率 5.5%）

調査方法：電子メールにより、構想中の本学科の概要について説明を行なったうえでアンケートへの回答を依頼し、回答内容を再び電子メールにて返信してもらった。

調査期間：2017（平成 29）年 2 月 22 日～3 月 1 日（※実際には 3 月 3 日まで延長して回答を受け付けた）

春期休暇中且つ短期間での電子メールによるアンケート調査であったため、GS 専攻の学生からの有効回答率は高くはなかった。しかしながら、15 名中 9 名（60.0%）の GS 専攻の学生が、「もし自分がいま受験生であったとしたら、GS 専攻よりも国際連携学科への入学を希望する」と回答しており、「GS 専攻への入学を希望する」と回答した学生 3 名（20.0%）を大幅に上回っている。また、「国際連携学科への入学を希望する」とした理由については、「グローバル・スタディーズ専攻では得られない、日米両大学の良い所を活かした学びや授業科目の受講、様々な学生との交流が期待できるから」と答えた学生が 7 名（46.7%）と最も多く、続いて「インターンシップ等を含むアメリカでの長期の学びができることに魅力を感じるから」、「その他」と答えた学生がともに 1 名ずつであった。なお、国際連携学科よりも「グローバル・スタディーズ専攻への入学を希望する」と答えた学生 3 名に対して、その理由を聞いたところ、「グローバル・スタディーズ専攻のカリキュラムや授業科目で十分満足しているから」（2 名）、「日本とアメリカを行き来するのではなく、4 年間を通じてずっと京都で学びたいから」（1 名）との回答であった。また、グローバル・スタディーズ専攻と国際連携学科とどちらへの入学を希望するか「わからない」と回答した学生 3 名については、いずれもその理由として「情報が不足しており、学びの内容の違いがよくわからない」ことを挙げている。以上の分析結果から、今後においては受験生にとって更にわかりやすい広報・情報発信が求められる一方で、本学科の特徴である連携外国大学の教育資源を活かし

た多様な学びについては、受験生に本学科が進学先として十分な魅力を以って受け止められるものと判断した。

＜２）DUDP に参加した 2016（平成 28）年度に在籍している現役学生を対象としたアンケート調査

調査対象：2016（平成 28）年度に立命館大学に在籍している学生でアメリカン大学との DUDP に参加した、もしくは現在参加中の学生（計 10 名）

有効回答数：6（有効回答率 60.0%）

調査方法：電子メールにより、構想中の国際連携学科の概要について説明を行なったうえでアンケートへの回答を依頼し、回答内容を再び電子メールにて返信してもらった。

調査期間：2017（平成 29）年 2 月 15 日～2 月 22 日（※実際には 2 月 27 日まで延長して回答を受け付けた）

DUDP への参加学生数自体がそれほど多くないため、有効回答数自体も必ずしも多くはないが、全体の 6 割にあたる学生から回答への協力を得ることができた。もし自分がいま受験生であったとしたら、「DUDP への参加と国際連携学科への入学とどちらを選ぶか」の問いに対しては、「やはり DUDP を選ぶ」（3 名）と「国際連携学科を選ぶ」（3 名）の回答が同数で拮抗した。「やはり DUDP を選ぶ」と回答した学生全員がその理由として共通して挙げたのは「4 年間での卒業が困難な場合もあるが学位が 2 つ取得できること」であった。他方、「国際連携学科を選ぶ」と回答した学生の 3 名がその理由として「『国際関係学』の専門分野について体系的かつ効率的に学べ、確実に 4 年間で卒業できると思われるから」と回答し、1 名が「学位取得に繋がる長期の海外での学びに魅力を感じ、且つ学位は 1 つで十分だから」と回答している。また、「国際連携学科を選ぶ」と回答した学生の 1 名からは、DUDP の課題として、教育課程における一貫性の確保が難しいことや、単位認定の困難さを指摘する個別意見も寄せられ、これらの点における本学科の優位性に期待する声が聞かれた。一方の大学おいて学修する内容と、もう一方の大学において学修する内容とが、一つの統一した教育課程として体系的に学ぶことができる国際連携学科の特色が、本学科の志願者確保に有効にはたらくと判断できる。

ウ　学生納付金の設定の考え方

新設する国際連携学科における学生納付金については、学内の新設部門における「財政的

自立」(収支均衡) の原則を踏まえつつ、新たな教員組織の整備や施設設備の整備を伴わず、設置の母体となる既存学部におけるそれらを活用するものであることから、既存の国際関係学部国際関係学科と同額（入学金 300,000 円、年額授業料 1,246,400 円）として設定することが適切であると判断している。なお、連携外国大学であるアメリカン大学で学習する期間における学生納付金については、アメリカン大学が自大学の一般学生に対して提示している通常の学費と同額とするが、アメリカの私立大学における学費そのものが、本学および日本国内における競合校の学費を大きく上回る水準である。前述した本学の附属高等学校の生徒に対するアンケート調査の結果を見ても、学費負担の軽減を図ることが学生の確保のためにも重要であるといえる。本学においては、本学の既存の奨学金予算を中心に外部資金も活用する形で、RU-Home 学生向けに本学独自の奨学金制度の適用を別途計画している。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けては、前述した SGH およびアソシエイトの指定を受けている全国の高等学校を対象とした本学部の教職員による高等学校訪問、学科内容説明会の実施に加え、ジョイント・ディグリーそのものの特徴や意義、特に DUDP との差異や、その優位性について、高等学校関係者や生徒・保護者はもちろん、広く社会に対して情報発信を行なうことができるようなイベントを、首都圏をはじめとする受験生人口の多い地域において重点的に実施する予定である。その際には、本学科の設置は、本学が大学全体として推進している多文化協働人材の育成に向けた取り組みの一環であることを強くアピールしていく。また、本学科を設置予定である 2018（平成 30）年は、母体となる本学部が創設 30 周年を迎える年でもある。本学部 30 周年記念事業とも絡めて、本学部の新しい挑戦・国際関係学の再創造としての本学科を通じた「グローバル国際関係学」の展開を受験生にも広く印象付けていく。なお、本学の設置する 4 附属高等学校（立命館高等学校、立命館宇治高等学校、立命館慶祥高等学校、立命館守山高等学校）に対しても、進路指導教育の段階でジョイント・ディグリーの内容について十分な情報提供を行なうことで、これらの附属高等学校からの長期にわたる安定的な入学者確保を行なう。

参考：2016（平成 28)年度入試における本学附属高等学校からの学内推薦入試による
国際関係学部への入学者数の状況（※入学手続き完了者ベース）
立命館高等学校 16 名／立命館宇治高等学校 18 名／立命館慶祥高等学校 9 名／立命館守山高等学校 17 名

（２）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学科では、国際関係分野における新たなパラダイムの構築を目指す「グローバル国際関

係学」を本学とアメリカン大学との教育研究上の連携・協力により確立・展開する。国際関係について、従来の国際関係学が採用した西洋的価値観を基底に据えたアプローチを超克し、理論･歴史･文化･民族といった多面的な視点・見地から批判的に学ばせることで、グローバルおよびリージョナルな諸課題、とくに、東アジアとアメリカに関する諸課題に対する深い理解と国際社会において指導的役割を担うことができるような、以下に示す能力等を有する人材を養成する。

1. 国際関係を理論、歴史、文化、民族の多面的な視点・見地から批判的に分析できる。
2. 東アジアと米国に関連したグローバルかつリージョナルな諸課題について深い理解を有する。
3. 将来的に国際社会において指導的な役割を担うことができる基礎的な能力を有する。
4. リサーチクエスチョンを設定し、リサーチプロジェクトを企画･実施することができる。
5. 日本語を母語としない学生は中級レベルの日本語能力を示すことができる。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

現在、我が国においては、政府・産業界など様々なレベル･分野において、グローバル人材育成の必要性が強く指摘されている。このような流れを受け、我が国の高等教育機関が取り組むべき最重要課題の一つとして、大学でのグローバル人材育成のための多くの提言等がなされている状況である。たとえば、内閣官房長官を議長とする政府の「グローバル人材育成推進会議」では、我が国がこれからのグローバル化した世界経済・社会のなかにあって育成･活用していくべき「グローバル人材」の概念を整理し、以下の要素が含まれるものと定義した。

要素Ⅰ：語学力･コミュニケーション能力
要素Ⅱ：主体性･積極性、チャレンジ精神、協調性･柔軟性、責任感･使命感
要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ
※「グローバル人材育成戦略」【2012（平成 24）年 6 月 4 日 グローバル人材育成推進会議】より抜粋

他方、日本経済団体連合会（経団連）は「グローバル人材の育成に向けた提言」を 2011（平成 23）年 6 月に発表している（資料 7　経団連「グローバル人材の育成に向けた提言」（概要））。同提言では、事業活動のグローバル化や、新興諸国との国際競争の激化に伴い、国際ビジネスの現場で活躍できるグローバル人材の必要性が高まり、国籍に関わらず優秀な人材を採用・活用する動きがあることが指摘されている。経団連の会員企業を対象としたアンケートの結果によれば、グローバル人材には、①社会人に求められる基礎的な能力(主

体性、コミュニケーション能力、実行力、協調性、課題解決能力等)、②既成概念に捉われず、チャレンジ精神を持ち続ける姿勢、③外国語によるコミュニケーション能力、④異文化・社会に対する興味、関心、適応力などが求められることから、産官学が連携して、そのような資質・能力を持った人材の育成に取り組む必要があるとされている。また大学の学士課程教育に対しては、リベラル・アーツ教育の拡充を通じた幅広い視野や基礎的思考力の涵養や、英語で履修するカリキュラムの構築と海外大学との連携の強化などの取り組みを要請している。これらはいずれも、本学部が国際連携学科を通じて取り組もうとしている教育内容と養成する人材像に合致するものである。本学部の国際関係学科では、外務省を始め、国際的に事業展開を進める総合商社や大手メーカー、金融機関等において既に多くの卒業生を送り出している実績がある[*これまでの国際関係学部の進路就職実績（1991（平成 3）年度～2015（平成 27）年度末までの累計。判明分のみ）　外務省 26 名、商社（総合・専門）118 名、国際機関（国連機関、JICA 、JETRO、世界銀行、国際交流基金等）42 名、ジャーナリズム（新聞、TV、出版）152 名　等]。したがって、本学部の国際連携学科についても、上記のような社会からの強い期待や要請に十分に応えることができるものになるといえる。

以上

＜資料1　立命館大学の志願者・合格者・入学者数の推移＞

学部名		2012年（平成24）年度	2013年（平成25）年度	2014年（平成26）年度	2015年（平成27）年度	2016年（平成28）年度
法学部	志願者	6,800	7,058	6,927	7,811	8,326
	合格者	3,065	3,160	3,625	3,512	3,357
	入学者（A）	842	815	1,014	903	832
	入学定員（B）	790	790	790	790	790
	A/B	1.07	1.03	1.28	1.14	1.05
経済学部	志願者	8,785	7,732	7,827	9,148	8,807
	合格者	3,920	3,572	3,850	3,827	3,854
	入学者（A）	763	752	855	752	847
	入学定員（B）	735	735	735	735	735
	A/B	1.04	1.02	1.16	1.02	1.15
経営学部	志願者	8,131	7,103	8,666	10,655	9,660
	合格者	2,415	2,569	3,007	2,886	2,887
	入学者（A）	789	815	873	834	854
	入学定員（B）	760	760	760	760	760
	A/B	1.04	1.07	1.15	1.10	1.12
産業社会学部	志願者	10,163	9,818	10,646	9,440	11,364
	合格者	2,700	2,708	2,857	2,904	2,814
	入学者（A）	977	972	969	946	943
	入学定員（B）	900	900	900	900	900
	A/B	1.09	1.08	1.08	1.05	1.05
文学部	志願者	11,914	11,253	11,836	12,167	11,424
	合格者	3,744	3,737	4,393	4,734	4,074
	入学者（A）	1,198	1,156	1,172	1,217	1,017
	入学定員（B）	1,105	1,105	1,105	1,105	905
	A/B	1.08	1.05	1.06	1.10	1.12
理工学部	志願者	17,230	17,758	19,160	17,638	18,381
	合格者	6,720	6,292	7,037	7,232	7,849
	入学者（A）	957	880	936	945	1,029
	入学定員（B）	872	872	872	872	872
	A/B	1.10	1.01	1.07	1.08	1.18
国際関係学部	志願者	3,585	2,615	2,867	2,715	3,203
	合格者	891	918	945	981	924
	入学者（A）	309	349	295	335	286
	入学定員（B）	302	305	305	305	305
	A/B	1.02	1.14	0.97	1.10	0.94
政策科学部	志願者	3,686	3,611	3,600	3,691	4,733
	合格者	1,217	1,306	1,296	1,296	1,271
	入学者（A）	376	398	377	407	366
	入学定員（B）	360	360	360	360	360
	A/B	1.04	1.11	1.05	1.13	1.02
情報理工学部	志願者	5,252	5,359	5,308	5,201	5,049
	合格者	1,917	1,916	1,951	2,009	2,031
	入学者（A）	472	446	458	455	477
	入学定員（B）	440	440	440	440	440
	A/B	1.07	1.01	1.04	1.03	1.08
映像学部	志願者	1,584	1,309	1,459	1,611	1,814
	合格者	380	380	419	397	351
	入学者（A）	167	166	164	176	151
	入学定員（B）	150	150	150	150	150
	A/B	1.11	1.11	1.09	1.17	1.01
薬学部	志願者	2,235	2,430	2,191	2,151	2,268
	合格者	644	581	653	880	971
	入学者（A）	101	108	99	149	163
	入学定員（B）	100	100	100	160	160
	A/B	1.01	1.08	0.99	0.93	1.02
生命科学部	志願者	7,375	7,669	7,243	6,701	6,035
	合格者	2,510	2,272	2,497	2,485	2,776
	入学者（A）	313	299	311	272	296
	入学定員（B）	280	280	280	280	280
	A/B	1.12	1.07	1.11	0.97	1.06
スポーツ健康科学部	志願者	2,203	2,607	2,568	2,561	2,541
	合格者	607	663	710	637	629
	入学者（A）	218	224	236	237	246
	入学定員（B）	220	220	220	220	220
	A/B	0.99	1.02	1.07	1.08	1.12
総合心理学部	志願者					5,048
	合格者					1,035
	入学者（A）					318
	入学定員（B）					280
	A/B					1.14
大学合計	志願者	88,943	86,322	90,298	91,490	98,653
	合格者	30,730	30,074	33,240	33,780	34,823
	入学者（A）	7,482	7,380	7,759	7,628	7,825
	入学定員（B）	7,014	7,017	7,017	7,077	7,157
	A/B	1.07	1.05	1.11	1.08	1.09

＊ 5月1日を基準日とするため、以下の入学者数比率には2016年度の9月入学者数は含まれていない。
・国際関係学部合計
・政策科学部合計
・大学合計

＜資料2　国際関係学部　国際関係学科　グローバル･スタディーズ（GS）専攻
英語基準入試　過年度志願者数および入学手続き状況＞

2016（平成28）年度募集人数と出願状況/2016　Number Of Recruits and Application English Basis(International/Recommenda

				募集人数 Number of Recruits	志願者数 Applied			受験者数（2次） Applicants			合格者数（2次） Accepted			1次手続者数 Procedure			2次手続者数 Procedure			手続率 Enrollment Rate
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
GS専攻 (Global Studies)	4月入学	第１次	ＡＯ入学試験	AO：7 推薦：5 計：12	14	17	31	13	14	27	9	11	20	7	6	13	7	6	13	65%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計			14	17	31	13	14	27	9	11	20	7	6	13	7	6	13	
		4月入学　計			**14**	**17**	**31**	**13**	**14**	**27**	**9**	**11**	**20**	**7**	**6**	**13**	**7**	**6**	**13**	
	9月入学	第１次	推薦入学試験 (Recommend)	AO：13 推薦：10 計：23	1	9	10	1	9	10	0	6	6	0	6	6	0	6	6	100%
		小計			1	9	10	1	9	10	0	6	6	0	6	6	0	6	6	
		第２次	ＡＯ入学試験		22	34	56	8	23	31	7	19	26	1	7	8	1	7	8	33%
			推薦入学試験 (Recommend)		7	9	16	6	7	13	1	3	4	0	2	2	0	2	2	
		小計			29	43	72	14	30	44	8	22	30	1	9	10	1	9	10	
		第３次	ＡＯ入学試験		47	47	94	18	18	36	15	14	29	8	9	17	8	8	16	57%
			推薦入学試験 (Recommend)		1	1	2	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
		小計			48	48	96	19	19	38	16	14	30	9	9	18	9	8	17	
		9月入学　計			**78**	**100**	**178**	**34**	**58**	**92**	**24**	**42**	**66**	**10**	**24**	**34**	**10**	**23**	**33**	**50%**
	合計			35	**92**	**117**	**209**	**47**	**72**	**119**	**33**	**53**	**86**	**17**	**30**	**47**	**17**	**29**	**46**	**53%**

2015(平成27) 年度募集人数と出願状況/2015　Number Of Recruits and Application English Basis(International/Recommendat

				募集人数 Number of Recruits	志願者数 Applied			受験者数 Applicants			合格者数 Accepted			手続者数(1次) Procedure			手続者数(2次) Procedure			手続率 Enrollment Rate
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
GS専攻 (Global Studies)	4月入学	第１次	ＡＯ入学試験	AO：7 推薦：5 計：12	2	1	3	1	1	2	1	1	2	0	1	1	0	1	1	67%
			推薦入学試験 (Recommend)		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
		小計			3	1	4	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1	1	2	
		第２次	ＡＯ入学試験		15	10	25	12	7	19	10	7	17	7	5	12	7	5	12	71%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計			15	10	25	12	7	19	10	7	17	7	5	12	7	5	12	
		4月入学　計　【①】			**18**	**11**	**29**	**14**	**8**	**22**	**12**	**8**	**20**	**8**	**6**	**14**	**8**	**6**	**14**	**70%**
	9月入学	第１次	推薦入学試験 (Recommend)	AO：13 推薦：10 計：23	6	7	13	6	7	13	4	6	10	4	5	9	4	5	9	90%
		小計			6	7	13	6	7	13	4	6	10	4	5	9	4	5	9	
		第２次	ＡＯ入学試験		17	25	42	17	23	40	13	12	25	4	6	10	4	6	10	43%
			推薦入学試験 (Recommend)		4	6	10	4	5	9	1	2	3	0	2	2	0	2	2	
		小計			21	31	52	21	28	49	14	14	28	4	8	12	4	8	12	
		第３次	ＡＯ入学試験		27	26	53	26	24	50	13	16	29	7	11	18	7	11	18	63%
			推薦入学試験 (Recommend)		1	2	3	1	2	3	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
		小計			28	28	56	27	26	53	13	17	30	7	12	19	7	12	19	
		9月入学　計　【②】			**55**	**66**	**121**	**54**	**61**	**115**	**31**	**37**	**68**	**15**	**25**	**40**	**15**	**25**	**40**	**59%**
	合計			35	**73**	**77**	**150**	**68**	**69**	**137**	**43**	**45**	**88**	**23**	**31**	**54**	**23**	**31**	**54**	**61%**

2014(平成26) 年度募集人数と出願状況/2014 Number Of Recruits and Application English Basis(International/Recommendat

				募集人数 Number of Recruits	志願者数 Applied			受験者数 Applicants			合格者数 Accepted			手続者数(1次) Procedure			手続者数(2次) Procedure			手続率 Enrollment Rate
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
GS専攻 (Global Studies)	4月入学	第１次	ＡＯ入学試験	AO：7 推薦：5 計：12	4	6	10	4	4	8	4	4	8	3	4	7	3	3	6	75%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			小計		4	6	10	4	4	8	4	4	8	3	4	7	3	3	6	
		第２次	ＡＯ入学試験		14	7	21	10	5	15	8	5	13	5	1	6	5	1	6	50%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
			小計		14	9	23	10	7	17	8	6	14	5	2	7	5	2	7	
		4月入学　計			**18**	**15**	**33**	**14**	**11**	**25**	**12**	**10**	**22**	**8**	**6**	**14**	**8**	**5**	**13**	**59%**
	9月入学	第１次	推薦入学試験 (Recommend)	AO：10 推薦：10 JAO：3 計：23	5	9	14	5	8	13	4	8	12	3	7	10	3	7	10	83%
			小計		5	9	14	5	8	13	4	8	12	3	7	10	3	7	10	
		第２次	ＡＯ入学試験		8	16	24	7	14	21	7	13	20	3	4	7	3	4	7	48%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	5	5	0	5	5	0	5	5	0	5	5	0	5	5	
			小計		8	21	29	7	19	26	7	18	25	3	9	12	3	9	12	
		第３次	ＡＯ入学試験		16	13	29	13	11	24	5	9	14	3	3	6	3	3	6	48%
			ＪＡＯ入学試験		9	5	14	7	5	12	3	4	7	2	3	5	2	2	4	
			小計		25	18	43	20	17	36	8	13	21	5	6	11	5	5	10	
		9月入学　計			**38**	**48**	**86**	**32**	**44**	**75**	**19**	**39**	**58**	**11**	**22**	**33**	**11**	**21**	**32**	55%
	合計			35	**56**	**63**	**119**	**46**	**55**	**100**	**31**	**49**	**80**	**19**	**28**	**47**	**19**	**26**	**45**	

2013(平成25)年度募集人数と出願状況/2013 Number Of Recruits and Application English Basis(International/Recommendati

				募集人数 Number of Recruits	志願者数 Applied			受験者数 Applicants			合格者数 Accepted			手続者数 Procedure			手続率 Enrollment Rate
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
GS専攻 (Global Studies)	4月入学	第１次	ＡＯ入学試験	IAO：7 RA：5	9	12	21	9	8	17	8	8	16	4	4	8	53%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
			小計		9	13	22	9	9	18	8	9	17	4	5	9	
		第２次	推薦入学試験 (Recommend)		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	56%
			小計		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
		4月入学　計			**10**	**13**	**23**	**10**	**9**	**19**	**9**	**9**	**18**	**5**	**5**	**10**	56%
	9月入学	第１次	推薦入学試験 (Recommend)	IAO：10 JAO：3 RA：10	3	11	14	3	11	14	2	11	13	1	10	11	85%
			小計		3	11	14	3	11	14	2	11	13	1	10	11	
		第２次	ＡＯ入学試験		13	19	32	12	19	31	8	16	24	2	11	13	54%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			小計		13	19	32	12	19	31	8	16	24	2	11	13	
		第３次	ＡＯ入学試験		13	14	27	10	11	21	6	10	16	4	4	8	55%
			推薦入学試験		0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
			ＪＡＯ入学試験		3	5	8	3	3	6	3	3	6	2	2	4	
			小計		16	20	36	13	15	28	9	13	22	6	6	12	
		9月入学　計			**32**	**50**	**82**	**28**	**45**	**73**	**19**	**40**	**59**	**9**	**27**	**36**	55%
	合計			35	**42**	**63**	**105**	**38**	**54**	**92**	**28**	**49**	**77**	**14**	**32**	**46**	55%

2012(平成24)年度募集人数と出願状況/2012　Number Of Recruits and Application English Basis(International/Recommendatic

				募集人数 Number of Recruits	志願者数 Applied			受験者数 Applicants			合格者数 Accepted			手続者数 Procedure			手続率 Enrollment Rate
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
GS専攻 (Global Studies)	4月入学	第１次	ＡＯ入学試験	AO：5 R：5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	100%
			JAO入学試験		4	4	8	1	2	3	1	1	2	1	1	2	
			推薦入学試験 (Recommend)		2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	
		小計			7	8	15	4	6	10	4	5	9	4	5	9	
		第２次	ＡＯ入学試験		8	11	19	8	11	19	7	9	16	4	5	9	58%
			JAO入学試験		2	3	5	2	3	5	1	2	3	1	1	2	
			推薦入学試験 (Recommend)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計			10	14	24	10	14	24	8	11	19	5	6	11	
		第３次	ＡＯ入学試験		12	5	17	12	4	16	11	4	15	8	2	10	69%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
		小計			12	6	18	12	5	17	11	5	16	8	3	11	
		4月入学　計			**29**	**28**	**57**	**26**	**25**	**51**	**23**	**21**	**44**	**17**	**14**	**31**	70%
	9月入学	第１次	ＡＯ入学試験	AO：10 R：10	4	4	8	4	4	8	3	4	7	2	2	4	55%
			JAO入学試験		0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	
			推薦入学試験 (Recommend)		8	6	14	8	6	14	6	6	12	5	2	7	
		小計			12	11	23	12	11	23	9	11	20	7	4	11	
		第２次	ＡＯ入学試験		4	3	7	4	3	7	2	2	4	1	1	2	38%
			JAO入学試験		3	3	6	2	2	4	1	2	3	0	0	0	
			推薦入学試験 (Recommend)		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
		小計			8	6	14	7	5	12	4	4	8	2	1	3	
		第３次	ＡＯ入学試験		9	13	22	8	11	19	2	8	10	1	7	8	76%
			JAO入学試験		6	4	10	6	4	10	4	2	6	3	1	4	
			推薦入学試験 (Recommend)		0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
		小計			15	18	33	14	16	30	6	11	17	4	9	13	
		9月入学　計			**35**	**35**	**70**	**33**	**32**	**65**	**19**	**26**	**45**	**13**	**14**	**27**	60%
	合計			20	**64**	**63**	**127**	**59**	**57**	**116**	**42**	**47**	**89**	**30**	**28**	**58**	65%

2011(平成23) 年度募集人数と出願状況/2011　Number Of Recruits and Application English Basis(Japanese)

				募集人数 Number of Recruits	志願者数 Applied			受験者数 Applicants			合格者数 Accepted			手続者数 Procedure			手続率 Enrollment Rate
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
GS専攻 (Global Studies)	4月入学	第１次	ＡＯ入学試験	10	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	50%
			推薦入学試験 (Recommend)		1	3	4	1	3	4	0	3	3	0	1	1	
		小計			1	4	5	1	4	5	0	4	4	0	2	2	
		第２次	ＡＯ入学試験		6	2	8	6	2	8	5	2	7	3	1	4	63%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
		小計			6	3	9	6	3	9	5	3	8	3	2	5	
		4月入学　計			**7**	**7**	**14**	**7**	**7**	**14**	**5**	**7**	**12**	**3**	**4**	**7**	58%
	9月入学	第１次	ＡＯ入学試験	20	1	1	2	1	1	2	1	1	2	0	0	0	71%
			推薦入学試験 (Recommend)		6	8	14	6	8	14	5	7	12	4	6	10	
		小計			7	9	16	7	9	16	6	8	14	4	6	10	
		第２次	ＡＯ入学試験		2	3	5	2	1	3	2	1	3	0	0	0	0%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計			2	3	5	2	1	3	2	1	3	0	0	0	
		第３次	ＡＯ入学試験		10	12	22	10	12	22	8	12	20	5	6	11	57%
			推薦入学試験 (Recommend)		0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
		小計			10	13	23	10	13	23	8	13	21	5	7	12	
		9月入学　計			**19**	**25**	**44**	**19**	**23**	**42**	**16**	**22**	**38**	**9**	**13**	**22**	58%
	学部　計			30	**26**	**32**	**58**	**26**	**30**	**56**	**21**	**29**	**50**	**12**	**17**	**29**	58%

＜資料3　派遣元大学(協定校)の所在国・地域別　短期留学生数(立命館大学での受入数)過年度推移＞

＊2016年11月時点の学生交換協定数　142大学(内アメリカ国内　32大学)

年度	アメリカ	カナダ	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	ﾆｭｰｼﾞﾗﾝﾄﾞ	フランス	ドイツ	イタリア	イギリス	スペイン	ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ	ｱｲｽﾗﾝﾄﾞ	ﾃﾞﾝﾏｰｸ	ベルギー	オランダ	ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ	ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	ﾉﾙｳｪｰ	韓国	香港	台湾	中国	タイ	フィリピン	マレーシア	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	メキシコ	ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ	チェコ	協定校以外	合計
1996	5	2	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	14	32
1997	3	2	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	24
1998	4	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5	22
1999	5	3	2	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	28
2000	4	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	2	5	0	2	0	0	0	0	0	0	11	36
2001	12	3	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	2	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	5	40
2002	7	7	1	1	4	3	2	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	2	4	4	0	2	0	0	0	0	0	0	3	48
2003	8	4	4	1	5	2	2	3	0	0	0	2	0	0	0	5	1	6	3	4	6	0	1	0	0	0	0	0	0	6	63
2004	12	3	6	1	3	3	2	2	0	0	0	2	0	0	0	4	2	11	1	4	11	0	1	0	0	0	0	0	0	6	74
2005	16	5	2	1	7	4	2	3	0	0	0	5	0	0	0	3	2	20	2	4	8	0	1	0	0	0	0	0	0	7	92
2006	35	12	7	1	9	9	2	7	0	2	0	3	0	0	0	5	0	13	0	4	23	0	1	0	0	0	0	0	0	13	146
2007	26	11	6	1	9	6	2	5	0	2	0	3	0	0	0	11	4	14	3	4	21	0	2	0	0	0	2	0	0	18	150
2008	33	10	8	3	9	3	3	4	1	1	0	1	0	0	2	6	3	13	2	4	20	0	2	1	0	0	1	0	0	14	144
2009	43	11	13	1	8	7	4	6	2	3	1	4	2	0	2	10	5	13	3	5	15	0	2	0	0	0	0	0	0	8	168
2010	26	19	11	1	6	7	4	5	2	2	1	3	3	1	1	10	2	9	2	2	16	0	1	2	0	1	1	0	0	19	157
2011	20	3	3	1	11	13	1	8	1	2	1	1	0	1	1	12	4	5	1	6	18	0	1	0	1	0	0	0	0	19	134
2012	38	5	13	2	19	11	2	9	3	1	1	1	2	1	2	8	2	9	2	6	13	0	1	1	0	0	0	0	0	40	192
2013	49	4	10	1	14	12	3	5	2	0	0	1	0	1	2	9	4	8	5	7	18	0	0	3	0	1	4	1	0	26	190
2014	46	5	16	2	11	13	2	7	1	2	1	2	0	1	1	8	3	5	5	6	15	0	1	0	0	3	5	0	1	44	206
2015	43	3	9	4	15	19	2	5	3	4	1	3	0	1	3	7	3	6	5	11	14	0	1	1	0	0	1	0	3	40	207
2016	41	5	13	1	18	15	5	9	4	3	3	5	0	1	3	9	3	9	3	12	13	1	1	0	0	1	3	0	1	24	206
合計	476	120	131	24	153	133	40	86	19	22	9	38	7	7	17	110	38	161	53	91	224	1	28	8	1	6	17	1	5	333	2359

＜資料4　2016年度入試結果　私立大学（kei-netホームページより）＞

2016年度入試　私立大入試結果（全体）（6/21現在）

※数値は6/21現在、私立548大学の集計
※2014～16年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む

①全体概況

		志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
		14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
全体		3,040,196	3,061,049	3,173,704	101%	104%	911,214	944,965	949,432	104%	100%	3.3	3.2	3.3
方式別	一般	2,040,639	2,078,288	2,167,327	102%	104%	559,907	580,526	587,010	104%	101%	3.6	3.6	3.7
方式別	センター	999,557	982,761	1,006,377	98%	102%	351,307	364,439	362,422	104%	99%	2.8	2.7	2.8
期別	一期	2,827,967	2,846,637	2,941,777	101%	103%	846,268	880,196	888,326	104%	101%	3.3	3.2	3.3
期別	二期	212,229	214,412	231,927	101%	108%	64,946	64,769	61,106	100%	94%	3.3	3.3	3.8

2016年度入試　私立大入試結果（地区別）（6/21現在）

※数値は6/21現在、私立548大学の集計
※2014～16年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む

①全体（一般+センター）

地区	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
北海道	37,943	35,269	34,109	93%	97%	19,572	18,214	18,574	93%	102%	1.9	1.9	1.8
東北	33,635	32,598	34,660	96%	107%	15,416	15,853	16,413	103%	104%	2.2	2.1	2.1
関東・甲信越（首都圏除く）	37,661	36,265	36,980	96%	102%	15,605	16,611	16,679	106%	100%	2.4	2.2	2.2
首都圏	1,764,359	1,774,908	1,846,181	101%	104%	477,716	492,118	494,930	103%	101%	3.7	3.6	3.7
北陸	20,732	21,060	20,874	102%	99%	9,008	9,118	9,366	101%	103%	2.3	2.3	2.2
東海	261,642	275,543	276,749	105%	100%	99,503	103,191	101,645	104%	99%	2.6	2.7	2.7
近畿	703,366	710,142	737,189	101%	104%	195,977	208,791	210,820	107%	101%	3.6	3.4	3.5
中国	45,917	47,606	52,369	104%	110%	23,648	24,687	24,686	104%	100%	1.9	1.9	2.1
四国	10,748	11,606	11,699	108%	101%	5,881	6,290	6,208	107%	99%	1.8	1.8	1.9
九州	123,993	116,052	122,694	94%	106%	48,890	50,092	50,111	102%	100%	2.5	2.3	2.4
全体	3,040,196	3,061,049	3,173,704	101%	104%	911,214	944,965	949,432	104%	100%	3.3	3.2	3.3

②一般方式

地区	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
北海道	22,700	21,221	20,642	93%	97%	10,955	9,601	10,162	88%	106%	2.1	2.2	2.0
東北	21,900	21,497	23,695	98%	110%	9,301	9,520	10,146	102%	107%	2.4	2.3	2.3
関東・甲信越（首都圏除く）	23,222	22,248	22,882	96%	103%	8,530	8,660	9,020	102%	104%	2.7	2.6	2.5
首都圏	1,173,859	1,188,383	1,242,402	101%	105%	290,847	297,465	299,795	102%	101%	4.0	4.0	4.1
北陸	11,694	12,493	12,434	107%	100%	4,560	4,732	4,755	104%	100%	2.6	2.6	2.6
東海	161,954	170,186	171,335	105%	101%	54,495	55,885	55,899	103%	100%	3.0	3.0	3.1
近畿	507,375	525,349	550,599	104%	105%	132,023	142,562	145,549	108%	102%	3.8	3.7	3.8
中国	32,396	33,468	36,571	103%	109%	16,877	16,808	17,177	106%	102%	2.0	2.0	2.1
四国	7,505	9,183	8,959	122%	98%	3,834	4,868	4,713	127%	97%	2.0	1.9	1.9
九州	78,034	74,260	77,808	95%	105%	29,485	30,425	29,794	103%	98%	2.6	2.4	2.6
全体	2,040,639	2,078,288	2,167,327	102%	104%	559,907	580,526	587,010	104%	101%	3.6	3.6	3.7

③センター方式

地区	志願者数（A）					合格者数（B）					倍率（A／B）		
	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
北海道	15,243	14,048	13,467	92%	96%	8,617	8,613	8,412	100%	98%	1.8	1.6	1.6
東北	11,935	11,101	11,165	93%	101%	6,115	6,333	6,267	104%	99%	2.0	1.8	1.8
関東・甲信越（首都圏除く）	14,439	14,017	14,098	97%	101%	7,075	7,951	7,659	112%	96%	2.0	1.8	1.8
首都圏	590,500	586,525	603,779	99%	103%	186,869	194,653	195,135	104%	100%	3.2	3.0	3.1
北陸	9,038	8,567	8,440	95%	99%	4,448	4,386	4,611	99%	105%	2.0	2.0	1.8
東海	99,688	105,357	105,414	106%	100%	45,008	47,306	45,746	105%	97%	2.2	2.2	2.3
近畿	195,991	184,793	186,590	94%	101%	63,954	66,229	65,271	104%	99%	3.1	2.8	2.9
中国	13,521	14,138	15,798	105%	112%	7,769	7,879	7,509	101%	95%	1.7	1.8	2.1
四国	3,243	2,423	2,740	75%	113%	2,047	1,422	1,495	69%	105%	1.6	1.7	1.8
九州	45,959	41,792	44,886	91%	107%	19,405	19,667	20,317	101%	103%	2.4	2.1	2.2
全体	999,557	982,761	1,006,377	98%	102%	351,307	364,439	362,422	104%	99%	2.8	2.7	2.8

河合塾

©Kawaijuku Educational Institution.

2016年度入試　私立大入試結果（系統別）（6/21現在）

※数値は6/21現在、私立548大学の集計
※2014～16年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む

①全体（一般+センター）

学部系統	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
文・人文	608,742	605,593	632,801	99%	104%	197,004	206,651	205,373	105%	99%	3.1	2.9	3.1
社会・国際	257,791	258,941	264,749	100%	102%	81,444	84,879	83,653	104%	99%	3.2	3.1	3.2
法・政治	218,235	225,326	247,771	103%	110%	77,240	79,393	78,406	103%	99%	2.8	2.8	3.2
経済・経営・商	547,211	559,322	599,492	102%	107%	170,515	173,736	173,428	102%	100%	3.2	3.2	3.5
理	134,537	129,229	124,933	96%	97%	39,548	41,424	42,050	105%	102%	3.4	3.1	3.0
工	524,241	543,983	563,916	104%	104%	157,497	161,148	164,216	102%	102%	3.3	3.4	3.4
農	104,890	102,140	98,289	97%	96%	25,171	27,526	27,312	109%	99%	4.2	3.7	3.6
医・歯・薬・保健	361,200	356,593	352,560	99%	99%	71,927	77,197	80,855	107%	105%	5.0	4.6	4.4
医	104,140	104,569	105,655	100%	101%	5,334	5,542	5,848	104%	106%	19.5	18.9	18.1
歯	6,779	8,223	8,044	121%	98%	2,570	2,537	2,589	99%	102%	2.6	3.2	3.1
薬	104,405	99,220	90,368	95%	91%	23,136	23,994	24,946	104%	104%	4.5	4.1	3.6
看護	72,773	74,588	79,093	102%	106%	19,659	22,603	24,201	115%	106%	3.7	3.3	3.3
医療技術・他	73,103	69,993	69,200	96%	99%	21,028	22,321	23,271	106%	104%	3.5	3.1	3.0
生活科学	84,631	83,550	80,967	99%	97%	27,703	29,242	28,932	106%	99%	3.1	2.9	2.8
芸術・スポーツ科学	92,292	90,686	93,153	98%	103%	27,648	28,169	29,819	102%	106%	3.3	3.2	3.1
総合・環境・情報・人間	105,973	105,289	115,063	99%	109%	35,217	35,315	35,388	100%	100%	3.0	3.0	3.3
全体	3,039,743	3,060,652	3,173,704	101%	104%	910,914	944,680	949,432	104%	101%	3.3	3.2	3.3

②一般方式

学部系統	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
文・人文	408,231	402,613	423,760	99%	105%	121,670	123,839	123,068	102%	99%	3.4	3.3	3.4
社会・国際	170,342	174,129	178,132	102%	102%	48,732	50,636	49,547	104%	98%	3.5	3.4	3.6
法・政治	145,951	149,211	163,995	102%	110%	46,533	46,354	44,655	100%	96%	3.1	3.2	3.7
経済・経営・商	378,495	387,939	419,282	102%	108%	108,073	109,826	108,703	102%	99%	3.5	3.5	3.9
理	85,132	83,750	81,457	98%	97%	24,224	26,228	27,142	108%	103%	3.5	3.2	3.0
工	327,523	349,889	368,304	107%	105%	89,614	94,630	100,337	106%	106%	3.7	3.7	3.7
農	68,046	69,105	65,011	102%	94%	14,565	16,209	15,906	111%	98%	4.7	4.3	4.1
医・歯・薬・保健	268,897	272,604	270,676	101%	99%	50,406	55,371	58,621	110%	106%	5.3	4.9	4.6
医	86,656	88,610	90,593	102%	102%	4,598	4,812	5,128	105%	107%	18.8	18.4	17.7
歯	4,795	5,898	5,707	123%	97%	1,718	1,763	1,835	103%	104%	2.8	3.3	3.1
薬	71,480	70,920	64,860	99%	91%	14,994	16,306	17,712	109%	109%	4.8	4.3	3.7
看護	54,085	56,535	59,334	105%	105%	14,761	16,921	17,712	115%	105%	3.7	3.3	3.3
医療技術・他	51,901	50,641	50,182	98%	99%	14,335	15,569	16,234	109%	104%	3.6	3.3	3.1
生活科学	57,836	57,985	56,900	100%	98%	17,311	18,494	18,700	107%	101%	3.3	3.1	3.0
芸術・スポーツ科学	59,624	59,097	61,567	99%	104%	17,632	17,510	19,084	99%	109%	3.4	3.4	3.2
総合・環境・情報・人間	70,109	71,652	78,243	102%	109%	20,847	21,201	21,247	102%	100%	3.4	3.4	3.7
全体	2,040,186	2,077,974	2,167,327	102%	104%	559,607	580,298	587,010	104%	101%	3.6	3.6	3.7

③センター方式

学部系統	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
文・人文	200,511	202,980	209,041	101%	103%	75,334	82,812	82,305	110%	99%	2.7	2.5	2.5
社会・国際	87,449	84,812	86,617	97%	102%	32,712	34,243	34,106	105%	100%	2.7	2.5	2.5
法・政治	72,284	76,115	83,776	105%	110%	30,707	33,039	33,751	108%	102%	2.4	2.3	2.5
経済・経営・商	168,716	171,383	180,210	102%	105%	62,442	63,910	64,725	102%	101%	2.7	2.7	2.8
理	49,405	45,479	43,476	92%	96%	15,324	15,196	14,908	99%	98%	3.2	3.0	2.9
工	196,718	194,094	195,612	99%	101%	67,883	66,518	63,879	98%	96%	2.9	2.9	3.1
農	36,844	33,035	33,288	90%	101%	10,606	11,317	11,406	107%	101%	3.5	2.9	2.9
医・歯・薬・保健	92,303	83,989	81,884	91%	97%	21,521	21,826	22,234	101%	102%	4.3	3.8	3.7
医	17,484	15,959	15,262	91%	96%	736	730	720	99%	99%	23.8	21.9	21.2
歯	1,984	2,325	2,337	117%	101%	852	774	754	91%	97%	2.3	3.0	3.1
薬	32,945	28,300	25,508	86%	90%	8,142	7,688	7,234	94%	94%	4.0	3.7	3.5
看護	18,688	18,053	19,759	97%	109%	5,098	5,882	6,489	115%	110%	3.7	3.1	3.0
医療技術・他	21,202	19,352	19,018	91%	98%	6,693	6,752	7,037	101%	104%	3.2	2.9	2.7
生活科学	26,795	25,565	24,067	95%	94%	10,392	10,748	10,232	103%	95%	2.6	2.4	2.4
芸術・スポーツ科学	32,668	31,589	31,586	97%	100%	10,016	10,659	10,735	106%	101%	3.3	3.0	2.9
総合・環境・情報・人間	35,864	33,637	36,820	94%	109%	14,370	14,114	14,141	98%	100%	2.5	2.4	2.6
全体	999,557	982,678	1,006,377	98%	102%	351,307	364,382	362,422	104%	99%	2.8	2.7	2.8

河合塾

©Kawaijuku Educational Institution.

2016年度入試　私立大入試結果（主要大学グループ別）（6/21現在）

※数値は6/21現在、私立548大学の集計
※2014～16年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）
※過年度の集計には公立大学法人へ移行した大学の数値を含む
※大学グループ
早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科　MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政　日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修
成成明獨武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵　首都圏理系8大学：千葉工業・北里・工学院・東京工科・東京電機・東京農業・麻布・神奈川工科
首都圏女子13大学：大妻女子・学習院女子・共立女子・白百合女子・実践女子・昭和女子・聖心女子・清泉女子・津田塾・東京女子・日本女子・東洋英和女学院・フェリス女学院
関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館　産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷

①全体（一般+センター）

大学グループ		志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
		14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
548大学 計		3,040,196	3,061,049	3,173,704	101%	104%	911,214	944,965	949,432	104%	100%	3.3	3.2	3.3
主な大学グループ	早慶上理	229,869	230,094	231,988	100%	101%	50,474	50,582	49,390	100%	98%	4.6	4.6	4.7
	MARCH	392,872	395,595	406,294	101%	103%	82,092	84,375	86,056	103%	102%	4.8	4.7	4.7
	日東駒専	226,268	240,818	264,728	106%	110%	65,616	73,582	74,762	112%	102%	3.4	3.3	3.5
	成成明獨武	96,259	100,387	100,106	104%	100%	25,643	26,232	25,750	102%	98%	3.8	3.8	3.9
	首都圏理系8大学	154,350	157,950	163,065	102%	116%	36,916	37,983	40,357	103%	106%	4.2	4.2	4.5
	首都圏女子13大学	63,560	60,626	62,983	95%	104%	25,239	27,273	25,890	108%	95%	2.5	2.2	2.4
	関関同立	267,233	261,478	265,291	98%	101%	78,241	80,531	82,344	103%	102%	3.4	3.2	3.2
	産近甲龍	201,171	209,024	220,784	104%	106%	42,567	47,971	48,263	113%	101%	4.7	4.4	4.6
	北星学園・北海学園	9,222	9,376	9,156	102%	98%	6,014	5,017	4,977	83%	99%	1.5	1.9	1.8
	東北学院	9,259	8,819	9,336	95%	106%	4,313	4,226	4,297	98%	102%	2.1	2.1	2.2
	南山・愛知・中京・名城	102,976	106,148	109,244	103%	103%	37,040	37,383	35,692	101%	95%	2.8	2.8	3.1
	西南学院・福岡	66,914	63,313	69,456	95%	110%	18,987	20,324	20,037	107%	99%	3.5	3.1	3.5

②一般方式

大学グループ		志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
		14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
548大学 計		2,040,639	2,078,288	2,167,327	102%	104%	559,907	580,526	587,010	104%	101%	3.6	3.6	3.7
主な大学グループ	早慶上理	195,697	196,819	197,733	101%	100%	40,988	40,689	39,500	99%	97%	4.8	4.8	5.0
	MARCH	259,758	264,309	275,197	102%	104%	50,239	51,838	52,103	103%	101%	5.2	5.1	5.3
	日東駒専	143,406	144,970	162,044	101%	112%	39,216	41,380	40,953	106%	99%	3.7	3.5	4.0
	成成明獨武	58,709	62,978	62,741	107%	100%	14,094	14,382	13,949	102%	97%	4.2	4.4	4.5
	首都圏理系8大学	96,682	101,171	119,089	105%	118%	19,271	20,080	22,601	104%	113%	5.0	5.0	5.3
	首都圏女子13大学	36,440	35,438	36,877	97%	104%	14,862	15,452	14,762	104%	96%	2.5	2.3	2.5
	関関同立	182,987	181,228	185,641	99%	102%	50,050	51,870	53,969	104%	104%	3.7	3.5	3.4
	産近甲龍	150,217	159,795	169,866	106%	106%	28,742	32,340	31,705	113%	98%	5.2	4.9	5.4
	北星学園・北海学園	5,823	5,933	5,891	102%	99%	3,922	2,956	2,983	75%	101%	1.5	2.0	2.0
	東北学院	5,710	5,536	5,580	97%	101%	2,620	2,503	2,646	96%	106%	2.2	2.2	2.1
	南山・愛知・中京・名城	61,542	63,425	66,115	103%	104%	17,835	17,777	17,785	100%	100%	3.5	3.6	3.7
	西南学院・福岡	45,120	43,499	47,486	96%	109%	12,451	13,368	12,844	107%	96%	3.6	3.3	3.7

③センター方式

大学グループ		志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
		14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度	15/14	16/15	14年度	15年度	16年度
548大学 計		999,557	982,761	1,006,377	98%	102%	351,307	364,439	362,422	104%	99%	2.8	2.7	2.8
主な大学グループ	早慶上理	34,172	33,875	34,255	99%	101%	9,486	9,893	9,890	104%	100%	3.6	3.4	3.5
	MARCH	133,114	131,286	131,097	99%	100%	31,853	32,537	33,953	102%	104%	4.2	4.0	3.9
	日東駒専	82,862	95,848	102,684	116%	107%	26,400	32,202	33,809	122%	105%	3.1	3.0	3.0
	成成明獨武	37,550	37,409	37,365	100%	100%	11,549	11,850	11,801	103%	100%	3.3	3.2	3.2
	首都圏理系8大学	57,668	56,779	63,976	98%	113%	17,645	17,903	17,756	101%	99%	3.3	3.2	3.6
	首都圏女子13大学	27,120	25,188	26,106	93%	104%	10,377	11,821	11,128	114%	94%	2.6	2.1	2.3
	関関同立	84,246	80,250	79,650	95%	99%	28,191	28,661	28,375	102%	99%	3.0	2.8	2.8
	産近甲龍	50,954	49,229	50,918	97%	103%	13,825	15,631	16,558	113%	106%	3.7	3.1	3.1
	北星学園・北海学園	3,399	3,443	3,265	101%	95%	2,092	2,061	1,994	99%	97%	1.6	1.7	1.6
	東北学院	3,549	3,283	3,756	93%	114%	1,693	1,723	1,651	102%	96%	2.1	1.9	2.3
	南山・愛知・中京・名城	41,434	42,723	43,129	103%	101%	19,214	19,606	17,907	102%	91%	2.2	2.2	2.4
	西南学院・福岡	21,794	19,814	21,970	91%	111%	6,536	6,956	7,193	106%	103%	3.3	2.8	3.1

河合塾

©Kawaijuku Educational Institution.

＜資料5＞　立命館大学附属高等学校2校において実施した
国際連携学科への進学希望を尋ねるアンケート調査

【集計結果】

問1.　所属	件数	割合
①立命館高等学校	36	33.6%
②立命館宇治高等学校	70	65.4%
無回答・無効回答	1	0.9%
	107	

問2.　もっとも興味ある学問分野	件数	割合
①文学・史学・地理学・哲学・心理学	10	9.3%
②外国語学	11	10.3%
③国際関係学	20	18.7%
④教育・教員養成	2	1.9%
⑤法学・政治学	6	5.6%
⑥経済・経営・商学	33	30.8%
⑦社会・社会福祉	2	1.9%
⑧教養・リベラルアーツ	6	5.6%
⑨理学・工学	0	0.0%
⑩農・獣医畜産・水産	1	0.9%
⑪医学・歯学・薬学・看護・医療・保健学	2	1.9%
⑫栄養学・家政・生活科学	1	0.9%
⑬体育・スポーツ科学	3	2.8%
⑭芸術	5	4.7%
⑮その他	4	3.7%
無回答・無効回答	1	0.9%
	107	

問3.　海外留学の希望	件数	割合
①海外の大学への留学（直接留学）を希望	10	9.3%
②2年以上の留学（直接留学以外）を希望	8	7.5%
③1年程度の留学（直接留学以外）を希望	33	30.8%
④1～6ヶ月程度の留学（直接留学以外）を希望	23	21.5%
⑤1ヶ月以内の留学（直接留学以外）を希望	4	3.7%
⑥留学したくない	6	5.6%
⑦わからない	23	21.5%
	107	

問4.「国際連携学科」への進学の検討	件数	割合
①検討したい	8	7.5%
②少し検討したい	34	31.8%
③あまり検討したくない	44	41.1%
④全く検討したくない	20	18.7%
無回答・無効回答	1	0.9%
	107	

問5.　＜問4で①・②を選んだ場合のみ＞その理由	件数	割合
①日本とアメリカで体系的かつ効率的に学べ、4年間で日本の大学の卒業資格を得られるから。	13	30.2%
②他の学科や専攻では得られない、日米両大学の良い所を活かした学びや授業科目の受講、様々な学生との交流が期待できるから。	20	46.5%
③アメリカ・ワシントンD.C.で、2年間に及ぶ長期の学びができることに魅力を感じるから。	7	16.3%
④その他	1	2.3%
無回答・無効回答	2	4.7%
	43	

問6. ＜問4で③・④を選んだ場合のみ＞その理由	件数	割合
①「国際関係学」や「グローバル国際関係学」自体に興味がないから。	3	4.7%
②立命館大学国際関係学部には興味がなく、他大学や他学部への進学を希望しているから。	15	23.4%
③学費が高いから。	35	54.7%
④英語力に自信がない／英語が苦手だから。	3	4.7%
⑤「国際連携学科」の内容が具体的にイメージできないから。	3	4.7%
⑥その他	2	3.1%
無回答・無効回答	3	4.7%
	64	

2017 年 3 月

立命館大学の附属高校で学んでいる生徒の皆さんへ
＜立命館大学国際関係学部からの緊急アンケートへのご協力のお願い＞

国際関係学部では現在、我が国の大学学部レベルで初となる「国際連携学科」を 2018 年 4 月にスタートさせる準備をしています。これに伴い、国際関係学部は、「国際関係学科（主に日本語で国際関係学を学ぶ〔国際関係学専攻〕と、主に英語で国際関係学を学ぶ〔グローバル･スタディーズ専攻〕の 2 専攻)」と「アメリカン大学･立命館大学国際連携学科」（以下、「国際連携学科」といいます）の 2 学科体制になります。

この「国際連携学科」では、立命館大学国際関係学部とアメリカン大学（American University School of International Service）が連携して 1 つの教育課程を編成し、両大学が協力して 1 つの学科を運営します。学生は 4 年間の履修を経て、両大学の連名による 1 つの学位（Joint Degree　ジョイント・ディグリー）「学士（グローバル国際関係学)、BA in Global International Relations」を授与されます。なお、この学科は、立命館大学、アメリカン大学双方の学生を受け入れ、授業は英語で行なわれます。

国際関係学にかかわる各専門分野について、両大学の教員による一貫性のある指導のもと、4 年間を通じて両大学のキャンパスを行き来しながら（立命館大学衣笠キャンパスで 2 年間、ワシントン D.C.のアメリカン大学で 2 年間)、日米の学生がともに学ぶことになります。それぞれの大学の強みを活かした授業科目や両大学が共同で開設する授業科目が 1 つのカリキュラム体系の中で提供されるため、受講や単位修得に関してまったく無駄がありません。通常の海外留学に比べて、より体系的かつ効率的に専門の履修を深めることができます。「国際連携学科」は過去 20 年間の実績を持つ立命館大学とアメリカン大学の DUDP を発展させたものといえます。

なお、「国際連携学科」の学費は、立命館大学のキャンパスで学ぶ期間（2 年間）は国際関係学科と同額（入学金 300,000 円・授業料 1,246,400 円[年額]）、アメリカン大学のキャンパスで学ぶ期間（2 年間）はアメリカン大学の所定学費となります。アメリカン大学では一定の成績基準を満たせば、所定学費の 30%相当の減免（減免後の授業料[年額]は約 43,231 米ドル＜約 4,750,000 円＞）を受けることができますが、日米間の学費水準の違いには依然として大きなものがあります。そこで、さらに経済的負担を軽減するために、「国際連携学科」で学ぶ日本国内の学生向けに、返還義務のない新たな給付型奨学金制度を現在検討しており、アメリカン大学との現行の DUDP（共同学位プログラム）において支給されている奨学金（1 人当りの支給総額 2,400,000 円）と同水準になることを目指しています。

以上を踏まえて、皆さんの率直な声をお聞かせ下さい。

次頁の「問 1」から「問 6」について、各選択肢のうち、それぞれもっとも当てはまるものを 1 つだけ選び、回答欄にその番号を記入して下さい【複数回答は不可】。

※なお、回答いただいた内容は、「ｱﾒﾘｶﾝ大学･立命館大学国際連携学科」の設置に向けた統計資料としてのみ活用します。回答者個人を特定することは一切ありません。

問１．あなたの所属をお答え下さい。
①立命館高等学校
②立命館宇治高等学校

【回答欄：　　】

問２．あなたがもっとも興味のある学問分野を以下より１つだけお答え下さい。
①文学・史学・地理学・哲学・心理学　②外国語学　③国際関係学　④教育･教員養成
⑤法学･政治学　⑥経済･経営･商学　⑦社会･社会福祉　⑧教養･リベラルアーツ　⑨理学･工学
⑩農･獣医畜産･水産　⑪医学･歯学･薬学･看護･医療･保健学　⑫栄養学･家政･生活科学
⑬体育･スポーツ科学　⑭芸術　⑮その他

【回答欄：　　】

問３．あなたの海外留学の希望についてお答え下さい。
①海外の大学への留学（直接留学）を希望　②2 年以上の留学（直接留学以外）を希望
③1 年程度の留学（直接留学以外）を希望　④1～6 ヶ月程度の留学（直接留学以外）を希望
⑤1 ヶ月以内の留学（直接留学以外）を希望　⑥留学したくない
⑦わからない

【回答欄：　　】

問４．あなたは立命館大学国際関係学部が設置を準備している「国際連携学科」への進学を検討したいですか？
①検討したい　②少し検討したい　③あまり検討したくない　④全く検討したくない

【回答欄：　　】

問５．＜「問４」で①または②を選んだ場合のみ、回答下さい＞　その理由はなんですか？
①日本とアメリカで体系的かつ効率的に学べ、4 年間で日本の大学の卒業資格を得られるから。
②他の学科や専攻では得られない、日米両大学の良い所を活かした学びや授業科目の受講、様々な学生との交流が期待できるから。
③アメリカ・ワシントン D.C.で、2 年間に及ぶ長期の学びができることに魅力を感じるから。
④その他

【回答欄：　　】

問６．＜「問４」で③または④を選んだ場合のみ、回答下さい＞　その理由はなんですか？
①「国際関係学」や「グローバル国際関係学」自体に興味がないから。
②立命館大学国際関係学部には興味がなく、他大学や他学部への進学を希望しているから。
③学費が高いから。
④英語力に自信がない／英語が苦手だから。
⑤「国際連携学科」の内容が具体的にイメージできないから。
⑥その他

【回答欄：　　】

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

＜資料6＞国際関係学科GS専攻に学ぶ学生、およびDUDPに参加した、
もしくは現在参加中の現役学生に対してそれぞれ実施したアンケート調査

【集計結果】(国際関係学科GS専攻に学ぶ学生)

問1. 「グローバル・スタディーズ専攻」と「国際連携学科」とどちらを選ぶか	件数	割合
①グローバル・スタディーズ専攻	3	20.0%
②国際連携学科	9	60.0%
③わからない	3	20.0%
④どちらも選ばない	0	0.0%
	15	

問2. ＜問1で①を選んだ場合のみ＞その理由	件数	割合
①グローバル・スタディーズ専攻のカリキュラム・授業内容で満足	2	50.0%
②4年間を通じてずっと京都で学びたい	1	25.0%
③グローバル・スタディーズ専攻は就職等での実績があるから	0	0.0%
④その他	0	0.0%
無回答・無効回答	1	25.0%
	4	

問3. ＜問1で②を選んだ場合のみ＞その理由	件数	割合
①日本とアメリカで体系的かつ効率的に学べ、単位認定の心配がなく、確実に4年間で卒業できると思われるから。	0	0.0%
②グローバル・スタディーズ専攻では得られない、日米両大学の良い所を活かした学びや授業科目の受講、様々な学生との交流が期待できるから。	7	77.8%
③インターンシップ等を含むアメリカでの長期の学びができることに魅力を感じるから。	1	11.1%
④その他	1	11.1%
無回答・無効回答	0	0.0%
	9	

問4. ＜問1で③もしくは④を選んだ場合のみ＞その理由	件数	割合
①情報が不足しており、グローバル・スタディーズ専攻での学びと「国際連携学科」での学びの内容の違いがよくわからないから。	2	66.7%
②どちらも魅力的であり、選択が難しいから。	0	0.0%
③どちらも興味がない。	0	0.0%
④その他	0	0.0%
無回答・無効回答	1	33.3%
	3	

【集計結果】(DUDPに参加した、もしくは現在参加中の現役学生)

問1. 「DUDP」と「国際連携学科」とどちらを選ぶ	件数	割合
①DUDP	3	50.0%
②国際連携学科	3	50.0%
③わからない	0	0.0%
④どちらも選ばない	0	0.0%
	6	

問2. ＜問1で①を選んだ場合のみ＞その理由	件数	割合
①DUDP では4 年間での卒業が 困難な場合もあるが 学位が2 つ取得できるから。	2	66.7%
②DUDP では異なる専門分野を 学ぶことができるから。	0	0.0%
③DUDP は「国際連携学科」に比べて 長年の実績があるから。	0	0.0%
④その他	0	0.0%
無回答・無効回答	1	33.3%
	3	

問3. ＜問1で②を選んだ場合のみ＞その理由	件数	割合
①「国際関係学」の専門分野について 体系的かつ効率的に学べ、 確実に4 年間で卒業できると思われるから。	2	66.7%
②日米両大学の良い所を活かした学びが 期待できるから。	0	0.0%
③学位取得に繋がる長期の海外での学びに 魅力を感じ、且つ学位は1つで十分だから。	1	33.3%
④その他	0	0.0%
無回答・無効回答	0	0.0%
	3	

問4. ＜問1で③もしくは④を選んだ場合のみ＞ その理由	件数	割合
①情報が不足しており、 DUDP と「国際連携学科」の違いが よくわからないから。	0	#DIV/0!
②どちらも魅力的であり 選択が難しいから。	0	#DIV/0!
③どちらも興味がない。	0	#DIV/0!
④その他	0	#DIV/0!
無回答・無効回答	0	#DIV/0!
	0	

問5. DUDPについて改善して欲しいこと	件数	割合
①認定されない単位が多いこと。	1	16.7%
②4 年間での卒業が難しいこと。	1	16.7%
③カリキュラムに一貫性がないこと。	0	0.0%
④両大学の連携が不十分であること。	0	0.0%
⑤その他	2	33.3%
⑥改善して欲しいことは特にない。	0	0.0%
無回答・無効回答	2	33.3%
	6	

2017 年 2 月 22 日

グローバル・スタディーズ専攻で学んでいる学生の皆さんへ
＜国際関係学部事務室からの緊急アンケートへのご協力のお願い＞

国際関係学部では、学部創設 30 周年を迎える 2018 年 4 月に、学士課程(学部レベル）では
我が国で初となる「国際連携学科(仮称)」を新設する構想を持っています。
これに伴い、国際関係学部は、「国際関係学科」と「国際連携学科(仮称)」の 2 学科体制になります。

この「国際連携学科(仮称)」では、立命館大学　国際関係学部とアメリカン大学の School of International Service が連携して 1 つの教育課程を編成し、両大学が協力して 1 つの学科を運営します。

学生は 4 年間の履修を経て、両大学の連名による 1 つの学位（Joint Degree)「学士(グローバル国際関係学)」を授与されます。

なお、この学科では、立命館大学、アメリカン大学双方の学生を受け入れます。

国際関係学にかかわる各専門分野について、両大学の教員による一貫性のある指導のもと、
4 年間を通じて両大学のキャンパスを行き来しながら、日米の学生がともに学ぶことになります。
（この学科の学生が学ぶキャンパスは 2 大学にわたるため、物理的には立命館大学のキャンパスで 2 年間、アメリカン大学のキャンパスで 2 年間、それぞれ学ぶことになります)

それぞれの大学の強みを活かした授業科目や両大学が共同で開設する授業科目が 1 つのカリキュラム体系の中で提供されるため、通常の海外留学でよくあるような、卒業に必要な単位として認定されない単位が発生することは原則ありません。
そのため、通常の海外留学に比べて、より体系的かつ効率的に専門の履修を深めることができます。

そこで皆さんの率直な声をお聞かせ下さい。

下記の「問 1」から「問 4」について、それぞれもっとも当てはまるものを 1 つずつ
選んで回答下さい（複数回答は不可)。

なお、回答に際しては、下記のテキストをカット＆ペーストのうえ、それぞれの【回答欄】に選択肢の番号を入力し、下記メールアドレスまでメールを下さい。
（無記名で結構です。メールの件名(タイトル）のみ、「アンケート回答」として下さい）

回答メールの送信先：[redacted]

※回答期限は３月１日（水）までです。

※なお、回答いただいた内容は、「国際連携学科(仮称)」の設置に向けた統計資料としてのみ活用します。回答者個人を特定することは一切ありません。

＜ここから下の部分をそのままカット＆ペーストして下さい↓＞

問１．もしあなたがいま、受験生であったら、
「グローバル･スタディーズ専攻（国際関係学科）」と「国際連携学科」への入学と、
どちらを選びますか？

①やはりグローバル・スタディーズ専攻を選ぶ。
②「国際連携学科」を選ぶ。
③わからない。
④どちらも選ばない。

【回答欄：　　】

問２．「問１」で①を選んだ場合のみ：
その理由はなんですか？

①グローバル･スタディーズ専攻のカリキュラムや授業科目で十分満足しているから。

②日本とアメリカを行き来するのではなく、４年間を通じてずっと京都で学びたいから。

③グローバル･スタディーズ専攻は、就職等での実績があるから。

④その他

【回答欄：　　】

問３．「問１」で②を選んだ場合のみ：

その理由はなんですか？

①日本とアメリカで体系的かつ効率的に学べ、単位認定の心配がなく、
確実に４年間で卒業できると思われるから。

②グローバル･スタディーズ専攻では得られない、日米両大学の良い所を活かした学びや授業科目の受講、様々な学生との交流が期待できるから。

③インターンシップ等を含むアメリカでの長期の学びができることに魅力を感じるから。

④その他

【回答欄：　　】

問４．「問１」で③もしくは④を選んだ場合のみ：
その理由はなんですか？

①情報が不足しており、グローバル･スタディーズ専攻での学びと「国際連携学科」での学びの内容の違いがよくわからないから。

②どちらも魅力的であり、選択が難しいから。

③どちらも興味がない。

④その他

【回答欄：　　】

アンケートは以上です。
よろしくお願いいたします。

February 22, 2017

<URGENT Survey Request from the IR Office>

Dear students studying in the Global Studies major program,

In April 2018, as the College of International Relations marks its 30th year, we are planning to establish the first undergraduate (college level) "Joint Degree Program" (name subject to change) in Japan.

Accompanying this change, the College of International Relations will have 2 departments, the Department of International Relations and the new Department for "Joint Degree Program".

The "Joint Degree Program" will have one curriculum established between Ritsumeikan University's College of International Relations and the School of International Service at American University, Washington D.C., and will be run cooperatively by both universities.

By studying for 4 years, students will be awarded a single joint bachelor's degree (Joint Degree), with the name of both universities, in Global International Relations.

Students will be admitted into this department by both Ritsumeikan University and American University.

Japan-based and American students will learn together over 4 years as they travel back and forth between the two universities, and will be taught in a consistent way about the fields pertaining to International Relations by instructors from both schools.

Because students in this major will study at two university campuses, they will physically be at the Ritsumeikan campus for 2 years and the American University campus for 2 years.

And because the major will have one curriculum system which consists of the strongest courses from each university as well as jointly held courses, students will generally not run into some of the typical problems of studying abroad such as not being able to transfer credits towards graduation.

Therefore, students will be able to study their field more systematically and efficiently than regular students who study abroad.

At this point, we would like to ask you for your honest opinions.

For the following Questions 1-4, please choose the answer you most agree with. (Only one answer per question can be accepted).

Please submit your answers in the following way:

First copy and paste the question section to the body of an email. Then answer the questions by entering the number corresponding to your answer in the space provided【Answer： 】.

Finally, send your answers to the email address provided below. (You do not need to include your name in the email. Please just send the email with the title of "Survey Answers"

Send answers to: [redacted]

The deadline for the answers is Wednesday, March 1st.

Note: The information from the answers we receive will only be used as statistical data for establishing the "Joint Degree Program". Individual respondents will not be identified in any way.

<Please cut and paste the following section.>

Question 1. If you were a high school student applying for university, would you choose the "Global Studies major (Department of International Relations)" or the "Joint Degree Program"?

① I would choose the Global Studies major.
② I would choose the "Joint Degree Program".
③ I don't know.
④ I would not choose either.

【Answer : 】

Question 2. Please answer the following question ONLY if you answered ① in Question 1.

What was your reason?

① I am very satisfied with the curriculum and courses offered by the Global Studies major.
② I want to study in Kyoto for 4 years rather than going back and forth between Japan and the US.
③ The Global Studies major has a proven track record for future employment.
④ Other.

【Answer : 】

Question 3. Please answer the following question ONLY if you answered ② in Question 1.

What was your reason?

① I think I would be able to study in Japan and America in a systematic and efficient way, and could graduate in 4 years without worrying about transferring credits.

② There are opportunities that would not be possible through the Global Studies major, such as being able to have the best of the learning and courses offered at both universities in Japan and America, and being able to interact with a great variety of students.
③ I am attracted to the opportunities that would come from being able to study in the US long-term, such as internships.
④ Other.

【Answer： 】

Question 4. Please answer the following question ONLY if you answered ③ or ④ in Question 1.

What was your reason?

① Not enough information to determine the difference between studying in the Global Studies major and in the "Joint Degree Program".
② Both are attractive so it is hard to choose between them.
③ Not interested in either.
④ Other.

【Answer： 】

End of the survey. Thank you for your help.

2017 年 2 月 15 日

アメリカン大学との DUDP で学んだ（学んでいる）学生の皆さんへ

＜国際関係学部事務室からの緊急アンケートへのご協力のお願い＞

国際関係学部では、学部創設 30 周年を迎える 2018 年 4 月に、学士課程(学部レベル)では我が国で初となる、「国際連携学科」を新設する構想を持っています。

この「国際連携学科」では、立命館大学 国際関係学部とアメリカン大学の School of International Service が連携して 1 つの教育課程を編成し、両大学が協力して 1 つの学科を運営します。学生は 4 年間の履修を経て、両大学の連名による 1 つの学位（Joint Degree）「学士(グローバル国際関係学)」を授与されます。なお、この学科では、立命館大学、アメリカン大学双方の学生を受け入れます。

国際関係学にかかわる各専門分野について、両大学の教員による一貫性のある指導のもと、4 年間を通じて両大学のキャンパスを行き来しながら、日米の学生がともに学ぶことになります。（この学科の学生が学ぶキャンパスは 2 大学に跨るため、物理的には立命館大学のキャンパスで 2 年間、アメリカン大学のキャンパスで 2 年間、それぞれ学ぶことになります）それぞれの大学の強みを活かした授業科目や両大学が共同で開設する授業科目が 1 つのカリキュラム体系の中で提供されるため、DUDP のように一方の大学で認定されない単位が発生することは原則ありません。そのため、DUDP に比べて、より体系的かつ効率的に専門の履修を深めることができます。そこで皆さんの率直な声をお聞かせ下さい。

下記の「問１」から「問５」について、それぞれもっとも当てはまるものを 1 つずつ選んで回答下さい（複数回答は不可）。

なお、回答に際しては、下記のテキストをカット＆ペーストのうえ、

それぞれの【回答欄】に選択肢の番号を入力したうえで、下記メールアドレスまでメールを下さい。（無記名で結構です。メールの件名(タイトル）のみ、「アンケート回答」として下さい）回答メールの送信先：[redacted]

※回答期限は 2 月 22 日（水）までです。

※なお、回答いただいた内容は、「国際連携学科」の設置に向けた統計資料としてのみ活用します。回答者個人を特定することは一切ありません。

＜ここから下の部分をそのままカット＆ペーストして下さい↓＞

問１．もしあなたがいま、受験生であったら、

DUDP への参加と「国際連携学科」への入学とどちらを選びますか？

①やはり DUDP を選ぶ。

②「国際連携学科」を選ぶ。

③わからない。

④どちらも選ばない。
【回答欄：　】

問２.「問 1」で①を選んだ場合のみ：
その理由はなんですか？
①DUDP では 4 年間での卒業が
困難な場合もあるが
学位が 2 つ取得できるから。
②DUDP では異なる専門分野を
学ぶことができるから。
③DUDP は「国際連携学科」に比べて
長年の実績があるから。
④その他
【回答欄：　】

3
問３.「問１」で②を選んだ場合のみ：
その理由はなんですか？
①「国際関係学」の専門分野について
体系的かつ効率的に学べ、
確実に 4 年間で卒業できると思われるから。
②日米両大学の良い所を活かした学びが
期待できるから。
③学位取得に繋がる長期の海外での学びに
魅力を感じ、且つ学位は１つで十分だから。
④その他
【回答欄：　】

問４.「問１」で③もしくは④を
選んだ場合のみ：
その理由はなんですか？
①情報が不足しており、
DUDP と「国際連携学科」の違いが
よくわからないから。
②どちらも魅力的であり
選択が難しいから。

③どちらも興味がない。
④その他
【回答欄：　】

問５．DUDP について、
改善して欲しいことが
あれば教えて下さい。
①認定されない単位が多いこと。
②4 年間での卒業が難しいこと。
③カリキュラムに一貫性がないこと。
④両大学の連携が不十分であること。
⑤その他
⑥改善して欲しいことは特にない。
【回答欄：　】

アンケートは以上です。
よろしくお願いいたします。

＜資料 7＞

「グローバル人材の育成に向けた提言」概要

2011 年 6 月 14 日（社）日本経済団体連合会

はじめに：グローバル人材の求められる背景

日本内外の状況
・急速な少子高齢化と人口減少社会の到来
・国際競争の激化

グローバル人材育成

日本の「人材力」を強化し、技術力、イノベーション力を高めて、成長するアジア市場や新興国市場の需要を取り込んでいく必要性

- 産業界の求める人材と、大学教育の内容の乖離を解消する必要性
- 経団連としても、「サンライズ・レポート」に盛り込んだ３つの教育・人材開発プロジェクトを推進

1．高まるグローバル人材への期待

- 事業活動のグローバル化に伴う人事戦略として、国籍にかかわらず優秀な人材を採用・活用する動き
- 産業界がグローバル人材に求める素質、能力

⇒ 社会人としての基礎的能力に加え、既成概念に捉われず、チャレンジ精神を持ち続ける姿勢、外国語によるコミュニケーション能力、海外との文化、価値観の差異に対する興味・関心などが重要

2．グローバル人材育成に向けて、産学官に求められる取り組み

産学官の役割を明確にし相互に連携する

(1) 産業界と大学の連携による取り組み

① **キャリア・職業教育の推進** → 大学及び初等中等教育を対象に、企業が出前授業等を通じてキャリア・職業教育を実施
② **科学技術立国日本への理解に向けた理工系教育** →「理科離れ対策を中心とする企業の教育支援プロジェクト」の実施
③ **大学レベルでの社会ニーズを踏まえた実践的教育の強化** →国際化の拠点として政府により採択された「13 大学」と連携、モデル・カリキュラム（「グローバル人材育成プログラム」）の検討・実施
④ **大学生の海外留学の奨励** →「13 大学」と協力して「経団連グローバル人材育成スカラーシップ」の設置、留学帰国生を対象とした合同就職説明会・面接会開催への協力
⑤ **大学生のボランティア活動等の奨励** → 長期間、ボランティア活動に参加する学生への配慮。“Gap Year”（注１）導入の検討

(2) 企業各社に求められる取り組み

① 本社の日本人社員のグローバル化対応力の養成
－入社後、早い時期に海外経験を積む機会を提供
－新卒採用、昇進・昇格、海外駐在派遣の要件として一定レベル以上の外国語能力を要求等

② 外国人人材の採用と育成
－優秀な留学生を人物本位・国籍不問で採用
－外国人人材の育成・定着に向けた取り組み
（受け入れ職場の環境整備、きめ細やかな人事制度面での対応、グローバルに企業理念や経営理念を共有等）

(3) 大学に求められる取り組み

① リベラル・アーツ教育の拡充
－幅広い視野や基礎的思考力を重視

② 大学教育の質の保証
－大学の第三者評価の拡充、教育情報の自主的公開、きめ細かい学生支援

③ 国際化に向けた取り組み
－海外から優秀な留学生の受入れ拡大
（英語で履修可能なカリキュラムの構築、外国人教員の採用拡大、９月入学実施等）
－海外大学との連携の強化（多彩な交換留学プログラムの提供）

④ 世界のリーダーとなる高度人材の育成に向けた取り組み
－成長分野等で世界を牽引するリーダーとなる高度人材の育成（「リーディング大学院構想」、「グローバル COE」への積極的対応等）

(4) 政府に求められる取り組み

① 大学進学者の学力保証に向けた取り組み
－高大接続テストの導入検討等

② 国公私立大学間の再編、統合および連携
－各大学の適正な教育研究環境の確保、経営基盤の強化、資源の有効活用等

③ 双方向の学生交流の推進と、国際戦略の策定
－「いわゆる 30 万人計画」（30 万人の外国人留学生の受入れ、及び同数の日本人学生等の海外派遣）の 2020 年の目標達成 に向けた国際戦略の策定

④ 東日本大震災後の状況への対応
－被災地周辺を中心に、わが国大学で学ぶ留学生、研究者が風評被害で減少しないよう、情報発信を強化
－被災地の大学が、地域の復興拠点として研究活動やプロジェクト実践を行えるよう支援

終わりに

- グローバル・ビジネスの現場で活躍し、国際社会に貢献できる人材をオール・ジャパンで育成
- 経団連は、大学をはじめとする教育機関と連携して、具体的なプロジェクトを推進

以上

（注１）英国等で実施されている Gap Year では、学生が視野を拡げ多様な経験を積むため、高校を卒業して大学に入学するまで、もしくは大学卒業後の一定期間（通常１年間）、国内外でボランティア活動やアルバイトをして過ごす

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　　員　　名　　簿

学　　長　　の　　氏　　名　　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
―	学長	ﾖｼﾀﾞ　　ﾐｷｵ 吉田　美喜夫 ＜平成27年1月＞		博士 (法学)		学校法人立命館総長 立命館大学長 （平成27年1月～平成30年12月）

（注）　高等専門学校にあっては校長について記入すること。

別記様式第３号（その２の2）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）　（立命館大学）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	ｲﾀﾀｷ ﾏｻﾋｺ 板木 雅彦 〈平成30年4月〉		博士（経済学）		International Trade and Investment	3前	2	1	立命館大学国際関係学部 教授 （平成2年4月）	5日
2	専	教授	ｵｵﾀ ﾋﾃﾞｱｷ 大田 英明 〈平成30年4月＞		博士（経済学）		Global Political Economy	2後	2	1	立命館大学国際関係学部 教授 （平成25年4月）	5日
3	専	教授	ﾄｸﾏﾙ ﾋﾛｼ 徳丸 浩 〈平成30年4月＞		博士（経済学）		Macro Economics Micro Economics Economics for Global Studies Internatonal Finance Japanese Economy Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	1後 2前 1前 3後 2後 3前 3・4後 4後	2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 教授 （平成24年4月）	5日
4	専	教授	ﾅｶﾂｼﾞ ｹｲｼﾞ 中辻 啓示 〈平成30年4月＞		Ph.D.（米国）		Modern World History Foreign Relations of Japan	1前 3前	2 2	1 1	立命館大学国際関係学部 教授 （平成10年9月）	5日
5	専(調)	教授	ﾅｶﾄ ｻﾁｵ 中戸 祐夫 〈平成30年4月＞		博士（国際関係学）		Global Political Economy Korean Studies	2後 3前	2 2	1 1	立命館大学国際関係学部 教授 （平成19年4月）	5日
6	専	教授	ﾎﾝﾅ ｼﾞｭﾝ 本名 純 〈平成30年4月＞		Ph.D.（ｵｰｽﾄﾗﾘｱ）		Advanced topics in Area studies South East Asian Studies	2後 2前	2 2	1 1	立命館大学国際関係学部 教授 （平成12年4月）	5日
7	専	教授	ﾏﾂﾀﾞ ﾏｻﾋｺ 松田 正彦 〈平成30年4月＞		博士（農学）		Special Lecture (Area Studies Course) Introduction to Area Studies Internship Internship (Area Studies) Introduction to Natural Sciences	2前 2前 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1前	2 2 4 4 2	1 1 2 2 1	立命館大学国際関係学部 教授 （平成18年4月）	5日
8	専	教授	ﾗｲｶｲ ｼﾞｮﾝﾎﾞﾙ ﾃｨﾎﾞﾙ RAJKAI ZSOMBOR TIBOR 〈平成30年4月＞		博士（文学）		Introduction to Linguistics Japanese Culture Japanese Society Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	1前 1後 2後 3前 3・4後 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成24年4月）	5日
9	専	教授	ﾜｯｾﾙﾏﾝ ﾐｯｼｪﾙ WASSERMAN MICHEL ＜平成30年4月＞		Doctorat en Etudes orientales（ﾌﾗﾝｽ）		Kyoto and Japanese Arts	1前	2	2	立命館大学国際関係学部 教授 （平成6年4月）	5日
	兼任	講師	ﾜｯｾﾙﾏﾝ ﾐｯｼｪﾙ WASSERMAN MICHEL ＜平成31年4月＞		Doctorat en Etudes orientales（ﾌﾗﾝｽ）		Kyoto and Japanese Arts	1前	2	2	立命館大学国際関係学部 教授 （平成6年4月）	1日
10	専	准教授	ｵﾓﾊﾝ ﾛﾊﾞｰﾄ O'MOCHAIN ROBERT 〈平成30年4月＞		Doctor of Education Curriculum, Instruction and Technology in Education（米国）		Academic SkillsI Academic Skills II Academic Skills III Intensive English I Intensive English II Intensive English IV	1前 1前 1後 1前 1前 1後	4 4 4 1 1 1	1 1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成26年4月）	5日
11	専	准教授	ｸﾝｼｬｸ ｸﾗｳﾃﾞｨｱ KUNSCHAK CLAUDIA ＜平成30年4月＞		Ph.D.LANGUAGE,READING AND CULTURE（米国）		Academic SkillsI Academic Skills II Academic Skills III Intensive English III Intensive English V Intensive English VI	1前 1前 1後 1前 1後 1後	4 4 4 1 1 1	1 1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成27年4月）	5日
12	専	准教授	ｺｶﾞ ﾌﾞﾗｳｽﾞ ｽｺｯﾄ KOGA BROWES SCOTT P. ＜平成30年4月＞		Ph.D.（ｲｷﾞﾘｽ）		Cultural Awareness and Communication Media and Society Topics in Identity Introduction to Humanities Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	1後 3後 3前 1後 3前 3・4後 4後	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成24年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）　（立命館大学）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
13	専	准教授	ｵｵﾔﾏ ｼﾝｼﾞ 大山 真司 ＜平成30年4月＞		Ph.D. （ｲｷﾞﾘｽ）		Japan and the west	1後	2	1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成28年4月）	5日
14	専	准教授	ﾐﾂｲ ｸﾐｺ 三井 久美子 ＜平成30年4月＞		修士 （言語・文化学）		日本語Ⅰ-2（総合） 日本語Ⅰ-2（総合） 日本語Ⅱ（ライティング） 日本語Ⅱ（総合） 日本語Ⅲ（ライティング） 日本語Ⅲ（総合）	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後	6 6 2 10 2 10	2 2 2 2 2 2	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成28年9月）	5日
15	専	准教授	ﾌｸﾐ ｻﾔｶ 福海 さやか ＜平成30年4月＞		Ph.D. （ｲｷﾞﾘｽ）		Security Studies Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	2前・後 3前 3・4後 4後	4 2 2 2	2 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成26年4月）	5日
16	専	准教授	ﾋﾛﾉ ﾐﾜ 廣野 美和 ＜平成30年4月＞		Ph.D. （ｵｰｽﾄﾗﾘｱ）		Global Simulation Gaming Contemporary China Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	2前 3前 3前 3・4後 4後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成27年4月）	5日
17	専 (調)	准教授	ｱﾀｶ ﾋﾛｱｷ 安高 啓朗 ＜平成30年4月＞		Ph.D. in Politics and International Studies （ｲｷﾞﾘｽ）		Theories of International Relations Advanced Topics in International Relations Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	1後 3後 3前 3・4後 4後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成23年4月）	5日
18	専	准教授	ﾃﾞ ｱﾝﾄｰﾆ ｱﾝﾄﾞﾚｱ DE ANTONI ANDREA ＜平成30年4月＞		DOTTORE DI RICERCA in LINGUE, CULTURE E SOCIETA' （ｲﾀﾘｱ）		Introduction to Anthropology Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	1後 3前 3・4後 4後	2 2 2 2	1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成26年4月）	5日
19	専	准教授	ﾊﾔｼ ﾀﾞｲｽｹ 林 大祐 ＜平成30年4月＞		Master of Public Affairs （米国）		Global Environmental Issues Development Studies Global Civil Society and Development Special Lecture (PGSCR)	2前 2後 3後 2後	2 2 2 2	1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成26年4月）	5日
20	専	准教授	ﾌﾚﾝﾁ ﾄｰﾏｽ FRENCH THOMAS W. ＜平成30年4月＞		Ph.D. （ｲｷﾞﾘｽ）		Politics for Global Studies Japanese Politics United States Politics and Foreign Policy Japan-United States Relations Modern Japanese History Advanced Seminar(Research Methods) Advanced Seminar Graduation Research	1後 2前 3後 2後 2前 3前 3・4後 4後	2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成24年4月）	5日
21	専	准教授	ﾑｽﾗｷｽ ｼﾞｮｰｼﾞ MOUSOURAKIS GEORGE ＜平成30年4月＞		Ph.D. （ｲｷﾞﾘｽ）		Global Studies Research International Human Rights International Law	2後 2後 2後	2 2 2	1 1 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成28年4月）	5日
22	専	准教授	ｸﾛｽ ｷｮｳｺ クロス 京子 ＜平成30年4月＞		博士 （政治学）		Introduction to peace studies Peace and Conflict Studies	2前・後 3前	4 2	2 1	立命館大学国際関係学部 准教授 （平成28年4月）	5日
23	専	准教授	ﾘｵﾝｸﾞ ﾁｬﾝ ﾁﾝｸﾞ ﾏﾘｵ 梁 展章 ＜平成30年4月＞		Ph.D. in Gender Studies （中国）		Sociology for Global Studies Introduction to Gender Studies Global Sociology	1前 2前・後 3前	2 4 2	1 2 1	Centennial College Culture and Communication Domain Assistant Professor （平成26年8月）	5日
24	専	助教	ｲﾑ ｳﾝ ｼﾞｮﾝ 林 恩廷 ＜平成30年4月＞		Ph.D. （米国）		Introductory Seminar I Professional Workshop ※ Introduction to The United Nations Comparative and Global Governance International Organizations Special Lecture (GCG)	1前 2前 2前 2前 3前 2後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	Johns Hopkins University ポール・Ｈ・ニッツェ 高等国際関係大学院(SAIS) Lecturer （平成25年8月）	5日
25	専	助教	ﾆｼｻﾞｷ ｽﾐﾖ 西崎 純代 ＜平成30年4月＞		Ph.D. （ｲｷﾞﾘｽ）		Introductory Seminar II Professional Workshop ※ International Migration Race and Ethnicity in the Modern World Special Lecture (IRGC) Business Administration of Japan	1後 2前 3後 2前・後 2前 3後	2 2 2 4 2 2	1 1 1 2 1 1	Johns Hopkins University, The Reischauer Center, 研究員 （平成25年8月まで）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）　（立命館大学）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
26	兼担	教授	ｼﾓｼﾞｮｳ ﾏｻｽﾞﾐ 下條 正純 ＜平成30年4月＞		Master of Arts JAPANESE（米国）		日本語Ⅶ（聴解口頭a） 日本語Ⅶ（聴解口頭b） 日本語Ⅶ（読解a） 日本語Ⅶ（読解b） 日本語Ⅶ（文章表現a） 日本語Ⅶ（文章表現b）	1前 1後 1前 1後 1前 1後	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	立命館大学産業社会学部教授（平成23年4月）	
27	兼担	准教授	ﾄｵﾔﾏ（ﾔｽﾓﾄ） ﾁｶ 遠山（安本） 千佳 ＜平成30年4月＞		修士（人文科学）		日本語Ⅷ（アカデミック日本語a） 日本語Ⅷ（アカデミック日本語b） 日本語Ⅷ（キャリア日本語a） 日本語Ⅷ（キャリア日本語b）	1前 1後 1前 1後	1 1 1 1	1 1 1 1	立命館大学法学部教授（平成18年4月）	
28	兼担	准教授	ﾌｼﾞﾜﾗ（ﾏﾂｵ） ﾁｴﾐ 藤原（松尾）智栄美 ＜平成30年4月＞		博士（言語文化学）		日本語Ⅳ（ライティング） 日本語Ⅳ（総合） 日本語Ⅴ（ライティング） 日本語Ⅴ（総合） 日本語Ⅵ（ライティング） 日本語Ⅵ（総合） 日本語Ⅵ（聴解口頭）	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後	2 6 2 10 2 10 4	2 2 2 2 2 2 2	立命館大学政策科学部准教授（平成26年4月）	

（注）
1　教員の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。
2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は，専任教員のみ記載すること。

別記様式第３号（その２の2）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（国際関係学部　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）　（アメリカン大学）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	外国	教授相当 Professor	ADLER Jeffrey		PhD.		MATH-310 Linear Algebra	1,2,3,4前	－	－	Professor of Mathematics and Statistics	－
2	外国	教授相当 Professor	AHMED Akbar		PhD.		SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East	3前・後	－	－	Professor of School of International Service	－
3	外国	教授相当 Professor	BARON Michael		PhD.		STAT-424 Data Analysis	4前	－	－	Professor of Mathematics and Statistics	－
4	外国	教授相当 Professor	BLECKER Robert		PhD.		ECON-371 International Economics: Trade	3前	－	－	Professor of Economics	－
5	外国	教授相当 Professor	BREITMAN Richard		PhD.		HIST-418 Nazi Germany	4前	－	－	Distinguished Professor Emeritus, Department of History	－
6	外国	教授相当 Professor	BRENNER Michael		PhD.		HIST-443 History of Israel	4後	－	－	Professor of History; Distinguished Historian in Residence; Director of the Center for Israel Studies	－
7	外国	教授相当 Professor	CASEY Stephen		PhD.		MATH-420 Introduction to Analysis MATH-421 Measure Theory and Integration MATH-450 Complex Analysis MATH-460 Tools of Scientific Computing	1,2,3,4後 1,2,3,4前 1,2,3,4前 1,2,3,4後	－	－	Professor of Mathematics and Statistics	－
8	外国	教授相当 Professor	EGAN Michelle		PhD.		GOVT-334 Modern British Politics (study abroad)	3前・後	－	－	Professor of History	－
9	外国	教授相当 Professor	FEDYASHIN Anton		PhD.		HIST-225 Russia and the Origins of Contemporary Eurasia FA3 HIST-232 The Soviet Union HIST-445 Russian Studies	2前 2前 4前	－	－	Professor of History and Director of the Carmel Institute of Russian Culture and History	－
10	外国	教授相当 Professor	FINDLAY Eileen		PhD.		HIST-241 Colonial Latin America HIST-242 Latin America since Independence	2後 2前	－	－	Professor of History	－
11	外国	教授相当 Professor	FRIEDMAN Max Paul		PhD.		HIST-440 Latin American Studies	4後	－	－	Professor of History and Affiliate Professor at School of International Service	－

12	外国	教授相当 Professor	GRAY Mary		PhD and JD.		STAT-405 Introduction to Survey Sampling	4後	―	―	Professor of Mathematics and Statistics	―
13	外国	教授相当 Professor	GREENBERG Gershon		PhD.		RELG-185 The Religious Heritage of Asia FA3 RELG-210 Non-Western Religious Traditions FA3	1前・後 2前・後	―	―	Professor of Philosophy and Religion	―
14	外国	教授相当 Professor	HAKIM Jeffrey		PhD.		MATH-151 Finite Mathematics	1,2,3,4 前・後	―	―	Professor of Mathematics and Statistics	―
15	外国 （調）	教授相当 Professor	JACKSON Patrick		PhD.		Independent Study	3 前・後	―	―	Professor of International Relations and Associate Dean of School of International Service	―
16	外国	教授相当 Professor	JENNINGS Caleen		MFA.		PERF-115 Theatre: Principles, Plays and Performances	1前・後	―	―	Professor of Performing Arts	―
17	外国	教授相当 Professor	JERNIGAN Robert		PhD.		STAT-302 Intermediate Statistics	3前・後	―	―	Professor of Mathematics and Statistics	―
18	外国	教授相当 Professor	KALMAN Dan		PhD.		MATH-321 Differential Equations MATH-412 Introduction to Modern Algebra	1,2,3,4後 1,2,3,4後	―	―	Professor of Mathematics and Statistics	―
19	外国	教授相当 Professor	KUSIMBA Chapurukha		PhD.		ANTH-439 Culture, History, Power, Place （approved topic）	4前・後	―	―	Professor of Anthropology	―
20	外国	教授相当 Professor	LANSKY Joshua		PhD.		MATH-470 History of Mathematics MATH-480 Advanced Topics in Mathematics	1,2,3,4前 1,2,3,4後	―	―	Professor and Department Chair of Mathematics and Statistics	―
21	外国	教授相当 Professor	LEFF Lisa		PhD.		HIST-419 Holocaust	4後	―	―	Professor of History	―
22	外国	教授相当 Professor	LEOGRANDE William		PhD.		GOVT-450 Politics in Cuba	4後	―	―	Professor of Government	―
23	外国	教授相当 Professor	LOHR Eric		PhD.		HIST-231 The Russian Empire, 1650-1917	2後	―	―	Professor and Susan E. Carmel Chair of Russian History and Culture, Department of History	―
24	外国	教授相当 Professor	MITCHELL Ronald		PhD.		MATH-150 Finite Mathematics	1,2,3,4前・後	―	―	Professor and Administrator in Residence for the Department of Math and Statistics	―

25	外国	教授相当 Professor	NADELL Pamela		PhD.		JWST-205 Ancient and Medieval Jewish Civilization FA2	2後	―	―	Professor of History and Director of the Jewish Studies Program	―
26	外国	教授相当 Professor	NELSON Candice		PhD.		GOVT-315 Elections and Voting Behavior	3前・後	―	―	Professor of Government	―
27	外国	教授相当 Professor	OLIVER Martyn		PhD.		RELG-470 Islam	4後	―	―	Professor of Philosophy and Religion and Director of Arab Studies	―
28	外国	教授相当 Professor	PASCALE Celine-Marie		PhD.		SOCY-310 Language, Culture, Power	3前	―	―	Professor of Sociology	―
29	外国	教授相当 Professor	POSPIESZALSKA Maria		PhD.		STAT-320 Biostatistics STAT-422 Advanced Biostatistics	3前 4後	―	―	Professor of Mathematics and Statistics	―
30	外国	教授相当 Professor	QUAINTON Anthony		LhD.		SISU-369 Topics in Public Diplomacy	3前・後	―	―	Distinguished Diplomat in Residence	―
31	外国 (調)	教授相当 Professor	SHINKO Rosemary		PhD.		SISU-106 First Year Seminar	1後	―	―	Professor of International Relations and Associate Dean for Curriculum and Learning School of International Service	―
32	外国	教授相当 Professor	SICINA Robert		MBA.		IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum	4前・後 4前・後	―	―	Executive in Residence for International Business	―
33	外国	教授相当 Professor	SILVIA Stephen		PhD.		SISU-300 Introduction to International Economics	3前・後	―	―	Professor of School of International Service	―
34	外国	教授相当 Professor	SINGH Maina Chawla		PhD.		SISU-387 Contemporary India	3後	―	―	Scholar in Residence, School of International Service	―
35	外国	教授相当 Professor	WISMAN Jon		PhD.		ECON-100 Macroeconomics	1前・後	―	―	Professor of Economics	―
36	外国	教授相当 Professor	YOUNG Gay		PhD.		SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research	4前	―	―	Professor and Department Chair of Sociology	―
37	外国	准教授相当 Associate Professor	ATZILI Boaz		PhD.		SISU-319 Arab-Israeli Relations	3前	―	―	Associate Professor of School of International Service	―

38	外国	准教授相当 Associate Professor	BEERS Laura		PhD.		HIST-437 British Studies （topics）	4春	―	―	Associate Professor, Department of History	―
39	外国	准教授相当 Associate Professor	DARDEN Keith		PhD.		SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance SISU-296 Selected Topics: Non-recurring	2前・後 2前	―	―	Associate Professor of School of International Service	―
40	外国	准教授相当 Associate Professor	ELEZI Artur		PhD.		MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables	1,2,3,4後	―	―	Associate Professor of Mathematics and Statistics	―
41	外国	准教授相当 Associate Professor	ISAAC Alan		PhD.		ECON-372 International Economics: Finance	3後	―	―	Associate Professor of Economics	―
42	外国	准教授相当 Associate Professor	JACKSON Monica		PhD.		STAT-425 Statistical Software	4後	―	―	Associate Professor of Mathematics and Statistics	―
43	外国	准教授相当 Associate Professor	KLUSMEYER Douglas		PhD .		JLC-110 Western Legal Tradition	1前・後	―	―	Assistant Professor of Justice, Law & Society	―
44	外国	准教授相当 Associate Professor	LEVAN Carl		PhD.		SISU-381 African Political Institutions SISU-386 Contemporary Africa	3前 3前・後	―	―	Associate Professor, School of International Service	―
45	外国	准教授相当 Associate Professor	LU Jie		PhD.		GOVT-233 Communism and Capitalism in East Asia GOVT-432 Political Institutions and Processes in Selected Countries (approved topic)	2後 4後	―	―	Associate Professor of Government	―
46	外国	准教授相当 Associate Professor	LU Jun		PhD.		STAT-415 Regression	4後	―	―	Associate Professor of Mathematics and Statistics	―
47	外国	准教授相当 Associate Professor	MALLOY Elizabeth		PhD.		MATH-401 Probability STAT-402 Introduction to Mathematical Statistics	1,2,3,4後 3前	―	―	Associate Professor of Mathematics and Statistics	―
48	外国	准教授相当 Associate Professor	OLIVER Amy		PhD.		RELG-475 Religion and Violence	4前	―	―	Associate Professor and Department Chair of Philosophy and Religion	―
49	外国	准教授相当 Associate Professor	PATHAK Shubha		PhD.		RELG-225 Meaning and Purpose in the Arts RELG-473 Hinduism	2前・後 4前	―	―	Associate Professor of Philosophy and Religion	―
50	外国	准教授相当 Associate Professor	PERSAUD Randolph		PhD.		SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture	2前・後	―	―	Associate Professor of School of International Service	―
51	外国	准教授相当 Associate Professor	RODAMAR Daniele		PhD.		FREN-431 Civilisation Francaise I FREN-433 French Topics	4後 4前・後	―	―	Associate Professor of World Language and Cultures	―

52	外国	准教授相当 Associate Professor	RUDOLPH Christopher		PhD.		SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance	3前・後 3前・後	―	―	Associate Professor of School of International Service	―
53	外国	准教授相当 Associate Professor	SCHNEIDER Cathy		PhD.		SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture	3後	―	―	Associate Professor of School of International Service	―
54	外国	准教授相当 Associate Professor	SERRA Ana		PhD.		SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature FA3	2前・後	―	―	Associate Professor of World Languages and Literatures	―
55	外国	准教授相当 Associate Professor	SILVA Luis		MFA.		ARTS-100 Art: The Studio Experience	1前・後	―	―	Associate Professor of Art	―
56	外国	准教授相当 Associate Professor	Singerman Diane		PhD.		GOVT-349 The Middle East in Comparative Perspective	3前	―	―	Associate Professor School of Public Affairs	―
57	外国	准教授相当 Associate Professor	STALLINGS Virginia		PhD.		MATH-170 Precalculus Mathematics MATH-221 Calculus I	1,2,3,4前・後 1,2,3,4前・後	―	―	Associate Professor of Mathematics and Statistics	―
58	外国	准教授相当 Associate Professor	TAYLOR Matthew		PhD.		SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America	3前・後	―	―	Associate Professor of School of International Service	―
59	外国	准教授相当 Associate Professor	TAYLOR Steven		PhD.		GOVT-433 Topics in Sub-Saharan African Politics （approved topic）	4後	―	―	Associate Professor of Government	―
60	外国	准教授相当 Associate Professor	TUDGE Christopher		PhD.		BIO-100 Great Experiments in Biology	1前・後	―	―	Associate Professor of Biology	―
61	外国	講師相当 Professorial Lecturer	ADCOCK Robert		PhD.		SISU-393 International Relations Theory SISU-419 Senior Capstone: International Studies	3後 4前・後	―	―	Professorial Lecturer School of International Service	―
62	外国	講師相当 Professorial Lecturer	ALLEN Joanne		PhD.		ARTH-105 Art: The Historical Experience	1前・後	―	―	Professorial Lecturer of Art	―
63	外国	講師相当 Professorial Lecturer	BASSIRI Cameron		PhD.		PHIL-105 Western Philosophy	1前・後	―	―	Professorial Lecturer of Philosophy and Religion	―
64	外国	講師相当 Professorial Lecturer	C. HARDIG Anders		PhD.		SISU-306 Advanced International Studies Research	3前・後	―	―	Professorial Lecturer of School of International Service	―
65	外国	講師相当 Professorial Lecturer	CHERRY Arvenita		PhD.		ANTH-210 Race and Racism FA3 ANTH-225 Language and Human Experience	3前・後 2後	―	―	Professorial Lecturer of Anthropology	―

66	外国	講師相当 Senior Professorial Lecturer	CRAIG Dylan		PhD.		SISU-211 Civilizations of Africa	2前･後	―	―	Senior Professorial Lecturer of School of International Service	―
67	外国	講師相当 Professorial Lecturer	DIAMOND Adam		PhD.		SISU-391 Internship	3, 4前・後	―	―	Professorial Lecturer of School of International Service	―
68	外国	講師相当 Senior Professorial Lecturer	GOMEZ Maria		PhD.		PSYC-116 Psychology as a Natural Science Lab	1前・後	―	―	Senior Professorial Lecturer of Psychology	―
69	外国	講師相当 Senior Professorial Lecturer	JOHNSON Leah		MA		WRTG-102 College Writing WRTG-103 College Writing Seminar	1前・後 1前・後	―	―	Senior Professorial Lecturer of Literature	―
70	外国	講師相当 Professorial Lecturer	KNIGHT Kenneth		PhD.		JAPN-214: Intermediate Japanese I JAPN-215: Intermediate Japanese II JAPN-490: Independent Research in Japanese	2後 2前 4前・後	―	―	Professorial Lecturer of World Languages and Cultures	―
71	外国	講師相当 Professorial Lecturer	LANSIGAN Michele		PhD.		CHEM-100 The Molecular World	1前・後	―	―	Professorial Lecturer of Chemistry	―
72	外国	講師相当 Professorial Lecturer	LIN Daniel		PhD.		ECON-200 Microeconomics	2前・後	―	―	Professorial Lecturer of Economics	―
73	外国	講師相当 Professorial Lecturer	METELITS Claire		PhD.		SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy	3前・後	―	―	Professorial Lecturer of School of International Service	―
74	外国	講師相当 Instructor	MOROSINI Mirjana		PhD.		SISU-213 Contemporary Europe SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe	2前 3前・後	―	―	Instructor of School of International Service	―
75	外国	講師相当 Professorial Lecturer	MUNKWITZ Erica		PhD.		HIST-222 History of Britain II HIST-327 Twentieth Century Europe	2前 3後	―	―	Professorial Lecturer of History	―
76	外国	講師相当 Professorial Lecturer	OKOPNY Cara		PhD.		WGSS-150 Women's Voices Through Time	1前	―	―	Professorial Lecturer of Critical Race, Gender and Culture Studies	―
77	外国	講師相当 Professorial Lecturer	OMAR Sara		PhD.		AWST-225 Arab Societies	2前・後	―	―	Professorial Lecturer of Critical Race, Gender and Culture Studies	―
78	外国	講師相当 Professorial Lecturer	RUZZA Carmen		PhD.		SPAN-355 Spanish Introductory Topics	3前･後	―	―	Professorial Lecturer of World Languages and Literatures	―
79	外国	講師相当 Instructor	SPATH Andrew		PhD.		SISU-215 Contemporary Middle East	2前・後	―	―	Instructor of School of International Service	―

80	外国	講師相当 Professorial Lecturer	TAYLOR Amanda		PhD.		SISU-140 Cross-Cultural Communication	1前・後	―	―	Professorial Lecturer of School of International Service	―
81	外国	講師相当 Professorial Lecturer	WESP Julie		PhD.		ANTH-250 Human Origins	2後	―	―	Professorial Lecturer of Anthropology	―
82	外国	講師相当 Professorial Lecturer	WIEN Barbara		MA		SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution	2前・後	―	―	Professorial Lecturer School of International Service	―
83	外国	講師相当 Senior Professorial Lecturer	WOOTTON Lacey		MA		WRTG-100 College Writing	2前・後	―	―	Senior Professorial Lecturer of Literature	―
84	外国	講師相当 Lecturer	BERNHOFEN Laura		PhD.		MATH-222 Calculus II STAT-203 Basic Statistics with Calculus	1,2,3,4後 2前･後	―	―	Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
85	外国	講師相当 Lecturer	BURTON Tania		PhD.		GERM-336 German Topics	3前	―	―	Adjust Professorial Lecturer, World Languages and Cultures	―
86	外国	講師相当 Lecturer	CARVER Sean		PhD.		STAT-370 Introduction to Statistical Computing and Modeling	3前	―	―	Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
87	外国	講師相当 Lecturer	DIETZ Donna		PhD.		MATH-413 Rings and Fields STAT-202 Basic Statistics	1,2,3,4前 2前・後	―	―	Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
88	外国	講師相当 Lecturer	KAPATOU Alexandra		PhD.		STAT-204 Introduction to Business Statistics	2前・後	―	―	Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
89	外国	講師相当 Lecturer	KNAPP Adam		PhD.		MATH-154 Great Ideas in Mathematics	1,2,3,4 前･後	―	―	Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
90	外国	講師相当 Lecturer	LIMARZI Michael		PhD.		MATH-415 Number Theory	1,2,3,4後	―	―	Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
91	外国	講師相当 Lecturer	Martin Garret		PhD.		Course: SISU-383 Overview of the European Union	3前･後	―	―	Senior Professorial Lecturer – School of International Service	―
92	外国	講師相当 Lecturer	MARTIN Garrett		PhD.		SISU-313 Transatlantic Security	3後	―	―	Professorial Lecturer of School of International Service	―
93	外国	講師相当 Lecturer	MOOMAU Glenn		MFA.		WRTG-106 College Writing, Intensive	1前･後	―	―	Hurst Senior Professorial Lecturer of Literature	―

94	外国	講師相当 Lecturer	QUIRK William		PhD.		GERM-438 German Civilization I GERM-439 German Civilization II	4後 4前	―	―	Professorial Lecturer, World Languages and Cultures	―
95	外国	講師相当 Lecturer	TUAMOKUMO Francois		PhD.		MATH-155 Elementary Mathematic Models MATH-160 Applied Precalculus	1,2,3,4 前・後 1,2,3,4 前・後	―	―	Adjunct Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
96	外国	講師相当 Lecturer	WARD Kenneth		PhD.		MATH-405 Mathematical Logic MATH-410 Geometry	1,2,3,4 後 1,2,3,4 後	―	―	Professorial Lecturer of Mathematics and Statistics	―
97	外国	講師相当 Adjunct Professorial Lecturer	CONNELLY Robert		MFA.		WGSS-350 Interpreting Gender in Culture: Gender and Violence	3後	―	―	Adjunct Professorial Lecturer of Sociology	―
98	外国	講師相当 Adjunct Professorial Lecturer	GARIPOV Ruslan		PhD.		SISU-216 Contemporary Russia SISU-316 United States-Russian/Eurasian Security Relations	2後 3前・後	―	―	Adjunct Professorial Lecturer of School of International Service	―
99	外国	講師相当 Adjunct Professorial Lecturer	RABINOVITZ Brian		PhD.		PSYC-200 Behavior Principles	2前・後	―	―	Adjunct Professorial Lecturer of Psychology	―
100	外国	講師相当 Adjunct Professorial Lecturer	RICHAUD Marina		MA		RUSS-200 Russia and the United States FA3	2後	―	―	Adjunct Professorial Lecturer for World Languages and Cultures	―
101	外国	講師相当 Adjunct Professorial Lecturer	STONE James		PhD.		LIT-125 Great Books That Shaped the Western World	1前・後	―	―	Adjunct Professorial Lecturer of Literature	―
102	外国	講師相当 Adjunct Professorial Lecturer	WOLFE Andrew		PhD.		SISU-329 Global Economic Governance	3後	―	―	Adjunct Professorial Lecturer of School of International Service	―
103	外国	講師相当 Adjunct Instructor	CAMPOS Marcy		MA		AMST-340 Community Activism and Regional Studies	3前・後	―	―	Adjunct Instructor of History and Director for Center for Community Engagement & Service	―
104	外国	講師相当 Adjunct Instructor	COLSON Jonathan		MFA		WRTG-101 College Writing Seminar	1前・後	―	―	Adjunct Instructor of Literature	―
105	外国	講師相当 Adjunct Instructor	EGUCHI-DONOVAN Yukie		MA		JAPN-114: Elementary Japanese I JAPN-115: Elementary Japanese II	1後 1前	―	―	Adjunct Instructor of World Languages and Cultures	―
106	外国	講師相当 Adjunct Instructor	FLYNN Patrick		MA		COMM-105: Visual Literacy	1前・後	―	―	Adjunct Instructor of Communicatio n Studies	―

107	外国	講師相当 Adjunct Instructor	JOHNSON Moyo		MA		JAPN-314: Advanced Japanese I JAPN-315: Advanced Japanese II	3後 3前	―	―	Adjunct Instructor of World Languages and Cultures	―
108	外国	助教相当 Assistant Professor	Bader Michael		PhD.		SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives	3後	―	―	Assistant Professor of Sociology College of Arts & Sciences	―
109	外国	助教相当 Assistant Professor	BOESENECKER Aaron		PhD.		SISU-206 Introduction to International Relations Research	2前・後	―	―	Assistant Professor of School of International Service and Coordinator for Undergraduate Research	―
110	外国	助教相当 Assistant Professor	COHN Elizabeth		PhD.		SISU-214 Contemporary Latin America	2前･後	―	―	Assistant Professor of School of International Service	―
111	外国	助教相当 Assistant Professor	COTTER Elizabeth		PhD.		HPRM-441 Health Communication	3前・後	―	―	Assistant Professor, Health Studies	―
112	外国	助教相当 Assistant Professor	CRONA Kristina		PhD.		MATH-313 Calculus III MATH-403 Foundations of Mathematics	1,2,3,4後 1,2,3,4春	―	―	Assistant Professor of Mathematics and Statistics	―
113	外国	助教相当 Assistant Professor	DONDERO Molly		PhD.		SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4	2前・後	―	―	Assistant Professor of Sociology	―
114	外国	助教相当 Assistant Professor	GIANDREA Mary		PhD.		HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815 HIST-204 Medieval Europe HIST-221 History of Britain I	1前・後 2前 2後	―	―	Assistant Professor of History	―
115	外国	助教相当 Assistant Professor	GREEN-SIMMS Lindsey		PhD.		LIT-225 African Literature	2後	―	―	Assistant Professor of Literature	―
116	外国	助教相当 Assistant Professor	HACHAD Naima		PhD.		FREN-432 Civilisation Francaise II	4前	―	―	Assistant Professor, World Languages and Cultures	―
117	外国	助教相当 Assistant Professor	HARTSFIELD Jane		PhD.		MATH-211 Applied Calculus I	1,2,3,4前･後	―	―	Assistant Professor of Mathematics and Statistics	―
118	外国	助教相当 Assistant Professor	HENG-BLACKBURN Pek Koon		PhD.		SISU-212 China, Japan and the United States FA3 SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia	2前・後 3前・後	―	―	Assistant Professor of School of International Service and Director of ASEAN Studies Center	―
119	外国	助教相当 Assistant Professor	HOLTON Kathleen		PhD.		HPRM-205 Introduction to Nutrition	2前・後	―	―	Assistant Professor of Health Studies,College of Arts and Sciences	―

120	外国	助教相当 Assistant Professor	JACOBS Justin		PhD.		HIST-250 Empires and States in East Asia FA3 HIST-447 Asian Studies (topics)	2前 4後	―	―	Assistant Professor of History	―
121	外国	助教相当 Assistant Professor	KNEE Karen		PhD.		ENVS-150 The Sustainable Earth	1前･後	―	―	Assistant Professor Department of Environmental Science	―
122	外国	助教相当 Assistant Professor	MAASSARANI Tarek		MA		SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution	3後	―	―	Adjunct Assistant Professor School of International Service	―
123	外国	助教相当 Assistant Professor	MARTINEZ Juliana		PhD.		SPAN-357 Introduction to Latin American Literature	3前･後	―	―	Assistant Professor of World Languages and Cultures	―
124	外国	助教相当 Assistant Professor	MATLON Jordanna		PhD.		SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture	3前・後	―	―	Assistant Professor ofSchool of International Service	―
125	外国	助教相当 Assistant Professor	MEDWIN Marc		PhD.		PERF-110 Understanding Music	1前・後	―	―	Professor of Performing Arts	―
126	外国	助教相当 Assistant Professor	MOKHTARI Shadi		PhD. & LLM.		SISU-385 Islam and Democracy	3後	―	―	Assistant Professor of School of International Service	―
127	外国	助教相当 Assistant Professor	NICHOLSON Simon		PhD.		SISU-359 Environment, Conflict, and Peace	3後	―	―	Assistant Professor of School of International Service	―
128	外国	助教相当 Assistant Professor	ROBINSON Michael		PhD.		MATH-440 Topology MATH-451 Partial Differential Equations MATH-465 Numerical Analysis: Basic Problems MATH-565 Mathematical Applications of Interest and Derivatives	1,2,3,4後 1,2,3,4前 1,2,3,4後 1,2,3,4後	―	―	Assistant Professor of Mathematics and Statistics	―
129	外国	助教相当 Assistant Professor	SONENSHINE Ralph		PhD.		ECON-370 International Economics	3前・後	―	―	Assistant Professor of Economics	―
130	外国	助教相当 Assistant Professor	STOODLEY Catherine		Dphil.		PSYC-115 Psychology as a Natural Science	1前・後	―	―	Assistant Professor of Pscyhology	―
131	外国	助教相当 Assistant Professor	TANKEL Stephen		PhD.		JLC-471 Evolution of Global Jihad	4後	―	―	Assistant Professor of School of International Service	―
132	外国	助教相当 Assistant Professor	TUOMI Krista		PhD.		SISU-105 World Politics FA3	1前・後	―	―	Assitant Professor of International Economic Relations	―

133	外国	助教相当 Assistant Professor	VILANOVA Nuria		PhD.		SPAN-456 Spanish Topics (approved topic)	4前・後	－	－	Assistant Professor of World Languages and Cultures and Associate Dean of Academic Affairs	－
134	外国	助教相当 Assistant Professor	WONG Li		PhD.		LIT-267 Literatures of the Global South FA3	2前・後	－	－	Assistant Professor of Literature	－

（注）
1　教員の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。
2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は，専任教員のみ記載すること。

別記様式第３号（その３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	2人	2人	1人	3人	人	8人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	6人	5人	1人	人	人	12人	
	修　士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	9人	8人	2人	3人	人	22人	
	修　士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）
1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
2　この書類は，専任教員についてのみ，作成すること。
3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
4　専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

（国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	採用根拠等
2	専	教授	ｵｵﾀ ﾋﾃﾞｱｷ 大田 英明 〈平成30年4月＞		立命館大学特別任用教員規程 大学協議会（H28.1.29開催）にて承認
3	専	教授	ﾄｸﾏﾙ ﾋﾛｼ 徳丸 浩 〈平成30年4月＞		立命館大学特別任用教員規程 大学協議会（H28.1.29開催）にて承認
4	専	教授	ﾅｶﾂｼﾞ ｹｲｼﾞ 中逵 啓示 〈平成30年4月＞		立命館大学特別任用教員規程 大学協議会（H28.1.29開催）にて承認